

史料目録 第100集

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録
(その5・完)

平成27年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
調査収集事業部

史料目録 第100集

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録
(その5・完)

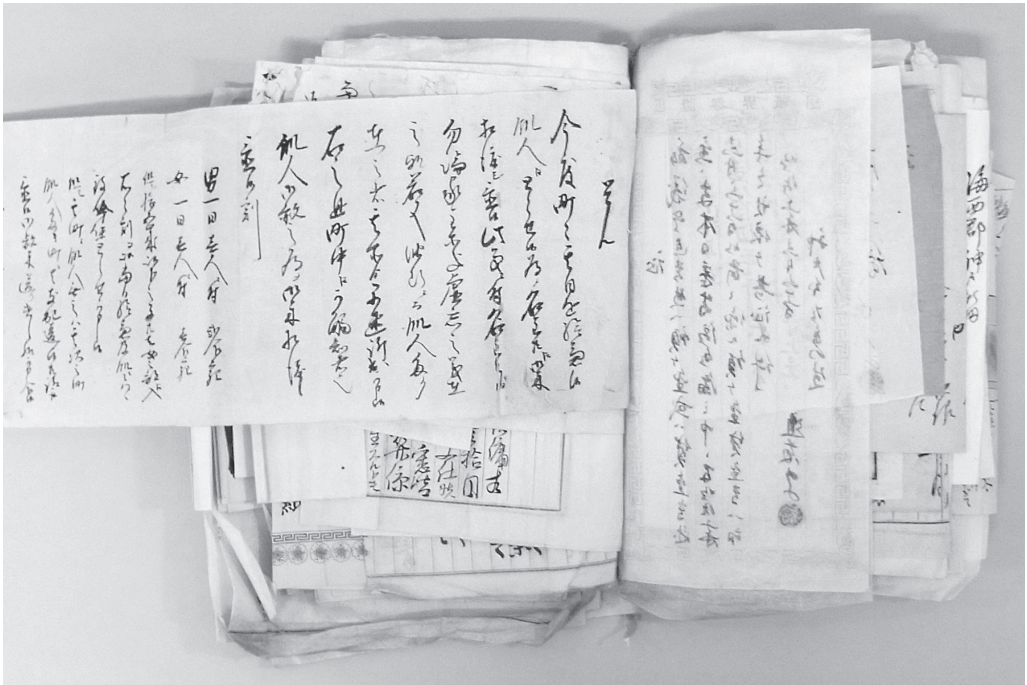


写真1 覚（江戸の飢人御救のため御米渡し置くにつき）・享保19年（い1399-82）

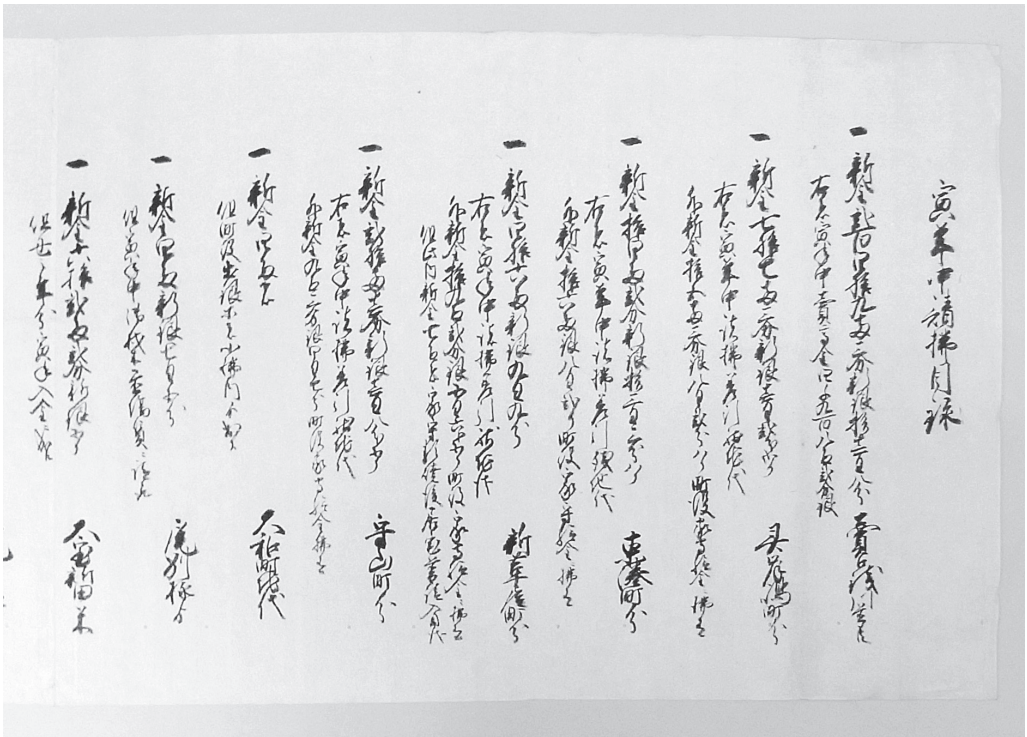


写真2 寛年中請払目録・享保8年（い2023-1）

凡 例

- 一 本目録は、『史料目録』第100集「尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書（その5・完）」として同文書のうち主として書付型史料の一部を取めた。
- 一 解題は、犬山屋神戸家全体の概要記述と、サブ・フォンドごとの概要記述からなっている。
- 一 史料は、史料群全体の構造を表現することができるように配列した。すなわち、史料群を発生させた神戸家内部の組織と機能のあり方に留意し、史料群の内部構造を復元しようとする形で、大・中・小の項目を立てて編成・配列した。
- 一 小項目のなかの史料の配列は、年代順と史料番号順を適宜併用した。年欠文書が圧倒的に多い領収書や書状などの一部史料で、年代順に掲載する事が不適当な場合には、史料の物理的配列の順に従ったものが多い。なお、※印は史料を目録上に重出させたことを示す。
- 一 史料目録の記載欄は、①表題および作成者・差出人・宛名、②作成年月日、③形態・数量、④整理番号の順である。
- 一 表題は冊子型も書付型も原表題をとり、（ ）で仮表題や内容を示した。
- 一 作成年月日は和年号で示し、干支のみの場合はそれを採録した。推定の場合は（ ）で示した。そのほかに（ ）を用いて内容年代を記入した場合もある。
- 一 形態は以下のように示した。冊子型史料では、豎半（半紙豎折判）、豎美（美濃豎折判）、横長半（半紙横折判）、横長美（美濃横折判）、横半半（半紙半載横長判）、横美半（美濃半載横長半）などの略称によって原書の大概を示すに止めた。また、丸かっこ内に綴じ方も表記した。書付型史料は、豎紙・折紙・切紙・豎切紙・横切紙・豎継紙・横切継紙・小切紙などと表記した。また、絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。
- 一 解題中の文献引用については、〔 〕に著者・刊行年などを記した。論文名・書名等は解題末の参考文献リストを参照されたい。

総目次

口 絵

凡 例

総目次

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録（その5・完）本文細目次	1
解題	7
1 犬山屋神戸家文書の伝来と整理の方針	7
2 犬山屋神戸家の歴史	8
3 犬山屋神戸家の組織・機能と文書群の階層構造	13
4 大項目ごとの概要記述	15
(1) 神戸家・勘定場	15
(2) 家	16
(3) 大宝前（神戸）新田	18
(4) 四郎兵衛新田	18
(5) 飛鳥新田古台分	19
(6) 服岡新田下之郷	20
(7) 海部郡の新田	20
(8) 愛知郡の新田	21
(9) 大高源兵衛新田	22
(10) 知多郡の新田	22
(11) 三州伏見屋新田	23
(12) 三河国の新田	24
(13) 三重県の新田	24
(14) 領主御用	24
(15) 元材木町	25
(16) 江戸町屋敷経営（神戸彦七・家守来家太七）	25
(17) 御園町中嶋屋半右衛門・永田善次郎	25
(18) 新田不明、業務単位不明、混入文書について	26
目録本文	31

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録（その5・完） 本文細目次

神戸家・勘定場	31	川村九兵衛	69
経営全体	31	その他	69
金改有金覚帳	31	証人	74
金出入帳	31	その他	74
諸帳簿	31	材木取引	74
奉公人・従業員	32	米取引	75
奉公人宗門改	33	地主経営全体	76
経営記録	33	諸帳簿	76
為替	34	書類草案	76
勘定書付	34	掟米販売	76
領収書等	37	書状	79
書状	40	絵図	81
その他の書付型史料	42	その他	81
金融	42	公儀との関係	82
家屋敷書入借金	42	御用留・触書・願書等	82
個別金融	43	御用金・貸上金	84
領主金融	51	名古屋町屋敷経営	86
成瀬大和守	51	借家入用ほか	86
成瀬修理	53	家賃請取	86
石河権右衛門	53	下材木町	87
石河様年賦金	53	五条町	87
石川安盛	54	正万寺町	88
石河伊賀守	55	塩町	88
椋山奥内	57	小舟町	88
正覚寺	57	京町	89
その他	59	日置屋敷	89
借入・預り金	66	西水主町	89
天埜佐兵衛	66	古渡村繁町	90
椋山奥内	68	町名不明	90

名古屋土地経営	90	家計簿・家計計算書	114
全体	90	受取書等の束・綴	114
木挽町	90	受取書等	126
和泉町	91	家族間の貸借等	134
塩町	91	親類間の貸借	134
皆戸町	91	神戸弥左衛門（本家）	134
白川町	91	天満屋九兵衛	135
南武平町	92	その他の親類	136
水筒先町・葵町	92	書状	137
町名不明	93	冠婚葬祭ほか	142
預金	93	旅行	143
三井銀行	93	墓所・寺・神社	143
明治銀行	97	講	145
第一銀行	97	保険	146
銀行名不明	102	文化活動	147
公債	102	和歌・俳句	147
関与団体	103	漢詩	147
軍人遺族救護義会	103	目録・書状等	148
日本海員掖済会	104	注文書・納品書・領収書等	149
国家・行政との関係	104	教育	157
選挙	104	その他	157
軍資金献納	104	その他	157
その他	105	大宝前（神戸）新田	159
家	106	開発	159
相続・居住・由緒	106	願書	159
一件綴りなど	106	資材購入	159
御目見得・身分引き立て等	106	開発関係帳簿	160
安政6年転居	109	丁場金	160
丹羽郡稲置村屋敷（犬山）	109	普請入用金受取	163
神戸直彦	109	堤普請請負人源大夫出入一件	169
他家の相続等	113	その他	169
町との関係	113	形成期普請	170
その他	113	初期普請	170
家計	114	享保8年普請	174

普請年代不明	176	飯米帳	219
掬米徴収	176	郷蔵	219
納米目録	176	土地	220
掬米計算	176	田畑状況把握	220
検見	177	田畑改名	221
掬米輸送	177	芝場・葎生場	221
掬米送付	177	道	222
掬米請取	178	水利・防水ほか	222
地主仲間	183	水利	222
経営費用	184	防水	223
入用金請取・願	184	水路	223
入用勘定	188	塚	224
諸入用	189	堤	227
諸入用書付袋・束・綴	189	組合村	231
検見入用	197	その他	238
普請入用	197	公儀との関係	238
蔵納入用	200	検地帳	238
神事祭礼等入用	201	庄屋役	238
役人関係入用	201	村況	240
その他の入用	201	年貢ほか	241
人足帳・数船帳	206	免定	241
人足	206	その他	243
経営記録	207	諸負担	245
諸専用留・日記・綴	207	調達金・拝借金・上納金	247
村方騒動	208	救済	248
新田－元材木町間連絡	209	その他	249
その他	211	地租	251
小作人	212	県・郡との関係	251
小作人全般	212	土地台帳訂正	251
宗門改	212	地目変更	251
小作証書	212	褒賞	251
貸金・救済など	217	その他	252
小屋・会所	219	その他	252
入用	219	四郎兵衛新田	254

全体	254	公儀との関係	264
取得	254	年貢・村入用負担	264
取得	254	庄屋役	265
掬米徴収	255	願書	265
納米目録等	255	取立金・調達金	265
経営費用	255	小作人	265
堤・橋などの普請	255	近代土地購入	266
年貢・村入用負担	255	海部郡の新田	267
その他	255	鍋蓋新田	267
公儀との関係	256	経営記録	267
土地	256	経営収支	267
争論・願書	256	掬米販売	267
上納	257	土地・用水・年貢	268
神戸外新田	257	潤屋新田	268
納米并勘定帳	257	愛知郡の新田	269
その他	257	化物新田	269
飛島新田古台分	259	受取書・書状等	269
開発	259	共有地	269
経営費用	260	堤防	269
その他	260	紀左衛門新田（豊田村・呼統村）	270
近世全般	260	諸帳簿・書状・受取書等	270
地渡一件	261	土地取得	271
一件記録	261	堤防	271
願書・申渡等	261	道徳前新田（豊田村）	271
近代全般	262	八左衛門新田	271
飛島古堤廃却	262	開墾事件	271
服岡新田下之郷	263	その他	271
全体	263	笠寺村	272
掬米徴収	263	字上烏山共有地	272
検見	263	その他	272
掬米計算	263	大高源兵衛新田	273
掬米運搬・販売	263	経営収支	273
経営費用	263	経営諸記録	273
土地	264	掬米徴収	273

仲間検見	273	元材木町	284
経営費用	273	町代	284
その他	273	江戸町屋敷経営（神戸彦七・家守来家太七）	
年貢・村入用	274	小舟町	285
年貢	274	店賃帳	285
諸入用	274	家屋敷譲渡	285
作徳米計算	275	町入用	286
その他	275	書状	287
土地	275	家守請状など	287
普請	276	その他	287
地租	276	神戸彦七家	288
地券	276	金銀請払目録	288
その他	276	家屋敷有金目録	289
近代土地購入	276	その他	289
知多郡の新田	277	御園町中嶋屋半右衛門・永田善次郎	290
名和前新田	277	仕切状	290
諸事留帳ほか	277	借用証文	290
地主引継文書	278	その他	291
地概	278	新田不明	293
譲渡証文	278	業務単位不明	295
掟米徴収	278	混入文書	298
武豊町	278		
三州伏見屋新田	279		
経営費用	279		
入用金請取	279		
普請	280		
諸書付	280		
三河国の新田	281		
吉塩崎永岡新田	281		
三重県の新田	282		
和泉新田	282		
中和泉新田	282		
領主御用	283		
全体	283		

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録（その5・完）解題

収 蔵：国文学研究資料館

出 所：犬山屋^{かんど}神戸家

資料記号：24P

資料名称：尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書

年 代：1671（寛文 11）年～1914（大正 3）年（本目録分）

物的状態：（書架延長）30m、（数量）17,979 件

（その 1）収録分	3892 件
（その 2）収録分	2635 件
（その 3）収録分	3234 件
（その 4）収録分	3064 件
本目録収録分	5154 件

1、犬山屋神戸家文書の伝来と整理の方針

当館所蔵の神戸家文書は、1949（昭和 24）年に第 10 代当主神戸分左衛門有文氏（名古屋市中区）より文部省史料館*に譲渡されたものである。神戸家文書は国文学研究資料館で所蔵しているものの他に、現在の神戸家にも伝来しており、木箱 8、葛籠 1、袋 1、段ボール箱 1 の計 11 の保管容器に収納されている。

* 文部省史料館は 1972 年の国文学研究資料館の設立とともに同館に史料館として付置された（通称国立史料館）。その後 2004 年に史料館の機能は国文学研究資料館に継承された。したがって、神戸家文書の所蔵先は譲渡以後実質的には変化していない。

聞き取りによれば、神戸家文書は太平洋戦争中に名古屋元材木町の本宅から海西郡十四山村神戸新田の神戸家居宅に疎開のため移され、戦後そのまま新田宅に置かれていたものを、元材木町の本宅に戻すことなく、直接東京の当館に輸送したとのことである。神戸家の新田宅は幕末から存在したものと推定されるため、この伝来事情からすれば、幕末以来蓄積されてきた新田宅の文書との合体もしくは新田宅文書の混入の可能性が存在することになる。しかし、目録（その 1～4）および本目録に収録した史料の範囲では混入や合体を明確に示すような史料は見あたらないので、現在確認されている神戸家文書は全て元材木町に近世以来伝来した文書と今の所は考えてよい。あるいは、新田宅が神戸家内部の組織体として元材木町の本宅とは相対的に独自に文書を授受作成する主体としての性格を持っていなかった可能性も考えておいてよいのかもしれない。そうであれば、文書の出所が空間的には分離していても、構造的には出所は単一と考えられるわけである。いずれにせよ、以下の解題における考察は、本文書群が元材木町神戸家という単一の出所であることを前提として行われることとなる。

当館では、受け入れ以後、仮整理による出納カードで閲覧に供してきたが、冊子型史料の大半と関連の書付

型史料の一部は目録(その1～4)により閲覧請求が可能となっている。今回の目録刊行にあたっては、目録(その1～4)と同様にこの仮整理の史料配列順、つまり現在の書庫内での配列にしたがって、新たに整理番号を付与した。そのなかで、冊子の綴り、丁間史料、下げ紐結付史料、冊子結付の束、袋・綴・束の史料の場合に枝番・孫番を多用した。

今回の整理作業においても、こよりを解いたり切断したりしなければ開披できない史料はそのまま残している。これは原形保存の観点からそのようにしているものであり、閲覧請求があつて初めて開披するという方針にしている。従つて、こうした史料については即日閲覧ができない場合もあることをご了解いただきたい。

次に、形態欄に丸括弧に挟んで示した綴じ方の表記について説明しておく。これは大藤修氏が提唱した名称に従い、一ツ綴・二ツ綴・三ツ目綴・下げ綴・下げ二ツ目綴・列帖綴・鎖綴・ひねり綴などの名称を用いた〔大藤・安藤 1986 年、250 頁〕。ただし、大藤氏が示した以外の綴じ方も神戸家文書中には存在したため、下げ一ツ目綴・二ツ結・二ツひねり綴を仮称として新たに加えた。さらに、帳面の背に綴じた上から紙片をかぶせている場合は、かぶせ、または角かぶせと表記している。

また、近代文書の形態については、近世文書の名称をそのまま準用することに疑問を感じたので以下のようにした。まず、冊子形態のものについて近世文書の形態をそのまま使用しているものに関してはこれを準用した。しかし、罫紙を使用した文書については、形態欄にはたんに「罫紙」もしくは『神戸氏蔵』用箋などとのみ記し、数量欄の序数によって冊子・状の別を示した。近代になると印刷技術を使用した文書が多くなる。形態欄にはそれも記した。まず、印刷様式に個別情報を手書きで記入した文書についてはその形態欄に「印刷用紙」と記した。それに対し、手書きの記入のない印刷された文字のみで機能が完結している文書については「印刷物」とした。なお「印刷用紙」としたもののなかには個別情報が記入されていない未使用のものがあるが、その場合は表題欄に「(未使用用紙)」と入れることにした。

さて、史料の整理・分類編成においては、史料群の有する階層構造を可能な限り追求することに努めた。当初は、神戸家内部の組織体を明らかにし、その組織体ごとに大項目を設定して、それぞれの組織体の機能に応じて中項目以下を編成した。このような整理の方針は〔大藤・安藤 1986 年〕、〔国文学研究資料館史料館 1988 年〕、〔安藤 1998 年〕において展開されている議論を基本的には踏襲しているもので、詳しくはこれらの文献を参照されたい。しかし、近年では記録資料群の記述編成の方法としては、内部組織重視から機能重視に明らかに移行してきている〔例えば青山 2009 年〕。それは、神戸家のように大規模であるにもかかわらず、内部組織が不明確である場合には大変参考になる考え方であると判断し、神戸家にも即して方法論を模索したことがある〔渡辺 2014 年〕。その考え方に従つて今回項目編成に大きな変更を加えたことは後述する。

2、犬山屋神戸家の歴史

最初に神戸家の歴史について述べる。適宜、表1「神戸家略歴」と解題末に掲載した「神戸家系図」および関連地図を参照して頂きたい。

神戸家は本家の鵜飼屋^{かんべ}神戸家の分家として1669(寛文9)年に名古屋元材木町で創業した。1823(文政6)年における勘定場の一時的設置を伴いながら、現在まで存続し続けている。その活動内容は、本家の営業である材木取引からはじまり、織物製品の売買にも従事するが、18世紀に入ると経営活動は地主経営に傾斜した。

表1 神戸家略歴

(あ 3476「初祖ヨリ六代迄之記」中の「由緒書」を主とする)

西暦元号年月日	事	項
1669 寛文 0903	初代犬山屋文左衛門（犬山神戸弥兵衛次男）	元材木町（当時清須材木町）で開業。
1695 元禄 08	江戸下船町に間口9間の町屋敷を取得。	
1697 1012	借上金大分に差出し誉めを受ける。	
1699 12	三州伏見屋新田に出資。	
1700 1301	借上金裁許精出し、銀二枚下付。初代文左衛門他三人の商人と共に借上金御用を勤める。	
1706 宝永 03	大高源兵衛新田の開発に出資。	
1707 04	二代目犬山屋分左衛門、海西郡大宝前新田125町歩を開発、敷金として7811両余差上。	
1707 041004	宝永東南海大地震により大宝前新田の堤防崩壊。	
1723 享保 08	大宝前新田高潮により破堤し、45町歩に縮小。	
1725 1012	父の代より「御金之支配」を勤め、近年も借上金御用出精につき年頭お目見得を許される。	
1731 1612	三代目犬山屋文左衛門継目お目見得。	
1740 元文 050908	二代目分左衛門病死。	
1743 寛保 030417	三代目病死。	
12	四代目犬山屋文左衛門継目お目見得。	
1745 延享 2	大宝前新田、領主による検地	
1766 明和 03	大宝前新田「宗門村立」となる。	
1775 安永 0411	五代目犬山屋文左衛門継目お目見得。	
1794 寛政 060810	四代目病死。	
10	宗門改め町並御除自分一礼を認められる。	
1801 享和 01	大宝前新田旧水没地に服岡新田・飛鳥新田を開発。	
1802 0212	御勝手御用仰せ付けられる。その後病気により退役。	
1811 文化 0804	六代目犬山屋文左衛門継目お目見得。	
1815 1204	大宝前新田を神戸新田と改称。	
1823 文政 06	勘定場成立か。	
07	町奉行所ご用達就任。9月退役。	
1829 120114	五代目病死。	
1838 天保 0906	貧民へ施物につき金1両2分下付。	
1841 1208	七代目神戸文左衛門米切手償却に協力。	
12	七代目継目お目見得。	
1842 1309	御勝手御用達、七人扶持。	
1843 1401	御勝手御用達退役、扶持方引き揚げ。扣借家引当金300両上納は返還。	
0821	六代目病死。	
1849 嘉永 0201	町役金引当調達金御用向。	
1853 0602	先祖以来の調達金差上切りとなる。	
1855 安政 0207	上記につき色々拝領。 「講等他所商人共寄合籤引調達入講申動方格別骨折」につき銀五枚下付。	
1856 0311	町御役所御用達格につき纏・提灯使用許可。	
1857 0405	町役所御用達格差し免。御勝手御用達につき肩衣着用許可。	
12	借財引受申上につき「一代限年頭名披露御目見」。	
1858 0502	一代限り苗字御免。	
1859 0608	神戸新田への転宅願許可される。	
1892 明治 250523	愛知郡大高源兵衛新田の小作人が滞納した掟米を請求した裁判の判決が出る。 このころ神戸家はたびたび名古屋木挽町二丁目（元材木町）への止宿願いを県に提出する。	
1894 明治 2710	日本赤十字社正社員となる。	
1896 明治 2901	蟹江銀行監査役に就任。	
1896 明治 2906	尾西鉄道株式会社の設立に参画。	

表2 大宝前（神戸）新田村役人

西暦元号年月	庄屋		組頭		
1720 享保 5	唯助				
1747 延享 4	定助				
1767 明和 4	重右衛門				
1774 安永 3		重右衛門・茂吉・藤三郎（庄屋・組頭の別不明）			
6 4月	唯助		平吉	又藏	
7	〃		〃	〃	重右衛門
8	〃		〃	〃	
1803 享和 3 閏正月	〃		〃	〃	〃 只治郎
文化元	〃		〃	〃	〃
3	〃		〃	〃	〃 喜藏
6	〃		〃	〃	〃 ——
12	〃		平吉		重右衛門
1820 文政 3	重右衛門		只治(二)		——
1831 天保 2	〃	忠右衛門	〃	金七	
6	〃	〃	忠兵衛	辰右衛門	
8	綱藏	〃	〃	〃	
12	〃	〃	〃	〃	
13	〃	〃	〃	〃	
14	〃	——	〃	——	
15	〃	——	〃	辰右衛門	
1845 弘化 2	〃	忠右衛門	——	〃	
1850 嘉永 3	〃	〃	——	〃	
4	〃	〃	金七	〃	
5	〃	〃	〃	——	
1860 安政 7	〃	〃	〃		
1861 万延 2	唯助	〃	〃		
1863 文久 3	〃	〃	〃		
4	〃	〃	金左衛門	忠藏	
1871 明治 4	〃	〃	〃	〃	

1707（宝永4）年に大宝前新田を開発し、新田地主経営を開始したのである。さらにその周辺の四郎兵衛新田・服岡新田・飛鳥新田・鍋蓋新田においても地主経営を行っていた。

大宝前（神戸）新田とその周辺の新田以外にも、神戸家は新田経営に関わっていた。1699（元禄12）年には、江戸かいば町の商人伏見屋が1666（寛文6）年に開発した三州伏見屋新田を尾州茶屋新田の坂野ほか2名が買い取るにあたり、神戸家はほか3名とともに資金を出資している。また、大宝前新田開発の前年の1706（宝永3）年には愛知郡大高村庄屋源兵衛による源兵衛新田の開発にも出資している（地図1参照）。

このように神戸家は新田地主として近世社会に位置づいていくことになるのだが、そのほかに江戸において町屋敷経営^{*}をも行っていたことが重要である。神戸家は1695（元禄8）年以降江戸下船町（のちに小舟町と改称）一丁目において町屋敷経営を行っていた。この経営は初代文左衛門安政の弟彦七（彦七郎）が担当し、直接には家守^{**} 来家太七が町屋敷の管理業務を行った。

なお、神戸家は名古屋城下町においても遅くとも1701（元禄14）年には町屋敷経営を行っていた。それは、居住地の元材木町のほか、周辺の下材木町・正万寺町・五条町・小舟町などのほか、城下町東端の町続き地である新出来町、あるいは城下町南端の大木戸外にある古渡繁町などに存在し、これらも神戸家の重要な収入源となっていた。近代になっても名古屋での土地経営は継続するが、近代になると旧武家地にも経営が展開するようになる。

^{*}町屋敷経営とは、近世都市の町方において、街路に面した短冊状の土地および家屋（町屋敷）をその所有者が店舗・倉庫や長屋として他者に貸与することによって収益を得ようとする行為のことである。

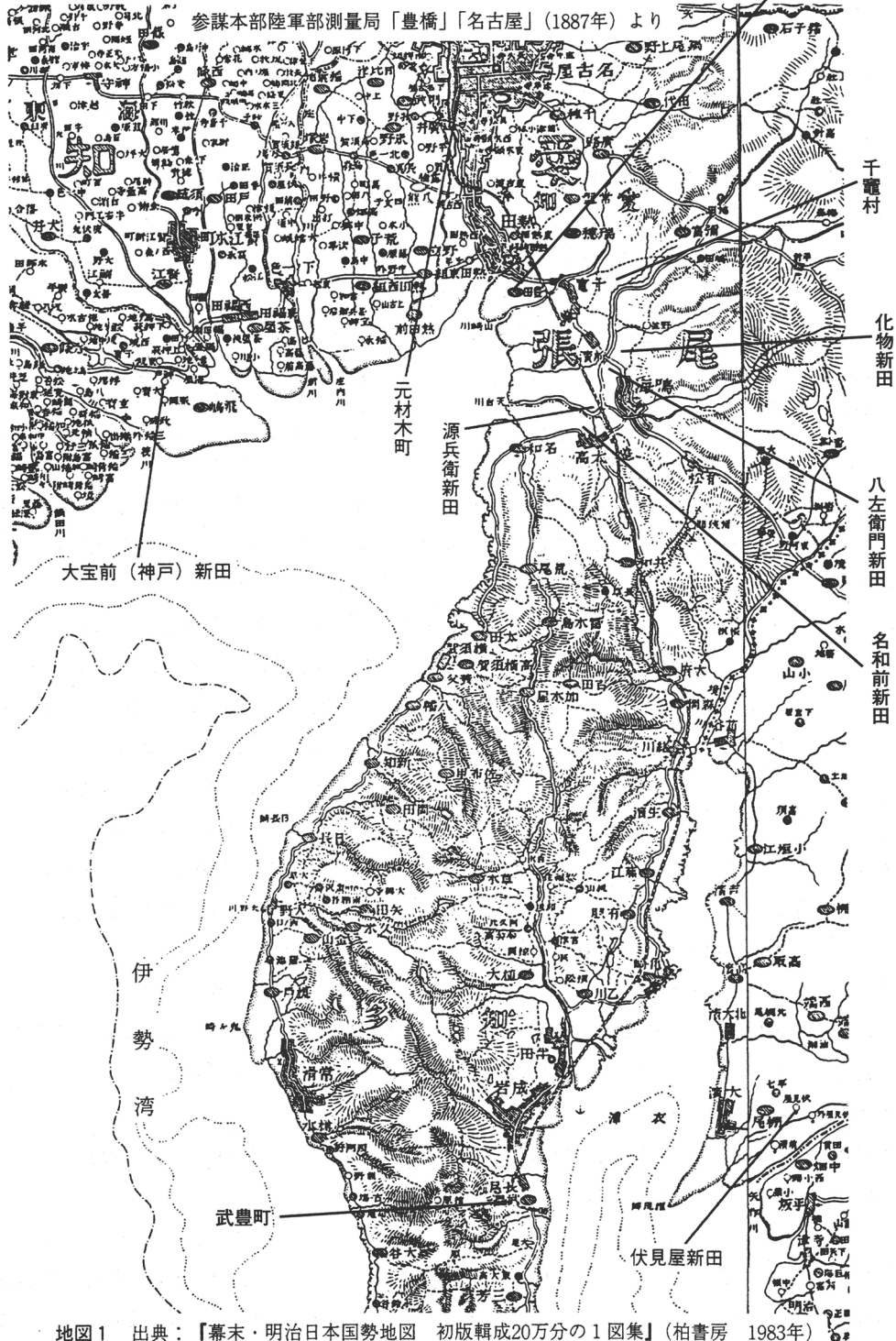
^{**}家守とは、町屋敷の所有者（家持）がそこに居住していない場合、その町屋敷を維持・管理する人のことである。神戸家は名古屋に居住しているため江戸下船町には管理人として来家太七を置いているのである。

以上のように神戸家の経営は、時期によって異なるものの、材木商・領主金融・地主経営・江戸町屋敷経営・名古屋町屋敷経営と多岐に互るが、大宝前新田に支配人を置き、新田会所を設置した以外には、その内部に見るべき経営組織を持たないことが特徴的である。近世の代表的な商家である三井家や、あるいは松代八田家は数種の営業を分担する例えば木綿店・呉服店といった内部組織を設立し、それらを三井でいえば大元方、八田家でいえば内方といったような機関が統轄するという店制をとっていた。それに対して神戸家は、その経営の志向が商業経営の拡大に向かわず、新田地主と町屋敷経営といういわば都市・農村の両方に跨る地主として存在したために、店制を組織することはなかったわけである。ただし、1823（文政6）年に元材木町の神戸家に「勘定場」という機関が成立する。もっとも、1823年以後に神戸家で作成される種々の経営帳簿の作成者は「勘定場」であるよりも、「神戸文左衛門」あるいは「神戸」であることが多く、「勘定場」の職掌を明確にすることはできない。一方、（その3）収録分の書状を見ると、安政期に勘定場橋（吉）蔵というあて先を持つ神戸新田からの書状も多く、神戸新田と対比される元材木町勘定場の存在だけは明確である。

経営以外の神戸家の活動には、表1に見られるような様々な領主御用がある。借上金御用、御勝手御用、町奉行所御用達などを勤めた。その活動に対応して、1725（享保10）年に年頭御目見得を許され、以後代々家督相続の際には継目御目見得を行っているから、神戸家は尾張藩の御用商人としての性格も持っていると言えるよう。

そのほか、神戸家は居住町の元材木町においては、二代目の時に町代を勤めていた時期がある。また、「文左衛門組」というおそらくは五人組の組頭を勤めていたこともあった。

紀左衛門新田



地図1 出典：『幕末・明治日本国勢地図 初版輯成20万分の1図集』（柏書房 1983年）

最後に神戸家の歴史と内部組織にかかわる事柄として重要と思われるのは、1859（安政6）年に元材木町での営業を全て停止して神戸新田に転居し純粋な地主に転換する旨の願書を尾張藩に提出し、認められていることである。（その3）収録分の書状（ex.い418-10,29）からは実際に居住したことが確認できる。おそらくはこれにより神戸家の新田宅が成立し、明治期の公式の神戸家の住所は神戸新田になる。しかし、実際には依然として元材木町の居宅は存在しつづけるから、神戸家は幕末から昭和20年代まで二つの居宅を持つこととなる。その関連か、1875～1891（明治18～24年）には名古屋木挽町二丁目（近世の元材木町）への止宿願を度々提出している（い738-1）。第1節で述べた出所の問題はこうした事情に起因するのである。

3、犬山屋神戸家の組織・機能と文書群の階層構造

これまでの叙述から、神戸家の組織・機能図をかなりの推測を交えつつ描いてみると図1のようになると思われる。まず、元材木町の神戸家において経営全体を統轄していたことは言うまでもない。1823（文政6）年以後明治期まで勘定場が存在することは確かであるが、前述のように勘定場の機能が不明確なので、図のようにならしておいた。以下営業開始の順に述べれば、1695（元禄8）年に江戸下舟町での町屋敷経営が開始される。この営業部門を「神戸彦七・家守来家太七」という名称にならしておいた。次に、1699（元禄12）年に三州伏見屋新田に出資し、1706（宝永3）年に大高源兵衛新田の開発に出資する。この二つの新田については、中島半右衛門を通じて経営を行っている時期があるので、図1のように描いておいた。最後に、1707（宝永4）年から始まる大宝前新田の経営は支配人＝庄屋が行い、かつ会所＝小屋＝庄屋場という組織も存在するため、「新田支配人（大宝前新田庄屋）」という役職を記しておいた。大宝前新田以外の周辺の新田の小作地経営にも支配人が関与していたから、それらの新田名は新田支配人のもとにとりあえず附属させておいた。なお、営業以外の神戸家の諸活動は、当然元材木町の神戸家で行われているから、この図には表現していない。また、新田宅が相対的に独自の組織と判断できないためこの図には表現していない。

以上の組織図をもとに、神戸家文書全体の文書群の構造を主要部分に限って示すと、以下のようになる。まず、第一次構成基準（サブ・フォンド）は、神戸家・勘定場、新田支配人（庄屋）、江戸町屋敷経営（神戸彦七・家守来家太七）、三州伏見屋新田、大高源兵衛新田、家、領主御用、元材木町の八つとなる。

ここで注意していただきたいのは、上記のサブ・フォンドの意味が必ずしも組織とは限らない、という点である。拙稿〔渡辺2014〕で主張した通り、同一出所記録史料群のなかでサブ・フォンドの意味が、組織であったり機能であったりしてもよいと私は考えている。神戸家文書の階層構造のなかで組織の意味でのサブ・フォンドは、「神戸家・勘定場」と「新田支配人（庄屋）」だけである。そのほかは、例えば江戸について言えば、神戸彦七は神戸家の分家の一つであり、名古屋元材木町犬山屋神戸家とは独立した資産と経営を持つ全く別個の組織体であることは本目録登録史料から完全に明確になった（い2023、い2026）。家守の来家太七にしても、彼が家守とは別の営業を行っていた可能性、あるいは別の地主の家守も兼ねていた可能性もあるから、完全な神戸家内部の人間とは断定できない。したがって、「江戸町屋敷経営」という機能名称を使用した。「三州伏見屋新田」「大高源兵衛新田」についても同様で、後述のようにいずれも神戸家が直接経営しているわけではなく、多数の出資者のうちの一人である。こうした経営形態の新田の場合は、地主と新田の間に名古屋方支配人と現地支配人という二人の人間が介在する。図に「（中島半右衛門）」と記してあるのは両方の新田の名古屋方支配

図1 神戸家組織図

* [] は年代。

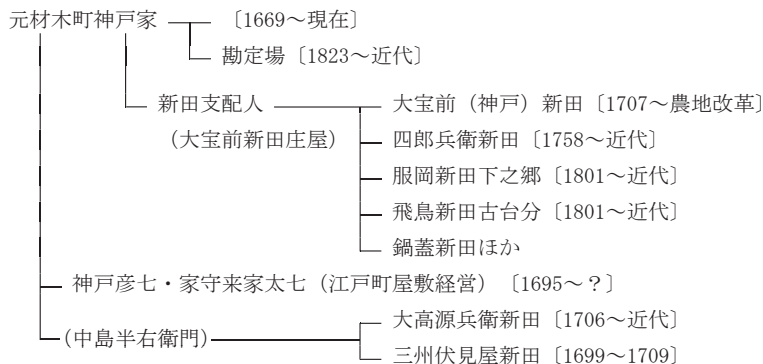
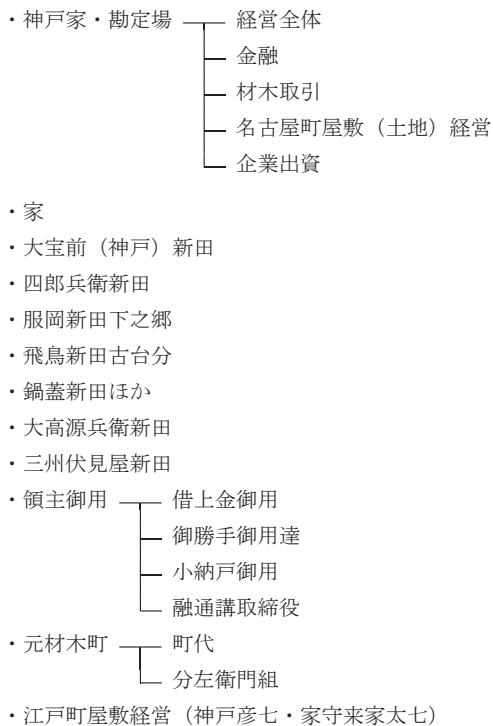


図2 文書群の構造



人として中島半右衛門が存在した時期があるという程度の意味である。彼は当然名古屋の独立した商人であるから、これまた神戸家内部の人間すなわち組織ということはできない。したがって、新田名を掲げるという機能名称を用いた。

「家」「領主御用」「元材木町」というサブ・フォンドは、在地の家文書であれば一般的なサブ・フォンド名称であり、これらも実体のある内部組織ではない。従来は、経営活動を行う同じ人物の別の側面すなわち機能を内部組織のように読み込んで、サブ・フォンド名称として使用してきた。しかし、ここでは機能もサブ・フォンドとして採用した。

次に、サブ・フォンドレベル以下の説明に進みたい。

最初のサブ・フォンド「神戸家・勘定場」のなかは、さらに機能を基準として経営全体、金融、材木取引、米取引、名古屋町屋敷経営など、といった5つ以上のシリーズ(機能)レベルに分けて考えることができる。二番目の「新田支配人(庄屋)」は、大宝前(神戸)新田、四郎兵衛新田、飛鳥新田古台分、服岡新田下之郷、鍋蓋新田ほかといった五つ以上の二次的サブ・フォンド(機能)に編成することが可能である。ここでは、その下によくシリーズレベル(機能)の項目が現れる。それは「掟米徴収」「経営費用」などといったものである。三番目の「江戸町屋敷経営」以降のサブ・フォンドは、直接にシリーズが付属することになる。

さて、通常目録であれば以上の階層構造の説明により、各第一次構成基準がそのまま目録の大項目に、シリーズレベルの名称がそのまま中項目・小項目の名称に適用しうるのであるが、しかし、この神戸家文書目録では史料群の階層構成がやや複雑であり、上記の理解をそのまま表現しようとする階層構造が深くなりすぎて印刷目録には不向きとなるという技術的な問題もある。何よりも、これまで述べてきたように、内部組織に拘泥しなくてよいという柔軟な発想が妥当であるとすれば、内部組織を階層構造に表現しなければならないという制約から解放される。そのため、図2のように本目録では、「新田支配人(庄屋)」という大項目を廃止し、新田支配人が管轄する「大宝前(神戸)新田」「服岡新田下之郷」などの新田名を、それぞれの新田経営という機能名称の意味でサブ・フォンドとして採用した。この点が、神戸家文書目録(その4)までと今回の目録との最大の相違点である。

以下、収録文書の詳細はサブ・フォンドごとの記述に譲りたい。

4、大項目ごとの概要記述

(1) 神戸家・勘定場

冒頭の解題で述べたように、神戸家は経営を統括する明確な組織を持たなかったため、本サブ・フォンドの組織に限定した歴史を記述することは難しい。そのため記述が重複してしまうが、より詳細に述べれば以下の通りとなる。

経営組織としての神戸家も、犬山の鶴飼屋神戸弥兵衛家政の次男神戸文左衛門安政が、1669(寛文9)年に名古屋元材木町に間口5間・奥行17間の家屋敷を代金100両で買い取ったことに始まる。本家の鶴飼屋神戸家は、犬山を拠点とする在地土豪の系譜を持ち、豊臣政権期から木曾・飛騨の材木輸送において「木曾川締方役」として特権的地位を保持し、領主用木を中心に経営を展開していた。したがって、犬山屋神戸家の経営も、本家の鶴飼屋神戸家がそうであったように当初は材木商を中心としたものであり、例えば犬山屋神戸家は鶴飼屋

神戸家が材木を江戸の奈良屋茂左衛門などに販売する場合の仲介を行うというような関係にあった〔所 1967・1970 年〕。1688（元禄元）年ごろには余剰資金を他商人への間接投資にまわすか、あるいは領主権力への金融を行っている。さらに 1694（元禄 7）年には、商業への直接投資を行い絹・麻・木綿などを扱うようになる。しかし、一方では領主米を引当とした金融を大規模に展開するようになり、1706（宝永 3）年には経営内容は領主金融に集中していく。つまり、商業経営を展開する方向には向かわなかったのである〔大石 1951 年〕。

18 世紀に入ると経営活動は名古屋近辺と江戸における都市・農村地主に収斂していくことになる。近代になると、地主経営に加えて、鉄道会社や銀行、あるいはビール会社の設立にも関与する。

したがって、本項目には、元材木町（木挽町二丁目）神戸家もしくは勘定場における経営活動のなかで授受作成管理された文書を収録した。

主要な経営帳簿は、目録（その 1）に体系的に配列してあるので、今回収録分は目録（その 2～4）に引き続き極めて断片的である。

今回も（その 4）と同様に、切紙形態の文書が非常に多い。そのなかでも、これから行わなければならないことを箇条書きに書きつけたものが多数見られた。これを「経営記録」という小項目に入れることにした。新田経営だけでなく広範な経営活動が記されているものを神戸家の当主もしくは元材木町の奉公人が記したものと推定してこの大項目の「経営記録」に収録し、海西郡の新田に内容が限られているものを新田支配人が記したものと推定して大項目「大宝前（神戸）新田」の「経営記録」に振り分けた。

今回初めて登場した史料類型の一つとして為替手形がある。いずれも作成者は江戸の分家神戸彦七郎であるため、大項目「江戸町屋敷経営」に所属させることも考えたが、江戸小舟町での経営活動との関係が不明確であるためこちらに入れておいた。

「個別金融」は町人や百姓などへの融資した際に取得した借金証文が主である。

「領主金融」のなかで、成瀬大和守への融資に関連する借金証文などは史料それ自体からは成瀬大和守と関連することが判明しないものが多数あったが、同じ小項目の他の借金証文から成瀬の家臣の名前と同一であることがわかる人名もあるため、この小項目に入れてよいと判断したものがいくつかある。「正覚寺」は今回初めて登場した融資先であるが、目録（その 3）26 頁に記載されている〔（田町正覚寺預け金関係文書写し・貼り込み帳）（い 460-1）が関連史料であろう。なお、借金が内容の書状は「書状」という項目に入れず「金融」のなかに入れてあることに注意されたい。

融資と逆に、神戸家が借りているあるいは預かっている金に関する史料は目録（その 4）にも存在したが、今回大量に出てきた。「個別金融」に出てくる名前も散見され、金銭貸借関係の網の目は大変複雑であったことが窺われる。

近代史料では、企業出資関係の史料はなく、三井銀行と第一銀行の当座預金関係の文書がたくさんあるだけである。また、日清戦争後に設立された「軍人遺族救護義会」の会員に神戸家になったことからその文書が数点みられることが今回新たに登場したものの一つである。

(2) 家

狭義の家としての神戸家は、先述の通り、近世初期の豪商であった犬山の鶴飼屋^{かんべ}神戸家から 1669（寛文 9）

年に分家して成立した家である。現在も存続している。27～29頁の系図を見ればわかる通り、代々文左衛門(分左衛門)を襲名する。犬山屋神戸家は、一般的な日本の家と同様に、婿取り嫁取りの関係を持つ家があることにより存続が可能であった。その一つは本家の鶴飼屋神戸家であり、もう一つは永田家である。例えば二代目文左衛門には成人した男子がいなかったので長女勝に永田家から婿を迎え文四郎と名乗った。しかし文四郎は家督を継ぐ前に27歳で死去したため、同じ永田家から文四郎の弟が婿入りして勝は再婚し、彼が三代目文左衛門として家督を継いだ。勝と文四郎の間にも、勝と三代目の間にも男子が出生し、いずれも成人したため兄を四代目文左衛門とし、弟はこの段階では跡継ぎが必要となった父の実家の永田家に婿に行き永田家を相続した。この永田善次郎元礼が、最後の大項目に出てくる永田善次郎である。本家である鶴飼屋神戸弥兵衛家との関係では、六代目と七代目が本家からの養子である。特に六代目については五代目の実子二人の存在にもかかわらず養子として迎えられている。

「神戸直彦」という項目が(その4)に引き続き本目録でも見られる。この人物は、犬山屋神戸文左衛門家の系図には見当たらず、また前述の永田家の系図にも見当たらない。本家鶴飼屋神戸弥兵衛家については近世に関してしか情報がない。また、い1403に綴られた多数の文書で直彦は宛先の神戸家の当主のことを「盟兄君」(友人の尊称)と表現する。したがって、直彦は本家の近代の人間である可能性があるが、詳細は不明である。

この元材木町犬山屋神戸家には同格の分家が二つある。一つは江戸の神戸彦七家であり、もう一つは名古屋の弥市家であるが、後者は18世紀前半に途絶え、前者も19世紀前半に廃絶した。

狭義の家としての歴史のなかで重要なことは、全体の解題で述べた通り、1859(安政6)年の元材木町から神戸新田への転居である。このことにより経営組織と家が空間的に分離したからである。しかし、明治期の当主への封書や葉書の宛先も両方の住所があり、印象としては神戸新田と木挽町(元材木町)を行き来しているように見える。その意味では経営と家の空間的分離もさほど長い時期ではなかった可能性もある。

この大項目に、神戸家文書のうち狭義の家の史料を収めたことは目録(その1～4)と同様である。以下の今回収録文書について内容的な編成方針も含めて説明する。

今回は、領収書が沢山あったので、以下の方針で編成した。元材木町での経営のためと見られる領収書は「神戸家・勘定場／経営全体／領収書等」に入れた。家計のためと見られる領収書を本大項目の「家／家計／受取書等(の束・綴)」に入れた。そのほか書画骨董購入の際の領収書は「家／文化活動／注文書・納品書・領収書等」に入れた。そのほかに、神戸新田支配人のもとに集積していたと見られる領収書も多数あり、それは「大宝前(神戸)新田／経営費用／諸入用」に所属させてある。これらの大量の領収書は無秩序にまとめられた綴りのなかにあり、物理的な形態から一点一点の文書が持つコンテキストを推測することは不可能である。したがって、以上の区別は内容情報に基づいて推測したものに過ぎず、家族の生活のため物品購入の結果としての領収書なのか、それとも経営活動に伴って受け取った領収書なのか判別しがたいものも多い。さらに購入品が書画骨董なのか生活必需品なのか微妙なものも少なからずある。したがって以上の区分はあくまでも便宜的なものに過ぎないことに注意されたい。また、領収書は年代不明のものが多いため、アイテム・レベルでは年代順ではなく整理番号順に配列した場合もある。

「家／その他」のなかでは、1892(明治25)年に郡誌編纂のための史料調査依頼状が来ていることが注目される(い1399-57)。神戸家文書が歴史史料として見られた初期の例の一つとなろう。

(3) 大宝前（神戸）新田

大宝前新田の歴史は、二代目神戸文左衛門正種（普海）が1707（宝永4）年、井筒屋伊兵衛を共同出資者として、大宝新田の伊勢湾地先に大宝前新田125町歩を開発し、敷金として7811両余を尾張藩に差し上げたことに始まる。しかしその開発は順調ではなく、同年10月4日の東南海大地震では堤防が崩壊（い1373）、翌1708（宝永5）年7月4日には高潮により破堤し、規模を100町歩に縮小した。この時から出資者に本家の鶴飼屋神戸弥左衛門・江戸の分家神戸彦七・萱津屋伊右衛門の3人が加わった。これら出資者の結合を神戸家では「地主仲間」と呼んでいる。さらに、1714（正徳4）年8月8日に「大風高汐ニ而堤切込大破」、1722（享保7）年8月14日には「大風高汐ニ而惣堤残らず大破」と高潮被害が続く（い1373）。最終的には1723（享保8）年の3度の高潮により、全体を45町7反に縮小することにより大宝前新田の規模が確定した〔菊池1986年〕。大宝前新田には支配人小川只助を置き、新田経営を担当させた。また、「新田小屋」あるいは「新田会所」という経営機関も開発当初から存在したようである。1766（明和3）年には大宝前新田の宗門改帳を同新田の庄屋が作成するようになり、これを「宗門村立」という。これにより、同新田は村請け制の村として確立した。その後、1815（文化12）年には同新田は神戸新田と改称された。

このサブ・フォンドには、大宝前（神戸）新田の経営に関する文書を編成した。

開発関係の史料のなかでは、1707（宝永4）年5月の開発願書提出（い285 - 61, 67、その2収録）に先立って行われた宝永4年2月10日付の入札の申請書が今回出てきた（い1437, 1458, 1459）。関連史料としては、同一の日付を持つ「大宝御新田残葭山此度御新田ニ被仰付候入札之御事」（い468 - 11、その3収録）がある。

また、掟米徴収や年貢収取などに関する日常的史料がある。例えば小項目「掟米請取」では「請取申米之事」という柱書を持つ、神戸家当主もしくは元材木町の奉公人が新田支配人に出す掟米の受取書がある。また、小項目「入用金請取・願」では毎月の経営費用を神戸家が新田支配人に渡した際の受取書である「請取申金子之事」が正徳元・2年・宝永7・8年・享保3年・延享4年の分がある。さらに「年貢ほか」では18世紀後半の「免定」（代官から神戸家あての年貢請求書）が44通ある（い2065）。最後に、1891（明治24）年1月1日付の小作証書49通がある（い2063）。

「諸入用」に関してはこれまでと同様に領収書などが一年ごとの綴りにまとまっているものは現在の形態を尊重してそのまま配列し、綴りに意味を見いだせない場合は主題分類的に配列した。ただし、中項目「水利・防水ほか」にも綴りとしてのまとまりを優先させた場合には領収書が少なからず見られる。

「貸金・救済など」では、神戸家が新田支配人や神戸新田村役人に対して貸金したり、米切手金を預かったりしている（い1298 - 7、い1503など）。地主と小作人の関係が単なる掟米の収取関係にとどまらない関係であることを示す。

(4) 四郎兵衛新田

この新田は1704（元禄17）年の開墾でその南側に大宝前（神戸）新田が存在する。現在は愛知県弥富市に属する。平凡社地名辞典に引用されている「尾張徇行記」によれば、同新田の地積は田畑15町1反4畝余あり、四郎兵衛という者が開発したが子孫は断絶している、東蜆・西蜆新田の宝川古堤外に開発された新田で、集落

は古堤上にある、住人は小百姓ばかりで、大宝前新田が開発されたとき代地と引き替えに「内海用」になり年々不納であったが願いによって「引地」に立てられたという。

(その2)に編成した「四郎兵衛新田一件書抜帳」(あ3340-3)によれば、神戸家と四郎兵衛新田の関わりは1707(宝永4)年の大宝前新田開発に遡る。すなわち、大宝前新田開発時に、「悪水落江道」を四郎兵衛新田内に掘り割り、その替え地として大宝前新田の内から13町分を四郎兵衛新田に引き渡した。その後、1723(享保8)年の洪水破堤に伴い、大宝前新田を50町歩に縮小したため、替え地も半分の6町5反歩にした。その時点の替え地「扣主」は、竹田村庄右衛門・鯨ヶ地村紋左衛門・東舘村治郎兵衛・四郎兵衛新田百姓藤左衛門・名古屋元材木町犬山屋分左衛門(2町4畝歩)であった。その後、1758(宝暦8)年12月に金融の結果として竹田村広田村庄右衛門から同新田御見取所を合計155両で取得し、絵図・御免定・小作掟帳などを引き継いだ(い285-101,104)。

今回収録した史料から神戸家の土地取得状況が新たに判明したので以下を上記に補足する。宝永4年に神戸家が替地分を四郎兵衛新田に提供したのち、替地分の一部は三輪四郎兵衛から兼山村庄右衛門と犬山只助に正徳2年に売却された(い1897, い1308-17)。さらに1736(享保21)年には竹田村庄右衛門から新田支配人只助は兼山村庄右衛門とともに田畑2町を竹田村庄右衛門から買い取っている(い1898)。

そのほか、上述の「四郎兵衛新田一件書抜帳」の記載内容に関連すると思われる宝永5年の原文書(い1478)も2通新たに出てきた。

(5) 飛島新田古台分

既述したように、大宝前新田は1723(享保8)年に大幅縮小した。縮小した堤防の外側で、開発当初の堤防の内側を「大宝前新田古台」と呼んでいた。大宝前新田古台とはのちの飛島新田と服岡新田の二つの新田の範囲である。この「古台」は1795(寛政7)年に再開発されることとなり、1801(享和元)年に完成した。そののち、1802(享和2)年3月26日に大宝前新田庄屋只助俣周蔵が古台会所守・組頭に、同組頭平吉と十右衛門が古台組頭兼役に、金七・忠右衛門が古台水廻り兼役にそれぞれ任命されている(あ3417)。さらには1803(享和3)年12月には飛島新田古台分庄屋唯助が確認される(あ3417末尾)ので、それ以前に大宝前新田と飛島新田古台分の双方の庄屋を小川唯助が兼ねることになったと思われる。

藩との関係では、1805(文化2)年11月25日より飛島新田に検地役人が出張し、12月8日古台分へ移り、13日に終了した。検地された地積は92町2反9畝24歩であり、これを受けて新田の管理権が藩から地主に委譲されることになるのだが、92町余のうち80町分については1798(寛政10)年から1802(享和2)年にかけての調達金・上納金など合計5600両を引当とし、残り12町2反9畝24歩の分については1229両3歩銀3匁を支払うことによってそれは実現された。そして、それまでの調達金証文と金子受取書は勘定所に返却されたという(以上い351)。以上の手続きを経て、1806(文化3)年9月に「地渡」が行われることになった。

以上が現段階で把握している大宝前新田古台の再開発経過であるが、子細な検討を経たものではないので誤りを多く含むものと思われる。〔角川地名辞典〕によれば、飛島新田は、大宝前新田荒廢地を「寛政11年藩の許可を得て鳥ヶ地新田庄屋の佐野周平と鎌島新田庄屋の木村徳右衛門が発起人となり、6人の援助者を得て再開発に着手。(中略)享和元年完成し(中略)文化3年服岡新田が当地から独立。」とあり、上記の再開発経緯

と異なる内容となっている。

今回収録史料のなかでは、1820（文化3）5年5月「永代売渡申地所之事（海西郡飛嶋新田のうち古台80町歩一円を金6800両にて大宝前新田只助殿・平吉殿・重右衛門へ永代売渡証文控）」（い1479-5）が注目される。これによれば神戸家が大宝前新田の村役人たちにこの土地を売却したことになる。上述した同年9月の「地渡」という管轄の藩から神戸家への移行とはどのような関係にあるのかにはよくわからない。閲覧者の分析に期待したい。

(6) 服岡新田下之郷

「覚（服岡新田名請人書上）」（い355-7）によれば、1801（享和元）年開発、1805（文化2）年12月検地と明記されている。この検地における服岡新田全体の名請人のうち半分近くは同新田の岡谷惣七が名請人であるが、神戸家以外の名古屋の商人2名分も岡谷惣七と同じくらいの田畑を名請けしている。

服岡新田には和泉之郷・笹之郷・古台郷の三郷があり、郷ごとに庄屋役が置かれていた（あ3440-3末尾）。このうちの古台郷が服岡新田下之郷であり、先述の四郎兵衛新田替え地分6町5反歩のことである（あ2515、あ3440-1.2）。6町5反歩の高は65石8斗8升3合であった。この時点の名請人のなかにも神戸新田の小作人の名前が見え、両新田の密接な関係が窺われる。さらに服岡新田下之郷庄屋辰右衛門は神戸新田組頭でもあり（い355-1）、総じて地主の地域的な支配が、単に支配人を通じた小作人把握だけで成り立っているのではなく、村役人・名請人などといった領主支配と複合的連関構造を成していたらしいことが窺われる。

今回収録分は約50件と少なく、創設が新しいので当然だが、19世紀の史料が多いように見受けられる。

(7) 海部郡の新田

本大項目は全く便宜的なものでしかない。大宝前（神戸）新田にいる神戸家の支配人は海部郡の諸新田の経営にも関与していたように見受けられるが、そのうちの点数の少ない二つの新田の史料をここにまとめたに過ぎない。

①鍋蓋新田

この新田は大宝前（神戸）新田の北方にあり、村高370石余、反別25町余、戸数7、人口53という小規模の新田である〔角川地名辞典〕。収録史料からすると、享保期から神戸家はこの新田に土地を持っていたらしい。そしてそれは小川唯助を通してのものであったらしいことが納米の請取通帳（あ1683）から知られる。また、地主は少なくとも神戸家のほかに伊藤次郎左衛門がいたこともわかる。

この新田経営に関する史料は、（その2）では30点（1727（享保12）～1775（安永4）年）、（その3）では58点であった。今回は17点である。

②潤屋新田

大宝前（神戸）新田の北東隣にあり、1823（文化6）年成立、反別2町余の新田である〔角川地名辞典〕。この新田に関する史料は、（その2）では1839（天保10）年「南野跡検地帳」1点のみであった。（その3）でも同年の南堤外野跡境杭打ちに関する証文写ほか2点のみである。（その4）では1点もなく、今回は天保10年の新田境杭に関する史料1点が確実にこの新田の史料である。他の4点の文書は、このなかに含まれている

絵図の指し示す場所が潤屋新田の位置なので、本項目に入れておいただけである。別の項目に所属させるべきものである可能性もある。

(8) 愛知郡の新田

この大項目も前項同様全く便宜的であり、後述の大高源兵衛新田を除く愛知郡の六つの新田・村をここに一括したというだけである。ただ地図1に示したように、これらの新田・村は熱田神宮の東南方で大高源兵衛新田よりも北に位置し、一定の地域的なまとまりは存在したようである。

①化物新田

加福新田の俗称で、明治期は愛知郡前浜村に属していた〔角川地名辞典〕。神戸家は1882（明治15）年にこの新田に地所を買得し（い568-7）地主経営を行った。ただし、神戸家はこれより以前にこの新田に関与していたようで、明治13年「化物新田墾闢費金之証」との表題を持つ封筒のみが残されている（い568-1-0）。今までは明治20年以前の史料が多かったが、今回は明治30年代の領収書などが目につく。

②紀左衛門新田（豊田村・呼続村）

明治11年に愛知郡豊田村に属し、同22年に呼続村に属した〔平凡社地名辞典〕。（その2）収録分はもっぱら地券と小作証書であったため、この新田と神戸家の関係が不明確であったが、（その3）収録文書からは、明治13年に春日井郡土器野村天野佐兵衛らとともに地所を購入したこと（い561）、地所を賃貸していることなどが判明する。今回は、大正3年の史料も含めて地主経営のなかで発生したさまざまな書付類がある。

③道徳前新田

現名古屋市の北西部にあたり、1821（文政4）年に開発が完了した新田である。江戸時代のうちから神戸家がこの新田に関与していたかどうかは不明である。1878年に豊田村の一部となる。

本目録記載の4点も（その4）に引き続き、明治17ないし18年に不要となった堤防敷地を尾張徳川家に売却したことに関連して発生した文書である。「徳川邸」という文字も見え、家従である橋本善述の名も文書作成者として現れる。当館所蔵神戸家文書のなかでこの新田に関する史料は、封筒を含めても、堤防敷地売却に関する16点しかなく、耕地まで神戸家が所有していたことがあるのかなど詳細は一切不明である。

④八左衛門新田（星崎村）

明治11年に愛知郡星崎村に属した〔角川地名辞典〕。神戸家は明治11年にこの新田の田畑宅地6町7反余を前出の紀左衛門新田でも登場した天野佐兵衛とともに購入した。また、星崎村立松善兵衛が川筋の土地を開墾したが、それが神戸家を含めた他の地主所有地に影響するというで明治13～15年に問題となった事件もあった（以上（その3,4）収録文書）。今回はこの開墾事件に関する文書が3点あるほか、日常的な地主経営の書付がある。

⑤笠寺村

これは明治22年に前浜村から改称された近代行政村の笠寺村を指す。神戸家はこの村の字上烏山の地所を明治29年に購入し、上烏山共有地の地権者の一人となった。明治38年には地所を売却している。笠寺村に関する文書は全てこの共有地に関するもので点数は（その3）では81点と比較的多いが、そのほとんどは明治29～38年の地租領収書である。今回の（その5）では、地租告知書ならびに領収書1点のみである。

⑥その他

熱田新田関係の史料が4点出てきた。1695（元禄8）年に熱田新田の地先を開発している（い2056）。元禄15年の開発願書の作成者「元材木町宗助」は、元禄期の大福帳（あ1042、あ1043）に現れる作成者「宗助」と同一人物とみられ、元材木町神戸家による開発と見てよいだろう。これは元禄8年開発とは違う部分のように受けとられ、この時期熱田新田地先の開発を神戸家が盛んに行っていたらしいことが窺われる。1817（文化14）年の作徳米勘定書の新田は、寛文期には成立していた熱田新田内の一部であることが〔平凡社地名辞典〕を参照すると判明し、上記元禄の開発願いなどの対象地とはまた別の部分である。

(9) 大高源兵衛新田

この新田は、1706（宝永3）年大高村の山口源兵衛が開発し、地積は田畑38町8反余である。明治11年には愛知郡鳴尾村に属した〔以上角川地名辞典〕。神戸家との関わりは開発当初からと思われるが、1706年の史料を欠くために不明である。この新田には神戸家のほかにも地主がおり、3ないし2人の地主グループを「名古屋方」と呼んでいた。

この新田における神戸家の経営組織は現段階ではあまりよくわからない。但し、中嶋半右衛門が名古屋方の支配人の役割を果たしていることは確実である。中嶋半右衛門は、もしも彼が後述の大項目にある中島屋半右衛門と同一人物であるとすれば、名古屋御菌町の商人であり、神戸家とは商業面でも経営提携を行っていた家である。つまり、大高源兵衛新田名古屋方の支配人は名古屋に居住している。これに対して現地の新田小屋で直接地主経営に従事していると見られる人物が惣助ないし惣兵衛である。惣助には地主グループから給分が支払われていた。

今回は、この惣助の奉公人請状が出てきたことが特筆される（享保3年、い1891）。「御小屋」で女房とともに勤務すること、規程の給金が支払われること、「御小屋」の諸道具が惣助に預けられることなどが規定されている。大高源兵衛新田の経営組織がより具体的に把握できるようになってきた。

(10) 知多郡の新田

①名和前新田

知多半島基部の天白川河口左岸にあり（地図1参照）、1695（元禄8）年に開発された。天白川をはさんで北隣に上述の源兵衛新田がある。犬山神戸家の一族伝八郎が出資したという〔以上角川地名辞典〕。

（その4）までの史料からは神戸文左衛門家の関与は明確ではなく、むしろ本家の鶴飼屋神戸弥左衛門の方が地主としては明確に出てくる（い479）。のちの大宝前新田支配人小川唯助の名前が同史料には出てきており、このことが神戸文左衛門家の関与を示すものである可能性がある。

今回の目録では、「掬米徴収」の項目に神戸文左衛門あての納米渡しに関する覚書が数通あり、地主としての神戸家の関与が明確である。

②武豊町

知多半島東海岸のほぼ中央にある港湾都市である。今回はその共有地に関する1892（明治25）年と1903（明治36）年の文書2点のみである。

(11) 三州伏見屋新田

三州伏見屋新田は、1666（寛文6）年江戸茅場町の伏見や又兵衛が開発した（い12-10）。開発から30年余を経て、1699（元禄12）年に同新田は尾州茶屋新田坂野新右衛門・同小川村塚本源左衛門・同名古屋佐藤六兵衛へ譲り渡されることとなった（い12-11）。譲渡証文によれば伏見屋新田180町6反3畝25歩、高1853.951石のうち、以下の地積・石高が譲渡されたという。

113町2反5畝10.57歩、高1042.728石（御蔵入分）
12町1畝1.43歩、高117.479石（松平与右衛門領分）
28町6反7畝4歩、高286.713石（松平弾正領分）
5町8反8畝27歩、高58.893石（松平万次郎領分）

以上の田畑には、伏見屋新田居屋敷1構、池川葭原并大堤外芦柳、伏見屋村小屋も付属していたことが明記されている。代金は1500両であった。こうした物件に付属して、①新田取立時の「御公儀御証文」（い12-10か）②「御給領方先年之御証文」「御蔵入御給領之御検地帳」「新田反畝割之大絵図」③「新田惣作人江之預り方地帳」「年々之年貢積諸帳」「諸書物等」、④「作人より取置申候預け方之証文」、といった文書も引き渡されている。

この譲渡証文に神戸家は出てこないが、実はこのときの買い取り資金を神戸家は他の3名とともに新地主の一人名古屋佐藤六兵衛（茶屋長固手代）に融資していた。融資は茶屋長固・佐藤六兵衛・小出茂左衛門の三人に対して行われ、その融資額は合計1550両で、その融資者別内訳は、向井彦左衛門が100両、岡田佐次右衛門が150両、神戸分四郎（初代分左衛門とは別人）が800両、大海彦四郎が500両である。

伏見屋新田は「四つ割」になっており、二口が佐藤六兵衛、長嶋清兵衛と小川村塚本源左衛門が一口ずつという分割であった。神戸家は、佐藤六兵衛分一口を、分四郎を名代として1550両で譲り受けている。これは元禄17年のことである（以上い12-9）。すなわち、神戸家は伏見屋新田のうち1505.813石のなかの四分の一分の地主4人の名代となったわけである。このとき神戸分四郎の手元にある「（佐藤）六兵衛より之譲証文」を互いに写し取り、また新田入用金の負担及び作徳米の配分は出金額に応ずること、それらの勘定は長嶋清兵衛・源左衛門・分四郎の「惣仲間」が立ち会って行い、分四郎が「仲間」（分四郎・向井彦左衛門・岡田佐次右衛門・大海彦四郎）へその結果を伝達することも取り決められた（同前）。つまり、伏見屋新田における地主仲間は上位の「惣仲間」と下位の「仲間」に重層化しており、神戸家は「惣仲間」の一員と「仲間」の名代を兼ねていたことになる。神戸家が所属していた「仲間」は「尾州方」と呼ばれていた。

伏見屋新田における「尾州方」の支配人的存在は、1708（宝永5）年以前は若山佐助と佐治豊蔵、同年以後は中島半右衛門であった。

1711（正徳元）年12月、「伏見屋新田四つ割一分」を「連中」として「扣」ていたが、「惣新田」が三州鷺塚村片山甚五郎に520両で売り払われたため、神戸家は「地代銘々当金」つまり自分の持ち分に応じた金額を受け取った（あ3695）。これに伴い、新田諸帳面を新地主に引き渡し、これに伴い引渡目録も作成されている（あ3689）。

このように神戸家は1704年から1711年までのわずか足かけ8年しか伏見屋新田との関わりを持たなかったのであるが、史料の伝存は比較的良好であり、（その2）には多数の文書を登録した。

この新田の文書は、（その3）、（その4）では1点もなかったが、今回は1706（宝永3）年から1709（宝永

6) 年にかけて毎月の新田経営費用を尾州方支配人が神戸家から受け取った際の領収書が20点ある。作成者が1707(宝永4)年6月までが若山佐助、それ以後1708(宝永5)年6月までが中野権兵衛、1709(宝永6)年9月までが中嶋半右衛門と交代していることがわかる。尾州方支配人は輪番制であったのかどうか、三州伏見屋新田の経営組織がわかる手がかりが得られた。

(12) 三河国の新田

①吉塩崎永岡新田

地名事典の限りでは所在不明の新田である。この新田の史料は、(その2)において元禄から宝永期の検地帳1冊と経営費用関係諸帳簿2冊のみであったが、今回は5点の史料が検索手段に新たに登録され、合計8点となった。

(13) 三重県の新田

①和泉新田

桑名郡にあり近世以来1889(明治22)年までこの村名である。木曾川河口の乱流域にある〔角川地名辞典〕(地図1参照)。(その2)では地券のみ、(その3)では1887～1881(明治10～14)年の「永代売渡地所証券」など6点があった。今回は書状2通のみである。

②中和泉新田

上記和泉新田の南側に開発された新田である〔角川地名辞典〕。神戸家はこの新田のなかの地所を1877(明治10)年に桑名郡見入新田黒宮嘉左衛門から買い取り(あ3657)、1900(同33)年に早川忠蔵に売り渡している(あ3596,3597)。今回収録分は1877(明治10)年の土地売買証文と地租関係書付の2通である。

(14) 領主御用

神戸家は1700(元禄13)年に借上金御用を勤めたことを皮切りに、主要なものだけでも、1802(享和2)年に御勝手御用を、1823(文政6)年に町奉行所御用達を、1842(天保13)年に再び御勝手(小納戸)御用を、1849(嘉永2)年には町役金引当調達金御用向を、1855(安政2)年には講取締役をそれぞれ勤めている。これらの活動に対応して、1725(享保10)年に年頭御目見得を許され、以後代々家督相続の際には継目御目見得を行っているから、神戸家は尾張藩の御用商人としての性格も持っていると言えよう。

今回収録分の文書は断片的なものが4点あるだけである。

以上の諸史料は、神戸家が特定の役職や機能を担いそれに伴って授受作成された史料であり、神戸家が単なる名古屋の一町人あるいは一新田地主として例えば調達金を上納している史料とは性格が異なることに注意されたい。そのような史料は「神戸家・勘定場/公儀との関係/御用金・貸上金」、あるいは「大宝前(神戸)新田/公儀との関係/調達金・拝借金・上納金」に配列したことを蛇足ながら付け加えておく。もっとも、作成も宛先も欠くような書付類が単独で現存している場合はどちらとも判別しかねることが多い。そのような場合は便宜上本項目の「その他」に入れておいた。

(15) 元材木町

神戸家が居住している地縁団体としての町の史料である。本目録では、町内で「譲り」（家督相続や町屋敷の売買）があった際の加入礼銀の規定1点のみである。「町代」という名古屋の個別町の役人の名称が出てくるので、江戸ではなく名古屋の文書である。

(16) 江戸町屋敷経営（神戸彦七・家守来家太七）

神戸家は1695（元禄8）年に江戸下船町一丁目において町屋敷経営を買得し、それ以降町屋敷経営を行っていた。この経営は初代文左衛門安政の弟彦七（彦七郎）が担当し、直接には家守来家太七が町屋敷の管理業務を行った。江戸霊岸島東湊町に居住する神戸彦七は、1708（宝永5）年以後の大宝前新田の出資者としても登場しており、彦七家が文左衛門家の経営にとって不可欠の存在であることを窺わせる。

この項目に関する主要帳簿はすでに目録（その1）に収録されているので、今回も（その2～4）に引き続き全て書付型史料である。

本項目では、注目すべき文書が2種類ある。

一つ目は、1733（享保18）年と推定される2月19日付けの飢人への施行に関する「覚」である（い1399-82、口絵写真1）。神戸家の江戸町屋敷経営に関与する堤文助が、江戸の飢饉情勢を名古屋の神戸分左衛門に知らせたものである。この大部分は、享保18年正月28日付け町触（『江戸町触集成』6270）の部分的に改変された写しである。末尾では、永代寺門前中で施行が行われたことを有難いことであると評している。なお、文書作成日の20日前には有名な高間伝兵衛宅の打ちこわしが起きている。

もう一つは、分家の神戸彦七家の経営状況が判明する、単年度の収支報告書（「金銀請払目録」）と資産計算書（「家屋敷有金目録」）が、1722（享保7）年から1729（享保14）年にかけて、合計15通ある（口絵写真2）。これらは園部与一郎・渡部三郎右衛門が作成者であり、理仙と神戸分左衛門が宛先である。理仙は初代彦七の妻よしのことである（27頁系図参照）。また、享保7年「家屋敷有金目録」（い2026-1）には「右之通彦七様御家督丑之暮迄御勘定有金銀、前書之通私共江御預ヶ御支配被仰付、目録之通私共御預り御支配申所実正也」とあり、神戸彦七家の経営を園部と渡部の二人が代行していたことがわかる。その事情は、彦七家一代目と二代目が1707（宝永4）年の3月と12月に相次いで死亡したためであると思われる（系図参照）。経営代行者からの報告が亡き当主の母親とともに神戸分左衛門にもなされたため、分家の経営状況を記した文書が神戸分左衛門家に残されたのである。

(17) 御園町中嶋屋半右衛門・永田善次郎

目録（その1）では、彼らの作成した商業経営帳簿など38冊を末尾に収録し、彼らの経営体は神戸家からは独立していたと推測した上で、なぜ彼らの経営帳簿が神戸家文書に含まれるのかを目録（その2）以降の課題としておいた。その後（その4）解題において、永田善次郎が、神戸家の婿入り婿取り相手である永田清三郎家を継いだのち、神戸分左衛門家から財産分与を受けたこと、それにもかかわらず元材木町に居住し続けたことを明らかにし、永田善次郎の文書が神戸家文書のなかに含まれる理由の一端を示しておいた。

今回は、仕切状が10通、借用証文が15通などである。

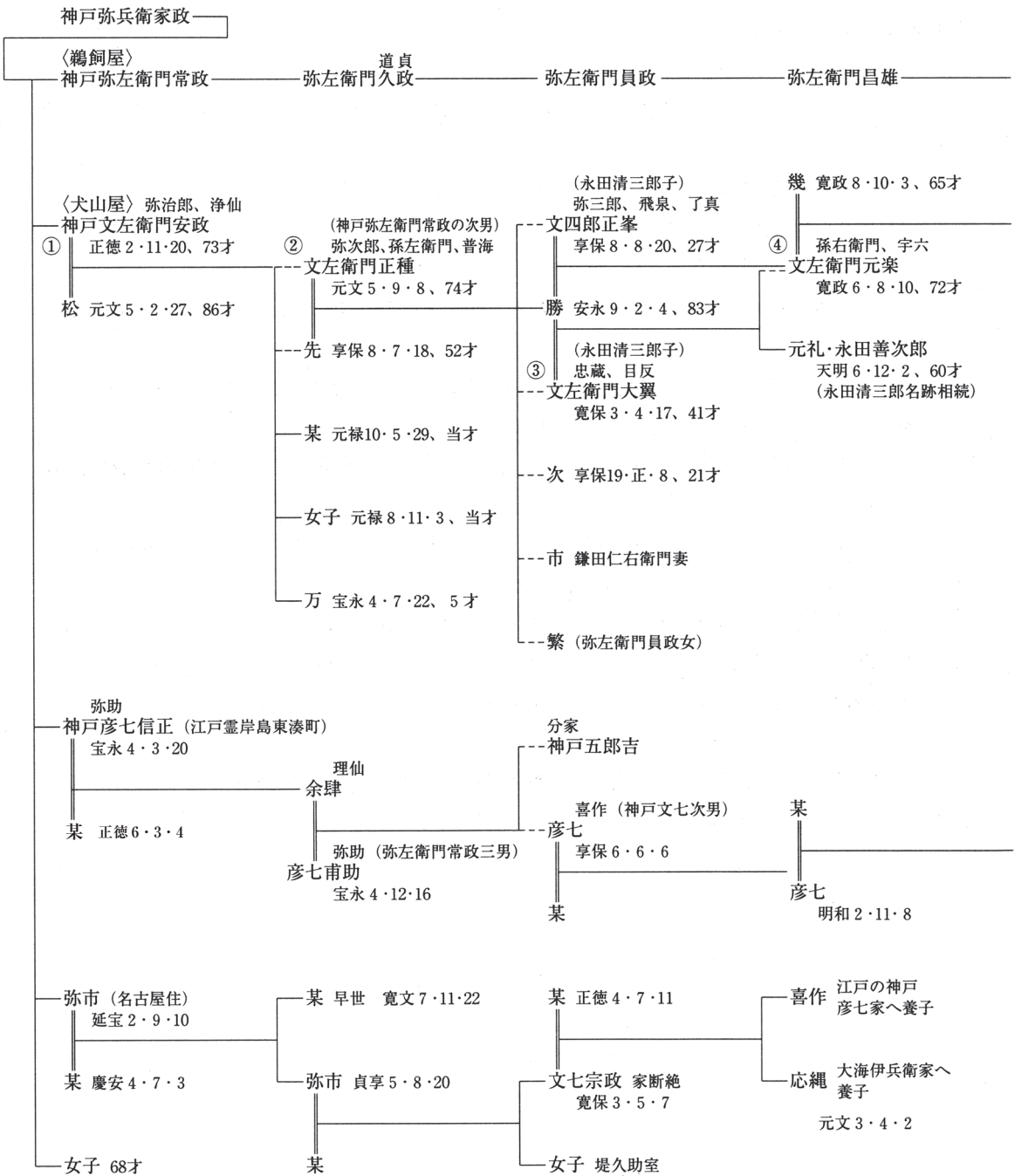
(18) 新田不明、業務単位不明、混入文書について

「新田不明」は、新田経営に関する文書と判断できるが、新田名を特定できない文書を所属させた。「業務単位不明」は、何の活動に関する文書なのか推定できない文書を配列した。「混入文書」は、なぜ神戸家文書に現存しているのか説明不可能な文書を所属させた。これについては今後神戸家文書のなかでの位置づけが明らかになれば混入文書ではないことになる可能性もある。

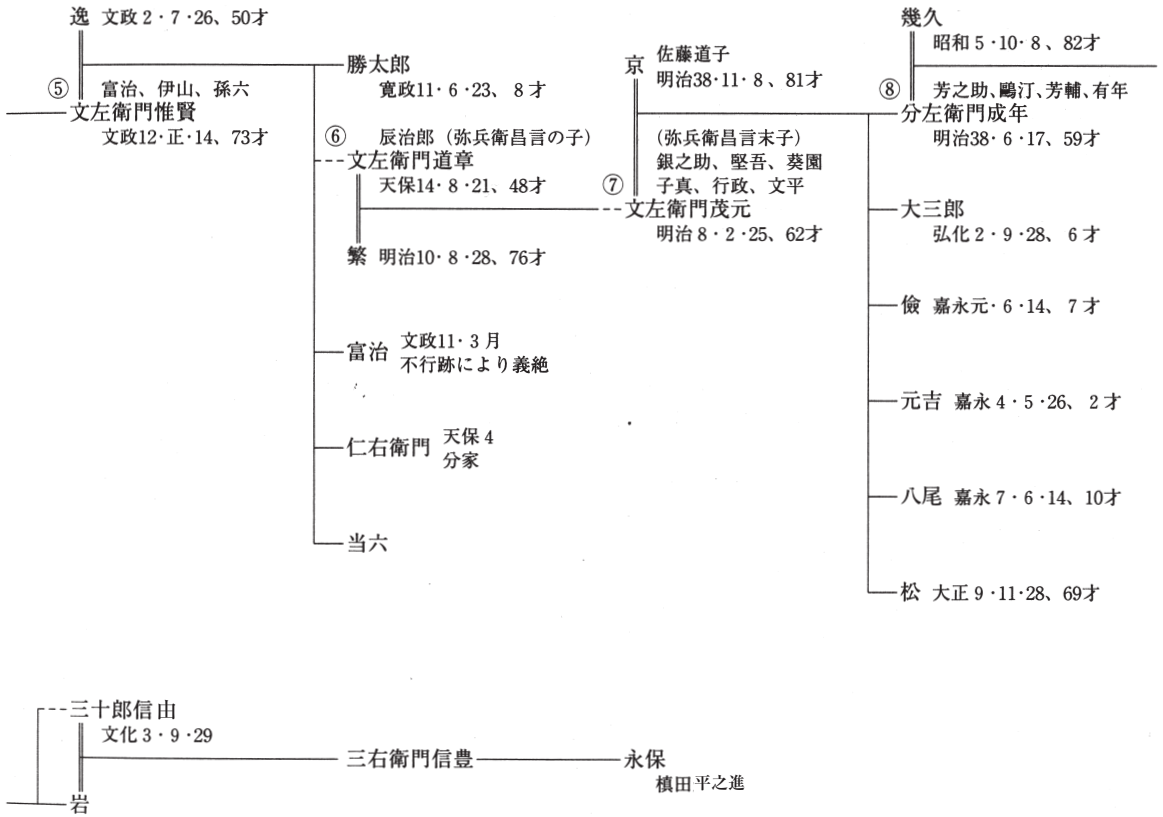
【参考文献】(著者の50音順)

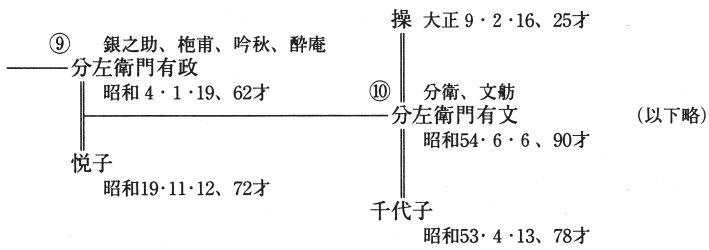
- 安藤正人 『記録史料学と現代』(吉川弘文館、1998年)
- 飯島利夫・小杉正・中村一郎・三宅明彦・安井宮一編 『神戸家文書 御用留』(十四山村教育委員会、1992年)
- 大石慎三郎 「町人請負新田の成立事情—神戸新田(大宝前新田)の場合—」(『史学雑誌』60-9、1951年、のち同著『封建的土地所有の解体過程』御茶ノ水書房、1968年に収録)
- 大藤 修・安藤正人 『史料保存と文書館学』(吉川弘文館、1986年)
- 菊地利夫 「先進地型町人請負新田としての大宝前(神戸)新田の諸問題」(同著『続・新田開発 事例編』第十四章、古今書院、1986年)
- 作道洋太郎 「取引・証文、経営・帳簿」(『日本古文書学講座』7 近世編Ⅱ、雄山閣、1979年)
- 史料館編 『史料の整理と管理』(岩波書店、1988年)
- 白石 孝 「日本橋堀江町・小舟町商業史覚書一問屋と街」(『三田商学研究』41-2、1998年)
- 所 三男 「運材中継基地としての犬山—木曾川運材史の一齣—」(『徳川林制史研究所研究紀要 昭和42年度』、1967年)
- 同 「近世初期商人による用材生産」(『徳川林制史研究所研究紀要 昭和45年度』、1970年)
- 同 『近世林業史の研究』(吉川弘文館、1980年)
- 水野 潔 「尾州商人神戸家の江戸町屋敷経営」(『法政史論』16、1988年)
- 鷲崎俊太郎 「徳川前期の町屋敷経営と不動産投資—江戸小舟町・神戸家のケース・スタディー—」(『三田学会雑誌』101-2、2008年)
- 渡辺浩一 「日本近世・近代在地記録史料群の階層構造分析方法について」(国文学研究資料館編『アーカイブズの構造認識と編成記述』思文閣出版、2014年)
- 新修名古屋市史編集委員会編 『新修名古屋市史』4(名古屋市、1999年)
- 『角川日本地名大辞典 23 愛知県』(角川書店、1991年、〔角川地名辞典〕と略記)
- 『日本歴史地名大系 第二三巻 愛知県の地名』(平凡社、1981年、〔平凡社地名辞典〕と略記)
- 〔付記〕 本目録の編成と解題執筆は渡辺浩一が担当した。整理作業では小田真裕氏・上川准氏・上條静香氏・工藤航平氏・菅原一氏・鈴木直樹氏・芹口真結子氏・武子裕美氏・武林弘恵氏・古畑侑亮氏・望月良親氏・山田真理子氏の協力を得た。記して感謝したい。

神戸家系図



弥兵衛昌言 (以下省略)





- 注 (1) 襲名上の名は幼名、元服名、号、隠居名などである。
 (2) 名前右下の年月日は命日、年齢は死亡日年齢を示す。
 (3) 実線は血縁、点線は非血縁関係を表わす。
 (4) 典拠は、『神戸氏系譜』(二種あり)、『永田家系譜大略』
 (寛政11年)。 (いずれも神戸家所蔵)

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
神戸家・勘定場			
経営全体			
金改有金覚帳			
(辰～未暮迄の有金221両内訳書上)		横切継紙・1通	い1572
金出入帳			
金銀出入当座控 神戸茂元	天保12年丑12月	横長半(一ツ綴・ひねり綴)/(一ツ綴の上からひねり綴でまとめている)・1冊	い1527
諸帳簿			
盆後金銀当分覚帳 神戸氏	天保12丑7月	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1526
仲満買大嶋黒砂糖式百樽代差引覚 分吉→分左衛門殿	午正月13日	横半半(一ツ綴)/(綴穴あり)・1冊	い 1349-2
覚(美濃屋佐市他7名納米ノ38石5斗勘定書付) *横長半の1枚か	12月7日	折紙・1通	い 1397-3
釣玄別口金おぼえ帳		横長半/(い1402-64~88は一綴)・1冊	い 1402-64
(払メ・町払金など支払を借家金・調達金利足など入用金にて充当の算用書、酉年～子年)		横長半(ひねり綴)/綴紐破損)・1冊	い 1661
①覚(戌4月元金・川岸地料より材木代など引き12両3分余受取皆済の旨)、②覚(戌4月元金・川岸地料より材木代など引き合261両7分余の書上)	戌4月～子7月	横長半(一ツ綴)/(い1769-1~3は紙縫一括)/(い1769-1-1~3は巻込一括)・1冊	い 1769-1-1
(元金63両より新田検見入用・町内御役銀等の日付順支出書付)		横長半(一ツ綴)/(い1864-9-1~12は紙縫一綴)・1冊	い 1864-9-1
(米屋人足への払米代金など金銭書付)	寅年	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1864-9-2
覚(米売払金等と新田入用金等の差引勘定) *朱書あり		横長半(綴紐欠)/(3枚)・1冊	い 1864-9-4
覚(旦那様より預り金と長崎町入用金等の差引勘定) *朱書あり		横長半(綴紐欠)/(2枚)・1冊	い 1864-9-5
覚(戌暮家賃残り分2両余受取など金銭書付) *朱書あり		横長半(ひねり綴)・1冊	い 1864-9-6
金出入覚(旦那様より入金並びに新田入用金出金など金銭勘定書) *朱書あり		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1864-9-7
(預り金から貸付金など金銭差引勘定書)		横長半(一ツ綴)/(い1864-10-1~2は一綴)・1冊	い 1864-10-1

神戸家・勘定場/経営全体/諸帳簿

覚(半六分米麦金渡しの手付)		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1864-11
明治十年丑年分元帳ニ付へき分取替物		横長半(1ツ綴)・1冊	い 1401-201
明治十一年寅年取換分(車町講金・直彦公債買付・木挽町地租等の合計、寅年分左衛門元帳へ付け出す分と取替ものを家賃より取替につき)	卯7月13日	横長半(1ツ綴)/(い1401-200~226は綴一括)・1冊	い 1401-200a
記(明治9年地租および改正地租計算書) 三ツ井→栄二	卯9月25日	折紙・1通	い 1401-200b
①記(4千円17年1月より4月まで利子金160円ほか金銭書上)、②利子記(金176円66銭7厘18年1、2月分利子7厘5毛他ノ金49円2銭2厘6毛)	②(明治)18年7月13日	横長半(1ツ綴)/下札あり)・1冊	い 1401-218
(明治9年7月より11年3月まで金銭、新田等級書上)		手帳(一部鉛筆書き)/(い1403-91~99は一綴)・1冊	い 1403-91

奉公人・従業員

一札之事(鵜飼町只助召抱えに伴い名古屋の宗門改帳へ付け置くにつき) 名古屋元材木町分左衛門→犬山鵜飼町下代助九郎殿・傳右衛門殿	正徳6年申正月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1914
請取申御給金之事(与助悴市助女房はる給金1両2分) 海西郡芝井新田市助親与助(印)・同郡同村佐吉(印)→名古屋元材木町犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保12年未之3月	縦切紙・1通	い 1350
覚(金2両奉公加金入用受取につき) 武左衛門→(神戸)分左衛門様	申12月2日	縦切紙・1通	い 1400-91
(市左衛門諸道具小袖ひとつ荷・ふとん2状ほか書上)		横切紙綴・1通	い 1457
証(拙者是迄貴家へ雇われの所本日解雇にて金30両恵与下され、衣服等の所有品悉皆受取につき) *い1399-87と関連 日比野綾三(印)・保証人神戸寅彦[印]→神戸分左衛門殿	明治16年6月24日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1399-86
証(金30円神戸分左衛門殿よりの御恵与金貴殿御取次をもって受取につき) 日比野綾三(印)→小澤甚七殿	明治16年12月7日	青色罫紙/(10行)/(虫損あり)・1通	い 1399-87
(「山中紀保雇入之分ニ付来簡」全文)	明治30年8月	札/(い1401-338~345はクリップ一括)・1点	い 1401-338
(封筒) * (封筒表書)「沢田鍵吉本日解雇ニ付金十五円贈与ニ付同人より右金円并ニ所持品等受取タルニ付後証書保証人同人兄兼吉連署 明治三十七年六月十八日附」/い1399-95-2~3と関連		封筒・1冊	い 1399-95-1
月給受取帳 沢田鍵吉	明治34年2月	横半半・1冊	い 1399-95-2
証(拙者解雇にて勤務中の月給決算並びに所持品受取更に金65円御恵贈下され受取につき) 名古屋市木挽町二丁目廿二番戸本人沢田鍵吉(印)・名古屋市木挽町二丁目廿二番戸保証人右鍵吉兄佐技兼吉(印)→神戸分左衛門殿	明治37年6月18日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1399-95-3
(山中事務取扱日数ノ53日金16円97銭を割につき)		折紙・1通	い 1401-339
(5月12日より新田へ出改ほか帰村帰宅日数書上)	8月31日	折紙・1通	い 1401-340

(一ト先御返却の義使いをもって申し上げれども返却下されずにつき書状) 山中紀保→神戸分左衛門方ニテ佐藤葉松殿御付侍中	9月3日	横切継紙・1通	い 1401-341
(一ト先御返却成られたきにつき書状) 山中紀保→(佐藤)葉松様	9月3日	横切継紙・1通	い 1401-342
(代言人理解しがたく一兩日中面談につき書状) 鳥甚→(神戸)分左衛門様	9月19日	横切紙・1通	い 1401-343
(差し掛かりにつき一応お知らせにつき書状) 村井→神戸様	9月19日	切紙・1通	い 1401-344
(代言人に委任状渡し尋問を遂げたきにつき書状) (山中)紀保→(村井)高忠様貴下	9月19日	横切継紙・1通	い 1401-345

奉公人宗門改

一札(召仕の男女宗旨改済の旨申上書) * (端表書)「料代目直紙ニ認め候事」/い1493-15と同内容 神戸文左衛門→成瀬加兵衛様・浅野彦五郎様・加藤五郎左衛門様	安政7年申3月	豎紙・1通	い 1493-12
一札(召仕の男女宗旨改済の旨申上書) * (端表書)「料代目直紙ニ認め候事」/い1493-12と同内容/下書 →成瀬加兵衛様・浅野彦五郎様・加藤五郎左衛門様	安政7年申3月	豎紙・1通	い 1493-15

経営記録

備忘(新田経営関係など日記、巳年11月21日～午年3月2日) 釣玄斎扣	乙巳臘月	横美半(下げ二ツ目綴)・1冊	い 1555
備忘(新田経営関係など日記、巳年正月～11月19日) * 墨消あり 釣玄斎扣	巳歳明吉辰	横半半(下げ二ツ目綴)・1冊	い 1556
備忘(新田経営関係など日記、4月18日～6月晦日) 釣玄斎扣	酉に春	横美半(下げ二ツ目綴)・1冊	い 1557-1
(貸米一件、御勘定所預金ほか経営業務箇条書)		横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1399-17
おほへ(塚橋普請、名和前新田与左衛門売米ほか経営業務箇条書)		横切継紙・1通	い 1399-18
(御年貢米8石未進之事ほか備忘のため箇条書き)		横切紙/(い1402-196～227は一綴)・1通	い 1402-196
覚(お京400文亥盆前町払込残金他10項目の金額を戌暮帳面に付けることにつき)		横切継紙/(い1403-100～101は一綴)/(虫損あり)・1通	い 1403-100
覚(銭屋喜兵衛名代蠟買入手形など見出し次第帰るべき旨達書) 木村久左衛門(印)→神戸分左衛門殿	亥4月晦日	豎切紙・1通	い 1530-13
(7月24日から10月朔日までの来訪者書上) * 前欠		横切紙・1通	い 1559-5
(秋葉山代参等の事項箇条書)		小切紙/(い1559-5とい1559-7の間に挟込)・1通	い 1559-6
(10月6日から12月16日までの来訪者書上)		横切継紙・1通	い 1559-7
(田町3ヶ年利足徴収、京町政助借家買入方など経営業務箇条書)		横切継紙・1通	い 1687

神戸家・勘定場/経営全体/経営記録

(田町利足徴収、七間町借家売払など経営業務簡条書)		横切継紙・1通	い 1688
覚(井桁預け金の利足、京町帳面差引残金など諸事務簡条書)		横切継紙・1通	い 1703
覚(「福田口金式百両栗笠手形書込之事」「京町借家金銀取間違之事」ほか業務簡条書付)		横切継紙・1通	い 1710
(包紙) * (包紙上書)「十四両、小瀬米取かへ口」		包紙/(い 1733-1~2は巻込一括)/(虫損甚大)・1点	い 1733-1
覚(犬山引概一件、新田米の事など経営業務簡条書) *裏面は材木町旦那様宛の包紙に転用		折紙/(虫損甚大)・1通	い 1733-2
(会計方法につき覚書)		横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1769-2
「六月晦日廿兩仕分帳付出し」		小切紙・1通	い 1808
(服や弥五介事甚定右衛門居所につき書付)		小切継紙/(い 1995-1~15は紙縫一括)・1通	い 1995-1
当分覚(卯11月25日御免定下がる、御城御目見得他につき)		横切継紙・1通	い 1397-33
証(電灯引用につき庇へ電灯計附着につき) * (封筒表書)「廿八年三月六日牛田庄七ヨリ依頼ニテ和泉町五拾番戸庇ニ電灯計附着ノ義承諾ニ付同人ヨリ差入レ証書」 名古屋和泉町四十九番戸牛田庄七(印)→神戸分左衛門殿	明治28年3月6日	罫紙・1通	い 1593

為替

為替手形之事(熱田白鳥にて深谷新助殿へ指登せの仕切残金15兩3分余につき) 神戸彦七郎[印]→神戸分左衛門殿、(裏書)源谷新助(印)→神戸分左衛門殿	享保10年巳9月12日	堅切紙/(い 1291-1~3は一綴)・1通	い 1291-1
為替手形之事(名古屋上材木町にて川村善重郎殿へ指登せの仕切残金16兩1分余につき) 神戸彦七郎[印]、(裏書)川村善十郎代小兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保10年巳9月12日	堅切紙・1通	い 1291-2
為替手形之事(名古屋下材木町にて中村庄藏殿へ指登せの仕切残金13兩2分余につき) 神戸彦七郎[印]→神戸分左衛門殿、(裏書)中村庄藏(印)→神戸分左衛門殿	享保10年巳9月12日	堅切紙・1通	い 1291-3
請取申為替金子之事(江戸への為替金50兩受取書) 磯貝与兵衛(印「仕宝」)→神戸分左衛門殿	午之3月8日	堅切紙・1通	い 1927

勘定書付

(袋) * (袋上書)「元文元年辰高勘定帳」/(後筆青字)「帳抜」	元文元年	袋/(い 1553-0~7は一綴)・1点	い 1553-0
覚(元金・返金分金子送付につき取計依頼状) 美濃屋→犬山屋様	9月18日	横切継紙・1通	い 1553-1
覚(大高新田入用勘定書)	申12月30日	横切継紙・1通	い 1553-2
覚(七間町仁右衛門・塩町十兵衛等の辰暮残金合計より卯年残金差引年中受取金勘定書)	寛延元年	横切紙/(虫損甚大)・1通	い 1553-3

(手取金より返金分金銭差引勘定書)	巳8月20日	横切継紙・1通	い 1553-4
(江戸・犬山へ送付分米・金差引勘定書)		横切継紙・1通	い 1553-5
(金銭勘定書)		横切継紙・1通	い 1553-6
覚(金10両の内残金6両2分余差引受取依頼書) 山田 喜右衛門・藤田頼右衛門→神戸分左衛門殿	元文元年辰12月	横切継紙・1通	い 1615-26
覚(各種板代金11両余勘定書付) 山田屋源助→神戸加 兵衛様	(寛延元年)辰5月	縦継紙・1通	い 1998-21
(明和2酉11月29日神戸弥左衛門分金100両ほか金銭 書上覚)	(明和)	横切継紙・1通	い 1400-30
覚(銀97匁7分問屋払分ほか差引 52匁3分につき)	(嘉永)5年子閏2月14日	横切継紙・1通	い 1394-9
(差金34両銀4匁8分2厘の一部請取覚)	(近世)	横切紙・1通	い 1394-15
(98両3分7匁6分3他金銭書上覚)	(近世)	横切紙・1通	い 1394-23
差引書(3月切売物代仕切銀等より買物代ほか差引勘 定書) 河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門様	近世8月28日	横切紙・1通	い 1655-10- 12
覚(当米分など金3両差引勘定書付)	(近世)	横切紙・1通	い 1998-2
(勘定不足・普請入用不足等ノ12両余勘定書付)	(近世)	小切継紙・1通	い 1998-3
覚(金30両内訳につき) 徳右衛門	11月23日	切継紙・1通	い 1294-39
覚(新金20両渡し白油2樽受取につき) 清水屋九兵衛 (印)→犬山屋分四郎殿	寅2月6日	縦継紙・1通	い 1294-42
丑正月より名古屋取替(2月晦日~12月29日みそ・紬・ たはこ代書上)		横切継紙・1通	い 1347
(大嶋黒砂糖50樽代1貫981匁余・小印同100樽代4貫 297匁余ほか書上)		横切継紙/(い 1349-1~8は一 綴)・1通	い 1349-1
大嶋黒砂糖辰七月甚左仕切(黒砂糖100樽代5貫315匁 書上)	辰7月	横切継紙・1通	い 1349-4
(4貫668匁9分3厘棚卸帳面有物代ほか金銭書上覚)		折紙/(簿冊の 断簡か)・1通	い 1396-19
覚(海西郡神戸新田高並びに1ヶ年分作徳米見積) * 下書/後欠		縦切紙/(虫損 あり)・1通	い 1396-31
(元材木町本宅ほか御役銀凡金17両程ほか年内仏事 入用など合計金ノ353両支出見積もり) *前後欠		縦切紙/(虫損 あり)・1通	い 1396-32
覚(年々豊凶ならし1ヶ年凡米330石新田作徳米、本宅 造作入用など神戸家収支見積もり) *後欠		縦切紙/(虫損 あり)/(貼紙あ り)・1通	い 1396-33
(39両3分4匁ほか金銭書上覚)		折紙/(横長半 の1枚か、綴穴 あり)・1通	い 1397-13
(正金・札金ほか勘定書付)		横切継紙・1通	い 1397-35
(残金12両2分7匁7分6厘1毛ほか金銭相認めにつ き覚) *前欠	亥9月19日	横切継紙・1通	い 1400-33
覚(札3両1分8匁5厘外新田米他ノ12両4匁9分8厘ほ か書上につき)		折紙/(虫損あ り)・1通	い 1402-70

神戸家・勘定場/経営全体/勘定書付

覚(元70兩此引2兩3分ト3匁犬山へ遣し差引2兩と6匁5分外新田勘定6月29日受取につき)		折紙/(虫損あり)・1通	い1402-71
覚(正2兩3分他メ札3兩2分2朱・正4兩金銭ト12匁5分金銭書上につき)		横切継紙・1通	い1402-72
覚(金561兩2分14匁3分7厘ほか合564兩3分8匁4分6厘亥年中惣体出金と相成入帳願につき)	子12月	横切継紙/(虫損あり)・1通	い1403-101
覚(彦七請取目録金・大宝新田年々請取金ほか勘定書上) *後欠		縦切紙・1通	い1433
覚(白油受取、金30兩渡しにつき) 清水や九兵衛(印)→犬山や分四郎殿	寅正月19日	縦紙・1通	い1530-36
覚(平岩七太夫足米代金銀受取書) 米や庄右衛門(印)→賀野幸右衛門様	酉12月14日	縦紙・1通	い1530-49
覚(仙台大豆30俵預け状) (名古屋万屋町粟津)わたや平右衛門(印)→犬山屋(神戸)分左衛門様・御内(中嶋)半右衛門殿	申6月17日	縦切紙・1通	い1530-50
覚(大豆・小麦代受取書) (名古屋万屋町粟津)わたや平右衛門(印)→犬山屋(神戸)分左衛門様・御内(中嶋)半右衛門殿	申ノ6月17日	縦紙・1通	い1530-51
覚(納餅代金銀差上書) 米や庄右衛門(印)→長谷川儀左衛門様	丑ノ5月17日	縦紙・1通	い1530-52
覚(出金元利・徳用金勘定書)		縦継紙・1通	い1530-56
覚(丈助より打替間銀差引勘定書)		小切紙・1通	い1531-9
(正金差引勘定書)		折紙・1通	い1553-7
(米代金・利足差引金1兩1分余益につき書上)		切継紙・1通	い1566-11
銀子差引覚(河内屋作兵衛よりの受取銀より10月分仕切銀差引) 河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門様	午12月15日	横切紙・1通	い1655-10-14
銀指引覚(河内屋茂兵衛よりの受取銀より河内屋作兵衛等への支払銀差引) 河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門様	丑11月28日	横切継紙・1通	い1655-10-15
覚(寅度引合他メ77兩3分余より盆前払借り金20兩他を引いた書上)	7月11日~23日	折紙/(虫損あり)・1通	い1796
①覚(半六利足・新田利足・本家利益メ25兩の書上)、 ②覚(葵園かり・丑年より持越かりの分他メ33兩の書上)		折紙・1通	い1818
覚(おきやう渡金など金銭差引勘定書)		折紙・1通	い1864-9-9
覚(旦那様預り金と長崎町入用金等の差引勘定3兩余書付)		折紙・1通	い1864-9-10
勘定覚(盆前に小遣帳を引き合わせる事など勘定の際の注意点書付) *朱書あり		折紙・1通	い1864-9-11
覚(盆前取立金など金銭勘定書)		折紙・1通	い1864-9-12
未年かへ切手(新田・名古屋借家収入等の合計762兩から普請代金など差引勘定146兩書付)		切継紙・1通	い1981-7
覚(「蟹江口」元金・利金と講金・釜代金など差引勘定59兩余書付)		横切継紙・1通	い1981-16

(銀405匁5分5厘など金銭書上) 四郎兵衛新田藤次郎→ 神戸様	辰12月25日	切紙・1通	い 2001-3
覚(亥年より卯年まで5年分利損金書上)		堅切紙・1通	い 2031
(元金70円に対する31年10月より32年6月までの元利 計算書)	(近代)	切紙・1通	い 1401-178
(22円他×55円89銭金銭書上覚)		横切継紙・1通	い 1402-204
(金21円33銭3厘他×金54円91銭7厘6毛金銭書上覚)		横切継紙・1通	い 1402-205
記(金320円他×金2020円金銭書上)		折紙・1通	い 1402-207
記(金10円5銭7厘20年度田租決算額本月20日ほか地 租書上につき)		横切紙・1通	い 1402-246
記(金7円11銭9厘土地整理諸入費他×金20円30銭5厘 金銭書上につき)		横切紙・1通	い 1402-247
(金1円81銭3厘他×金43円56銭5毛ほか税金書上覚)	8月27日	横切継紙・1通	い 1402-250
記(306円66銭6厘4000円利ほか金銭差引書上につき)	7月30日	折紙・1通	い 1403-103

領収書等

請取申金子之事(樞代など受取書) いせ屋清兵衛 (印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保9年辰12月晦日	堅紙/(い 1530-1~56は 一綴)・1通	い 1530-1
受取申金子之事(樞代など受取書) いせ屋清兵衛 (印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保9年辰12月18日	堅紙・1通	い 1530-2
請取申金子之事(天井板代受取手形) 矢嶋茂右衛門 (印)→堤久助殿・中嶋勘四郎殿	享保9年辰8月	堅紙・1通	い 1530-3
請取申金子之事(天井板代受取手形) 矢嶋茂右衛門 (印)→堤久助殿・中嶋勘四郎殿	享保9年辰9月13日	堅紙・1通	い 1530-4
請取申金子之事(酉夏老番川未年分三口堰五貳中扨 代のうち小判30兩受取につき) 中村七兵衛代弥助 (印)→神戸分左衛門殿	享保14年酉5月21日	堅切紙・1通	い 1308-50
覚(当晦日切売物代銀受取手形) 河内屋七郎兵衛(印)、 (裏書)川村九兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保14年酉11月18日	堅切紙・1通	い 1530-5
覚(蔵1ヶ所代15兩受取書) みその町亀や甚助(印)→堤 久助殿	享保16亥ノ11月22日	堅継紙・1通	い 1480
請取申金子之事(普海様より買い取った名古屋本町 通玉屋町他1軒家屋敷売り払い代金×87兩) 京松 原通富小路西江入町尼梅枝(印)・同人祖父証人庄兵衛[印] →井筒屋庄兵衛殿・山形屋庄兵衛殿	元文4年未5月2日	堅継紙・1通	い 1294-22
覚(金10兩受取につき) 梅枝祖父庄兵衛→山形屋庄兵衛 様	未5月2日	堅切紙・1通	い 1294-38
覚(金4兩受取につき) 車町分蔵(印)→神戸分四郎様	刁7月12日	切紙・1通	い 1294-40
覚(分銀40兩他×50兩御入掌なられたきにつき) 鈴 木→神戸様御支配人衆	(近世)閏2月	横切紙・1通	い 1394-10
覚(3匁書上につき) ちちふや政八→犬山屋嘉兵衛様	亥極月	堅切紙・1通	い 1396-17
覚(米札9兩10匁請取につき) 中嶋屋彦三郎[印]尾州名 古屋戸田町中彦]→美濃屋惣兵衛様	12月25日	横切紙・1通	い 1400-67

神戸家・勘定場/経営全体/領収書等

覚(正金11両1分米金15両2分請取につき) よろすや 栄治→神戸様	未極月29日	横切継紙・1通	い 1402-75
覚(人足賃108文受取書) 問屋(印)	4月18日	小切紙(灰色宿紙)・1通	い 1492-5
覚(人足賃164文受取書) 岩塚問屋(印)→犬山屋	4月18日	小切紙(灰色宿紙)・1通	い 1492-6
(犬山屋文左衛門屋人足賃銭の儀につき達書) 永田 哲九郎→神戸宿・岩塚宿問屋志口(虫損)	4月18日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1492-4
覚(さし釵釵代受取書) 河内屋七郎兵衛(印)→神戸分左 衛門殿	卯8月28日	堅切紙・1通	い 1530-9
覚(白祖代受取書) (尾州名古屋)いつ、屋甚左衛門(印)→ 犬山屋(神戸)分左衛門殿	卯ノ10月8日	堅切紙・1通	い 1530-11
覚(大さし売物代受取書) *(端書)「河内屋七郎兵衛より 請取」 河内屋茂兵衛(印)→神戸分左衛門殿	卯8月22日	小切紙・1通	い 1530-12
覚(くりわた代受取書) (名護屋)濱嶋源兵衛(印)→中嶋 半右衛門殿	辰6月14日	堅切紙・1通	い 1530-15
覚(8月切売物代受取書) 河内屋七郎兵衛(印)→神戸分左 衛門殿	酉9月12日	堅継紙・1通	い 1530-16
覚(金62両2分受取書) 犬山伊兵衛(印)→半右衛門殿	亥9月7日	堅紙・1通	い 1530-17
覚(仙台102俵代受取書) 大野屋七左衛門(印)・夫小七 (印)→神戸分左衛門殿・口入清蔵殿	戌8月3日	堅切紙・1通	い 1530-18
覚(人丸払物代受取書) 服部重兵衛(印)→神戸分左衛門 様	亥12月14日	堅切紙・1通	い 1530-19
覚(手形金受取書) 貝谷権左衛門(印)→神戸文左衛門殿	戌11月14日	堅切紙・1通	い 1530-20
覚(金30両のうち5両受取書) 加藤重右衛門(印)→犬山 屋文左衛門様	亥3月14日	堅切紙・1通	い 1530-21
覚(3月中売物代銀仕切方受取書) 河内屋七郎兵衛 (印)→神戸分左衛門殿	亥5月28日	堅切紙・1通	い 1530-22
覚(綿買口の内へ金200両受取書) 後藤理右衛門(印)→ 神戸文左衛門殿	申10月16日	堅継紙・1通	い 1530-23
覚(繰綿代金受取書) 後藤利右衛門(印)→中嶋半右衛門 殿	辰6月18日	堅継紙・1通	い 1530-24
覚(綿買金受取書) 後藤理右衛門(印)→神戸文左衛門様	申11月7日	堅切紙・1通	い 1530-25
覚(本60目直し代受取書) 木綿屋喜八→神戸様	戌7月13日	小切紙・1通	い 1530-26
覚(新田行ひし・箱代受取書) 半七→神戸様	戌7月13日	小切紙・1通	い 1530-27
覚(大半紙代受取書) (名古屋竹芝町一丁目)駒屋伊兵衛 (印)→神戸文左衛門様	戌7月13日	堅切紙・1通	い 1530-28
覚(新田分釘代受取書) 堺屋伊助(印「名古屋伝馬町堺伊 」)→神戸様	戌7月	横切紙・1通	い 1530-29
覚(新田入用分品代受取書) わた屋佐助(印)→神戸様	戌7月	堅紙・1通	い 1530-30
覚(新田行古酒代受取書) 関屋カ庄治郎→神戸様	戌7月12日	堅切紙・1通	い 1530-31
覚(新田行分板代など受取書) 羽柴屋源七→神戸文左衛 門様	戌7月13日	堅継紙・1通	い 1530-32
覚(白油代受取書) 清水や九兵衛(印)→犬山屋分左衛門殿	丑9月24日	堅切紙・1通	い 1530-37

覚(神田茂左衛門買物代の内大形50枚金100両受取書) 関屋庄次郎(印)→神戸分左衛門様	9月19日	堅切紙・1通	い 1530-41
受取申金子之事(神田茂左衛門買物代金受取書) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	申9月晦日	堅切紙・1通	い 1530-42
覚(神田茂左衛門買物代の内大形金50枚金100両受取書) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	申9月22日	堅継紙・1通	い 1530-44
受取申金子之事(神田茂左衛門買物代金受取書) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	申10月25日	堅紙・1通	い 1530-54
覚(2月～6月分銀子受取書) 名古屋戸田町中嶋屋彦三郎[印]→犬山屋文左衛門様・美濃屋惣兵衛様	申7月6日	横切継紙・1通	い 1531-18
覚(大坂屋由松等よりの金子受取書) 貝谷権左衛門(印)→神戸文左衛門殿	酉4月12日	堅切紙・1通	い 1531-22
覚(上州大豆代金銀受取書) 升屋吉左衛門(印)→神戸半右衛門殿・口入久助殿	亥霜月19日	横切紙・1通	い 1531-24
請取申金子之事(餅米売却につき) 木村久左衛門(印)→神戸分左衛門殿	戌12月朔日	堅切紙・1通	い 1531-30
覚(家代・地代金差引にて受取書) 菊岡や善吉(印)→犬山や(神戸)文左衛門殿	亥7月10日	堅切紙・1通	い 1531-38
覚(榎・ふき板など木材代金受取書) 藤七(印)→庄兵衛様	辰12月8日	堅紙・1通	い 1564-15
覚(手間賃4匁受取書) 石屋鎌吉→神戸文左衛門様	5月4日	切紙・1通	い 1597-2-6-8
覚(米切手70両受取書) 神戸文左衛門→川村九兵衛様	卯正月9日	切継紙・1通	い 1597-2-10
覚(諸品代120匁4分受取書) (尾州名古屋)みのや治兵衛→神戸文左衛門様	11月19日	切紙・1通	い 1614-2-4
覚(取替物色々メ金6両550文受取書) 天九[印]→神戸様	11月22日	切紙・1通	い 1614-2-5
(丑10月16日天吉より札金受取の旨書付)		切紙・1通	い 1614-2-6
覚(金2両余受取書) 杓屋藤兵衛(印)	9月6日	小切紙・1通	い 1740
覚(繰綿質入の内70両受取書) 花池村忠蔵(花押)→神戸分左衛門様	巳12月朔日	切継紙/(虫損あり)・1通	い 1893
請取申金子之事(兩人衆の手形と引替に金120両受取書) 加藤善助(印)→神戸分左衛門殿	亥7月18日	堅紙・1通	い 1895
覚(かしの木代金180文受取書) 元材木町平兵衛(印)→庄兵衛様	12月12日	堅継紙・1通	い 1942-2
覚(檉丸太代金250文受取書) 下の町長七(印[名古屋中橋桐屋])→元町藤七郎殿	辰9月7日	堅切紙・1通	い 1942-3
覚(杉板代金2両受取書) 八幡大工彦右衛門→犬山屋庄兵衛	辰9月8日	堅切紙・1通	い 1942-4
覚(竹代金3分など書付) 嘉兵衛→定助殿	(近世)7月25日	小切紙/(い1998-1~22は紙繕一括)・1通	い 1998-1
記(修築金24円67銭余受取書) *控 針屋町地型受負店(印[愛知県地型受負店石黒])	明治8年9月	印刷用紙/(い1565-1~6は一綴)・1通	い 1565-1
記(修築金5円94銭余受取書) *控 針屋町地型受負店(印[愛知県地型受負店石黒])	明治8年9月	印刷用紙・1通	い 1565-2

神戸家・勘定場/経営全体/領収書等

記(修築金4円44銭余受取書) *控 針屋町地型受負店 (印「愛知県地型受負店石黒」)	明治8年9月	印刷用紙・1通	い 1565-3
記(修築金8円32銭余受取書) *控 針屋町地型受負店 (印「愛知県地型受負店石黒」)	明治8年9月	印刷用紙・1通	い 1565-4
記(修築金2円15銭受取書) *控 針屋町地型受負店(印「 愛知県地型受負店石黒」)	明治8年9月	印刷用紙・1通	い 1565-5
記(修築金3円65銭受取書) *控 針屋町地型受負店(印「 愛知県地型受負店石黒」)	明治8年9月	印刷用紙・1通	い 1565-6
予算書(コルニシ形汽罐ほか予算書上) *下書	(近代)	青色罫紙/(10 行)・1通	い 1399-30
予算書(コルニシ形汽罐ほか予算書上) *下書		「神戸氏蔵」用 箋/(11行)・1通	い 1399-31
記(4円37銭5厘相渡すにつき) わたや留吉→神戸御支配 所	4月30日	横切紙・1通	い 1402-197
記(8銭7厘5毛唐糸5わ代受取につき) くまのや佐兵衛 →上	5月11日	横切継紙・1通	い 1402-199
記(26銭3厘5色糸6文目代済につき) くまのや佐兵衛→ 蟹江様	5月5日	横切紙・1通	い 1402-200
記(茶16文目代46銭7厘5毛他メ63銭5厘5毛申受につ き) くま作→蟹江様		横切継紙・1通	い 1402-201

書状

(大嶋代古金50両を受取り残金は盆中迄に遣わすべ き旨書状) 分吉→分左衛門様	13日	横切継紙・1通	い 1349-3
(仕切をご覧して戻されるべき旨書状) ふんけい→自 反公	11月28日	横切継紙・1通	い 1349-5
(大嶋砂糖代50両の2ツ割25両を先もたせ進すにつ き受取べき旨書状)	8月6日	横切継紙(桃色 宿紙)・1通	い 1349-6
(先日見せた黒砂糖代金は延引してももたせる旨ほ か書状) ふんけい→自反公	正月13日	横切継紙・1通	い 1349-7
(大嶋代金70両の内古金30両受取の旨書状) 伝蔵→分 左衛門様	大20日	縦切紙・1通	い 1349-8
(過日平松より別紙勘定書当方へ相廻り尊家へも指 上置く等につき書状) 天野→神戸様	10月6日	横切継紙・1通	い 1399-39
(旧冬御取替物代御書付下され御世話忝きにつ き書状) 白鳥より→犬山屋嘉平治様参人々御中	正月29日	横切継紙/(虫 損あり)・1通	い 1402-226
(其元預ケ米渡し方の儀等につき書状)	12月28日	縦紙・1通	い 1530-47-7
(丁子屋清三郎方の金子相談につき書状) 文左衛門拜 →尊兄様	9月17日	横切継紙・1通	い 1566-6
(控新田へも数日御出張成し下されし礼状) 文左衛門 拜→尊兄様	霜月9日	横切継紙・1通	い 1566-7
(九兵衛出府するよう引き合いの旨書状) 文左衛門→ 彌兵衛様	3月24日	横切継紙・1通	い 1566-9
(高七殿近々上京につき発足以前に大抵相談決め置 きたき旨ほか書状) 文左衛門→彌兵衛様	5月21日	横切継紙・1通	い 1566-10

(早速柳原へお伺い下されし礼状) 文左衛門→彌兵衛様	2月26日	横切紙・1通	い 1566-12
(別紙当六分宅の件で集評すべきにつき出府願いの旨書状) 文左衛門→彌兵衛様	2月26日	横切継紙・1通	い 1566-13
(昨日御引合の金子300両御世話の証文引替の旨書状) 伊右衛門→分左衛門様	9月8日	横切継紙・1通	い 1573
(米札10金受け取ったら仙蔵へ御渡し下さるよう頼みの旨書状) 権右衛門→分左衛門様	如月11日	横切継紙/(い1614-2-7-1~2は紙縫一括)・1通	い 1614-2-7-1
覚(米札10両受取書) 犬山昆野仙蔵→神戸様御内後藤糸助様	午2月12日	切紙・1通	い 1614-2-7-2
(珍事一条の知らせにつき新田徳米の他金銀融通筋無き旨返書)	重陽	横切継紙/(い1614-3-1~4は紙縫一括)・1通	い 1614-3-1
(大和尚が仕払方に大ヨハリの様子の旨書状) *後欠		横切継紙・1通	い 1614-3-2
(願書1通・来紙1通を末に帳付置につき熟覧するよう書状)	8月11日	縦継紙・1通	い 1615-31
(先達て預御世話のかわこ遣したき旨書状) 加藤庄蔵	8月5日	切紙・1通	い 1615-32
(石入札は明10日より持差の席へ参る筈の旨ほか書状) *後欠		縦切紙・1通	い 1615-34
(粉を粗のなくなるようにふるう旨書状) 鶴沼松之→奥田兵治様	極月5日	横切継紙・1通	い 1651-2
(五〇口一件の結果問い合わせの処先方病気につき書状) *下書		横切紙・1通	い 1655-1-33
(金110両を江戸屋源右衛門より受取等につき書状) 河内屋七郎兵衛→神戸分左衛門様・(中嶋)半右衛門様	7月8日	横切継紙・1通	い 1655-10-13
(盆後でなくては売買禁止等につき書状) 河内屋茂兵衛→神戸分左衛門様・中嶋半右衛門様	7月8日	横切継紙・1通	い 1655-10-16
(神戸一件の示談・出府等につき書状) 八郎右衛門→文左衛門様	5月25日	横切継紙・1通	い 1670
(神戸一件、別帳など貸与願につき書状) 八郎右衛門→文左衛門様内事	5月24日	小切紙・1通	い 1671
(御儀の一件につき出府・相談等につき書状) きい→才驛生申出		小切継紙(褐色宿紙)・1通	い 1674
(酒の件取繕願等につき書状) 松田忠四郎→川合嘉兵衛様・卓田兵治様	7月9日	横切継紙・1通	い 1689
(初穂ぬき捨て等につき書状) 川村九兵衛→神戸文左衛門様才二江も内事	26日	横切継紙/(封筒共)・1通	い 1706
(勘定合のため本日735円受取につき書状) 天満屋→神戸様	7月21日	横切継紙・1通	い 1707
(勘定合のため本日735円受取につき書状) *控 金子請取主加藤義之助印・親類惣代加藤宗蔵印→神戸昌五郎殿		横切継紙・1通	い 1708
(書状) 久保弥次太夫→神戸分左衛門様		横切継紙/(開披不能)・1通	い 1713
(1斗7升難しいならば2斗3升にても御金下されば宜しきも御仕合次第につき書状) 中田三九郎→治左衛門	9月19日	横切継紙・1通	い 1715

神戸家・勘定場/経営全体/書状

門様			
(御出府により御用事申上たきも扱無き他行につき書状)	菊月17日	縦継紙・1通	い 1721
(兼ての一段は今日より内輪和談取扱につき先達て指上の書面引替の旨書状) 平井武兵衛→橋長兵衛様・藤喜八様	2月6日	横切継紙・1通	い 1734
(先頃御差出の書付類について伺いたき事ある旨書状) 駱九郎→文左衛門様	6月23日	切継紙・1通	い 1738
(御用談は翌日きつはりと説きし旨書状) 同(奥田)清助→奥田兵次郎様	2月29日	横切紙・1通	い 1827
(今日持参の白あやは先々立て下さる事は御見合の旨書状) *(端裏書)「式両式朱」 小嶋屋伝兵衛→いとう店新七様	24日	切紙・1通	い 1837-2-3
(利米代金受取の旨、今便17両2分差上の旨書状) 平之助→(神戸)分左衛門様貴下要用金子添	2月29日	横切継紙・1通	い 1837-2-4
(中彦一条譲り渡し済ましにつき売券状認めるので御調印下さるようお願いの旨書状) 考源→元材木町様・上材木町様 急用分	7月5日	横切継紙・1通	い 1843-2
(寅年より差引勘定借り金2分余を差登せたので受取べき旨ほか書状) 刑部八右衛門→川合嘉兵衛様	3月12日	横切継紙・1通	い 1849
(新年の挨拶並びに船積の儀につき書状) 平井武兵衛→奥田兵治郎様貴報	正月3日	横切継紙・1通	い 1998-9
(家事多く只今は請求に応じられぬ旨ほか書状) 海東郡蟹江本邑蟹江史郎→県下名古屋區木挽町二丁目神戸分左衛門殿	15年9月27日	横切継紙/(い 1599-1~2は紙縫一括)/(封筒共)・1通	い 1599-1
(兼てお願の枡場堤の件は既に本県へ開申した旨ほか書状) 同縣海東郡蟹江本町蟹江史郎→県下名古屋區木挽町二丁目神戸分左衛門殿	4月16日	横切継紙(桃色宿紙)/(封筒共)・1通	い 1599-2
(イヤ一件懇合のおかげで6円にて落着、証拠物申立の手紙の書き方等につき書状) (藤井東作)→神戸島汀様尊下	2月18日	横切継紙/(封筒共)・1通	い 1691

その他の書付型史料

覚(麦年貢・米年貢収納時期につき証文) 愛知郡日比津村庄屋預り主茂右衛門(印)→重兵衛殿	元禄9年子2月10日	堅切紙・1通	い 1935
覚(粃100俵の各俵の重量合計1211貫目余、石数45石余書付) 山本藤九郎内佐助(印)→神戸弥左衛門様御内長兵衛殿	丑5月14日	横切継紙・1通	い 1981-22

金融

家屋敷書入借金

家屋敷質物書入借用申金子之事(小判80両) 長嶋町金借り主源兵衛印、(奥書)長嶋町組頭太兵衛印・同町丁代惣重郎印・右同断市郎左衛門印→大海伊兵衛殿	寛保元年酉11月朔日	縦継紙/(い 1447-1~2は巻込一括)・1通	い 1447-1
家屋敷質物書入借用申金子之事(金100両) 富沢町金借り主加藤小兵衛(印切取)、(奥書)富沢町組頭甚太郎(印切取)・同町代与兵衛(印切取)・右同断三右衛門(印切取)→大海伊兵衛殿	延享元年子4月	縦継紙・1通	い 1447-2

覚(金100両富沢町3丁目控屋敷書入金、1ヶ年金6両つゝ、返済の筈庄兵衛へ申談ずにつき) 加藤小兵衛 [印]・佐次勘平(印)→大海伊兵衛殿	子4月	堅紙・1通	い 1400-98
--	-----	-------	-----------

個別金融

預り申金子之事(入用につき金2両借用) 粕谷次右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	元禄8年亥ノ8月19日	切紙/(い1298-1~19は一綴)・1通	い 1298-1
預り申金子之事(金10両) 笠辻や平八郎(印)→神戸分左衛門様	元禄15年午8月	堅切紙/(い1294-1~43は一綴)・1通	い 1294-1
借用申金子事(商内場仕入金30両) *年々濟方覚共 小牧町わたや六郎右衛門(印)・利兵衛(印)→神戸分左衛門殿	宝永元年申11月2日	堅切紙・1通	い 1294-2
借用申金子之事(薪買仕入金5両) 薪屋勘助(印)→神戸分左衛門殿	宝永2年酉12月26日	堅切紙・1通	い 1294-3
借用仕金子之事(合小判5両) 若山左助(印)→神戸分左衛門様	宝永2年酉10月27日	堅切紙・1通	い 1308-8
覚(金3両借用につき) 堤文蔵→神戸忠蔵殿	申12月26日	堅切紙/(い1288-1~10は一綴)・1通	い 1288-1
覚(金3両借用につき) 文蔵→神戸忠蔵殿	戌12月晦日	切紙・1通	い 1288-2
覚(金3両借用につき) 堤文蔵(印)→神戸忠蔵殿	酉12月29日	堅切紙・1通	い 1288-3
覚(かめ買代として金2両借用につき) みのや分蔵(花押)→神戸忠蔵殿	午6月23日	堅切紙・1通	い 1288-4
覚(金1両2分受取につき) 堤文蔵(印)→神戸忠蔵様	酉7月11日	堅切紙・1通	い 1288-5
預り申金子之事(金130両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月晦日	堅切紙・1通	い 1288-6
預り申金子之事(金8両) 堤久助(印)→神戸分四郎殿	丑7月12日	堅切紙・1通	い 1288-7
覚(江戸買下の茶代金13両借用につき) 堤文蔵(印)・久助[印]→神戸文左衛門殿	辛未正月晦日	堅切紙・1通	い 1288-8
覚(当時入用金3両借用につき) 堤文蔵(印)・久助[印]→神戸文左衛門殿	未正月晦日	堅切紙・1通	い 1288-9
借用申金子之事(江戸店仕入金150両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	享保3年戌12月	堅切紙・1通	い 1288-10
金子借用手形之事(大宝新田敷金・入用金400両) 横田平兵衛・横田淡雪→神戸分左衛門殿・神戸浄仙殿	宝永5年子正月	堅紙/(い1279-1~14は一綴)・1通	い 1279-1
覚(金子50両預りにつき) 吉文字屋泉悦[印]→犬山や(神戸)分左衛門殿	宝永5年子12月9日	堅紙・1通	い 1294-4
預り申金子之事(金20両) 吉文しや泉悦[印]→犬山や(神戸)分左衛門殿	宝永6年丑7月13日	堅切紙・1通	い 1294-5
借用申金子之事(蚊屋布532反質物に入れ40両借用) 巾下押切町木綿屋孫助(印)→神戸分左衛門殿	正徳6年申5月4日	堅紙・1通	い 1416
覚(寅年から巳年まで下され金高メ585両勘定書上)	(享保以前か)	堅紙・1通	い 1892
借用申金子之事(買木代金50両) 五條町庄八(印)→神戸(神戸)分四郎様	享保3年戌10月16日	堅切紙・1通	い 1294-7

神戸家・勘定場/金融/個別金融

預り申金子之事(金10両2分余り) 白子屋三十郎(印)→ 神戸文左衛門殿	享保3年戌2月12日	堅切紙・1通	い1294-8
借用仕金子之事(当暮払金50両) 五條町庄八郎(印)→ 神戸分四郎様	享保3年戌極月29日	堅切紙・1通	い1294-9
預り申金子之事(金15両) 榎町油屋長右衛門(印)→元材 木町犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保4年亥12月	堅継紙・1通	い1286
覚(上田町野々村林蔵家屋敷他3ヶ所預け金100両借 用につき) *(端裏貼紙)「享保十九年六月内拾四兩式分受 取写極月七日書入手形返候」 鎌田忠兵衛(印)→神戸分左 衛門殿	享保4年亥3月28日	堅紙/(い 1290-1~7は一 綴)・1通	い1290-1
預り申金子之事(金200両) 鎌田忠兵衛(印)、(奥書)鎌田 忠兵衛(印)→永田清三郎殿、(奥書)永田清三郎殿	享保3年戌4月。(奥書) 戌4月晦日	堅紙・1通	い1290-2
借用申金子之事(店仕入商内元手金300両) 鎌田忠兵 衛(印)・同仁右衛門(印)→神戸分左衛門殿、(奥書)鎌田忠兵 衛(印)・同仁右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保3年戌12月	堅紙・1通	い1290-3
覚(金28両預りにつき) 鎌田仁右衛門(印)→神戸分四郎 殿	子7月10日	堅切紙・1通	い1290-4
覚(神戸浄仙左より御祝儀として金100両受取につ き) 鎌田忠兵衛(印)→佐野重藏殿・倉田八右衛門殿	丑ノ卯月5日	堅切紙・1通	い1290-5
覚(金95両借用につき) 鎌田仁右衛門(印)→神戸忠藏殿	未正月26日	切紙・1通	い1290-6
借用申金子之事(商方入用として金150両) 鎌田仁右 衛門[印]→神戸忠藏殿	享保11年午7月	堅紙・1通	い1290-7
借用申金子之事(金5両) 池田八郎右衛門(印)→神戸分四 郎殿	享保7年寅12月	堅切紙・1通	い1294-10
借用申金子之事(商仕入金として金5両) 飴屋町理助 (印)→元材木町分左衛門様	享保8年卯12月	堅切紙・1通	い1284
借用申金子之事(商仕入金として金20両) 飴屋町理助 (印)→元材木町(神戸)分左衛門様	享保8年卯12月	堅切紙・1通	い1285
借用申金子之事(金子本ノ衆川狩入用金として合新 金90両) いせや清兵衛(印)・同清四郎(印)→犬山屋(神 戸)分左衛門殿	享保9年辰12月晦日	堅継紙/(虫損 あり)・1通	い1308-32
借用申金子之事(金10両) 吉兵衛(印)・伝助(印)・宗吉 (印)→神戸分左衛門様	享保9年辰11月	堅切紙/(綴穴 あり)・1通	い1315
借用申金子之事(炭買置代入用金15両) 五条町藤八郎 (印)→神戸文左衛門様	享保10年巳3月12日	堅切紙・1通	い1294-11
質物ヲ以借用申金子之事(当巳年御年貢差詰り金16 両につき) 亀ヶ地村金借り主又八郎(印)・同村庄屋利右 衛門(印)→大宝前新田唯助殿	享保10年巳12月20日	堅紙・1通	い1298-2
預り申金子之事(金小判6両借用につき) 勘六(印)→ 神戸忠藏様	享保10年巳8月	堅切紙・1通	い1308-39
預り申金子之事(金50両) 金子預り主神戸善藏(印)・証 人伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保11年丙午7月	堅切紙・1通	い1294-12
借用仕金子之事(金10両借用につき) 五条町藤八 (印)→神戸忠藏様	享保11年午12月晦日	堅切紙・1通	い1308-41
借用仕候金子之事(私商仕入要用につき金5両) 正万 寺町美濃屋彦助(印)→神戸忠藏様	享保13年申3月18日	堅切紙・1通	い1483-9
借用申金子之事(買米入用金50両) 金借り主杉本徳右 衛門(印)→神戸分左衛門様	享保14年酉10月	堅切紙・1通	い1294-14

預り申金子之事(金23両) 八文字屋庄左衛門[印]→神戸忠蔵様	享保14年酉4月29日	堅切紙・1通	い 1294-15
借用申金子之事(当春両村御役金として金2両2分) 春日井郡田楽村庄屋太郎右衛門(印)・同郡久保一色村庄屋新三郎(印)→神戸分左衛門殿御口入	享保14年酉2月	堅紙・1通	い 1298-5
田地高書入預り申金子之事(御年貢御役金指詰りにつき金3両2分受取書) *「下田六畝拾六分 ちやう分高老右老斗七升六合」ほか田地書上の7枚の綴結付 春日井郡稻生村金預り主甚助(印)・同所組頭請合牧右衛門(印)・同所庄屋請合金兵衛(印)→名古屋元材木町犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保14年酉12月	堅継紙・1通	い 1479-2
借用仕候金子之事(小麦買置につき金10両) 正万寺町美濃屋彦助(印)→神戸分左衛門様・半右衛門殿取次	享保14年酉6月18日	堅切紙・1通	い 1483-10
借用申金子之事(金1両) 金借主紋右衛門(印)・加判円右衛門(印)→半右衛門殿	享保16年亥之7月	堅切紙・1通	い 1294-16
借用申金子之事(元金の内7両渡し残金3両) 巾下新道町金借り主清右衛門(印)・同所証人桜川順南(印)→神戸分左衛門殿	享保16年亥12月10日	堅紙・1通	い 1294-17
一札(金1000両預りにつき) 兼山屋与市(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保16年亥12月	堅紙・1通	い 1294-18
借用仕候金子之事(私商内仕入専用に金5両) 金借り主正万寺町彦助(印)→神戸忠蔵様	享保16年亥2月4日	堅切紙・1通	い 1483-11
預申金子之事(頼母子金として2両借用につき) 三輪要節(印)・加判岐草や久助(印、親房)→神戸分左衛門様	享保17年子9月	堅切紙・1通	い 1308-51
借用仕ル金子之事(金30両) 宇佐美屋借主九右衛門(印)・鏡屋証人庄七(印)→神戸孫右衛門様	享保19年寅7月10日	堅紙・1通	い 1294-21
借用申金子之事(30両借用、切手鑑1冊・墨跡一幅渡し置) 切陰八左衛門(印)・証人井つ、屋庄兵衛(印)→神戸孫右衛門様	享保20年卯ノ4月4日	堅切紙・1通	い 1279-3
①借用申金子之事(金2両)、②(2両御貸しくださるよう依頼の書状) ①寛平内[印]→神戸分左衛門殿、②寛平内→神戸分左衛門様	①享保20年卯7月 ②7月10日	堅切紙/(①と②は貼継)・1通	い 1483-12
借用仕金子之事(身軀相続要用のため金16両2分) 金子借り主山形屋庄兵衛(印)・加判小川唯助(印)・加判関屋重兵衛(印)→神戸惣助様・神戸善次郎様	元文2年巳閏11月	堅紙/(い 1289-1~5は一綴)・1通	い 1289-1
借用申金子之事(金100両) 山形屋庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	享保6年丑正月	堅切紙・1通	い 1289-2
預り申金子之事(材木仕入金として金60両) 山形屋庄兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保10年巳極月大晦日	堅切紙・1通	い 1289-3
借用申金子之事(金20両) 下材木町加判勘四郎(印)・金借り主山形屋庄兵衛(印)→永田清三郎殿	享保12年末12月	堅切紙・1通	い 1289-4
借用申金子之事(金20両) 山形屋庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	享保12年末12月	堅切紙・1通	い 1289-5
借用申金子之事(金118両) 倉田陳右衛門(印「名古屋和泉町」)・口入清蔵→犬山屋惣助殿	元文5年申10月	堅切紙・1通	い 1346
借用申金子之事(金50両) 福尾新兵衛(印)→川村九兵衛殿	寛保2年戌10月	堅紙・1通	い 1483-13
借用申金子之事(年貢米指詰りにつき金15両) 印場村之内庄中小兵衛(印)→神分左衛門様・半右衛門様	延享元年子12月	堅切紙・1通	い 1279-4

神戸家・勘定場/金融/個別金融

借用申金子之事(要用につき金2両) 金借り主水主町吉右衛門(印)・証人半右衛門(印)→神(神戸)分左衛門様	延享2年丑閏12	縦継紙・1通	い1294-23
借用申金子之事(金1両) 福田林蔵(印)→儀兵衛殿・五兵衛殿・与八殿御取次	延享2年丑8月	縦紙・1通	い1294-24
借用申金子之事(金3両借用) 桑原茂助(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	延享3年寅7月	堅切紙/(虫損あり)・1通	い1308-77
預り申金子之事(入用金・商元手金ノ55両) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	寛延元(年)辰閏10月	縦紙/(い1293-1~15は一綴)・1通	い1293-1
証文(養父関屋十兵衛が金450両借用のうえ死去につき返金次第の旨) 十兵衛(印)・(奥書)十兵衛実父長崎町金具屋惣重郎(印)・親類宮町万屋武助(印)・右同団治助(印)・元材木町福嶋屋証人又六(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿・(奥書)犬山屋(神戸)分左衛門殿	宝暦4年戌11月	縦継紙・1通	い1293-2
借用仕金子之事(当春秋用金として金15両につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保5庚子年12月26日	堅切紙/(虫損あり)・1通	い1293-3
覚(金10両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸忠蔵様	享保15庚戌年11月15日	堅切紙・1通	い1293-4
覚(金30両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	壬子閏5月3日	堅切紙・1通	い1293-5
覚(金30両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	甲亥8月19日	堅切紙・1通	い1293-6
覚(金45両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	庚申年7月11日	堅切紙・1通	い1293-7
覚(金50両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	壬戌6月7日	堅切紙・1通	い1293-8
借用仕金子之事(金50両) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	己未10月21日	堅切紙・1通	い1293-9
覚(金50両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	丁卯年7月6日	堅切紙・1通	い1293-10
覚(金60両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	乙丑年閏12月18日	堅切紙・1通	い1293-11
覚(金100両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	丁卯年11月17日	堅切紙・1通	い1293-12
覚(金20両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門殿	癸酉5月29日	堅切紙・1通	い1293-13
借用申金子之事(金15両) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門殿	未10月6日	堅切紙・1通	い1293-14
覚(金100両借用につき) 関屋十兵衛(印)→神戸分左衛門様	甲子年12月4日	縦継紙・1通	い1293-15
※借用申金子之事(材木商売元手金として金10両) 枇杷嶋金借り主勘六(印)・同所米屋加判長右衛門(印)→みその町(中嶋)半右衛門殿・嘉兵衛殿御取次	寛延元年辰9月	縦紙・1通	い1298-8
借用申金子之事(当巳暮御年貢に指詰り金10両) 印場村金借り主彦助(印)・右同断清助(印)・右同断請合小兵衛(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	寛延2年巳12月	縦紙・1通	い1298-9
借用申金子之事(当暮御年貢に指詰り金15両) 印場村金借り主小兵衛(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	寛延2年巳12月	縦紙・1通	い1298-10
借用申金子之事(当巳暮御年貢に指詰り金10両) 印	寛延2年巳12月	縦紙・1通	い1298-11

場村金借り主小兵衛(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿			
借用申金子之事(当巳暮御年貢に指詰り金10両) 印場村金借り主清助(印)・右同断作右衛門(印)・右同所請合小兵衛(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	寛延2年巳12月	縦紙・1通	い 1298-12
借用申金子之事(金30両) 東美濃猿子村借り主要助(花押)・上御園町請人中嶋屋半右衛門[印]→神戸文左衛門殿	寛延2年巳11月	縦紙・1通	い 1298-13
借用申金子之事(当申年御年貢御役銀に差詰り金30両) 中嶋郡北嶋村金借り主七右衛門(印)・請人三重郎(印)・請人友右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	宝暦2年申12月	縦紙・1通	い 1298-15
証文(蚊地商売のため金36両借用につき) 押切木綿屋金借り主孫助(印)・下七間町加判市右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	宝暦4年戌6月	縦継紙・1通	い 1294-26
借用申金子之事(要用につき金50両) 納屋町金借り主甚助[印]→犬山屋(神戸)孫右衛門殿	宝暦13年未10月	縦紙・1通	い 1279-5
借用申金之事(湊入用として金72両借用) 小川平左衛門(印)・神戸金次郎→神戸孫右衛門様	明和3年戌12月	縦切紙・1通	い 1308-80
借用金年々済証文之事(天明3年酒造要用として金150両につき返済次第) 金借用主小澤市左衛門(印)・証人同(小澤)三郎兵衛(印)、(奥書)神戸弥左衛門(印)→神戸文左衛門殿	寛政3年亥2月	縦継紙・1通	い 1308-84
借用申金子之事(要用にて金20両借用) 杉山弥一左衛門(印)→神戸文左衛門殿御取次	寛政4年子12月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1308-85
覚(能装束払物求代金の内18両米札にて借用につき証文写) 大野彦三郎→神戸文左衛門様	文化4年卯8月3日	縦紙・1通	い 1294-28
借用申金子之事(御年貢指詰りにつき金5両) 日置村庄屋借主彦七(印)・右村組頭証人喜左衛門[印]→大口屋清兵衛殿・犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化8年未8月	縦紙・1通	い 1279-6
借用申金子之事(札金12両借用、質物として新造船1艘書入) 亀ヶ地新田金借主宗四郎(印)、(奥書)神戸新田庄屋証人重右衛門(印)・同断忠右衛門(印)・組頭同断忠兵衛(印)・同段辰右衛門(印)→神戸文左衛門様	天保10年亥12月	縦紙・1通	い 1279-8
借用申金子之事(要用につき札金3両) 金かり主常七(印)・加判金八(印)→神(神戸)文左衛門様	天保13年寅4月	縦紙・1通	い 1279-9
借用申金子之事(要用につき金3両) 大秋村かり主常七(印)・同加判金八(印)→神(神戸)文左衛門様	天保14年卯10月	縦紙・1通	い 1279-10
(袋) * (袋上書)「利足金請取御通」 神戸新田唯助	天保14卯12月	袋・1点/(中身は糊付けのため開披せず)	い 1423
借用仕金子之事(要用につき札金2両) 金かり主常七(印)・加判金八(印)→神(神戸)文左衛門様	弘化2年巳11月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1297
借用申金子之事(仲満買米入用として金60両) 杉下徳右衛門(印)・辰巳与助(印)→神戸分左衛門殿	子7月13日	縦切紙・1通	い 1294-29
覚(4月~5月分借入金メ金913両1分余ほか書上) 十兵衛(印)→分左衛門様	未6月2日	縦紙・1通	い 1294-30
(前顛の年済金毎年3月返済すべき旨書状)		切紙・1通	い 1294-33
(金子手形を1通差上げるにつき金子借用すべき旨書状)	7月4日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	い 1294-34
覚(加藤豊太郎貸分の金5両米切手にて受取につき) 本田伝一郎(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	丑7月1日	縦紙・1通	い 1294-36

神戸家・勘定場/金融/個別金融

借用仕金子之事(買木代金50両) 庄八(印)→神(神戸)分四郎様	戌4月6日	縦切紙・1通	い1294-37
借用申金子之事(金3両) くわな屋六兵衛[印]→神戸分左衛門様	午7月13日	縦切紙・1通	い1294-41
(御無心の金子3両借りの手形受取るべきにつき書状) 茂助→文左衛門様	7月13日	横切紙/(い1308-77に貼付)/(虫損あり)・1通	い1308-76
(御無心申入れの金子3両取替を頼み入れにつき書状)		縦切紙・1通	い1308-91
預申金子之事(金120両、本手形引き換えにつき) 益田安兵衛(印)・生駒伊右衛門(印)	亥7月18日	縦切紙・1通	い1308-100
(金子20両借用につき申上書) 益田安兵衛→浄仙様	6月20日	縦紙・1通	い1399-13
(25両は嘉市より返金せず葵園様より御手許金をもって分左衛門へ渡す旨書付)		罫紙・1通	い1484-1-3
(1円85銭拝納につき礼状) 藤浪新富→嘉一様	2月15日	印刷用紙・1通	い1484-1-4
覚(貸金元利とも算用書) □三郎(印)→平右衛門殿	巳2月29日	縦継紙/(虫損甚大)・1通	い1564-7
覚(6月分作料金3両2分此者へ御貸渡し下さるようお願い) (尾州呉服)左官治兵衛(印「尾州呉服」)→神戸文左衛門様	卯6月	切紙・1通	い1597-2-6-7
(金子2両来2月切米金迄御借し下さるようお願いにつき書状) 中川勝蔵内伊藤仙右衛門→神戸文左衛門様	12月13日	横切継紙/(い1640-1~7は紙縫一括)/(紙縫りに「寛保二(ママ)酉正月改」と注記あり)/(い1640-1-1~2は紙縫一括)・1通	い1640-1-1-1
(来2月迄金子御取上は難儀につきお断りの旨返書) *下書	12月13日	横切継紙・1通	い1640-1-1-2
(何とぞ金2分御借し下さるようお願いにつき書状) 伊藤仙右衛門→(神戸)分左衛門様	14日	横切紙(桃色宿紙)/(い1640-1-2-1~3は巻込一括)・1通	い1640-1-2-1
「犬山屋分左衛門様 伊藤仙右衛門」 伊藤仙右衛門→犬山屋(神戸)分左衛門様		札/(紙縫付き)・1点	い1640-1-2-2
(先刻の件は才覚難儀につきお断りの旨返書) *下書	12月14日	切継紙・1通	い1640-1-2-3
(夫取金利足はまず5両2分遣し残金は来春に遣す旨書状) 山口喜之右衛門・篠田庄右衛門・長尾左五郎→神戸文左衛門様	12月29日	切継紙・1通	い1640-2
(お頼の件何とぞ半分共お借し下さるようお願いにつき書状) 伊藤仙右衛門→神戸分左衛門様	12月14日	横切継紙・1通	い1640-3-1
「犬山屋分左衛門様 中川勝蔵内伊藤仙右衛門」 中川勝蔵内伊藤仙右衛門→犬山屋(神戸)分左衛門様		札/(紙縫付き)・1点	い1640-3-2
(昨日申上の通り当分才覚難儀につきお断りの旨書状) *下書	12月14日	切継紙・1通	い1640-3-3
(包紙) *(包紙上書)「寛保二酉年久保弥二郎殿手紙」		包紙・1点	い1640-4-0
(一昨日お歎きた一儀につき調方の工夫を願うにつき書状) 役所→神戸氏	卯月5日	横切継紙/(包紙共)・1通	い1640-4-1

(御世話の一儀は段々不埒につきお断りの旨書状) 弥久→神戸公	3月29日	横切継紙/(包紙共)・1通	い 1640-4-2
(包紙) * (包紙上書)「平傳助殿御子息 平傳藏殿御手紙」		包紙/(い1640-5-1~3は包紙一括)・1点	い 1640-5-0
「犬山屋文左衛門様 平手傳藏・安藤多助」 平手傳藏・安藤多助→犬山屋(神戸)文左衛門様		札/(紙縫付き)/(い1640-5-2に巻付)・1点	い 1640-5-1
(手形も認めたので古金2両借用したき旨頼むにつき書状) 平手傳藏・安藤多助→(神戸)文左衛門様	12月2日	横切継紙(桃色宿紙)/(継目剥離)・1通	い 1640-5-2
(預り金子取替の件はお断りにて手形返上につき書状)	12月6日	横切継紙・1通	い 1640-5-3
(徳右衛門方へ年符金は段々と御無沙汰の旨書状) 七郎次→(神戸)分左衛門様	3月2日	切継紙・1通	い 1640-7-2
(石川安盛方借用の金子を借替の件は調次第連絡する旨書状) 永田定右衛門→神戸分左衛門様	3月5日	横切継紙・1通	い 1640-7-3
(金子返却につき書状) 七右衛門→元町様	5月19日	小切紙/(虫損あり)・1通	い 1679
(書付の文言「金子1600両の御証文を破り」等を変更の提案につき書状)	15日	横切紙・1通	い 1694
覚(犬山より平左衛門金5両受取、内金3両平左衛門貸しの旨)		小切紙/(い1837-2-1~4は紙縫一括)・1通	い 1837-2-1
(旧冬引合の金子につき残り分は一両日中に持たせる旨詫びの書状) 渡辺八郎右衛門→犬山屋嘉兵衛様内事	正月27日	縦継紙・1通	い 1863
覚(利足金440匁支払書) 天九→神戸様	29日	切継紙・1通	い 1864-10-2
覚(御茶料3両受取書) 宮林六之丞[印]→神戸文左衛門様御手代中	7月20日	切紙・1通	い 1894
覚(利金4両余書上) 関屋十兵衛	4月2日	小切継紙/(い2030-1~5は一綴)・1通	い 2030-1
覚(メ金7両余相済) 十兵衛	酉12月29日	切紙・1通	い 2030-2
覚(利金4両余書上) 関屋十兵衛	12月晦日	小切紙・1通	い 2030-3
覚(金1両2分ほか金銭書上) 関屋十兵衛	7月13日	横切継紙・1通	い 2030-4
覚(メ金8両余相渡相済) 関屋十兵衛	7月13日	横切紙・1通	い 2030-5
預り申金子之事(熱田宿へ縁付のお雛殿、付金として25両差し出しにつき) 金借り主長瀬加一郎[印]→神戸孫治郎殿御取次	明治3年午正月	縦紙/(い1484-1~8は一綴)/(い1484-1-1~4は一綴)・1通	い 1484-1-1
借入金証券(要用につき600円) 加藤重頼(印)→神戸分左衛門殿	明治10年9月20日	縦紙・1通	い 1308-95
証(金8円受納書) 美濃国武儀郡吉田村拾番地長瀬忠兵衛[印]・名古屋堀詰町三丁目八十一番戸右保証人高田栄助(印)→神戸分左衛門殿	明治21年2月11日	罫紙・1通	い 1484-1-2

神戸家・勘定場/金融/個別金融

(金300円は非常の困窮につき来3月迄に延期のほど願いの書状) * (封筒表書)「神戸與兄閣下 武山喜次郎」/(封筒裏書)「三十一日」 武山喜次郎→神戸賢兄	31日	野紙/(い1861-1~5は紙縫一括)/(封筒共)・1通	い 1861-1
(5月中には返金の都合仕るべく出来れば一時も早く片付ける旨書状) * (封筒表書)「本市木挽町神戸分左衛門様」/(封筒裏書)「武山喜次郎拜」 (武山喜次郎拜)→(本市木挽町神戸分左衛門様)	(明治)24年4月1日	切継紙/(封筒共)・1通	い 1861-2
(御借入金につき今少し御猶予願う旨書状) * (封筒表書)「当市木挽町二丁目神戸分左衛門様」/(封筒裏書)「廿九日 拜啓旁武山喜次郎」 雅風→神戸様	(明治)24年7月29日	横切継紙/(封筒共)・1通	い 1861-3
(先方は2,3日待たれたき由につき分かり次第手紙申入れる旨返書) * (封筒表書)「神戸様御返簡 事芝気」/(封筒裏書)「三十一日」 →(神戸様御返簡)	31日	横切継紙/(封筒共)・1通	い 1861-4
(来月までには返金するので今少し御猶予願う旨書状) * (封筒表書)「神戸分左衛門様 武山」/(封筒裏書)「二月廿七日」 (武山)→(神戸分左衛門様)	2月27日	切継紙/(封筒共)・1通	い 1861-5
(封筒) * (封筒上書貼紙)「村井高忠へ貸金ニ付来簡」 村井高忠→木挽町神戸分左衛門様		封筒/(い1402-251~264は一綴)・1点	い 1402-251
記(金92銭6月迄の利子差上につき) むら井	8月	横切紙・1通	い 1402-252
記(金1円50銭他メ金1円86銭差上につき) 村井	6月30日	横切紙・1通	い 1402-253
記(残金20円の内金5円差上につき) むら井	5月	横切紙・1通	い 1402-254
記(15年1月18日金2円22銭利子ほか利子金書上差出につき) 村井		横切継紙・1通	い 1402-255
(過日鳥渡出府認めも仮差上の件につき書状) (村井)高忠→鷗汀君	5月21日	横切紙・1通	い 1402-256
(拝借金につき書状) (村井)高忠→有年様親展	1月25日	横切継紙・1通	い 1402-257
(拝借金につき書状) 村井高忠→神戸様	11月22日	横切紙・1通	い 1402-258
(拝借金につき書状) (村井)高忠→有年様	1月24日	横切継紙・1通	い 1402-259
(拝借金につき書状) 村井高忠→神戸様	12月31日	横切継紙・1通	い 1402-260
(拝借金につき書状) むら井→神戸様	10月25日	横切継紙・1通	い 1402-261
記(金5円此利金20銭差上につき) 村井	10月21日	横切紙/(便箋カ)・1通	い 1402-262
(拝借金につき書状) (村井)高忠→有年様	1月18日	横切継紙・1通	い 1402-263
(拝借金につき書状) 村井高忠→有年様金子在中	2月5日	横切継紙・1通	い 1402-264
(封筒) * (封筒裏書)「寺田出金使書類 神戸」		封筒/(い1402-265~267は一綴)/(クリップ除去)・1点	い 1402-265
(封筒) []区旅籠町壱丁目□(破損)番地寺田左門治→梅園町四番地後藤京殿方ニテ神戸直彦様至急		封筒・1点	い 1402-266
記(先年拝借金5円返済にて3ヶ条書上につき) 寺田左門治(印)→神戸分左衛門様	2月24日	横切継紙・1通	い 1402-267
(別紙申上の通り御承諾願たきにつき書状) 寺田左門治(印)→神戸直彦様	2月24日	横切継紙・1通	い 1402-268

(神戸分左衛門より貴家へ貸し渡し金につき書状) *下書		洋紙横切/ペン 書き・1通	い 1402-269
廿二年十二月三十日迄天竺勘定書、貸し方之分(21年 ~25年)		青色罫紙(一ツ 綴)/(10行)・1 冊	い 1482-4

領主金融

成瀬大和守

借用申米之事(成瀬大和守勝手入用として米150石) 成瀬大和守内今井竹蔵(印)・同長谷川甚左衛門(印)・同長谷 川儀左衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保17年子12月晦日	堅紙・1通	い 1282-3
預り申金子之事(自分入用のため金6両3分) 借り主岩 田源蔵(印)・加判長谷川儀左衛門[印]→神戸分左衛門殿	享保17年子12月	堅紙/(綴穴あ り)・1通	い 1327
借用申金子之事(成瀬大和守方今度交代登金として 金250両) 丹羽忠左衛門(印)・今井竹蔵(印)・在江戸長谷 川甚左衛門[印]・長谷川儀左衛門[印]・岩田源蔵(印)。(裏 書)成大和(印)→神戸分左衛門殿	享保18年丑2月	堅紙・1通	い 1282-4
借用申金子之事(我等入用につき金10両) 長谷川甚左 衛門[印]・加判篠田彦右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保18年丑月	堅切紙・1通	い 1330
預り申金子之事(成瀬大和守勝手入用として金30両) 岡直七(印)・在江戸今井竹蔵(印)・同断長谷川甚左衛門・長 谷川儀左衛門[印]→神戸分左衛門殿	享保19年寅7月	堅紙・1通	い 1282-5
借用申金子之事(成瀬大和守勝手入用として金80両) 成瀬大和守内丹羽忠左衛門(印)・岡直七(印)・在江戸今井竹 蔵・同断長谷川甚左衛門・長谷川儀左衛門[印]→神戸分左衛 門殿	享保19年寅正月	堅紙・1通	い 1282-6
借用申金子之事(成瀬大和守勝手入用として金100 両) 成瀬大和守内丹羽忠左衛門(印)・岡直七(印)・在江戸 今井竹蔵・同断長谷川甚左衛門・長谷川儀左衛門[印]→神戸 分左衛門殿	享保19年寅正月	堅紙・1通	い 1282-7
借用申金子之事(成瀬大和守留守方飯米並びに切米 等入用として金92両2分6匁5分2厘) *(端裏貼紙)「此 手形ハ極月濟候」 成瀬大和守内丹羽忠左衛門(印)・岡直七 (印)・長谷川儀左衛門[印]→神戸分左衛門殿	享保19年寅3月	堅紙・1通	い 1282-8
借用申金子之事(成瀬大和守方勝手入用として金100 両) 成瀬大和守内今井竹蔵(印)・同長谷川甚左衛門[印]・ 同長谷川儀左衛門[印]。(裏書)成大和(印)→近藤武兵衛殿・ 御取次神戸分左衛門殿	享保19年寅正月	堅紙・1通	い 1282-9
借用申金子之事(成瀬大和守入用として金50両) 成 瀬大和守内今井竹蔵(印)・長谷川甚左衛門[印]・長谷川儀左 衛門[印]→神戸孫右衛門殿	享保19年寅2月	堅紙・1通	い 1282-10
借用申金子之事(自分入用として金10両) 成瀬大和守 内長谷川儀左衛門[印]→神戸分左衛門殿	享保19年寅6月	堅切紙/(虫損 あり)・1通	い 1331
借用申金子之事(自分入用として金6両) 成瀬大和守 内長谷川儀左衛門[印]→神戸分左衛門殿	享保19年寅10月	堅紙/(虫損あ り)・1通	い 1332
預り申金子之事(成瀬大和守登金として金50両) 長 尾佐五郎(印)・藤田類右衛門(印)・岡直七郎(印)・長谷川儀 左衛門[印]→神戸分左衛門殿	享保20年卯3月	堅紙・1通	い 1282-11
預り申金子之事(成瀬大和守江戸登金として金50両) 長尾佐五郎(印)・藤田類右衛門(印)・岡直七郎(印)・長谷川 儀左衛門[印]	享保20年卯3月	堅紙・1通	い 1282-12

神戸家・勘定場/金融/領主金融/成瀬大和守

受取申米之事(米30石納につき) 成瀬大和守内長谷川儀左衛門[印]→神戸分左衛門殿	享保20年卯2月	縦継紙/(虫損あり)・1通	い1334
預り申金子之事(成瀬大和守知行所夫銀金上納のため金66両2分10匁) 成瀬大和守内長谷川甚左衛門[印]・岡直七(印)	元文3年午2月	縦紙・1通	い1282-13
去戌年御役竹之事(役竹代銀5分受取書) 古渡村庄屋甚左衛門(印)・同文右衛門(印)→成瀬大和守様御内	寛保3亥極月	小切紙/(い1495-1~5は一綴)・1通	い1495-1
戌年御物成之内麦代金之事(麦代金1両銀13匁9分受取書) 古渡村庄屋甚左衛門(印)・同文右衛門(印)→成瀬大和守様御内	寛保3亥5月25日	横切継紙・1通	い1495-2
覚(5斗3升5合2勺の代銭431文受取につき) 家守カ七左衛門→分左衛門様	極月	縦切紙・1通	い1495-3
戌年御年貢米之事(古渡村控屋敷分年貢米メ2石3升5合2勺受取書) 古渡村庄屋甚左衛門(印)・同断文右衛門→成瀬大和守様御内	極月	縦継紙・1通	い1495-4
亥之御年貢米之事(年貢米代金メ1石8斗8升6合5勺受取書) 古渡村庄屋甚左衛門(印)・同断文右衛門(印)→成瀬大和守様御内	寛保3年亥11月	縦継紙・1通	い1495-5
覚(家賃引継不足金2両16匁4分済ますべき旨) 丹羽忠左衛門(印)→神戸分左衛門殿	寅7月	縦紙・1通	い1308-112
(古渡村書入金、今日4つ過相済様承知したきにつき書状) 長谷川儀左衛門→神戸分左衛門様	7月12日	横切継紙・1通	い1399-58
覚(米42石5斗納、長谷川儀左衛門方へ渡すべき分につき) 丹羽忠左衛門(印)→神戸分左衛門殿	亥11月26日	縦切紙/(虫損あり)・1通	い1400-71
覚(酉年借用方金9両1分8匁8分勘定指引残金受取につき) 長谷川甚左衛門[印]→犬山屋分左衛門殿	戌4月2日	縦継紙・1通	い1400-82
覚(納米54石勘定仕切書) 長谷川甚左衛門(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	戌4月13日	縦切紙・1通	い1530-8
覚(村々付入米代金受取書) 丹羽忠左衛門(印)→神戸分左衛門殿	子3月2日	縦切紙・1通	い1530-40
覚(米60石払代金受取書) 丹羽忠左衛門(印)→神戸分左衛門殿	亥12月20日	縦紙/(い1530-47-1~7は一綴)・1通	い1530-47-1
覚(大和守納米代受取書) 丹羽忠左衛門(印)→神戸文左衛門殿	亥12月2日	縦紙・1通	い1530-47-2
覚(其元へ預ケ米のうち塩町嶋田平左衛門方へ売払米手形) 丹羽忠左衛門(印)→神戸分左衛門殿	亥11月21日	縦紙・1通	い1530-47-3
覚(納米120石代金受取書) 丹羽忠左衛門(印)→神戸文左衛門殿	亥11月25日	縦紙・1通	い1530-47-4
覚(当春借り米の方へ米24石元利米として渡書) 丹羽忠左衛門(印)→神戸分左衛門殿	亥12月24日	縦紙・1通	い1530-47-5
請取申米之事(屋敷納米付溜預ケ米受取書) 丹羽忠左衛門(印)→神戸分左衛門殿	亥12月28日	縦切紙・1通	い1530-47-6
覚(兼山屋買敷木代など受取書) 丁徳三郎(印「徳山」)→神戸分左衛門様	辰4月6日	縦継紙・1通	い1530-53

(兼て御談の通り西屋方へ引合の金子につき来春は急度元利済ます旨書状) 長谷川儀左衛門→神戸分左衛門様	12月22日	横切継紙/(い1640-7-1~14は紙縫一括)/(紙縫りに「午正月改手紙」と注記あり)・1通	い1640-7-1
(兼て金子御勘定のところ今度金子替にて利分も指越さず難儀の旨書状) 長谷川儀左衛門→神戸分左衛門様	7月8日	横切継紙・1通	い1644

成瀬修理

預り申金子之事(修理勝手入用として金700両) 加賀源右衛門(印)・町野孫左衛門(印)・三宅紋右衛門(印)・脇部郷右衛門(印)・榊原傳右衛門(印)、(裏書)成修理→神戸分左衛門殿・井筒屋平兵衛殿・大鳥屋善九郎殿	元禄16年末12月	堅紙/(い1282-1~13は一綴)・1通	い1282-1
借用申金子之事(修理入用として金20両) か、源右衛門(印)・町野孫左衛門(印)・三宅紋右衛門・榊原傳右衛門(印)→神戸分左衛門殿	宝永3年戌之12月晦日	堅紙・1通	い1282-2

石河権右衛門

借用申金子之事(金2両) 石河権右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	延享2年丑12月	堅切紙/(虫損あり)・1通	い1308-71
借用申金子之事(金10両借用) 石河権右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	延享2年丑12月	堅切紙/(虫損あり)・1通	い1308-72

石河様年賦金

借用申金子之事(金5両要用借用につき) * (端裏貼紙)「八」 棚橋左六(印)・富永直三郎(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿御取次	文化10年酉12月	堅紙・1通	い1400-43
(石河様御屋敷御仲間調達の分少々相違相見え御伺い下さるべきにつき書状) 美濃屋惣兵衛→神戸文左衛門様差置き	7月7日	横切紙・1通	い1399-84
(包紙) * (包紙上書)「石河様御年符金御改ニ付従是上申候年付金石河様御年符御改ニ付領知奉行手代并此方より上ケ申候年符金も延引可仕旨 弥一左衛門殿手代」		包紙/(い1400-38~45は一綴)・1点	い1400-38
(旧冬久大夫より御引き合わせの摂州門戸村中嶋永治より年賦金未年分5両差し越し申すなどにつき書状) 川井弁右衛門・渡辺久大夫→神戸孫右衛門様	2月11日	横切継紙・1通	い1400-39
(伊賀守方勝手向全体不如意近年相続甚だ難渋にて今年御領知大分損毛勝手筋必至と指問え、取続方相見え申さずにつき書状) 船渡伴大夫・川井弁右衛門・渡辺久大夫→神戸孫左衛門様	10月21日	横切継紙・1通	い1400-40
(兼ねて依頼の金子30両取賄申すべき筈この節出来る様子にて安堵致し居る所、今日に至り断り申し来り私ども大いに迷惑につき書状) 富永直三郎・棚橋左六→神戸文左衛門様急内事形添	4月6日	横切継紙・1通	い1400-41
(善治郎へ熟談の通り年賦金返済手形1通ほか都合3通家老共陰影揃うにて御一覧の上古証文御引替下されたきにつき書状) 船渡伴大夫→神戸孫右衛門様	5月8日	横切継紙・1通	い1400-42
覚(文化戌亥金21両中嶋屋一件で兩人より取替1人分ほか金銭書上につき)		横切継紙・1通	い1400-44

神戸家・勘定場/金融/領主金融/石河様年賦金

(屋敷勝手筋差支え其元へ差上べき年賦米3ヶ年の間御断りにつき書状) 弥一左衛門→孫右衛門衛門様	12月21日	横切継紙・1通	い1400-45
石川安盛			
(石川安玖殿弟子兩人参るにつき金子など構いなく事済ますべき旨書状) 横山専三右衛門→神戸分左衛門様	8月6日	縦紙・1通	い1281-1-3
預り申金子之事(石川安盛左入金として金20両) 横山五郎兵衛(印)・鹿田村庄や理右衛門・沖野嶋村庄や彦十郎(印)・増田村庄や久右衛門(印)、(裏書)池八郎右(池田八郎右衛門)(印)→神戸文左衛門殿	享保12年未12月	縦紙/(い1281-2-1~27は一綴)/(い1281-2はい1281-1の綴の紙縫りに結付)・1通	い1281-2-1
預り申金子之事(当未の暮勘定残金として金5両3分銀8匁7分) 横山五郎兵衛(印)、(裏書)池八郎右(池田八郎右衛門)(印)→神戸文左衛門殿	享保12年未12月	縦紙・1通	い1281-2-2
預り申金子之事(石川安玖左賄金として金1両) 横山五郎兵衛(印)、(裏書)池八郎右(池田八郎右衛門)(印)→神戸文左衛門殿	享保12年未12月	縦紙・1通	い1281-2-3
預り申金子之事(石川安盛左入金として金25両) 横山五郎兵衛(印)・戸塚村庄や茂七郎(印)・北一色村庄や長兵衛、(裏書)池八郎右(池田八郎右衛門)(印)→神戸文左衛門殿	享保12年未12月	縦紙・1通	い1281-2-4
請取申金子之事(石川安盛左御国方返金のため金3両2分銀6匁5分) 横山五郎兵衛(印)、(裏書)池田八郎右(衛門)(印)→神戸文左衛門殿	享保13年申11月	縦紙・1通	い1281-2-5
請取申金子之事(石川安盛左口米上納のため金3両3分) 横山五郎兵衛(印)、(裏書)池田八郎右(衛門)(印)→神戸文左衛門殿	享保13年申12月	縦紙・1通	い1281-2-6
預り申金子之事(石川安盛左借用のため金10両) 横山五郎兵衛(印)・中嶋郡戸塚村庄や茂七郎・愛知郡北一色村庄や長兵衛・春日井郡鹿田村庄や理右衛門、(裏書)池田八郎右(衛門)(印)→神戸文左衛門殿	享保13年申12月	縦紙・1通	い1281-2-7
預り申金子之事(石川安盛左御国方へ返納金として金3両1分銀3匁) 横山五郎兵衛(印)、(裏書)池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保14酉年11月	縦紙・1通	い1281-2-8
預り申金子之事(石川安盛左入金として金5両受取) 横山五郎兵衛(印)、(裏書)池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保14酉年11月	縦紙・1通	い1281-2-9
預り申金子之事(石川安盛借用として金20両受取) 預主石川安玖[印]・加判池田八郎右衛門(印)・同横山五郎兵衛(印)・戸塚村茂七郎・北一色村長兵衛・鹿田村勘四郎・沖野嶋村彦十郎・増田村久右衛門→神戸分左衛門殿	享保16亥年12月	縦紙・1通	い1281-2-10
預り申金子之事(石川安盛入金として金3両) 預り主石川安玖[印]・加判池田八郎右衛門(印)・請合横山五郎兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保17子年3月	縦紙・1通	い1281-2-11
預り申金子之事(石川安盛左入金として金5両) 預主横山嘉藤次(印)・加判池田添斗(印)→神戸分左衛門殿	享保17年子11月	縦紙・1通	い1281-2-12
添手形之事(石川安盛様御入金20両借用につき知行所物成を貴殿に付込の旨) 戸塚村庄屋茂七(印)・北一色村庄屋長兵衛(印)・増田村庄屋久右衛門(印)・沖野嶋村庄屋彦十郎(印)・鹿田村庄屋勘四郎(印)→神戸分左衛門殿	享保17子年12月	縦紙・1通	い1281-2-13

預り申金子之事(石川安盛借金として金20両) 預り主横山嘉藤次(印)・加判池田泰斗(印)→神戸分左衛門殿	享保17子年12月	縦紙・1通	い 1281-2-14
預申金子之事(金2分受取) 横山加藤次(印)→神戸分左衛門殿	享保18丑年正月29日	縦紙・1通	い 1281-2-15
預り申金子之事(急用につき金1両預りの旨) 預り主石川安玖[印]・加判横山嘉藤次(印)→神戸分左衛門殿	享保18年丑5月	縦紙・1通	い 1281-2-16
借用申金子之事(金3両当初納にて返弁する旨) 石川安玖[印]・加判横山嘉藤次(印)→神戸分左衛門殿	享保18年丑8月	縦紙・1通	い 1281-2-17
借用申金子之事(石川安盛普請入用として金7両) 借主石川安玖[印]・加判横山五郎兵衛(印)・取次同専三右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保18年丑10月	縦紙・1通	い 1281-2-18
預り申金子之事(石川安盛用金として金3両) 借主石川安玖[印]・加判横山五郎兵衛(印)・請合同専三右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保18年丑11月	縦紙・1通	い 1281-2-19
預り申金子之事(石川安盛借金として金20両) 領主石川安玖[印]・請合横山五郎兵衛(印)・加判同専三右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保18丑年12月	縦紙・1通	い 1281-2-20
請合申米之事(元金20両来卯年物成御書入を石川安盛左借用) 戸塚村庄や茂七(印)・北一色村庄や与右衛門(印)・鹿田村庄や庄七(印)・沖野嶋村庄や彦十郎(印)・増田村庄や久右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保19寅年12月	縦紙・1通	い 1281-2-21
預り申金子之事(金20両借用) 借主石川安盛(印)・加判同安玖[印]・請合横山専三右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保19寅年12月	縦紙・1通	い 1281-2-22
預り申金子之事(石川安盛左用金として金2両借用) 借主石川安玖[印]・請合横山専三右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保20年卯4月	縦紙・1通	い 1281-2-23
預り申米之事(納米3石鹿田村亥暮残米にて返納すべき旨) 横山五郎兵衛(印)→神戸分左衛門殿	子9月15日	縦紙・1通	い 1281-2-24
覚(勘定残金の内金8両受取石川安盛方へ渡すべき旨) 横山嘉藤次(印)→神戸分左衛門殿	4月9日	縦切紙・1通	い 1281-2-25
覚(同苗安盛用金として金20両預りにつき) 石川安玖[印]→神戸分左衛門殿	酉12月20日	縦切紙・1通	い 1281-2-26
預り申金子之事(石川安盛江戸下り金として金5両) 池田八郎右衛門(印)	7月6日	縦切紙・1通	い 1281-2-27
(村方より請合印判を取ったので進上する旨書状) 横山専三右衛門→神戸分左衛門様	6月18日	横切紙/(い 1281-1-1~3は一綴)・1通	い 1281-1-1
①覚(納米46石4斗4升4合代金受取の旨)、②覚(納米40石代金受取の旨) ①②横山専三右衛門(印)→神戸分左衛門殿	①享保19年寅12月、②(享保)20年卯12月	縦紙・1通	い 1281-1-2
預り申金子之事(池田八郎右衛門殿より借り金にて金1両2分) 横山五郎兵衛(印)→神戸分左衛門様	正月19日	縦切紙・1通	い 1308-109
買上ケ申米之事(御納米28石) 塩町金左衛門(花押)→横山五郎兵衛様	申11月9日	縦切紙・1通	い 1491

石河伊賀守

拝借仕金子之事(金100両) 摂州門戸村中嶋次郎左衛門[印]・同州西宮法花屋と左衛門(印)・同州蔵人村重助(印)・(奥書)摂州門戸村庄屋吉兵衛(印)・同村組頭次郎兵衛[印]・	寛延3年午11月	縦継紙・1通	い 1298-14
---	----------	--------	-----------

神戸家・勘定場/金融/領主金融/石河伊賀守

同村同断久兵衛(印)→中嶋佐五右衛門殿・若原治部助殿・清水丈丈左衛門殿・杉浦善大夫殿			
借用申金子之事(石河伊賀守領知摂州武庫郡門戸村中嶋次郎左衛門に金100兩借用させる旨)*控 杉浦善大夫・清水丈丈左衛門・若原治部助・中嶋佐五右衛門→神戸文左衛門殿	寛延3年午11月	縦継紙/(い1340-1~22は一綴)/(い1340-1はい1340-2に糊付)・1通	い1340-1
借用申金子之事(石河伊賀守領知摂州武庫郡門戸村中嶋次郎左衛門に金100兩拝借させる旨) 杉浦善大夫(印)・清水丈丈左衛門(印)・若原治部助(印)・中嶋佐五右衛門(印)→神戸文左衛門殿	寛延3年午11月	縦紙・1通	い1340-2
借用申金子之事(石河伊賀守用金として金400兩) 池田八郎右衛門(印)・梶山奥内(印)→神戸文左衛門殿	宝暦5年亥12月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1340-3
拝借仕金子之事(親次郎左衛門拝借金の内75兩上納すべき旨)*写 摂州門戸村中嶋永治(印)・同国川辺郡昆陽村橋本兵藏(印)→杉浦善大夫殿・川井弁右衛門殿・渡辺久大夫殿	宝暦13年末12月	縦紙・1通	い1298-17
借用申金子之事(石河伊賀守用金として金1751兩3分) 浅川久之丞(印)・杉山弥一左衛門(印)・杉山作左衛門(印)→神戸孫右衛門殿	明和2年酉5月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1340-4
借用申金子之事(石河伊賀守用金として金100兩) 浅川久之丞(印)・杉山弥一左衛門(印)→神戸孫右衛門殿	明和4年亥12月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1340-5
可被相渡米之事(120石は当年物成の内払うべき旨) 浅川久之丞・杉山弥一左衛門(印)→富永吉左衛門殿	明和5年子11月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1340-6
借用申金子之事(屋敷用金として金100兩) 松本佐助(印)・三枝弥一左衛門(印)・笹岡文五右衛門(印)・河野九左衛門(印)・村木佐五兵衛(印)・(裏書)水野弥之右衛門(印)・福嶋八郎右衛門(印)・小池奥左衛門(印)→犬山屋(神戸)孫右衛門殿	明和8年卯12月	縦紙・1通	い1340-7
借用申金子之事(石河伊賀守用金として金15兩) 日比野外内(印)・若原弥五助(印)・川井齋右衛門(印)・富永直平治(印)・(裏書)浅川久之丞之丞(印)→犬山屋嘉兵衛殿	明和9年辰6月	縦紙・1通	い1340-8
借用申金子之事(石河伊賀守用金として金100兩) 当病ニ付無印岩田瀬兵衛・富永小三治小三治(印)・若原弥五助(印)・杉山奥内(印)・杉山弥一左衛門(印)→神戸文左衛門殿	寛政11年末12月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1340-9
可被相渡米之事(当申年物成の内120石払うべき旨) 杉山奥内(印)・杉山弥一左衛門(印)→富永吉左衛門殿	寛政12年申11月	縦紙・1通	い1340-10
借用申金子之事(屋敷勝手入用につき金100兩) 古畑彦大夫(印)・岩田甚兵衛(印)・鳥居嘉右衛門(印)・笹岡文五右衛門(印)・横井忠右衛門(印)・(裏書)大竹傳兵衛(印)・水野瀬兵衛(印)・中川三九郎(印)→犬山屋辰治郎殿	文化6年巳12月	縦紙・1通	い1340-11
借用申金子之事(屋敷勝手急入用につき金50兩)* (端裏貼紙)「二」 棚橋左六(印)・富永直三郎(印)・石崎喜代蔵(印)・大脇久蔵(印)・飯沼百助(印)→犬山屋源蔵殿	文化8年末2月	縦紙・1通	い1340-12
借用申金子之事(屋敷勝手急入用につき金50兩)* (端裏貼紙)「一」 棚橋左六(印)・富永直三郎(印)・石崎喜代蔵(印)・大脇久蔵(印)・飯沼百助(印)→犬山屋源蔵殿	文化8年末2月	縦紙・1通	い1340-13
借用申米之事(屋舗入用として米60石)* (端裏貼紙)「五」 棚橋左六(印)・富永直三郎(印)・石崎喜代蔵(印)・大脇久蔵(印)・飯沼百助(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化9年申5月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1340-14

借用申金子之事(急要用につき金15両) * (端裏貼紙)「四」 棚橋左六(印)・富永直三郎(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿御取次	文化9年申4月	堅紙・1通	い 1340-15
借用申納米之事(屋敷勝手要用につき米60石) * (端裏貼紙)「七」 棚橋左六(印)・石崎喜代蔵(印)・大脇久蔵(印)・飯沼百助(印)、(奥書)杉山弥一左衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化9年申8月	堅紙・1通	い 1340-16
一札之事(別紙証文の通り金200両借用につき) * (端裏貼紙)「三」 棚橋左六(印)・富永直三郎(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化9年申2月	堅紙・1通	い 1340-17
一札(別紙添証文の通り金200両借用につき) * (端裏貼紙)「六」 棚橋左六(印)・石崎喜代蔵(印)・大脇久蔵(印)・飯沼百助(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化9年申6月	堅紙・1通	い 1340-18
借用申金子之事(屋敷勝手要用につき金12両) * (端裏貼紙)「十」 石崎喜代蔵(印)・大脇久蔵(印)、(奥書)加嶋清八郎(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿・美濃屋惣兵衛殿	文化12年亥8月	堅紙・1通	い 1340-19
可相渡米之事(米150石) * (端裏貼紙)「九」 松井忠左衛門(印)、(裏書)加嶋清八郎(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿・美濃屋惣兵衛殿	文化12年亥8月	堅紙・1通	い 1340-20
借用申金子之事(屋敷勝手入用として金150両) * (端裏貼紙)「拾壹」 石崎喜代蔵(印)・大脇久蔵(印)、(裏書)石太八(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿・美濃屋惣兵衛殿	文化12年亥8月	堅紙・1通	い 1340-21
覚(利足金22両1分1匁5分、元金162両利金書上につき) * (端裏貼紙)「石河伊賀守」/(端書)「石河様へ書上候分写」 犬山屋(神戸)文左衛門・美濃屋惣兵衛→飯沼百助様・石崎喜代蔵様・富永直三郎様	寅6月	堅紙・1通	い 1340-22
(小林所へお談の件は委細御紙面の趣承知した旨書状) 梶山奥内→神戸分左衛門様	閏11月8日	横切継紙・1通	い 1640-7-4

梶山奥内

借用申金子之事(金3両) 梶山奥内(印)→神戸文左衛門殿	宝暦4年戌7月11日	堅切紙/(い 1337-1~3は一綴)/い1337は3通貼継・1通	い 1337-1
(金3両借りたきにつき書状) 梶山奥内→神戸文左衛門様	7月11日	横切継紙・1通	い 1337-2
(盆前の無心につき金子お貸し下さり忝きにつき書状) 梶山奥内→神戸文左衛門様貴下	7月24日	横切継紙・1通	い 1337-3

正覚寺

以質物借用申金子之事(要用につき海東郡納屋山外新田田畑書入れ金900両) * 写 金借り主正覚寺義海印・納屋山外新田地守小七印・同所証人福田新田長蔵印・同所庄屋福田新田弥市印→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化4年卯5月	堅切紙・1通	い 1341
以質物借用申金子之事(要用につき海東郡納屋山外新田田畑書入れ金900両) * 写 金借主正覚寺義海判・納屋山外新田守小七判・同所証人福田新田長蔵判・同所庄屋福田新田弥市判→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化4年卯5月	堅紙・1通	い 1344
証文之事(田地を書入手形1通預り金700両預けにつき) 犬山屋(神戸)文左衛門(印)→正覚寺殿	文政12年丑5月	堅紙・1通	い 1301

神戸家・勘定場/金融/領主金融/正覚寺

証文之事(金子・米切手請取証控) 犬山屋(神戸)文左衛門印→正覚寺殿	文政12年丑5月	半(一ツ綴)/ (い2003-1~2 は一綴)/ (い 2003-1-1~10 は一綴)・1冊	い 2003-1-1
御預り申金子之事(元金200両預り証文控) 田町預り 主正覚寺判→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文政12丑6月	縦継紙・1通	い 2003-1-5
請取申金子之事(犬山屋文左衛門より田町正覚寺へ 預置の米切手金200両) 犬山屋(神戸)文左衛門代天満 屋九兵衛[印]→妙行院様	天保12年丑7月12日	縦紙・1通	い 1345
覚(金650両請取につき) 犬山屋(神戸)文左衛門[印]→田 町正覚寺様	已12月25日	縦紙・1通	い 1306
覚(金700両請取につき) 犬山屋(神戸)文左衛門[印]→田 町正覚寺様	已12月18日	縦紙・1通	い 1307
(明朝金子渡すにて証文ご持参下されたきにつき書 状) 妙行院→天満屋久兵衛様	9月17日	横切紙・1通	い 1400-72
(正覚寺金談一件別紙の通り返済の筈、書付の通り金 銀請取相渡すべしにつき一札) 妙行院(印)→天満屋 久兵衛殿	8月	横切継紙・1通	い 1400-75
(御引き合わせの金子残らず御渡しにつき書状) * (端裏書)[九月十七日柴八拜物遣し即刻承知之旨来] 天満 屋九兵衛→妙行院様	9月17日	横切紙・1通	い 1400-93
覚(正覚寺金談一条につき請書) 天満屋九兵衛→妙行 院殿	丑8月5日	小切紙・1通	い 1493-17
(文左衛門金子出入の儀、今日金子並びに書付類双方 渡し済しにつき証文) 田町正覚寺(印)→天満屋九兵衛 殿	丑9月18日	縦紙・1通	い 1880
覚(犬山屋文左衛門と田町正覚寺間の金銭出入内済 につき書付) 犬山屋(神戸)文左衛門代天満屋九兵衛→ 妙行院殿	丑9月	縦紙・1通	い 1924
(別紙預ケ金高の外に米札100両添手形)		小切紙・1通	い 2003-1-2
頭書覚(納屋山地所書入手形預り証文ほか今般請取 渡しの古書付類書上)		横切紙・1通	い 2003-1-3
覚(正覚寺返済残金来月20日までに返済の旨約定書) *控妙行院印→天満屋九兵衛殿	丑8月朔日	縦切紙・1通	い 2003-1-4
覚(田町正覚寺への貸金のうち米切手金250両請取 証) 犬山屋(神戸)文左衛門(印)・天満屋九兵衛[印]→御取 扱妙行院様	丑8月晦日	縦紙・1通	い 2003-1-7
覚(正覚寺金談一条残金皆済請書) 天満屋九兵衛[印] →妙行院様	丑8月5日	縦継紙・1通	い 2003-1-8
乍恐御請奉申上候御事(正覚寺への預ケ金請取方の 儀につき請書) 犬山屋(神戸)文左衛門代天満屋九兵衛	丑7月11日	縦紙・1通	い 2003-1-9
覚(田町正覚寺への貸金のうち米切手金250両請取 証) 犬山屋(神戸)文左衛門(印)・天満屋九兵衛[印]→御取 扱妙行院様	丑8月晦日	縦紙・1通	い 2003-1-10
(正覚寺・文左衛門金談一件関係文書綴)	丑	半(一ツ綴)・1 冊	い 2003-2

その他			
預り申金子之事(合小判5両借金につき) 早野三四郎 (印)→神戸文左衛門殿	元禄元年辰12月28日	豎紙/(い 1308-1~112は 一綴)・1通	い 1308-1
借用申金子之事(民部勝手入用金20両) 片山武左衛門 ・種尾孫左衛門(印)・榊原伝右衛門(印)→神戸分右衛門殿	元禄2年巳ノ12月26日	豎切紙/(い 1323-1~3は一 綴)・1通	い 1323-1
借用申金子之事(奥方入用として金10両) 榊原伝右衛 門(印)→神部分右衛門殿	元禄3年午ノ5月20日	豎切紙・1通	い 1323-2
借用申金子之事(斎殿入用として金20両) * (端裏貼 紙)「片山武左衛門」 種尾孫左衛門(印)→神戸分右衛門殿	元禄4年未ノ2月28日	豎切紙・1通	い 1323-3
預り申金子之事(頼母子金として小判10両借金につ き) 中山元道(印)→神戸分左衛門様	元禄7年戌ノ12月27日	豎紙・1通	い 1308-2
預り申金子之事(合小判1両借用につき) 嶋田又右衛 門(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	元禄10年丑9月13日	豎紙・1通	い 1308-3
借用申金子之事(合小判50両) 佐藤六兵衛[印]→神戸分 左衛門殿	元禄12年卯正月17日	豎切紙・1通	い 1308-4
借用申金子之事(合小判5両) 海辺五大夫(印)海野源四 郎(印)→神戸分左衛門殿	元禄16年未11月	豎紙/(虫損あ り)・1通	い 1308-5
借用申金子之事(合小判3両) 海辺五大夫(印)海野源四 郎(印)→神戸分左衛門殿	元禄17年申正月	豎紙・1通	い 1308-6
預申金子之事(合小判1両) 岩田分助[印]→神戸分左衛 門殿	宝永2年酉7月	豎切紙・1通	い 1308-7
借用申金子之事(長野数馬前廉入用金50両) 長野数馬 内真野兵左衛門(印)・同内中村文右衛門(印)・同内前田傳藏 (印)・加判平手傳助(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	宝永3年戌12月	豎紙・1通	い 1309
借用申金子之事(金10両) 借主服部郷右衛門(印)・証人 大田弥太郎(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥2月	豎切紙・1通	い 1308-9
借用申金子之事(急用にて金5両) 金借り主服部郷右衛 門(印)・証人大田弥太郎(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月	豎切紙・1通	い 1308-10
預り申金子之事(合小判5両借用につき) 金かり主磯 部句当(印)・加判いせや清兵衛(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子ノ9月15日	豎継紙・1通	い 1308-11
借用申金子之事(合小判10両) 近松孫兵衛(印)→神戸分 左衛門殿	宝永7年寅5月16日	豎切紙・1通	い 1308-12
預り申金子之事(小判3両借用につき) 加藤善右衛門 (印「定恒」)・高田多兵衛(印)→神戸分左衛門殿	宝永7年寅ノ3月29日	豎切紙/(虫損 あり)・1通	い 1308-13
借用申金子之事(合小判10両) 近松孫兵衛(印)→神戸分 左衛門殿	宝永7年寅3月21日	豎切紙・1通	い 1308-14
預り申金子之事(合小判20両借用受取につき) 小池 林大夫(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	宝永8年卯4月	豎切紙・1通	い 1308-15
借用申金子之事(我等居宅調えにつき合小判50両) 近松与次右衛門(印)→神戸分左衛門殿	宝永8年卯5月6日	豎切紙・1通	い 1308-16
借用申金子之事(主税勝手入用として金150両) 山澄 主税内小鹿儀兵衛(印)・同(山澄主税内)衣笠幾右衛門(印)・ 同金澤七郎右衛門(印)・加判大田弥太郎(印)、(裏書)主税 (印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	正徳元年卯12月	豎紙・1通	い 1310
預り申金子之事(合小判10両借用につき) 谷川吉兵衛	正徳3年巳10月	豎紙・1通	い 1308-18

神戸家・勘定場/金融/領主金融/その他

(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿			
借用申金子之事(小判10両) 白鳥菊田久大夫(印)→犬山屋庄八郎殿	正徳5年未5月20日	堅切紙・1通	い1308-20
借用申金子之事(金3両) 池田八郎右衛門(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	正徳5年未8月9日	堅切紙・1通	い1308-21
預り申金子之事(小判10両借用につき) 坂嘉兵衛(印)→神戸文左衛門殿	享保元年申12月23日	堅切紙・1通	い1308-22
借用仕金子之事(金3両) 服部浅之右衛門(印)・同(服部)郷右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保2年酉12月大晦日	堅切紙・1通	い1308-23
預り申金子之事(合小判100両借用につき) 近松与次右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保2年酉10月2日	堅切紙・1通	い1308-24
預り申金子之事(旦那御用につき金20両) 津田宅右衛門(印)・加判佐治茂右衛門(印「尊徳」)→神戸文左衛門殿	享保4年亥4月	堅紙/(綴穴あり)・1通	い1311
預り申金子之事(合新金5両借用につき) 今井伊右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保5年子12月	堅切紙・1通	い1308-25
預り申金子之事(旦那入用金として合乾金20両借用につき) 野崎三之右衛門内山田宇左衛門[印]・同断牧野平蔵(印)→神戸分左衛門殿	享保5年子9月	堅紙・1通	い1308-26
借用申金子之事(屋敷勝手用金として金50両) 廣原文之丞内谷川源兵衛(印)・水垣門左衛門(印)・野口幸右衛門(印)・野口次郎左衛門(印)→休岸殿	享保5年子12月	堅紙/(い1338-1~7は一綴)・1通	い1338-1-1
(亥12月22日借り元金100両・利金10両の書上)	(享保5年)子12月29日	横切紙/(い1338-1-2~3はい1338-1-1に貼付)・1通	い1338-1-2
(子2月24日借り元金50両・利金5両の書上)	(享保5年)子12月29日	横切紙・1通	い1338-1-3
借用申金子之事(屋舗勝手用金として金100両) 廣原文之丞内谷川源兵衛(印)・水垣門左衛門(印)・野口幸右衛門(印)・野口次郎左衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保5年子12月	堅紙・1通	い1338-2
借用申金子之事(屋敷勝手用金として金50両) 廣原文之丞内谷川源兵衛(印)・水垣門左衛門(印)・野口幸右衛門(印)・野口次郎左衛門(印)→休岸殿	享保5年子12月	堅紙・1通	い1338-3
預り申金子之事(金5両) 廣原文之丞内谷川源兵衛(印)・水垣門左衛門(印)・野口幸右衛門(印)・野口次郎左衛門(印)→休岸殿	享保5年子12月	堅紙・1通	い1338-4
預り申金子之事(金10両) 廣原文之丞内谷川源兵衛(印)・水垣門左衛門(印)・野口幸右衛門(印)・野口次郎左衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保5年子12月	堅切紙・1通	い1338-5
借用申金子之事(屋舗勝手用金として金105両) 廣原文之丞内谷川源兵衛(印)・水垣門左衛門(印)・野口幸右衛門(印)・野口次郎左衛門(印)・(裏書)廣文之丞(印)→休岸殿	享保6年丑2月	堅紙・1通	い1338-6
借用申金子之事(屋舗勝手用金として金112両) * (端裏貼紙)「廣原文之丞」 廣原文之丞内谷川源兵衛(印)・水垣門左衛門(印)・野口幸右衛門(印)・野口次郎左衛門(印)・(裏書)廣文之丞(印)→神戸分左衛門殿	享保6年丑2月	堅紙・1通	い1338-7
預り申金子之事(合新金10両借用につき) 小澤九郎左衛門(印)・加判伊勢屋清兵衛(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保6年丑ノ3月	堅切紙・1通	い1308-27
借用申金子之事(新金15両) 池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保6年丑12月	堅紙/(綴穴あり)・1通	い1312

預申金子之事(要用につき金2両2分) 金預り主波多野兵左衛門[印]・加判人鈴木六左衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保6年丑7月	堅紙/(綴穴あり)・1通	い 1313
借用申金子之事(数馬勝手入用として金10両) 長野数馬内真野兵左衛門(印)・同中村文右衛門(印)・同前田伝藏(印)・口入平手伝助→神戸分左衛門殿	享保6年丑12月晦日	堅紙/(綴穴あり)・1通	い 1319
借用申金子之事(半蔵方入用につき金50両) 平岩浅右衛門(印)・山内喜右衛門(印)・杉浦左大夫(印)・服部太左衛門[印]→犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保7年寅正月	堅紙/(綴穴あり)・1通	い 1314
預り申金子之事(相沢旬当坊官金として合新金53両借用につき) 佐藤与市(印)→神戸分左衛門殿	享保8年卯12月	堅切紙・1通	い 1308-28
預り申金子之事(旦那入用として金59両借用につき) *(端裏書)「表書之金子無相違返済可申付者也 小山市兵衛(印)」 小山市兵衛内伊藤善大夫(印)・同阿部甚左衛門(印)・同安井利右衛門(印)・口入丹羽藤藏、(裏書)小山市兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保8年卯12月	堅紙・1通	い 1308-30
借用申金子之事(数馬入用につき金5両) 長野数馬内真野兵左衛門(印)・同中村文右衛門(印)・同前田伝藏(印)→神戸分左衛門殿	享保8年卯12月晦日	堅切紙/(綴穴あり)・1通	い 1317
借用申金子之事(金2両) 加判三谷隠岐守(印)・預り主鈴木伊賀守(印)→間宮甚五左衛門殿	享保8年卯12月	堅紙/(綴穴あり)・1通	い 1318
借用申金子之事(勝手入用にて合小判2両) 長徳寺(印)「長徳寺」→元材木町(神戸)分左衛門殿	享保9年辰2月	堅紙・1通	い 1308-33
覚(200両にて引取の旨)	(享保8年)卯12月	堅継紙/(い1281-1~2は一綴)・1通	い 1320-1
借用申金子之事(一学用金として金200両) 野崎一学内秋江左太夫(印)・伊藤忠次郎(印)、(裏書)野一学[印]→神戸分左衛門殿・萱津屋伊右衛門殿	享保8年卯12月	堅紙・1通	い 1320-2
借用申金子之事(半蔵方入用につき金115両) 鈴木六左衛門・(印)神野三郎右衛門(印)・安藤瀬左衛門(印)・平岩浅右衛門(印)・山内喜右衛門(印)・杉浦左大夫(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保9年辰正月	堅紙・1通	い 1308-34
借用申金子之事(金5両) 今津伝右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保10年巳12月	堅切紙・1通	い 1308-35
借用申金子之事(金5両) 借主池田八郎右衛門(印)・加判今津伝右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保10年巳12月	堅切紙・1通	い 1308-36
借用申金子之事(金3両) 近藤丈助(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿御取次	享保10年巳12月	堅切紙・1通	い 1308-37
借用申金子之事(金5両) 平岩七郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保10年巳10月	堅切紙・1通	い 1308-38
受取申金子之事(村瀬吉左衛門殿御取替のため金2両) 吉田与兵衛(印)→神戸文左衛門殿	享保10年巳10月	堅切紙/(綴穴あり)・1通	い 1316
預り申金子之事(下拙家求むにつき足金の内10両借用につき) かり主奥田三徹(印)→神戸分左衛門殿	享保11年午8月8日	堅切紙・1通	い 1308-42
預り申金子之事(金20両) 教授寺(印)→神戸分左衛門殿	享保12年未12月	堅紙・1通	い 1308-43
借用申金子之事(勝手入用として小判15両) 金借り主岩田八大夫[印]・加判同(岩田)源藏(印)・加判同(岩田)正憲(印)→近藤休岸殿	享保12年未5月晦日	堅紙・1通	い 1308-44
覚(神戸家の蔵に預けし知行所村々納米の受取書)	享保12年未閏正月	堅紙・1通	い 1544

神戸家・勘定場/金融/領主金融/その他

山本筈右衛門(印)→神戸分左衛門様			
借用申金子之事(金6両) 金借り主教授寺(印)→神戸分左衛門殿	享保13年申12月	縦紙/(貼紙あり)・1通	い 1308-45
借用申祠堂金之事(小判9両) 金預り主磯谷覚左衛門(印)・同断同(磯谷)次郎右衛門(印)→教授寺御取次	享保13年申12月	縦紙・1通	い 1308-46
預り申金子之事(金3両1分借用につき) 山本筈右衛門(印)・同(山本)浅之助(印)→神部(マ)文左衛門殿	享保13年申正月	縦紙・1通	い 1308-47
預り申金子事(小判2両借用につき) 山本筈右衛門(印)・同(山本)浅之助(印)→神戸分左衛門殿	享保14年酉8月	堅切紙・1通	い 1308-49
借用申金子之事(勝手不如意につき金60両) 借主稲垣又右衛門(印)・須加井惣右衛門(印)・加判池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保14年酉霜月	縦紙/(綴穴あり)・1通	い 1321
借用申金子之事(金2両3分) 上田伴右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保14年酉12月	堅切紙/(い1322-1~9は一綴)・1通	い 1322-1
預り申金子之事(金2両2分) 上田伴右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌6月	堅切紙・1通	い 1322-2
預り申金子之事(金41両2分余) 金借り主上田伴右衛門(印)・加判池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌正月	堅切紙・1通	い 1322-3
預り申金子之事(金3両2分・金2両2分・金12両2分) 金借り主上田伴右衛門(印)・加判池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌7月	堅切紙・1通	い 1322-4
預り申金子之事(金5両) 上田伴右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌8月	堅切紙・1通	い 1322-5
借用申金子之事(金4両) 上田伴右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌8月	堅切紙・1通	い 1322-6
預り申金子之事(金100両) 金借り主上田伴右衛門(印)・加判池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌正月	堅切紙・1通	い 1322-7
預り申金子之事(金14両1分) 金借り主上田伴右衛門(印)・加判池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌2月	堅切紙・1通	い 1322-8
預り申金子之事(金4両・金3両2分・金3両2分) 金借り主上田伴右衛門(印)・加判池田八郎右衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌5月	縦紙・1通	い 1322-9
借用申金子之事(旦那江戸下り入用金として50両) 平岩七大夫内加野幸右衛門(印)・同断金森小右衛門(印)・加判犬山や(神戸)分左衛門→かや津や伊助殿	享保14年酉壬9月	縦紙・1通	い 1415
借用申米之事(米1石5斗借用につき) 山本筈右衛門(印)・同浅之介(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌4月	縦紙/(い1325-1~3は一綴)・1通	い 1325-1
預り申米之事(納米1石5斗借用につき) 山本筈右衛門(印)・同浅之介(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌6月	縦紙・1通	い 1325-2
借用申米之事(納米1石借用受取につき) * (端裏貼紙)「山本」 山本筈右衛門[印]・同浅之助(印)→神戸分左衛門殿	享保15年戌8月	堅切紙・1通	い 1325-3
借用申金子之事(惣右衛門勝手入用につき金8両) 稲垣又右衛門(印)・(奥書)須加井惣右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	享保16年亥12月	縦紙/(綴穴あり)・1通	い 1326
預り申金子之事(金5両) 川村善兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保17年子7月	縦紙/(綴穴あり)・1通	い 1328

借用申金子之事(旦那用金として金63両) 野崎一学内 在江戸秋江佐太夫・伊藤忠次郎(印)→神戸分左衛門殿	享保17年子12月	堅切紙/(綴穴あり)・1通	い 1329
覚(納米20石5斗代金15両2分1匁8分2厘受取につき) 平岩吉次郎内加野幸右衛門(印)→神戸分左衛門殿	丑12月22日	堅切紙/(い1333-1~2は一綴)・1通	い 1333-1
借用申金子之事(先代当代借入金35両の返済次第) 加野幸右衛門(印)・金森小右衛門(印)、(裏書)平岩吉次郎 (印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保19年寅12月	堅紙・1通	い 1333-2
借用申金子之事(小判10両) 加判坂嘉兵衛(印)・借り主 同(坂)市郎右衛門[印]→犬山屋(神戸)孫右衛門殿	享保18年丑5月	堅切紙・1通	い 1308-52
借用申金子之事(光寿院へ入院につき金3両) 建中寺 丈内借り主林江(印)・加判横山専之右衛門→神戸分左衛門 殿	享保19年寅ノ	堅紙・1通	い 1308-53
借用申金子之事(小判20両) 寛平内[印]、(裏書)岩治部 (印)	享保19年寅12月	堅紙・1通	い 1308-54
覚(全香寺へ入院入用として金2両借用につき) 借 主全香寺弁明(印「全香寺」)・加判光正院(印)隠居義岳(花 押)→山形屋庄兵衛殿	享保20年卯霜月	堅紙・1通	い 1308-55
借用申金子之事(小判6両) 平手伝助(印)→源七殿取次	享保20年卯4月8日	堅切紙・1通	い 1308-56
借用申金子之事(忠兵衛方入用として金15両) 岡田 安左衛門(印)、(裏書)今泉兵衛(印)→犬山屋(神戸)文左衛 門殿	享保20年卯2月	堅紙・1通	い 1308-57
預り申金子之事(小判5両借用につき) 花井八郎左衛 門(印)→神戸分左衛門殿	享保20年乙卯4月28日	堅切紙・1通	い 1308-58
預り申金子之事(仲満連判をもって金5両借用につ き) 白井善右衛門(印)・伊藤茂兵衛(印)・河野文吉(印)・柴 田勘平(印)→神戸分左衛門殿	享保20年卯10月	堅紙/(貼紙あ り)・1通	い 1308-59
借用申金子之事(旦那勝手入用として金15両借用に つき) 武藤長右衛門(印)、(裏書)埴原金左衛門(印)→犬 山屋(神戸)文左衛門殿	享保20年卯12月	堅紙・1通	い 1308-60
借用申金子之事(知行所納り迄取続がたきにて金3 分) 山本筈右衛門(印)・同(山本)浅之助(印)→普海様	元文3年午7月23日	堅切紙・1通	い 1308-61
借用申金子之事(古金5両) 寺澤茂助(印)→神戸分左衛 門殿	元文3年午2月	堅切紙・1通	い 1308-62
借用申金子之事(用金として金100両) 酒井庄左衛門 (印)・笹岡定之右衛門(印)・服部九右衛門(印)、(裏書)福嶋 源吾右衛門(印)→近藤伊右衛門殿	元文4年未2月	堅紙/(い1335-1~2は一綴)/(虫損あり)・1通	い 1335-1
(未納米120石を11月中に近藤伊右衛門へ渡すべき旨 申渡) 福源五右衛門(印)→江崎牧右衛門殿	未2月	堅紙/(虫損あ り)・1通	い 1335-2
借用申金子之事(金25両) 久保弥太郎(印)→犬山屋(神 戸)分左衛門殿御取次	元文5年申12月	堅切紙・1通	い 1308-64
借用申金子之事(旦那勝手入用として文字金15両) 武藤長右衛門(印)、(裏書)埴原金左衛門(印)→犬山屋(神 戸)文左衛門殿	寛保元年酉12	堅紙・1通	い 1308-65
預申金子之事(金5両借用) 近藤清兵衛(印)→神戸文左 衛門殿	寛保元年酉12月	堅切紙・1通	い 1308-68
借用申金子之事(金15両) 古川喜四郎(印)・加判伊藤治 郎左衛門[印]→神戸文左衛門殿	寛保3年亥12月	堅紙・1通	い 1336-3

神戸家・勘定場/金融/領主金融/その他

借用申米之事(後藤小十郎妹入用として金10両借用) 鈴木四郎兵衛(印)・加判同鈴木丹二郎(印)→犬山屋(神戸) 文左衛門殿	延享元年子4月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1308-69
借用申金子之事(金3両) 三尾惣大夫(印)→神戸分左衛門殿	延享元年子12月	縦切紙・1通	い1308-70
覚(年賦金につき来已暮よりは6両ずつ返済すべき旨) かり主加藤小兵衛(印)・加判大井幸右衛門(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	寛延元(年)辰12月	縦紙・1通	い1343
借用申金子之事(金20両) 佐藤貞助(印)→神戸分左衛門殿御取次	寛延3年午8月	縦切紙/(虫損あり)・1通	い1308-74
覚(近松孫兵衛方へ金50両渡すにつき) 野垣源兵衛(印)→神戸弥左衛門殿・神戸分左衛門殿	宝暦元年未12月	縦切紙/(い1324-1~4は一綴)・1通	い1324-1
預り申金子之事(当暮旦那勝手入用として金20両借用) 小野藤兵衛内小川長右衛門(印)・口入惣助(印)、(奥書)小野藤馬(印)→神戸文左衛門殿	宝暦2年申12月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1308-78
借用申金子之事(金22両借用) 杉山作左衛門(印)→神戸文左衛門殿・永田善次郎殿御取次	宝暦12年午3月	縦切紙/(虫損あり)・1通	い1308-75
借用申金子之事(金10両、利足1両につき1ヶ月銀7分5厘を加え、子丑両年に元金5両ずつ返済致すにつき) 浅野八郎右衛門(印)、(奥書)野垣源兵衛(印)→犬山屋嘉兵衛殿	明和4年亥12月	縦紙・1通	い1483-1-2
預り申金子之事(要用につき金5両) 野垣源兵衛(印)→神戸孫右衛門殿	安永元年辰12月	縦紙・1通	い1324-2
預り申金子之事(勝手要用につき金50両) 野垣源兵衛(印)→神戸孫右衛門殿	安永元年辰12月	縦紙・1通	い1324-3
借用申金子之事(金1両利足1ヶ月に銀7分5厘にて借用致し、返済遅滞すれば知行所の内春日井郡船津村物成を元利に引取るべき旨) 浅野八郎右衛門(印)→野垣源兵衛殿御取次	明和9年辰6月	縦紙・1通	い1483-1-3
借用申金子之事(御成入用につき金30両) * (端裏貼紙)「野垣源兵衛」 野垣源兵衛(印)→神戸文右衛門殿	安永6年酉8月	縦紙・1通	い1324-4
覚(60人講懸の内4両受取) 藤井為二(印)→犬山屋喜八殿	安永8年亥3月2日	横切紙/(い1308-83に貼付)・1通	い1308-82
覚(野々垣源兵衛借用の金50両・30両の返済次第) 藤井為二(印)→神戸文左衛門殿	安永8年亥3月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1308-83
借用申金子之事(金2両当亥12月20日までに返済致すに付) 加藤庄蔵(印)	安永8年亥7月	縦紙・1通	い1483-1-4
借用手形之事(拙者要用につき金50両) * 写 田崎吉左衛門・市岡甚右衛門・村瀬吉左衛門・鳥居覚右衛門・鈴木吉右衛門→奈倉道伯殿御取次	寛政5年丑10月	縦紙・1通	い1308-86
証文之事(亡父借用の金10両借用確認) 借り主勝町連三郎(印)・加判佐藤甚平(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	文化10年酉7月	縦紙/(虫損あり)・1通	い1308-88
借用申金子之事(要用につき米切手15両) 野田小平治(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化10年酉7月	縦紙・1通	い1308-89
借用申金子之事(米切手5両) 本間傳一郎(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文化14年丑7月	縦紙・1通	い1308-90
借用申金子之事(要用につき金2両2分) 山本庄五郎(印)・加判藤田六郎兵衛[印]→犬山屋(神戸)文左衛門殿	文政8年酉12月	縦切紙・1通	い1339

借用申金子之事(要用につき金25両) 金借主水野平左衛門(印)・証人神戸弥左衛門→神戸文左衛門殿御取次	嘉永5年子11月	堅切紙/(虫損あり)・1通	い 1308-108
拝借仕候金子之事(当用につき札金2両) 松田忠四郎(花押)→神(神戸)文左衛門様	卯10月29日	堅紙・1通	い 1279-14
(兼ねての金子遣わず間受取るべきにつき書状) 近藤清兵衛→神戸文左衛門様	12月26日	横切紙・1通	い 1308-67
借用申金子之事(今般求めた家屋敷代金の内金10両) 各務弥三右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	申3月	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1308-98
覚(山本笠右衛門殿御取替金9両当冬納米にて返済につき) 岡田亘斎(花押)→神戸分左衛門殿	酉3月22日	堅切紙・1通	い 1308-99
覚(金1両借用) 築丹次→犬山や(神戸)文左衛門様	丑7月14日	堅切紙・1通	い 1308-101
覚(金30両預り、明日日本手形引き換えにつき) 伊東庄兵衛[印]・水谷久左衛門(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	亥7月8日	堅紙・1通	い 1308-102
覚(金1両借用) 太田左仙(印)→神戸分左衛門様	亥極29日	横切紙・1通	い 1308-103
手形之事(掛物13箱質物に渡し金10両借用につき) 山口源右衛門(印)→本町孫右衛門殿	午ノ10月23日	堅紙・1通	い 1308-104
預り申金子之事(金3両、利息1割) 大嶋九右衛門(印)→神戸分左衛門殿	午12月4日	堅切紙・1通	い 1308-105
(無心の儀にて伊藤氏差図の通り手形認めたところ聞届けられ忝き旨につき書状)	12月21日	横切紙・1通	い 1336-2
覚(「ふちかた」4貫文借用返済差引200文差上につき) * (端書)「孫右衛門様」 佐次右衛門	(近世)亥12月	横切紙・1通	い 1394-11
(書状断簡) * 前欠 彦七郎(印)→ミの惣様・神戸様	壬申極月29日	横切紙・1通	い 1400-97
覚(金1両1分銀5匁2分5厘他メ金1両1分13匁2分6厘受取につき) 平尾清九郎→神戸分左衛門殿	亥12月28日	堅切紙・1通	い 1400-100
覚(15匁2分利足違い分受取につき) * 後欠/(後半はい1400-97)		堅切紙・1通	い 1400-101
覚(西屋与右衛門殿分古金19両質物、但物数13品長持入御願いにつき) 近藤清兵衛(印)→神戸分左衛門様	未7月10日	堅切紙・1通	い 1400-102
(金2両御出し下され忝き旨書状) 庄蔵→喜八様	7月13日	横切紙・(い1483-1~14は巻込一括)/(い1483-1-1~4は一綴)・1通	い 1483-1-1
(竹腰様御勝手方拝借元金勘定書)		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1493-16
覚(藩士貸金算用書)		横切紙・1通	い 1564-10
①覚(朝比奈へ100両借金の元金利金書上)、②朝比奈江栗笠請取金覚(受取金および朝比奈へ返金書上)	①寅12月~卯10月29日、②卯閏9月~辰3月23日	横切紙・(い1609は一紙だが①と②の間は一部切断)・1通	い 1609
(包紙) * (包紙上書)「犬山屋文左衛門様 杉山弥一左衛門」 杉山弥一左衛門→犬山屋(神戸)文左衛門様		包紙/(い1613-1~2は包紙一括)・1点	い 1613-0
(御無利なりとも御頼の件深切に御取計の段御礼かたがた伺書) 杉山弥一左衛門→神戸分左衛門様	12月朔日	横切紙・(黄色宿紙と桃色宿紙を貼継)・1通	い 1613-1

神戸家・勘定場/金融/領主金融/その他

(頼母子取立の金子にて返済の積りなので30金借用したき旨頼みの書状) 杉山弥一左衛門→神戸文左衛門様	11月26日	横切継紙/(青色宿紙と桃色宿紙を貼継)・1通	い 1613-2
①(金子願いにつき早速聞届下され今夕1両拝戴の旨書状)、②覚(金1両受取書) ①②水野平左衛門→神戸分左衛門様	①晩冬14日、②亥晩冬12月14日	横切継紙・1通	い 1615-10
(来月5日齡松院殿施餓鬼は承知の旨および金子10両拝借したき旨願いの書状) 泰雲寺→神戸文左衛門様	5月28日	横切継紙・1通	い 1615-11
(早々御返却すべきところ入手方先大に長引迷惑の旨返書) 泰雲寺→神戸様	7月9日	横切継紙・1通	い 1615-12
(兼て1両極拝詰のところ入用筋出来につき余儀なく拝戴願いの書状) 平左衛門→文左衛門様	臘月14日	横切継紙・1通	い 1615-13
(先日物語の通り手形認め進せたのでお渡下さるよう頼みの書状) 高田多兵衛→神戸分左衛門様	3月29日	切紙・1通	い 1620
(拙者小普請組御扶持方針になり大病中物入多難儀にて無心する旨書状) 樋口文右衛門→犬山屋(神戸)文左衛門様	正月21日	切紙・1通	い 1640-7-14
(兼て預り置のしち物の道具を今日持たせたので受取るよう書状) 近藤清兵衛→神戸分左衛門様	5月25日	横切継紙・1通	い 1643
(包紙) * (包紙上書)「古川無心手かミ」		包紙・1点/(未開封)	い 1647
(知行加増の祝儀の礼状) 平野新右衛門→犬山屋(神戸)文左衛門様	正月17日	縦紙・1通	い 1701

借入・預り金

天竺佐兵衛

記(金480円明治16年分御利金請取につき) 天野(印)→神戸様	明治17年2月2日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1402-134
覚(4千円利子金306円66銭6厘ほか差引2209円87銭4厘金銭書上) 天野→神戸様	明治21年8月2日	横切継紙・1通	い 1401-208
(天野佐兵衛11年5月2日金100円請取書ほか利子請取につき) *本文墨消あり	(明治)21年7月31日	折紙・1通	い 1401-209a
(元利計算書) 天野→神戸様	(明治)21年7月25日	横切継紙・1通	い 1401-209b
覚(金320円請取につき) 天竺[印「天竺」]→神戸様	明治21年9月1日	横切紙・1通	い 1402-208
覚(21年8月1日より金400円利4分ほか金銭書上) 天野→神戸様	明治22年8月14日	横切継紙・1通	い 1401-222
覚(600円利子1月より2月15日まで金26円53銭ほか差引11円47銭相渡しにつき) 天野左兵衛→神戸様	(明治)22年7月19日	切紙・1通	い 1401-223
(通帳請取にて請取証、一応入算下さるべく、金17円37銭9厘利子書上書とも) 天野佐兵衛→神戸様	(明治23年)6月11日	横切継紙・1通	い 1401-225
覚(金10円他×11円46銭5厘請取につき) 天野→神戸様	明治24年5月22日	切紙・1通	い 1401-205
覚(1月より31日まで金300円他×312円受取につき) 天野→神戸様	(明治)24年6月22日	横切継紙・1通	い 1401-206

(金216円・金1円44銭明治24年2月2日請取書ほか請取金額書上) *本文墨消あり 天野左兵衛[印]→神戸様	明治24年2月2日	折紙・1通	い 1401-207
覚(金12円本年年利子請取につき) 天野[印]→神戸様	(明治)24年6月20日	切紙・1通	い 1401-211
覚(金300円他メ310円19銭8厘のところ19銭8厘不足受取につき) 天野→神戸様	(明治)24年6月15日	横切継紙・1通	い 1401-212
覚(24年分御取替分金160円請取につき) 天野左兵衛[印]→神戸様	明治24年12月31日	切紙・1通	い 1401-217
記(手形引替に伊東太一郎殿へ金500円お渡しにつき) 天野左兵衛(印「天野左兵衛」)→神戸分左衛門様	明治25日3月24日	堅切紙・1通	い 1401-226
記(元金200円2月25日より28日までの利金7銭8厘ほか元利合974円25銭につき) 天竺[印]→神戸様	明治26年7月24日	横切紙・1通	い 1401-346
記(元金200円5月4日より31日までの利金1円21銭3厘ほか元利合305円60銭8厘につき) 天竺[印]→神戸様	明治26年7月29日	横切紙・1通	い 1401-347
記(元金400円1月30日より31日まで利金17銭6厘ほか元利合1609円86銭7厘につき) 天野佐兵衛→神戸様	明治26年7月21日	横切継紙・1通	い 1401-348
覚(元金150円5月11日より31日まで利金66銭6厘ほか差引42銭9厘不足にて受取) 天野佐兵衛[印]→神戸分左衛門様	明治26年8月5日	横切継紙・1通	い 1401-349
記(明治32年3月24日より6月26日まで95日間元金700円に関する日歩金15円96銭受取につき) 天野佐兵衛(印「尾州新川天野佐兵衛」)→神戸様	明治32年6月26日	横切紙/(い1401-64~65は糊付一括)・1通	い 1401-64
(封筒) * (封筒表書)「金七百円三十二年三月廿四日天野より借入ニ付三十二年六月廿六日返戻之利子受取証」		封筒・1点	い 1401-65
(入用にて別紙請取証差し上げにつき書状) 天野→神戸様	2月2日	横切継紙・1通	い 1401-204
(伊東太一郎より500円、別紙手形引替につき書状) 天野→神戸様	2月24日午後6時	横切継紙・1通	い 1401-210
証(17年12月30日金426円66銭7厘、20日4千円17分請取につき) *本文墨消あり/天野佐兵衛印4ヶ所、済印		折紙・1通	い 1401-219
記(21年9月12日金25円ほか金銭書上)		折紙・1通	い 1401-220
(利子の儀通帳の俣差し上げる他なく精算の上掛合にて願ひ上げにつき書状) 天野→神戸様	8月14日	横切継紙・1通	い 1401-221
(23年7月19日金600円請取ほか請取金書上) *本文墨消あり		折紙・1通	い 1401-224
書簡(7坪1合7勺不足地又貴殿所有地に於いて過坪にて本書の通り拙者請取につき) 加藤仁右衛門孫加藤鍵一		切紙/(貼紙あり)・1通	い 1401-227
(尊書拝見並びに200円正に拝受別紙へ請取差上などにつき書状)	7月3日	横切継紙・1通	い 1402-136
(本日持たされの金円別紙請取差上につき書状) 天野→神戸様	6月29日	横切継紙・1通	い 1402-137
(大口利子貴意に従い21年7朱と下げれば本年8月までは8朱9月より7朱と兼て指揮直ちに願上書) 新川天野左兵衛→名古屋木挽町神戸分左衛門様	9月8日	ハガキ/(い1403-102~104は一綴)・1通	い 1403-102
(封筒) * (封筒表書)「明治四十三年一月八日金千四百九拾八円天野へ返金ノ節來翰」	明治43年	封筒/(い1403-129~136は一綴)・1点	い 1403-129

神戸家・勘定場/金融/借入・預り金/天竺佐兵衛

(金円別紙請取の通り掌握等につき書状) 天野→神戸様	12年1月8日	横切継紙・1通	い 1403-130
証(金1618円請取につき) 天野→神戸様	13年1月8日	横切継紙・1通	い 1403-131
(金14円掌握下されたきにつき書状) 天野→神戸様	12月27日	横切継紙・1通	い 1403-132
(金円証別紙の通り指上入掌下されたきにつき書状) 左吉→神戸様	9月27日	横切継紙・1通	い 1403-133
(封筒) * (封筒表書)「天野より金壹百円渡ストキ手 十二年九月十六日」	12年9月16日	封筒・1点	い 1403-134
(金100円小切手この者へお渡し下されたきにつき書状) 天野[](印「尾州新川 天野佐兵衛」)→神戸様	9月16日	横切継紙・1通	い 1403-135

楢山奥内

請取申金子之事(寅年分利足として金24両受取につき) 楢山奥内(印)→神戸分左衛門殿	享保19年寅12月11日	堅切紙/(い 1532-1~5は巻込一括)/(い 1532-1-1~15は綴一括)・1通	い 1532-1-1
覚(当卯年分利足金24両受取書) 楢山奥内(印)→神戸分左衛門殿	享保20年卯12月	堅切紙・1通	い 1532-1-2
覚(当巳年分利足として金24両受取書) 楢山奥内(印)→神戸分左衛門殿	元文2年巳12月25日	堅切紙・1通	い 1532-1-3
請取申金子之事(去申12月より当酉12月迄の利足として文字金33両受取につき) 石河権右衛門(印)・川瀬治左衛門・楢山奥内→犬山屋(神戸)文左衛門殿	寛保元年酉12月25日	堅紙・1通	い 1532-1-4
覚(当亥年分利足として文字金33両受取書) 楢山奥内(印)→神戸分左衛門殿	寛保3年亥12月25日	堅紙・1通	い 1532-1-5
覚(当丑年分利金として金33両受取書) 楢山奥内→犬山屋(神戸)分左衛門殿	延享2年丑閏12月26日	堅紙・1通	い 1532-1-6
覚(当寅年分利金として金33両受取書) 楢山奥内(印)→神戸文左衛門殿	延享3年寅12月23日	堅紙・1通	い 1532-1-7
請取申金子之事(当卯年分利足金33両受取につき) 堀田四右衛門・石河権右衛門(印)・岡田治左衛門・楢山奥内→犬山屋(神戸)文左衛門殿	延享4年卯12月24日	堅紙・1通	い 1532-1-8
覚(当未年分利金として金33両受取書) 楢山奥内(印)→神戸文左衛門殿	宝暦元年未12月17日	堅切紙・1通	い 1532-1-9
覚(当亥年分利として金33両受取書) 楢山奥内(印)→神戸文左衛門殿	宝暦5年亥12月26日	堅切紙・1通	い 1532-1-10
請取申金子之事(御預け金の午年分利足金33両受取につき) 浅川久之丞(印)・松山弥一左衛門・松山作左衛門→神戸文左衛門殿	宝暦12年午12月	堅切紙・1通	い 1532-1-11
覚(元金275両のうち申年分利足33両受取書) 楢山奥内(印)→神戸分左衛門殿	申12月23日	切紙・1通	い 1532-1-12
覚(元金200両のうち当辰年分利足金24両受取書) 楢山奥内(印)→神戸分左衛門殿	辰12月27日	横切紙・1通	い 1532-1-13
覚(隠居よりの預り金のうち当申年分利足金33両受取書) 楢山奥内(印)→神戸吉次郎殿	申12月17日	堅紙・1通	い 1532-1-14
覚(当未年分利足として文金31両と文銀12匁受取書)	未12月24日	堅紙・1通	い 1532-1-15

眉山奥内(印)→神戸分左衛門殿			
川村九兵衛			
借用申金子之事(要用につき米切手金100両) * (端書)「控」同堅吾・神戸文左衛門→川村九兵衛殿御取次	天保10年亥6月晦日	縦紙・1通	い 1279-7
借用申金子之事(要用につき米切手金80両) * 差出部分切除/本文墨消 犬山屋(署名・印切取)→川村九兵衛殿御取次	天保15年辰12月	縦紙・1通	い 1279-11
借用申金子之事(要用につき米切手金80両) * 本文墨消 神戸文左衛門(印)→川村九兵衛殿	弘化2年巳12月	縦紙・1通	い 1295
借用申金子之事(米切手金80両借用証文) * (端裏書)「巳十二月廿五日遣候 四郎兵衛返金口五十」神戸文左衛門→川村九兵衛殿御取次	弘化2年巳12月	縦紙・1通	い 1503-8
借用申金子之事(米切手金100両借用証文) * (端裏書)「巳十二月十七日遣候 四郎兵衛返金口五十 内借入五十」神戸文左衛門→川村九兵衛殿御取次	弘化2年巳12月	縦紙・1通	い 1503-9
借用申金子之事(要用につき正金38両) 神戸文左衛門(印墨消)→川村九兵衛様	弘化4年未8月2日	縦紙・1通	い 1279-12
借用申金子之事(要用につき正金50両) 神戸文左衛門(印墨消)→川村九兵衛殿御取次	弘化4年未7月	縦紙・1通	い 1279-13
借用申金子之事(金子要用にて金50両) * 控/(端裏書)「七月十一日天九へ遣ス 川善口之由」神戸文左衛門→川村九兵衛殿御取次	弘化4年未7月	縦紙・1通	い 1303
借用申金子之事(金子要用にて金38両) * 控/(端裏書)「外新田古借口札百両尻替正三十八両手形天九へ遣ス 川善口之由」神戸文左衛門→川村九兵衛様	弘化4年未8月2日	縦紙・1通	い 1304
借用申金子之事(金子要用にて金38両) * 控/(端裏書)「外新田古借口札百両尻替正三十八両手形川善口天九へ遣ス 未九月より申正月限」神戸文左衛門印→川村九兵衛殿御取次	弘化4年未9月	縦紙・1通	い 1305
借用申金子之事(要用につき金50両) * (端裏書)「未12月廿八日三九へ遣ス ひかえ」神戸文左衛門→川村九兵衛殿	弘化4年未12月	縦紙・1通	い 1308-93
借用申金子之事(要用につき金50両) * 墨消 神戸文左衛門(印墨消)→川村九兵衛殿	弘化4年未12月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1308-94
借用申金子之事(要用につき金20両借用証文) * 墨消あり 神戸文左衛門(印墨消)→川村九兵衛様	嘉永4年亥7月	堅切紙・1通	い 1570-4
覚(元金300両の差引元金170両・利金6兩余につき御算当願) 神戸→川村様	3月26日	横切継紙・1通	い 1597-2-16
(盆前にも金預り置き又候5兩拝領は過当につき返上する旨ほか書状) 九兵衛→神戸御大人	12月29日	横切継紙・1通	い 1597-2-17
(五条町口羽深へ廻し置いた壺本元利金を差上る旨ほか書状) 上の町→神戸御大人	3月27日	横切継紙・1通	い 1597-2-19
その他			
預り申金子之事(金10両) 濃州中野村善右衛門(印)、(奥書)濃州円成村十右衛門[印]→堤久助殿	宝永5年子閏正月24日	堅継紙・1通	い 1483-7

神戸家・勘定場/金融/借入・預り金/その他

預申金子之事(青木氏へ御取替金2両につき) 高田源 右衛門(印)・加藤善右衛門 [印]→神戸分左衛門殿	正徳2年辰5月	堅切紙・1通	い 1294-6
預り申金子之事(古渡り方榎原山雑用午之付知山要用買代金のうちへ金30両預り) * (端裏貼紙)「内金十八両請取残拾貳両帳面ニ付皆有」 元材木町甚右衛門(印)・同勘六(印)・同庄兵衛(印)→神戸忠蔵殿	享保12年末7月13日	堅紙・1通	い 1483-8
請取申金子之事(当午年分利金24両受取につき) 清水丈左衛門(印)→神戸分左衛門殿	元文3午年12月25日	堅紙/(い1532-2-1~3は一綴)・1通	い 1532-2-1
覚(当辰年利金として金33両受取書) 堀田四右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	寛延元辰12月25日	堅紙・1通	い 1532-2-2
覚(御預け金のうち当未年分利息金33両受取書) 川井弁右衛門(印)→神戸孫右衛門殿	宝暦13未12月28日	堅紙・1通	い 1532-2-3
覚(元金275両の酉12月より当戌11月迄利足金33両受取書) 岡田治左衛門[印]→神戸文左衛門殿	寛保2戌年12月25日	堅紙/(い1532-3-1~6は一綴)・1通	い 1532-3-1
覚(利足金33両受取書) 岡田治左衛門[印]→神戸分左衛門殿	延享元子年12月27日	堅紙・1通	い 1532-3-2
覚(利足金33両受取書) 岡田治左衛門[印]→神戸分左衛門殿	寛延2巳12月24日	堅切紙・1通	い 1532-3-3
覚(利足金33両受取書) 岡田治左衛門[印]→神戸分左衛門殿	寛延3午年12月23日	堅切紙・1通	い 1532-3-4
覚(利足金33両受取書) 岡田治左衛門[印]→神戸文左衛門殿	宝暦3酉年12月24日	堅切紙・1通	い 1532-3-5
覚(利足金33両受取書) 岡田治左衛門[印]→神戸文左衛門殿	宝暦4年戌12月23日	堅切紙・1通	い 1532-3-6
(包紙) * (包紙上書)「寛保三年六月晦改入長谷川浄慶殿無心之金子不遣無了簡申と申済節書状四通入申候」	寛保3年6月晦改入	包紙・1点	い 1649-0
*請取申金子之事(当子年分利足として金33両受取につき) 池田八郎右衛門(印)→永田屋善治郎殿	宝暦6年子12月24日	堅紙/(い1532-4-1~3は一綴)・1通	い 1532-4-1
請取申利足金之事(当丑年分利足金33両受取につき) 池田八郎右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	宝暦7年丑12月26日	堅紙・1通	い 1532-4-2
覚(当卯年分利足金33両受取書) 池田八郎右衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	宝暦9年卯12月	堅切紙・1通	い 1532-4-3
請取申金子之事(当寅年分利足金33両受取につき) 松山弥一左衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	宝暦8年寅12月26日	堅切紙/(い1532-5-1~4は一綴)・1通	い 1532-5-1
覚(御預け金の当辰年分利足金33両受取書) 松山弥一左衛門(印)→神戸文左衛門殿	宝暦10辰12月28日	堅紙・1通	い 1532-5-2
覚(御預け金の当巳年分利足金33両受取書) 松山作左衛門(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	宝暦11年巳12月26日	堅紙・1通	い 1532-5-3
覚(金200両元利とも相渡し預り証文引替につき) 近藤伊右衛門(印)→神戸分左衛門殿	宝暦20年戌11月25日	堅切紙・1通	い 1483-14
覚(当申年分利足として金33両受取書) 松山弥一左衛門(印)→犬山屋(神戸)孫右衛門殿	明和元申壬12月25日	堅切紙・1通	い 1532-5-4
預り申金子之事(引当に納米300石書入れ金200両預り) * (端裏朱書)「中嶋屋彦三郎江遣又連印証文写」 元材木町犬山屋(神戸)文左衛門印・玉屋町美濃屋惣兵衛印→戸田町中嶋屋彦三郎殿御取次	文化9年申2月	堅紙・1通	い 1483-2

覚(石河様納の納米300石兩人の内へ預り置の旨) *(端裏朱書)「中嶋屋彦三郎へ遣ス連印米預り証文写」 犬山屋(神戸)文左衛門印・美濃屋惣兵衛印→戸田町中嶋屋彦三郎殿	文化9年申2月	縦紙・1通	い 1483-3
御預り申金子之事(引当に海東郡納屋山走新田900両書入れ、巳年まで金500両預り) *写 金預り主正覚寺印→犬山屋(神戸)文左衛門殿御取次	文政12年丑5月	縦紙・1通	い 1483-4
借用申金子之事(米切手金50両借用証文控) *写 かり主犬山屋(神戸)文左衛門印・請人天一(天満屋)九兵衛印→天満屋吉十郎殿御取次	文政12年丑8月	縦紙・1通	い 2003-1-6
借用申金子之事(米物金250両) 犬山や(神戸)分左衛門・請人神戸弥兵衛→九郎兵衛殿御取次へ	天保12年7月	横切紙・1通	い 1401-181
借用申金子之事(要用につき米切手金50両) * (端裏書)「七月九日治助渡ひかえ」/控 神戸文左衛門印→米屋治助殿御取次	弘化3年午7月	縦紙・1通	い 1296
記(金12両預かりにつき) 徳兵衛→神君様	(近世)酉12月	横切紙・1通	い 1394-8
覚(礼金20両犬山へかり遣わし12月15日までに返金申すべきにつき) 貞寿→(神戸)文左衛門殿	11月朔日	横切紙・1通	い 1399-41
(犬山屋孫右衛門、御役所金7割1人分金3兩ト13匁2分8厘5毛書上覚)		縦切紙・1通	い 1400-36
(御取次金80両のうち借用15両差引のうえ入金差引残金1兩1分1匁返上につき書状) 九兵衛→御大人様拜上	3月28日	横切継紙・1通	い 1402-81
預申金子之事(金1兩) 廣井村庄や六兵衛(印)→材木町善次郎殿取次善兵衛殿	亥7月10日	切紙・1通	い 1483-5
預り申金子之事(金1700兩) * (端書)「此手形五月廿九日認引合済」 金子預り主新田只助・同断同平吉・同断同重右衛門→神戸文左衛門殿	寅5月	縦紙・1通	い 1483-6
預り申金子事(金20兩) 井筒屋庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	未ノ7月8日	縦切紙・1通	い 1530-34
覚(金子50兩の利足金5兩受取書) 林八重八(印)→犬山屋半右衛門殿	子12月7日	縦切紙・1通	い 1531-36
覚(金子130兩の利足金15兩2分銀6匁受取書) 鈴木小左衛門(印)→神戸分左衛門殿	丑12月8日	縦切紙・1通	い 1531-37
(山本金子の件で拙者も10兩入用の頼みは外にて借入れる旨書状) 寅藏(市虎藏)→七左衛門殿	11月28日	横切継紙/(包紙共)・1通	い 1626
(去卯年分左衛門殿へ預け金25兩につき書状) 長谷川浄慶→神戸惣助様	5月25日	横切継紙・1通	い 1649-1
(分左衛門殿へ預けの金子返上なさるよう頼入につき書状) 長谷川浄慶→神戸惣助殿内材木町庄兵衛様	5月28日	切継紙/(い 1649-2-1~2は巻込一括・紙繕一括)・1通	い 1649-2-1
(御借上金子の内25兩につきお頼みの件は不承知の旨返書) *控	5月28日	切紙・1通	い 1649-2-2
(分左衛門殿へ預け金につき少々なりとも返金を申達よう頼むにつき書状) 長谷川浄慶→山形屋庄兵衛様	5月28日	切継紙・1通	い 1649-3
(此方帳面につき随分吟味した旨報知の書状) * (裏書)「二度上返事扣」/控 神戸惣助→長谷川浄慶様	5月25日	切紙・1通	い 1649-4

神戸家・勘定場/金融/借入・預り金/その他

(去卯年分左衛門殿へ預け金につき帳面吟味するよう書状) 長谷川浄慶→神戸惣助様	5月25日	切継紙・1通	い 1649-5
(卯年分左衛門へ預け金につき左様の件はなき旨返書) * (裏書)「扣書付也」/控 神戸惣助→長谷川浄慶様	5月25日	切継紙・1通	い 1649-6
(京都の銀主との掛合過程申上書)	5月24日	半(二ツ綴)/ (い1865-1~23 は麻紐一括)・1冊	い 1865-1
請取証(金32円金800円借用利子受取につき) 近藤信(印)→神戸分左衛門殿	明治9年5月31日	横切継紙・1通	い 1402-317
証(金32円預金利子受取につき) *い1399-78~81は関連文書 近藤のふ(印)→神戸分左衛門殿	明治11年6月10日	横切紙・1通	い 1399-78
証(金32円預金利子請取につき) 近藤のふ(印)→神戸分左衛門殿	明治11年12月7日	横切紙・1通	い 1399-79
利子金請取(金32円預金利子請取につき) 近藤のふ(印)→神戸分左衛門殿	明治11年12月3日	横切紙・1通	い 1399-80
証(貴殿へ預金本日悉皆受取につき) 近藤のふ(印)→神戸分左衛門殿	明治11年12月31日	赤色証券界紙・1通	い 1399-81
おくわあつまり金利子覚 * (端裏書)「おくわ」	16年~17年	横半半(一ツ綴)/(い1750-1~4は巻込一括)/(紙継破損)・1冊	い 1750-1
記(明治16年1月~6月迄の利子として金3両落手) 栗田くわ→神戸分左衛門様	明治16年末6月30日	赤色罫紙/(12行)/(い1750-2-1~3は紙継一括)・1通	い 1750-2-1-1
「おくわさま 金廿六円五拾銭」		札・1点	い 1750-2-1-2
記(明治16年12月分利子金3両落手) 栗田くわ→神戸分左衛門様	明治16年末12月30日	青色罫紙/(11行)・1通	い 1750-2-2
記(辰6月分金1円50銭受取書) 栗田くわ→神戸分左衛門様	明治13年辰6月20日	青色罫紙/(10行)/(虫損甚大)・1通	い 1750-2-3
記(午12月冬分利子金3円受取書) 栗田くわ→神戸分左衛門様	明治15年午12月	切紙・1通	い 1750-3
記(申6月分利子金3円落手) 栗田くわ→神戸分左衛門様	明治17年申6月30日	切紙・1通	い 1750-4
記(明治25年3月より8月まで利金受取書) (横田)重吉(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸銀之助殿	(明治)25年8月27日	小切紙・1通	い 1655-11-3
記(明治26年3月より8月まで利金受取書) 横田重吉(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸銀之助殿	(明治)26年8月26日	小切紙・1通	い 1655-11-5
記(金11円10銭利金受取書) 太七(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸殿	(明治)26年2月26日	小切紙・1通	い 1655-11-6
記(明治27年2月より8月まで利金受取書) 横田重吉(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸銀之助殿	(明治)27年8月15日	小切紙・1通	い 1655-11-4
(封筒) * (封筒表書)「廿六年分利子請取証 三野佐兵衛」		封筒/(い1399-46の封筒)・1点	い 1399-47
覚(利子として金141円40銭請取につき) 三野佐兵衛→神戸様	27年2月28日	横切紙・1通	い 1399-46
記(金17円10銭金銭受取書) 太七(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→上	(明治)28年8月18日	小切紙・1通	い 1655-11-8

記(明治29年3月より8月分ほか利金受取書) 米や(横田)重吉(印)→神戸銀之助殿	(明治)29年8月	小切紙/(い1655-11-1~29は紙縫一括)・1通	い1655-11-1
記(明治28年9月より29年2月まで利金受取書) (尾州熱田新田壱番割米屋太七)横田重吉(印)→神戸銀之助殿	(明治)29年2月12日	小切紙・1通	い1655-11-9
記(200円利子分ほか利金受取書) 小川綱蔵(印)→若旦那様	明治29年1月13日	小切紙・1通	い1655-11-10
記(明治29年分利金受取書) 安藤半七(印)→神戸銀之助殿	(明治)29年12月	小切紙・1通	い1655-11-27
記(明治29年9月より30年2月まで利金受取書) 米屋太七(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸銀之助殿	(明治)30年2月	小切紙	い1655-11-11
記(明治30年3月より8月まで利金受取書) 横田重吉(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸銀之助殿	(明治)30年7月日	小切紙・1通	い1655-11-12
記(明治30年12月より31年6月まで利金受取書) 波多野勘助(印)→三輪菊殿	(明治)31年6月28日	小切紙・1通	い1655-11-13
記(7月より12月まで利金受取書) 波多野勘助(印)→三輪菊殿	明治31年12月	小切紙・1通	い1655-11-14
記(金38円10銭利金受取書) 横田重吉(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸銀之助殿	(明治)31年8月17日	小切紙・1通	い1655-11-15
記(6ヶ月間分利金受取書) 波多野勘助(印)→三輪菊殿	明治31年9月30日	小切紙・1通	い1655-11-16
証(11ヶ月分利金受取書) 伊藤吉六(印)→神戸銀之助殿	(明治)31年11月1日	小切紙・1通	い1655-11-17
記(明治30年9月より31年2月まで他利金受取書) 米屋太七(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸銀之助殿	(明治)31年2月	小切紙・1通	い1655-11-24
記(明治30年分利金受取書) 安藤半七(印)→神戸様	(明治)31年1月30日	小切紙・1通	い1655-11-26
記(利金受取書) 横田市蔵→神戸銀之助殿	(明治)32年8月7日・同14日	小切紙・1通	い1655-10-5
記(利金受取書) (横田)重吉(印「尾州熱田新田壱番割米屋太七」)→神戸銀之助殿	(明治)32年2月20日	小切紙・1通	い1655-10-6
記(6ヶ月分利金受取書) 波多野勘助(印)→三輪菊殿	明治32年9月30日	小切紙・1通	い1655-11-23
記(明治31年10月より32年3月まで利金受取書) 波多野勘助(印)→神戸銀之助殿	(明治)32年5月12日	小切紙・1通	い1655-11-28
記(6ヶ月分利金受取書) 波多野勘助(印)→神戸銀之助殿	(明治)33年3月30日	小切紙・1通	い1655-11-18
記(明治32年9月より33年2月まで利金受取書) 米太支店(印「尾州熱田港向島町米太支店」)→神戸銀之助殿	明治33年2月	小切紙・1通	い1655-11-19
記(借入金差引勘定書) 綱造→若旦那様	明治33年1月25日	小切紙・1通	い1655-11-20
記(明治32年7月より12月まで利金受取書) 波多野勘助(印)→三輪菊殿	明治33年12月26日	小切紙・1通	い1655-11-22
記(借入金差引勘定書)	(明治33年)	小切紙・1通	い1655-11-29
(封筒) * (封筒表書)「此書状必他見無用之事 銀之助」 銀之助		封筒/(い1655-10-7-1~2を包込)・1点	い1655-10-7-0
記(金100円ほか元金等書上) (横田)重吉→上	12月31日	小切紙・1通	い1655-11-2

神戸家・勘定場/金融/借入・預り金/その他

記(金3円85銭金銭受取書) 安藤半七(印「尾州琵琶島松原町大黒屋平七」)→神戸様	1月11日	小切紙・1通	い1655-11-7
記(金5円50銭受取書) 大黒や半七→神戸銀之助殿	2月28日	小切紙・1通	い1655-11-21
記(金5円50銭利金受取書) 安藤半七(印)→神戸銀之助殿	3月20日	小切紙・1通	い1655-11-25

証人

証文之事(知多郡名和前新田内田畑30町6反余質物に書入れ金100両借用) 金借り主神戸弥左衛門(印墨消)・証人神戸孫右衛門(印墨消)→近藤伊右衛門殿	明和元年申10月	縦紙/(い1287-1~3は一綴)・1通	い1287-1
亥年願光寺立合神納(御畝引残出米2石7升8合8夕6才代金2兩1匁1分此銭116文1所に納入致すべきにつき) *い291の関連文書 小沢屋彦九郎→杉之町新蔵殿	12月	縦切紙・1通	い1400-92
子年神納上納割付覚(願光寺立合出米2石4斗7升4合8夕3才代金1兩2分14匁5分7厘につき) *い291の関連文書 小沢屋彦九郎→杉町新蔵殿	子12月	縦紙・1通	い1400-94

その他

覚(金30両7月利足157匁5分ほか金銭書上)	(近世)	横切縦紙・1通	い1394-3
正金五百両之事(正金借利足ほか書上覚)		横切縦紙・1通	い1397-34
覚(古金19両質物、但物数13品書留)		断簡・1通	い1400-99
(辰9月から未8月迄の利金など金銭書上)		縦切紙・1通	い1531-27
覚(元金・利金惣差引金45両2分余の内訳)	閏9月	横切縦紙・1通	い1566-15
覚(元利金合25両3分余書上)		切縦紙・1通	い1596
(兼て御世話の金子1800両の都合済み出入なき旨書状) →御彰殿		横切紙・1通	い1779
覚(借金と返済金差引勘定1両余書付)	卯12月	横切縦紙・1通	い1981-21
記(金27円の日数割残り25円17銭5厘の書上)	15年12月30日~16年12月19日	赤色罫紙/(い1601-1~2は巻込一括)・1通	い1601-1
覚(丈助借り金5両を川出へ遣し置につき)		小切紙・1通	い1601-2
(元金5円12月11日より30日までの利子金21銭他メ金1円60銭、利子計算書)	(近代)	切縦紙・1通	い1401-109
記(借り越高金350円の内金13円96銭2厘追々利子預け金引残金336円3銭8厘につき)	(近代)	切紙・1通	い1401-110
(12月分利金等一覧表)		小切紙・1通	い1655-10-8

材木取引

借用申金子之事(御小屋買物納金66両) 金借り主辰巳与助(印)・同杉下徳右衛門・同神戸分左衛門(印)→近藤伊右衛門殿	享保17年子3月	縦紙・1通	い1294-19
覚(仲満買木勘定金の内25両受取につき) 野尻理右衛	戌壬10月19日	縦切紙・1通	い1294-43

門(印)→神戸分左衛門殿			
覚(地山檜物買代金300両) (杉下)徳右衛門(印)→神戸分四郎殿	申5月晦日	堅切紙・1通	い 1308-96
覚(古渡理右衛門より仲満地山檜物大坂売代9月金ノ130両1分余受取につき) 丁(杉下)徳右衛門(印)→神戸分左衛門殿	未12月晦日	堅切紙・1通	い 1308-97
覚(子丑買木勘定不足金勘定書) 古渡り理右衛門(印)・同善右衛門(印)→神戸分左衛門殿	丑12月	堅紙・1通	い 1530-33
覚(兼山屋買卯地山敷木代など受取書) 丁徳三郎(印「徳山」)→神戸分左衛門様	卯霜月29日	堅切紙・1通	い 1530-39
覚(敷木代など受取書) 兼山屋与市(印)→元材木町(神戸)分左衛門殿	卯11月29日	堅紙・1通	い 1530-46
(御積木払代金18両1歩余仕切状を亀屋小左衛門が渡すので受取るよう書状) 板屋孫兵衛(印)→犬山屋(神戸)文左衛門様・中寫屋吉右衛門様	9月12日	横切継紙・1通	い 1621
覚(松末口代金2分余受取書) 元材木町善兵衛(印)→山形屋庄兵衛殿	辰9月晦日	堅継紙/(い1942-1~4は一綴)・1通	い 1942-1
(封筒) * (封筒表書)「九月廿五日金式千四百円 御料材費渡シ代金儀ニ付大鹿梅三郎より受証」		封筒・1点	い 1401-136
記(木数461本8分代金2802円99銭6厘ほか差引合計金2712円1銭7厘3毛内2720円渡金、金7円98銭3厘過金8月15日請取済につき) 名古屋市木挽町名古屋木材合資会社→神戸分左右衛門様	8月15日	横切継紙・1通	い 1401-137
証(本年8月9日金2700円お預けの処木材買受け決算にて受取済み、預証返却の処見当たらず取調の上返し戻し、預証券は反故につき) 名古屋木材合資会社業務担当員大鹿梅三郎[印「業務担当大鹿梅三郎」]→浅野常蔵殿・神戸銀之助殿	明治31年9月日	青色罫紙/(8行)・1通	い 1401-138

米取引

覚(水岡屋浜吉他への米売却記録)	(近世)	横長半(一ツ綴)/(い1393-1~6は一綴)・1冊	い 1393-1
戌暮上米払直段(9月17日両ニ7斗8升2合替ほか直段書上覚)		横切紙・1通	い 1400-34
(286石余を両に7斗替して金408両2分余の旨書上) *前欠か		断筒・1通	い 1761
(貴家へお預の米積入たき旨頼むにつき書状)		切継紙/(い1837-2-2~3は巻込一括)・1通	い 1837-2-2
七月払米覚	7月~9月	横長半の一葉/(い1842-1~2は紙縫一括)・1通	い 1842-1
覚(米代受取・不足分の書上) *後欠		切継紙/(い1842-2-1~9は巻込一括)・1通	い 1842-2-1
払米之覚(米代受取・不足分の書上)		横切継紙・1通	い 1842-2-9
覚(米代ノ351両3分余の払金の書上)	子12月~丑6月	横切継紙・1通	い 1862

神戸家・勘定場/米取引

(米売払代金など書付) *一部欠		横長半/(綴紐欠)/(い1864-9-8~12は史料館で集めて綴ったものカ)・1冊	い 1864-9-8
覚(米33石5斗分代金請取書) 大船町瓦屋八郎左衛門	12月23日	縦継紙・1通	い 1997-18
覚(米指遣代金など書付)	辰12月	横切紙・1通	い 1997-20
覚(米販売代金130両余内訳書付)	(近世)	横切紙・1通	い 1998-7
(名古屋送り分5石ばかり不足買入の儀等につき書状)	(近世)正月24日	横切継紙・1通	い 1998-14
記(受米100石代751円59銭4厘ほか金銭書上)		横切紙・1通	い 1402-185
記(米差引代金417円79銭9厘他メ金710円26銭につき) →加藤順左衛門殿取次大野善三郎殿	21年7月27日	横切紙・1通	い 1402-248
記(米336俵差引代金559円68銭8厘ほか差引残金1296円45銭1厘につき) →加藤順左衛門殿取次大野善三郎殿		横切紙・1通	い 1402-249
(封筒) * (封筒表書)「志水直より預り来決算書 三十五年九月七日」	31年9月7日	封筒/(い1403-86~87は一綴)・1点	い 1403-86
記(33年4月23日玄米4斗ほか惣計7石7斗5升3合貴殿預け米受取、決算相済につき) 志水直(印「志水」)→神戸分左衛門殿	35年10月7日	横長半/(い1403-87~88は一綴)・1冊	い 1403-87
記(34年2月9日玄米4斗ほか貴殿預け米受取、決算相済につき)	35年10月7日	横長半・1冊	い 1403-88

地主経営全体

諸帳簿

記(神戸新田石代三度目上納高と下之郷同断の合計、戌年神戸新田石代三度目上納分入之覚)	(明治8年)	折紙/(帳簿の一葉か)/(虫損あり)・1通	い 1402-173
記(田畑惣取米287石余勘定書付) *朱書あり		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1864-8

書類草案

御請申御新田畑壹年作り之事 *雛形	年号月日	横切継紙・1通	い 2035-6
-------------------	------	---------	----------

掬米販売

売申米之事(大宝前新田納御蔵米引起として米48石分代金50両にて売払証文) * (端裏書)「本紙案文未十一月」/案文	元文4年未11月	縦継紙・1通	い 1933
覚(納米10石5斗受取につき) 賀野幸右衛門(印)→神戸分左衛門殿	亥2月9日	縦切紙/(虫損あり)・1通	い 1308-110
覚(納米41石5斗の内15石受取につき) 賀野幸右衛門(印)→神戸分左衛門殿	戌12月	縦切紙・1通	い 1308-111
覚(8月22日納3石1斗北ノ方加藤屋乙吉へ売渡米両ニ1斗9升8合カへ他メ代金9両2分ト5匁7分5厘につき)	(近世)	横切紙・1通	い 1394-2

覚(納米50石代金204両4匁9分の差引勘定書付) 栄治	(近世)11月24日	横切紙・1通	い 1394-14
覚(納1石代金2両2分と3匁8分5厘につき) 神戸→山屋半九郎様	(近世)午4月29日	横切紙・1通	い 1394-18
覚(8月4日納麦4石5斗源助殿代金5両1分8匁3分5厘ほか代金書上につき) 堀詰町傳吉→神戸文左衛門様	(近世)亥極月	横切継紙・1通	い 1395-2
覚(米45石9升1合新田年貢米小船町庄右衛門へ御渡し有るべきにつき) 野河庄蔵(印)→神戸分左衛門殿	辰12月18日	縦紙・1通	い 1395-38
覚(納米94俵差上につき) 米屋半六→神戸様	辰12月5日	横切継紙・1通	い 1397-10
覚(11月納米25石上田屋甚吉売米両に2斗4升5合替え来申3月28日限ほか石高書上につき)		折紙・1通	い 1397-14
覚(神戸新田納米50石代金65両3分12匁3分6厘差引金5両3分と2匁3分6厘差上につき) 米屋治助→糸助様	申3月	横切継紙・1通	い 1399-11
覚(納5石、4斗2升かえ金11両3分2朱金子受取につき)	正月7日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1400-4
乍恐御達申上候(今般地主作徳米売払につき) *控→三村平六様御陣屋	丑12月	縦紙・1通	い 1400-24
覚(納米9石5斗年賦金御渡し残金1分と端金受取につき) 賀野幸右衛門(印)→(神戸)分左衛門殿	12月18日	縦継紙・1通	い 1400-81
覚(正金50両他メ66両3分6匁6厘御渡し、新田米御預けにつき) 万屋弥右衛門→神戸様	3月28日	横切紙・1通	い 1402-69
覚(神戸新田納米50石来る申3月28日限売り付け代金請取の上米相渡すにつき) 神戸(印墨消)→口入半六殿	未12月	縦紙・1通	い 1402-84
覚(神戸新田納米50石預り置くにつき) *(裏書)「表書之内 一貳拾五石也五月十七日相渡申候但シ請取主清水米屋久助殿 一納八石也 六月七日相渡しし(見せ消し) 一廿五石也相渡し」 神戸(印)→口入治助殿	申2月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1402-85
覚(神戸新田納米50石来申3月28日限に売付け、但し正金61両3分ト銀4匁5分6厘取替え置くにつき) 神戸(印)→口入與吉殿	未12月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1402-86
覚(神戸新田納米50石来3月28日限に売付け、但し正金63両取替え置くにつき) 神戸(印)→口入治助殿	申2月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1402-87
覚(神戸新田納米50石来申3月28日限に売付け、但し正金61両3分ト銀4匁5分6厘取替え置くにつき) 神戸(印)→口入與吉殿	未11月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1402-88
覚(金100両受取、蔵米82石渡し状) 神戸分左衛門(印)→木村久左衛門殿	亥5月朔日	縦切紙・1通	い 1530-14
覚(納米13石受取払書) 賀野幸右衛門(印)→神戸分左衛門殿	11月24日	縦紙・1通	い 1530-43
覚(納米21石受取書) 備前屋佐次右衛門(印「名護屋大和町岡田」)→犬山屋分左衛門殿	未11月21日	縦切紙・1通	い 1530-45
覚(米売代金渡しにつき証文) 米や八左衛門(印)→分左衛門様	丑12月18日	縦切紙・1通	い 1531-3
覚(地廻り納米支払証文) 権兵衛	亥3月	縦切紙・1通	い 1531-14
覚(御蔵米代金銀支払済証文) 関屋十兵衛(印)→松田次兵衛殿	12月	横切紙・1通	い 1531-16

神戸家・勘定場/地主経営全体/掬米販売

覚(御蔵米代金銀受取書) 関屋十兵衛(印)→松田次兵衛殿	12月	横切継紙・1通	い 1531-17
覚(御蔵米代金受取書) 井桁屋茂右衛門(印)・口入忠右衛門→神戸分左衛門殿	申2月28日	横切継紙・1通	い 1564-9
覚(神戸新田納米20石代受取の上米渡す旨) 神戸→口入半六殿	亥7月	縦紙/(虫損甚大)・1通	い 1570-2
覚(糯米他×金8両2分余より受取分引き金1両1分余渡す旨) 関屋十兵衛(印)→川合嘉兵衛殿	巳12月19日	横切継紙/(い1749-3-1~6は巻込一括)・1通	い 1749-3-1
覚(糯・大小豆代金3両受取書) 関屋十兵衛(印)→川合嘉兵衛殿	巳11月13日	切継紙・1通	い 1749-3-2
覚(大豆代金1分余受取書) 関屋十兵衛→川合嘉兵衛殿	巳11月11日	切紙・1通	い 1749-3-3
覚(納米7俵代金10両受取書) 関屋十兵衛→川合嘉兵衛殿	12月	切紙・1通	い 1749-3-4
覚(糯米7俵ほか代金4両1分余より受取分引き残金1両余受取書) 関屋十兵衛(印)→川合嘉兵衛殿	巳12月11日	切紙・1通	い 1749-3-5
覚(小豆・糯米代および霜月限米仕切不足×金2両2分余受取書) 関屋十兵衛→川合嘉兵衛殿	巳12月19日	横切継紙・1通	い 1749-3-6
覚(納米50石預り金67両2分取替につき) 神戸→口入半六殿	子12月	縦紙・1通	い 1769-3
覚(納米3石内金5両を受取り此人に米を渡すよう依頼書) 米屋半六(印「尾州名古屋米屋半六」)→神戸様	亥7月20日	切紙・1通	い 1842-2-2
覚(納米2石内金3両2分を受取り此人に米を渡すよう依頼書) 米や半六(印「尾州名古屋米屋半六」)→条助様	亥7月22日	切紙・1通	い 1842-2-3
覚(納米5石代金8両2分余を受取り此人に米を渡すよう依頼書) 藤屋庄七→神戸様	亥7月17日	切紙・1通	い 1842-2-4
覚(納米5石代金8両2分余の旨) 米屋半六(印「尾州名古屋米屋半六」)→神戸様	亥7月15日	切紙・1通	い 1842-2-5
覚(納米5石を渡すよう依頼書) 米屋半六(印「尾州名古屋米屋半六」)→神戸様	亥8月2日	切紙・1通	い 1842-2-6
覚(納米1石内金1両3分を受取り此人に米を渡すよう依頼書) 米屋半六(印「尾州名古屋米屋半六」)→神戸様	亥7月27日	切紙・1通	い 1842-2-7
覚(納米5石代金8両2分2朱を受取り此人に米を渡すよう依頼書) 米屋半六(印「尾州名古屋米屋半六」)→神戸様	亥7月26日	小切継紙・1通	い 1842-2-8
卯年作徳米代金出入假帳 文左衛門		横長半(一ツ綴)/(い1864-1~14は紙縫一括)・1冊	い 1864-1
覚(神戸新田納米売買代金69両余受取書) *本文印墨消 神戸(印墨消)→川村様	午12月21日	縦紙・1通	い 1904
覚(納米売買代金69両余受取書) *本文印墨消 神戸(印墨消)→川村様	午12月21日	縦紙・1通	い 1905
覚(米札31両分の納米売買につき証文) 前次→(丸に十二)様	午5月13日	切紙/(い1928-1~5は一綴)・1通	い 1928-1
覚(納米代金30両余受渡書) 次助→(丸に十二)様	午6月朔日	切継紙・1通	い 1928-2

覚(札金110両分の納米売買につき証文) * (端裏書)「米代金残り 百十両 内五十両川村 五十両 拝上 老両 貳分拾匁川村利足」 神戸(印)→口入治助殿	午2月	堅紙・1通	い 1928-3
覚(金67兩余分の納米売買につき証文) 神戸(印)→口入治助殿	巳12月	堅紙・1通	い 1928-4
覚(納米100石金子受取の上渡す旨の証文) * 本文墨消 神戸(印墨消)→口入治助殿	酉10月	堅紙・1通	い 1928-5
覚(納米30石受取並びに引換書) 神戸(印)→口入治助殿	未12月	堅紙・1通	い 1929
覚(納米12石預り証文) * 裏書あり 神戸(印)→口入庄七殿	未12月	堅紙・1通	い 1930
覚(納米116石余送り状) 新田庄屋(印)→御地主様御勘定場	寅12月3日	堅紙・1通	い 1931
送り状之事(納米等、76石) 新田庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	戌4月6日	堅紙・1通	い 1932
(今般米御買上滞りの儀御免につき願書) * 本文墨消/前欠	3月	堅紙/(綴穴あり)・1通	い 1967
覚(納米代金27兩余上納書) 米次→神戸様	午3月	切紙・1通	い 1981-3
覚(納米代金8兩余書付) 米屋半六(印「尾州名古屋米屋平六」)→神戸様	午5月9日	切紙・1通	い 1981-4
覚(納米50石預かり置き、この書付で渡すべき旨) * (端裏書)「米五拾石 口入半六 馬屋傳左衛門相添 ひかえ」 神戸→口入半六殿	子4月12日	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1981-25
(新田残り米売り払いの儀につき書状)	正月18日	横切継紙・1通	い 1998-12
覚(納米50石分差上げるとの旨) 米屋半六→神戸様	12月22日	切継紙・1通	い 2001-4
記(金20両ほか米売却内金請取につき) 神戸分左衛門(印)→横井長三郎殿	明治8年5月2日	横切紙・1通	い 1402-186
記(米100俵但神戸新田納1俵二付4斗4升入此石数米44石拙者買取につき) 右米買取本人高松定一(印)・右口入米屋治兵衛(印)→神戸分左衛門殿	明治11年5月10日	黒色罫紙/(8行)・1通	い 1399-66
(封筒) * (封筒表書)「神戸納百俵廿九年七月九日吉田政次郎(墨消)山田常次郎へ売渡候処米受取□□(墨消)売書付証文二付吉田政次郎より証書(墨消)受取置 廿九年七月十八日」	(明治)29年7月18日	封筒・1点	い 1401-134
証(神戸新田納米100俵、金1円につき米1斗8合5勺にて拙者並びに山田常次郎へ買い受け代金の内200円渡しにつき) 吉田政次郎(印)→神戸分左衛門殿	明治29年7月18日	横切紙・1通	い 1401-135

書状

(包紙) * (包紙上書)「寛保二戌 正月改 新田用状」/包紙と内容合致せず	寛保2戌正月	包紙/(い 1505-1~10は包紙一括)・1点	い 1505-0
(旦那様御納米配付8石1斗3升6合受け取り、只今1石も無きにつき書状) 甚目寺村新七・文蔵→犬山屋分左衛門殿	極月19日	堅紙・1通	い 1400-83
(小作にて粃米下され有り難く請書につき書状) * 雛形	何年月日	横切継紙・1通	い 1401-187
(飛嶋・鳥ヶ地引方に引き比べ本田引方を勘考につき	11月4日夜深更認	横切紙・1通	い 1561-3

神戸家・勘定場/地主経営全体/書状

書状) *後欠(後半は、い1562) 新田より川村九兵衛→神戸文左衛門様			
(飛嶋・鳥ヶ地引方に引き比べ本田引方を勘考につき書状) *前欠(前半は、い1561-3) 新田より川村九兵衛→神戸文左衛門様	11月4日夜深更認	横切紙・1通	い 1562
(杵破損し14日に出来した旨ほか書状)		折紙・1通	い 1575
(天気よければ今日私にて遣したいので新田も宜しく頼む旨書状) 清助→奥半次郎様	9月11日	縦紙・1通	い 1615-36
(新田へお伴したき旨および勘定帳5冊永々お借につき取納下さるよう書状) 伊藤吉兵衛→神戸嘉兵衛様	2月17日	横切継紙/(継紙剥離)・1通	い 1617
(封筒) * (封筒表書)「神戸文左衛門様 鈴木四郎左衛門」鈴木四郎左衛門→神戸文左衛門様 密御用		封筒/(い1625-1~2は封筒一括)・1点	い 1625-0
(秋作米は別紙の積りにする旨書状) →葵園□兄座下		横切継紙/(い1625-1~2は巻込一括)・1通	い 1625-1
(石代は3割引・9斗台は2割5分など積り書上を内覧するよう書状)	10月21日	切紙・1通	い 1625-2
(御代官衆が明日知多へ参られるにつき書状) 甚左衛門→弥左衛門様	初月11日	縦紙・1通	い 1651-3
(太左衛門願いの新田の件で来宅依頼の書状) 榎本甚左衛門→神戸弥左衛門様	3月14日	縦紙・1通	い 1651-4
(太左衛門との入用相談につき来宅依頼の書状) 杉本清左衛門・宮原善兵衛→神戸弥左衛門様	初月9日	縦紙・1通	い 1651-5
(作徳残米未送付につき督促状下書)		小切紙・1通	い 1655-2-12
(封筒) * (封筒表書)「神戸御大人内事 天九拜」/(封筒裏書)「子年引方用書」 天九→神戸御大人内事		封筒/(い1655-10-1~17は紙縫一括)・1点	い 1655-10-1-0
(昨日治定の件につき書状)		横切紙/(虫損甚大)/(開披不能)・1通	い 1655-10-1-1
覚(大宝・前新田ほか金銭書上)		小切紙/(虫損甚大)・1通	い 1655-10-1-2
(婦村の上、内意にて作高から米送付等につき書状)	6日	横切継紙・1通	い 1655-10-1-3
(御扣新田古形の一件委細承知等につき書状) 岡田→犬山屋文取次	6月6日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1675
(大宝前新田にて釣殺生致したく御頼みにつき書状) 太川定右衛門→兵治様	9月13日	横切紙・1通	い 1705
(小宝新田作方只助へ御頼みにつき書状) 河野猪左衛門→山屋文左衛門様用事	巳12月25日	縦継紙・1通	い 1716
(私方鳥ヶ地庄蔵一家又は次兵衛実母一家の尋ねにつき返答の書状) *下書/(包紙上書)「古茶や弥助次兵衛従弟ノ由栗津へ書付遣」	10月2日	横切継紙・1通	い 1800
(米の件は天気好く古米沢山余る旨ほか書状) * (端裏書)「神戸分左衛門様」 森田作右衛門(印「小舟町壱丁目森田」)→神戸文左衛門様	10月12日	横切継紙・1通	い 1810

絵図

芝井新田太助古屋絵図		34.0×25.0・1鋪	い 1559-2
------------	--	--------------	----------

その他

新田弘之覚	嘉永6丑7月	横長美(一ツ綴)・1冊	い 1393-5
(未年御年貢入之覚・出之覚)		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1393-3
覚(金12両2分材木御払分他メ35両2分につき) 孫次郎→上	(近世)12月28日	横切紙・1通	い 1395-3
(銀405匁5分5厘御替地下用高ほか書上札)		札・1点	い 1396-8
覚(高米352石犬山屋文左衛門内訳書上につき)	2月	堅紙・1通	い 1396-30
覚(札40匁利足他メ札15両2分ト10匁書上につき)		横切紙・1通	い 1402-67
(正2両衆助わたし他金銭書上覚)		横切紙・1通	い 1402-73
覚(12両3分ト3匁元70両午12月より未5月限利4分差引 34匁7分5厘新田より受取につき)		横切紙・1通	い 1402-74
(紀左衛門新田・八左衛門新田・飛嶋新田関係費用の 書付)		横切紙・1通	い 1402-147
納方田畑概(初年～11年目の納高に基づく元金1500 両返済見積書)		横切継紙・1通	い 1463
納方田畑概(初年～11年目の納高に基づく元金1500 両返済見積書)		横切継紙・1通	い 1464
覚(新田往来水主賃など加兵衛方払諸入用書上)	丑5月	横切継紙・1通	い 1509
覚(代官所より納米手形受取書) 甚目寺村庄や新七→ 神戸文左衛門殿	未12月16日	小切紙・1通	い 1530-35
覚(納米77石7斗6升受取手形) 甚目寺村庄や文蔵(印)→ 名古屋神戸分左衛門殿	午12月9日	堅切紙・1通	い 1530-48
年貢の覚(新田・本田の高と人名の書上) *後欠		堅継紙・1通	い 1537
(田原城北方の吉湖新田等の絵図) *彩色あり		111.0×69.0・1 鋪	い 1550
(服岡新田・名和前新田関連の事務事項書上)		横切紙・1通	い 1558-4
覚(新田入用並びに貸借金差引勘定書)	寅12月15日	横切紙・1通	い 1564-2
覚(本高新開高および当テ米書上) 和泉屋久松	子11月5日	横切継紙・1通	い 1602
(本島7反8畝余・本田屋敷内7反5畝余等の反数石高書 上)		折紙・1通	い 1616
(正月3日から3月8日までの神戸新田・四郎兵衛新田 等の新田経営記録書付) *後欠		横切継紙/(い 1651～1726は 麻紐一括)/(い 1651-1～5は紙 縫一括)・1通	い 1651-1
覚(弥七・利右衛門他3名の人名書上)		小切紙/(い 1768-1～2は紙 縫一括)・1通	い 1768-1

神戸家・勘定場/地主経営全体/その他

「服岡新田迄三分、竹田新田迄四分・・・」		小切継紙・1通	い 1768-2
鳥ヶ地井桁橋(古橋3ヶ所・新橋5ヶ所の概要書付) 犬山屋(神戸)分左衛門	寅7月	縦継紙・1通	い 1940
覚(ひしき等代金942文受取書) 八百屋与兵衛(印「正方寺町」八百屋)→新田引分神戸様	子1月	横切継紙・1通	い 1968-4
覚(大判など紙代金20匁余受取書) 駒屋伊兵衛(印「名古屋杉之町一丁目駒屋伊兵衛」)→神戸様新田分	巳極月	横切継紙・1通	い 1968-5
覚(鳥ヶ地運上金7両受取書) とりや源七郎[印]→分左衛門殿	12月15日	横切紙・1通	い 1969
覚(分左衛門新田鳥ヶ地運上金10両余受取書) とりや源七郎[印]→庄兵衛殿	辰11月27日	横切継紙・1通	い 1970
免割(69石余年貢、「子暮免定」) 高羽茂左衛門→犬山や(神戸)文左衛門殿	丑2月	横切継紙・1通	い 1981-11
覚(竹田村作徳米13石余書付) 唯助[印]→兵次殿	亥12月	横切紙・1通	い 1981-15
覚(丑寅年充地、メ米7石4斗3升5合6勺分など請取に付) 大宝新田孫八(印)・大宝新田庄屋孫八郎・同源右衛門→犬山屋(神戸)分左衛門殿	卯12月	横切継紙・1通	い 2001-15
記(神戸新田・服岡両新田土地丈量の日当73日分受取につき) 山中紀陣(印)→神戸分左衛門殿	(明治)20年9月25日	縦紙・1通	い 1401-69
(明治31年7月29日付海東郡十四山村大字子宝新田地内荒地起返地価査定願聴許の指令) 名古屋税務管理局長菊池良[印]→愛知県海西郡宝地村大字神戸新田神戸分左衛門	明治31年12月28日	「名古屋税務管理局」用箋/(13行)・1通	い 1482-6
(明治31年8月22日付水害地方地租特別処分法により免除願聴許の指令) 名古屋税務管理局長菊池良[印]→愛知県海西郡宝地村大字神戸新田神戸分左衛門	明治32年2月28日	「名古屋税務管理局」用箋/(12行)・1通	い 1482-5
証(金100円旧紀左衛門新田先六ノ割貯木所貸代、武豊町共有地諸費請取につき) 天埜佐兵衛(印)→神戸様	明治36年11月16日	横切紙・1通	い 1402-273
(金4円1銭3厘ほか金銭書上覚)		横切紙・1通	い 1402-148
(本年売渡米の数量価格など承知したきにつき取調) 津島税務署(印)→十四山村大字神戸新田神戸分左衛門殿		「津島税務署」用箋・1通	い 1484-2

公儀との関係

御用留・触書・願書等

村触(名字帯刀制限につき触書) *朱書あり/写/帳崩の一部カ →御代官三村平六様	天保14卯年9月	縦紙・1通	い 1865-20
(森津新田武田沢右衛門由緒書) →児玉貞一郎様御陣屋	(天保15)辰3月	縦紙・1通	い 1865-19
(村々の内由緒有るものは27日迄に届出るべき旨触書) *写 →児貞一郎	天保15辰年3月20日	縦紙・1通	い 1865-21
(先達で御陣屋様へ召出され当村方風儀甚だ宜しからず並びに役儀心得方急度仰付らるにつき申上書) *下書		縦紙/(虫損あり)・1通	い 1395-27

(私所持米御買上御締まり免除願) *下書/墨消	3月	縦紙/(い1395-28~30は1冊の内カ)/(綴穴あり)・1通	い 1395-28
乍恐口上の覚(杉屋佐助召仕久蔵へ売り払い代金受取米310石の用途につき) 犬山屋(神戸)文左衛門(印墨消) *本文墨消		縦紙/(い1395-28~30は1冊の内カ)/(綴穴あり)・1通	い 1395-29
乍恐口上の覚(杉屋佐助召仕久蔵へ売り払い代金受取米352石の用途につき) *下書/墨消 犬山屋(神戸)文左衛門		縦紙/(い1395-28~30は1冊の内カ)/(綴穴あり)・2通	い 1395-30
覚(高米353石内訳につき、杉屋佐助へ売り払い100石など) *下書/墨消 犬山屋(神戸)文左衛門	卯2月	縦紙・1通	い 1395-31
御通船路(長2020間深5尺5寸・口40間・底25間につき覚)		横切紙・1通	い 1399-28
(別紙願書相渡すにつき書状) 御勘定所→犬山屋文之助殿	12月29日	横切継紙/(い1399-44とい1399-46に挟込)・1通	い 1399-45
(奉行所へ提出の願書再調査等につき書状) 上の町→元町様内事		横切継紙・1通	い 1659
御触状写(去戌年入過帳面を早々御国方役所へ指出すべき旨) 富田八郎兵衛	4月9日	横切紙・1通	い 1749-7
(明25日9時頃御役所へ罷出るべき旨書付) 町方役所→犬山屋(神戸)文左衛門・同(犬山屋)小右衛門	9月24日	切継紙・1通	い 1755
(在々の分のみ他領へ出米の他名古屋表・隣村へ積出してよい旨触書) *写	11月	切継紙・1通	い 1759
(此節町御奉行所水野文左衛門・大道寺孫蔵他21名書上) *(端裏書)「此節町方御役人衆」	10月	縦継紙・1通	い 1762
(来15日御出入の方へ御逢につき文五右衛門向引合の委曲取調べる旨書状) 坂野三郎兵衛→神戸文左衛門様	正月11日	切継紙・1通	い 1771
(当新田人数書上の御触状につき御断書付御覧下さるべき旨・先日桑名の件ほか書状) *後欠		横切継紙・1通	い 1781
「願書等二通請取申候 彦兵衛」		札/(い1854-1~3は紙縫一括)・1点	い 1854-1
乍恐御請書奉差上候御事(本宅引離れ控借家へ逼塞したき旨) *下書	10月	横切継紙・1通	い 1854-2
乍恐御請書奉差上候御事(本宅引離れ控借家へ逼塞したき旨) *下書		横切継紙・1通	い 1854-3
被仰渡御請書(遠国奉行支配所・代官預り所へ米銀を下す件につき達書) *鉛筆による後筆あり「長封表賞」当御代官所	戌7月19日	半(一ツ綴)・1冊	い 1865-5
奉願上候御事(大宝前新田難渋の土地の為高役赦免願書) 大宝前新田地主元材木町(神戸)文左衛門→尾崎友次郎様	丑8月	美(ひねり綴)・1冊	い 1865-17
乍恐御歎き願書申上候(只管に小屋掛けの儀御聞き済下さるようにとの願書) 唯助(印)、(奥書)庄屋重右衛門(印)・同断忠右衛門(印)→旦那様	戌10月	半(一ツ綴)・1冊	い 1865-23

乍恐御歎願奉申上候御事(作徳米御買上締方免除願下書)		切紙・1通	い 2029
御用金・貸上金			
(御借金37万両にて今年より11ヶ年に年6分利足にて済ますべき旨書状) *後欠/(包紙上書)「浄仙様御手跡」分右(ママ、左カ)衛門→平七殿	(近世前期)6月24日	切紙/(包紙共)・1通	い 1640-6
(調達金への渡米1石につき当午～戌年の5ヶ年はこれ迄通り断る旨書付) *(端裏書)「中御屋敷 安政五年午十二月」→神戸文左衛門	安政5年午12月	切継紙・1通	い 1753
乍恐口上之覚(米切手金5両上納につき) *下書/(端裏書)「ひかえ」 犬山屋(神戸)文左衛門印	卯12月	豎紙/(虫損甚大)・1通	い 1395-34
乍恐御窺奉申上候御事(去る酉年金5000両証金仕り翌戌年御年寄衆より御裏判御願いの処、その後何の御沙汰も無きにつき) *(端書)「変」/下書/墨消/後欠 熱田前新田地主惣代小出庄五郎・同断伊藤次郎左衛門・[]嶋新田	子5月	豎紙・1通	い 1400-76
「五十両 利一両二分 犬山屋文左衛門」		札・1点	い 1402-65
(包紙) *(包紙上書)「検断方御呼出し書付 寅十一月十一日名代条助受取」		包紙/(い 1587-1～2は包紙一括)・1点	い 1587-0
(去月調達の金子先々振替返済方取計の旨書状) 検断方→犬山屋(神戸)文左衛門殿	11月10日	切紙・1通	い 1587-1
「五拾両 犬山屋文左衛門」 犬山屋(神戸)文左衛門		切継紙・1通	い 1587-2
(調達金への米1石渡米は当辰～申の5ヶ年渡すべき旨申渡) →犬山屋(神戸)文左衛門	辰12月	横切紙/(い 1614-2-1～8は紙縫一括)/(い 1614-2-1-1～2は紙縫一括)・1通	い 1614-2-1-1
(今日御中屋敷より御別紙御渡がある旨達) 関戸哲太郎→犬山屋(神戸)文左衛門様	12月3日	切紙・1通	い 1614-2-1-2
覚(金50両受取の筈が当分繰入貸になった旨書付)		切継紙/(い 1614-2-2-1～3は紙縫一括)・1通	い 1614-2-2-1
覚(御調達金メ31両受取書) 新田忠兵衛(印)→御旦那様	丑12月7日	切紙・1通	い 1614-2-2-2
覚(御調達金5両御預り) 辰右衛門→旦那様	丑12月7日	切継紙・1通	い 1614-2-2-3
(御勝手向御行詰りにつき調達金差上切にすべく支配役所へ申出べき旨申状)	正月	横切継紙・1通	い 1615-7-15
(昨日御調達金につき証文持たせ今日受取に上る旨書状) 鳥居嘉右衛門→犬山屋(神戸)文左衛門様	12月10日	横切継紙・1通	い 1615-7-18
(旧冬調達金につき当年は無理な事を承知下され大慶の旨書状) 鳥居嘉右衛門→犬山屋辰次郎様	12月13日	横切継紙・1通	い 1615-7-19
覚(元金100両の新証文、辰12月～巳11月利金6両の書上)	巳11月	切紙・1通	い 1615-7-20
(先達て屋敷勝手へ御調達金の利分を別紙の通り持たせた旨書状) 鳥居嘉右衛門→犬山屋辰次郎様	11月28日	横切継紙・1通	い 1615-7-21

(調達金につき弥左衛門殿へ伝言のところ承知下された旨書状) 鳥居嘉右衛門→犬山屋(神戸)文左衛門様	12月9日	横切継紙・1通	い 1615-7-22
覚(元金100両の年6歩の利金6両につき)	辰12月	堅紙・1通	い 1615-7-23
(元禄10年12月620両大ふり清左衛門・孫三ほか金高人名書上)	元禄10~13年	切紙・1通	い 1628
(金子借用役印付の役儀差免下されるか内々調べ下さるよう願の書状) *前欠	4月8日	横切継紙・1通	い 1637-4
覚(安永6年御用金97両三分余の元利書上)	安永6年~天明元年	横切継紙・1通	い 1637-5
(明和8年~天明元年元利金差引書上)	明和8年~天明元年	横切継紙・1通	い 1637-6
(調達金1万両証文交付の旨承知願につき書状) 内田忠蔵・大隆屋藤七→犬山屋(神戸)文左衛門様・柴田龍浮様・山田梁山様・中西龍雄様・岡谷惣七様・伊藤治郎右衛門様・小出庄五郎様・伊藤忠左衛門様・大口貞二様・本山屋文左衛門様・麻屋直助様・飾屋喜兵衛様・麻生屋権七様・山本屋甚兵衛様・熊谷宝太郎様・馬場屋九兵衛様	4月22日	横切継紙・1通	い 1684
(調達金御手形持たせた旨ほか書状) 京町→元町様奉復 *1803の/(紙縫に「京町要用手紙」の札あり)	卯如月6(日)	切紙/(い1803-1~21は紙縫一括)/(紙縫に「京町要用手紙」の札あり)/(い1803-1-1~5は紙縫一括)/(い1803-1-1-1~4は紙縫一括)・1通	い 1803-1-1-1
(町内調達金御手形を子10月6日に京町高田氏へ持たせ遣した旨書付)		小切紙・1通	い 1803-1-1-2
(検断方にて例年の通り調達金指出べき御談があり指出した旨書状)	3日	小切紙・1通	い 1803-1-1-3
(調達金の御談あり2日昼前の内に役所へ出られるよう書付) 検断方→犬山屋(神戸)文左衛門殿	9月29日	小切紙・1通	い 1803-1-1-4
(昨日は参上すべきところ歩行難しく失敬した旨ほか書状) 京町→元町様	29日	切紙/(虫損甚大)・1通	い 1803-1-2
覚(金18両1分受取書) 七右衛門[印]→神戸様	子12月27日	切紙/(虫損甚大)・1通	い 1803-1-3
(新田御所替金および月々入用金を命令通り差上げる旨ほか書状) 京町→元町様	小春初五	切紙・1通	い 1803-1-4
覚(亥10月2日調達分御下ケ金50両余受取書) 京町[印]→元町様	子4月10日	小切継紙・1通	い 1803-1-5
覚(2月21日吉蔵殿へ渡分返却として金2両受取書) 七右衛門[印]→堅吾様	3月7日	切紙・1通	い 1803-2
覚(福田取かへし分として金15両余受取書) 七右衛門[印「高田 請取」]→堅吾様	亥7月6日	切継紙・1通	い 1803-3
(金子御入用の由にて御書付1通入手したので金3両差上げる旨書状) 京町→元町様	6月29日	切紙・1通	い 1803-4
(包紙) * (包紙上書)「拾両之内先六両差上申候」		包紙/(い1803-5-1~2は巻込一括)・1点	い 1803-5-1
(包紙) * (包紙上書)「拾両」		包紙・1点	い 1803-5-2

神戸家・勘定場/公儀との関係/御用金・貸上金

(包紙) *(包紙上書)「札金四両此間之六兩ト都合拾四両也 元町様行」		包紙・1点	い 1803-6
乍恐奉願上候御事(金150両調達金の内残金50両は来春迄差延につき) *下書 犬山屋(神戸)文左衛門	12月	切継紙・1通	い 1807
(調達金口へ渡米につき5ヶ年間は断る旨書付) *控 犬山屋(神戸)文左衛門	申8月	横切紙・1通	い 1841
(調達金口へ渡米1石につき5ヶ年間は是迄通り断る旨書付) 犬山屋(神戸)文左衛門	12月	切継紙・1通	い 1848
①御届申上候御事(新古調達金メ1千183両余取調書)、②御届申上候御事(新古調達金メ320両余調書)、③覚(調達金文金119両2分勘定所へ納めるにつき)、④調達金之事(調達金文金50両請取につき)、⑤調達金之事(御用調達金113両請取につき)⑥覚(調達金37両2分請取につき) ①神戸文左衛門、②海西郡神戸新田神戸文左衛門、③中(中嶋)彦三郎、④□(虫損)次八郎→神戸新田小屋重右衛門、(奥書)内作太・鳥五兵・芦藤蔵・月善太、⑤神戸新田庄屋・犬山屋文左衛門→佐屋陣屋、⑥海西郡神戸新田金主共→佐屋陣屋、(奥書)御勘定所・元材木町家持犬山屋文左衛門年三拾七歳・同人妻きやう年貳拾六歳・同人倅芳之助年四歳・同人娘□(虫損)を年六歳・同人母しけ年四拾□(虫損)歳	辛未12月(元禄10年丑12月~嘉永5年正月)	半(一ツ綴)/ (裏打あり)・1冊	い 1865-15
乍恐奉願上候御事(米切手金減少の為金15両上納願書) *(端裏書)「消札一件御役所御聞濟御書より渡し別ニ有 ひかへ」 犬山屋(神戸)文左衛門	丑7月	縦紙/(虫損甚大)・1通	い 1886
乍恐御窺奉申上候御事(2万5千両証達の証文に御年寄衆様の裏判を願うも返答がない旨につき伺書) *本文墨消 熱田前新田地主惣代小出庄五郎・同断伊藤治郎左衛門・飛嶋新田地主惣代大鐘屋藤七	子5月	縦紙/(い1908-1~2は巻込一括)・1通	い 1908-1
乍恐御窺奉申上候御事(2万5千両証達の証文に御年寄衆様の裏判を願うも返答がない旨につき伺書) *本文墨消/い1908-1と同内容 熱田前新田地主惣代小出庄五郎・同断伊藤治郎左衛門・飛嶋新田地主惣代大鐘屋藤七	子5月	縦紙・1通	い 1908-2
舌換(曾て御断の件吉田高懸へ申し遣わす処別紙の通り申し越すにつき) 村井→神戸様	1月22日	横切紙/(い1403-3~4は一綴)・1通	い 1403-3
(神戸より依頼の件にて縷々申し付く趣あるにつき書状) *後欠		横切継紙・1通	い 1403-4

名古屋町屋敷経営

借家入用ほか

家賃受取之通(建築材料書上) 神戸	安政2稔正月吉日	横半半(下げ二ツ目綴)・1冊	い 2071
覚(大曾根新出来町地子当未御年貢金1両余皆済の旨) *(端裏書)「七十七」 長嶋町二丁目新田頭源兵衛(印)→材木町半右衛門殿	未12月7日	切紙・1通	い 1765
覚(葭町宿米等メ金3分と銀6匁5分5厘金銭書上)	巳12月	切継紙/(い1991-1~14は一綴)・1通	い 1991-1

家賃請取

丑暮家賃請取当分覚帳 神戸氏		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1524
----------------	--	-------------	--------

下材木町

覚(町内諸事御役並びに番等壱軒役の分勤めるべき旨) 下材木町庄蔵(印)→元材木町犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保17年子11月	堅切紙・1通	い 1294-20
覚(矢嶋木戸天井諸入用・名古屋諸入用受取書) 下丁勘四郎	巳正月10日	堅継紙・1通	い 1530-55
(下材木町かり主・請人の請状および寺一札の書上) *(端裏書)「請状寺一札写 此内伊助分計り三通永田氏取次相渡 午二月廿日」	午2月20日	横切継紙・1通	い 1767
(下材木町所有地屋敷割図)		23.9×34.2・1鋪	い 1791
覚(金90両借用証文) 下材木町勘四郎(印)→神戸分左衛門様	午極月	堅切紙/(い 2022-1~7は一綴)・1通	い 2022-1
覚(金80両借用証文) 下材木町勘四郎(印)→神戸分左衛門様	午極月	堅切紙・1通	い 2022-2
覚(金410両借用証文) 下材木町勘四郎(印)→神戸分左衛門様	午極月	堅紙・1通	い 2022-3
①覚(角板子代金請取書)、②覚(材木代金請取書) ②下材木町勘四郎(印)	①②申7月	堅継紙・1通	い 2022-5
覚(ノ134両余書上) 下町勘四郎	辰10月16日	切紙・1通	い 2022-6
覚(受取手形預りにつき) 下材木町勘四郎(印)	辰10月	堅継紙・1通	い 2022-7

五条町

借家請状之事(藤八五条町借家請状) *(端裏書)「五条之藤八」 五条家借り主藤八(印)・知多郡熊野村請人林右衛門(印)・同断治郎兵衛(印)→元材木町犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保4年亥4月	堅継紙・1通	い 1920
一札(五条町家屋敷倅堅吾へ譲渡につき役所帳面付替願書) *写 家譲主文左衛門印・親類惣代天満屋九兵衛印→五條町丁代源兵衛殿・同断新右衛門殿	天保12年丑4月	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1492-8
(包紙) *(包紙上書)「神戸様 両町代へ相違 町印祓差遣シ申候 五条町新七」		包紙・1点	い 1399-77
乍恐奉願上候御事(相手五条町之内私控借家与吉家賃滞りにつき明渡すよう) *下書 訴訟人犬山屋(神戸)文左衛門		横切紙・1通	い 1830
乍恐奉願上候御事(五条町の借家改築願書) 元材木町犬山屋(神戸)文左衛門(印)、(奥書)五条町町代新右衛門(印墨消)・同断新次郎(印墨消)	子2月	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1887
乍恐奉願上候御事(五条町の借家改築願書) *い1887と同内容/下書 元材木町犬山屋(神戸)文左衛門(印)、(奥書)五条町町代新右衛門・同断新次郎	子2月	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1888
乍恐奉願上候御事(五条町の借家改築願書並びに承知の旨付札) *い1887と同内容 元材木町犬山屋(神戸)文左衛門(印)	子2月	切紙・1通	い 1889

正万寺町

借り地手形之事(正万寺町貴殿控屋敷10ヶ年の間借用につき) 元材木町地借り主源七[印]・同人証人弥兵衛(印)→犬山屋(神戸)分左衛門殿	享保6年丑閏7月	縦紙・1通	い 1299
乍恐奉願上候御事(正万寺町1丁目の借家板葺屋根から瓦葺に建替等願書並びに承知の旨付札) * (端裏貼紙)「借家普請仕切鍵願一件」 元材木町犬山屋(神戸)文左衛門(印)	天保14年卯10月	縦紙・1通	い 1890
御約定申証文之事(正万寺町古蔵屋敷売り渡しにつき約定書) 平田屋治助(印)→神戸文左衛門様	万延元年申12月5日	切紙・1通	い 2033
不足分覚(2貫文正万寺町辰蔵11・12月両月分他メ158匁1分7厘金銭書上覚)		横切紙/(い1400-1~112は一綴)/(い1400-1~20は一綴)/(虫損あり)・1通	い 1400-1
(正万寺町1丁目・2丁目ともメ6貫440文差出覚)		横切紙/(虫損あり)・1通	い 1400-3
乍恐口上之覚(正万寺町1丁目文左衛門屋敷2軒悴堅吾へ譲渡につき役所帳面付替願書) * (端朱書)「附替願写」 丁代兩人	(近世)丑4月	縦紙/(い1493-1~19は一綴)/(い1493-1-1~4は一綴)・1通	い 1493-1-1
乍恐口上之覚(正万寺町2丁目文左衛門屋敷悴堅吾へ譲渡につき役所帳面付替願書) * 写 丁代兩人	(近世)丑4月	縦紙・1通	い 1493-1-2
覚(正万寺町1丁目文左衛門屋敷2軒役所帳面付替済につき達書) * (端朱書)「同花井達シ写」 丁代兩人	(近世)丑4月	縦紙・1通	い 1493-1-3
覚(正万寺町2丁目文左衛門屋敷役所帳面付替済につき達書) * 写 丁代兩人	(近世)丑4月	縦紙・1通	い 1493-1-4
乍恐奉願上御事(犬山屋文左衛門正万寺1丁目借家建替の儀につき願書) * 下書	酉10月	縦切紙・1通	い 1493-14
* 口上之覚(文左衛門所持の正万寺町1丁目の家屋敷悴へ譲渡願書) * 訂正貼紙あり 譲主元材木町(神戸)文左衛門	丑4月9日	縦紙/(い1903-1~2は一綴)・1通	い 1903-1
覚(飯米代・丁内御役銀等13両2分、下置かれるよう御願なされ下さるべき旨) 貞助→嘉兵衛様	7月10日	縦紙/(い2001-1~19は一綴)・1通	い 2001-14

塩町

一札(塩町家屋敷悴堅吾へ譲渡につき役所帳面付替願書) * 写 家譲り主元材木町(神戸)文左衛門・上材木町親類惣代天満屋九兵衛→塩町丁代八太郎殿	天保12年丑4月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1492-7
覚(振舞金1両ほか受納につき) 塩町→神戸様	4月16日	小切紙/(い1493-5-1に貼付)・1通	い 1493-5-2

小舟町

一札(小船町家屋敷悴堅吾へ譲渡につき役所帳面付替願書) * (端書)「案文」 家譲主何誰・親類何町誰・同断誰→小船町丁代宇兵衛	天保12年丑4月	縦紙・1通	い 1493-5-1
---	----------	-------	------------

覚(家賃160匁ほか入手すべき旨書付) 羽柴屋与吉→神戸様	5月6日	切紙/(い1843-1~6は紙縫一括)/(い1843-1-1~11は紙縫一括)・1通	い 1843-1-1
覚(正月~6月家賃受取・不足分の書上) 小舟町源左衛門→神戸様勘定場	とら7月晦日	横切継紙・1通	い 1843-1-2
覚(正月~6月家賃6両3分余受取べき旨書付) 小舟町源左衛門→神戸様勘定場	丑7月13日	横切継紙・1通	い 1843-1-3
覚(7月~12月家賃3両余受取べき旨書付) 小舟町源左衛門[印尾州名古屋小舟町樽屋善左衛門]→神戸様勘定場	とら極月大晦日	横切継紙・1通	い 1843-1-4
覚(金4両2分余受取べき旨書付) 小舟町源左衛門→神戸様勘定場	とら7月4日	切紙・1通	い 1843-1-5
覚(7月~12月家賃4両1分余受取べき旨書付) 樽屋源左衛門[印尾州名古屋小舟町樽屋善左衛門]→神戸様勘定場	丑正月元日	切紙・1通	い 1843-1-6
覚(7月~12月家賃4両3分余受取べき旨書付) 小舟町樽屋源左衛門→神戸様勘定場	とら正月2日	切継紙・1通	い 1843-1-7
家ちん受取覚(友吉・小兵衛ほか2名)		切紙・1通	い 1843-1-8
覚(正月~5月家賃2両3分余受取べき旨書付) 小舟町源左衛門→神戸勘定場	卯7月14日	切継紙・1通	い 1843-1-9
(文左衛門控九間五尺分御祭礼入用31匁6分余の書付)		札/(虫損甚大)・1点	い 1843-1-10
覚(麦3舂3合余代受取書) 木場屋敷彦七・笠助→(神戸)文左衛門様	卯[]	堅切紙/(虫損あり)・1通	い 1843-1-11

京町

一札(京町のしけ所有の家屋敷文左衛門へ譲渡証文) 元材木町家譲り主しけ・親類惣代天満屋九兵衛→京町御町代善四郎殿・同断半右衛門殿・同御組頭七右衛門殿・同断藤助殿	天保12年丑5月	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1903-2
--	----------	--------------	----------

日置屋敷

(外1通の配符分は貴家様御存知なきにつき御役所へ達す旨書状) 日置村庄屋佐治兵衛・吉右衛門→文左衛門様		切継紙・1通	い 1782
「此金六兩貳歩ト六分八厘」 日置村庄屋佐治兵衛	酉閏霜月	小切紙・1通	い 1785

西水主町

覚(西水主町御証文3通返却につき受取証文) 佐藤与市正富(花押)→神戸善十郎殿	未11月8日	堅切紙・1通	い 1531-15
(水主町の事につき惣問数南北89間半・反数1町6反4畝余の書上) 兼山や藤介→犬山屋半右衛門様貴酬	4月27日	横切継紙・1通	い 1824

古渡村繁町

(繁町家賃去卯11月・12月分を持たせた旨書状) 岩田 頭右衛門・山田喜之右衛門→神戸分左衛門様	(辰)正月20日	横切継紙・1通	い 1640-7-9
覚(古渡村繁町家賃卯11月・12月分金メ2両2分余受取 べき旨)	辰正月	横切継紙・1通	い 1640-7-10
(繁町家賃当正月分持たせた旨書状) 岩田頭右衛門・山 田喜之右衛門→神戸分左衛門様	4月朔日	切継紙・1通	い 1640-7-11
覚(辰正月分家代金1両1分余受取につき)	辰4月朔日	切紙・1通	い 1640-7-12
(古渡繁町家代の内金2両遣す旨書状) 岩田頭右衛門・ 山田喜之右衛門→神戸分左衛門様	7月13日	横切継紙・1通	い 1645

町名不明

(包紙) *(包紙上書)「享和三亥四月廿九日又右衛門殿へ遣候 書 町金預り金書付 又右衛門殿受取書」	享和3亥4月29日	包紙/(い 1917-0~3は包 紙一括)・1点	い 1917-0
覚(町金21両余受取書) 福嶋屋又右衛門(印)→神戸文左 衛門様	亥4月29日	切紙・1通	い 1917-1
(金1分余町金預り覚書)		切紙・1通	い 1917-2
覚(町金預り分21両余勘定書上)	享和3亥4月29日	横切継紙・1通	い 1917-3
①覚(米切手金20両を家代100両の内受取書)、②覚 (家代金として米切手80両受取書写) *控/①②をた しかに受取の旨の書付あり ①②神戸文左衛門→①小澤政 助殿、②小澤屋政助様	天保12年丑11月12日	横切継紙/(い 1614-3-4は一 紙だが①と② の間は一部切 断)・1通	い 1614-3-4
(糸助古口年賦5ヶ年金5両家賃不足分他の書上)	亥4月~子4月	切紙・1通	い 1769-1-2- 4
(伊倉町屋かり主茂次右衛門など四軒組書上) 町代 十右衛門・同太平次・立合組頭清六		切紙・1通	い 1448

名古屋土地経営

全体

記(24年10月8日27銭5厘借家証券55枚他メ40銭受取 につき) →神戸分左衛門様	6月	横切継紙・1通	い 1402-286
--	----	---------	------------

木挽町

(封筒) *(封筒表書)「木挽町三拾壱[番戸売据物](綴紐で見 えず)西井重太郎代大鹿梅三郎より買入代金廿円証券家借 家記事之間 明治三十一年十二月一日」	明治31年12月1日	封筒・1点	い 1401-132
売添物(台所押入2ヶ所1坪他メ代金20円木挽町2丁目 31番戸借用にて物件建て添え致し、代金受取、永代 貴殿へ売渡につき) 名古屋市木挽町西井重太郎代理大 鹿梅三郎(印「大鹿梅三郎」)→神戸分左衛門様	明治31年12月1日	「神戸氏蔵」用 箋/(11行)・1 通	い 1401-133
(木挽町2丁目26番・3番川岸ほか地価書上)		「愛知県名古屋 市役所」用箋・1 通	い 1484-3

和泉町

役記(7円50銭泉町井戸並びに溜池の賃35年6月迄分 入置きにつき) 山長[印]→神戸様	7月1日	横切紙・1通	い 1402-160
---	------	--------	------------

塩町

(封書) * (封書表書)「塩町百四十番戸原田牛松買添物売渡し 証書 六月廿二日」	6月22日	封書/(い1403- 109~110は一 綴)・1点	い 1403-109
証(貴殿所有家屋名古屋市塩町40番戸本年2月1日原 田牛松へ貸借、私保証につき) 名古屋研屋町八十八 番戸鳥居乙彦(印)→神戸分左衛門殿	明治28年6月22日	青色罫紙/(12 行)・1通	い 1403-110
名支第二〇七號火災保険証券(名古屋市塩町175番戸 住宅等に対する保険証書) * 札紙共 日本酒造火災保 険株式会社名古屋支店長萩原増次郎(印)→保険契約者神戸 分左衛門殿	明治33年8月28日	印刷用紙・1通	い 1866-23
委任状(公証人馬淵準一に属託につき)	明治40年	活版印刷・1通	い 1401-86
保証及担保契約(塚本鈴吉、神戸分左衛門より名古屋 市西区の住居1軒家賃3円50銭にて賃貸につき)	5年	青色罫紙/(10 行)・1通	い 1401-87
委任状(橋本為助所有の土地連帯の責につき) * 雛形		青色罫紙/(10 行)・1通	い 1401-88
保証及担保契約(塚本鈴吉、神戸分左衛門より名古屋 市西区の住居1軒家賃3円50銭にて賃貸につき)		青色罫紙/(10 行)・1通	い 1401-89
委任状(名古屋市西区の住居家賃3円50銭にて貸借連 帯の責のうえ締結につき) * 写 塚本鈴吉印		青色罫紙/(10 行)・1通	い 1401-90
(別紙願いの義委任者に異論なければ小生の寄人を 代理人に依頼したきにつき書状) 権十郎→神戸様貴 下	9月20日	横切紙・1通	い 1401-82
(担保の義提出案再考につき書状) 権十郎→神戸様梧 下	10月14日	横切紙・1通	い 1401-83

皆戸町

講金預り証券(皆戸町七町学校新築講につき19円50 銭預) * (札)「皆戸町講会証書 三輪喜七・渡辺甚吉」結付 皆戸町壹丁目壹番地右金預り本人壹番屋敷三輪喜七(印)・ 右町皆戸町同壹番地右金預り本人九番屋敷渡辺甚吉(印)→ 神戸分左衛門様	明治10年3月11日	黒色罫紙(8行) /(い1482-1~ 22は一綴)・1通	い 1482-1
--	------------	-------------------------------------	----------

白川町

(金4銭9厘・家屋税白川町神戸分左衛門、金4銭3厘・役 場費足立久八領収すべきにつき) 戸長役場[印「名古屋 区入江町外十一ヶ町戸長役場」印]]	明治18年9月8日	札(木版刷)/ (い1401-229~ 285は一綴)・1 点	い 1401-229
(地租割金3厘神戸分左衛門収納すべきにつき) 入江 町・外十一ヶ町戸長役場[印「名古屋区入江町外十一ヶ町戸 長役場」印]]	明治18年6月	札(木版刷)・1 点	い 1401-230
(地租割金2銭3厘神戸分左衛門収納すべきにつき) 入江町・外十一ヶ町戸長役場[印「名古屋区入江町外十一ヶ 町戸長役場」印]]	明治18年7月19日	札(木版刷)・1 点	い 1401-231

神戸家・勘定場/名古屋土地経営/白川町

(地租割金16銭神戸分左衛門収納すべきにつき) 入江町・外十一ヶ町戸長役場[印「名古屋区入江町外十一ヶ町戸長役場ノ印」]	明治18年6月	札(木版刷用紙)・1点	い 1401-233
(地租割金9銭2厘神戸分左衛門収納すべきにつき) 入江町・外十一ヶ町戸長役場[印「名古屋区入江町外十一ヶ町戸長役場ノ印」]	明治18年7月19日	札(木版刷)・1点	い 1401-232
(白川町関係金銭書上)		切紙・1通	い 1401-234
記(取かえ分1円23銭7厘、白川町学校金他メ1円37銭9厘金銭書上)		切紙・1通	い 1401-235
記(学校入費金21銭他メ金2円31銭4厘金銭書上) → 神戸様		切紙・1通	い 1401-236

南武平町

(第1大区5小区南武平町金1円地券証書替印税請取書) 愛知県中属岩渕惟一[印「愛知縣中屬岩渕惟一」]→神戸分左衛門	明治9年5月16日	黒色罫紙/(3行)・1通	い 1399-72
約定証(第1区名古屋南武平丁5番地の拙者所有分を100円にて貴殿へ売渡) 安井正吾(印)→神戸分左衛門殿	明治11年7月1日	黒色罫紙/(17行)/(い1446-1~2は一綴)・1通	い 1446-1
地所売渡証券(第1大区5小区南武平町1丁目5番地代金700円) 第二大區十二小區愛知郡長久手村居住地所売主士族桜井紀信(印)・親類惣代跡部四郎(印)・組合神谷隆道(印)、(奥書)右町副戸長磯谷正之(印)→神戸分左衛門殿	明治9年4月5日	縦罫紙・1通	い 1446-2
証(名古屋区南武平町1丁目11番宅地898坪4号櫻井紀信より買受地券証請取につき) 名古屋区神楽町三十二番邸服部培園(印)・森田資順→神戸分左衛門殿	明治16年1月日	茶色罫紙(一ツ綴)/(10行)・1冊	い 1401-158
(武平町私持分地所と神戸氏地所の境界につき書状) 苗田培園→森田質作様	2月5日	横切紙・1通	い 1401-228
約定書(名古屋区南武平町1丁目1番地従来貴殿所有地今般拙者買請につき) *写 名古屋区 町 番地右約定本人、同区 町 番地右保証人→海西郡神戸新田神戸分左衛門殿	明治19年12月	「神戸氏蔵」用箋/(11行)/(い1403-105~108は一綴)/(虫損あり)・1通	い 1403-105
約定書(名古屋区南武平町1丁目1番地従来貴殿所有地今般拙者買請につき) 名古屋区車道東町三番地後藤茂房(印)→神戸分左衛門殿	明治19年12月20日	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1403-106
(受取証最早お返し相成差間なくば御渡し遣わされたきにつき書状) 千賀宮五郎→神戸分左衛門様	1月19日	横切紙・1通	い 1403-107
(売渡し地所につき書状) *後欠		横切紙・1通	い 1403-108

水筒先町・葵町

証(明治23年1月~4月分家賃の件、通帳など紛失につき発見次第提出につき) 三輪柳助(印)→神戸分左衛門殿	(明治)23年6日6日	小切紙・1通	い 1655-10-17-2
記(金2円、水筒先町31年度前半季分貸地料半額拙者分割当受取につき) * (封筒表書)「水筒先町三十一年前半季貸地料半額天笠氏分受取書 明治三十一年七月八日神戸 天笠佐兵衛(印「尾州新川天笠佐兵衛」)→神戸様	明治31年7月8日	横切紙・1通	い 1402-154

(葵町控米此者へお渡し下されたき願書) 天竺佐兵衛 (印「尾州新川天竺佐兵衛」)→神戸様	1月26日	横切紙・1通	い 1402-162
(封筒) * (封筒表書)「天竺氏共同割合帳并ニ水筒先町葵町出費帳」 神戸		封筒・1点	い 1639-0
明治廿九年ヨリ全三十八年マテ収出米金トモ左之通 (代金2624円余)		青色罫紙/(10行)・1通	い 1639-1
領収証(葵町丈量費として金2円50銭) 小木曾義夫 [印]→神戸殿	明治44年8月11日	印刷用紙・1通	い 1639-2
仮記(葵町御所有の地所西側用水路埋立代へ寄附金として金10円受領書) 葵町佐々嘉七[印「佐嘉七」]→三輪宅次郎様	大正2年2月4日	青色罫紙/(9行)・1通	い 1639-3
証(葵町道路改設寄附金として金100円領収書) 名古屋市役所会計課[印「名古屋市役所会計課」]→三輪宅次郎殿	明治44年4月18日	「愛知県名古屋 市役所」用箋/ (12行)/(封筒共)・1通	い 1639-4
計算書(公証人手数料として金2円60銭領収につき) 公証人馬淵準一役場[印「公証人馬淵準一」]→囑託人則竹末松殿外三名	明治44年2月13日	印刷用紙/(い1639-5-1~8は紙綴一括)・1通	い 1639-5-1
(間詰1斤・箱代・運賃代2円7銭の出荷案内) 山城国宇治郡宇治村字菟道洗竹園宮林商店→名古屋市関鍛冶町三丁目菅井孫右衛門殿	明治39年12月21日	ハガキ/(い1639-5-2-1~2は一折)・1通	い 1639-5-2-1
(間詰1斤・箱代メ金1円79銭の通知) *加藤行茶代は別紙の通りの旨貼紙あり 山城宇治宮林洗竹園→名古屋市関鍛冶町三丁目菅井孫右衛門殿	(明治)36年12月21日	ハガキ・1通	い 1639-5-2-2
水筒先町葵町控地入費帳 第弐号 天竺・神戸	(明治)28年~33年	横半半(下げ二ツ綴)・1冊	い 1639-5-4
(水筒先町・葵町の地代金・登記料・口入料の勘定書上)	(明治)29年11月14日	横長半(一ツ綴)/(い1639-5-5-1~2は一折)・1冊	い 1639-5-5-1
記(水筒先町・葵町の地代金・登記料・口入料の勘定書上)	(明治)30年1月10日	折紙・1通	い 1639-5-5-2
記(葵町御所有地拙者受作地に入れ土修繕費として金2円受取書) 杉下鯛治郎→三輪宅次郎殿	明治36年7月20日	切紙・1通	い 1639-5-7
記(葵町実測費・東区役所にて地図台帳閲覧料ほか代金7円30銭領収書) 愛知県中村大字則武字新堀小木曾義夫(印「小木曾」)→三輪宅次郎殿	大正3年12月26日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1639-6

町名不明

記(3月9日3円井戸他メ3円30銭受取につき) 桶長→上	3月	横切紙/(い1402-159~170は一綴)・1通	い 1402-159
記(はきだめ料・町内照燈料メ金19銭5厘につき) 江藤屋才蔵→神戸様	9月3日	横切紙・1通	い 1402-161

預金

三井銀行

第49号(当季当座預り利子勘定本日決算の処、元金差引3498円50銭にて次期勘定へ付替につき通知書) 名古屋三井銀行→神戸分左衛門殿	明治13年6月25日	堅切紙/(い1403-67~72は一綴)・1通	い 1403-67
--	------------	-------------------------	-----------

神戸家・勘定場/預金/三井銀行

(昨13年12月25日迄当座払込金受取証および通帳を渡すべき旨通知) 三井銀行愛知出張店[印「三井銀行愛知出張店」]→各位御中	(明治)14年3月30日	「愛知 三井銀行出張店」用箋/(10行)・1通	い 1482-10
(貴殿当座勘定につき預り利足3円14銭の旨通知) 名古屋三井銀行[印「名古屋三井銀行検案係」]→神戸分左衛門殿	明治15年6月25日	印刷用紙・1通	い 1482-11
(貴殿当座勘定につき預り利足6円97銭余の旨通知) 名古屋三井銀行[印「三井銀行愛知出張店」]→神戸分左衛門殿	明治14年12月25日	印刷用紙・1通	い 1482-12
(貴殿当座勘定につき貸方利子110円95銭余・預方利子15銭余の旨通知) 三井銀行[印「三井銀行愛知出張店」]→神戸分左衛門殿	明治13年12月25日	「三井銀行便箋」用箋/(13行)・1通	い 1482-13
記(貸越積数高・預積数高書上)		「三井銀行便箋」用箋/(13行)・1通	い 1482-14
(当座預り金利足勘定につき貸越積数総高・預り金積数総高書上) 三井銀行名古屋支店(印)→神戸文左衛門殿	明治12年12月30日	「三井銀行便箋」用箋/(13行)・1通	い 1482-15
(振込金額・仕払金額および利子書上) 三井銀行→神戸分左衛門殿	11年12月29日(11月～12月)	「三井銀行便箋」用箋綴(ひねり綴)/(13行)・1綴	い 1482-16
(神戸・四郎兵衛・服岡他の24年度第2～5期田金額書上表)		「神戸氏蔵」用箋/(13行)・1通	い 1482-17
(貴殿当座勘定につき当銀行よりの貸勘定を早々返却すべき旨通知) 三井銀行名古屋支店(印「山田」)・[印「稲垣」]→神戸分左衛門殿		「三井銀行便箋」用箋綴(ひねり綴)/(13行)・1通	い 1482-18
(封筒) 名古屋三井銀行→木挽町神戸分左衛門殿	(明治)14年6月21日	封筒・1点	い 1795-0
三井銀行預ケ越	明治14年7月～12月	「神戸氏蔵」用箋/(11行)・1通	い 1795-1
①三井銀行へ当座預ケ越、②全上三井銀行ヨリ借越	明治13年12月～14年4月	「神戸氏蔵」用箋/(11行)・1通	い 1795-2
証(金36円77銭受取書) 名古屋三井銀行[印]→神戸分左衛門殿	明治14年6月27日	印刷用紙・1通	い 1795-3
証(金110円95銭余受取書) 名古屋三井銀行[印]→神戸分左衛門殿	明治13年12月26日	印刷用紙・1通	い 1795-4
証(金64円95銭余受取書) 名古屋三井銀行[印]→神戸分左衛門殿	明治13年6月29日	印刷用紙・1通	い 1795-5
当座引出小切手(当座預ケ金引出切符綴り) 名古屋三井銀行→神戸分左衛門殿	(明治24年8月6日～明治27年1月12日)	横長半(三ツ目綴)・1冊	い 1357
当座引出小切手(当座小切手綴り) 名古屋伝馬町三井銀行→神戸分左衛門殿	(明治27年1月14日～明治28年8月7日)	横長半(三ツ目綴)・1冊	い 1358
三井銀行当座預ケ金覚 神戸氏	明治24年辛卯7月(明治24年7月10日～明治28年7月25日)	横半半(一ツ綴)・1冊	い 1359
当座預金通帳 名古屋合名会社三井銀行→神戸分左衛門殿	(明治27年6月18日～明治28年8月7日)	預金通帳・1冊	い 1360
(従前の当座約定証書を別紙取引申込書に改定仕度につき申上書) 三井銀行名古屋出張店→神戸分左衛門殿	(明治)25年6月25日	横切紙/(い1399-100-1～4は一綴)・1通	い 1399-100-1

(神戸分左衛門印鑑証明書) →尾張国海西郡宝地村大字神戸新田貳拾八番戸神戸分左衛門		札・1点	い 1399-100-2
当座預り金取引申込書 神戸分左衛門(印)→三井銀行御中	明治25年6月30日	印刷物・1通	い 1399-100-3
(貴殿当座預金本日550円14銭預り勘定決算金3円46銭1厘につき勘定書) 名古屋伝馬町三井銀行[印]→神戸分左衛門殿	明治25年6月25日	印刷物・1通	い 1399-100-4
(三井銀行名古屋支店広告) 名古屋市伝馬町四丁目合名会社三井銀行名古屋支店		印刷物/(い 1399-102-1~5は一綴)・1通	い 1399-102-1
(当座預金日歩8月10日より金100円につき日歩金1銭後世通知書) 三井銀行名古屋支店(印)→木挽町神戸分左衛門殿	明治25年8月10日	印刷物・1通	い 1399-102-2
(当座貸越金利息来る16日より100円につき1銭8厘日歩改定通知書) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町壱丁目神戸分左衛門殿	8月10日	印刷物・1通	い 1399-102-3
(営業時間改正通知書) 合名会社三井銀行名古屋支店	明治28年4月	印刷物・1通	い 1399-102-4
(三井銀行・神戸分左衛門利付預け金双方結約条々) 三井銀行名古屋支店[印]取締西郵定次朗(印)・副取締坪井松太郎(印)・愛知県海西郡宝地村大字神戸新田二十八番戸預け主神戸分左衛門(印)・同県名古屋市車ノ町三拾三番戸引受証人三輪宅次郎[印]	明治24年7月9日	印刷物・1通	い 1399-102-5
証(28年6月16日より8月6日まで当座貸越利子金17円6銭1厘受取につき) 合名会社三井銀行名古屋支店[印]「合名会社三井銀行名古屋支店」→神戸分左衛門殿	明治28年8月7日	印刷物/(い 1401-103~128は一綴)・1通	い 1401-103
(当座通帳持参の節誤記にて通帳お貸し下されたきにつき願書) 名古屋三井銀行支店(印「中島」)→神戸分左衛門殿	(明治)27年12月29日	横切紙・1通	い 1401-104
(通帳訂記にて落手くださされたきにつき) 名古屋三井銀行→神戸分左衛門殿	(明治)27年12月29日	切紙・1通	い 1401-105
(当座金本年6季勘定にて金1002円82銭5厘当座貸越金残高ほか承認下されたきにつき) 合名会社三井銀行名古屋支店[印「名古屋預金係」]、(奥書)神戸分左衛門(印)→神戸分左衛門殿	(明治)27年12月16日	印刷物・1通	い 1401-106
記(1月9日より10日まで2日分合わせて金620円他メ金4620円受取につき) *三井当座預金1310円ほか金銭書上あり 幡江次郎[印]	明治26年2月21日	折紙・1通	い 1401-107
(当座預金改訂取り扱いにつき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町一丁目神戸分左衛門殿	明治27年7月19日	印刷物・1通	い 1401-111
(本年上半季当座預金利息勘定書精算の上相違無く調印にて至急返送くださされたきにつき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→神戸分左衛門殿	(明治)27年7月	印刷物(こんにゃく版)・1通	い 1401-112
甲号(当座預金本日まで差引600円利息8円34銭4厘にて乙号書へ御記名調印の上返送されたきにつき) 名古屋三井銀行[印]、(奥書)神戸分左衛門→神戸分左衛門殿、(奥書)名古屋三井銀行	明治24年12月20日	印刷物・1通	い 1401-113
(利子の義18日より金100円あたり日歩金8厘につき通知) 三井銀行名古屋支店営業課[印「名古屋支店営業課」]→神戸分左衛門殿	明治25年9月15日	印刷物(こんにゃく版)・1通	い 1401-114
甲号(当座預金本日まで差引11円80銭5厘利息金5円38銭7厘にて乙号書へ御記名調印の上返送された	明治22年12月17日	印刷物・1通	い 1401-115

神戸家・勘定場/預金/三井銀行

きにつき) 名古屋三井銀行[印「名古屋支店営業課」、(奥書)神戸分左衛門→神戸分左衛門殿、(奥書)名古屋三井銀行			
(当座預金約定の義別紙申込書差し出し下さるべきにつき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店預金係→木挽町一丁目神戸分左衛門殿	(明治)27年2月	印刷物(こんにゃく版)・1通	い 1401-116
(当座貸越金利息本月21日より100円につき2銭1厘に改訂につき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町一丁目神戸分左衛門殿	明治26年10月	印刷物(こんにゃく版)・1通	い 1401-117
(当座貸越金利息12月18日より100円につき2銭5厘に改訂につき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町一丁目神戸分左衛門殿	明治26年12月13日	印刷物・1通	い 1401-118
(当座預金利息来月より100円につき5厘にて取り扱いにつき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町一丁目神戸分左衛門殿	明治26年9月	印刷物(こんにゃく版)・1通	い 1401-119
(当座貸越金利息100円につき2銭3厘に改訂につき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町一丁目神戸分左衛門殿	明治26年11月27日	印刷物・1通	い 1401-120
(当座金本年下季勘定金1002円82銭5厘当座貸越金残高・金34円当座貸越金利息、承認下されたきにつき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店[印写「名古屋預金係」]→神戸分左衛門殿	明治27年12月16日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1401-121
(当座貸越金利息不況にて7月1日より2銭8厘に引き上げ通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町一丁目神戸分左衛門殿	(明治)27年6月26日	印刷物(こんにゃく版)・1通	い 1401-122
(当座預金に対し27年下季利息勘定書記名調印の上差し出しにつき通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町一丁目神戸分左衛門殿	(明治)28年11月17日	印刷物(こんにゃく版)・1通	い 1401-123
(金1237円55銭当座貸越金ほか勘定書につき) *写 合名会社三井銀行名古屋支店印、(奥書)神戸分左衛門→神戸分左衛門殿	明治27年6月17日	青色罫紙/(11行)・1通	い 1401-124
印鑑并二筆跡届 *雛形 →合名会社三井銀行御中	明治年月日	印刷物・1通	い 1401-125
(当座貸越従来1000円限りの所5000円まで増加締約改訂にて通知) 合名会社三井銀行名古屋支店→木挽町一丁目神戸分左衛門殿		印刷物(こんにゃく版)・1通	い 1401-126
(金1496円当座貸越金ほか勘定書につき) *写 合名会社三井銀行名古屋支店印、(奥書)神戸分左衛門→神戸分左衛門殿	明治28年6月16日	青色罫紙/(11行)・1通	い 1401-127
(当座通帳金本月5日限り満期にて解約・契約の見込み証書認め下されたきにつき書状) 三井銀行預金係(印「中島」)→神戸分左衛門殿	(明治)28年8月1日	横切継紙・1通	い 1401-128
(当座預金決算差引金313円56銭2厘御照会にて乙郷受取書に御調印の上持参下されたきにつき通知) *利子差引金3円53銭8厘請取証とも 名古屋三井銀行[印「名古屋預金係」]→神戸分左衛門殿	明治26年2月24日	印刷物・1通	い 1401-129
①委任状(株式券状30枚の利金受取方・所有権代理執行)、②差入証(当座借越極度金抵当として株式券状30枚) *①控 ①西春日井郡新川町大字土器野新田百八番戸天笠(天野)佐兵衛、②神戸分左衛門→三井銀行名古屋支店御中	①明治26年8月(5)日、 ②明治26年8月5日	「神戸氏蔵」用箋/(い)1484-4-1~13は一綴)/(①と②は表裏)・1通	い 1484-4-1
承諾証書(神戸分左衛門当座借越の抵当として拙者所有物差入の旨) 担保物差入人天笠(天野)佐兵衛→合	明治26年8月5日	「神戸氏蔵」用箋・1通	い 1484-4-2

名会社三井銀行名古屋支店御中			
①証(貴殿所有の株式券状30枚を当座借越金抵当に借用)、②証(株式30株受取) *②控 ①神戸分左衛門→天竺(天野)佐兵衛殿、②合名会社名古屋三井銀行支店→神戸分左衛門殿	①明治26年8月5日、②明治26年8月7日	「神戸氏蔵」用箋/(①と②は表裏)・1通	い 1484-4-3
当坐預金借越約定書 海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸本人神戸分左衛門・西春日井郡新川町大字土器野新田百八番戸保証人天竺(天野)佐兵衛→三井銀行	明治28年8月5日	「神戸氏蔵」用箋/(貼紙あり)・1通	い 1484-4-4
印鑑并ニ筆跡届(神戸銀之助をもって代筆とする旨) *本人・代筆者筆跡は貼紙にあり 神戸分左衛門→合名会社三井銀行御中	明治26年8月7日	堅切紙・1通	い 1484-4-5
証(貴殿所有物株式仮券状を当座借越金抵当に差入) *控神戸分左衛門→天竺(天野)佐兵衛殿	明治27年8月1日	「神戸氏蔵」用箋・1通	い 1484-4-6
証(当座貸越金担保として株券受取) *「右書付廿八年八月は担保に受取ニ付返戻」と朱書/控 合名会社三井銀行名古屋支店印→神戸分左衛門殿	明治27年8月4日	「神戸氏蔵」用箋・1通	い 1484-4-7
延期証書(明治26年8月5日付当座預金借越約定) *控本人神戸分左衛門・保証人天野佐兵衛→三井銀行名古屋支店御中	明治27年8月5日	堅切紙・1通	い 1484-4-8
委任状(株式仮券を売譲り渡し所有権代理執行する旨) *「此委任状書式違ヒニ付後ニ二葉ニ認候」と注記 西春日井銀新川町大字土器野新田百八番戸天竺(天野)佐兵衛		堅切紙・1通	い 1484-4-9
委任状(株券20株売譲り渡し所有権を代理執行する旨) *「廿八年八月七日受取」と朱書		堅切紙・1通	い 1484-4-10
委任状(株券80株売譲り渡し所有権を代理執行する旨) *「廿八年八月七日受取」と朱書		堅切紙・1通	い 1484-4-11
差入証(約定の当座借越極度金の抵当として株式仮券状) *「廿八年八月七日受取」と朱書 海西郡 番戸神戸分左衛門→合名会社三井銀行名古屋支店御中	明治27年8月5日	堅切紙・1通	い 1484-4-12
承諾証書(拙者所有の株式仮券状担保に神戸文左衛門当座借越の旨) *「廿八年八月七日受取」と朱書 担保物差入人天竺(天野)佐兵衛→合名会社三井銀行名古屋支店御中	明治27年8月日	堅切紙・1通	い 1484-4-13

明治銀行

(金837円45銭5厘返却下さりたきにつき勘定書) 株式会社明治銀行→神戸分左衛門殿	明治35年6月15日	印刷用紙・1通	い 1401-85
--	------------	---------	-----------

第一銀行

(当座御預金利息割合引き上げの通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様・神戸知水様	明治32年12月24日	印刷用紙/(い 1356-1~69は一綴)・1通	い 1356-1
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門殿	明治34年9月27日	印刷用紙・1通	い 1356-2
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治34年9月29日	印刷用紙・1通	い 1356-3

神戸家・勘定場/預金/第一銀行

(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治34年6月23日	印刷用紙・1通	い 1356-4
(当座預金貸越御約定額を減額する旨通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治34年5月23日	印刷用紙・1通	い 1356-5
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治34年3月24日	印刷用紙・1通	い 1356-6
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年9月23日	印刷用紙・1通	い 1356-7
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年12月23日	印刷用紙・1通	い 1356-8
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年6月24日	印刷用紙・1通	い 1356-9
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年6月23日	印刷用紙・1通	い 1356-10
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年4月18日	印刷用紙・1通	い 1356-11
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年3月25日	印刷用紙・1通	い 1356-12
(当座御貸越利息割合引き上げの通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年3月25日	印刷用紙・1通	い 1356-13
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年3月25日	印刷用紙・1通	い 1356-14
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治33年1月31日	印刷用紙・1通	い 1356-15
(当座御貸越利息割合引き上げの通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治32年12月24日	印刷用紙・1通	い 1356-16
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治32年12月23日	印刷用紙・1通	い 1356-17
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治32年12月24日	印刷用紙・1通	い 1356-18
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治32年3月26日	印刷用紙・1通	い 1356-19
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治32年6月25日	印刷用紙・1通	い 1356-20

(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治32年6月25日	印刷用紙・1通	い 1356-21
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社 第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算 掛」]→神戸分左衛門様	明治32年9月30日	印刷用紙・1通	い 1356-22
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治32年11月28日	印刷用紙・1通	い 1356-23
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治32年9月16日	印刷用紙・1通	い 1356-24
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治32年7月29日	印刷用紙・1通	い 1356-25
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店」]→神戸分左 衛門様	明治32年5月19日	印刷用紙・1通	い 1356-26
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治32年3月26日	印刷用紙・1通	い 1356-27
(当座御預金利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治32年2月25日	印刷用紙・1通	い 1356-28
(当座御預金利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治32年2月28日	印刷用紙・1通	い 1356-29
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社 第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算 掛」]→神戸分左衛門殿	明治31年12月25日	印刷用紙・1通	い 1356-30
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店→神戸分左衛門様	明治31年12月13日	印刷用紙・1通	い 1356-31
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社 第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算 掛」]→神戸分左衛門殿	明治31年9月25日	印刷用紙・1通	い 1356-32
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治31年10月9日	印刷用紙・1通	い 1356-33
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店→神戸分左衛門様	明治31年9月9日	印刷用紙・1通	い 1356-34
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店→神戸分左衛門様	明治31年6月	印刷用紙・1通	い 1356-35
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社 第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算 掛」]→神戸分左衛門殿	明治31年6月26日	印刷用紙・1通	い 1356-36
(貴殿と御約定の当座貸越は期限が4月30日の旨につ き書状) 第一銀行名古屋支店→神戸分左衛門様	明治31年5月17日	「株式会社第一 銀行便牒」・1通	い 1356-37
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行 名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神 戸分左衛門様	明治31年4月28日	印刷用紙・1通	い 1356-38

神戸家・勤定場/預金/第一銀行

(当座預金貸越御約定額を減額する旨通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治31年3月31日	印刷用紙・1通	い1356-39
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治31年3月27日	印刷用紙・1通	い1356-40
(当座預金貸越御約定額を減額する旨通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治30年12月7日	印刷用紙・1通	い1356-41
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治30年12月26日	印刷用紙・1通	い1356-42
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治30年10月27日	印刷用紙・1通	い1356-43
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治30年9月26日	印刷用紙・1通	い1356-44
(当座貸越利足更生の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門殿	明治30年6月28日	印刷用紙・1通	い1356-45
(当座預金差引高並びに当季間利息の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治30年6月27日	印刷用紙・1通	い1356-46
(当座預金差引金並びに利足金の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門殿	明治29年12月20日	印刷用紙・1通	い1356-47
(当座貸越利足更生の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門殿	(明治)29年9月29日	印刷用紙・1通	い1356-48
(当座預金差引金並びに利足金の通知) 第一銀行名古屋支店[印「名古屋第一国立銀行支店預金係」]→神戸分左衛門殿	明治29年9月22日	印刷用紙・1通	い1356-49
(当座預金差引金並びに利足金の通知) 第一銀行名古屋支店[印「名古屋第一国立銀行支店預金係」]→神戸分左衛門殿	明治29年6月21日	印刷用紙・1通	い1356-50
(当座預金差引金並びに利足金の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店預金係」]→神戸分左衛門殿	明治29年3月22日	印刷用紙・1通	い1356-51
(当座貸越利足更生の通知) 第一銀行名古屋支店(印「尾州名古屋第一国立銀行支店」)→神戸分左衛門殿	明治29年3月22日	印刷用紙・1通	い1356-52
(当座貸越利足更生の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門殿	(明治)29年2月1日	印刷用紙・1通	い1356-53
(当座預金差引金並びに利足金の通知) 第一銀行名古屋支店[印「名古屋第一国立銀行支店預金係」]→神戸分左衛門殿	明治28年12月22日	印刷用紙・1通	い1356-54
(当座預金差引金並びに利足金の通知) 第一銀行名古屋支店[印「名古屋第一国立銀行支店預金係」]→神戸分左衛門殿	明治28年9月23日	印刷用紙・1通	い1356-55
(当座貸越利足更生の通知) 第一銀行名古屋支店[印「名	明治29年8月7日	印刷用紙・1通	い1356-56

古屋第一国立銀行支店預金係]→神戸分左衛門殿			
(当座預金差引金並びに利足金の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門殿	明治30年3月28日	印刷用紙・1通	い 1356-57
証(貸金利子11円50銭受取につき) 第一銀行名古屋支店(印「尾州名古屋第一国立銀行支店」)→神戸分左衛門殿	明治29年5月8日	印刷用紙・1通	い 1356-58
証(貸付金利子9円25銭受取につき) 第一銀行名古屋支店(印「尾州名古屋第一国立銀行支店」)→神戸分左衛門殿	明治29年5月2日	印刷用紙・1通	い 1356-59
証(貸内金利足1円56銭受取につき) 第一銀行名古屋支店(印「尾州名古屋第一国立銀行支店」)→神戸分左衛門殿	明治29年3月2日	印刷用紙・1通	い 1356-60
証(貸付金利息47円84銭受取につき) 第一銀行名古屋支店(印「尾州名古屋第一国立銀行支店」)→神戸分左衛門殿	明治29年4月13日	印刷用紙・1通	い 1356-61
(1月13日御用立金の御約定は延期も差支なき旨書状) 第一銀行名古屋支店(印「尾州名古屋第一国立銀行支店」)→神戸分左衛門様	明治29年4月11日	「第一国立銀行便牋」・1通	い 1356-62
(当行は営業満期につき名称を株式会社第一銀行と改める旨通知) 名古屋市伝馬町株式会社第一銀行名古屋支店→神戸分左衛門様	明治29年	印刷用紙・1通	い 1356-63
(諸預り金利足改正の通知) 第一国立銀行名古屋支店→当市木挽町神戸分左衛門殿	29年5月20日	ハガキ・1通	い 1356-64
(株式会社第一銀行と名称改めにつき当座小切手・預金通帳ほか承知されたき旨通知) 名古屋市伝馬町株式会社第一銀行名古屋支店→神戸分左衛門様	明治29年9月	印刷用紙・1通	い 1356-65
株式会社第一銀行名古屋支店広告(諸預り金利息定めにつき) 名古屋市伝馬町株式会社第一銀行名古屋支店		印刷物・1通	い 1356-66
(当座御貸越利息割合更正の通知) 株式会社第一銀行名古屋支店→神戸分左衛門様	明治32年2月14日	印刷用紙・1通	い 1356-67
当座預金借越約定書 →株式会社第一銀行名古屋支店御中	明治	印刷物・1通	い 1356-68
(定期預金・当座預金ほか手続の手引き) 名古屋市伝馬町株式会社第一銀行名古屋支店	明治29年9月	印刷物・1通	い 1356-69
(名古屋市傳馬町3丁目伏見町角株式会社第一銀行名古屋支店送金取組場所一覧表)		印刷物/(い 1403-77~85は一綴)・1通	い 1403-77
(当座貸越利息割合100円につき日歩2銭5厘通知書) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治35年7月1日	印刷用紙・1通	い 1403-78
(当座預金差引高並びに当季間利息計算、乙号の通り御精算下さるべく通知書) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治34年12月29日	印刷用紙・1通	い 1403-79
(当座貸越利息割合来る9月15日より当分の内100円につき日歩2銭4厘と更正通知書) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治35年9月10日	印刷用紙・1通	い 1403-80
(当座貸越利息割合来る9月15日より当分の内100円につき日歩2銭3厘と更正通知書) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治35年10月2日	印刷用紙・1通	い 1403-81

神戸家・勘定場/預金/第一銀行

(3月30日付報知の当座決算承認状送付下されたき依頼書) 名古屋市傳馬町13番地株式会社第一銀行名古屋支店→木挽町神戸分左衛門様	明治35年4月25日	印刷用紙・1通	い 1403-82
(当座預金差引高並びに当季間利息計算、乙号の通り御精算下さるべく通知書) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治35年3月30日	印刷用紙・1通	い 1403-83
(小口当座御預金利息3月1日より100円につき日歩1銭6厘更正通知書) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治35年2月27日	印刷用紙・1通	い 1403-84
(当座貸越利息割合来る2月17日より当分の内100円につき日歩2銭6厘と更正通知書) 株式会社第一銀行名古屋支店[印「株式会社第一銀行名古屋支店計算掛」]→神戸分左衛門様	明治35年2月14日	印刷用紙・1通	い 1403-85
第二六三号 当座預金通帳 名古屋第一国立銀行→神戸分左衛門殿	(明治28年8月5日～明治30年3月29日)	預金通帳・1冊	い 1353
第一銀行 関係物(当座小切手綴り) 株式会社第一銀行	(明治30年1月29日～明治31年2月19日)	小切手帳・1冊	い 1354
(第一国立銀行当座小切手綴り) 第一国立銀行	(明治28年8月5日～明治30年1月29日)	小切手帳・1冊	い 1355

銀行名不明

※(メ金6949円70銭3厘5毛につき差引銀行預け金内訳)	(明治)25年9月25日改	切紙・1通	い 1401-184
-------------------------------	---------------	-------	------------

公債

※(メ金6949円70銭3厘5毛につき差引銀行預け金内訳)	(明治)25年9月25日改	切紙・1通	い 1401-184
記(26年12月25日預け金300円ほか預け金利子勘定メ金18円65銭3厘9毛受取につき) 石川分衛(印)→神戸分左衛門殿	明治27年12月24日	横切継紙・1通	い 1401-35
記(26年12月25日預け金320円ほか預け金メ100円68銭7厘5毛受取につき) 石川分衛(印)・同田名鶴(印)→神戸分左衛門殿	(明治)28年2月15日	横切継紙・1通	い 1401-36
記(整理公債証書額面3千円貴殿使用にて報酬として金9円請取につき) 石川分衛(印)→神戸分左衛門様	明治28年12月30日	切紙・1通	い 1401-33
(封筒) * (封筒表書)「石川分衛ヨリ金四百円預り金返戻ニ付元金并ニ利子同人受取書式通入 廿八年二月十六日神戸」神戸	(明治)28年2月16日	封筒・1点	い 1401-34
(封筒) * (封筒表書)「石川分衛整理公債軍事公債廿九年十二月下附利金受取并ニ右両公債貸料受取書 廿九年十二月廿三日来ル」	(明治)29年12月23日	封筒・1点	い 1401-30
証(整理公債額面3千円29年12月下附利子金75円他メ金112円受取につき) 石川分衛(印)→神戸分左衛門様	(明治)29年12月18日	切継紙・1通	い 1401-31
(封筒) * (封筒表書)「廿八年中整理公債使用報酬受取書 石川分衛」石川分衛		封筒・1点	い 1401-32
(封筒) * (封筒表書)「石川分衛整理公債三十年十二月下附ノ利子受取書 同人整理公債軍事公債之三十年使用料受取書」	(明治30年)	封筒・1点	い 1401-20

①記(整理公債証書額面3千円・軍事公債証書額面1千円使用報酬として金12円受取につき)、②記(整理公債証書額面3千円30年12月下附利子金75円受取につき) 石川分衛(印)→神戸分左衛門殿	①明治30年12月29日、 ②明治30年12月	横切継紙・1通	い 1401-21
(封筒) * (封筒表書)「石川分衛整理公債三千円之六月下附ノ利子渡シ受取証 三十年八月廿七日」	(明治)30年8月27日	封筒・1点	い 1401-22
証(整理公債証書額面3千円に対する30年6月下附の利資金75円受取につき) 石川分衛(印)→神戸分左衛門殿	明治30年8月27日	切継紙・1通	い 1401-23
(封筒) * (封筒表書)「石川分衛所持整理公債廿八年十二月渡し利金受取書 廿八年十二月廿一日分衛より来」	(明治)28年12月21日	封筒・1点	い 1401-24
記(整理公債額面3千円本月下附利金75円請取につき) 石川分衛(印)→神戸分左衛門様	明治28年12月21日	切紙・1通	い 1401-25
(封筒) * (封筒表書)「石川分衛軍事公債壹千円ニ対スル三十年六月下附ノ利子金廿五円受取証 三十年六月三日」	(明治)30年6月3日	封筒・1点	い 1401-26
記(軍事公債証書額面1千円に対する30年6月下附利資金25円受取につき) 石川分衛(印)→神戸分左右衛門殿	明治30年6月3日	切紙・1通	い 1401-27
(封筒) * (封筒表書)「石川分衛軍事公債卅年十二月下附利子受取証」	(明治30年)	封筒・1点	い 1401-28
記(軍事公債額面1千円に対する明治30年12月下附の利子金25円受取につき) 石川分衛(印)→神戸分左衛門殿	明治30年12月7日	切紙・1通	い 1401-29
(封筒) * (封筒表書)「石川分衛整理公債三十一年六月下附利子受取書 三十一年六月十日」	(明治)31年6月10日	封筒・1点	い 1401-18
記(整理公債額面金子31年6月下附利子金75円受取につき) 石川分衛(印)→神戸分左衛門殿	(明治)31年6月10日	切紙・1通	い 1401-19

関与団体

軍人遺族救護義会

(軍人遺族救護義会協賛員推薦依頼状) 社団法人軍人遺族救護義会協賛員法学博士田口卯吉・協賛員尾崎行雄・協賛員大岡育造・協賛員江原素六・協賛員島田三郎・協賛員男爵松平正直・協賛員男爵有地品之允・会計監査安川繁成・副会長伯爵大原重朝・会長伯爵坊城俊章	明治37年2月	印刷物/(い1399-104-1~6は一綴)・1通	い 1399-104-1
軍人遺族救護義会定款		印刷物・1通	い 1399-104-2
寄贈金申込書 →軍人遺族救護義会会長坊城俊章殿	明治	印刷物・1通	い 1399-104-3
軍人遺族救護義会救護基金蓄積法摘要 社団法人軍人遺族救護義会		印刷物・1通	い 1399-104-4
軍人遺族新報 第14号		新聞・1冊	い 1399-104-5
(本会協賛員推薦書) 軍人遺族救護義会会長伯爵坊城俊章 [印「軍人遺族救護義会会長之印」]→神戸分左衛門殿	明治37年3月15日	賞状・1通	い 1399-104-6

日本海員掖済会

(本会の趣旨御賛助金3000円寄付拝謝状) 恩賜財團済生會會長公爵桂太郎→神戸分左衛門殿	明治44年10月10日	印刷/(い)1403-113~114は一綴)・1通	い 1403-113
(恩賜財團済生會寄付金につき通知書) 田中海西郡長→神戸分左衛門殿	明治44年10月12日	印刷・1通	い 1403-114
日本海員掖済会要覧		印刷物/(綴紐にて裏面読めず)・1通	い 1399-107

国家・行政との関係

選挙

(公撰所得税調査員撰挙人証明書) 愛知県海西郡役所→海西郡神戸新田神戸分左衛門	明治23年5月27日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1399-32
(貴族院多額納税者議員互選名簿1冊配付につき通知) 愛知県知事時経為基[印「愛知県知事時経為基」]→神戸分左衛門殿	明治30年4月13日	堅切紙/(い)1399-97-1~2は一綴)・1通	い 1399-97-1
(封筒) * (封筒表書)「愛知県海西郡宝地村神戸分左衛門殿」	(明治)30年4月15日	封筒/(破損甚大)・1点	い 1399-97-2
(貴族院多額納税者議員選挙投票日時の通知) 愛知県知事時経為基[印]→神戸分左衛門殿	明治30年6月2日	「愛知県」用箋・1通	い 1484-8
郡会議員選挙会入場券 (愛知県海部郡十四山村)[(印)「愛知県海部郡十四山村之印」]→愛知県海部郡十四山村大字神戸新田神戸分左衛門	大正2年9月27日	印刷物・1通	い 1399-51

軍資金献納

(封筒) * (封筒表書)「中央金庫 愛知県海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門殿」	(明治)27年9月13日	封筒/(い)1399-91~128は一綴)/(い)1399-91~94は一綴)/(い)1399-91~92は一綴)・1点	い 1399-91-1
献納金扱手続中抜粋		印刷物・1通	い 1399-91-2
(50円軍資金献納金領収書) 中央金庫[印「中央金庫」]→愛知県海西郡宝地村大字神戸新田神戸分左衛門	明治27年9月11日	印刷物・1通	い 1399-91-3
承認状(金50円軍資金献納承認にて中央金庫へ納付あるべきにつき) 陸軍恤兵監陸軍騎兵中佐正六位勲四等大蔵平三[印「陸軍」騎兵監之印]→神戸分左衛門殿	明治27年8月30日	賞状・1通	い 1399-91-4
(封筒) * (封筒表書)「陸軍恤兵部 愛知県海西郡宝地村大字神戸新田神戸分左衛門殿」	(明治)27年9月5日	封筒・1点	い 1399-92
(封筒) * (封筒表書)「中央金庫 愛知県海西郡宝地村大字神戸新田神戸分左衛門殿」	(明治)27年8月20日	封筒/(い)1399-93-1~4は一綴)・1点	い 1399-93-1
(50円軍資金献納金領収書) 中央金庫[印「中央金庫」]→愛知県海西郡宝地村大字神戸新田神戸分左衛門	明治27年8月20日	印刷物・1通	い 1399-93-2
承認状(金50円軍資金献納承認にて中央金庫へ納付あるべきにつき) 海軍省經理局長海軍主計總監正五位勲三等川口武定[印「海軍」騎省經理局之印]→神戸分左衛門	明治27年8月9日	賞状・1通	い 1399-93-3

門殿			
その他			
(御用有るにて礼服用登庁命令書) 愛知県→神戸分左衛門殿	明治6年9月2日	横切紙/(い1399-98-1~6は一綴)・1通	い1399-98-1
(第5中学区取締申付書) 愛知県→神戸分左衛門	明治6年9月5日	横切紙・1通	い1399-98-2
(勤務中身分取扱15等に准じ申付書) 愛知県→神戸分左衛門	明治7年6月7日	横切紙・1通	い1399-98-3
(願により職務差免じ申付書) 愛知県→第五中学区取締神戸分左衛門	明治7年7月27日	横切紙・1通	い1399-98-4
(願により職務差免じ申付書) 愛知県→第六大区廿一小区戸長神戸分左衛門	明治9年7月8日	横切紙・1通	い1399-98-5
(第6区21小区戸長申付書) 愛知県[印]→神戸分左衛門	明治9年2月17日	横切紙・1通	い1399-98-6
記(金7円受取書) * (封筒表書)「角淵宣請取書 明治廿一年十二月」 角淵宣→神戸分左衛門様	明治21年12月30日	切紙/(封筒共)・1通	い1603-2
(封筒) * (封筒表書)「名古屋木挽町上島筋下ル東側神戸分左衛門様」 桶屋町角淵宣→名古屋木挽町上島筋下ル東側神戸分左衛門様貴下	21年12月14日	封筒・1点	い1603-3-0
(受取書) * 前欠カ 角淵宣(印)→神戸様		切紙・1通	い1603-3-1
(訴訟入費書の添状) 角淵宣→神戸様	12月14日	切紙(緑色宿紙)/(い1603-3-2-1~2は巻込一括)・1通	い1603-3-2-1
記(三度出頭の日付、証拠物3度出頭認料・印紙代、金10円80銭5厘) 角淵→神戸様	12月14日	切紙(緑色宿紙)・1通	い1603-3-2-2
所得税(金3円8銭第1第2期請取につき) 竹内周太郎→神戸旦那様	明治39年11月27日	横切紙・1通	い1399-3
(封筒) * (封筒表書)「海軍省経理局 愛知縣海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門殿」	(明治)27年8月30日	封筒・1点	い1399-93-4
明治37年5月改正 海西郡尚武会規約		印刷物・1冊	い1399-94
(営業税調査につき別紙記入依頼書) 津島税務署[印「津島税務署之印」]→神戸分左衛門殿	明治36年12月28日	印刷物/(い1399-101-1~2は一綴)・1通	い1399-101-1
36年中売払米取調表		印刷物・1通	い1399-101-2
換摺写 第18義会顛末書 衆議院議員青樹英二→神戸分左衛門殿	明治36年6月	印刷物・1冊	い1399-106
記(明治9~12年分改正地租計算書)		折紙・1通	い1401-201
(源兵衛新田・紀右衛門新田・八右衛門新田20年地租税決算ほか書上覚)		横切紙・1通	い1402-244
通知書(所得金額4分1以上減損せざるをもって更訂せずにつき) 津島税務署長太田治郎吉[印]→神戸分左衛門殿	大正2年5月27日	「津島税務署」用箋・1通	い1660

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
家			
相続・居住・由緒			
一件綴りなど			
(神戸家由緒書下書、祖父文左衛門商売も手広く並びに宝永年中築立ての新田1ヶ所あり追々相働くもその後逼迫などにつき)		縦紙/(虫損あり)・1通	い 1395-24
乍恐口上之覚(89歳以上の者御座無きにつき) * 下書 犬山屋(神戸)文左衛門	亥9月	縦紙・1通	い 1400-74
(お手前様家督相続につき書状) 花井七左衛門→犬山屋(神戸)文左衛門様	8月27日	横切継紙・1通	い 1402-227
(御触之趣奉畏候につき、印形差上候、犬山屋文左衛門家族人別改) * 写 犬山(神戸)文左衛門	嘉永3年戌2月	半(一ツ綴)/ (裏打あり)・1冊	い 1865-16
乍恐御達申上候御事(町奉行所より跡相続願聞済につき申上書) * い1492-3と同内容/写 神戸新田地主犬山屋——事文左衛門→三井平六様御陣屋	丑4月	横切継紙・1通	い 1492-2
乍恐御達申上候御事(町奉行所より跡相続願聞済につき申上書) * い1492-2と同内容 神戸新田地主犬山屋(神戸)堅吾事文左衛門→三井平六様御陣屋	丑4月	縦紙・1通	い 1492-3
乍恐御達旁奉願上候御事(養子孫治郎同居の儀につき) * (貼紙)「願之通承届候卯9月」 神戸文左衛門(印)→地方御勘定所	(近世)卯8月	縦紙(卯九月付、承届の旨貼紙あり)・1通	い 1493-2
御目見得・身分引き立て等			
乍恐奉願上候御事(宗門改めの儀町方より別帳願書) 川万屋善右衛門・天満屋九兵衛・犬山屋(神戸)文左衛門・清水屋吉左衛門	寛政6年寅2月	縦紙・1通	い 1921
口上之覚(①正月二日御目見参上御断申上書、②元日御奉行所年頭御礼御断申上書) ①②犬山屋(神戸)文左衛門→花井八郎左衛門様	①卯12月26日、②卯12月28日	縦紙・1通	い 1493-3
乍恐奉願上候御事(家督相続につき御奉行様御目通の儀願書) * (端表書)「扣」 犬山屋(神戸)文左衛門→鈴木多門治様御席指図	天保12年丑4月14日	縦紙・1通	い 1493-4
口上之覚(明年御役所元日御礼の席につき願書) * (端裏書)「年頭御礼願扣」/(端裏貼紙)「天保十二丑四月歳元家督継目願書類」 犬山屋(神戸)文左衛門(印墨消)	天保12年丑12月	縦紙・1通	い 1493-19
乍恐奉願上候御事(家業譲りのため悴堅吾へ御役所御小道具類御用達仰せ付けられたきにつき) 犬山屋(神戸)文左衛門(印)→御小納戸御役所	天保13年寅9月	縦紙・1通	い 1493-9-1
覚(犬山屋文左衛門・天満屋九兵衛家督継目にあたり御奉行所御目通しの儀につき)		横切継紙/(い1493-9-1に貼付)・1通	い 1493-9-2
乍恐奉願上候御事(年頭継目御目見親文左衛門同席願書) 犬山屋(神戸)文左衛門印	丑8月	縦紙・1通	い 1493-10
口上之覚(幼名辰治郎文化7年6月25日御目通の儀につき) 犬山屋(神戸)文左衛門		縦紙・1通	い 1493-11

口上之覚(元日御奉行所年頭御礼御断申上書) 犬山屋(神戸)文左衛門(印)→花井七左衛門様	子12月27日	縦紙・1通	い 1493-13
(犬山屋文左衛門儀家督御礼のため御役所へ罷り出らるべきにつき達書) 小林六右衛門→天満屋九兵衛殿	4月19日	小切紙・1通	い 1493-18
口上之覚(年頭御目見にて扇子3本箱入り差上につき) 犬山屋(神戸)文左衛門(印)→花井七左衛門様	亥12月28日	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1395-33
口上之覚(不快にて今般御初駕御道筋罷り出は御断り申上につき) * (端書)「扣」 犬山屋(神戸)文左衛門→花井七左衛門様	子3月	縦紙・1通	い 1400-25
(犬山屋文左衛門継目目通相済の旨申上書)	丑4月	小切紙/(い 1493-7-1~3は貼紙)・1通	い 1493-7-2
(包紙) * (包紙上書)「御出仕之節御家頼御目見得脇指之次第外二京都御登御返物被仰渡御書付入」		包紙・1点	い 1588-0
覚(向後出仕家督御礼の節は御目見の家来共脇刺を帯びるべきにつき)	酉12月	横切継紙・1通	い 1588-1
覚(京都御使者命ぜらるにつき寅卯差上高は返附の旨)	5月	横切継紙・1通	い 1588-2
(初て御入国につき近々3ヶ月御祝儀御能命じらる旨書状) 地方勘定本メ役→神戸文左衛門殿	10月14日	横切継紙/(い 1614-1~5は紙縫一括)/(い 1614-1-1~5は紙縫一括)/(封筒共)・1通	い 1614-1-1
乍恐奉願上候御事(平百姓として座席は改めて御目見にして下さるよう) * 「申聞三月之願同五月廿七日申下相成願面」と注記あり/下書		横切継紙・1通	い 1614-1-2
乍恐奉願上候御事(献上物を京地へ持参したきにつき) * 下書 神戸文左衛門→御勘定所	正月20日	縦紙/(下札あり)・1通	い 1614-1-3
(包紙) * (包紙上書)「献上物御書付 正月廿日」	正月20日	包紙・1点	い 1614-1-5-0
(申渡の御用があるので明10日上下着用し出頭すべき旨申渡) 支配勘定組頭→神戸文左衛門殿	2月9日	横切継紙・1通	い 1614-1-5-1
(明朝6半時頃に御出下さるよう書状) 落井藤吉→神戸文左衛門様	11月9日	切紙・1通	い 1614-1-5-2
(御両所様へ献上物につき御内々御煎茶1箱下し置かる旨申渡) →神戸文左衛門	2月	横切紙・1通	い 1614-1-5-3
(妙顕寺御旅館へ献上物は殊の外御満足の旨市辺勘兵衛様御演説の書付)		切紙・1通	い 1614-1-5-4
(御両若様御入洛祝に献上の大小1腰の目録) 神戸文左衛門	亥正月	横切継紙・1通	い 1614-1-5-5
(今般献上の大小1腰を京地へ持参の上献上したき願い承届の申渡) →神戸文左衛門江	亥正月22日	横切継紙・1通	い 1614-1-5-6
口上之覚(不快引籠につき御上国御途中へ罷出る旨断り) 神戸文左衛門→御勘定所	未10月	縦紙・1通	い 1614-5-2
(包紙) * (貼紙上書)「御用留江写可申書付類」		包紙・1点	い 1614-5-3-0
(御任官につき麻上下着用し地方御勘定所へ罷出て御祝儀申上べき旨申渡) * 端裏書あり 地方勘定本メ役(西尾才助)→神戸文左衛門殿	9月27日	横切継紙/(包紙共)・1通	い 1614-5-3-1

家/相続・居住・由緒/御目見得・身分引き立て等

(当秋初て御入国御目見につき献上物差上げ御礼申上べき旨達) *写 小澤加八郎・西尾才助→稲荷新田松岡理平殿・神戸新田神戸文左衛門殿	9月27日	横切継紙・1通	い 1614-5-3-2
(御代替の御礼のため来25日御城下へ罷出て御礼席着座すべき旨達) 地方勘定本メ役→神戸文左衛門殿	10月16日	横切継紙/(封筒共)・1通	い 1614-5-4
(御用なので明26日に地方御勘定所へ罷出るよう申渡) 町方検断役→神戸文左衛門殿	8月25日	横切継紙・1通	い 1614-5-5
(包紙) * (包紙上書)「神戸文左衛門殿 浅井佐四郎」 浅井佐四郎→神戸文左衛門殿		包紙/(虫損あり)・1点	い 1614-5-6-0
(奉行衆より別紙書付につき1通差越の旨通知) 浅井佐四郎→神戸文左衛門殿	正月	切紙/(虫損あり)・1通	い 1614-5-6-1
(当春御参府の節御途中へ罷出る件心得るよう申渡) →神戸文左衛門	申正月	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1614-5-6-2
(代替御礼のため来25日御城へ罷出る件は延引の旨申渡) 地方勘定本メ役→神戸文左衛門殿	10月20日	横切継紙・1通	い 1614-5-7
乍恐奉願上候御事(初入国祝儀御能拜見は御奉行所より聞済になるよう) *写 神戸文左衛門→御勘定所	未10月16日	縦紙/(虫損甚大)・1通	い 1614-5-8
(包紙) * (包紙上書)「神戸文左衛門殿 西尾才助・小澤加八郎」 西尾才助・小澤加八郎→神戸文左衛門殿		包紙・1点	い 1614-5-14-0
(奉行衆より別紙書付につき1通差越の旨通知) 小澤加八郎・西尾才助→神戸文左衛門殿	12月	横切紙・1通	い 1614-5-14-1
(来年頭は例年の通り御目見罷出るよう申渡) →神戸文左衛門江	未12月	切紙・1通	い 1614-5-14-2
(三ヶ日御能2日目拜見につき白洲切手渡すので地方御勘定所へ罷出るよう申渡) (地方支配勘定組頭)豊田浅兵衛・安田七兵衛→神戸文左衛門殿	11月27日	横切継紙/(い 1614-15-1~4は紙縫一括)/(封筒共)・1通	い 1614-5-15-1
(代替御礼につき来月4日御城へ罷出るよう申渡) 地方勘定本メ役→神戸文左衛門殿	10月22日	横切継紙・1通	い 1614-5-15-2
(来4日代替御礼は差支につき同9日罷出るよう申渡) 地方勘定本メ役→神戸文左衛門殿	11月朔日	横切継紙・1通	い 1614-5-15-3
(申正月4日御用始年頭御祝儀につき地方御勘定所へ罷出るべき旨申渡) 若林盛松・石田忠三郎→神戸文左衛門殿	12月29日	横切継紙・1通	い 1614-5-15-4
乍恐奉願上候御事(先祖より由緒ある器物類を献上する旨) *控 犬山屋(神戸)文左衛門		切紙/(い 1850-1~2は巻込一括)・1通	い 1850-1
(犬山神戸弥左衛門次座にて御目見を命じられるよう身分御引立の願書) *下書		小切紙・1通	い 1859
(御奉行所御支配居置の節は本家犬山神戸弥左衛門次座にて御目見命じられたき旨願書) *下書		切紙・1通	い 1757
(御奉行所年頭御礼につき書状) 花井七左衛門→犬山屋(神戸)文左衛門様	12月17日	切紙・1通	い 1864-5
(継目御目見願書の件につき書状) 花井七左衛門→犬山屋(神戸)文左衛門様	8月22日	切紙・1通	い 1864-6
乍恐奉願上候御事(御屋敷様へ父子共御出入の願いお聞き済まし下さる様願書) *い1875と同内容/控 犬山屋(神戸)文左衛門→笹岡文五右衛門様	戌2月	縦紙・1通	い 1874

安政6年転居

口上之覚(地方御勘定所御支配仰せ付けられ、控新田へ住居方を御聞き済みにつき) 神戸文左衛門→花井八郎左衛門様	未9月	縦紙・1通	い 1493-6
(包紙) * (包紙上書)「御書付三通入 八月廿六日御勘定所於御白洲御奉行成瀬加兵衛様被仰渡候、吟味役衆知村三四郎様・庄ノ成田七右衛門様・町御奉行宝賀十郎様・同吟味役衆橋本忠三郎様検断通り松村作兵衛様御立合」		包紙/(い1614-5-1~16は紙綴一括)・1点	い 1614-5-1-0
(海西郡神戸新田へ当分引越につき是迄の居宅は通ひ所にしたき願ひ承届の申渡) →神戸文左衛門江	未8月	横切継紙・1通	い 1614-5-1-1
(佐屋陣屋より御用の節は陣屋へ直に呼出す旨申渡) →神戸文左衛門江	未8月	横切継紙・1通	い 1614-5-1-2
(扣海西郡神戸新田へ当分引越住居の件承届につき商方御勝手御用達次座ほかは居置の旨申渡) →神戸文左衛門	8月	横切継紙・1通	い 1614-5-1-3
乍恐御達奉申上候御事(神戸新田へ当分引越住居のため地方御勘定所支配命ぜらるにつき) * 控 神戸文左衛門→須加井重五郎様御陣屋	未8月	横切継紙・1通	い 1614-5-9
乍恐奉願上候御事(神戸新田へ当分住居につき纏提灯通ひ所へ差置たき旨) * 下書	未9月	横切紙・1通	い 1614-5-10
口上之覚(当分控新田住居につき元禄年御借上金取扱方は是迄通りの旨) * 下書 神戸文左衛門→花井八郎左衛門様	未8月	切継紙・1通	い 1614-5-11
口上之覚(神戸新田へ引越住居方並びに居宅通ひ所にしたき旨聞済願) * 下書 神戸文左衛門→元材木町御町代衆様	未8月	切紙・1通	い 1614-5-12
乍恐御尋ニ付奉申上候(神戸新田へ引越につき村中一統差障なき旨) 右(神戸)新田庄屋総蔵→須賀井重五郎様御陣屋	未6月	縦紙・1通	い 1614-5-13
乍恐奉願上候御事(神戸新田へ当分住居につき纏提灯通ひ所へ差置たき旨) * 下書 神戸分左衛門	未9月	半(二ツ綴)・1冊	い 1614-5-16

丹羽郡稲置村屋敷(犬山)

記(「金220円惣計」(全文)) (印「尾張稲置本町神戸店」)		横切紙/(虫損あり)・1通	い 1402-178
---------------------------------	--	---------------	------------

神戸直彦

約定証(神戸直彦と三谷京離縁のため断縁金など受取りにつき苦情申問敷き等の旨) 第一区長暮町二丁目十四番地三谷豊吉附籍三谷京(印)・三谷京附籍戸主三谷豊吉(印)→神戸分左衛門殿	明治11年6月15日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1678-3
記(金5円宮島榮五郎へ貸金利子入掌につき) * い 1399-75と関連 神戸直彦(印)→神戸分左衛門殿	明治17年6月8日	横切紙・1通	い 1399-74
(17年6月8日金5円神戸直彦殿受取取替証) * 控	17年6月8日	青色罫紙/(11行)・1通	い 1399-75
記(金2円50銭日本外史20冊箱無折梅箋2冊ほか計金10円請取につき) 神戸直彦(印)→神戸分左衛門様	明治18年9月29日	横切継紙・1通	い 1402-224

家/相続・居住・由緒/神戸直彦

記(金4円11月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	10月19日	赤色罫紙/(い1403-6~58は一綴)/(10行)・1通	い1403-5
記(金4円9月分御恩賜御扶助拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	10月19日	青色罫紙/(12行)・1通	い1403-6
記(金4円11月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	19年11月7日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-7
記(金4円3月分御扶助拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	19年3月9日	青色罫紙/(12行)・1通	い1403-8
記(金4円5月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	5月12日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-9
記(金4円御扶助費拝戴につき) 神戸直彦(印「神戸」)→神戸分左衛門様	10月19日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-10
記(金4円1月分御扶助費拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	1月15日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-11
記(金4円8月分御扶助費拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→神戸分左衛門様	9月13日	赤色罫紙/(7行)・1通	い1403-12
記(金8円御扶助費拝戴につき) 神戸直彦(印「神戸」)→鷗汀君	5月9日	赤色罫紙/(10行)・1通	い1403-13
記(金4円12月分御恩恵金御扶助拝戴につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	5月9日	赤色罫紙/(10行)・1通	い1403-14
記(金4円3月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	1月15日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-15
記(金4円2月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	2月12日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-16
記(金4円御扶助費拝戴につき) 神戸直彦(印「神戸」)→神戸分左衛門様	7月30日	横切紙・1通	い1403-17
記(金4円4月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	3月31日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-18
記(金4円9・10月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	9月26日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-19
記(金4円9月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	9月5日	赤色罫紙/(12行)・1通	い1403-20
記(金3円關鷄図画2幅代金頂戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	9月5日	青色罫紙/(12行)・1通	い1403-21
記(金8円御扶助費入掌につき) 神戸直彦→神戸分左衛門様	明治17年7月18日	横切紙・1通	い1403-22
記(金4円10月分御扶助費拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	19年10月3日	青色罫紙/(12行)・1通	い1403-23
記(金4円5月分御扶助費拝受につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	19年5月10日	横切紙・1通	い1403-24
記(金4円7月分御扶助費拝受につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	19年6月30日	横切紙・1通	い1403-25
記(金4円8月分御扶助費拝受につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	7月31日	横切紙・1通	い1403-26
記(金4円6月分御扶助費拝受につき) 神戸直彦→盟兄君	19年6月8日	横切紙・1通	い1403-27

記(金4円20年1月恵与恩賜拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	20年1月2日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-28
記(金4円5月分御扶助拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	20年5月1日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-29
記(金4円7月中御扶助恩恵拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	7月3日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-30
記(金4円3月分御扶助恩恵拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	3月2日	赤色罫紙/(10行)・1通	い 1403-31
記(金4円3月分ほか御扶助恩恵拝戴につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	4月7日	赤色罫紙/(10行)・1通	い 1403-32
記(金4円6月分御扶助拝受につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君尊下	20年6月5日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1403-33
記(金4円12月分御扶助拝受につき) 神戸直彦[印「顔」]→盟兄君	19年12月8日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1403-34
記(金4円恩恵拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	明治19年2月23日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-35
記(金4円2月分御恩恵御扶助拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	19年2月1日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-36
記(金4円12月分御扶助恩恵拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	明治18年12月18日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-37
記(金4円9月分御扶助恩恵拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	8月31日	赤色罫紙/(12行)・1通	い 1403-38
記(金4円1月分御扶助恩恵拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	1月12日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-39
記(金4円御扶助恩恵拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	明治20年9月30日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-40
記(金4円8月分御扶助恩恵拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	8月1日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-41
記(金2円星巖梁某半切堅幅代価落掌につき) [印「神戸直彦」]→鶴汀亜父	11年5月21日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1403-42
貨物請取証(東京神戸直彦殿金4円50銭受取送達) 内国通運会社名古屋支店[印「内国通運会社名古屋支店通過受取印」]→神戸分左衛門殿	明治20年2月25日	横切紙・1通	い 1403-43
貨物請取証(東京神戸直彦殿金4円入1封受取送達) 内国通運会社名古屋支店[印「内国通運会社名古屋支店通過受取印」]→佐藤茂松様	明治19年3月25日	横切紙・1通	い 1403-44
金子入書状請取証合符(名古屋木挽町神戸分左衛門金4円) (印「貨幣封入郵便名古屋郵便局領収之証」)→濃州岐阜県神戸直彦	17年12月5日	横切紙・1通	い 1403-45
金子入書状請取証合符(名古屋木挽町神戸分左衛門金4円) (印「貨幣封入郵便名古屋郵便局領収之証」)→美濃国岐阜相生町水野方神戸直彦	17年10月14日	横切紙・1通	い 1403-46
記(金5円借用証) 神戸直彦(印「神戸」)→神戸分左衛門様	7月21日	横切紙・1通	い 1403-47
記(金4円ほか御救助金受納につき) 神戸直彦(印「神戸」)→神戸分左衛門殿	明治17年6月8日	横切紙・1通	い 1403-48
記(金8円受取証) 神戸いよ代井上三右衛門(印)→神戸分左衛門殿	17年3月6日	横切紙・1通	い 1403-49

家/相続・居住・由緒/神戸直彦

記(金4円受取証) 井上三右衛門(印)→神戸分左衛門様	未13日	横切紙・1通	い1403-50
記(金4円受取証) 神戸いよ代井上三右衛門→神戸分左衛門様	16年11月2日	横切継紙・1通	い1403-51
記(金4円受取証) 神戸いよ代井上三右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治17年10月18日	横切紙・1通	い1403-52
①記(金1円頂戴につき)、②金2円拝借につき) ①② 神戸直彦(印)→①盟兄君、②神戸分左衛門様	①②明治18年11月9日	横切継紙・1通	い1403-53
記(金4円御扶助拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	7月16日	横切紙・1通	い1403-54
(毎月御贈り下さる金4円本日正に受取等につき書状) 風月より→神戸御翁母様貴下	8月9日	横切継紙・1通	い1403-55
記(金2円11月分御恩恵金恵与拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→盟兄君	11月8日	黒色罫紙/(9行)・1通	い1403-56
記(金3円蒔絵硯箱ほか代価拝受につき) 神戸直彦(印「神戸」)→鶴汀君	11年12月11日	縦切紙・1通	い1403-57
(封筒) * (封筒表書)「六年十月一日井上三右衛門江毎月金四円ツ、直彦と引合見積金遣候金円受取書付」		封筒・1点	い1403-58
(封筒) 東京神田区淡路町壱丁目壱番地伊藤不二方にて[印「神戸直彦」]→愛知県名古屋区木挽町貳丁目神戸分左衛門様御親展	12月15日	封筒/(い1403-59~62は一綴)・1点	い1403-59
(赤坂溜池霊南坂町10番地真宗高田派澄泉寺血統につき書状) □拝→直彦君貴下	2月25日	横切継紙・1通	い1403-60
証(三河国下地村聖眼寺前住行英血統御尋問につき) * 後欠 東京下谷区練堀町四番地真宗高田派出張所詰古江旭潭(印「古江」)		赤色罫紙/(10行)・1通	い1403-61
(行英一件につき書状) 直彦執事→盟兄君尊下	2月20日	赤色罫紙/(10行)・1通	い1403-62
(封筒) 宝飯郡御油駅吉田高則→(愛)知県名古屋区□(上部切り取り)畠町三拾壹番戸村井高忠殿平信		封筒/(上部破損あり)/(い1403-63~66は一綴)/(2銭切手添付)・1点	い1403-63
(実父母病状年古きにて知ること難等につき追伸書状) *い1403-65の追伸か		横切紙・1通	い1403-64
(先般御尋行英血統の件につき書状) (吉田)高則→(村井)高忠様	2月9日	横切継紙・1通	い1403-65
(当聖眼寺行英亡妻さた照会取調につき申上書) *下書 下地村深谷米七郎→吉田高則殿	2月8日	「宝飯郡下地村戸長役場」用箋/(青色罫紙12行)・1通	い1403-66
(封筒) * (貼紙)「宝飯郡下地聖眼寺血統探索書」 宝飯郡御油駅吉田高則→(愛)知県名古屋区□(上部切り取り)畠町三拾壹番邸村井高忠殿平信	1月21日	封筒/(貼紙あり)・1点	い1403-74
(下地村聖願時先住職・同人妻さだ送籍証) *写		青色罫紙/(9行)/(虫損甚大)・1通	い1403-75
(聖眼寺行英亡妻さた等の件につき書状) (吉田)高則→高忠様無異御答	1月28日	横切継紙/(後部破損あり)・1通	い1403-76

封書 * (封書表書)「契約書案」 東区南武平町乙三神戸直彦→名古屋市西区木挽町神戸分左衛門様御親展		封書/(い1403-111~112は一綴)・1点	い 1403-111
契約書(悪水落新規立切取付につき) * 案		便箋/(鉛筆書き)・1通	い 1403-112
覚(神戸直彦殿へ取替分利子金50円請取につき) 天野佐兵衛[印]→神戸様	(明治)30年6月24日	切紙・1通	い 1401-68

他家の相続等

奉願上候御事(父四郎左衛門跡式相続願書) 蟹江本町 邑鈴木惠源太→半田小平治様	宝暦7年丑11月	堅切紙/(い1492-1~8は一綴)・1通	い 1492-1
一札(養子入につき家屋敷など養子へ譲渡を許容の旨) * 写/い1542と関連 同(佐藤)貞助→佐藤与市様	宝暦9年卯2月	堅切紙・1通	い 1543
証文(病気につき金子と諸色を譲る旨並びに宝暦9年の証文を添る旨) * い1543と関連 佐藤貞助伴覚(花押)→神戸文左衛門様	宝暦12年午閏4月	堅紙・1通	い 1542
誓文状之事(長瀬家再興のため奮発につき起請文) 長瀬一郎愷風(花押)→神戸芳之助様	慶応4年辰4月	堅切紙・1通	い 1549
(東蜆新田次郎兵衛跡実子繁太郎家督相続につき申達) * 控 東蜆新田繁太郎	(4月7日)	横切継紙・1通	い 1505-2-1
(繁太郎儀、東蜆新田次郎兵衛実子の旨書付)		堅切紙/(い1505-2-1に挟込)・1通	い 1505-2-2
右之通遂吟味申渡覚(相続人無き三右衛門跡式久右衛門相続につき申渡書) →吉田屋十兵衛・同伴安右衛門・久々知屋三右衛門母きよ・後見手代弥兵衛・米源久右衛門	亥12月	堅半/(二ツ綴)・1冊	い 1865-2
(訴訟方吉田屋十兵衛と返答方三右衛門後家間の相続人出入経過書付)		堅半(一ツ綴)・1冊	い 1865-3

町との関係

(享保9年辰2月10日金3両御用金にて町代権左衛門殿へ渡す、この元金3両利銭772文受取済につき覚)	(享保9年)辰6月朔日	横切継紙・1通	い 1400-66
--	-------------	---------	-----------

その他

(神戸家人別書上) * (端裏書)「戌年宗門年齢覚扣」 犬山屋(神戸)文左衛門	戌3月	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1396-28
(犬山屋文左衛門家内人数書上) 犬山屋(神戸)文左衛門	巳3月	堅紙・1通	い 1493-8
帳面内訳覚(下用不足分など利金の説明) * (端裏書上書)「内宰物」	2月14月	横切継紙/(い1566-1~16は紙縫一括)・1通	い 1566-1
(巳年下用帳は先頃先方へ差上げた旨ほか書状) 茂元拝→お旨様	如月17日	横切継紙・1通	い 1566-4
(古手形3通・辰年巳年下用帳写2冊ほか差上の旨書状) 文左衛門→お旨様	2月14日	横切継紙・1通	い 1566-5

家計

家計簿・家計計算書

御入用金指上帳 文左衛門→御両親様	天保12年丑8月吉日	横半半(一ツ綴)・1冊	い 1525
御入用金差上帳 文左衛門→御母様	嘉永6年丑8月	横長半(一ツ綴)・1冊	い 2004
(お京への受取金書上)	(近世)	横切紙・1通	い 1394-12
(元文5年9月より寛政8年10月まで、浄仙様等に関する渡し金書上)		横切継紙・1通	い 1530-7
覚(盆前家費にして金53両余の内訳および元帳差引覚)		折紙・1通	い 1735
覚(壹丁目・二丁目家賃より御上様御受取分・小遣分を引いて207匁余引負の旨)		切紙・1通	い 1769-1-2-2
知水おほへ帳(収支計算)	明治17年	横半半・1冊	い 1655-10-11

受取書等の束・綴

覚(せいじく代5匁受取書) 道具屋久七→神戸孫右衛門様	いノ7月13日	切紙/(い 1475-1~13は一綴)・1通	い 1475-1
覚(水桶ほか代59文受取書) 桶や利助→神戸御隠居様	亥7月13日	横切継紙・1通	い 1475-2
覚(半紙代3匁2分受取書) 書屋太兵衛→神戸嘉兵衛様	亥7月13日	縦継紙・1通	い 1475-3
覚(線香代8匁受取書) (名古屋和泉町)さかいや甚兵衛(印)→犬山屋文左衛門様	亥7月13日	縦継紙・1通	い 1475-4
覚(炭代他560文受取書) (名古屋木挽町)桑名屋源助→神戸嘉兵衛様	亥7月13日	縦継紙・1通	い 1475-5
覚(直紙代他6匁5厘受取書) 紙屋文七→神戸嘉兵衛様	いノ7月13日	横切継紙・1通	い 1475-6
覚(ゑ本15文受取書) 本や久兵衛→神頭文左衛門様	亥7月	縦継紙・1通	い 1475-7
覚(ふし代他380文受取書) いさは屋金左衛門→嘉兵衛様	亥7月13日	縦継紙・1通	い 1475-8
覚(あみ・いか・あさり代ほか書上) 市郎兵衛→嘉兵衛様	亥7月	折紙・1通	い 1475-9
覚(させる代他8匁5分受取書) ちたや河八→犬山屋嘉兵衛様	い7月13日	切継紙・1通	い 1475-10
覚(させる代1匁受取書) ちたや河八→犬山や藤助様	い7月	切紙・1通	い 1475-11
覚(もめん代450文受取書) 桔梗屋佐兵衛→犬山屋嘉兵衛様	亥7月13日	切紙・1通	い 1475-12
覚(麻代7文受取書) 美濃屋仲右→神戸文左衛門様	亥7月	縦継紙・1通	い 1475-13
覚(ぬき代2匁5分受取書) (名古屋中橋桐屋)下材木町長七(印「名古屋桐屋中橋」)→元町藤七郎殿	たつ9月7日	切継紙/(い 1585-1~11は巻込一括)・1通	い 1585-1
覚(諸品代4匁3分受取書) 佐兵衛(印)→庄兵衛様	9月8日	切紙・1通	い 1585-2

覚(大竹ほか代々630文受取書) 次郎右衛門(印)→藤七郎様	9月8日	切紙・1通	い 1585-3
覚(から竹代840文受取書) 次郎右衛門(印)→庄兵衛様	9月8日	切紙・1通	い 1585-4
覚(諸品代々6匁1分余受取書) 孫右衛門→庄兵衛様	9月7日	横切継紙・1通	い 1585-5
覚(諸品代8匁4分余受取書) 白木や弥兵衛→庄兵衛殿	辰8月22日	堅切紙・1通	い 1585-6
覚(三尺戸代6匁5分受取書) 茂右衛門(印)→庄兵衛様	9月8日	切紙・1通	い 1585-7
覚(諸品代々6匁5分受取書) 白子や久兵衛(印)→元町藤七殿	9月8日	堅切紙・1通	い 1585-8
覚(諸品代々2分11匁受取書) 丁治左衛門(印)→藤七殿	9月7日	切継紙・1通	い 1585-9
覚(松代5匁5分受取書) 丁甚右衛門(印)→丁藤七殿	9月7日	切継紙・1通	い 1585-10
覚(1/836文受取書) ふく嶋や又右衛門(印)→山形屋庄兵衛様	9月7日	切継紙・1通	い 1585-11
覚(木綿1反代金420文受取書) 桔梗屋新蔵→犬山屋嘉兵衛様	巳12月29日	堅切紙/(い 1951-1~9は一綴)・1通	い 1951-1
覚(御三人様代金492文受取書) ほていや兵蔵→神戸嘉兵衛様	巳12月晦日	堅切紙・1通	い 1951-2
覚(諸品代515文受取書) 重兵衛→嘉兵衛様	巳12月晦日	折紙・1通	い 1951-3
覚(糸代等4匁受取書) た、ミや市右衛門→嘉兵衛様	巳極月晦日	堅継紙・1通	い 1951-4
覚(板はり代金5匁余受取書) 菱屋太兵衛→犬山屋嘉兵衛様	巳極月晦日	堅継紙・1通	い 1951-5
覚(炭代金等5匁余受取書) 桑名や堀助(印)→犬山や嘉兵衛様	巳極月大晦日	堅継紙・1通	い 1951-6
覚(さば代等582文受取書) いさはや金左衛門→嘉兵衛様	巳極月	堅継紙・1通	い 1951-7
覚(羽織など代金9匁余受取書) 扇屋新助(印)→犬山屋嘉兵衛様	巳12月晦日	堅継紙・1通	い 1951-8
覚(糸・布など代金36匁余受取書) * (端裏書)「 \times 式両ト式百廿三文也」 いなば屋利平→嘉兵衛様	巳12月晦日	堅継紙・1通	い 1951-9
覚(鶴羽代金7分受取書) 鎗屋吉助→神戸文左衛門様	子7月22日	横切紙/(い 1952-1~6は紙縫一綴)・1通	い 1952-1
覚(盆・茶碗など代金8匁余受取書) かしわや新兵衛(印)「名古屋五條町@柏屋」→神戸文左衛門様	酉7月15日	横切紙・1通	い 1952-2
覚(弦など代金919文受取書) 酒屋勘右衛門→神戸文左衛門様	酉7月12日	横切紙・1通	い 1952-3
覚(扇子代金7匁余受取書) 大黒屋嘉兵衛→神戸文左衛門様	巳極月晦日	堅切紙・1通	い 1952-4
覚(箱など代金688文受取書) 山田や利助→神戸文左衛門様	巳12月	堅継紙・1通	い 1952-5
覚(丹後嶋など代金9匁余受取書) 増田や茂平→神戸様	酉7月12日	横切継紙・1通	い 1952-6
債立御払書付類	(明治)16年12月5日	帯/(青色罫紙)・1点	い 1814-0
記(酒肴ほか代々5円69銭受取書) 加見屋幸七(印)→日比野様	7月11日	横切継紙・1通	い 1814-1

家/家計/受取書等の束・綴

記(60銭7厘受取書) 河内や喜八(印「名古屋長島町河内喜」) →神戸直彦様	未6月	切継紙/(虫損甚大)・1通	い 1814-2
(皮鼻緒ほか代々69銭受取書) みのや善助→上様	6月	切紙・1通	い 1814-3
明治十八年一月より四月三十日迄受取書付類	明治	札/(い1656-1~96は紙縫一括)・1点	い 1656-1
(開封不能書類)		切紙/(虫損甚大)/(開封不能)/(取扱注意)・1通	い 1656-2
記(諸品代金受取書) 問屋平十郎→神戸御店甚七様		横切紙・1通	い 1656-3
(開封不能書類)		切紙/(虫損甚大)/(開封不能)/(取扱注意)・1通	い 1656-4
(開封不能書類)		切紙/(虫損甚大)/(開封不能)/(取扱注意)・1通	い 1656-5
口上(屏風淵塗り入用支払願) 五市屋太兵衛[印]→神戸分左衛門様	2月9日	小切継紙/(虫損甚大)・1通	い 1656-6
口述(粗米進呈案内状) 橘町妙善寺		印刷物・1通	い 1656-7
(春一郎等より送付の銀高書付)		札/(虫損甚大)・1点	い 1656-8
記(花壇の土代金受取書) 彦九郎→上	4月21日	小切紙・1通	い 1656-9
記(タタキ土代金受取書) 栄九郎→上	4月18日	小切紙・1通	い 1656-10
記(小箱など代金受取書) 嶋円[印「内国飛脚美濃岐阜嶋屋円七」] →神戸分左衛門様	4月18日	小切紙・1通	い 1656-11
記(備薬代受取書) 堀田薬店→神戸様	4月16日	小切紙・1通	い 1656-12
記(折敷台など代金受取書) (名古屋木地師)木地屋源左衛門 [印「名古屋木地師源左衛門」] →神戸様	4月10日	小切継紙・1通	い 1656-13
(ぬり代金受取書) こいや治兵衛→上		切紙・1通	い 1656-14
記(重箱代金受取書) 梶田→上様	正月8日	小切紙・1通	い 1656-15
記(東人形など代金受取書) (印文摺につき判読不能)→上様	正月7日	小切継紙・1通	い 1656-16
記(指物代金受取書) さし物屋勇斎→神戸様	4月6日	小切継紙・1通	い 1656-17
記(金銭受取書) 野村屋忠七→神戸様	3月31日	横切継紙・1通	い 1656-18
記(保能会4月分代金受取書) 松浦九右衛門[印「松浦」] →神戸様	正月4日	小切紙・1通	い 1656-19
記(1月12~2月16日分金銭受取書) 中嶋や弥兵衛→神戸様	酉3月	横切継紙・1通	い 1656-20
証(玉簾代金受取書) 寿園→神戸分左衛門様	(明治)18年4月	小切紙・1通	い 1656-21
記(茶うす箱など塗り代金受取書) 塗物師栄八(印)→神戸様	明治18年4月31日	小切継紙・1通	い 1656-22
第十九号証(新聞代4月分受取書) 名古屋本町袋町東北角大坂朝日新聞大売捌所柴垣仙次郎→神戸分左衛門様	明治16年4月30日	印刷用紙・1通	い 1656-23

記(干切り込など代金受取書) 嘉永楼→神戸様	4月	小切紙・1通	い 1656-24
記(狂言盡場代受取書) 吉多屋九一郎[印]→木挽町神戸様	4月29日	小切紙・1通	い 1656-25
明治十八年四月牛乳之記(配達通) 名古屋区本重町養牛社(印)→神戸分左衛門様	明治18年4月	印刷用紙/(い 1656-26-1~2は巻込一括)・1通	い 1656-26-1
受領証(4月分牛乳代金) 名古屋本重町五丁目養牛社(印)→神戸分左衛門殿	明治18年4月30日	印刷用紙・1通	い 1656-26-2
記(相なめ等代金受取書) ミヤ重郎兵衛→神戸様	酉3月	小切紙・1通	い 1656-27
記(前賢故実など書籍代金受取書) 永東書店→神戸様	3月31日	小切紙・1通	い 1656-28
記(キンコ代金受取書) タキモ→神戸様	(明治)18年3月	小切紙・1通	い 1656-29
記(諸品代金受取書) 奈斗兼→神戸様	3月	小切紙・1通	い 1656-30
キ(箱代など代金受取書) 駒や清助→神戸様	酉3月	小切紙・1通	い 1656-31
記(玉子など代金受取書) こま屋清介→神戸様	とり3月31日	横切紙・1通	い 1656-32
記(諸品代など受取書) 石塚甚平→神戸様	3月31日	小切紙・1通	い 1656-33
(知水銀送金額書付)		札・1点	い 1656-34
覚(柄杓など代金受取書) 万屋[](欠損)→神戸様	3月	横切紙・1通	い 1656-35
記(傘代金受取書) 甚助→神戸様	1月14日	小切紙・1通	い 1656-36
覚(畳代金受取書) 畳屋弥七→神戸様	1月12日	小切紙・1通	い 1656-37
覚(坪むし代金受取書) (愛知名古屋下長者町)京屋(加藤)佐十郎[印]愛知名古屋区下長者町加藤佐十郎]→神戸分左衛門殿	1月15日	小切紙・1通	い 1656-38
(画入1月分代金受取書) 名古屋本町二丁目石版舎(印「名古屋本町二丁目石版舎」)→神戸分左衛門様	(明治)18年1月19日	印刷用紙・1通	い 1656-39
記(保能会1月分代金受取書) 松浦九右衛門[印「松浦」]→神戸様	11月7日	小切紙・1通	い 1656-40
覚(畳代金受取書) 畳屋弥七→神戸様	1月20日	小切紙・1通	い 1656-41
証(名古屋絵入新聞1月分代金受取書) 本町五丁目絵入新聞大売捌成盛舎後藤彦右衛門→木挽町二丁目神戸分左衛門様	明治18年1月	印刷用紙・1通	い 1656-42
記(星工銀代金書上) 石工モリ又兵衛→上	1月23日	小切紙・1通	い 1656-43
記(屏風下張代金受取書) 五雲屋東兵衛→神戸分左衛門様	1月17日	小切紙・1通	い 1656-44
受領証(牛乳代受取書) 名古屋本重町五丁目養牛社[印]→神戸分左衛門殿	明治18年1月31日	印刷用紙・1通	い 1656-45
記(名古屋絵入新聞4月分代金受取書) 本町五丁目後藤彦右衛門→神戸様	明治18年8月4日	小切紙・1通	い 1656-46
記(源兵衛新田御初穂米収納につき報知状) 長法寺納所→神戸分左衛門殿	2月3日	小切紙・1通	い 1656-47
記(いかき等代金受取書) いかきや	2月3日	小切紙・1通	い 1656-48
(書籍代金受取書) 名古屋本町二丁目石版舎(印「名古屋本	(明治)18年1月	印刷用紙・1通	い 1656-49

家/家計/受取書等の束・綴

町一丁目石版舎)→神戸分左衛門様			
記(2丁分など代金受取書) 石塚甚平→神戸様	1月31日	小切紙・1通	い 1656-50
記(保能舎2月分代金受取書) 松浦九右衛門(印「松浦」)→神戸様	2月3日	小切紙・1通	い 1656-51
金子入書状請取証合符(金4円) *(局証印)「名古屋郵便局」名古屋木挽丁神戸分左衛門→美濃国岐阜末広丁神戸直彦	(明治)18年2月4日	印刷用紙・1通	い 1656-52
記(薪代金受取書) 津屋村常吉→上	旧2月16日	小切紙・1通	い 1656-53
(開封不能書類)		切紙/(虫損甚大)/(開封不能)/(取扱注意)・1通	い 1656-54
受領証(本月分牛乳代受取書) 名古屋本重町五丁目養牛社[印]→神戸分左衛門殿	明治18年2月28日	印刷用紙・1通	い 1656-55
明治十八年牛乳之記(配達通) 名古屋区本重町養牛社(印)→下材木町神戸分左衛門様	明治18年2月	印刷用紙/(虫損甚大)・1通	い 1656-56
記(時計代金受取書) 林市兵衛→神戸様	(明治)18年2月25日	小切紙・1通	い 1656-57
証(2月分金銭受取書) 名古屋本町通袋町東北角大坂朝日新聞大捌所柴垣仙次郎→神戸分左衛門様	明治18年2月	印刷用紙・1通	い 1656-58
(糸竹葉など代金受取書) 名古屋本町二丁目石版舎(印「名古屋本町二丁目」)→神戸分左衛門様	(明治)18年2月26日	印刷用紙・1通	い 1656-59
勘定書(真綿など代金勘定書)		小切紙・1通	い 1656-60-1
(真綿など数量書上)		小切紙・1通	い 1656-60-2
記(諸品代金受取書) いづみや芳治郎→上	酉2月28日	小切紙・1通	い 1656-61
記(半三郎分受取書) 半兵衛→神戸様	3月17日	小切紙・1通	い 1656-62
記(味噌代金受取書) 尾張屋→神戸様		小切紙/(虫損甚大)・1通	い 1656-63
(文左衛門知水銀書付) (印「松岡別荘香雪軒」)	(3月19日)	札・1点	い 1656-64
記(炭代金受取書) 計巻彦六→神戸様	2月7日	小切紙・1通	い 1656-65
記(三嶋井など代金受取書) 水野源次郎→神戸様	2月14日	青色罫紙/(16行)・1通	い 1656-66
記(時計代金受取書) 林市兵衛→神戸分左衛門様	2月11日	小切紙・1通	い 1656-67
受取書(井代金) 尾張国名古屋伏見町堀田勘兵衛→神戸様	明治18年2月15日	印刷用紙・1通	い 1656-68
記(諸品代金送付状) 名古屋伝馬町四丁目内国通運会社[印]→神戸分左衛門殿	明治18年2月17日	印刷用紙・1通	い 1656-69
(ひばち代金受取書)		小切紙・1通	い 1656-70
記(諸品代金受取書) 檜物師銀治郎(印)→神戸様	2月20日	小切紙・1通	い 1656-71
記(茶碗代金受取書) 静脩堂(印)→佐藤様	2月20日	小切紙/(い 1656-72-1~2は巻込一括)・1通	い 1656-72-1
記(茶碗代金受取書) 静脩堂(印)→佐藤様	2月20日	小切紙・1通	い 1656-72-2

記(森七左衛門宛先袋代金受取書) 名古屋區蒲焼町通本町東エ入愛知内外用達会社支店印[名古屋區蒲焼町通用達会社受取之印]→神戸様	明治17年12月10日	印刷用紙・1通	い 1656-73
キ(保能会3月分受取書) 松浦九右衛門[印「松浦」]→神戸様	2月24日	小切紙・1通	い 1656-74
(日本文典巻代金受取書) 中近堂支店[印「中近堂金銭請取之印」]→上	2月26日	小切紙・1通	い 1656-75
記(サンダーユニオン第一講本直訳代金受取書) 村松薬店(印「愛知県名古屋區京町老丁目村松薬店」)→上	2月27日	横切紙・1通	い 1656-76
記(干御看代など受取書) 嘉永楼→神戸様	2月28日	小切紙・1通	い 1656-77
(黄金新聞2月分代金受取書) 名古屋新聞社[印]→神戸文左衛門殿	明治18年2月25日	切紙・1通	い 1656-78
記(手袋など代金受取書) 美濃屋左兵衛(印)→神戸文左衛門様	2月	横切紙・1通	い 1656-79
記(諸品代金受取書) 小松屋平兵衛→神戸様	3月2日	小切紙・1通	い 1656-80
記(諸品送付状) 名古屋伝馬町四丁目内国通運会社[印「名古屋伝馬町通運西分課田中茂助」]→同分左衛門殿	明治18年3月7日	印刷用紙・1通	い 1656-81
記(金銭受取書) 藤田清九郎(印)→神戸銀之亮様	2月28日	小切紙・1通	い 1656-82
記(白木綿など代金受取書) 柏や喜三郎→神戸様	(明治)18年□(虫損)	小切紙・1通	い 1656-83
記(詰紙代金送付状) 名古屋伝馬町四丁目内国通運会社[印「名古屋區蒲焼町通用達会社受取之印」]→神戸分左衛門様	明治18年3月6日	印刷用紙・1通	い 1656-84
記(味噌代金受取書) 市蔵→神戸様	2月28日	横切紙・1通	い 1656-85
記(図画臨帖代金受取書) 中進堂支店[印「中進堂金銭請取之印」]→神戸様	3月6日	小切紙・1通	い 1656-86
記(金銭受取書) 西村大蔵(印)→神戸様	3月9日	小切紙・1通	い 1656-87
金子入書状請取証合符(金4円) (名古屋木挽丁神戸分左衛門)→美濃国岐阜末広丁神戸直彦	(明治)18年3月9日	小切紙/(破損甚大)/(一部開披不能)・1通	い 1656-88
記(平州筆山水1幅など絵画代金受取書) 加見屋半助→神戸文左衛門様	2月28日	小切紙・1通	い 1656-89
明治十八年牛乳之記(配達通) 名古屋本重町養牛社(印)→神戸文左衛門様	(明治18年3月)	印刷用紙/(い 1656-90-1~2は巻込一括)/(破損甚大)・1通	い 1656-90-1
受領証(本月分牛乳代) 名古屋本重町五丁目養牛社(印)→神戸分左衛門様	明治18年3月31日	印刷用紙・1通	い 1656-90-2
記(名古屋絵入新聞3月分代受取書) 本町五丁目後藤彦右衛門→神戸文左衛門様	明治18年3月	印刷用紙/(い 1656-91-1~2は巻込一括)・1通	い 1656-91-1
第五十七號証(新聞代金受取書) 名古屋本町通袋町東北角大阪朝日新聞大売捌所柴垣仙次郎(印)→木挽町二丁目神戸分左衛門様	明治18年3月30日	印刷用紙・1通	い 1656-91-2
記(金銭送付状) 名古屋伝馬町四丁目内国通運会社[印]→神戸分左衛門様	明治18年3月24日	印刷用紙/(虫損甚大)・1通	い 1656-92
記(兩人高之式2枚など代金受取書) 木下・吉田代り松	3月25日	小切紙・1通	い 1656-93

家/家計/受取書等の束・綴

浦九右衛門[印「松浦」]→神戸・佐藤両君様			
記(直し物代金受取書) 摺物屋銀四郎→神戸様	3月18日	小切紙・1通	い 1656-94
記(味噌代金受取書) 尾張屋(印)→神戸様		小切紙・1通	い 1656-95
記(金銭受取書) 西村大蔵(印「西村」)→神戸様	3月19日	小切紙・1通	い 1656-96
記(金10円ほか受取につき) 野田庄蔵(花押)→神戸様	32年12月16日	横切紙/(い 1402-1~309 は一綴)/(い 1402-1~19 は一綴)・1通	い 1402-1
記(金1円白地徳利20本代金受取につき) 帯山店[印 □□堂帯山]→野田永松様	4月22日	横切紙・1通	い 1402-2
記(金50円請取につき) 野田→神戸様	12月22日	横切紙・1通	い 1402-3
記(金5円片野徳兵衛分助情金預につき) 野田庄蔵→ 神戸様	29年3月26日	横切紙・1通	い 1402-4
記(金5円受取につき) 野田→神戸様	明治31年5月5日	横切紙・1通	い 1402-5
記(金21円50銭染付ほか代金受取につき) 野田→神戸 様	明治31年3月5日	横切紙・1通	い 1402-6
記(金16円66銭備前水指代金請取につき) 野田(花 押)→神戸様	明治31年2月18日	横切紙・1通	い 1402-7
記(金14円差物代金請取につき) 野田(花押)→神戸様	明治30年12月12日	横切紙・1通	い 1402-8
記(金8円50銭差引金5円受取につき) 野田庄蔵→神戸 様	30年8月22日	横切紙・1通	い 1402-9
記(金9円受取につき) 野田→神戸様	29年6月15日	横切紙・1通	い 1402-10
記(金28円茶碗差引金5円受取につき) 野田(花押)→ 神戸様	29年2月23日	横切紙・1通	い 1402-11
記(金8円請取につき) 野田→神戸様	6月27日	横切紙・1通	い 1402-12
記(金200円備前水指など代金請取につき) 野田庄蔵 →神戸様	明治29年2月26日	横切紙・1通	い 1402-13
記(金16円61銭5厘受取につき) 野田庄蔵(花押)→神戸 様	明治29年11月26日	横切紙・1通	い 1402-14
記(金25円請取につき) 野田庄蔵→神戸様	29年4月20日	横切紙・1通	い 1402-15
記(金7円受取につき) 野田→神戸様	28年12月26日	横切紙・1通	い 1402-16
記(金11円受取につき) 野田→神戸様	28年9月26日	横切紙・1通	い 1402-17
記(金25円請取につき) 野田庄蔵→神戸様	26年4月5日	横切紙・1通	い 1402-18
記(金20円受取につき) 野田庄蔵→神戸様	明治29年2月1日	横切紙・1通	い 1402-19
記(諸品代金領収書) 清水や堂常七→神戸様	(近代)西12月	横切紙/(い 1654-1~2は紙 繕一括)/(い 1654-1-1~66 は紙繕一括)・1 通	い 1654-1-1
記(諸品代金領収書) 能登屋浅七→神戸様御別荘	(近代)11月	横切紙・1通	い 1654-1-2
記(木材代金領収書) 各務→神戸様	(近代)10月31日	横切紙・1通	い 1654-1-3

記(木材代金領収書) 各務→神戸様	(近代)11月	横切継紙・1通	い 1654-1-4
記(車・コロ等代金領収書) 田中松助(印)→神戸様	(近代)西12月31日	横切紙・1通	い 1654-1-5
(諸品代金領収書) *鉛筆による後筆あり 江兵衛→神戸様	12月	横切紙・1通	い 1654-1-6
記(三寸長曲り等諸品代金領収書) 名古屋市木挽町一丁目大橋屋吉田徳次郎→神戸様	(明治)42年12月	横切継紙・1通	い 1654-1-7
記(桶他諸品代金領収書) 桶新→神戸様	西12月	横切継紙・1通	い 1654-1-8
記(バケツ他諸品代金領収書) 能登屋浅七→神戸様	西12月	横切紙・1通	い 1654-1-9
(和火口領収書) 名古屋瓦斯株式会社受取人[印「服部」]→木挽町神戸分左衛門殿	明治42年9月2日	印刷用紙/(い1654-1-10~15は紙繕一括)/(い1654-1-10-1~2は巻込一括)・1通	い 1654-1-10-1
器具並附属品送状(和火口) 名古屋瓦斯株式会社配達人→木挽町2丁目神戸文(左)衛門殿	明治42年9月2日	印刷用紙・1通	い 1654-1-10-2
器具並附属品送状(ランプ等) 名古屋瓦斯株式会社配達人→木挽町2丁目神戸文左エ門殿	(明治)42年9月26日	印刷用紙・1通	い 1654-1-11
(瓢形ランプ1式領収書) 名古屋瓦斯株式会社受取人千内(印)→神戸分左衛門殿	明治42年9月27日	印刷用紙・1通	い 1654-1-12
器具並附属品送状(ランプ代) 名古屋瓦斯株式会社配達人(印「島崎」)→木挽町2丁目神戸文左エ門殿	(明治)42年10月6日	印刷用紙/(い1654-1-13-1~2は巻込一括)・1通	い 1654-1-13-1
(器具代金領収書) 名古屋瓦斯株式会社受取人(印「島崎」)→木挽町2丁目神戸文左エ門殿	明治42年10月6日	印刷用紙・1通	い 1654-1-13-2
(器具料領収書) 名古屋瓦斯株式会社受取人[印「服部」]→木挽町2丁目神戸文左右門殿	明治42年8月31日	印刷用紙/(い1654-1-14-1~4は巻込一括)・1通	い 1654-1-14-1
(器具代金領収書) 名古屋瓦斯株式会社受取人→神戸殿	明治42年10月6日	印刷用紙・1通	い 1654-1-14-2
(1)器具並附属品送状(ランプ等) 名古屋瓦斯株式会社配達人[印「服部」]→木挽町2丁目神戸分左右門殿	(明治)42年8月31日	印刷用紙・1通	い 1654-1-14-3
(2)器具並附属品送状(スキルコントロール等) 名古屋瓦斯株式会社配達人[印「服部」]→木挽町2丁目神戸分左エ門殿	(明治)42年8月31日	印刷用紙・1通	い 1654-1-14-4
(瓦斯見積書及び瓦斯御使用案内書) 名古屋瓦斯株式会社	明治40年	印刷用紙・1通	い 1654-1-15
田村組鐵工部見積書 田村組鐵工部→神戸文左エ門殿	(近代)10月5日	印刷用紙・1通	い 1654-1-16
記(車代金領収書) 内田嘉七→神戸様	(近代)11月30日	小切継紙・1通	い 1654-1-17
(銅・網代など領収書) *前欠 名古屋市西区上園町金網屋銀次郎→神戸様	(近代)11月	小切継紙・1通	い 1654-1-18
記(木材代金領収書) 名古屋市西区上園町五丁目たけや船橋松蔵→神戸分左衛門様	(近代)11月30日	横切継紙・1通	い 1654-1-19
覚(木材他諸品代金領収書) 船源→神戸様	11月30日	横切継紙・1通	い 1654-1-20
(瓦斯見積書並びに瓦斯御使用案内書) 名古屋瓦斯株式会社	明治40年	印刷用紙・1通	い 1654-1-21

家/家計/受取書等の束・綴

記(31円2銭代金受取書) (名古屋市西区和泉町一丁目)みの忠(印「名古屋市西区和泉町一丁目御菓子美濃忠」)→神戸様	(近代)11月11日	小切継紙・1通	い 1654-1-22
仮記(ヒロードセン中判など布代金領収書) 名古屋市玉屋町二丁目愛知銀行向へ小松屋号酒井平兵衛→神戸様	明治42年11月11日	「酒井洋物商店」用箋・1通	い 1654-1-23
記(ローチ式台ランプ等領収書) (印「名古屋市栄町四丁目後藤硝子店」)→神戸様	(近代)11月11日	印刷用紙・1通	い 1654-1-24
記(シヤボン皿など諸品代金受取書) 名古屋市西区玉屋町三番戸西洋小間物及洋服裁縫菱富商店→神戸様	明治42年9月29日	罫紙・1通	い 1654-1-25
記(ふた他諸品代金領収書) 井筒屋富次郎→神戸様	9月	横切継紙・1通	い 1654-1-26
記(人足・石代金領収書) 石寅→神戸様	9月30日	横切継紙・1通	い 1654-1-27
記(検知石代金請求書) 名古屋市中区水主町三丁目石材販売佐藤由松→神戸様	(近代)9月30日	横切紙・1通	い 1654-1-28
記(鉄棒塗代金受取書) 建築請負看板舗陶器商鶴飼銀次郎(印)→神戸様	(近代)9月30日	小切紙・1通	い 1654-1-29
記(麻ほか代金受取書) 岡倉屋→神戸殿	9月29日	小切継紙・1通	い 1654-1-30
記(丸棒ほか金物代金受取書) かじ鍵→神戸様	(近代)9月30日	横切継紙・1通	い 1654-1-31
記(秋まれ作代金受取書) 船橋(印)→神戸様	9月16日	小切紙・1通	い 1654-1-32
記(諸品代金受取書) 船橋(印)→神戸様	9月16日	小切継紙・1通	い 1654-1-33
キ(諸品代金受取書) 丹羽徳→神戸様	9月30日	小切紙・1通	い 1654-1-34
記(平板など代金受取書) 奥田商会→神戸分左衛門様	明治42年9月30日	小切紙・1通	い 1654-1-35
記(浴室築造関係代金領収書) 能登屋浅七→神戸様	9月	横切継紙・1通	い 1654-1-36
記(つるべ等井戸関係代金領収書) 井戸喜→神戸様	9月30日	小切紙・1通	い 1654-1-37
記(竹ツカミ等代金勘定書) *鉛筆による後筆あり 各務→神戸様	9月	小切紙・1通	い 1654-1-38
(三十燭マントル代金領収書) 名古屋瓦斯株式会社受取人→神戸分右(左)エ門殿	明治42年9月30日	印刷用紙・1通	い 1654-1-39
記(石材代金領収書) 名古屋市西洲崎町三十八番戸戸田松次郎→神戸様	(近代)9月30日	小切紙・1通	い 1654-1-40
記(皿を質入して30円借用するにつき書付) 彫藤(印「彫藤」)→神戸文左衛門様	(明治)42年9月30日	小切紙・1通	い 1654-1-41
記(諸品代金領収書) 名古屋市下長者町二丁目早川金物店早川国太郎→神戸様	明治42年9月30日	小切紙・1通	い 1654-1-42
記(灯籠など石材代金領収書) [印「名古屋松重町万清中川清吉」]→神戸様	(近代)9月30日	横切紙・1通	い 1654-1-43
記(石代代金領収書) 渡工久竹→神戸様	9月30日	小切紙・1通	い 1654-1-44
記(車代金領収書) 内田嘉七→神戸様	(近代)9月	横切紙・1通	い 1654-1-45
キ(汁椀代金領収書) 池田屋文庄→神戸様	(近代)6月15日	小切紙・1通	い 1654-1-46
記(銅製壺釜代金領収書) 花車町船万→神戸様	(近代)6月30日	小切継紙・1通	い 1654-1-47
記(車代金領収書) 内田嘉七(印)→神戸様	(近代)6月	小切継紙・1通	い 1654-1-48

記(検知石代金領収書) 石商佐藤由松→神戸様	(近代)5月31日	小切紙・1通	い 1654-1-49
記(青地白高など代金領収書) 広瀬屋茂助→神戸様	(近代)6月1日	横切紙・1通	い 1654-1-50
記(車代金領収書) 内田嘉七→神戸様	(近代)5月31日	横切紙・1通	い 1654-1-51
記(諸品代金領収書) 国嶋屋増蔵→神戸様	(明治)42年4月	横切継紙・1通	い 1654-1-52
キ(祓縄代金領収書) 俵や富七郎→神戸様	(近代)4月30日	小切継紙・1通	い 1654-1-53
記(石材代金請取書) *青墨書き (印「石材佐藤由松」)→神戸様	(明治)42年4月30日	小切継紙・1通	い 1654-1-54
記(諸品代金領収書) 名古屋市小市場町谷武商店→神戸利右衛門様	(近代)4月	横切紙・1通	い 1654-1-55
記(松木代金領収書) かじ鍵→木挽町京町下ル神戸様	4月	横切紙・1通	い 1654-1-56
記(木材代金請取書) 平支屋→神戸様	(近代)42年4月	横切継紙・1通	い 1654-1-57
記(木材代金請取書) 平岐屋重二郎→神戸様	(近代)4月30日	小切継紙・1通	い 1654-1-58
記(木材代金請取書) 翌田陣太右衛門→神戸様	(近代)4月13日	横切紙・1通	い 1654-1-59
記(木材代金請取書) *朱書あり (塩町)平支店→神戸様	(近代)42年3月	横切紙・1通	い 1654-1-60
記(木材代金請取書) *朱書あり 名古屋市木挽町式丁目白木商大和屋文次郎→神戸様	(近代)3月31日	小切継紙・1通	い 1654-1-61
記(諸品代金領収書) *(朱書)「和州」吉武→神戸利右衛門様	(近代)3月	小切継紙・1通	い 1654-1-62
キ(櫃代金領収書) *(朱書)「和州」名古屋六句町古木屋権四郎(印「名古屋六句町巾下古権」)→神戸様	(近代)3月10日	小切紙・1通	い 1654-1-63
記(車代金領収書) 岩田伊二郎→神戸様	(近代)6月25日	横切紙・1通	い 1654-1-64
記(六分九十本など代金領収書) かじ鍵→木挽町神戸様	(近代)6月	小切紙・1通	い 1654-1-65
記(蒲鉾ほか諸品代金書付) *後欠		小切継紙・1通	い 1654-1-66
記(茶釜・鍋蓋代金領収書) [印「名古屋市伝馬町二丁目国枝」]→上様	9月24日	小切継紙/(い 1654-2-1~58は紙繕一括)・1通	い 1654-2-1
(綱代金領収書) 名古屋市西区伝馬町通伝馬橋西詰製綱卸商榎本商店[印「榎本商店」]→神戸殿	明治42年10月2日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1654-2-2
キ(縄代金領収書) (名古屋市沢井町)俵悦(吉川悦次郎)→神戸様	10月	青色罫紙/(10行)・1通	い 1654-2-3
キ(茶釜ふた代金領収書) 中野屋→神戸様	9月	小切紙・1通	い 1654-2-4
記(細引・南京麻代金領収書) *作成月に訂正あり (名古屋市西区南外堀一丁目)竹栄商店→神戸分左衛門様	10月1日	小切紙・1通	い 1654-2-5
キ(極上蕨代金領収書) 名古屋市西区花車町俵五商店→木挽町京町南神戸様	9月	小切継紙・1通	い 1654-2-6
仮領収証(手燭代) 名古屋市西区袋町六丁目万茂商店→神戸様	明治42年10月7日	印刷用紙・1通	い 1654-2-7
記(手拭掛ほか代金領収書) 名古屋市玉屋町漆器商鏡平商店→神戸様	明治42年10月9日	小切継紙・1通	い 1654-2-8
(領収金より手拭かけ・小刀ほか代金差引分返金の旨		小切紙・1通	い 1654-2-9

書付)			
記(小刀代金領収書) 名古屋伝馬町二丁目井筒屋富次郎	18日	小切紙・1通	い 1654-2-10
記(クラマ大石代金領収書) 渡辺石店→神戸様	10月14日	「渡辺合名会社」用箋・1通	い 1654-2-11
證(ゴム印インキ代金領収書) 名古屋市西区和泉町一丁目印材商柴田清雅堂[印]→神戸様	明治42年10月12日	印刷用紙・1通	い 1654-2-12
記(珊瑚棒代金領収書) 中ノ町式植木や角右衛門→神戸様	(明治)42年10月	小切紙・1通	い 1654-2-13
領収証(家屋届につき) 小木曾義夫[印]→神戸分左衛門殿	明治42年10月25日	印刷用紙・1通	い 1654-2-14
記(すゝり箱ほか木工品作成代金領収書) 上園町四丁目彫藤欄間本店(印)→神戸文左衛門様	(明治)42年10月31日	横切継紙・1通	い 1654-2-15
記(残金領収書) 名古屋市中区末広町倉地機械商店→神戸分左衛門殿	明治42年10月31日	小切紙・1通	い 1654-2-16
記(車賃領収書) 車屋長八→神戸様	10月	小切紙・1通	い 1654-2-17
記(大坂石ほか石材代金領収書) [印「名古屋松重町万清中川清吉」]→神戸様	10月31日	小切紙・1通	い 1654-2-18
記(小戸代など代金領収書) 崎山安吉→神戸分右(左衛)門様	10月31日	小切紙・1通	い 1654-2-19
記(黒味曳手ほか代金領収書) 飾屋嘉助→神戸様	10月	横切紙・1通	い 1654-2-20
キ(黒土代金領収書) 岩田伊二郎→神戸分左衛門様	10月31日	小切紙・1通	い 1654-2-21
記(鋏など代金領収書) 井筒屋富治郎→神戸様	10月	横切紙・1通	い 1654-2-22
記(丸棒・羽子板ほか代金領収書) かじ鍵→木挽町神戸様	10月31日	小切紙・1通	い 1654-2-23
記(車代金領収書) 内田嘉七→神戸様	(近代)10月	横切継紙・1通	い 1654-2-24
記(板代金領収書) 奥田商会→神戸分左衛門様	明治42年10月31日	小切紙・1通	い 1654-2-25
記(仙徳丁合ほか諸品代金領収書) 能登屋浅七→神戸様	(近代)11月31日	小切紙・1通	い 1654-2-26
記(諸品代金領収書) 波兵衛→神戸様	(近代)10月	横切紙・1通	い 1654-2-27
記(石材代金領収書) 名古屋市中区松重町万清中川清吉→神戸様	(明治)42年10月21日	青色罫紙/(11行)・1通	い 1654-2-28
記(銅版代金領収書) 名古屋市八百屋町浅野商店→神戸文左衛門様	明治42年10月	印刷用紙・1通	い 1654-2-29
記(諸品代金領収書) 船橋(印)→神戸様	(近代)10月	小切継紙・1通	い 1654-2-30
キ(縄代金領収書) 俵悦→神戸様	(近代)10月	小切紙・1通	い 1654-2-31
記(人足賃など代金領収書) 石寅→神戸様	(近代)10月31日	横切継紙・1通	い 1654-2-32
仮記(カラン代金領収書) 名古屋市西区茶屋町老丁目諸機械・附属品鷺野商店→ノト屋殿	明治40年11月6日	印刷用紙・1通	い 1654-2-33
記(紫檀蓑箱ほか領収書) 名古屋市袋町長者町角唐木指物商麻屋生田太七(印「麻屋太七」)→神戸殿	(近代)11月8日	印刷用紙・1通	い 1654-2-34
記(シイカシなど木材代金領収書) 船橋(印)→神戸様	(近代)11月6日	横切継紙・1通	い 1654-2-35

領収書(絹玉など購入につき) 名古屋電燈株式会社(印「名古屋電燈株式会社営業部」)→(和泉町)神戸文左衛門殿	明治42年11月9日	印刷用紙/(い1654-2-37に巻込)・1通	い1654-2-36
領収書(10玉など購入につき) 名古屋電燈株式会社(印「名古屋電燈株式会社営業部」)→(和泉町)神戸文左衛門別荘殿	明治42年11月9日	印刷用紙・1通	い1654-2-37
物品受取書(拾燭電球ほか) 木挽町式丁目二十七番神戸(印「神戸」)→名古屋電燈株式会社御中	明治42年11月11日	印刷用紙・1通	い1654-2-38
(封筒) * (封筒表書)「通信事務 名古屋市木挽町丁目番 神戸分左衛門 電話第一〇九二番乙」→名古屋市木挽町神戸分左衛門殿	(近代)	封筒/(い1654-2-39-1~2は巻込一括)・1点	い1654-2-39-1
領収証(明治42年10月分電話料) 名古屋和泉町郵便近藤銀三郎[印「名古屋和泉町郵便局長」]→名古屋市神戸分左衛門納	明治42年11月17日	印刷用紙・1通	い1654-2-39-2
記(からいかり代金領収書) 植木屋角右衛門(印「大島」)→上	(近代)11月	小切紙・1通	い1654-2-40
領収証(白スジゴム代) 名古屋市新柳町五丁目直輸入商福田支店商会・壱三ッ蔵町一丁目商会→上殿	明治42年11月10日	印刷用紙・1通	い1654-2-41
(器具代金領収書) 名古屋瓦斯株式会社受取人→上殿	明治42年7月12日	印刷用紙・1通	い1654-2-42
記(カラン代金領収書) 名古屋市下長者町二丁目早川金物店早川国太郎→神戸様	明治42年11月30日	横切紙・1通	い1654-2-43
記(石材代金領収書) [印「名古屋松重町万清中川清吉」]→神戸様	(近代)11月	横切紙・1通	い1654-2-44
記(銅版代金領収書) 名古屋市八百屋町浅野商店→神戸分左衛門様	明治42年11月	印刷用紙・1通	い1654-2-45
記(檜・もみじ他代金領収書) 東宿伊藤弥七→神戸様	(近代)11月29日	折紙・1通	い1654-2-46
領収書(点火料及器具損料・コードベレタント代金) 名古屋電燈株式会社(印「名古屋市中區水主町名古屋電燈株式会社」)→(和泉町)神戸文左衛門別荘殿	明治42年12月10日	印刷用紙・1通	い1654-2-47
瓦斯器具戻り品領収証(木製ランプ・ニッケル秤案燈) 名古屋瓦斯株式会社→木挽町2丁目壺番神戸分左衛門	(明治)42年10月6日	印刷用紙・1通	い1654-2-48
記(ラリへ形ほか代金領収書) 名古屋市中区松重町万清中川清吉→神戸様	(近代)42年9月6日	青色罫紙/(11行)・1通	い1654-2-49
記(紫檀ランプ代金領収書) 名古屋市袋町長者町角唐木指物商麻屋生田太七(印「麻屋太七」)→神戸殿	(近代)12月11日	印刷用紙・1通	い1654-2-50
(8月分手間賃書上) * 前欠	7月29日より8月31日まで	横切継紙/(い1654-2-51-1~2は貼継一括)・1通	い1654-2-51-1
土諸色記(建築用土領収書) * い1654-2-51-1と関連 左官(水谷)喜七(印「水谷」)→神戸様	11月30日	横切継紙・1通	い1654-2-51-2
記(窓上段や二階梯子など諸品代金領収書) 名古屋市車町二簾商池山栄三郎→神戸様	(近代)西12月	横切継紙・1通	い1654-2-52
記(車賃領収書) 車屋長八→神戸様	(近代)12月	小切紙・1通	い1654-2-53
記(ハト釘代金領収書) 山田屋→神戸様	(近代)12月31日	小切紙・1通	い1654-2-54
記(湯殿敷物など代金領収書) 名古屋市小田原町服部勝次郎商店(印「勝勝請取」)→木挽町神戸様	明治42年12月31日	印刷用紙・1通	い1654-2-55

家/家計/受取書等の束・綴

記(平板代金領収書) 奥田商会→神戸分左衛門様	(近代)12月	小切紙・1通	い 1654-2-56
記(4ト丸ツキタシ坪直し代金勘定書) *鉛筆による後筆あり 各務→神戸様	12月	小切紙・1通	い 1654-2-57
記(釘など諸品代金領収書) 名古屋市七間町五丁目横山紫金堂→神戸分左衛門様	酉12月30日	横半美・1冊	い 1654-2-58
記(酒代ほか受取書) 河内屋弥助→川神戸若様	[](虫損)	横切継紙/(い1833-1~2は紙縫一括)/(紙縫破損)/(虫損甚大)・1通	い 1833-1
おほへ(すし・酒代他メ5円19銭余受取書) 信のや→神戸様・若様	12月	横切継紙・1通	い 1833-2

受取書等

覚(米1斗8升代他メ938文につき) 文左衛門→嘉兵衛様	(近世)正月9日	横切紙/(い1394-1~25は一綴)・1通	い 1394-1
覚(代金104文受取につき) 風月孫助	(近世)12月15日	横切紙・1通	い 1394-4
覚(こいの代450文受取につき) 忠治郎→藤蔵様	(近世)6月27日	横切紙・1通	い 1394-5
覚(木代金1分7匁5分につき) 惣七→神戸定助様	(近世)6月27日	横切継紙・1通	い 1394-6
覚(6月6日35文うなぎ代他メ103文金銭書上)	(近世)	横切紙・1通	い 1394-13
覚(大豆3俵代1両2分14匁につき) 備□□伊□(印)(用紙皺にて読めず)→神戸様	(近世)午4月13日	横切紙・1通	い 1394-16
覚(71匁7分此糸縺子縫取極上1筋他メ115匁2分5厘内訳書上につき) いたう店→神戸分左衛門様	戌正月14日	縦紙・1通	い 1395-37
(銀5匁ほか金銭書上覚) *断簡		折紙・1通	い 1396-6
覚(205文たい代受取につき) 河内屋与右衛門→神戸様	12月7日	縦切紙・1通	い 1396-9
覚(正月29日18匁6分御酒さかな代4人様受取につき) いせ権→材木町神戸文左衛門様	酉7月	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1396-12
覚(6月17日うなぎ代208文他メ1貫513文につき) 善九→晶助様	6月25日	縦切紙・1通	い 1396-34
覚(諸白・溜り等代金書付) →定助様	6月27日	横切紙・1通	い 1397-2
覚(2匁8分くわん箱1つ代受取につき) 指物屋治助→神戸分左衛門様	巳12月	横切紙・1通	い 1397-9
覚(2貫500文山の井切手1斗5升他メ2貫549文引654文受取につき) 山田屋金兵衛[印「尾張山田屋」]→上	未6月19日	横切紙・1通	い 1399-4
覚(1貫500文素麺他メ4貫90文請取につき) 柏屋久兵衛→上	12月	横切継紙・1通	い 1399-5
覚(白木長持1つ代2分175文受取につき) 柏屋伊兵衛(印「尾州名古屋七間町三丁目柏屋伊兵衛」)→喜八様	9月3日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1399-26
覚(300文素麺570め他メ365文受取につき) 鳥要→権吉様	7月3日	横切継紙・1通	い 1399-59
覚(代金27匁ほか受取につき) [印「表肴町老丁目繪物師礼□」]	8月27日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1399-69

覚(118文受取につき) 酒屋市右衛門→神戸嘉人様	亥12月29日	横切紙・1通	い 1400-70
証(金3円500銭受取につき) □□□□[印]→神戸文左衛門様	(明治)33年6月30日	切紙・1通	い 1401-76
記(丸ハイ樋1丁金70銭他メ1円39銭3厘相済みにつき) 能登屋浅七→神戸様	(明治)33年1月	切継紙・1通	い 1401-77
キ(品代金60銭他メ1円20銭につき) 名古屋市横前町三丁目壁請色商麻屋理助→神戸様	8月31日	切紙・1通	い 1401-78
記(金物代1円60銭他メ2円55銭受取につき) 大庄→神戸様	12月31日	横切紙・1通	い 1401-79
記(金57銭相済みにつき) 能登屋浅七→神戸様	(明治)33年1月	切紙・1通	い 1401-80
(封筒) * (封筒表書)「[□](綴紐で見えず)百三拾八番戸建添付属品富士栄久七ヨリ買受ニ付同人ヨリ受取証券 廿八年三月八日付」	(明治)28年3月8日付	封筒・1点	い 1401-139
所有品売渡シ証(ムシ子付高梯子ほか売渡代金20円) 塩町三丁目富士栄久七(印)→神戸分左衛門殿	明治28年3月8日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1401-140
記(吸物椀20人前金60円他メ金60円70銭受取につき) 津田要之助[印「堅清」]→神戸分左衛門様	(明治)30年12月	横切紙・1通	い 1401-167
(封筒) * (封筒表書)「宗哲松葉吸物椀代送付書義受取」		封筒・1点	い 1401-168
記(一口わん10個4円他メ13円13銭請取につき) 塗師林三→神戸様	10月31日	切継紙・1通	い 1401-170
記(利休形杓子金1円80銭他メ金16円10銭請取につき) おとや事津田要之助[印「堅清」]→神戸様	(明治)34年2月	横切継紙・1通	い 1401-171
記(黒土5束代金57銭5厘請求書) 田中(印「田中」)→神戸殿	10月22日	切紙・1通	い 1401-237
(黒土10束代金1円請求書) 愛知県監獄本署[印]→神戸分左衛門	明治18年7月3日	黒色罫紙・1通	い 1401-238
記(代金30銭請取につき) 俵屋竹治郎(印「名古屋ナヤ橋上ルタテ三ツ蔵俵屋竹次郎」)→兼太様	7月30日	切紙・1通	い 1401-239
覚(木口宮附2銭他メ4銭5厘請取につき) 大坂屋吉兵衛→神戸様	(明治)18年6月	切紙・1通	い 1401-240
記(大根2銭5厘他メ14銭9厘相済につき) 八百正→神戸様	6月	横切継紙・1通	い 1401-241
記(竹120本代金1円50銭他メ3円22銭5厘請取につき) 宮河町竹屋出店→神戸分左衛門様	西6月	横切紙・1通	い 1401-242
記(黒土10束金1円受取につき) 愛知県御蔵堂下詰肴屋高木喜太郎(印「高木」)→神戸分左衛門殿	明治18年6月19日	切紙・1通	い 1401-243
記(大入の6本4銭8厘請取につき) 柏屋庄兵衛→神戸様	6月19日	切紙・1通	い 1401-244
記(白紙代3銭相済みにつき) 時吉→神戸様	7月9日	切紙・1通	い 1401-245
記(半紙30枚3銭・赤紙12枚1銭8厘相済みにつき) 大栄→神戸様	6月19日	切継紙・1通	い 1401-246
(連子1本2円20銭他メ4円77銭、この内10銭引にて相済みにつき勘定書) □屋倉治郎→神戸様	7月	桃色便箋・1通	い 1401-247
記(雨戸3本1円5銭ほか家賃差引メ2円45銭8厘につき) 吉田屋好義→神戸様	12月2日	切継紙・1通	い 1401-248

家/家計/受取書等

(袋) * (袋上書)「上田徳兵衛請取類」/玉露袋の紙背文書		袋/(い1401-249~337は一綴)/(虫損あり)・1点	い 1401-249
記(大小杯代35円45銭ほか御肴料2円受取につき書状) 片埜徳兵衛[印「上徳」]→神戸分左衛門様上	明治18年8月	切継紙/(い1401-250~276はクリップ一括)・1通	い 1401-250
(御用に預り有り難く、御肴1折頂戴につき) 上徳兵衛→神戸様	明治18年8月	切紙・1通	い 1401-251
記(古渡り代金15円受取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	明治12(年)卯4月	切紙・1通	い 1401-252
記(象眼代銀279匁申受につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	明治13年4月29日	切紙・1通	い 1401-253
記(南京花入れ代金2円他メ金8円20銭受取につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	2月2日	切紙・1通	い 1401-254
覚(染付扇代金6円他メ11円58銭申し上げにつき) 上田屋徳兵衛→神戸様	11月	切紙・1通	い 1401-255
記(青絵代銀300匁他メ12円91銭6厘申請につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋中橋上徳」)→神戸様	10月29日	横切紙・1通	い 1401-256
記(煎茶代金1円他メ金6円3銭3厘申受につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様上	(明治)13年10月2日	切紙・1通	い 1401-257
記(宗哲台子代金1両1分2朱申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	酉12月	切紙・1通	い 1401-258
記(染付廉子代金1両1分申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	12月	切紙・1通	い 1401-259
記(禅代金2両申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	子12月	切紙・1通	い 1401-260
記(風呂敷代銀4匁申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	8月22日	切紙・1通	い 1401-261
記(竹田代金12円ほか請取につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	巳11月20日	桃色便箋・1通	い 1401-262
(風呂敷下され金1円申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様上	2月25日	桃色便箋・1通	い 1401-263
(品代金3円60銭申受にて礼状) 上田屋徳兵衛→神戸様	3月2日	桃色便箋・1通	い 1401-264
(青絵筆洗代価金6円請取にて礼状) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	2月28日	桃色便箋・1通	い 1401-265
記(堤清心9板代金1円25銭申受につき) 上田屋徳兵衛[印「上徳」]→神戸様	明治15年10月5日	切紙・1通	い 1401-266
記(龍国山水100匁ほか代金申受につき) 上徳兵衛[印「上徳」]→神戸様上	明治17年1月29日	切継紙・1通	い 1401-267
(檜酒吞御用御預かり代金2両2分申受につき書状) 徳兵衛→神戸様上	2月10日	切紙・1通	い 1401-268
(昨日買入の酒吞出来方よろしく2両2分申受につき書状) 上田屋徳兵衛→元町様老箱添	3月25日	切紙・1通	い 1401-269
記(竹葉代金50匁他メ114匁5分この金1円90銭8厘3毛請取につき) *「上徳」印あり		切紙・1通	い 1401-270
記(鍋倒蒔丸盆代金10円他メ15円申受につき) 上田徳兵衛(花押)→神戸様	明治17年3月24日	切継紙・1通	い 1401-271

証(ウルミるり紙10人前代金2円受取につき) 上田屋徳兵衛[印「上徳」]→神戸様	明治18年12月6日	切継紙・1通	い 1401-272
証(五郎三郎火鉢1対代金14円取申につき) 上田屋徳兵衛[印「上徳」]→神戸様上	明治17年9月30日	切紙・1通	い 1401-273
記(侍前酒壺代金35円請取につき) 片野徳兵衛(印)→神戸様	明治17年5月17日	切継紙・1通	い 1401-274
(酒壺代金御廻し下され有り難きにつき書状) 徳兵衛拝→神戸様上	5月17日	切紙・1通	い 1401-275
記(よしゑ椀代金60銭他メ金5円38銭2厘請取につき) 上徳兵衛→神戸様	(明治)17年11月	切紙・1通	い 1401-276
記(花入直し代金20銭他メ42銭請取につき) 上徳→神戸様	7月1日	切紙/(い1401-277~302はクリップ一括)・1通	い 1401-277
記(蒔匣代金4円半請取につき) 上田徳兵衛→神戸様	明治17年3月1日	切紙・1通	い 1401-278
記(石砂御好杯5個代金500円ほか請取につき) 上田徳兵衛→神戸大君	明治17年3月13日	切紙・1通	い 1401-279
記(染付水桜手塩代金2円半申受につき) 上田や徳兵衛→神戸様上	明治17年2月26日	切紙・1通	い 1401-280
記(武丸野代金300匁他メ6円66銭頂戴につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	1月21日	切継紙・1通	い 1401-281
記(仙兒婦大椀代金10円受取につき) 上田屋徳兵衛[印「上徳」]→神戸様	明治16年4月4日	切紙・1通	い 1401-282
記(かし次代金205匁他メ代金5円75銭受取につき) 上田屋徳兵衛[印「上徳」]→神戸様	(明治)16年4月12日	切紙・1通	い 1401-283
記(秋月画状代銀2匁申し入れにつき) 上田屋徳兵衛[印「上徳」]→神戸様	5月17日	切紙・1通	い 1401-284
記(懸物箱代金71銭6厘ほか請取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様上	明治16年5月15日	切紙・1通	い 1401-285
記(万曆英南糸白五人代金5円ほか請取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様上	(明治)16年2月23日	切紙・1通	い 1401-286
記(白玉酒盃6ッ代金35円請取につき) 上田屋徳兵衛[印「上徳」]→神戸様上	明治16年3月16日	切紙・1通	い 1401-287
記(竹中次雨宿代金5円他メ15円受取につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	11月26日	切紙・1通	い 1401-288
記(鳥野火箸代金4円半申受につき) 上治[印「上徳」]→神戸様	(明治)15年11月7日	切紙・1通	い 1401-289
記(染付酒瓶代金7円16銭6厘受取につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	12月13日	桃色便箋・1通	い 1401-290
記(備前花入100匁他メ金22円半請取につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	10月25日	横切紙・1通	い 1401-291
記(朝鮮からつ手鉢代金3円25銭申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	明治12(年)卯5月29日	切紙・1通	い 1401-292
(二品御用預り並びに金1円頂戴落手につき書状)	3月4日	切紙・1通	い 1401-293
記(赤画繰込料金5円ほか請取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様上	明治17年3月4日	切紙・1通	い 1401-294

家/家計/受取書等

記(善五郎井代金1円他メ金2円25銭申受につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	8月13日	切紙・1通	い 1401-295
記(書2行代金17匁2分他メ金27円3銭6厘申受につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様上	12月13日	横切紙・1通	い 1401-296
記(染付片口鉢代金1両他メ金12円96銭5厘申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	9月18日	横切継紙・1通	い 1401-297
記(仁清酒呑代銀1枚ほか受取につき) 上田徳兵衛[印「上徳」]→神戸様	明治18年5月26日	切紙・1通	い 1401-298
(種々御用に預かり有り難く御礼につき書状) 徳兵衛→神戸君	12月29日	切紙・1通	い 1401-299
証(堅清作信玄弁当5人前代金250匁他メ金700円3銭3厘申受につき) 上田屋徳兵衛[印「上徳」]→神戸様上	(明治)18年4月29日	切紙・1通	い 1401-300
記(銀枕盃代金270匁他メ金10円85銭4厘申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	12月21日	切紙・1通	い 1401-301
記(四方鉄瓶代金150匁請取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	12月29日	切紙・1通	い 1401-302
記(絵器盆盛カ代金150匁他メ金6円8銭3厘請取につき) 上徳兵衛(印「名古屋栗名町式上徳」)→神戸御両君上	(明治)21年5月19日	切紙/(い1401-303~319はクリップ一括)・1通	い 1401-303
記(注茶濱指物1個代金3円58銭3厘本月17日持参につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸分左衛門様	(明治)22年2月10日	切紙・1通	い 1401-304
証(侍前茶鉢代金2円他メ4円37銭5厘請取につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋中橋上徳」)→神戸様	2月初日	切紙・1通	い 1401-305
記(茶碗20人前代金50銭他メ75銭請取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	12月28日	切紙・1通	い 1401-306
覚(口鏡代金2分2朱他メ67銭5分請取につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋中橋上徳」)→神戸様	7月5日	青色便箋・1通	い 1401-307
記(茶筒代金3円3分申請につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋中橋上徳」)→神戸様上	3月13日	切紙・1通	い 1401-308
記(円方二本入杓代金50匁他メ金1円63銭8厘2毛請取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	子6月	横切継紙・1通	い 1401-309
覚(売茶函代金1両1分受取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	子7月	切紙・1通	い 1401-310
記(書代金8匁6分他メ金6円75銭申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	5月5日	横切継紙・1通	い 1401-311
記(平沢鉢代金12匁他メ238匁5分申請につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋中橋上徳」)→神戸様	12月4日	横切紙・1通	い 1401-312
記(毛せん1枚代金1円他メ金15円2朱(ママ)申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	12月21日	横切継紙・1通	い 1401-313
記(侍前手鉢代金1円他メ金16円34銭申請につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋中橋上徳」)→神戸様	亥6月29日	横切継紙・1通	い 1401-314
記(染付酒呑代金1分他メ3両1朱申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	7月5日	切紙・1通	い 1401-315
記(染付手桶代金10銭他請取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	亥6月29日	切紙・1通	い 1401-316

記(こし黒代金50匁他メ514匁2分申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	子10月25日	横切継紙・1通	い 1401-317
記(祥瑞打木丸紋模様白附5人代金5円申受につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	11月14日	切継紙・1通	い 1401-318
記(染付手付水指山水模様1個代金6円請取につき) 上田屋徳兵衛[印「名古屋桑名町上徳」]→神戸様	(明治)22年1月18日	切紙・1通	い 1401-319
(箆筒代金7円50銭受取につき受取書) 上田屋徳兵衛(印)→神戸御氏代佐藤様	(明治)22年2月11日	切紙/(い1401-320~337はクリップ一括)・1通	い 1401-320
記(水指酒呑代金3円25銭受取につき) 片野徳兵衛[印「上徳」]→神戸様上	(明治)24年10月4日	切紙・1通	い 1401-321
記(木庵巻物代金3円15銭受取につき) 片野徳兵衛[印「上徳」]→神戸様	(明治)24年10月4日	切紙・1通	い 1401-322
記(曲重1組代銀40請取につき) 上徳[印「名古屋桑名町上徳」]→神戸様	明治22年6月25日	切紙・1通	い 1401-323
記(紀毛酒呑代金5円他メ金7円75銭請取につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋桑名町上徳」)→神戸様	11月28日	切継紙・1通	い 1401-324
記(藤本書代金21銭5厘頂戴につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	(明治)21年6月28日	切紙・1通	い 1401-325
記(刷毛月井代金5円50銭他メ金6円79銭受取につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋桑名町式上徳」)→神戸様	明治21年4月13日	切紙・1通	い 1401-326
記(久介切蒔絵重筥代金13円申受につき) 上田屋徳兵衛(印「片野」)→神戸様	(明治)15年6月26日	桃色便箋・1通	い 1401-327
記(火鉢代金16円請取につき) 上田屋徳兵衛(印「名古屋桑名町式上徳」)→神戸様	2月28日	切紙・1通	い 1401-328
記(篠原書代金半円申受につき) 上田屋徳兵衛[印「名古屋桑名町上徳」]→神戸様	明治19年5月16日	切紙・1通	い 1401-329
記(赤絵代金2円受取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	(明治)21年6月	切紙・1通	い 1401-330
記(蒔画大重代金500匁相済につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	12月	切紙・1通	い 1401-331
記(廿台子代金5円半申受につき) 上田屋徳兵衛[印「ナゴヤ上徳」]→神戸様上	明治18年12月27日	切紙・1通	い 1401-332
覚(克孝代金2両3分受取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様上	8月6日	切紙・1通	い 1401-333
覚(清吉蒔絵代金4円請取につき) 上田屋徳兵衛→神戸様	8月6日	切紙・1通	い 1401-334
覚(金7円請取につき) 九右衛門→神戸様	10月24日	切紙・1通	い 1401-335
(木庵巻物・白四角酒呑、金7円につき書状) 徳兵衛拜→神戸様貴下	10月4日	横切紙・1通	い 1401-336
(兼ねて嶋の井手鉢品々取り計らいにてお礼状の他今利酒呑代金10円申受につき) 上田屋徳兵衛(印)→神戸様	6月12日	横切紙・1通	い 1401-337
覚(1貫430文明ほか代金請取につき) 大和屋代吉(印「名古屋四間道大和屋」)→徳屋様	未極月	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1402-68
覚(12匁取かえ他メ65匁6分正金1兩162文及び2匁3分かわこ1つメ67匁9分受取につき) いづ半→御客	正月23日	横切継紙・1通	い 1402-82

家/家計/受取書等

様上			
記(29銭1厘太平分他メ1円6厘6毛書上につき) 世話 人沢田市平→神戸様	午2月14日	横切継紙・1通	い 1402-167
覚(戌2月4日6銭3厘6寸こんろ代金受取につき) 平野 屋大□□(印「尾張名古屋材木町平野屋」)→神戸様	戌極月	横切紙/(い 1402-171~187 は一綴)/(虫損 あり)・1通	い 1402-171
記(9月15日1円10銭他メ2円40銭御渡しにつき) 美濃 屋儀六[印]→神戸様	10月30日	横切紙/(虫損 あり)・1通	い 1402-172
記(12円35銭立角丸メ13本代請取につき) 天満屋重蔵 →神戸様	12月22日	横切継紙/(虫 損あり)・1通	い 1402-183
覚(金3円50銭受取につき) 伊藤吉六→神戸銀之亮	7月20日	横切継紙・1通	い 1402-184
記(立樋・横樋代金10円62銭他メ14円1銭4厘につき) 天満屋重蔵→神戸分左衛門様	11月6日	横切継紙/(虫 損あり)・1通	い 1402-187
覚(76銭9厘2毛苩10枚代請取につき) 福嶋屋長助(印 名古屋苩町[])→神戸様	9月24日	横切紙・1通	い 1402-208
記(18銭あわひ代受取につき) まん栄→神戸様	5月3日	横切紙・1通	い 1402-209
記(10銭他メ52銭5厘代金受取につき) 吉村屋泰助(印 「海東郡[]吉田泰助」)→神戸様	10月26日	横切継紙・1通	い 1402-210
記(白木綿1反代価34銭請取につき) 白木屋利八→神戸 様	10月27日	横切紙・1通	い 1402-211
覚(上諸白3斗2升代14匁6分引き合わせにつき) かう や金七→神戸御屋敷中	6月7日	横切継紙・1通	い 1402-222
記(回掌料金2円請取につき) 可□→鶴汀君	18年11月1日	横切紙・1通	い 1402-223
記(151円23銭4厘請取につき) □□□花井勇(印)→神 戸文左衛門様	2月10日	横切紙・1通	い 1402-318
証(金13円50銭代金内金12円相済につき) 濱島伊助 (印「濱嶋」)→神戸様	3月13日	横切継紙・1通	い 1402-322
証(金8円代金請取につき) 濱島伊助→菅井様	3月13日	横切紙・1通	い 1402-323
証(金16銭伴蠟立て4本代金入手につき) 濱島伊助→ 神戸様江菅井様	8月17日	横切継紙・1通	い 1402-324
証(金22円56銭他代金メ23円86銭につき) 濱島伊助 (印)→菅井様御取次神戸様	8月17日	横切継紙・1通	い 1402-325
(代金23円86銭正に受取、濱島受取証御廻し申上につ き書状) これあき拝→鷗汀様	8月17日	横切継紙・1通	い 1402-326
(封筒) すがい東作→神戸様御請		封筒・1点	い 1402-327
覚(加賀竹など代金受取書) ふく嶋屋又右衛門(印)→山 形屋庄兵衛様	9月晦日	堅切紙・1通	い 1531-25
覚(金100兩入1包ほか受取並びに加賀屋三郎兵衛へ 相届申すにつき) 貝谷権左衛門(印)→加賀屋弥三郎殿	辰12月8日	堅切紙・1通	い 1531-34
(あらいはり2品・かや1つり他書上) *後欠		切継紙・1通	い 1566-8
(盆台ほか諸品代金書上)		横切継紙・1通	い 1569
覚(小豆・白米ほか代書上および差引59匁余遣す旨) 治助→神戸様	卯正月	横切継紙・1通	い 1597-2-6- 5

覚(水揚蔵入ほか代書上および差引17匁5分余差上) 次助→神戸様	卯3月25日	切紙・1通	い 1597-2-6-6
覚(諸品代3メ100文受取書) 口入重左衛門→神戸様	2月晦日	切継紙・1通	い 1597-2-9
(さしみ・いり酒ほか献立) *(包紙上書)「戌四月地割衆ふるまいの外 こんたて」	戌4月	横切継紙/(包紙共)・1通	い 1605
覚(一文字黒椀・つぼ皿ほか折敷代書上)		切継紙・1通	い 1619
覚(まつ1丈63本代銀22匁5厘材木代金受取書) 材木屋作左衛門→神戸忠右衛門様	2月8日	小切紙・1通	い 1655-1-53
記(羽織など代金領収書)		折紙・1通	い 1655-10-10
記(火鉢入箱など代金受取書) さし物師勇斎(印「愛知荒町指物細工田中勇斎」)→神戸分左衛門様	12月16日	小切紙・1通	い 1655-10-17-3
記(茶碗入箱など代金受取書) さし物師勇斎(印「愛知荒町指物細工田中」)→神戸様	(明治)23年5月31日	小切紙・1通	い 1655-10-17-4
記(灰ふき等代金受取書) (愛知荒町指物細工田中)さし物師勇斎→神戸様	11月分	小切紙・1通	い 1655-10-17-5
おほゑ(布団代など代金の残金書付) 佐定→取つき善五郎	4月2日	横切紙・1通	い 1657
おほへ(うかい茶わん代30銭受取書) 万屋勘六[印「名古屋知□□町壱、万屋勘六」]→神戸様	6月25日	切紙・1通	い 1814-4
覚(保名酒等10種類の酒・味酛1斗あたり値段書付) 三笠屋八右衛門	正月25日	横切継紙・1通	い 1913
覚(戸せうし代金21匁受取書) みなと町善次郎[印]→元町分左衛門様	7月12日	堅切紙/(い 1968-1~10は一綴)・1通	い 1968-1
覚(酒など代金1貫550文受取書) 伊勢屋半右衛門→神戸様	寅7月13日	横切継紙・1通	い 1968-2
覚(干かます等代金351文受取書) いさはや金左衛門→嘉兵衛様	亥極月晦日	横切継紙・1通	い 1968-6
覚(炭など代金635文受取書) 桑名屋源助→神戸嘉兵衛様	亥極月29日	堅切継紙・1通	い 1968-7
覚(なし等代金1貫180文受取書) 重兵衛→嘉兵衛様	極月	折紙・1通	い 1968-8
覚(諸品代12匁受取書) 通行屋左七→犬山屋嘉兵衛様	亥12月29日	堅切継紙・1通	い 1968-10
覚(塩代金受取書) 塩や伊兵衛(印)→山形屋庄二郎殿	7月20日	小切継紙/(い 1987-1~85は一綴)・1通	い 1987-1
覚(塩代金受取書) 塩屋弥三→元材木町文左衛門殿	酉12月25日	小切紙・1通	い 1987-7
覚(6匁7分5厘受取につき) かみや善助(印「紙屋」)→犬山屋分左衛門様	正月11日	切継紙・1通	い 1990-11
覚(紙代など書上)	戌正月10日	切紙・1通	い 1992-3
(諸白など代金220文請取につき) [印「名古屋長者町二丁目いつみや権右衛門」]	2月24日	切紙・1通	い 1992-12
覚(諸白など代金請取につき) 萱津屋伊右衛門(印)→御父	戌正月21日	切継紙・1通	い 1992-16
献立(平皿・汁など献立書付)		小切継紙・1通	い 1998-5

家族間の貸借等

(昨日御引合の金子渡す旨他につき書状) 隠居より →(神戸)分左衛門様	卯月4日	横切継紙(灰色宿紙)/(い1302-1~5は一綴)・1通	い1302-1
(金子の儀につき5り御上ケすべき旨他につき書状) *裏面に神戸貞寿宛原五山書状あり 隠居より→(神戸)分左衛門さま	5日	横切紙/(虫損あり)・1通	い1302-2
借用申金子之事(要用にて米切手金50両) * (端書)「ひかえ」 神戸分左衛門印→神戸貞寿様	天保14年卯4月5日	縦紙・1通	い1302-3
借用申金子之事(要用にて米切手金100両) 犬山屋文左衛門(印墨消)→重松治兵衛様	天保13年寅12月	縦紙・1通	い1302-4
(当年飯米支障につき検見まで1俵明日までに借りたき旨願いにつき書状) 仁右衛門→兄上様貴下	10月22日	縦紙・1通	い1843-6

親類間の貸借

神戸弥左衛門(本家)

預り申金子之事(米切手金200両につき) 神戸弥左衛門→神戸分左衛門殿	年号	横切継紙・1通	い1567
(包紙) * (包紙上書)「神戸弥左衛門 神戸文左衛門 金子入内用」 神戸弥左衛門→神戸文左衛門様		包紙/(い1597-1~2は紙縫一括)/(紙縫りに「此腰指式百両口并天九羽深式百両手形入」と注記あり)・1点	い1597-1-0
覚(都合15両持参および利金取置書差上の旨) 神戸弥左衛門→神戸文左衛門様	8月14日	横切継紙/(い1597-1-1-2はい1597-1-1-1で巻込)・1通	い1597-1-1-1
覚(毎年半年分利足として札金3両9匁受取書) 神戸孫六[印]→川村九兵衛様	8月9日	縦紙・1通	い1597-1-1-2
(包紙) * (包紙上書)「札金四両」		包紙・1点	い1597-1-2
(盆前札金20両の内11両差上げるので御入帳下さるよう書状) 神戸弥左衛門→神戸文左衛門様	8月8日	横切継紙/(い1597-1-3-2はい1597-1-3-1で巻込)・1通	い1597-1-3-1
(包紙) * (包紙上書)「札金拾壹両」(裏面)「上 唐華箋 慈海」		包紙・1点	い1597-1-3-2
(先頃借用の20両御入用ならば返上し此方より取替る旨ほか書状) 弥左衛門→文左衛門様	夷則11日	横切継紙・1通	い1597-2-8
預り申金子之事(米切手金200両預りにつき) * 写 金預り主神戸弥左衛門印→神戸文左衛門殿	天保14年卯正月	横切継紙・1通	い1487-2
預り申金子之事(御屋敷借上金として100両) 神戸弥左衛門(印)→神戸分左衛門殿	享保10巳12月	縦紙・1通	い1287-2
借用申金子之事(水野平左衛門殿借財につき貴殿取次にて金29両2分) * (端裏貼紙)「神戸彌左右衛門」/(ペン書き) 神戸弥左衛門(印)→神戸文左衛門殿御取次	嘉永5子年4月	縦紙・1通	い1287-3
請取申金子事(犬山よりの新金1包受取書) 小川利助(印)→神戸分四郎殿	子ノ2月10日	縦切紙・1通	い1530-38

覚(本家へ返す40両糸助へ渡したので御改受取るべき旨) 同弥左衛門→神戸文左衛門様	10月8日	切紙・1通	い 1614-2-3
覚(元金39両2分の内この度17両1分遣す旨) 弥左衛門→分左衛門殿	申12月25日	横切紙・1通	い 1629
①(米札を正金に引替るよう仰せにつき札金の分だけ別紙の通り返上する旨書状)、②覚(米札290両年賦元金の内今般174両返上につき御改入掌なさるよう) 神戸弥左衛門→神戸文左衛門様	申12月15日	横切継紙/(①と②は一紙)・1通	い 1631
(分七殿借し金書付1対遣す旨ほか書状) 同(神戸)弥左衛門→神戸惣助様	5月22日	横切継紙・1通	い 1642
年賦金御請取之覚 *あ3554~3556と同種帳簿 同(神戸)文左衛門→神戸弥兵衛様	文政11年子7月~嘉永元年申12月15日	横半半(一ツ綴)・1冊	い 2067

天満屋九兵衛

(天九取次金300両の引残70両の内訳書上)	寅12月~卯4月	横長半(一ツ綴)/(い1597-2はい1597-2-1で巻込)・1冊	い 1597-2-1
(金子甚払底につき札金25両ばかり借用したき旨ほか書状) いね→茂元君	林鐘朔日	横切継紙・1通	い 1597-2-2
(御引金の50目差上べきを別紙当座書付にて用捨下されたき旨書状) 天九→神戸様	11日	横切紙・1通	い 1597-2-3
覚(利銀差引て20匁御戻) 次郎兵衛	3月28日	切紙・1通	い 1597-2-4
借用申金子之事(要用につき米切手金100両) *(端裏書)「寅十二月三日重松氏金子持参借入候 卯三月晦日限」/控 犬山屋文左衛門→重松治兵衛様	天保13年寅12月	堅紙・1通	い 1597-2-5
(壺本嫁につき一通り差上げ、式本とも添書はなき旨書状) 天九→神大人	除夜	切紙・1通	い 1597-2-18
(利金受取の儀等につき書状) 天九→神戸御大人内方物上	初秋29日	横切継紙・1通	い 1487-4
覚(正金50両と去極月~申2月利足金1両1分受取につき) 天満屋九兵衛(印)→神戸様	2月22日	横切紙・1通	い 1294-35
借用仕候金子之事(要用にて米切手金200両) *(端裏書)「ひかえ」 金拝借主犬山屋文左衛門印・親類証人天満屋九兵衛印→竹腰様御勝手方御役所	天保13年寅/12月	堅紙・1通	い 1302-5
覚(7月より当月まで元利メ金72両の内、11月より2ヶ月分元金10両、当月より1ヶ月分元金10両時借りにて元利差引金30両2分3匁受取につき) 九兵衛→分左衛門様	12月23日	横切継紙/(い1401-66~80は一綴)・1通	い 1401-66
覚(元金200両の内元利差引金161両3朱請取につき) 天九→神戸様	寅3月23日	横切紙・1通	い 1401-67
口上書(別紙家作年月取調引合願書) 天満屋九兵衛→小林六右衛門様	4月8日	小切紙/(い1493-7-1~3は貼継)・1通	い 1493-7-1
別段(天満屋九兵衛儀上材木町住居の旨申上書)	丑4月	小切紙・1通	い 1493-7-3
覚(金208両1分5厘受取書) 天満屋九兵衛(印)→神戸堅吾様	子3月20日	小切紙・1通	い 1530-6
覚(卯2月~4月貸し金利金書上) *(端裏書)「天九江預ケ		横切継紙・1通	い 1597-2-12

家/家計/親類間の貸借/天満屋九兵衛

金同家より調べ来書付写]			
①(1本拝借分別紙当座書付を差上げ当分用捨下されたき旨書状)、②覚(金170両・6両余預り書) ①天九神戸様、②天満屋九兵衛[印]→神戸様	3月26日	横切継紙/(い1597-2-14は一紙だが①と②の間は一部切断)・1通	い 1597-2-14
借用申金子之事(要用につき米切手金300両) 金借主 犬山屋文左衛門(印墨消)・証人天満屋九兵衛(印墨消)→天満屋吉十郎殿	天保13年寅12月	縦紙・1通	い 1597-2-15
(明晦日寺社役所まで罷出るべき旨書付) 岡左十郎→天満屋九兵衛	6月29日	切紙・1通	い 1615-7-14
(引合につき有無返事は今夕中に聞きたき旨書状) 上の町→神戸大人	23日	横切継紙・1通	い 1633
(引合の正金38両持たせ差上げる旨ほか書状) 天九→神御大人上	8月2日	横切継紙・1通	い 1794

その他の親類

預り申金子之事(金100両) 金子預り主神戸善蔵(印)・証人伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門殿	享保11年丙午4月	縦紙・1通	い 1294-13
覚(札金20両借用書) 同むね→神戸文左衛門様	卯6月	切紙・1通	い 1597-2-7
預り申金子之事(金5両) 神戸善友[印]→神戸分左衛門殿	丑11月22日	縦切紙/(い1283-1~2は一綴)・1通	い 1283-1
(当分遣金子なきにつき無心する旨書状) 神戸善友→神戸分左衛門様	11月22日	縦切紙・1通	い 1283-2
(新田光助へ残金50両お渡しにつき書状) 重子→文左衛門様	2月7日	横切継紙/(い1487-1~7は一綴)/(継目剥離)・1通	い 1487-1
口上(金50両新田光助へ遣わしたきにつき) むね→分左衛門様	正月29日	小切紙・1通	い 1487-3
(100両只今受取につき書状) *(端裏書)「金百六両済」九郎兵衛→尊大人上	3月26日	横切継紙・1通	い 1487-5
(成武・天吉・唯助への渡金額書上)	(辰4月)	横切継紙・1通	い 1487-6
(天吉への返金差上につき書状) 九郎兵衛→尊大人様	28日	横切紙・1通	い 1487-7-1
(唯助卯年利金取立過上金勘定書)		小切紙/(い1487-2(はい1487-1に糊付)・1通	い 1487-7-2
御請取覚(只今與左衛門へ50両御渡し下されし旨) むかひ町→文左衛門様		切紙・1通	い 1614-3-3
証(五郎三郎鑄造鼎式火鉢1対ほか金95円にて売渡につき) 売渡人名古屋市皆戸町拾貳番戸神戸まつ(印)→神戸分左衛門殿	明治31年9月12日	青色罫紙(一ツ綴)/(い1401-1~348は一綴)/(10行)・1冊	い 1401-1
(封筒) *(封筒表書)「緋純子夜具薄団四ツ本間長磯琴代金七拾円ニテ新家ヨリ買入レニ付代金受取証書 廿九年五月八日」	(明治)29年5月8日	封筒・1点	い 1401-2
証(母君より頂戴の本間長磯琴1個明治29年5月8日に代金20円にて売渡しにつき) 名古屋市皆戸町貳拾番戸神戸まつ(印)→神戸分左衛門殿	明治31年9月12日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-3

物品売渡証(母君より頂戴の緋純子夜具薄団・本間長 磯琴代金70円にて売渡代金受取につき) 名古屋市 皆戸町貳拾番戸神戸まつ(印)→神戸分左衛門殿	明治29年5月8日	青色罫紙/(10 行)・1通	い 1401-4
(封筒) * (封筒表書)「華堂東山之図并十三絃素琴右新家依頼 ニヨリ金拾五円ニ買受タル節新家ヨリ売渡シ証券 廿九年 十二月」	(明治)29年12月	封筒・1点	い 1401-5
証(華堂京都東山全景・十三絃琴代金20円にて売渡代 金受取につき) 神戸まつ(印)→神戸分左衛門殿	明治30年3月8日	横切紙・1通	い 1401-6
(封筒) * (封筒表書)「新家依頼ニ付直塗爐縁木地爐縁長板二 枚茶挽買入代金三拾円受取書 三十三年四月四日 伊藤廣東 袋代五円受入 三十三年六月六日」	(明治)33年4月4日	封筒・1点	い 1401-7
物品売渡証(直塗爐縁1個他5品先大人より頂戴の物 品代金30円にて売渡代金受取につき) 右売渡人神 戸まつ(印)→神戸分左衛門殿	明治33年4月4日	青色罫紙/(12 行)・1通	い 1401-8
記(伊藤操東大東之袋売渡代金5円受取につき) 神戸 まつ(印)→神戸分左衛門殿	(明治)33年6月6日	切紙・1通	い 1401-9
証文之事(神戸外新田譲渡しの際金50兩御助情成し 下され請取につき) 上の町→元町様内事押上	4月5日夜四ッ過認	横切継紙・1通	い 1709-1
覚(勘定残り金2兩2分と銀1匁3分他メ23兩と銀23匁9 分3厘の預金差上書) 京町→伊せ町様		切紙・1通	い 1709-2
覚(伊勢町有り金引き残り分切手金20兩ほか等受取 書) * 写 神戸堅吾→川村九兵衛様	丑4月6日	横切継紙・1通	い 1709-3
覚(川方屋利足10兩ほか差引メ出金20兩金銭書上) * 写 (いせ町)→(川村)	4月5日	折紙・1通	い 1709-4

書状

(清助殿承知仕る間ようす承る所御心能き由等につ き書状) 松次郎→奥田平治様	8月18日	罫紙・1通	い 1399-14
(金310円この者へ御渡し下されたく、出郷くだされ たきにつき書状) 丞→鷗汀堅兄玉案下	(近代)1月11日	横切継紙・1通	い 1401-108
書留郵便物受取証(番号伏四五―) ナゴヤ市木挽町神 戸銀之助内長尾義助方→京都市今出川宝町西へ入ル中村宗 哲		(郵便書留用 紙)・1通	い 1401-169
(安産祈願並びに平左衛門殿一件他につき書状) 葵園 →姉君	臘月19日	青色罫紙(一ツ 綴)/(10行)・1 綴	い 1566-3
(御祝誼種々取揃につき御方々様へ御礼の旨書状) 分左衛門→宗家様	臘月19日	横切継紙・1通	い 1566-16
(安太がもてあそび迷惑し智鯉鮒も近々埒明けるべ き旨書状) 尾崎十右衛門→永田清三郎様	12月24日	横切継紙・1通	い 1568
(中元の御祝儀の礼状) 九兵衛→茂元御大人	12日	横切継紙・1通	い 1576
(8日朝大津へ参り11日大田着の旨ほか書状) 能とや 直次郎→橋口(虫損)屋様・亀吉様・伊丹屋様・柴田様	巳[](虫損)12日	横切継紙/(虫 損甚大)・1通	い 1578
(昨日早速遣し下された逸物を漸く今日受取の旨書 状) 上の町→御大人様	5月朔日	切継紙・1通	い 1597-2-11
(壺本9月切の件が納得ならば逸物早々遣すべき旨ほ か書状) 上の町→神御大人	29日	横切継紙・1通	い 1597-2-13

家/書状

(金子1両受取御礼並びに金子指引書付) 平治郎→神戸分左衛門様	7月15日	横切継紙・1通	い 1615-3
別啓(当春下向の節紅粉絵に好あり頼み遣わした旨ほか書状) *後欠		切紙・1通	い 1615-4
(今日昼後伺うので彼人御引合置くべき旨書状) →貴鳳		横切継紙/(い 1615-7-1~23は紙繕一括)・1通	い 1615-7-1
(附替諸事追振につき断書拵置くよう書状) 上の町→元町様		横切継紙・1通	い 1615-7-2
(京竹号1、2枝拝領したきにつき成丈満開でない所を御手折せ願いたき旨書状) 正状→茂元君	5日	横切継紙・1通	い 1615-7-3
(経堂行2通を上覧添削かつ利足金高御書入れ下さるよう書状) 上の町→元町様	27日	横切継紙・1通	い 1615-7-4
(経堂金子一時御渡しになれば尚更世話成しがたき旨ほか書状) *(端裏書)「内事御談」	(晦)	横切継紙・1通	い 1615-7-5
(昨夕十抱並びに半印同道にて取扱方報告の書状) 上の町→元町様	28日	横切継紙・1通	い 1615-7-6
(只今東屋敷より帰宅にて直様参上のところ是より一睡する旨書状) 九兵衛→分左衛門様	6月21日	横切紙・1通	い 1615-7-7
(明朝未明岡氏へ相越につき持参物の了簡の書状) 上の町→元材木町様	26日	横切継紙・1通	い 1615-7-8
(逸物中々取らず持帰りしがひねり筋ではなきにつき心配せぬよう書状) 上の町→元材木町様	朔日	横切継紙・1通	い 1615-7-9
(頃日御相談の一条引合につき濃州様分御注文の通りの旨ほか書状) *「内密拝上」と注記あり 天九	18日	横切紙・1通	い 1615-7-10
(東たずさえ品々につき肴・青物買添え人足に持たせるよう書状) 上の町→元材木町様	26日	横切継紙・1通	い 1615-7-11
(東へ遣わす件は別紙の通りの旨書状) 内事貴鳳	2日	切紙/(い 1615-7-12-1でい 1615-7-12-2を巻込)・1通	い 1615-7-12-1
(昨日御出のところ主人を御待せした御尋ねの書状) 中根嘉左衛門内加藤伊兵衛→天満屋九兵衛殿	6月2日	横切継紙・1通	い 1615-7-12-2
(彼金子只今受取の旨書状) 上の町→元町様	晦日	切紙・1通	い 1615-7-13
①(御書面の趣につき御証文1通戻すので入手すべき旨書状)、②覚(正金2分・札金100両預り) *(端裏書)「五月七日弥四郎、同九日天九相渡」 ①天九→神戸御大人、②天満屋九兵衛[印]→神戸文左衛門様	②午5月9日	横切継紙/(①と②は一紙)・1通	い 1615-7-16
(一条につき参上御咄の他遣ひ物相談もあれば待合うべき旨書状) 上材木町→神戸大君	25日	横切継紙・1通	い 1615-7-17
(頃は兩人出府されて心懸の御馳走の御礼ほか近況につき書状) むねより→茂元君	正月14日	横切継紙・1通	い 1615-8
(今日出府のつもりが俄に用事出来につき一両日延引の旨書状) 四郎左衛門→御姉君様	3月28日	横切継紙・1通	い 1615-9-1

(御講金の件も追て私が罷出る旨承引置くよう追記)	28日	小切紙/(い 1615-9-2はい 1615-9-1に巻 込)・1通	い 1615-9-2
口演(過当の品々および御馳走の礼状) 松軒→文左衛門様	12月22日	横切継紙・1通	い 1615-15
(疱瘡御礼を御申受したき旨書状) 宣行→葵園大人	27日	横切継紙・1通	い 1615-18
(栄次郎来月5日に祝盆の積りにつき御安慮するよう書状) 犬飼藤九郎→神戸文左衛門様	11月29日	横切継紙(桃色宿紙)・1通	い 1615-19
鬱談(平左衛門始末方・犬飼年賦金始末柄につき) うね→茂元君		横切継紙・1通	い 1615-20
(肴贈答お礼の追伸および「池寒草」など詠草)		横切継紙・1通	い 1615-21
(頃日出府の節の馳走など御礼および横田三富両家へ寒見舞書状遣すようお願いの書状) 弥左衛門→文左衛門様	師走15日	横切継紙・1通	い 1615-22
(栄次郎お内輪に心配ありしが元へ復すにつき御安意下さるよう書状) むねより→分左衛門さま	臘月20日	横切継紙・1通	い 1615-23
覚(高雄茶1斤大極上葉代銀10匁の旨) 布又右衛門→神戸分左衛門様	巳9月7日	切紙・1通	い 1640-7-5
(先日高雄茶差下しにつき御落手くだされたき旨書状) 布屋又右衛門→神戸分左衛門様	9月17日	切紙・1通	い 1640-7-7
(前方より仰せの高雄茶の延引は用捨されたき旨ほか書状) 布屋又右衛門→神戸分左衛門様	9月7日	横切継紙/(い 1640-7-8-1~2 は巻込一括)・1 通	い 1640-7-8-1
(この品は何方へも売物には出ず去方に払いたき旨ほか追啓) 又右衛門→神戸分左衛門様	7日	切紙・1通	い 1640-7-8-2
(恋話のもつれ等につき極内々の書状) とく拝→御いんきやうさま御宛極内之事	20日	横切継紙・1通	い 1655-10-7-1
(手切金頂戴等につき書状) * (紙背)「ニ」とく拝→知水殿御受内事	23日	横切継紙・1通	い 1655-10-7-2
(南野平左衛門の進退につき書状) 上の町→元材木町様上	11月	小切紙・1通	い 1666
(加増の祝儀への答礼状) 棚橋喜左衛門→犬山屋文左衛門様	正月16日	横切継紙・1通	い 1686
(御上の世話にて当年はそのままの旨報知につき書状) ゆ川三九郎→神戸弥左衛門様	11月6日	横切継紙・1通	い 1695
(野垣殿へ人御遣わしの委細等承知につき書状) 同(神戸)弥左衛門→神戸分左衛門様	9月12日	横切継紙・1通	い 1712
(中川三九郎江戸より不幸も忘れる程大悦び御知らせ申したく手紙お送りにつき書状) 同(神戸)弥左衛門→神戸分左衛門様	2月11日	横切継紙・1通	い 1719
(只今私方へ御出でにつき書状) 親客→可楽様	9月27日	横切紙・1通	い 1722
①(道中無事に到着の旨御礼ほか書状)、②口上(善次郎様御家内御目見え御拝領の御礼) ①刑部八右衛門→河合嘉兵衛様	①5月①19日	横切継紙・1通	い 1742

家/書状

(暑中御尋の紙面・お酒の礼状) 笹岡又五右衛門→犬山屋孫右衛門様	6月17日	切継紙/(い1749-1~8は紙縫一括)/(い1749-1-1~5は紙縫一括)/(紙縫りに帯付「神戸孫左衛門様 杉山弥一左衛門」)・1通	い 1749-1-1
(暑中御尋として1樽遣置の礼状) 松本清右衛門→犬山屋孫右衛門様	6月17日	切紙・1通	い 1749-1-2
(暑中御尋として1樽遣置の礼状) 間宮沢右衛門→犬山屋孫右衛門様	6月15日	切紙・1通	い 1749-1-3
(お酒1樽御恵投の礼状) 三枝弥一左衛門→犬山屋孫右衛門様	6月17日	切継紙・1通	い 1749-1-4
(暑中御尋として1樽遣置の礼状) 柴田伊右衛門→犬山屋孫右衛門様	6月30日	切継紙・1通	い 1749-1-5
(鹿末の品歳尾の御祝儀に差上の旨書状) 神戸弥左衛門→神戸文左衛門様	臘月25日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1769-1-3
(御肴2尾下されし礼状) 千竹や甚兵衛→犬山屋嘉兵衛様	6月22日	横切継紙・1通	い 1770
(和寿の件につき祐氏より趣向の趣は一概に趣向の通ともいえぬ旨書状) 親客→大羽黒下間丈	9月20日	切継紙・1通	い 1774
(旧臘は何かと御世話になりしにつきこの品御受納下さるよう書状) 辻理兵衛→川合嘉兵衛様	正月8日	切継紙・1通	い 1780
(今日御閑暇あれば伊勢屋隠居他2名お見えにつき来られるよう書状) 文左衛門→忠治様・九兵衛様	正月6日	切継紙・1通	い 1792
口上(昨日約束のつほかたすミはしたものがあれば遣すよう頼み) 神戸内兵治	2月11日	小切紙・1通	い 1797
(5両御使へ差上げた旨書状) 京町→元町様御返事	23日	切紙・1通	い 1803-7
(懸物3幅茶碗2箱受取し旨・当分御入用金10両差上の件はまず6両差上げる旨ほか書状) 京町→元町様御下事	卯月23日	切継紙/(い1803-8-1でい1803-2を巻込)・1通	い 1803-8-1
(この間の金子手切になり又々10両計調達するべき旨ほか書状) 京町拝上→元町様奉復	5日	切継紙・1通	い 1803-8-2
(新田御入用金と外に2両差上げにつき受取べき旨書状) 七右衛門→堅吾様御用下御もとへ	天保8酉とし七夕当賀	切継紙・1通	い 1803-9
①(御利銀頂戴せし旨書状)、②覚(当西正月~6月御利銀として札金13両受取書) ①七右衛門→堅吾様、②七右衛門(花押)→神戸様	酉7月17日	横切継紙・1通	い 1803-10
(先達で預りの福田行金子200両につき書状) 七右衛門→堅吾様内事	28日	切紙・1通	い 1803-11
(御払米の事は一両日相場定まらず御引合調わざる旨書状) 京町より→元町様御請	きさらき17日	横切継紙・1通	い 1803-12
(いせ町様より御米御払なさるようとの御沙汰につき書状) 京町より→元町様用事	涅槃ノ日	切継紙・1通	い 1803-13
口上(車之町御相談の趣は何とぞ切替したき旨書状) 七右衛門→堅吾様用事	3月8日	切継紙・1通	い 1803-14
(仰せの条々につき堀切様は明後10日に御出かけな	3月8日	横切継紙・1通	い 1803-15

さる由都合能き旨ほか書状) 七右衛門→堅吾様内密			
①(先達で御取遣の懸物料その外受取の旨書状)、② 覚(金1両・1両1歩受取書) ①七右衛門→堅吾様御披、 ②七右衛門→堅吾様	②子7月19日	横切継紙・1通	い 1803-16
(川村氏よりの来書差上げにつき高家様に御留置な さるよう書状) □治拝→鈞意尊玉貴報	3月25日	横切紙・1通	い 1803-17
覚(伊勢町様行金子入御状箱受取につき) 七右衛門 [印]→元町□御旦那様	3月29日	切紙・1通	い 1803-18
(小札の事は5両分入手せし旨・益前御払金は130両上 納せし旨書状) 京町→元町様御請	7月10日	切紙・1通	い 1803-19
(御入用金10両則差上べきところ風邪平臥の旨書状) 京町→元町様御請	24日	切紙・1通	い 1803-20
(先頃麓札差上げしところ御実家様迄御廻しになり 千万の旨ほか書状) 京町→元町様御受	9日	小切継紙・1通	い 1803-21
(兼て御世話の願書両条の下書は間違いなきか伺い の書状) 永田祐九郎→神戸文左衛門様内事	8月7日	横切継紙・1通	い 1806
(栗原氏は私宅へ御出なさるようご案内の旨書状) *裏面に落書きあり 文左衛門→又兵衛様	2月2日	横切継紙・1通	い 1828
(年甫御祝詞、丹波屋金七殿の隠居所御幸町四條上ル 表家に引移りし旨ほか近況報知) *(包紙上書)「名符 神戸文左衛門殿 京師 御幸町四條上ル同苗寿作 正月」 同苗(神戸)寿作→神戸文左衛門殿几下	正月6日	横折紙/(い 1846-1~14は 紙繕一括)・1通	い 1846-1
(お頼みの金子は正金でなく札でよき旨書状) いせ 町より→文左衛門殿内用	正月28日	横切継紙・1通	い 1846-2
(持たせた金子20両受取の旨書状) しけ→文左衛門殿 御執事	2月4日	横切継紙・1通	い 1846-3
(別紙の件を京都より申越につき御覧に入れる旨書 状) 嘉市→文左衛門様内事	2月9日	横切継紙/(い 1846-2はい 1846-1で巻 込)・1通	い 1846-4-1
(寿作妻しけが坊主と訳ある様子の件につき報告の 書状) *写	2月2日	横切継紙・1通	い 1846-4-2
(京地より差越の書状ご覧に入れ明朝参上したき旨 書状) 川出嘉市→神戸文左衛門様内事	正月29日夕	横切継紙・1通	い 1846-5
(此方兩人共無事の旨ほか近況報知書状) *(包紙上 書)「のし神戸お京殿御もとへ□用 同しけ」(神戸)しけ →お京さん御もとへ	10日	折紙/(包紙 共)・1通	い 1846-6
(包紙) *(包紙上書)「犬山屋文左衛門様 嘉市」 嘉市→犬 山屋文左衛門様		包紙・1点	い 1846-7-0
(内事沙汰の件を彼地に遣したところ別紙の趣につ き内談) 川出嘉市→文左衛門様極内事	2月27日	横切継紙/(い 1846-7-1~2は 紙繕一括)/(い 1846-7-2はい 1846-7-1で巻 込)・1通	い 1846-7-1
(御園町総久娘小勇は安藤殿領分厚見郡瀬下村阿波 屋惣兵衛へ縁付の旨書付) 平松友四郎・伊東藤六	2月	切紙・1通	い 1846-7-2
(小勇在所元並びに縁付方の書付)		小切紙・1通	い 1846-8

家/書状

(先達て両親上京のところ何方に逗留か尋ねの書状) *下書 神戸文左衛門→俵屋喜兵衛様貴下	12月16日	小切継紙・1通	い 1846-9
(入用金差上につき逗留の名所申越よう伺いの書状) *「寅十二月廿三日井口江出ス京行下書」と注記あり 文左衛門 門拜無事→尊大人様拜上	12月16日	横切継紙・1通	い 1846-10
(入用金差上げるので逗留の名所を申越よう伺いの書状) *「下書」と注記あり 文左衛門門拜無事→尊大人様拜上	12月16日	横切継紙・1通	い 1846-11
(湯治は許可の由につき御積り次第お出なさるべき旨書状) *下書 文左衛門門拜→父上様拜上	卯月9日	横切継紙/(い1846-12-1~5は紙縫一括)/ (い1846-12-2はい1846-12-1で巻込)・1通	い 1846-12-1
(珍書返上につき改め入手すべき旨書状) →茂元君内密	9日	切紙・1通	い 1846-12-2
(京様へ登せの金子の事など隠居さまへ咄次第返事する旨書状) 繁→文左衛門殿内用御執事	12月26日	横切継紙・1通	い 1846-12-3
(佐兵衛へ仰遣の京都御返金の件は融通難の旨書状) 文左衛門門拜→御母上様拜上内事	12月26日	横切継紙・1通	い 1846-12-4
(封筒) * (封筒表書)「神戸様内事貴下執事 久兵衛」		封筒・1点	い 1846-12-5-0
(加筆して差上げる旨書状) *「御談」と注記あり	26日	小切継紙・1通	い 1846-12-5-1
(佐兵衛へ仰遣の京都御返金の件は融通難の旨書状) *下書 文左衛門門拜→御母上様拜上内事	12月26日	横切継紙/(い1846-12-5-2はい1846-12-5-1で巻込)・1通	い 1846-12-5-2
(取メ方につき水車を頼み小ゆふを白状させる旨伺いの書状) 上の町→元材木町様内密事	晦日	横切継紙・1通	い 1846-13
(交肴拜領の御礼および別紙は拜見せし旨の書状) 上の町→神戸御大人様密事	22日	横切継紙・1通	い 1846-14
(火伏につき礼状) 代吉	3月23日	堅切紙・1通	い 1998-18

冠婚葬祭ほか

辰次郎家誓譲り之節諸々より音物留帳	文化3年寅9月15日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 2064
大三郎様御庖瘡ニ付貫物帳	天保12年丑10月上旬	横長帳(一ツ綴)・1冊	い 2017
覚(花色絹緞子・御片衣御紋ほか代6両1分余受取書) (尾州名古屋京町いとう店〔印〕「尾州名古屋京町□□□物いとう」)→神戸分左衛門様	亥7月	横切継紙・1通	い 1589
(6両1分余別紙受取の旨書状) 次郎左衛門→分左衛門様	7月12日	横切継紙・1通	い 1590
覚(花色絹緞子・御片衣御紋他を火事見舞に指上の旨) 犬山屋分左衛門	7月9日	横切継紙・1通	い 1591
仏供米受取書(玄米5斗5升受取り約定の通り先代並びに小児方忌日に備える旨) 八事山興正寺執事 (印)→神戸分左衛門殿	明治10年1月	黒色罫紙/(8行)・1通	い 1342
結婚届 *雛形 右何ノ某→戸長宛		横切継紙・1通	い 1399-42

送り目録(綿入胴着1つ他安井光啓殿遺留品送付につき) 神戸店→故安井光啓殿未亡人様	8月23日	「神戸氏蔵」用箋/(11行)・1通	い 1399-52
三々九式法		横切紙・1通	い 1399-99
(寿太郎弟の家譜)		横半半/(い1403-89~90は一綴)・1冊	い 1403-89
(寿太郎弟の家系図)		縦紙/(虫損あり)・1通	い 1403-90
(封筒) (印「神奈川県横浜区伊勢町二丁目三十巻番地金子文輔」)→愛知県名古屋木挽町二丁目廿三番地神戸分左衛門殿要約親展	14年4月16日	封筒/(い1403-124~128は一綴)/(クリップ除去)・1点	い 1403-124
(小川龍二、土浦藩中小姓頭取真納正方長女その婚姻纏まるにつき書状) 金子文輔→神戸文佐右衛門様御取扱	4月15日	横切継紙・1通	い 1403-125
(茨城県士族正方長男真納正秀家族書上覚)		横切継紙・1通	い 1403-126
(小川龍二縁談にて本人先年金井より離縁を始め出京後今日まで数年間漸く3、4回文通致したるのみにて、沉んや本人身上については殆ど知らず親戚とは心得ざるにつき書状) (神戸)文左衛門→(金子)文輔様侍史	4月20日	横切継紙・1通	い 1403-127
(過日内務省記録写字生に命じられたるなどにつき書状) 文手→有年老兄様玉机下	11月5日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1403-128
口上之覚(今般御不幸につき龕品進覧の旨) *控 犬山屋文左衛門→野田様	8月6日	切紙・1通	い 1839
(赤飯を配った人名・寺院名など書付)		横長半/(一ツ綴)・1冊	い 1864-12
(御婚礼首尾よく済みしにつき書付)		縦切紙・1通	い 1998-20

旅行

覚(伊吉小田原路用・宿代他メ金10兩余の書上)		小切継紙・1通	い 1769-1-2-3
-------------------------	--	---------	--------------

墓所・寺・神社

覚(瓦葺御志金5兩受納につき) 長徳寺(印)→神戸分左衛門殿	享保9年卯4月	縦紙・1通	い 1308-29
引請申証文之事(旦那寺普請のための講金50兩預かり証文) 講金預り引請人柏屋小兵衛・萬屋吉右衛門・角屋吉兵衛・神戸文左衛門→御連中様	弘化4未年11月	縦紙・1通	い 1923
(包紙) *(包紙上書)「犬山神戸弥左衛門様 関浄性寺」 関浄性寺→犬山神戸弥左衛門様		包紙・1点	い 1614-1-4-0
覚(金10兩預りの内1兩今便返済する旨) むねより→文左衛門様	6月29日	横切継紙・1通	い 1614-1-4-1
覚(加藤作右衛門祠堂金として3兩預りの旨) 神戸昌吾→神戸文左衛門様	安政元12月	横切継紙・1通	い 1614-1-4-2
覚(金15兩受取書) 関浄性寺→犬山神戸弥左衛門様	閏7月23日	切紙・1通	い 1614-1-4-3

家/墓所・寺・神社

(金15両忝なく受納し慥かに先方へ渡す旨書状) 浄性寺→神戸弥左衛門様机下	閏月23日	横切継紙・1通	い1614-1-4-4
(輝東庵普請の戸代金につき別紙を御渡し下さるようお願いの書状) 三河屋治右衛門(印)→神戸文左衛門様	如月15日	横切継紙/(い1614-4-1~4は紙縫一括)・1通	い1614-4-1
覚(金9両1分受取書) 栗田豊三郎→神戸様	2月15日	切継紙・1通	い1614-4-2
覚(障子ほか代メ567匁書上) 栗田豊三郎→輝東庵様御納附様	正月	横切継紙・1通	い1614-4-3
(文左衛門昨日帰宅につき戸代金の件で小牧まで御越下さるよう書状) 輝東庵→三川屋治右衛門様	2月15日	横切継紙・1通	い1614-4-4
覚(7月17日銀5匁御本坊油料他メ金1兩ト銀7匁につき)	(近世)	横切紙/(虫損あり)・1通	い1394-17
例年定(100文長徳寺他メ12本銭1貫200文外28文書上覚)		横切継紙・1通	い1397-16
覚(50両祀物返金・長徳寺仏供米など書上)		横折紙/(虫損あり)・1通	い1397-36
覚(金2兩2分10人分調達金請取につき) 熱田御役所(印)→犬山屋(神戸)文左衛門殿	丑11月	堅切紙(木版刷)・1通	い1400-110
覚(白米1斗余受取書) 勝鬘寺納所[印「大津町勝鬘寺納所」]→神戸孫右衛門様	12月28日	堅切継紙・1通	い1981-23
米受取書(先代並びに御小児供養の為玄米5斗余受取書) 八事山興正寺納所(印)→神戸分左衛門殿	明治9年1月10日	黒色罫紙/(8行)・1通	い1900
証(仏供米料金12銭5厘受取につき) 大法寺納所→神戸分左衛門様貫下	(明治)10年2月3日	切継紙・1通	い1401-75
記(金50銭明治10年御油料請取につき) 神宮宿直所[朱印「熱田神宮」]	(明治)10年2月9日	横切継紙・1通	い1399-10
記(金50銭御饌料収納につき) 豊受大神宮祈禱書[印「豊受大神宮神社之印」]	明治17年2月11日	横切紙/(木版)・1通	い1399-33
記(金50銭御饌料収納につき) 皇大神宮祈禱書[印「皇大神宮神社之印」]	明治17年2月11日	横切紙/(木版)・1通	い1399-34
記(金50銭御饌料収納につき) *い1399-34と同文 皇大神宮祈禱書[印「皇大神宮神社之印」]	明治17年2月11日	横切紙/(木版)・1通	い1399-35
記(金30銭ほか神納につき) 津島神社社務所[印「津島神社社務所印」]→神戸新田御中	(明治)[](虫損)7月30日	横切紙/(虫損あり)・1通	い1399-63
記(金30銭神納につき) 津島神社社務所[印「津島神社社務所印」]→海西郡神戸新田	(明治)18年7月11日	横切紙/(虫損あり)・1通	い1399-64
記(金1円神納につき) 津島神社社務所[印「津島神社社務所印」]→海西郡神戸新田神戸分左衛門殿	明治20年8月13日	横切紙・1通	い1399-65
記(金30銭神納につき) 津島神社社務所[印「津島神社社務所印」]→神戸新田神戸文左衛門殿	(明治)22年7月8日	横切紙/(虫損あり)・1通	い1399-96
(熱田頭人) []町大原平馬□		札/(虫損甚大)/(木版)・1点	い1402-238
(熱田馬頭人) たじま町鏡味喜[]		札/(虫損甚大)/(木版)・1点	い1402-239
(熱田頭人) しんぐう坂町磯部[]		札/(虫損甚大)/(木版)・1点	い1402-240

証(金10銭請取神納につき) 安井重直(印)→神戸様	(明治)25年11月20日	横切紙/(い 1402-299~313 は一綴)・1通	い 1402-299
左官仕訳見積書(長総寺秤高塀塗替48円55銭) 名古屋市中区南長島町左官小路請負業花木久七 通称左官久助 →神戸様	大正2年6月1日	青色罫紙(一ツ 綴)/(10行)・1 綴	い 1482-21
講			
覚(鳥目218文御講銭御冥加共につき) 長徳寺→神戸 孫左衛門様	(近世)12月27日	横切紙/(い 1395-1~40は 一綴)・1通	い 1395-1
証(半期分講金利足1分支払書) 神戸文左衛門→松尾宗 五郎様	万延元年11月	切継紙・1通	い 1864-7
(200口50両神戸他メ4788口此金1197両金銭書上覚)		折紙・1通	い 1396-29
覚(金2分9匁4分3厘1口分掛金他メ差引金5兩13匁7 分1厘御渡し杉山氏頼母子皆済につき) 服部後家→ 神戸文左衛門様	丑6月18日	横切継紙・1通	い 1400-32
(正金3兩正万寺町長徳寺報恩講執行にて拙僧共へ御 志落手受取証) 右寺親類惣代誓入寺・同断圓盛寺・同断 願庭寺→神戸文左衛門様	未10月24日	堅紙・1通	い 1400-107
頭番覚(最初当金100両渡し残金2分利10ヶ年済ほか 書留)		横切継紙・1通	い 1400-108
覚(金30両長徳寺建立金入用借用につき) 嶋村屋武左 衛門(印)→犬山屋文左衛門殿	酉5月27日	堅切紙・1通	い 1400-109
(大島又八秋葉講につき書付)		札・1点	い 1401-189
(金31銭につき書付)		札・1点	い 1401-190
記(30人講5会目金3円87銭7厘掛金につき) →神戸仲 雄殿		小切紙/(貼紙 あり)・1通	い 1401-191
(30人講8会目金3円75銭7厘カケ金につき) [印「三十 人講取締之印」]→神戸仲雄殿		小切紙・1通	い 1401-192
(金3円75銭7厘大当講にて差引金銭書上)		小切紙・1通	い 1401-193
(30人講6会目金3円84銭カケ金につき) [印「三十人講 取締之印」]→神戸仲雄殿		小切紙・1通	い 1401-194
(30人講7会目金3円80銭カケ金につき) 取締[印「三十 人講取締之印」]→神戸仲雄殿		小切紙・1通	い 1401-195
記(30人功講掛金12円請取につき) 世話方→神戸仲雄 様	(明治)10年4月18日	小切紙・1通	い 1401-196
記(金11円1銭2会目掛金受取につき) 三十人講取締[印 「三十人講取締之印」]→神戸仲雄殿	明治10年3月15日	小切紙・1通	い 1401-197
記(金10円9銭3会目懸金受取につき) 三十人講取締[印 「三十人講取締之印」]→神戸仲雄殿	明治11年4月9日	切紙・1通	い 1401-198
記(金3円91銭4会目掛金受取につき) 三十人講取締[印 「三十人講取締之印」]→神戸仲雄殿	明治11年8月7日	切紙・1通	い 1401-199

保険

火災保険申込證書(名古屋市和泉町50番戸に対する火災保険証書) 申込人神戸分左衛門→日本酒造火災保険株式會社御中	明治32年11月29日	「神戸氏蔵」用箋/(11行)/(い1866-1~23は一綴)/(い1866-1-1~2は一綴)・1通	い1866-1-1
(名古屋市和泉町50番戸絵図) 申込人住所氏名愛知県海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門		30.3×20.9・1鋪	い1866-1-2
火災保険申込證書(名古屋市木挽町27番戸に対する火災保険証書) 申込人神戸分左衛門→日本酒造火災保険株式會社御中	明治32年11月29日	「神戸氏蔵」用箋/(11行)/(い1866-2-1~2は一綴)・1通	い1866-2-1
(名古屋市木挽町27番戸絵図) 申込人住所氏名愛知県海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門		30.3×20.9・1鋪	い1866-2-2
火災保険申込證書(名古屋市皆戸町6番戸~12番戸に対する火災保険証書) 申込人神戸分左衛門→日本酒造火災保険株式會社御中	明治32年11月29日	「神戸氏蔵」用箋/(11行)/(い1866-3-1~2は一綴)・1通	い1866-3-1
(名古屋市皆戸町6番戸~12番戸絵図) 申込人住所氏名愛知県海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門		30.3×20.9・1鋪	い1866-3-2
火災保険申込證書(名古屋市木挽町23番戸・24番戸に対する火災保険証書) 申込人神戸分左衛門→日本酒造火災保険株式會社御中	明治32年11月29日	「神戸氏蔵」用箋/(11行)/(い1866-4-1~2は一綴)・1通	い1866-4-1
(名古屋市木挽町23番戸・24番戸絵図) 申込人住所氏名愛知県海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門		30.3×20.9・1鋪	い1866-4-2
火災届書(皆戸町1丁目14番戸より出火致し保険証書第15947号契約の被保険物一部類焼につき届書) 名古屋市木挽町神戸分左衛門→日本酒造火災保険株式會社御中	明治33年6月22日	青色罫紙/(10行)/(い1866-5~9は一綴)・1通	い1866-5
保険弁償金仕拂請求書(類焼被害の保険証書第15947号の保険金450円94銭請求書) 被保険者神戸分左衛門・右証人三輪定次郎→日本酒造火災保険株式會社御中	明治33年6月22日	青色罫紙/(10行)・1通	い1866-6
火災損害見積書(第15947号について損害見積高190円89銭4厘ほか書上) 神戸分左衛門→日本酒造火災保険株式會社御中	(明治)33年6月22日	青色罫紙/(10行)・1通	い1866-7
火災原因取調書(火元名古屋市皆戸町1丁目14番戸、火災の原因はランプを倒し蚊帳についたことにつき書上) 被保険者名古屋市神戸分左衛門→日本酒造火災保険株式會社御中	明治33年6月22日	青色罫紙/(10行)・1通	い1866-8
(①再建用材木など見積り書)、②保険金領収證(第15947号保険金として150円94銭領収につき) *写①名古屋市桑名町野田正次郎、②愛知県海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門→日本酒造火災保険株式會社御中	②明治33年7月3日	青色罫紙(一ツ綴)/(12行)・1冊	い1866-9
第六參〇九參號火災保険證書(名古屋市木挽町・皆戸町・塩町・和泉町・車町所在物件に対する保険証書) 名古屋市築町七丁目參四番地明治火災保険株式會社支店長心得橋本約三郎(印)→保険契約者神戸分左衛門殿	明治33年8月25日	印刷用紙・1通	い1866-10
第一五九四七號火災保険証書(名古屋市皆戸町6番戸~12番戸住宅等に対する保険証書) 日本酒造火災保険株式會社社長渡辺徹(印)→被保険者神戸分左衛門殿	明治33年11月29日	印刷用紙・1通	い1866-11

(手数料支払いの件につき願書) 井上庄五郎→神戸分左衛門様	第8月31日	「日本酒造火災保険株式會社名古屋出張所」用箋/(10行)・1通	い 1866-12
保険料領収之證(36円3銭領収書) 日本酒造火災保険株式會社名古屋支店長萩原増次郎(印)→神戸分左衛門殿	明治33年12月13日	印刷用紙・1通	い 1866-13
(第1579~1583号保険契約満期通知) 名古屋市宮町貳丁目日本酒造火災保険株式會社名古屋支店→市内木挽町二丁目神戸分左衛門殿	明治35年12月10日	ハガキ・1通	い 1866-14
(第77725号保険契約満期通知) 名古屋市榮町七丁目明治火災保険株式會社名古屋支店→当市木挽町三丁目神戸分左衛門殿	明治35年8月15日	ハガキ・1通	い 1866-15
第一五九四六號火災保険証書(名古屋市木挽町23番戸・24番戸住宅等に対する保険証書) 日本酒造火災保険株式會社社長渡辺徹(印)→被保険者神戸分左衛門殿	明治32年11月29日	印刷用紙・1通	い 1866-16
第一五九四五號火災保険証書(名古屋市和泉町50番戸住宅等に対する保険証書) 日本酒造火災保険株式會社社長渡辺徹(印)→被保険者神戸分左衛門殿	明治32年11月29日	印刷用紙・1通	い 1866-17
第一五九四四號火災保険証書(名古屋市木挽町2丁目27番戸住宅等に対する保険証書) 日本酒造火災保険株式會社社長渡辺徹(印)→被保険者神戸分左衛門殿	明治32年11月29日	印刷用紙・1通	い 1866-18
第一五九四三號火災保険証書(名古屋市木挽町2丁目27番戸土蔵等に対する保険証書) 日本酒造火災保険株式會社社長渡辺徹(印)→被保険者神戸分左衛門殿	明治32年11月29日	印刷用紙・1通	い 1866-19
名支第二〇六號火災保険險證券(名古屋市末廣町38番戸住宅等に対する保険証書) 日本酒造火災保険株式會社名古屋支店長萩原増次郎(印)→保険契約者神戸分左衛門殿	明治33年8月28日	印刷用紙・1通	い 1866-20
名支第二〇五號火災保険險證券(名古屋市和泉町68番戸~70番戸住宅等に対する保険証書) *あい紙付随 日本酒造火災保険株式會社名古屋支店長萩原増次郎(印)→保険契約者神戸分左衛門殿	明治33年8月28日	印刷用紙・1通	い 1866-21
名支第二〇四號火災保険險證券(名古屋市白川町100番戸に対する保険証書) *礼紙共 日本酒造火災保険株式會社名古屋支店長萩原増次郎(印)→保険契約者神戸分左衛門殿	明治33年8月28日	印刷用紙・1通	い 1866-22
保険金領収書(金833円33銭火災保険金領収につき) * (端書朱書)「其方御扣へ」 保険契約者神戸分左衛門→明治火災保険株式會社殿	明治43年3月27日	印刷物・1通	い 1399-40

文化活動

和歌・俳句

(中山大納言ほか覚)		堅切紙/(破損あり)・1通	い 1396-35
記引(奥州藤原氏・岩瀬川に関する俳句など書付)		半/(ひねり一綴)・1冊	い 1865-4

漢詩

(「曉氣晴通辛丑曆・・・」漢詩書付)		切紙・1通	い 1732
--------------------	--	-------	--------

(漢詩) 油老圃平拝草(印「葵園」)		野紙/(7行)・1通	い1775
--------------------	--	------------	-------

目録・書状等

覚(古門筆3副対1箱他2品書上)		堅切紙/(い1396-1~38は一綴)・1通	い1396-1
(床探幽山の字ほか懐石など書上覚) *墨消あり/(裏面に三谷勘四郎より神戸文左衛門宛年始挨拶状などあり)		折紙・1通	い1399-16
(頓河法師四半切1幅送り有り難きにつき書状) 坂戸生拝→神戸分左衛門殿	1月4日	横切継紙/(い1401-81~100は一綴)・1通	い1401-81
対價御積書(朱塗吸物椀を調進につき御用命じられたき旨) 津田要之助[印「堅清」]→神戸様		横切継紙/(い1456-1~3は一綴)・1通	い1456-1
(当春御用の洗朱塗喰初形吸物椀20人前分の下画及び対価記送付の旨) 津田要之助→神戸御雅主様尊下	6月10日	横切紙・1通	い1456-2
(封筒) 京都室町通榎木町上津田要之助(印)→名古屋市木挽町神戸分左衛門様御親展	(明治35年)6月10日	封筒・1点	い1456-3
(昨日御借の御所持の品々別紙の通り返す旨書状) 伊藤茂兵衛・永田宇右衛門→犬山屋文左衛門様	6月晦日	堅継紙・1通	い1615-28
(悴同苗勝善治が恩借置の御釜1ツ持たせたので受取よう書状) 榎山奥内→神戸分左衛門様	3月12日	切紙・1通	い1615-29
(加納役人中へ御所持の三福封進物・大絹一軸花立薄板を貸すよう頼みの書状) 重松忠右衛門・伊藤茂兵衛・永田宇右衛門→犬山屋文左衛門様	6月29日	堅継紙・1通	い1615-33
①(宇治や・正七など日記)、②(茶の御礼・うすめたての事を唯助へ伝言した旨ほか書状) *①後欠	①9日~11日、②12日	横切継紙/(①と②は表裏)・1通	い1637-1
(茶碗ひらき旁一会催した旨ほか書状) *前後欠		横切紙・1通	い1637-2
(宇治柿一器御恵披の御礼ほか書状) *前後欠		横切紙・1通	い1637-3
(兼て預り置の手鑑は最早事済のようにつき御落掌されるよう書状) 浅野屋次右衛門→神戸分左衛門様	極月15日	横切継紙・1通	い1646
(昨日物語の奈良風爐を何とぞ忍借したき旨願いの書状) * (包紙上書)「榎山奥内殿奈良風爐かし候節手紙」榎山奥内→神戸分左衛門様	戌6月20日	切継紙(桃色宿紙)・1通	い1648
(返事・金子・一札など送付につき書状) 表具屋新店→元町風流屋様内展	小春7日	横切継紙・1通	い1677
(竹や町を風帯一文字の中に用いるべき旨書状) 源兵衛→文左衛門様	2月14日	小切継紙・1通	い1746
(10・11日頃下着の旨および有景よりふじの絵指上の旨書状) 九兵衛→文左衛門様	卯月8日	切継紙・1通	い1760
(鎌倉漢東1ツ・白地小牡丹古金襴1ツ・清水切1ツの書上目録) *控		小切紙・1通	い1850-2

注文書・納品書・領収書等

(包紙) * (包紙上書)「犬飼証文式通入」/「上 小測」の紙背文書		包紙/(い1258-1~2を一括)・1点	い 1258-0
売渡申道具之事(熊川茶碗・宗旦一新物の代金10両受取) 小林舎人(印)→二宮平兵衛殿	宝暦10庚辰12月	堅切紙・1通	い 1479-3
借用申金子之事(金10両借用) 小林舎人(印)→二宮平兵衛殿□	宝暦10庚辰12月	堅切紙・1通	い 1308-79
覚(古文字脇差身1本・二ノ切鯨1本代10両2歩受取につき) 犬飼藤九郎(印)→神戸弥左衛門殿	弘化5年申2月14日	堅紙・1通	い 1258-1
覚(古文字脇差身1本他3品受取並びに印籠ほか1品返し進上につき) 犬飼藤九郎(印)→神戸弥左衛門殿	弘化5年申2月14日	堅紙・1通	い 1258-2
書留郵便物受取証 京都市烏丸通夷町奥村吉平→なごや木挽町神戸分左衛門 *い1399-19~22は関連文書	9月7日	印刷物・1通	い 1399-19
(頼み物早速お送り下され請取につき書状) 奥村吉平→神戸様	9月8日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1399-20
記(金2円30銭他×金11円7銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様御取次中	9月8日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1399-21
記(金3円80銭他×金12円33銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様御取次中	7月5日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1399-22
記(金3円25銭ほか代金×金23円96銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	3月2日	横切紙・1通	い 1399-38
記(金65円請取につき) 野田庄蔵(花押)→神戸様	明治33年5月29日	横切紙・1通	い 1399-48
記(金150円但小井戸茶碗ほか拝受につき) 伊藤甚助(印)→神戸分左衛門様	明治30年8月8日	横切紙・1通	い 1399-49
記(代金65円請取につき) 青木文七(印)→神戸分左衛門様	明治34年6月18日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1399-88
(封筒) * (封筒表書)「神戸有政様要書入 伊藤保久」 伊藤保久→神戸有政様要書入		封筒・1点	い 1401-10
記(金80円頂戴につき) 伊藤吉六(印「伊藤」)→神戸様	(明治)31年7月21日	切紙・1通	い 1401-11
(品代金差し出し下され有り難く、親父様へ宜しくお伝え下さりたき旨書状) (伊藤)保久→(神戸)有政様	(明治)31年7月21日	横切紙・1通	い 1401-12
証(茶碗代金25円頂戴につき) 伊藤吉六(印)→神戸銀之亮様	(明治)31年6月15日	切紙・1通	い 1401-13
記(古戸々屋茶碗銘ときわ残追金分10円受取につき) 山金[印「名古屋市長島町五十壱番戸山金辻鎌吉」]→神戸様	明治31年5月20日	切紙・1通	い 1401-14
(封筒) * (封筒表書)「神戸有政様貴酬 伊藤吉六」 伊藤吉六→神戸有政様貴酬		封筒・1点	い 1401-15
証(如心富茶杓など代金25円拝受につき) 伊藤吉六(印「伊藤」)→神戸銀之助様	明治31年1月28日	切紙・1通	い 1401-16
(茶杓代金御回し下され有り難く落手につき書状) (伊藤)保久→(神戸)銀之助様	(明治)31年1月28日	横切紙・1通	い 1401-17
書留郵便物受取証(686番) 名古屋氏木挽町神戸分左衛門→京都烏丸通夷川上ル奥村吉平	(明治)31年7月3日	印刷物・1通	い 1401-37

家/文化活動/注文書・納品書・領収書等

書留郵便物受取証(208番) 名古屋氏木挽町神戸分左衛門→京都烏丸通夷川上ル奥村吉平	(明治)31年9月1日	印刷物・1通	い1401-38
書留郵便物受取証(982番) 名古屋氏木挽町廿七番戸高神戸分左衛門→京都烏丸通夷川上ル奥村吉平	(明治)31年7月1日	印刷物・1通	い1401-39
小包受取証(第690番) 木挽町神戸分左衛門→京都烏丸通り夷川上ル奥村吉平	(明治)8月4日	印刷物・1通	い1401-40
記(山水図4円30銭他メ金25円81銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	6月初	横切継紙・1通	い1401-41
小包送票(第184号)	(明治)31年1月20日	印刷物・1通	い1401-42
記(吉雨山水図金3円80銭他メ金10円75銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様御殿口中	8月29日	横切紙・1通	い1401-43
記(文晁千鳥の画金3円45銭他メ金19円95銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	12月30日	横切継紙・1通	い1401-44
記(一文字茶杓金2円他メ金12円5銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	6月18日	横切継紙・1通	い1401-45
(御預かり分も日限までにご注文通り出来申にて、金50銭請取につき通知) 奥村吉平[印]→神戸様	11月	横切継紙・1通	い1401-46
覚(玉堂画山水金2円50銭他メ金4円87銭請取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	6月	横切継紙・1通	い1401-47
覚(美人図金3円他メ金3円45銭につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	4月	切継紙・1通	い1401-48
書留郵便物受取証(404番) 名古屋市木挽町神戸銀之亮→京都今川室町西エ入中村宗哲	(明治)32年5月3日	印刷物・1通	い1401-49
覚(桐中束々1個金5円他メ5円38銭請取につき) 塗師(中村)宗哲(印)→神戸様	亥5月	縦切紙・1通	い1401-50
(束々1箱代金5円38銭為替券送付にて請取につき書状) 中村宗哲拝→神戸様	5月4日	横切継紙・1通	い1401-51
記(蓮華式泥硯代金3円50銭落手につき) (三輪)可墨→神戸様	明治32年11月29日	横切紙・1通	い1401-52
(耕石山水等お渡しにて代金3円落手につき書状) 墨拝→鷗汀老台	3月28日	横切紙・1通	い1401-53
(昨日は御手管金子御回し下され落手につき書状) 墨拝→鷗汀老台	12月28日	横切継紙・1通	い1401-54
記(扶持米など金2円落手につき) 三輪可墨(印)→神戸鷗汀君	明治29年12月23日	横切紙・1通	い1401-55
(蘭嶋小幀お預り2円差し上げにつき書状) 墨拝→鷗汀老台尊下	7月16日	横切継紙・1通	い1401-56
(金生公子画落手にて金1円請取につき書状) 墨拝→鷗汀老台	1月27日	横切紙・1通	い1401-57
記(丹羽嘉言屏1幅ほか代金2円50銭落手につき) 三輪(印「三輪」)→神戸君	7月6日	切紙・1通	い1401-58
記(貝原益軒翁乎管ほか二軸代金3円落手につき) 三輪可墨(印)→神戸鷗汀君	明治29年4月	切紙・1通	い1401-59
記(星巖敷小局1枚ほか代金3円50銭落手につき) 三輪可墨(印「三輪」)→神戸鷗汀君	明治29年8月6日	青色罫紙/(10行)・1通	い1401-60

(嘉永樓へ立ち寄り午飯にて同伴されたきにつき書状) 墨拝→鷗汀老台	8月10日夕	横切継紙・1通	い 1401-61
記(濱田一葱翁1幅代金3円落手につき) 三輪可墨→神戸鷗汀君	明治30年12月6日	横切紙・1通	い 1401-62
記(渡辺小華塗染付茗椀六ツ箱入金3円ほか合計金13円落手につき) 三輪可墨(印)→神戸鷗汀君	明治32年7月	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-63
記(割蓋茶蓋代金2円80銭受取につき) 京都押小路通御幸町西へ入袋師友湖→神戸様	(明治)35年12月4日	切紙・1通	い 1401-84
記(香合代金15円受取につき) 角二(印)→吟秋様	明治7年7月27日	切継紙・1通	い 1401-181
証(南蛮大花入代金7円5銭落手につき) 富本重之助代理庄二郎(印)→伊藤甚助様	明治5年9月22日	横切紙・1通	い 1401-183
誌(金6円経地6枚代金受取につき) 春佳→神戸様	6月3日	横切紙/(い1402-45~63は一綴)・1通	い 1402-45
記(金5円光俊御懸物代金頂戴につき) 春佳[印]→神戸様	6月3日	横切紙・1通	い 1402-46
記(金2円25銭為家御草紙代受取につき) 春可	8月16日	横切紙・1通	い 1402-47
証(金14円懸物の料頂戴につき) 春佳→神戸様	9月16日	横切紙・1通	い 1402-48
証(金5円養叟墨跡代頂戴につき) 春可(印「恒川」)→神戸様	5月26日	横切紙・1通	い 1402-49
証(金1円頭昭歌切代頂戴につき) 春可→神戸様	7月10日	横切紙・1通	い 1402-50
記(金2円50銭宗長□□物語印金一文字代落手につき) 春可→神戸様	5月21日	横切紙・1通	い 1402-51
記(金5円阿仏真蹟歌書代頂戴につき) 春可(印「春」)→神戸様	5月	横切紙・1通	い 1402-52
記(金1円50銭為冬之歌切代落手につき) 春可→神戸様	5月	横切紙・1通	い 1402-53
記(金13円歌切経地16枚代受取につき) 春可→神戸様	4月16日	横切紙・1通	い 1402-54
記(金1枚後伏見天皇関係の懸物頂戴につき) 春可→神戸様	9月11日	横切紙・1通	い 1402-55
記(銀100目寂蓮禅門切代受取につき) 春可	9月21日	横切継紙・1通	い 1402-56
記(金2円兼好法師切代受取につき) 春可→神戸様	8月16日	横切紙・1通	い 1402-57
記(金5円50銭歌切6枚代受取につき) 春可→神戸様	4月25日	横切紙・1通	い 1402-58
記(金75銭平田先生書簡代価請取につき) はるか(印)→神戸様	明(明治)17年1月9日	横切紙・1通	い 1402-59
記(金8円雪村茅鳥代頂戴につき) 春可→神戸様	霜月11日	横切紙・1通	い 1402-60
記(金4円50銭定家御切代領収につき) 春可→神戸様	5月13日	横切紙・1通	い 1402-61
記(金2円50銭表々祓の料受取につき) 春可→神戸様	10月5日	横切紙・1通	い 1402-62
記(金21円后鳥々天王御文代頂戴につき) 春可[印]→神戸様	6月10日	横切紙・1通	い 1402-63
記(金12円小川道人運幅他メ金13円50銭受取につき) 晩香堂[印「愛知県上茶屋町晩香堂義平」]→神戸様	己6月29日	横切継紙/(い1402-89~100は一綴)・1通	い 1402-89

家/文化活動/注文書・納品書・領収書等

覚(4月11日金2両ほか差引メ4両1分3朱受取につき) とぜん(印「名古屋袋町近江屋善四郎」)→神戸様	4月晦日	横切継紙・1通	い1402-90
覚(1月2日50銭ほか差引残金1円41銭2厘5毛受取につ き) 羊鹿堂→神戸様	丑4月	横切紙・1通	い1402-91
記(金7円歩青山水幅代価受取につき) 晩香堂義平→ 神戸様	丑3月23日	横切紙・1通	い1402-92
(金2円札)		札・1点	い1402-93
記(4円雲錦詩画吸物椀10人前代相すみにつき) 道具 屋栄造(印「尾州名古屋道榮」)→神戸様	12月17日	横切紙・1通	い1402-94
記(12匁9分たんすいろいろ代金請取につき) 道く屋 栄蔵(印「尾州名古屋道榮」)→神戸様	丑3月30日	横切紙・1通	い1402-95
記(100匁まきえ足付1重他メ金2円2分5厘請取につ き) 道く屋栄蔵(印「尾州名古屋道榮」)→神戸様	丑3月31日	横切紙・1通	い1402-96
記(2円75銭鍍石梅竹之図代金請取につき) 加見屋半 助(印「名古屋玉屋町加見屋」)→神戸文左衛門様	7月24日	横切継紙・1通	い1402-97
覚(12円50銭書史彙傳代金受取につき) □屋平兵衛→ 神戸様	6月17日	横切紙・1通	い1402-98
記(金7円大雅堂の書代価請取につき) 恒川経二郎→ 神戸様	明(明治)17年9月28日	横切紙・1通	い1402-99
覚(5月16日1円15銭ほか代金メ金5円93銭相済むにつ き) 羊鹿堂→神戸文左衛門様	巳6月	横切紙・1通	い1402-100
覚(金80銭熊谷直好懐紙1幅ほか代金メ金2円40銭請 取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	12月	切継紙/(い 1402-109~154 は一綴)・1通	い1402-109
覚(金70銭黒梅半切1幅ほか代金メ金4円55銭請取に つき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	12月	切継紙/(虫損 あり)・1通	い1402-110
覚(金75銭梅逸画扇面1幅ほか代金メ金2円43銭請取 につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	10月	切紙/(虫損あ り)・1通	い1402-111
記(金1円90銭1幅ほか代金メ金2円53銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	巳3月	切継紙・1通	い1402-112
覚(金2円50銭米僊画瀧山水ほか代金メ金2円62銭請 取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	6月	切紙・1通	い1402-113
記(金2円70銭竹堂画嵐山1幅ほか代金メ4円67銭5厘 請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	辰7月	切継紙・1通	い1402-114
記(金1円40銭皆川書□2幅代金請取につき) 奥村吉平 [印]→神戸様	卯12月	切紙・1通	い1402-115
記(金38銭竹田文1幅代金受取につき) 奥村吉平[印] →神戸様	辰5月27日	切継紙・1通	い1402-116
記(金2円80銭梅逸画1幅ほか代金メ3円565銭請取に つき) 奥村吉平[印]→神戸様	辰5月25日	切継紙・1通	い1402-117
覚(金2円黒蘭之図巻物1他代金落手につき) 奥村吉平 (印「奥村」)→神戸様	7月	切継紙・1通	い1402-118
記(金2円75銭宮常画1幅ほか代金メ3円82銭請取につ き) 奥村吉平[印]→神戸様	辰12月	切継紙・1通	い1402-119
記(金3円21銭梅逸画ほか代金メ金4円86銭落手につ き) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	8月	切継紙・1通	い1402-120

覚(金3円90銭梅逸画1幅ほか代金メ7円65銭請取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	12月	切紙・1通	い1402-121
覚(金1円70銭ほか代金請取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	5月	切継紙・1通	い1402-122
覚(金1円80銭真淵書句入1幅ほか代金メ6円2銭請取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	6月	切紙/(虫損あり)・1通	い1402-123
覚(金5円□山画十六羅漢1幅代金請取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	8月	切紙/(虫損あり)・1通	い1402-124
覚(金60銭春風詩小切1幅ほか代金メ金94銭落手につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	9月	切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-125
覚(金1円70銭素細画寿老人1幅ほか代金メ金2円89銭請取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	11月	切紙/(虫損あり)・1通	い1402-126
覚(金1円80銭梅逸画大黒天1幅ほか代金メ7円10銭請取につき) 表具屋奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	6月	切継紙・1通	い1402-127
記(金2円40銭画代金ほか代金メ7円38銭請取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	9月27日	切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-128
記(金1円25銭百拙書□ほか代金メ金1円55銭請取につき) 奥村吉平(印「奥村」)→神戸様	10月	切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-129
書留郵便物受取証 京都烏丸通夷川奥村吉平→木挽町神戸文左衛門	(明治)33年2月3日	切紙・1通	い1402-130
記(金5円40銭雅邦雜之図ほか代金メ14円47銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	2月	切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-131
記(金11円80銭画帖2冊ほか代金メ金15円2銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様御取次中	11月	切継紙・1通	い1402-132
記(金2円95銭観音塔代金他メ金3円3銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	7月	切継紙・1通	い1402-133
記(金5円80銭寛斎画1幅ほか代金メ金7円50銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様御取次中	4月	切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-137
(表具料金請取につき書状) 奥村吉平→神戸様	4月30日	切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-138
記(金4円87銭奥村分他メ金5円2銭相済につき) [印「京都室町」野田永松呉服]→神戸様	7月	切紙・1通	い1402-139
記(金80銭山陽翁書ほか代金メ金2円15銭受取につき) 奥村吉平(印)→神戸様	3月	切紙・1通	い1402-140
(巽斎郭公短冊外は10月中旬に出来るにつき書状) 奥村吉平→神戸様	5月4日	横切紙・1通	い1402-141
記(代金1円他メ12円4銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	4月4日	切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-142
記(代金2円他メ33円39銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	6月28日	切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-143
記(魯文先生筆絹地小切18枚ほか品請取につき) 奥村吉平[印]→万屋様	4月28日	横切紙・1通	い1402-144
記(代金3円60銭他メ金8円33銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	10月30日	横切紙・1通	い1402-145
記(代金1円60銭他メ金9円22銭請取につき) 奥村吉平[印]→神戸様	8月	横切紙・1通	い1402-146

家/文化活動/注文書・納品書・領収書等

記(茶杓ほか代金55円受取につき) 伊藤甚助(印)→神戸様	28年2月19日	横切継紙/(い1402-270~-273(は一綴)・1通	い1402-270
記(利休文代金6円30銭受取につき) 伊藤甚助(印)→神戸様	25年8月20日	横切継紙・1通	い1402-271
証(長次良作黒茶碗代金300円受取につき) 伊藤吉口(印)→神戸分左衛門殿	明治25年5月1日	横切紙・1通	い1402-272
(封筒) 名古屋市袋町山田甚助拝→木挽町神戸分左衛門様 貴下		封筒/(い1402-276~284(は一綴)・1点	い1402-276
記(38銭皆川山水他メ51円50銭相済につき) 山田百華堂→神戸様	12月31日	横切継紙・1通	い1402-277
記(金12円竹田墨梅他メ21円39銭請取につき) *本文墨消 山田百花堂→神戸分左衛門様	29年6月	横切継紙・1通	い1402-278
記(金14円元染付馬上杯20人相済につき) 山田百花堂→神戸分左衛門様	12月	横切紙・1通	い1402-279
記(7円蒔へかしき他代金受取につき) 山田百華堂[印百花堂]→神戸分左衛門様	12月31日	横切紙・1通	い1402-280
記(金10円逸畫画帖他メ金15円50銭相済につき) 山田百花堂→神戸様	亥6月30日	横切紙・1通	い1402-281
記(金85円無落款古図山水幅ほか代受取につき) 山田百華堂[印百花堂]→神戸様	1月13日	横切紙・1通	い1402-282
記(5円抱一隅田川他メ23円相済につき) 百花堂甚助→神戸分左衛門様	未6月	横切継紙・1通	い1402-283
記(1円他メ代金2円43銭受取につき) 百花堂重助→神戸様	丑6月	横切紙・1通	い1402-284
記(5月25日金30円梅逸筆花鳥之幅代差引メ金23円受取にき) 百花堂甚助→神戸様	7月2日	横切継紙/(い1402-285~298(は一綴)・1通	い1402-285
記(金20円応挙筆梅鶯代金受取につき) 山田百華堂[印「百花堂」]→加藤勝寿様	1月14日	横切紙・1通	い1402-287
記(金50円容斎筆笠置山図代金差引金25円相済につき) 百花堂甚助→神戸分左衛門様	5月3日	横切紙・1通	い1402-288
記(金20円容斎瀧他メ代金28円50銭受取につき) 百花堂甚助[印「百花堂」]→神戸文左衛門様	4月	横切紙・1通	い1402-289
記(9月7日21円半山人幅代金相済につき) 百花堂甚助→神戸文左衛門様	12月	横切紙・1通	い1402-290
記(11月16日金35銭茶杓代金他メ金6円45銭相済につき) 百花堂甚助→神戸文左衛門様	19年12月	横切紙・1通	い1402-291
記(1月26日金1円25銭半切皆川山水幅代金他メ7円8銭請取につき) 百花堂甚助[印「百花堂」]→神戸分左衛門様	20年6月	横切紙・1通	い1402-292
記(8月10日金2円75銭赤絵南京手塩他代金メ金9円70銭相済につき) *後部破損 百花堂甚助→神戸様	22年12月	横切継紙・1通	い1402-293
記(金4円赤絵南京直火鉢代金請取につき) 百花堂甚助(印「名古屋袋町通長者町西入百花堂店」)→神戸様	5月7日	横切継紙・1通	い1402-294
記(6月13日2円25銭ほか代金メ4円25銭相済につき) 百花堂甚助→神戸様	6月30日	横切紙・1通	い1402-295

記(5月3日金8円唐獅子帯地代金他メ12円相済につき) 百花堂甚助→神戸分左衛門様	6月4日	横切紙・1通	い1402-296
記(2月8日5円50銭王鐸書代金他メ19円相済につき) 百花堂甚助→神戸文左衛門様	6月	横切継紙・1通	い1402-297
記(7月14日1円30銭鍍甌代金他メ25円30銭済につき) 百花堂甚助→神戸文左衛門様	25年12月	横切継紙・1通	い1402-298
記(金1円25銭素焼炊炉代金請取につき) □□屋仁兵衛	9月11日	横切紙・1通	い1402-300
証(金2円源惟良彫刻印財代金受取につき) 末広町伊藤式三郎[印「伊藤」]→神戸分左衛門様	明治19年6月30日	横切紙・1通	い1402-301
記(3月5日1円80銭1寸象ヶ軸代金他メ金3円50銭請取につき) *本文墨消/後部破損		横切継紙・1通	い1402-302
記(金5円50銭請取につき) 百花堂甚助(印「名古屋袋町通長者町西入百花堂店」)→神戸様	7月27日	横切紙・1通	い1402-303
記(7月27日金15円山水幅代金他メ金20円済につき) 百花堂甚助→神戸分左衛門様	20年12月	横切継紙・1通	い1402-304
記(金1円60銭象牙1寸軸1組の代金請取につき) 百花堂十助[印]→神戸様	7月30日	横切紙・1通	い1402-305
記(金5円50銭菜盛碗代金他メ金6円75銭相済につき) 百花堂甚助→神戸分左衛門様	21年4月	横切紙・1通	い1402-306
記(3月30日金4円16銭6厘交趾水指代金相済につき) 百花堂甚助→神戸分左衛門様	23年6月	横切紙・1通	い1402-307
記(金1円20銭落手につき) 百華堂甚助[印]→神戸様	4月2日	横切紙・1通	い1402-308
記(3月1日金1円25銭山水代金他メ金9円14銭相済につき) 百華堂甚助[印]→神戸分左衛門様	6月	横切紙・1通	い1402-309
記(金29円金寿門代金請取につき) 百花堂甚助→神戸様	4月30日	横切紙/・1通	い1402-310
記(2月26日金13円吸物椀代金メ19円50銭相済につき) 百花堂甚助→神戸分左衛門様	3月31日	横切紙・1通	い1402-311
記(7月20日1円60銭納言牡丹代金相済につき) 百華堂甚助→神戸様	12月	横切紙・1通	い1402-312
記(7月10日金2円抱一扇面代金ほか落手につき) 百花堂甚助→神戸分左衛門様	9月30日	横切紙・1通	い1402-313
覚(金5円80銭茶碗箱ほか代金入手につき) 駒沢利齋(印)→神戸銀之助様御取次中	酉6月	切紙/(い1402-314~315は一綴)・1通	い1402-314
(御用茶椀他安着代料拝受の旨ほか書状) 駒沢利齋→神戸銀之助様尊報 * (封筒表書)「名古屋市神戸銀之助様御取次中 駒沢利齋 六月廿一日 京都市小川頭(印「駒沢」)」	6月21日	横切紙/(封筒とも)/・1通	い1402-315
記(金5円53銭銅花鉢代金受取につき) 佐藤希造→神戸文左衛門様	6月	横切紙/(い1402-316~318は一綴)/(貼紙あり)/(クリップ除去)・1通	い1402-316
証(金65銭夕かほ象眼代金受取につき) 龍雲堂→神戸様	10月31日	横切紙/(い1402-319~327は一綴)・1通	い1402-319
証(金8円50銭ほか代金メ9円10銭相済につき) 龍雲	8月27日	横切紙・1通	い1402-320

家/文化活動/注文書・納品書・領収書等

堂(印「名古屋袋町六丁目龍雲堂濱島」)→神戸様			
証(金20円代金相済につき) 龍雲堂(印「名古屋袋町六丁目龍雲堂濱島」)→神戸様	7月27日	横切紙・1通	い 1402-321
(続日本後記卷19の9頁)		印刷用紙(木版)/(い1403-116~123クリッパー綴)/(貼紙あり)・1通	い 1403-116
(日本書紀卷第一巻頭及び予約書) →尾州名古屋矢五ノ切四百八十 牧光葆様		印刷用紙(木版)・1通	い 1403-117
覚(金2円六国史代金受取につき) 東京銀座二丁目拾老番地精錡水本店[印「和漢書画東京銀座三丁目岸田吟香謹啓楽善堂書房」]→神戸分佐右衛門様	明治16年8月5日	縦切紙・1通	い 1403-118
覚(金4円50銭本朝六国史代金受取につき) 東京銀座二丁目拾老番地精錡水本店[印「和漢書画東京銀座三丁目岸田吟香謹啓楽善堂書房」]→神戸分佐右衛門様	明治16年6月12日	縦切紙・1通	い 1403-119
覚(金1円六国史代金受取につき) 東京銀座二丁目拾老番地精錡水本店[印「和漢書画東京銀座三丁目岸田吟香謹啓楽善堂書房」]→神戸分佐右衛門様	明治16年7月14日	縦切紙・1通	い 1403-120
(六国史代金請取につき書状) 岸田書房→神戸様	8月5日	横切紙綴/(虫損あり)・1通	い 1403-121
(六国史落丁別紙一葉差上につき書状) 岸田吟香書房→神戸様	6月29日	青色罫紙/(19行)・1通	い 1403-122
(今般六国史第4回分送達落手下さるべきにつき書状) 岸田書房→神戸様	7月16日	横切紙綴・1通	い 1403-123
覚(大黒天掛物代金4両3分受取書) 鎌屋吉助取次→神戸文左衛門様	卯2月12日	切紙・1通	い 1597-2-20
覚(宗足かけ物1ふく他代メ14両受取書) 貞寿→文左衛門さま	卯3月	切紙・1通	い 1597-2-21
覚(二木張折敷3人分15匁の内残7匁5分差引受取書)(篠屋)源十郎(印「篠屋」)→孫十郎様	7月11日	横切紙/(い1615-25-1~2は巻込一括)・1通	い 1615-25-1
覚(書物代金3両2分受取書)(六角本太柳枝軒)小川多九右衛門(印「六角本太柳枝軒」)→神戸分左衛門様	卯7月13日	横切紙・1通	い 1615-25-2
覚(志野有合・千切蓋置代金1両1分受取書) 雪泊仲(花押)→坦斎雅殿	卯月27日	切紙・1通	い 1615-27
証(金1円領収書) 京都東山歌の中山清閑寺[印「歌中山清閑寺」]→神戸銀之助様	明治31年4月8日	印刷用紙・1通	い 1655-10-9
記(茶地金らん・太鼓等代金受取書) 山金鎌兵衛→神戸様	(明治)31年7月8日	小切紙/(1662-1~3は紙綴一括)・1通	い 1662-1
記(友七湯盆100銭等メ772銭受取書) 山金[印「名古屋市上園町山金池上榮造百三十八番戸」]→神戸様	3月8日	小切紙綴・1通	い 1662-2
記(徳川御秘蔵伝来利休狂歌文代金25円受取書) 池上榮蔵[印「名古屋市上園町山金池上榮造百三十八番戸」]→神戸文左衛門様	12月11日	小切紙・1通	い 1662-3
記(金13円50銭受取書) 木野[印]→神戸様	5月15日	小切紙/(1683-1~4は紙綴一括)・1通	い 1683-1

記(扇子金2円など代金合わせて14円25銭書上)		横切紙・1通	い 1683-2
記(諸仏扇面1枚50銭など代金計2円80銭書上)		縦切紙・1通	い 1683-3
記(金2円38銭受取書) 木野[印]→神戸様	6月1日	小切紙/(紙縫がい1681とい1682の間にはさまっていた)・1通	い 1683-4
記(貫名海屋竹林石田水書幅代金受取書) 神戸空彦→有年君	(明治)12年6月22日	小切継紙・1通	い 1690
証(貴殿仲介により菅井東作より天目茶碗などの買戻し代残金1円受取につき) 神戸直彦[印]→神戸分左衛門殿	明治19年2月18日	縦紙・1通	い 1696

教育

その他

(封筒) * (封筒表書)「名古屋区矢場町五ノ切四百八十一番地 牧光葆殿」 愛知県尋常中学校		封筒・1点	い 1751-0
(神戸銀之亮面談呼び出し状) 尋常中学校書記[印]愛知県尋常中學校□□係」→牧光葆殿	明治19年10月7日	切紙・1通	い 1751-1

その他

一札之事(太田主礼死去のためその妻漂月引取につき) 名古屋戸田通江近屋漂月妹源右衛門後家(印)・伊勢山田漂月兄藤原長七(印)→名古屋元材木町犬山屋文左衛門殿	寛延4年未正月27日	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1488
覚(金2両2分戌盆前御合力金他ノ金5両受納につき) 貞助(印)→分左衛門様	戌7月12日	縦紙・1通	い 1400-90
覚(金11両蔵の代へ請取につき) 同(神戸)分七(印)→神戸忠蔵殿	巳10月29日	縦切紙・1通	い 1400-96
(包紙) * (包紙上書)「宝暦八年寅十月」		包紙・1点	い 1627-0
覚(ふとん・かや他入の長持4ツ預り) かつ(印)→おうてう殿	とらの10月	横切継紙・1通	い 1627-1
覚(長持4ツ・たんす2ツ他預り)	6月12日	切紙・1通	い 1627-2
(岩崎丸藤氏の謝義熟考の処六つ栗へ2反、七呂へ1反、右3反態と出張下されにつき書状) * (封筒表書)「神戸分左衛門様御親展 廿二年八月三十日出ス 平坂村服部伴蔵(印)」 服部伴蔵拜→神戸様尊下	(明治22年)8月29日	横切継紙/(い1402-155~158は一綴)・1通	い 1402-155
深溝金子氏・志賀氏・土呂成瀬庄兵衛等へ出張(7月5日18銭7厘西尾江川屋菓子代金ほか金銭書上覚) 服部伊蔵→神戸様	明治23年11月	洋紙を用いた横長帳/(鉛筆書)・1冊	い 1402-158
契約証(妾契約につき) 岡野かつ[印「岡野かつ」]→神戸銀之助殿	明治24年4月	青色罫紙/(10行)・1冊	い 1655-10-4
契約追証券(妾契約につき) 本役定人岡野かつ[印「岡野かつ」]→神戸銀之助殿	明治25年7月20日	縦紙・1通	い 1655-10-3
(本郡視学において郡志編纂にて材料取調方依頼につき書状) 海西郡宝地村佐野新蔵拜→名古屋市木挽町二丁目神戸分左衛門様	(明治)25年4月22日	ハガキ・1通	い 1399-57

家/教育/その他

(封筒) * (封筒表書)「金七拾円 木村易貸金ノ処物品売切証 券ニ致シ置、尤モ戻リ証券□返し置期日三十一年十二月廿 五日」封筒表書部分抹消		封筒・1点	い 1401-175
(戯鴻堂法帳ほか悉皆御化払申すべきにつき書状) 景裏門前町三二二木村易→名古屋市木挽町神戸分左衛門様	10月19日	ハガキ・1通	い 1401-176
(預け金利子来1月持参につき書状) 裏門前町三十四木 村易→名古屋市堀川筋木挽町神戸分左衛門様	12月29日	ハガキ・1通	い 1401-177
証(戯鴻堂法帳16冊ほか売渡代金95円19銭受取につ き) 名古屋市上前津町百四拾四番戸木村易(印)→名古屋 市木挽町貳拾七番戸神戸銀之助殿	明治35年7月朔日	青色罫紙/(10 行)・1通	い 1401-179
証(戯鴻堂法帳ほか売渡代金70円ほか金2円73銭を添 えお渡しにつき) *控/本文墨消 名古屋市木挽町廿七 番戸神戸銀之助→名古屋市裏門前町三百廿貳番戸木村易殿	明治31年10月6日	青色罫紙/(10 行)・1通	い 1401-180
記(1円30銭絹双合1反受取につき) 大天満屋伝三郎 (印)→上	9月4日	切紙・1通	い 1402-156
記(2月17日13銭他ノ2円37銭5厘金銭書上覚) 丸菱→ 服部様	9月5日	横切紙・1通	い 1402-157
「札」(金65円)		札・1点	い 1403-115
祭資基本金及遺稿出版費ニ付寄附		青色罫紙/(10 行)・1通	い 1482-9
金山納豆(作り方書上)		横切紙・1通	い 1533
納豆の方(納豆の作り方書上) * (端裏書)「納豆の方五色」		縦切紙・1通	い 1536
覚(長持等預け品目録) 妙てふ(印)→おかつとの	酉10月	横切紙・1通	い 1564-3
「日本火之年」(走り書き) *裏面に「二両三分」とあり		切紙・1通	い 1845
(金品人名書上)	寅年	横長半(一ツ 綴)・1冊	い 1864-9-3
(封筒) * (封筒表書)「神戸鷗汀様御貴報金貳円在中」/(封筒 裏書)「十一月廿四日吉井□□」		封筒・1点	い 1401-352

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
大宝前(神戸)新田			
開発			
願書			
大宝御新田残葺山今度御新田被仰付候入札之御事 *い1458、い1459と同じ 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→ 野方御奉行所	宝永4年亥2月10日	縦継紙/(虫損あり)・1通	い1437
大宝御新田残葺山今度御新田ニ被仰付候入札之御事 *写/い1437、い1459と同じ 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方御奉行所	宝永4年亥2月10日	縦継紙・1通	い1458
大宝御新田残葺山今度御新田ニ被仰付候入札之御事 *写/い1437、い1458と同じ 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方御奉行所	宝永4年亥2月10日	縦継紙・1通	い1459
大宝御新田残葺山今度御新田ニ被仰付候入札之御事 *下書 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方御奉行所様	宝永4年亥2月10日	縦継紙/(貼紙あり)・1通	い2062
証文之事(大宝新田築残葺野新田入札の取極につき) 提田平兵衛・同(提田)淡雪→神戸分左衛門殿・同(神戸)浄仙殿	宝永4丁亥2月	縦紙・1通	い2045
指出し申一札之事(大宝前新田御葺野百何拾町の築方入用金につき) なこや何町犬山屋神戸分左衛門・同何町井筒や何平兵衛→西川甚兵衛殿	宝永5年子10月	縦継紙・1通	い1368
乍恐奉願御事(海西郡大宝前新田御敷金残金の上納指延につき) *下書 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方御奉行所	寅12月	縦継紙/(貼紙あり)・1通	い1385
乍恐奉願上候御事(海西郡大宝前新田につき御定納に命じられたき旨) *下書		縦継紙・1通	い1389
資材購入			
請取申金子之事(大宝新田栗石代55両) 堤久助(印)・若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥9月27日	堅切紙・1通	い1276-3
請取申金子之事(栗石代金50両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥10月5日	堅切紙・1通	い1276-4
請取申金子之事(栗石代・運賃代金44両2分) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月10日	堅切紙・1通	い1276-9
請取申金子之事(栗石代金40両2分) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月10日	堅切紙・1通	い1276-15
請取申金子之事(栗石代金30両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月16日	堅切紙・1通	い1276-12
請取申金子之事(杭木前金、石かこ前金、次右衛門・十右衛門へ前金メ33両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月26日	堅切紙・1通	い1276-13
請取申金子事(坊5材木代296両3分余) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子8月	堅切紙・1通	い1259-61
請取申栗石代金之事(栗石代・運賃金売上手形不足金に合1金9兩ト銀6匁7分) 大田村川合藤治郎(印)→堤久助殿・森治右衛門殿	宝永5年戊子年9月29日	堅切紙/(虫損あり)・1通	い1261-4

大宝前(神戸)新田/開発/資材購入

請取申金子之事(大宝新田御用請合の杭木8万本代金15両) 油屋治右衛門(印)・請人彦八郎(印)→神戸分左衛門殿	宝永6年丑3月13日	堅切紙・1通	い1272-5
請取申栗石代金之事(代金29両余受取書) 濃州太田伊藤利左衛門(印)→神戸分左衛門殿	正徳元年卯8月6日	堅切紙・1通	い1983-8
請取申杭木代金之事(代金20両余受取書) 鶴沼村久兵衛(印)→犬山屋分左衛門殿	正徳2年辰7月13日	堅紙・1通	い1984-7
栗石仕切状之事(栗石代金14両受取書) 濃州太田伊藤理左衛門(印)→尾州大宝前新田小河只助殿	正徳2年壬辰9月4日	堅紙・1通	い1984-8
覚(船古棚板代金6両受取書) 川井忠右衛門代甚助(印)→犬山屋庄兵衛殿	(正徳2年)辰10月21日	堅切紙・1通	い1984-6
石籠入札之覚(石落札長嶋十右衛門・籠落札大高村六右衛門) 石田彦八郎[印]・小川七左衛門(印)→神戸弥左衛門様	4月11日	堅紙・1通	い1471
覚(太田から大宝新田へ蒔石代銀取得の旨報知書) 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門	子9月	堅切紙・1通	い1531-4

開発関係帳簿

大宝御新田諸受書上留帳	宝永4年亥2月(～享保7年)	堅半(二ツ綴)・1冊	い2061
-------------	----------------	------------	-------

丁場金

請取申金子之事(堤渡方丁場金100両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月20日	堅切紙・1通	い1276-10
受取申金子事(丁場入用金100両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子閏正月25日	堅継紙/(い1259-1～84は一綴)・1通	い1259-1
請取申金子之事(新田入用金15両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子ノ閏正月15日	堅継紙・1通	い1259-2
請取申金子之事(新田入用金20両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子閏正月23日	堅切紙・1通	い1259-3
受取申金子事(丁場入用金100両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子閏正月16日	堅切紙・1通	い1259-4
受取申金子事(丁場入用金100両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子閏正月10日	堅切紙・1通	い1259-5
請取申金子之事(新田入用金15両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子ノ閏正月9日	堅切紙・1通	い1259-6
受取申金子事(丁場入用金40両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子閏正月3日	堅継紙・1通	い1259-7
請取申金子之事(新田入用金10両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子ノ閏正月25日	堅切紙・1通	い1259-8
受取申金子事(金子諸入用30両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子閏正月23日	堅切紙・1通	い1259-9
受取申金子事(丁場入用金100両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子閏正月24日	堅継紙・1通	い1259-10
請取申金子之事(新田入用40両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子2月29日	堅切紙・1通	い1259-11

請取申金子之事(新田入用30両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子ノ2月21日	堅切紙・1通	い 1259-12
受取申金子事(丁場入用金100両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子2月26日	堅継紙・1通	い 1259-13
受取申金子事(丁場入用金100両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子2月7日	堅継紙・1通	い 1259-14
受取申金子事(丁場入用金100両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子2月16日	堅継紙・1通	い 1259-15
請取申金子之事(丁場入用金200両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子2月2日	堅継紙・1通	い 1259-16
請取申金子之事(新田入用金30両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子2月26日	堅継紙・1通	い 1259-17
請取申金子之事(新田入用金25両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子2月15日	堅切紙・1通	い 1259-18
受取申金子事(新田入用金46両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子3月26日	堅切紙・1通	い 1259-19
請取申金子之事(新田入用金40両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	(宝永5年)子3月18日	堅継紙・1通	い 1259-20
受取申金子事(丁場入用金100両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子3月24日	堅切紙・1通	い 1259-21
請取申金子之事(新田入用金40両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子3月13日	堅切紙・1通	い 1259-22
請取申金子之事(新田入用金100両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子3月15日	堅切紙・1通	い 1259-23
請取申金子之事(新田入用金100両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子3月18日	堅継紙・1通	い 1259-24
請取申金子之事(新田入用金40両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子3月15日	堅継紙・1通	い 1259-25
請取申金子之事(新田入用金40両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子ノ3月10日	堅切紙・1通	い 1259-26
請取申金子之事(新田入用金30両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子3月7日	堅継紙・1通	い 1259-27
請取申金子之事(丁場入用金100両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子3月4日	堅切紙・1通	い 1259-28
受取申金子事(丁場入用金100両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月1日	堅継紙・1通	い 1259-29
請取申金子之事(新田入用金40両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月23日	堅切紙・1通	い 1259-30
受取申金子事(新田入用金30両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月9日	堅切紙・1通	い 1259-31
受取申金子事(新田入用金50両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月18日	堅継紙・1通	い 1259-32
請取申金子之事(新田入用金250両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月13日	堅切紙・1通	い 1259-33
請取申金子之事(新田入用金42両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月15日	堅切紙・1通	い 1259-34

大宝前(神戸)新田/開発/丁場金

受取申金子事(新田入用金35両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月5日	堅切紙・1通	い1259-35
受取申金子事(新田入用金40両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月4日	堅切紙・1通	い1259-36
受取申金子事(丁場入用金50両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月3日	堅切紙・1通	い1259-37
受取申金子事(新田入用金50両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子4月6日	堅切紙・1通	い1259-38
受取申金子事(新田入用金50両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子5月6日	堅切紙・1通	い1259-39
請取申金子之事(新田入用金80両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子5月13日	堅切紙・1通	い1259-40
請取申金子之事(大宝前新田入用金100両) (印)→神戸分左衛門殿	堤久助	宝永5年子5月15日	堅切紙・1通	い1259-41
請取申金子之事(大宝新田入用金50両) 神戸分左衛門殿	堤久助(印)→	(宝永5年)子5月2日	堅切紙・1通	い1259-42
請取申金子之事(新田入用金100両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子5月24日	堅紙・1通	い1259-43
受取申金子事(新田入用金30両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子5月6日	堅切紙・1通	い1259-44
請取申金子之事(新田入用金25両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子5月13日	堅切紙・1通	い1259-45
請取申金子之事(新田入用金30両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子5月24日	堅切紙・1通	い1259-46
受取申金子事(杭木代金25両) 門殿	堤久助(印)→神戸分左衛	宝永5年子5月6日	堅切紙・1通	い1259-47
受取申金子事(新田入用金40両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子6月1日	堅紙・1通	い1259-48
受取申金子事(新田入用金50両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子6月27日	堅紙・1通	い1259-49
請取申金子之事(新田入用金100両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子6月5日	堅切紙・1通	い1259-50
請取申金子之事(新田入用金30両) 分左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子6月5日	堅紙・1通	い1259-51
受取申金子事(新田入用金150両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子6月9日	堅切紙・1通	い1259-52
受取申金子事(新田入用金100両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子6月17日	堅紙・1通	い1259-53
受取申金子事(石籠代金35両) 門殿	堤久助(印)→神戸分左衛	宝永5年子6月17日	堅切紙・1通	い1259-54
受取申金子事(新田入用金100両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子6月24日	堅切紙・1通	い1259-55
受取申金子事(新田入用竹代1両3分余) 神戸分左衛門殿	堤久助(印)→	宝永5年子6月21日	堅切紙・1通	い1259-56
受取申金子事(新田入用金25両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	宝永5年子6月21日	堅切紙・1通	い1259-57

請取申金子之事(20両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子7月	堅切紙・1通	い 1259-58
請取申金子事(14両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子7月	堅切紙・1通	い 1259-59
請取申金子事(30両) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子7月	堅切紙・1通	い 1259-60
沓番丁場金子目録(金76両・銀13匁余受取書) 堀口村善七(印)・同村新右衛門(印)	宝永6年丑10月朔日	堅紙/(い 1926-1~2は量込一括)・1通	い 1926-1
覚(沓番丁場金子2両受取並びに丹右衛門へ受渡書) 大寶分左衛門(印)→甚左衛門殿・次左衛門殿・庄兵衛殿・唯助殿	丑10月朔日	切紙・1通	い 1926-2

普請入用金受取

請取申金子之事(新田諸払金合小判10両) (若山)左助(印)→神戸分四郎様	宝永2年酉10月24日	堅切紙/(い 1261-1~6は一綴)・1通	い 1261-1
請取申金子之事(大宝新田悪水落込作事入用金20両) 若山左助(印)・堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥9月27日	堅切紙/(い 1276-1~16は一綴)・1通	い 1276-1
請取申金子之事(大宝新田小屋諸品入用金62両) 若山左助(印)・堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥9月27日	堅切紙・1通	い 1276-2
請取申金子之事(石俵丸普請所入用金10両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥10月晦日	堅切紙・1通	い 1276-5
請取申金子之事(新田普請石俵丸場所入用10両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥10月26日	堅切紙・1通	い 1276-6
請取申金子之事(新田諸入用金合小判20両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥11月9日	堅切紙/(虫損あり)・1通	い 1261-3
請取申金子之事(新田入用金50両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥11月16日	堅切紙・1通	い 1276-8
請取申金子之事(新田入用金30両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥11月28日	堅切紙・1通	い 1276-7
請取申金子之事(新田諸入用金20両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月16日	堅切紙・1通	い 1276-11
請取申金子之事(新田入用金153両余) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月27日	堅切紙・1通	い 1276-14
請取申金子之事(堤普請御用方100両) 若山左助(印)→神戸分左衛門殿	宝永4年亥12月3日	堅切紙・1通	い 1276-16
請取申金子之事(大宝新田普請入用金100両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永5年子10月21日	堅切紙・1通	い 1259-63
請取申金子之事(大宝新田普請入用金10両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永5年子10月25日	堅切紙・1通	い 1259-64
請取申金子之事(大宝新田普請入用金20両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永5年子10月晦日	堅切紙・1通	い 1259-65
請取申金子之事(大宝新田普請入用金100両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永5年子10月24日	堅切紙・1通	い 1259-66
請取申金子之事(大宝新田普請入用金15両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永5年子11月晦日	堅切紙・1通	い 1259-67
請取申金子之事(大宝新田普請入用金100両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永5年子11月3日	堅切紙・1通	い 1259-68

大宝前(神戸)新田/開発/普請入用金受取

請取申金子之事(大宝新田普請入用金20両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月15日	堅切紙・1通	い1259-69
請取申金子之事(大宝新田普請入用金50両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月25日	堅切紙・1通	い1259-70
請取申金子之事(大宝新田普請入用金100両) 助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月6日	堅切紙・1通	い1259-71
請取申金子之事(大宝新田普請入用金100両) 助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月13日	堅切紙・1通	い1259-72
請取申金子之事(大宝新田普請入用金50両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月10日	堅切紙・1通	い1259-73
請取申金子之事(大宝新田普請入用金50両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月21日	堅切紙・1通	い1259-74
請取申金子之事(大宝新田普請入用金50両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月6日	堅切紙・1通	い1259-75
請取申金子之事(大宝新田普請入用金30両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月20日	堅切紙・1通	い1259-76
請取申金子事(大宝新田普請入用金20両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子11月3日	堅切紙・1通	い1259-77
請取申金子之事(大宝新田栗石代金50両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子ノ12月21日	堅切紙・1通	い1259-78
請取申金子之事(大宝新田入用金190両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子12月14日	堅切紙・1通	い1259-79
請取申金子之事(大宝前新田入用金70両余) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子12月6日	堅切紙・1通	い1259-80
請取申金子之事(大宝前新田入用金100両) (印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	宝永5年子12月9日	堅切紙・1通	い1259-81
受取申金子事(新田入用金60両) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	(宝永5年)子12月	堅切紙・1通	い1259-82
受取申金子事(船入用金32両3分) 左衛門殿	堤久助(印)→神戸分	(宝永5年)子12月	堅切紙・1通	い1259-83
受取申金子事(丁場勘定の金子66両3分) (印)→神戸分左衛門殿	堤久助	宝永5年子12月11日	堅切紙・1通	い1259-84
請取申金子之事(四郎兵衛新田堀割金として金90両) 東条村勘兵衛(印)→井筒屋平兵衛殿・犬山屋分左衛門殿		宝永5年子年12月26日	堅紙・1通	い1261-5
請取申金子之事(四郎兵衛新田塚先堀割入用金ほか 小判40両) 子宝村平左衛門(印)・鳥ヶ地村才兵衛(印)・ 又八新田又八郎・東条村勘兵衛→犬山屋分左衛門殿・井筒屋 平兵衛殿・西福田弥左衛門殿		宝永5年子ノ12月	堅切紙・1通	い1261-6
請取申金子之事(大宝新田ほか市江墨水落瀬違堀割 の人足代前金200両) 海西郡子宝新田平左衛門(印)・同 鳥ヶ地新田才兵衛(印)・同又八新田又八郎・同東条村勘兵衛 →犬山屋分左衛門殿・井筒屋平兵衛殿		宝永5年子ノ正月	堅紙/(い 1272-1~6は一 綴)・1通	い1272-1
請取申金銀之事(子7月~極月大宝新田小買物入用代 金54両銀13匁7分) 伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様		宝永5年子12月	堅切紙・1通	い1272-2
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金20両) 小川唯助((印)→神戸分左衛門様		宝永6年寅正月18日	堅切紙/(い 1264-1~63は 一綴)・1通	い1264-1
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金80両)		宝永6年寅正月23日	堅切紙・1通	い1264-2

小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様			
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金75両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑2月22日	堅切紙・1通	い 1264-3
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑2月23日	堅切紙・1通	い 1264-36
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月朔日	堅切紙・1通	い 1264-4
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月朔日	堅切紙・1通	い 1264-5
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金100両) 小川唯助(印)→神(神戸)分左衛門様	宝永6年丑3月2日	堅切紙・1通	い 1264-6
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金500両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月10日	堅切紙・1通	い 1264-7
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月24日	堅切紙・1通	い 1264-8
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金300両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月29日	堅切紙・1通	い 1264-9
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金250両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月18日	堅切紙・1通	い 1264-10
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金15両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月4日	堅切紙・1通	い 1264-11
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月6日	堅切紙・1通	い 1264-12
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金15両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月6日	堅切紙・1通	い 1264-13
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金200両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑3月27日	堅切紙・1通	い 1264-14
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛→神(神戸)分左衛門様	宝永6年丑4月9日	堅切紙・1通	い 1264-15
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑4月24日	堅切紙・1通	い 1264-16
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛→神戸分左衛門様	宝永6年丑4月12日	堅切紙・1通	い 1264-17
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金200両) 伊東庄兵衛・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑4月12日	堅切紙・1通	い 1264-18
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金250両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑4月15日	堅切紙・1通	い 1264-19
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金18両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑4月29日	堅切紙・1通	い 1264-20
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金100両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑4月22日	堅切紙・1通	い 1264-21
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金200両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑4月25日	堅切紙・1通	い 1264-22
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金100両)	宝永6年丑4月16日	堅切紙・1通	い 1264-23

大宝前(神戸)新田/開発/普請入用金受取

小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様			
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金200両) 伊東庄兵衛・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月7日	堅切紙・1通	い 1264-24
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月13日	堅切紙・1通	い 1264-25
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金200両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月朔日	堅切紙・1通	い 1264-26
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金200両) 伊東庄兵衛・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月15日	堅切紙・1通	い 1264-27
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月12日	堅切紙/(虫損あり)・1通	い 1264-28
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金200両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月26日	堅切紙/(虫損あり)・1通	い 1264-29
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 伊東庄兵衛・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月13日	堅切紙・1通	い 1264-30
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金20両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月22日	堅切紙・1通	い 1264-31
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月21日	堅切紙・1通	い 1264-32
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑5月21日	堅切紙・1通	い 1264-33
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑6月朔日	堅切紙・1通	い 1264-34
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金100両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑6月8日	堅切紙・1通	い 1264-35
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑6月12日	堅切紙・1通	い 1264-37
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑9月朔日	堅切紙・1通	い 1264-38
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金20両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑6月12日	堅切紙・1通	い 1264-39
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金110両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑6月19日	堅切紙・1通	い 1264-40
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金100両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑7月6日	堅切紙・1通	い 1264-41
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑7月24日	堅切紙・1通	い 1264-42
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内150両) 小 川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑7月3日	堅切紙・1通	い 1264-43
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金140両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑7月11日	堅切紙・1通	い 1264-44
手形之事(新田杭木代金の内へ金5両治左衛門方へ御 渡し下さるべく重ねて請取手形認め引替につき) 伊東庄兵衛(印)→神(神戸)分左衛門様	(宝永6年)丑7月27日	堅切紙・1通	い 1264-45

請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金20両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑7月7日	堅切紙・1通	い1264-46
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金60両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑8月13日	堅切紙・1通	い1264-47
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑8月4日	堅切紙・1通	い1264-48
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金15両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑9月11日	堅切紙・1通	い1264-49
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑9月21日	堅切紙・1通	い1264-50
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金15両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑10月12日	堅切紙・1通	い1264-51
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金15両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑10月12日	堅切紙・1通	い1264-52
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金35両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑11月7日	堅切紙・1通	い1264-53
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金20両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑11月16日	堅切紙・1通	い1264-54
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金100両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑11月29日	堅切紙・1通	い1264-55
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑11月29日	堅切紙・1通	い1264-56
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑11月16日	堅切紙・1通	い1264-57
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑11月3日	堅切紙・1通	い1264-58
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑11月12日	堅切紙・1通	い1264-59
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑12月28日	堅切紙・1通	い1264-60
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑12月11日	堅切紙・1通	い1264-61
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金110両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑12月25日	堅切紙・1通	い1264-62
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金110両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永6年丑12月19日	堅切紙・1通	い1264-63
請取申金銀之事(丑年中大宝新田飯米・諸品小買物代 金76両銀5匁2分8厘) 伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門 様	宝永6年丑12月	堅切紙・1通	い1272-3
請取渡申金子之事(杭木代金の内治右衛門方へ受取 渡す金10両) 伊東庄兵衛(印)→神(神戸)分左衛門様	(宝永6年)丑8月7日	堅切紙・1通	い1272-4
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅正月18日	堅切紙/(い 1265-1~21は 一綴)・1通	い1265-1
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅2月6日	堅切紙・1通	い1265-2

大宝前(神戸)新田/開発/普請入用金受取

請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅2月晦日	堅切紙・1通	い1265-3
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金15両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅2月14日	堅切紙・1通	い1265-4
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅2月24日	堅切紙・1通	い1265-5
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅2月6日	堅切紙・1通	い1265-6
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅2月13日	堅切紙・1通	い1265-7
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金60両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅2月25日	堅切紙・1通	い1265-8
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅3月21日	堅切紙・1通	い1265-9
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅3月11日	堅切紙・1通	い1265-10
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅3月6日	堅切紙・1通	い1265-11
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金20両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅4月8日	堅切紙・1通	い1265-12
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金10両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅4月12日	堅切紙・1通	い1265-13
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金20両) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅4月29日	堅切紙・1通	い1265-14
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金20両) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅4月26日	堅切紙・1通	い1265-15
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金15両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅5月15日	堅切紙・1通	い1265-16
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅6月21日	堅切紙/(虫損あり)・1通	い1265-17
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅6月10日	堅切紙・1通	い1265-18
請取申金子之事(大宝新田普請入用金の内金48両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅7月朔日	堅切紙・1通	い1265-19
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金13両1分・銀5匁5分5厘) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅7月晦日	堅切紙・1通	い1265-20
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金14分) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅7月晦	堅切紙・1通	い1265-21
請取申金子之事(大宝前新田杭木代金128両2分・銀1匁9分1厘) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅7月	堅切紙/(い1266-1~4は一綴)・1通	い1266-1
請取申金子之事(寅正月~7月大宝新田小買物・飯米代金43両銀2匁) 伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅7月晦日	堅切紙・1通	い1272-6
海西郡大寶前新田堤入用金之覚(亥暮よりの入用金2	卯正月	堅継紙・1通	い1432

万1261両余) 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方御奉行所			
海西郡大寶前新田堤入用金之覚(亥秋～寅暮迄入用金2万1261両) 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方御奉行所	卯正月	豎継紙・1通	い 1436
海西郡大寶前御新田堤入用金之覚(亥秋～寅暮迄入用金2万1261両) * (端裏書)「卯十月廿四日上ル扣」	卯10月	豎継紙・1通	い 1439
海西郡大寶前新田堤入用金之覚(亥暮～唯今迄入用金2万1261両余) * (端裏書)「宝永八年卯正月願之添書」井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方御奉行所	(宝永8年)卯正月	豎継紙・1通	い 1440
覚(御新田開発より唯今迄入用御敷金上納の書上) * (端裏貼紙)「正徳五年未四月願書ニ添上候書付」 犬山屋分左衛門	未4月	豎継紙/(い 1441-1～3は巻込一括)・1通	い 1441-1
覚(新田入用亥年分・面地入用他メ2206両1分2匁5分3厘の書上) 若山左助	子ノ12月	豎紙・1通	い 1441-2
海西郡大寶前御新田堤入用金覚(亥暮～唯今迄の入用金2万1261両) 井筒屋平兵衛・犬山屋分左衛門→野方御奉行所	寅12月	豎継紙・1通	い 1441-3

堤普請請負人源大夫出入一件

乍恐奉申上候覚(御評定所裁許裏書絵図・裁許証文所持ならば差上ぐべき触書承知、私扣新田先年出入あり年久しく委細様子分かり兼ねども別紙2通差上につき) 元材木町犬山屋孫右衛門	巳9月	横切継紙・1通	い 1395-10
覚(其元へ渡した御訴状は紙汚れ・墨付他につき改めるよう) 濃州米野村源太夫(印)・同所甚右衛門(印)・江川村才右衛門(印)・同所利助(印)→尾州名古屋元材木町名主分六殿・同所名主分七殿・同所組頭源七殿・犬山屋分左衛門殿	宝永7年寅正月6日	豎紙・1通	い 1405

その他

請取申金子事(飯米・諸事買物代73両2分余) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	宝永5年子8月	豎切紙・1通	い 1259-62
覚(金12両1分10匁9分9厘下一色半六郎方へ御渡し成さるべきにつき) 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	子11月15日	豎切紙/(い 1260-1～6は一綴)・1通	い 1260-1
覚(金メ11両1分9匁6分他メ13両1分9分3厘蟹江村善七へ御渡し成さるべきにつき) *かにへ善七郎受取の旨裏書あり 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	子11月11日	豎継紙・1通	い 1260-2
覚(金メ22両1分5匁1分5厘他メ22両1分2匁6分5厘蟹江甚平へ御渡し成さるべきにつき) *かにへ甚平受取の旨裏書あり 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	子11月11日	豎切紙・1通	い 1260-3
覚(金5両3分3匁9分7厘蟹江源蔵へ御渡し成しさるべきにつき) *かにへ源蔵受取の旨裏書あり 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	子11月11日	豎切紙・1通	い 1260-4
覚(金31両2分5匁3分7厘今村安右衛門へ御渡し成さるべきにつき) *今村安右衛門受取の旨裏書あり 堤久助(印)→神戸分左衛門殿	子11月12日	豎継紙・1通	い 1260-5
覚(金6両ト13匁3分2厘舟入村弥市へ御渡し成さるべきにつき) *舟入村弥市受取の旨裏書あり 堤久助貞(花	子11月17日	豎切紙・1通	い 1260-6

大宝前(神戸)新田/開発/その他

押)→神戸分左衛門殿			
覚(堤築方入札の規則並びに仕様、土取場は飛鳥山南半分より鍋蓋山)	子ノ正月19日	縦継紙・1通	い 2059
覚(堤築立てにおける丁場の心得につき)	宝永6丑2月日	縦継紙・1通	い 2058
借用申金子根手形之事(海西郡大宝前新田築立諸事入用金1470両2分余) *下書	宝永7年寅8月	縦継紙・1通	い 1279-2
(大宝前新田敷金など書上)	(正徳4~5年)	横切継紙・1通	い 2041
覚(新田築直しの節の諸入用・御敷金上納金等×2万6千340両余書付) *(端書)「正徳六年未四月願書之添書」犬山屋分左衛門	(正徳6年)未4月	横折紙・1通	い 1881
覚(御新田開発より去年迄入用御敷金の年賦差延願) *(端裏貼紙)「享保五年子二月願上書ニ添上候前紙扣」(墨消) 犬山屋分左衛門	(享保5年)子2月	縦継紙・1通	い 1434
覚(御新田開発より去年迄入用御敷金上納の年賦指延願)	(享保5年)子正月	縦継紙・1通	い 1438
覚(金17両1分他×金70両2分9匁6分6厘差引残金4両3分6匁1分5厘預り置につき) 堤久助→神戸文左衛門様	辰2月9日	縦継紙・1通	い 1395-15
覚(13匁5分寅年抜代ほか合60匁9分書上につき) 美の屋与八郎→久屋丁久助様	卯極月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1400-85
覚(納米1石代金1両1分7匁1分9厘他×金1両2分ト13匁7厘受取につき) 犬山屋庄兵衛[印]→若山左助殿・堤久助殿	亥9月27日	縦切紙・1通	い 1400-106
覚(金12両宛治左衛門・甚左衛門ほか来る暮普請出来迄頼む合力当年内借他につき) 若山左助→神戸分左衛門様・堤久助様	12月13日	横切継紙・1通	い 1403-2

形成期普請

初期普請

請取申金子之事(大宝前新田入用金15両) 小川唯助 (印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳正月22日	縦切紙/(い1277-1~11は一綴)・1通	い 1277-1
請取申金子之事(大宝前新田入用金15両) 小川唯助 (印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳3月16日	縦切紙・1通	い 1277-2
請取申金子之事(大宝前新田入用巳年川運上金の内25両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳4月晦日	縦切紙・1通	い 1277-3
請取申金子之事(大宝前新田入用金10両) 小川唯助 (印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳6月5日	縦切紙・1通	い 1277-4
請取申金子之事(大宝前新田入用金15両) 小川唯助 (印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳6月20日	縦切紙・1通	い 1277-5
請取申金子之事(大宝前新田入用金15両) 小川唯助 (印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳7月11日	縦切紙・1通	い 1277-6
請取申金子之事(大宝前新田入用金10両) 小川唯助 (印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳7月18日	縦切紙・1通	い 1277-7
請取申金子之事(大宝前新田入用金10両) 小川唯助 (印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳8月13日	縦切紙・1通	い 1277-8
請取申金子之事(大宝前新田入用金9両) 小川唯助	正徳3年巳12月28日	縦切紙・1通	い 1277-9

(印)→神戸分左衛門様				
請取申金子之事(大宝前新田入用金171両2分) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳12月18日	堅切紙・1通	い 1277-10	
請取申金子之事(大宝前新田入用金63両2分) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳3年巳12月晦日	堅切紙・1通	い 1277-11	
覚(杭木代金1分余受取書) うぬま(鷓沼)村久兵衛(印)→大宝前新田小川唯助殿	正徳3年巳7月朔日	堅切紙・1通	い 1985-10	
栗石仕切之事(栗石代金9両余受取書) 濃州太田丁伊藤理左衛門(印)→尾州大宝前新田小川只助殿	正徳3年巳7月22日	堅紙・1通	い 1985-11	
受合申杭木目録之事(杭木1万5千430本代金25両2分余受取書) 鷓沼村甚六(印)・犬山左七(印)→大宝前御新田小川唯助殿	正徳4年午7月19日	堅切紙・1通	い 1986-8	
大宝前新田堤切口間数之覚(大風にて堤破損のため海用潮留に取懸の旨注進書) 犬山屋分左衛門→野方御奉行所様	(正徳4年)午8月10日	堅紙・1通	い 2044-1	
大宝前新田堤切口間数覚(大風にて堤破損のため海用潮留に取懸の旨注進書) *写 分左衛門→野方御奉行所様	(正徳4年)午8月10日	堅紙・1通	い 2044-2	
請取申金子之事(大宝前新田小払入用金10両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未正月20日	堅切紙/(い 1278-1~28は一綴)・1通	い 1278-1	
請取申金子之事(大宝前新田午8月~12月普請入用金1257両2分余) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未正月20日	堅切紙・1通	い 1278-2	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未正月29日	堅切紙・1通	い 1278-3	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金80両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未	堅切紙・1通	い 1278-4	
請取申金子之事(大宝前新田入用金15両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未3月21日	堅切紙・1通	い 1278-5	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金60両) * (端裏書)「午未普請金不殘勘定済候」 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未3月12日	堅切紙・1通	い 1278-6	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金60両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未3月7日	堅切紙・1通	い 1278-7	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未3月21日	堅切紙・1通	い 1278-8	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金80両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未4月6日	堅切紙・1通	い 1278-9	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未4月14日	堅切紙・1通	い 1278-10	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金20両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未4月18日	堅切紙・1通	い 1278-11	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金60両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未4月26日	堅切紙・1通	い 1278-12	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金40両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未5月朔日	堅切紙・1通	い 1278-13	
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳5年未5月12日	堅切紙・1通	い 1278-14	

大宝前(神戸)新田/形成期普請/初期普請

請取申金子之事(大宝前新田普請入用金30両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未5月26日	堅切紙・1通	い 1278-15
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金15両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未5月27日	堅切紙・1通	い 1278-16
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金30両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未6月4日	堅切紙・1通	い 1278-17
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金35両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未6月25日	堅切紙・1通	い 1278-18
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金30両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未6月25日	堅切紙・1通	い 1278-19
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金28両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未7月9日	堅切紙・1通	い 1278-20
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金65両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未7月26日	堅切紙・1通	い 1278-21
請取申金子之事(大宝前新田入用金10両) (印)→神戸分左衛門様	小川唯助	正徳5年未8月18日	堅切紙・1通	い 1278-22
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金30両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未8月18日	堅切紙・1通	い 1278-23
請取申金子之事(大宝前新田小払金45両) (印)→神戸分左衛門様	小川唯助	正徳5年未12月19日	堅切紙・1通	い 1278-24
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金416両3分余) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	小川唯助	正徳5年未12月21日	堅切紙・1通	い 1278-25
請取申金子之事(大宝前新田入用金10両) (印)→神戸分左衛門様	小川唯助	正徳5年未12月28日	堅切紙・1通	い 1278-26
請取申金子之事(大宝前新田入用金24両) (印)→神戸分左衛門様	小川唯助	正徳5年未12月晦日	堅切紙・1通	い 1278-27
請取申金子之事(大宝前新田入用金4両2分余) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳5年未12月晦日	堅切紙・1通	い 1278-28
一札(大宝新田残葺山入札にて敷金7千811両余指上げ御請築立の旨) 神戸文四郎・神戸分左衛門→神戸彦七郎殿		正徳6年申正月	堅継紙・1通	い 2046
一札(大宝新田残葺山入札にて敷金7千811両余指上げ御請築立の旨) * (端裏書)「正徳6年申正月神戸弥左衛門殿・神戸彦七殿・近藤伊右衛門殿江遣シ申候仲満証文」神戸文四郎・神戸分左衛門→神戸彦七郎殿		正徳6年申正月	堅継紙・1通	い 2047
栗石代金目録之事(代金受取書) 濃州太田伊藤文右衛門(印)→大宝前新田小川唯助殿		(享保2)丁酉8月	堅紙・1通	い 1987-85
(封筒) * (封筒表書)「一石代目録 一方々井領米請取 一石籠代目録 一用水塚諸事請取 一坑木代目録 一井桁小塚諸事請取 一葺野御年貢請取 一納米請取」			封筒/(い 1513-1~10は封筒一括)・1点	い 1513-0
戌年引米(富永久兵衛・飛嶋久蔵ほか引米書上) * (端裏書)「犬山屋文左衛門殿へ」		戌12月	横切紙・1通	い 1513-1
覚(中盆代受取書) いつ、や三郎右衛門→犬山屋文左衛門様・半右衛門殿		戌極月29日	堅切紙・1通	い 1513-2
覚(中白代など受取書) さ□□や亦兵衛(印)→神戸分左衛門様		戌極月29日	堅継紙・1通	い 1513-3
覚(大宝庄屋へ遺物代など勘定書) 半右衛門→唯助殿		戌12月	折紙/(綴穴あり)・1通	い 1513-4

請取申栗石代金仕切之事(202両3分11匁7分6厘受取手形) 濃州太田伊藤又右衛門(印)→尾州大宝前新田小川只助殿	享保3戊戌8月	縦紙/(い)1513-5-1~3は紙縫一括)・1通	い 1513-5-1
石籠代目録(石籠代受取書) 犬山左七(印)・同又右衛門(印)→小川唯助殿	戌ノ6月	縦継紙・1通	い 1513-5-2
杭木目録(杭木代受取書) 犬山左七(印)・同又右衛門(印)→小川唯助殿	戌ノ6月	縦継紙・1通	い 1513-5-3
覚(鳥ヶ地村又右衛門納分10両2分3匁2分3厘受取書) * (ひねり綴付紙上書)「六石式斗七升九合五勺金納」 中嶋半右衛門(印)→大宝前新田小川唯助殿	戌11月8日	堅切紙・1通	い 1513-6
杵大工作料(大宝用水杵繕作料書上) * (ひねり綴付紙上書)「用水杵諸事請取」	3月28日	横切継紙/(い)1513-7-1~6は一綴)・1通	い 1513-7-1
覚(するめ代など勘定書) 半右衛門→唯助殿	戌3月20日	横切継紙・1通	い 1513-7-2
覚(杵作事伏方大工・木引伏方役人・手伝人飯米申上書)	戌3月晦日	小切紙・1通	い 1513-7-3
覚(片白代など勘定書) 鳥ヶ地茂右衛門→支小助様	6月20日	横切紙・1通	い 1513-7-4
覚(釘代など勘定書) かぢや兵左衛門→大宝村小川従助様	戌3月	縦継紙・1通	い 1513-7-5
覚(木材代・舟駄賃受取書) 犬山屋庄八(印)→大宝村新田唯助殿	戌6月22日	縦継紙・1通	い 1513-7-6
覚(大宝前新田諸事入用など受取書) 平蔵(印)→文左衛門殿	戌極月	横切紙/(い)1513-8-1~5は一綴/(ひねり綴の付札「葦野年貢并井領米請取」)・1通	い 1513-8-1
覚(野方年貢米受取書) 平蔵(印)→大宝前新田唯助殿	享保3戌12月	横切継紙・1通	い 1513-8-2
戌之歳井領米(井領米受取書) 大宝新田庄孫彦八郎(印)→前新田唯助殿	戌12月10日	横切継紙・1通	い 1513-8-3
請取申井領米之事(井領米受取書) 子宝村平左衛門(印)→大宝前新田唯助殿	享保3年戌之11月4日	堅切紙・1通	い 1513-8-4
覚(井領米受取書) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左衛門新田只助殿	享保3年戌12月	縦継紙・1通	い 1513-8-5
覚(代金受取書) * (ひねり綴付紙上書)「井桁小杵橋土杵繕入用請取」 蟹江材木や吉助(印)→小河唯助様	戌之12月28日	小切紙/(い)1513-9-1~10は綴一括)・1通	い 1513-9-1
覚(木材代など受取書) 犬山や庄八→大宝前新田唯助殿	戌6月	小切紙・1通	い 1513-9-2
覚(まき代など受取書) 才木や吉助(印)→小河唯助様	戌6月17日	横切継紙・1通	い 1513-9-3
覚(くき・かすかい代など受取書) 権七	5月8日	堅切継紙・1通	い 1513-9-4
覚(釘代受取書) 金十郎→唯助様	戌6月17日	横切継紙・1通	い 1513-9-5
覚(五寸釘代など受取書) 小宝村孫六→大宝前新田唯助様	戌6月17日	横切継紙・1通	い 1513-9-6
樋小杵橋繕大工作料(大工権九郎・木引勘六分作料勘定書)	戌4月	横切継紙・1通	い 1513-9-7
覚(松代受取書) 犬山屋理助(印)→大宝新田唯助殿	戌12月	縦継紙・1通	い 1513-9-8

大宝前(神戸)新田/形成期普請/初期普請

覚(釘代受取書) かぢや兵左衛門[印]→小川従助様	戌8月24日	堅切紙・1通	い 1513-9-9
覚(釘代受取書) かぢや兵左衛門[印]→大宝村小川従助様	戌7月24日	堅切紙・1通	い 1513-9-10
覚(納米亀ヶ地弥助船分受取書) * (ひねり綴付紙上書) 「八百拾石五斗舟積」 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田 唯助殿	戌9月19日	堅切紙/(い 1513-10-1~13 は一綴)・1通	い 1513-10-1
覚(大宝新田納米孫左衛門船分受取書) 犬山屋半右衛 門(印)→小川唯助殿	戌後10月18日	堅切紙・1通	い 1513-10-2
覚(大宝前新田納米喜三郎船分受取書) 犬山や半右衛 門(印)→小川唯助殿	後10月21日	堅切紙・1通	い 1513-10-3
覚(納米受取書) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田小河唯 助殿	後10月22日	堅切紙・1通	い 1513-10-4
覚(納米受取書) 犬山や半右衛門(印)→小河唯助殿	後10月22日	堅切紙・1通	い 1513-10-5
覚(納米受取書) 犬山や半右衛門(印)→小河唯助殿	後10月24日	堅切紙・1通	い 1513-10-6
覚(納米西福田積喜三郎舟分受取書) 犬山屋半右衛門 (印)→大宝前新田唯助殿	閏10月25日	堅切紙・1通	い 1513-10-7
覚(大宝前新田納米新田積孫左衛門船分受取書) 犬 山や半右衛門(印)→小川唯助殿	後10月26日	堅切紙・1通	い 1513-10-8
覚(大宝前新田納米新田積喜三郎船分受取書) 犬山 や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌閏10月28日	堅切紙・1通	い 1513-10-9
覚(大宝前新田納米新田積孫左衛門船分受取書) 犬 山や半右衛門(印)→小河唯助殿	戌後10月朔日	堅切紙・1通	い 1513-10- 10
覚(大宝前新田納米鳥ヶ地積喜三郎船分受取書) 犬 山や半右衛門(印)→小河唯助殿	戌霜月朔日	堅切紙・1通	い 1513-10- 11
覚(大宝前新田納米新田積孫左衛門船分受取書) 犬 山や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月7日	堅切紙・1通	い 1513-10- 12
覚(大宝前新田納米手船積分受取書) 犬山屋半右衛門 (印)→小川唯助殿	戌12月25日	堅切紙・1通	い 1513-10- 13

享保8年普請

(新規堤築立の入用金大分につき定米願書) *下書/ 前欠 犬山屋分左衛門→野方御奉行所	享保7年寅10月	堅継紙・1通	い 1382
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内へ金40 両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯2月13日	堅切紙/(い 1268-1~25は 一綴)・1通	い 1268-1
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯2月17日	堅切紙・1通	い 1268-2
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯2月21日	堅切紙・1通	い 1268-3
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金45両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯2月23日	堅切紙・1通	い 1268-4
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金70両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯3月朔日	堅切紙・1通	い 1268-5
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯3月6日	堅切紙・1通	い 1268-6

請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯3月9日	堅切紙・1通	い 1268-7
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金40両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯3月14日	堅切紙・1通	い 1268-8
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯3月21日	堅切紙・1通	い 1268-9
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金70両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯3月25日	堅切紙・1通	い 1268-10
請取申金子[之事](大宝前新田普請入用金の内金50 両) 小[](川唯助(印))→神戸分左衛門様	享保8年卯3月19日	堅切紙/(虫損 甚大)・1通	い 1268-11
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金20両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯3月晦日	堅切紙・1通	い 1268-12
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金20両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯4月4日	堅切紙・1通	い 1268-13
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯5月10日	堅切紙・1通	い 1268-14
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯6月17日	堅切紙・1通	い 1268-15
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯6月27日	堅切紙・1通	い 1268-16
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯7月4日	堅切紙・1通	い 1268-17
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金56両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯7月6日	堅切紙/(虫損 あり)・1通	い 1268-18
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金40両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯7月12日	堅切紙・1通	い 1268-19
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯7月28日	堅切紙・1通	い 1268-20
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金100 両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯7月	堅切紙/(虫損 あり)・1通	い 1268-21
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金20両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯8月7日	堅切紙/(い 1268-21とい 1268-23に挟み 込み)・1通	い 1268-22
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金83両1 分1匁2分8厘) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯11月	堅切紙・1通	い 1268-23
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金2068 両3分、卯の2月より7月迄度々) 小川唯助(印)→神戸 分左衛門様	享保8年卯11月	堅切紙・1通	い 1268-24
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金580両 1分18匁8厘) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯11月	堅切紙・1通	い 1268-25
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金の内金10両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保8年卯5月26日	堅切紙・1通	い 1269
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金30両1分) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	享保9年辰12月	堅切紙・1通	い 1270
請取申金子之事(大宝前新田普請入用金10両請取書)	享保8年卯4月18日	堅切紙・1通	い 1944-3

小川唯助(印)→神戸分左衛門様			
普請年代不明			
覚(大宝前新田海用留江人足代金銀受取書) 生駒伊右衛門代後藤甚八(印)→犬山や文左衛門殿	子12月16日	堅切紙・1通	い 1531-31
覚(四郎兵衛新田堀割人足金受取ならびに人足引替につき) 生駒伊右衛門(印)→犬山屋分左衛門殿へ	子12月15日	堅継紙・1通	い 1531-32
※覚(新田内普請入用として金20両) 佐藤与市(印)→神戸忠藏殿	未12月	堅切紙・1通	い 1308-106
※覚(新田内普請入用として金35両) 佐藤与市(印)→神戸忠藏殿	未11月29日	堅切紙・1通	い 1308-107
(大宝前新田堤築立につき入用金割合に金元得心仕間敷につき願書) *下書/(端裏書)「享保七年十一月替地半分程相渡申間敷候哉と御座候ニ付野方平手伝助殿迄指遣ス」	11月晦日	堅継紙・1通	い 1376

掬米徴収

納米目録

辰年納米目録(大宝前新田各種納米と烏ヶ地井領米等の差引勘定13石余書付)	(寛延元年)辰12月	堅継紙・1通	い 1998-22
寅年納米目録(本田560石1斗8升5合他納米目録)		横切継紙・1通	い 1497
卯年納米目録(メ633石1斗4升1合3勺納米目録) 大宝前新田唯助	卯12月	堅継紙・1通	い 1498
戌年納米目録(米741石7斗8升5合2勺分) 大宝前新田唯助	戌12月	堅継紙・1通	い 1992-24
巳年納米目録	午正月	堅継紙・1通	い 1999-13

掬米計算

(9月18日に庄屋立合にて取極めた上納米書付)		横切継紙・1通	い 1559-3
(つ西より坪面積書上)		横切継紙・1通	い 1559-4
覚(納米半米代など勘定書) 唯助	丑正月11日	堅切紙・1通	い 1564-13
覚(納32石8斗5升5合ほか作徳米差引勘定書)		横切継紙・1通	い 1655-1-20
(検見帳元米より他村・村方分の差引勘定書)		小切継紙・1通	い 1655-2-22
(酉年分ち～ね割など惣メ270石余・未年分ち～ね割などメ187石余の書上)		横切継紙・1通	い 1754-1
(未年分ち～ね割等メ115石余の書上)		横切継紙・1通	い 1754-2
(午年分ち～ゐ割メ168石余の書上)		横切継紙・1通	い 1754-3-1
(申・酉・未・午年分石高書上)		切継紙・1通	い 1754-3-2
覚(内新田免付書付下付願書) 新田忠右衛門→御地主様御勘定場	10月12日	横切紙/(い1956-1～10は一綴)・1通	い 1956-1

覚(辰年納米代金等25両勘定書付) 定助	午正月	横切紙・1通	い 1998-4
記(金68円50銭石代上納金受取につき) 竹内辰右衛門 →御地主御勘定場	3月15日	横切紙・1通	い 1402-181

検見

覚(反当たり斗代別の割ごとの石高書上)		横長半/(虫損あり)・1冊	い 1402-188
覚(反当たり斗代別の割ごとの石高書上)		横長半/(虫損甚大)・1冊	い 1402-189
覚(1割8分扱米10石書上)		小切紙/(虫損甚大)・1通	い 1402-190
(斗代別の割合につき書上)		横切紙/(虫損甚大)・1通	い 1402-191
「1わり2分5厘」		小切紙/(虫損甚大)・1通	い 1402-192
(斗代別の割合につき書上)		横切紙/(虫損甚大)・1通	い 1402-193
(斗代別の割合御願いにつき書上)		横切紙/(虫損甚大)・1通	い 1402-194
(2割引右4段に勘定ほか割合書上覚)		横切紙/(虫損甚大)・1通	い 1402-195
覚(高10石余に対する出米5石8斗3升2合書上) 唯助 →彦右衛門殿	12月	切継紙・1通	い 1990-7

掬米輸送

掬米送付

覚(積米100石運賃米代金2分2匁5分6厘4毛此銀錢180文につき) 舟御番所	申12月	縦継紙・1通	い 1395-8
覚(御居米蔵入相済につき手形) (村瀬)治左衛門・(川合)惣兵衛(印「御居米會所」)→大宝前新田	酉11月22日	小切紙・1通	い 1490
(積送り残米明日送付につき書状) 庄屋兩人より→御勘定場後藤衆助様貴下御返事書	10月11日	小切継紙・1通	い 1655-2-21
覚(神戸新田の納米など船輸送につき通知状) 新田忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	子11月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1655-12-9
覚(納米83石余送状) 新田庄屋忠右衛門(印)・綱藏→御地主様御勘定場	正月14日	縦紙・1通	い 1981-32
川石代金目録(受取書) 円成寺村九八(印)→大宝前新田唯助殿	享保2年酉7月8日	縦継紙・1通	い 1987-51
覚(大船町儀左衛門船積米38石の分、賃米2斗4升1合8匁、代錢786文の金銭受取につき) 舟御番所[印「舟御番所」]→大宝前新田金左衛門殿	未11月4日	切紙・1通	い 1990-12
覚(亀ヶ地横大宝前新田積米高書付) 積船舟入町文左衛門舟・同小十郎舟→永御番所	辰11月23日	縦継紙・1通	い 1997-17
(入津に際する指示承知の旨書状) 小川唯助→奥田兵治郎様	正月3日	横切継紙・1通	い 1998-15

掬米請取

覚(米12石亀地儀兵衛船、大宝前新田納受取につき) 犬山屋半右衛門(印)→唯助殿	子9月25日	堅切紙/(い 1400-46~60は 一綴)・1通	い 1400-46
覚(米42石志しミ清三郎船、新田納米受取につき) 犬 山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	子10月18日	堅切紙・1通	い 1400-47
覚(米33石5斗志しミ弥助舟、新田納米受取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	子10月20日	堅切紙・1通	い 1400-48
覚(米38石5斗志しミ清三郎船、大宝前新田納受取に つき) 犬山屋半右衛門(印)→唯助殿	子10月23日	堅切紙・1通	い 1400-49
覚(米23石志しミ清三郎船、新田納受取につき) 犬山 屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	子10月23日	堅切紙・1通	い 1400-50
覚(米65石亀ノ地儀兵衛舟、新田納受取につき) 犬山 屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	子10月27日	堅切紙・1通	い 1400-51
覚(米19石亀かし清三郎船、新田納受取につき) 犬山 屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	子10月28日	堅切紙・1通	い 1400-52
覚(米48石亀地儀兵衛船、新田納米受取につき) 犬山 屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	子11月朔日	堅切紙・1通	い 1400-53
覚(米27石5斗芝町勘七船、新田納受取につき) 犬山 屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	子11月7日	堅切紙・1通	い 1400-54
覚(米46石儀兵衛船ほか大宝前新田納受取につき) 犬山屋半右衛門(印)→新田唯助殿	子11月8日	堅切紙・1通	い 1400-55
覚(米46石5斗亀地儀兵衛船、新田納米受取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	子11月10日	堅切紙・1通	い 1400-56
覚(米87石勘七船、大宝前新田受取につき) 犬山屋半 右衛門(印)→新田唯助殿	子11月13日	堅切紙・1通	い 1400-57
覚(米56石5斗新田納受取につき) 犬山屋半右衛門 (印)→大宝前新田唯助殿	子11月3日	横切紙・1通	い 1400-58
覚(米5斗西方善蔵納受取につき) 犬山屋半右衛門 (印)→大宝前新田唯助殿	12月3日	横切紙・1通	い 1400-59
覚(米7石5斗西方善蔵、大宝前新田納受取につき) 犬 山屋半右衛門(印)→新田唯助殿	子11月20日	堅切紙・1通	い 1400-60
(鍋蓋積合にて送付他、12石5斗)		切紙/(い 1409-1~8は一 綴)・1通	い 1409-1
請取申米之事(120石5斗受取につき) 奥田兵治(印)→ 小川唯助殿	戌12月	切紙・1通	い 1409-2
覚(米5石受取につき) 白鳥市左衛門(印)→神戸新田唯助 殿	戌10月14日	切紙・1通	い 1409-3
請取申米之事(善六船合67石5斗受取につき) 犬山屋 嘉兵衛(印)→大宝前新田庄や唯助殿	戌12月27日	切紙・1通	い 1409-4
請取申米之事(善六船合62石5斗受取につき) 犬山屋 嘉兵衛(印)→大宝前新田庄屋唯助殿	戌12月26日	切紙・1通	い 1409-5
覚(米50石代金50両受取につき) 川合嘉兵衛(印)→小 川唯助殿	戌11月17日	切紙・1通	い 1409-6
請取申米之事(善六船合6石5斗受取につき) 犬山屋嘉	戌12月27日	切紙・1通	い 1409-8

兵衛(印)→大宝前新田庄屋唯助殿			
請取申米之事(亀かし儀兵衛船17石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	寅12月23日	堅継紙/(い1470-1~10は一綴)・1通	い1470-1
請取申米之事(亀かし儀兵衛舟23石) 犬山屋嘉兵衛(印)→大宝前新田定助殿	寅12月朔日	堅切紙・1通	い1470-2
請取申米之事(替地新田刎米にて5斗) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	寅霜月17日	堅切紙・1通	い1470-3
請取申米之事(亀かし儀兵衛船26石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	寅霜月24日	堅切紙・1通	い1470-4
請取申米之事(かめかし儀兵衛船67石5斗) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田小川定助殿	寅11月15日	堅切紙・1通	い1470-5
請取申米之事(亀かし儀兵衛船44石5斗) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	寅霜月17日	堅切紙・1通	い1470-6
請取申米之事(亀かし儀兵衛船18石5斗) 犬山屋嘉兵衛(印)→大宝前新田定助殿	寅11月6日	堅切紙・1通	い1470-7
請取申米之事(儀兵衛船9石5斗) 犬山屋嘉兵衛(印)→大宝前新田定助殿	寅9月22日	堅切紙・1通	い1470-8
請取申米之事(所庄八船3石) 犬山屋嘉兵衛(印)→大宝前新田小川定助殿	寅8月26日	堅切紙・1通	い1470-9
受取申米之事(所庄八船4石) 犬山屋嘉兵衛(印)→大宝前新田小川定助殿	寅8月16日	堅切紙・1通	い1470-10
覚(海西郡大宝前新田松徳米の内12石受取書) *下書		堅切紙・1通	い1531-33
覚(亀ヶ地村儀兵衛船より蔵米受取書) 関屋十兵衛(印)→小川繁右衛門殿	(延享元)子3月20日	小切継紙/(い1652-3-3~9は紙縫一括)・1通	い1652-3-3
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合61石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田庄屋定助殿	(延享元)子11月20日	堅継紙・1通	い1652-16
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合78石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	(延享元)子11月21日	堅継紙・1通	い1652-17
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合50石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田庄屋定助殿	(延享元)子11月24日	堅継紙・1通	い1652-18
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合60石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田庄屋定助殿	(延享元)子11月26日	堅継紙・1通	い1652-19
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合39石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田庄屋定助殿	(延享元)子12月晦日	堅切紙・1通	い1652-20
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合16石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田庄屋定助殿	(延享元)子12月2日	堅切紙・1通	い1652-21
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合20石5斗) 犬山屋五兵衛→大宝前新田庄屋定助殿	(延享元)127	堅切紙・1通	い1652-22
覚(大宝前新田納米受取書) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	酉11月12日	堅切紙/(付札あり「九百五拾三石五斗手形」)・1通	い1987-36
覚(大宝前新田納米受取書) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	酉11月13日	堅切紙・1通	い1987-37
覚(大宝前新田納米受取書) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	酉11月14日	堅切紙・1通	い1987-38

大宝前(神戸)新田/掬米輸送/掬米請取

覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月14日	堅切紙・1通	い1987-39
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月15日	堅切紙・1通	い1987-40
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月15日	堅切紙・1通	い1987-41
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月16日	堅切紙・1通	い1987-42
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月17日	堅継紙・1通	い1987-43
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月18日	堅切紙・1通	い1987-44
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月19日	堅切紙・1通	い1987-45
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月20日	堅切紙・1通	い1987-46
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月21日	堅継紙・1通	い1987-47
覚(大宝前新田納米受取書) 前新田唯助殿	犬山や半右衛門(印)→大宝	酉11月21日	堅継紙・1通	い1987-48
覚(大宝前新田納米受取書) 唯助殿	犬山や半右衛門(印)→小川	酉12月6日	堅切紙・1通	い1987-49
覚(大宝前新田納米受取書) 唯助殿	犬山や半右衛門(印)→小川	酉12月24日	堅切紙・1通	い1987-50
覚(大宝前新田納米として、 990石5夕請取につき) * (貼紙)「990石5夕」	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月5日	堅切紙/(い1988-1~64は一綴)/(い1988-1~14は一綴)・1通	い1988-1
覚(大宝前新田納米として75石請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月6日	堅切紙・1通	い1988-2
覚(大宝前新田納米として67石5斗請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月7日	堅切紙・1通	い1988-3
覚(大宝前新田納米として70石請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月9日	堅切紙・1通	い1988-4
覚(大宝前新田納米として70石請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月10日	堅切紙・1通	い1988-5
覚(大宝前新田納米として75石請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月11日	堅切紙・1通	い1988-6
覚(大宝前新田納米として72石5斗請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月14日	堅切紙・1通	い1988-7
覚(大宝前新田納米として70石請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月15日	堅切紙・1通	い1988-8
覚(大宝前新田納米として68石請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月16日	堅切紙・1通	い1988-9
覚(大宝前新田納米として66石請取につき)	犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月17日	堅切紙・1通	い1988-10
覚(大宝前新田納米として72石請取につき)	犬山屋半	亥11月11日	堅継紙・1通	い1988-11

右衛門(印)→大宝前新田唯助殿				
覚(大宝前新田納米として74石請取につき) 中嶋半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月22日	堅切紙・1通	い1988-12	
覚(大宝前新田納米として70石請取につき) 犬山屋半右衛門(花押)→小川唯助殿	亥11月12日	堅切紙・1通	い1988-13	
覚(大宝前新田納米として70石請取につき) 犬山や半右衛門(花押)→小川唯助殿	亥11月12日	堅切紙・1通	い1988-14	
受取申米之事(10石請取につき) * (貼紙)「五斗津嶋御物風共ニ合六百八拾五石五斗」 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	戌10月13日	堅切紙/(い1988-15~31は一綴)・1通	い1988-15	
覚(大宝前新田納米として90石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月7日	堅継紙・1通	い1988-16	
覚(大宝前新田納米39石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月7日	堅切紙・1通	い1988-17	
覚(大宝前新田納米47石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月8日	堅継紙・1通	い1988-18	
覚(納米として40石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	戌11月9日	堅切紙・1通	い1988-19	
覚(納米として18石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	戌11月9日	堅継紙・1通	い1988-20	
覚(大宝前新田納米113石5斗請取につき) 犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月10日	堅切紙・1通	い1988-21	
覚(大宝前新田納米28石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月10日	堅切紙・1通	い1988-22	
覚(納米7石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	戌11月13日	堅継紙・1通	い1988-23	
覚(大宝前新田納米21石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月15日	堅継紙・1通	い1988-24	
覚(大宝前新田納米31石林平分他ノ96石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月17日	堅継紙・1通	い1988-25	
受取申米之事(大宝前新田納米45石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月23日	堅切紙・1通	い1988-26	
覚(大宝前新田納米25石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	戌11月22日	堅継紙・1通	い1988-27	
覚(大宝前新田納米8石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月23日	堅切紙・1通	い1988-28	
覚(大宝前新田納米41石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌11月25日	堅切紙・1通	い1988-29	
覚(新田納米40石他ノ45石5斗請取につき) 犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	戌12月朔日	堅継紙・1通	い1988-30	
覚(大宝前新田納米9石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→小川唯助殿	戌12月4日	堅切紙・1通	い1988-31	
覚(大宝前新田納米2石5斗請取につき) * (貼紙)「五百拾四石」 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥9月11日	堅切紙/(い1988-32~43は一綴)・1通	い1988-32	
覚(大宝前新田納米として4石5斗請取につき) 犬山や半右衛門(印)→小川唯助殿	亥9月18日	堅切紙・1通	い1988-33	

大宝前(神戸)新田/掬米輸送/掬米請取

覚(納米64石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝新田唯助殿	亥11月11日	豎継紙・1通	い1988-34
覚(米74石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥11月13日	豎切紙・1通	い1988-35
覚(納米10石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥11月16日	豎切紙・1通	い1988-36
覚(納米12石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥11月16日	豎継紙・1通	い1988-37
覚(大宝新田納御蔵米113石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→小川唯助殿	亥11月19日	豎切紙・1通	い1988-38
覚(大宝新田納御蔵米50石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥11月22日	横切紙・1通	い1988-39
覚(大宝新田納米15石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥11月24日	横切紙・1通	い1988-40
覚(大宝新田納米35石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥11月24日	横切紙・1通	い1988-41
覚(儀三郎分65石他請取につき) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥11月27日	横切紙・1通	い1988-42
覚(大宝新田納米として25石請取につき) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥12月3日	豎継紙/(継目剥離)・1通	い1988-43
覚(大宝新田納米7石請取につき) 神戸分左衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥12月7日	横切紙・1通	い1988-44
覚(米91石請取につき) * (貼紙)「メ五百九拾四石」 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月6日	豎継紙/(い1988-45~58は一綴)・1通	い1988-45
覚(米33石亀池善吉分他大宝新田納米請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月19日	豎継紙・1通	い1988-46
覚(大宝新田納米90石5斗請取につき) 犬山や半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月16日	豎切紙・1通	い1988-47
覚(大宝新田納米44石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月16日	豎切紙・1通	い1988-48
覚(大宝新田納米44石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月17日	豎切紙・1通	い1988-49
覚(大宝新田納米12石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月18日	豎切紙・1通	い1988-50
覚(大宝新田納米34石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月19日	豎切紙・1通	い1988-51
覚(大宝新田納米12石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月21日	豎切紙・1通	い1988-52
覚(大宝新田納米22石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月22日	豎継紙・1通	い1988-53
覚(大宝新田納米42石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	丑11月朔日	豎継紙・1通	い1988-54
覚(大宝新田納米6石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝前新田小川唯助殿	丑12月4日	横切紙・1通	い1988-55
覚(大宝新田納米として27石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→大宝新田唯助殿	丑12月12日	豎切紙・1通	い1988-56

覚(大宝新田納米として1石請取につき) 犬山屋半右衛門(印)→小川唯助殿	丑12月23日	堅切紙・1通	い 1988-57
(米38石大宝前新田代金書上)		堅切紙・1通	い 1988-58
請取申米之事(納米4石5斗請取につき) * (貼紙)「納百八拾九石手形」 犬山屋庄八(印)→小川兵助殿	午11月10日	堅切紙/(い1988-59~64は一綴)・1通	い 1988-59
請取申米之事(納米52石請取につき) 犬山屋庄八(印)→小川兵助殿	午11月13日	堅切紙・1通	い 1988-60
請取申米之事(納米8石請取につき) 犬山屋庄八(印)→小川兵助殿	午11月18日	堅切紙・1通	い 1988-61
覚(納米17石5斗請取につき) 犬山屋半右衛門[印]→小川唯助殿	午11月20日	堅切紙・1通	い 1988-62
覚(大宝前新田午の納米の内105石請取につき) 犬山や半右衛門[印]→小川唯助殿	午11月20日	堅切紙・1通	い 1988-63
覚(大宝前新田納米の内2石請取につき) 犬山や半右衛門[印]→小川唯助殿	午12月23日	堅切紙・1通	い 1988-64
覚(大宝前新田年貢米40石6斗7合分受取につき) 佐次兵衛・平蔵(印)→唯助殿	12年未極月	横切継紙・1通	い 1990-8

地主仲間

大宝前新田年々納米勘定割付帳	享保8年卯11月(～延享2年)	半(二ツ綴)・1冊	い 2055
覚(御蔵米55石大宝前新田納手前に入置預りにつき) * (端裏書)「表書米不殘渡済 午三月七日」墨消 神戸分左衛門(印墨消)→伊藤忠左衛門殿	(元文2年)巳閏11月17日	堅切紙・1通	い 1395-13
覚(尾州大宝前新田去亥年掬米の内、神戸彦七扣地分勘定割賦米高受取書) * (端裏書)「四尺□案文ひかえ」神戸彦七→神戸分左衛門殿	延享元年子5月20日	堅紙/(貼紙あり)・1通	い 1395-26
辰年納米割府勘定(神戸分左衛門・神戸弥左衛門・神戸彦七・近藤伊右衛門へ割付計算につき)	寛延2年巳正月	堅継紙・1通	い 1980
巳年納米割符勘定	寛延3年午正月	堅継紙・1通	い 2000-3
借用申金子之事(愛知郡日比津村高20石を書入れ金5両) 借り主古川定右衛門(印)・加判佐次兵衛(印)→萱津屋伊右衛門殿	宝暦5年亥12月	堅紙・1通	い 1298-16
大宝新田刁卯兩年納米割符覚(ノ80両8分10匁4分8厘) * (端裏書)「辰五月神戸弥左衛門殿遣スひかへ」神戸分左衛門→神戸弥左衛門殿	辰正月	堅継紙・1通	い 1435
覚(金39兩1分余より惣仲満へ出金の神戸分15兩3分を差引き残金23兩2分余の旨) 福原新田多治・鳥ヶ地新田周平・鎌嶋新田忠之(印)・神戸新田唯助(印)・同重右衛門・同平吉	午ノ霜月	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1805-3
覚(木挽町より舟賃・川越平袴地ほか代合金5兩2分余受取書) 小沢市左衛門→犬山屋治蔵殿	卯極月	堅継紙/(虫損あり)・1通	い 1805-4
巳年分(弥左衛門・彦七・分左衛門三名の借金差引残金書上)		堅紙・1通	い 1965
覚(金子3341両余の内、請取分並びに残金書上) 神戸分左衛門→神戸弥左衛門殿	寅8月	堅継紙/(い2021-1~4は一綴)・1通	い 2021-1

大宝前(神戸)新田/地主仲間

覚(金子1672両余の内、請取分並びに残金書) 神戸分左衛門→近藤伊右衛門殿	寅8月	縦継紙・1通	い 2021-2
覚(金子835両ほか代金書上)		縦切紙・1通	い 2021-3
覚(金子2505両余の内、請取分並びに残金書上) 神戸分左衛門→神戸彦七殿	寅8月	縦継紙・1通	い 2021-4

経営費用

入用金請取・願

請取申金子之事(大宝前新田祈念料金12両3分・銀1匁9分5厘) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸弥左衛門様	宝永7年寅7月	縦切紙・1通	い 1266-2
請取申金子之事(大宝前新田丑年中坎其外諸材木代金ノ金83両3分・銀2匁6分6厘) 伊東庄兵衛(印)・小川唯助(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅7月晦日	縦切紙・1通	い 1266-3
請取申金子之事(大宝前新田寅年中坎其外諸材木代金ノ金56両3分・銀2匁4分1厘) 小川唯助(印)・伊東庄兵衛(印)→神戸分左衛門様	宝永7年寅7月晦日	縦切紙・1通	い 1266-4
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯6月2日	縦切紙/(い 1263-1~14は一綴)・1通	い 1263-1
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金5金4両・銀6匁8分6厘) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯6月6日	縦切紙・1通	い 1263-2
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金5両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯6月27日	縦切紙・1通	い 1263-3
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金6両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯7月4日	縦切紙・1通	い 1263-4
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金20両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯7月13日	縦切紙・1通	い 1263-5
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金30両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯8月3日	縦切紙・1通	い 1263-6
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金7両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯8月18日	縦切紙・1通	い 1263-7
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金5両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯9月13日	縦切紙・1通	い 1263-8
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金5両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯10月29日	縦切紙・1通	い 1263-9
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金5両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯12月27日	縦切紙・1通	い 1263-10
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金47両1分・銀10匁) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯12月28日	縦切紙・1通	い 1263-11
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金86両3分) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯12月14日	縦切紙・1通	い 1263-12
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金52両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯12月28日	縦切紙・1通	い 1263-13
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金40両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様	正徳元年卯12月27日	縦切紙・1通	い 1263-14

請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金15両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	宝永8年卯正月17日	堅切紙/(い 1267-1~7は一 綴)・1通	い 1267-1
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金45両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	宝永8年卯2月28日	堅切紙・1通	い 1267-2
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金30両) 川唯助(印)→神(神戸)分左衛門様	小	宝永8年卯2月20日	堅切紙・1通	い 1267-3
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	宝永8年卯2月晦日	堅切紙・1通	い 1267-4
請取申金子之事(大宝前新田繕入用金の内金20両) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様		宝永8年卯3月15日	堅切紙・1通	い 1267-5
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金30両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	宝永8年卯4月2日	堅切紙・1通	い 1267-6
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金25両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	宝永8年卯4月19日	堅切紙・1通	い 1267-7
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金15両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰正月21日	堅切紙/(い 1271-1~13は 一綴)・1通	い 1271-1
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金10両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰2月10日	堅切紙・1通	い 1271-2
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金10両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰3月13日	堅切紙・1通	い 1271-3
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金10両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰4月29日	堅切紙・1通	い 1271-4
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金15両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰6月6日	堅切紙・1通	い 1271-5
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金15両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰7月3日	堅切紙・1通	い 1271-6
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金20両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰7月9日	堅切紙・1通	い 1271-7
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金10両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰7月12日	堅切紙/(い 1271-7とい 1271-9に挟み 込み)・1通	い 1271-8
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金16両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰8月28日	堅切紙・1通	い 1271-9
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金5両) 唯助(印)→神戸分左衛門様	小川	正徳2年辰9月19日	堅切紙・1通	い 1271-10
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金12両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰10月15日	堅切紙・1通	い 1271-11
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内、214両1匁7 分7厘) 小川唯助→神戸分左衛門様		正徳2年辰12月28日	堅切紙・1通	い 1271-12
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金65両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	正徳2年辰12月28日	堅切紙・1通	い 1271-13
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金30両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戊正月18日	堅切紙/(い 1262-1~19は 一綴)・1通	い 1262-1
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戊2月23日	堅切紙・1通	い 1262-2

大宝前(神戸)新田/経営費用/入用金請取・願

請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌2月16日	堅切紙・1通	い1262-3
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金30両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌2月5日	堅切紙・1通	い1262-4
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌3月14日	堅切紙・1通	い1262-5
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌3月17日	堅切紙・1通	い1262-6
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌3月25日	堅切紙・1通	い1262-7
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌4月13日	堅切紙・1通	い1262-8
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌4月10日	堅切紙・1通	い1262-9
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金38両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌5月朔日	堅切紙・1通	い1262-10
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌5月12日	堅切紙・1通	い1262-11
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金60両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌6月7日	堅切紙・1通	い1262-12
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金50両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌6月22日	堅切紙・1通	い1262-13
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金10両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌8月19日	堅切紙・1通	い1262-14
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金15両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌閏10月7日	堅切紙・1通	い1262-15
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金40両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌12月11日	堅切紙・1通	い1262-16
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金30両) 川唯助(印)→神戸分左衛門様	小	享保3年戌12月11日	堅切紙・1通	い1262-17
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金115両1分ト 3匁9分1厘) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様		享保3年戌12月11日	堅切紙・1通	い1262-18
請取申金子之事(大宝前新田入用金の内金61両2分ト4 匁2分他ノ93両2分) 小川唯助(印)→神戸分左衛門様		享保3年戌12月29日	堅切紙・1通	い1262-19
※覚(新田内普請入用として金20両受取) (印)→神戸忠蔵殿	佐藤与市	未12月	堅切紙・1通	い1308-106
※覚(新田内普請入用として金35両受取) (印)→神戸忠蔵殿	佐藤与市	未11月29日	堅切紙・1通	い1308-107
(札金3両1分相渡すにつき覚) 神戸新田		卯6月8日	札/(虫損あり)・1点	い1400-7
(昶3石代金2両8匁5分7厘相渡すにつき覚) 神戸新田		卯6月8日	札/(虫損あり)・1点	い1400-8
請取申金子之事(大宝前新田諸入用金のうち12両受 取手形) 小川定助(印)→神戸新田唯助殿		延享4年卯6月15日	堅切紙/(い1504-1~9は一 綴)・1通	い1504-1
請取申金子之事(大宝前新田諸入用金のうち14両受 取手形) 小川定助(印)→神戸新田唯助殿		延享4年卯4月25日	堅切紙/(い1504-2-1~2は 貼継)・1通	い1504-2-1

覚(杖伏替人足代など書上) 大宝前新田定助	卯4月25日	小切紙・1通	い 1504-2-2
請取申金子之事(大宝前新田諸入用金のうち20両受取手形) 小川定助(印)→神戸分左衛門殿	延享4年卯2月3日	堅切紙・1通	い 1504-3
請取申金子之事(大宝前新田諸入用金のうち5両受取手形) 小川定助(印)→神戸文左衛門殿	延享4年卯4月6日	堅切紙・1通	い 1504-4
請取申金子之事(大宝前新田諸入用金のうち5両2分受取手形) 小川定助(印)→神戸文左衛門殿	延享4年卯12月24日	堅切紙・1通	い 1504-5
請取申金子之事(大宝前新田諸入用金のうち5両受取手形) 小川定助(印)→神戸文左衛門殿	延享4年5月25日	堅切紙・1通	い 1504-6
請取申金子之事(大宝前新田内普請材木代金のうち8両受取手形) 小川定助(印)→神戸文左衛門殿	延享4年卯4月	堅切紙・1通	い 1504-7
請取申金子之事(大宝前新田諸入用金のうち24両受取手形) 小川定助(印)→神戸文左衛門殿	延享4年卯12月	堅切紙・1通	い 1504-8
請取申金子之事(大宝前新田諸入用金のうち6両受取手形) 小川定助(印)→神戸文左衛門殿	延享4年卯7月25日	堅切紙・1通	い 1504-9
寅年新田入用覚(新田入用金差引勘定書) 定助	卯正月	横切紙・1通	い 1531-11
(入用引当金借用願につき書状) 新田庄屋忠右衛門→神戸様御勘定場	6月26日	横切紙/(い 1557-3-1~2はい 1557-1の丁間結付)・1通	い 1557-3-1
覚(伝馬銀上納、入用引当など借用願書) →御地主様御勘定場	閏5月23日	横切紙・1通	い 1559-13
覚(新田諸入費差引勘定書)	寅正月	堅継紙・1通	い 1564-5
寅年上ヶ金(新田諸入費差引勘定書)	卯正月	堅紙・1通	い 1564-6
覚(入用引当・井組金勘定書) 新田庄屋→御勘定場	6月28日	横切継紙・1通	い 1564-14
(大宝前新田入用金受取書) 小川唯助→神戸分左衛門様	申12月	堅紙・1通	い 1564-16
請取申金子ノ事(新田関係費より替地損米代の差引勘定書) 大宝前新田唯助	申正月10日	堅継紙・1通	い 1564-17
覚(夫銀上納引当内金渡し依頼状) 庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	亥2月2日	小切紙/(い 1655-1-28に巻込)・1通	い 1655-1-27
覚(金8両3分2朱受取につき) 新田辰右衛門→御勘定場	亥2月5日	小切紙・1通	い 1655-1-28
覚(9月入用・大工左官人足賃引当内金書付) 新田忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	戌9月	小切紙・1通	い 1655-1-34
覚(3月15日・17日の神戸新田メ金14両1分銀8匁受取書) 新田辰右衛門→御地主様御勘定場	酉3月17日	小切紙・1通	い 1655-2-3
覚(神戸新田分伝馬銀など庄屋綱藏へ渡しにつき書付)		小切継紙・1通	い 1655-2-6
覚(神戸新田分伝馬銀など勘定書) 新田庄屋綱藏→御勘定場	酉6月4日	小切紙・1通	い 1655-2-7
覚(杖土方内金借用分など代金勘定書) 新田庄屋綱藏→御地主様御勘定場	酉6月20日	小切紙・1通	い 1655-2-8
覚(問屋口銭など受取書) 庄屋兩人→御地主様御勘定場	戌5月26日	小切紙・1通	い 1655-2-17

大宝前(神戸)新田/経営費用/入用金請取・願

覚(平七ほか人名書付)		小切紙/(い1655-2-18~19は巻込一括)・1通	い1655-2-18
覚(神戸新田分小作救方麦代引当拝借金など書付) 庄屋忠右衛門・庄屋綱蔵→御地主様御勘定場	戌5月26日	小切紙・1通	い1655-2-19
覚(神戸新田、名古屋佐屋寒見舞入用書上) 新田忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	子12月25日	小切紙・1通	い1655-12-2
覚(山番への支払金2両1分ほか私方へ払うよう願書) 只助→加藤治蔵様	12月28日	横切継紙・1通	い1669
「唯助へ渡し金手形状壺通 金高三百五拾九両」*札付き紙繕り		札・1点	い1809
記(金92円差引残金82円鳥ヶ地前・四郎兵衛新田分請取につき) 忠右衛門・辰右衛門→旦那様		横切継紙/(虫損あり)・1通	い1402-174

入用勘定

「元金五拾両・金貳両 神戸新田庄屋引受」	天保11子年7月	札/(い1804-1はい1804-2に巻付)・1点	い1804-1
覚(佐屋飯米引当・下ノ郷下用引当他ノ12両の書上)	天保10亥年	切継紙・1通	い1804-2
嘉永二酉十二月廿二日米勘定之覚	嘉永2酉12月22日	横切紙・1通	い1653-2
郷々立合物引分ケ之分(用水・橋普請費用を下之郷・古台郷他へ割賦計算書)		横切継紙/(い1398-1~10は一綴)・1通	い1398-1
覚(堤普請金他を古台郷・下之郷他で割賦する勘定帳面再応取り調べにつき) 唯助→衆助様	7月27日	横切継紙・1通	い1398-2
覚(1月ごとの神戸新田入用12ヶ月分勘定書付)	丑3月6日	横切紙・1通	い1402-169
(7両1分ト12匁1分2厘閏正月分不足金他ノ20両ト9匁8分5厘金銭書上覚)		横切紙・1通	い1402-218
覚(海用留諸入用ほか合177両2分13匁3分5厘金銭書上)	酉ノ8月	横切継紙(桃色宿紙)・1通	い1606
(丑ノ年中新田入用勘定書付)		横切継紙/(い1652-1~24は紙繕一括)/(い1652-1~2はい1652-3~24を包込)・1通	い1652-1
(新田入用差引勘定書付)		横切紙・1通	い1652-2
覚(伝馬・左官人足賃引当金書付) 庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	戌10月9日	小切紙・1通	い1655-1-23
覚(道普請・3月分入用金額書付) 庄屋→御地主様御勘定場	亥3月	小切継紙・1通	い1655-1-31
キ(2月分金など支払証文) 綱蔵より→神戸様	3月30日	青色罫紙/(い1655-10-17-1~5は紙繕一括)・1通	い1655-10-17-1
覚(神戸新田、鳥ヶ地立会用水入用など勘定書) 新田庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	子12月14日	小切継紙・1通	い1655-12-5
覚(权上ならし等坪あたりの人足差引算用書)		折紙・1通	い1655-12-6

覚(金15両の内残金13両3分にて返納の旨) 新田忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	辰正月28日	切紙・1通	い 1817
覚(麦金勘定引当・7月分入用引当×4両2分の旨) 新田庄屋→御勘定場	子6月23日	小切継紙・1通	い 1831
覚(伝馬銀・御検見入用引当金3両など金銭書上) 新田忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	子10月11日	横切紙・1通	い 1956-2
覚(4月分入用金2両など金銭書上) 新田庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	4月10日	横切紙・1通	い 1956-3
覚(佐屋飯米引当金2両余など金銭書上) 庄屋忠右衛門→御地主様御勘定場	12月25日	横切紙・1通	い 1956-5
覚(伝馬銀金3両余など金銭書上) 庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	6月5日	横切紙・1通	い 1956-7
覚(7月分入用引当金等×6両金銭勘定書上) 新田忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	子7月	横切紙・1通	い 1956-8
覚(人足用水願につき宿米1分11匁余書付) →よし町勘七江控申候	子12月	横切紙・1通	い 1981-8
覚(金左衛門借金返金、四郎兵衛中堤葭薄代等×15両余書付) 唯助	未正月10日上ル	縦紙・1通	い 1981-31
覚(大金3枚分差引済みにつき書付) 孫七→唯助殿	酉8月8日	小切紙・1通	い 1987-2
覚(鴨代金など差引勘定書) * (端裏書)「金壱分請取 藤七 極月大晦日 只助様」文二郎→唯助殿	申11月21日	横切紙・1通	い 1987-4
覚(金三両より運上・油など代金差引勘定書)	5月7日	小切紙・1通	い 1987-22
覚(年貢半米代金など書付) 唯助	丑2月10日	小切継紙・1通	い 1995-9
覚(井領米・指米・運賃米×6石余勘定書上)		縦切紙・1通	い 1999-9
覚(古台葭山運上、飛嶋山運上など諸入用書上) 只助	午正月	横切継紙・1通	い 2001-8
戌年分(川運上・北ヶ輪薄代など諸入用書上) 只助	戌12月	横切継紙・1通	い 2001-10
覚(葭山川運上・子年調達金など諸入用×125両1分と7匁5分4厘書上)		横切継紙・1通	い 2001-12
覚(古台葭運上等×220両2分と3匁1分9厘金銭書上) 只助	未正月	横切紙・1通	い 2001-13
覚(古台葭運上等×金179両と銀10匁2分5厘金銭書上) 只助	申正月	横切継紙・1通	い 2001-17
覚(会所小売上ヶ等×4両2分205文金銭書上) 唯助	戌正月9日	縦継紙・1通	い 2001-19

諸入用

諸入用書付袋・束・綴

(包紙) * (包紙上書)「諸事請取手形」	享保11年午12月	包紙/(い 2066-1~8は包紙一括)・1点	い 2066-0
覚(居米代金差引勘定書付) 午藏→唯助殿	(享保11年)午11月7日	小切紙・1通	い 2066-1
覚(柳枯草銀37匁受取書) 寺澤茂助(印)・服部惣右衛門(印)→覬前新田庄屋中	享保11年11月	小切紙・1通	い 2066-2
覚(野方年貢米40石余受取書) 佐次兵衛・平藏(印)→大	享保11年午11月	横切継紙・1通	い 2066-3

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/諸入用書付袋・束・綴

宝前新田唯助殿			
請取申米之事(井領米等6石余受取書) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左衛門新田只助殿	享保11年午極月	豎継紙・1通	い 2066-4
午年納米目録(納米と井領米等との差引勘定490石余書上) 大宝前新田唯助	未正月	豎継紙・1通	い 2066-5
堤石籠代金目録(代金16両余受取書) 犬山左七(印)→大宝前新田唯助殿	享保11年午4月9日	豎紙・1通	い 2066-6
(包紙) * (包紙上書)「午年新田請取書」		包紙・1点	い 2066-7
覚(川運上と請取金差引勘定3分余書上) 唯助	未正月10日	豎継紙・1通	い 2066-8
(袋) * (袋上書)「大宝前新田諸請取書入」	享保20年卯12月	袋(い1404-1~12は袋一括)・1点	い 1404-0
覚(樋古木川上ヶケ日用代銀6匁1分余受取につき) 杖御作事方(印)→大宝前新田庄屋中	卯4月18日	切紙/(い1404-1~12は一綴)・1通	い 1404-1
覚(樋1抜手伝日用代銀30匁6分余受取につき) 杖御作事方(印)→大宝前新田庄屋中	卯4月7日	切紙・1通	い 1404-2
覚(鳥ヶ地・子宝新田人足メ74人につき)	卯4月	切継紙・1通	い 1404-3
覚(当卯年柳枯草銀37匁7分受取につき) 山田左右衛門(印)・鬼頭伝大夫(印)→文左衛門新田庄屋	卯12月4日	切紙・1通	い 1404-4
杖出へ(重助・徳右衛門・分左衛門新田メ25人につき)		切紙(桃色宿紙)・1通	い 1404-5
覚(人足40人代銀2分余につき) 平左衛門→唯助殿	卯12月18日	切紙・1通	い 1404-6
覚(野方御年貢米代2両1分余受取につき) * (札)「六百卅四文入用取」巻込 福田新田佐次兵衛(印)	享保20卯12月16日	横切継紙・1通	い 1404-7
覚(釘・かけかね他代メ2夕911文受取につき) かにへ門助	卯12月寅12月~卯12月	横切継紙・1通	い 1404-8
覚(上松戸ほか代3貫819文指引済につき) 銀屋町古木や九郎右衛門(印)→神戸唯助様	卯12月9日	豎紙・1通	い 1404-9
井領(当卯年井領米高10石1斗8合につき) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左衛門新田只助殿	(享保20)乙卯極月	豎継紙・1通	い 1404-10
覚(当卯年井領米6石5斗につき) 鳥ヶ地新田才兵衛→分左衛門新田唯助殿	享保20年乙卯極月15日	豎切紙・1通	い 1404-11
覚(葭町与左衛門船樋杖1抜賃錢渡につき) 船御番所[印「船御番取」]→大宝前新田定助殿	卯4月9日	豎切紙・1通	い 1404-12
(袋) * (袋上書)「丑年中旁請取入」		袋/(い1652-4-1~10は袋一括)・1点	い 1652-4-0
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合29石5斗) 犬山屋嘉兵衛(印)→大宝前新田定助殿	(延享2)丑11月22日	豎継紙/(い1652-4-1~10は一綴)・1通	い 1652-4-1
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合30石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	(延享2)丑12月23日	豎切紙・1通	い 1652-4-2
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合34石5斗) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	(延享2)丑ノ12月12日	豎継紙・1通	い 1652-4-3
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合31石5斗) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	(延享2)丑ノ12月12日	豎切紙・1通	い 1652-4-4

請取申納米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合35石5斗) 犬山屋嘉兵衛(印)→大宝前(新田)定助殿	(延享2)丑12月9日	縦継紙・1通	い 1652-4-5
請取申納米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合104石) 犬山屋嘉兵衛(印)→神戸新田定助殿	(延享2)丑11月29日	堅切紙・1通	い 1652-4-6
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合67石) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	(延享2)丑ノ11月26日	堅切紙・1通	い 1652-4-7
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合4石5斗) 犬山屋五兵衛(印)→小川定助殿	(延享2)丑10月28日	堅切紙・1通	い 1652-4-8
請取申米之事(合3石5斗) 犬山屋嘉兵衛(印)→小川定助殿	(延享2)丑ノ10月14日	堅切紙・1通	い 1652-4-9
請取申米之事(亀ヶ地新田儀兵衛船分合13石7斗) 犬山屋五兵衛(印)→大宝前新田定助殿	(延享2)丑閏12月26日	縦継紙・1通	い 1652-4-10
覚(普請用材代金書上) * (端裏書)「ふ請」 山形屋庄兵衛→小川繁右衛門殿	(延享2)丑4月	堅切継紙/(い1652-5-1~3は紙縫一括)・1通	い 1652-5-1
覚(普請の人足賃受取書) * (端裏書)「村入普請」 甚助→定助殿	(延享2)丑7月10日	横切継紙・1通	い 1652-5-2
覚(釘代金1両1分と3匁6分受取、内1両1匁6分は新田 普請入用より出金) * (端裏書)「普請」 かにへ円助→小川敏(繁)右衛門殿	(延享2)丑7月11日	横切継紙・1通	い 1652-5-3
覚(普請人足飯米代金勘定書) * (端裏書)「会所」	(延享2)丑12月	横切継紙/(い1652-6-1~4は紙縫一括)・1通	い 1652-6-1
覚(普請人足代・入用勘定書) * (端裏書)「会所」	(延享2)丑12月	横切継紙・1通	い 1652-6-2
覚(油代340文受取書) * (端裏書)「会所」 津島伊左衛門→半助様	(延享2)丑9月12日	横切継紙・1通	い 1652-6-3
覚(むしろ代ほか受取書) * (端裏書)「会所」 かにへ新蔵→神戸新田さだ助様	(延享2)丑9月10日	堅紙・1通	い 1652-6-4
覚(大宝前新田米80石5斗並びに運賃米5斗余代金受 取書) 船御番所	(延享2)丑閏12月20日	縦継紙/(い1652-7-1~11は紙縫一括)・1通	い 1652-7-1
(不足金額書付)	(延享2)	小札/(い1652-7-2~5は巻込一括)・1点	い 1652-7-2
(入用金額書付)	(延享2)	小札・1点	い 1652-7-3
覚(大宝前新田丑年野方年貢米代銀12匁余受取につ き) 御山廻高橋佐次兵衛[印]	延享2年丑12月29日	小切継紙・1通	い 1652-7-4
覚(大宝前新田丑年野方年貢米代金8匁余受取につ き) * (端裏書)「ヨシノ」 御山廻高橋佐次兵衛[印]	延享2年丑12月27日	小切継紙・1通	い 1652-7-5
覚(柳枯草代銀42匁余受取書) 岡村安左衛門(印)・伊藤佐平(印)→大宝前新田庄屋中	(延享2)丑閏12月3日	小切紙/(い1652-7-6~7は巻込一括)・1通	い 1652-7-6
覚(柳枯草代銀37匁余受取書) 岡村安左衛門(印)・伊藤佐平(印)→文左衛門新田庄屋中	(延享2)丑閏12月3日	小切紙・1通	い 1652-7-7
覚(塩違米・了簡米など勘定書)	(延享2)丑閏12月	横切継紙・1通	い 1652-7-8
覚(大宝前新田分年貢米25日までに上納すべきにつ き書付) 御山廻高橋佐次兵衛[印]	延享2年丑12月	横切紙・1通	い 1652-7-9
(神納米受納につき書状) 御師真野太郎太夫→小川定助	(延享2)丑12月1日	堅紙・1通	い 1652-7-10

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/諸入用書付袋・束・綴

様			
井領米覚(鳥ヶ地新田分井領米相違無御座につき) 鳥ヶ地村庄屋三右衛門(印)→大宝前新田定助殿	延享2年丑12月	堅切紙/(い 1652-7-11-1~ 2は貼継一括)・ 1通	い 1652-7- 11-1
(運賃米など書付) 大宝前新田定助	(延享2)丑12月22日	堅切紙・1通	い 1652-7- 11-2
覚(鬼頭太左衛門の金子ほか差引勘定書)	(延享元)5月6日	堅継紙/(い 1652-23-1~7 は紙繕一括)・1 通	い 1652-23-1
覚(魚代金受取書) * (端裏書)「村」 蟹江村甚六→小川唯助様	(延享元)子5月20日	堅継紙・1通	い 1652-23-2
覚(玉子ほか諸品代金勘定書) * (端裏書)「村」 八百や権兵衛	(延享元)3月23日書付	横切継紙・1通	い 1652-23-3
覚(むきみ・割木代ほか諸品代金受取書) * (端裏書)「村」 さ、や久左衛門(印)→小川只助様	(延享元)子5月17日	横切継紙・1通	い 1652-23-4
覚(大宝前新田の残金を3人の者へ分割して渡した書付)	(延享元)8月6日	横切紙・1通	い 1652-23-5
覚(あわひ他諸品代金受取書) * (端裏書)「村」 新左衛門→神戸新田敏(繁)右衛門様	(延享元)5月11日	横切紙・1通	い 1652-23-6
覚(かまぼこ他諸品代金受取書) * (端裏書)「村」 新左衛門(印)	(延享元)4月9日	横切継紙・1通	い 1652-23-7
覚(からしみその他諸品代金受取書) * (端裏書)「村」 新左衛門→敏右衛門様	(延享元)8月 6日	横切継紙/(い 1652-24-1~7 は紙繕一括)・1 通	い 1652-24-1
覚(鮎ほか諸品代金受取書) * (端裏書)「村」 かにへ村魚や甚六(印)→神戸新田小川唯助様	(延享元)子7月10日	横切継紙・1通	い 1652-24-2
覚(ふりつけ6日分ほか代金書上) * (端裏書)「村」/「通ニ入相済也」と後筆あり	(延享元)子7月1日	横切紙・1通	い 1652-24-3
覚(糶みその他諸品代金受取書) * (端裏書)「村」 津嶋辻清左衛門→神戸新田只助様	(延享元)5月27日	横切紙・1通	い 1652-24-4
覚(ふな他諸品代金書上) * (端裏書)「村」	(延享元)	堅切紙・1通	い 1652-24-5
覚(なすな他諸品代金受取書) * (端裏書)「村」 かにへ新蔵→しげ右衛門殿	(延享元)7月10日	横切継紙・1通	い 1652-24-6
覚(うなき他諸品代金受取書) かにへ村魚や甚六(印)→小川唯助様	(延享元)子7月5日	横切継紙・1通	い 1652-24-7
(包紙) * (包紙上書)「丑年買物請取入」 重右衛門		包紙/(い 1515-1~12は 包紙・紙繕一 括)・1点	い 1515-0
覚(栗代など勘定書) 永田屋→前新田重右衛門殿	丑12月	堅継紙・1通	い 1515-1
覚(井領米受取書) 子宝新田小右衛門→神戸新田重右衛門様	丑12月	小切紙/(い 1515-2-1~3は 一綴)・1通	い 1515-2-1
覚(井領米受取書) 平嶋服部市兵衛→大宝前新田御庄屋中	宝暦7年丑12月22日	横切紙・1通	い 1515-2-2
目録(井領米・越米・運賃など目録) 鳥ヶ地新田三右衛門→大宝前新田重右衛門殿	丑12月25日	横切紙・1通	い 1515-2-3

覚(杵橋繕入用請取書) 鳥ヶ地新田三右衛門(印)→大宝前新田重右衛門殿	丑12月	小切紙・1通	い 1515-3
覚(木竹代など書付) 亀ヶ地舟→神戸只助様	丑ノ12月	小切紙・1通	い 1515-4
覚(草鞋代など受取書) 蟹江村五平次→神戸新田唯助様	丑3月	縦継紙・1通	い 1515-5
覚(11人代受取書) 東や久四郎	丑12月27日	横切紙・1通	い 1515-6
覚(白味噌代など受取書) 五平次→重右衛門様	丑極月28日	縦継紙・1通	い 1515-7
覚(杉代受取書) 鳥ヶ地五兵衛→神戸彦助様	丑7月	小切紙・1通	い 1515-8
覚(すみ代など書付) 五平次→神戸新田重右衛門殿	11月16日	小切紙/(い 1515-9-1~2は巻込一括)・1通	い 1515-9-1
覚(すみ代など受取書) かにへ村五平次→重右衛門殿	11月17日	横切紙・1通	い 1515-9-2
覚(夜着・ふとん3人前代銀書付) 又次郎	10月16日	縦切紙・1通	い 1515-9-3
覚(夜着・ふとん・4人前損料1夜分代銀書付) 門右衛門→又次郎様	16日	横切紙・1通	い 1515-9-4
覚(白味噌代など受取書) かにへ村五平治→神戸新田重右衛門様	9月29日	横切継紙・1通	い 1515-10
覚(杵釘代など受取書) かにへ圓助→かんと重右衛門様	7月13日	縦紙・1通	い 1515-11
覚(大宝前新田分御役所割・下用銀高書付)		小切紙・1通	い 1515-12
覚(金2両請取につき) →神戸様御取次中様	亥7月12日	横切紙/(い 1402-20~44は一綴)・1通	い 1402-20
覚(金3両銀1匁麦代残金ほか麦代金請取につき) 佐屋陣屋[印]	亥7月	横切紙・1通	い 1402-21
覚(3月19日1貫200文4つ乗船3艘松平薩摩守様御登り他メ銭4貫文請取につき) 馬場川船年寄小出林右衛門(印[尾州馬場川船年寄])→神戸新田御庄屋中様書付	亥7月	横切継紙・1通	い 1402-22
覚(白砂糖代5分ほか代金請取につき) 宮古屋寛蔵[印「砂糖問屋 名古屋傳馬町京屋寛蔵」]→上	正月5日	横切継紙・1通	い 1402-23
覚(新酒4斗2升代6貫300文受取につき) 京万屋酒店(印)→上	正月4日	横切継紙・1通	い 1402-24
覚(11月3日1貫文割米100たば他メ金1分2朱ト銭164文相済につき) 竹田助左衛門→神戸新田御会所		横切紙・1通	い 1402-25
覚(11月8日筭12本検見之節代300文他メ1貫650文) 当村川方→当村御会所様	い11月	横切継紙・1通	い 1402-26
覚(500文鯉1本他メ1分ト915文受取につき) 長左衛門→小川様	亥11月6日	横切継紙・1通	い 1402-27
覚(代金110文他メ307文受取につき)		横切紙・1通	い 1402-28
覚(銀9匁2分作料4人分他メ16匁5分6厘受取につき) 鳥屋長左衛門→御会所	亥3月29日	横切紙・1通	い 1402-29
覚(代金2匁5分受取につき) 亀屋貞助[印「亀屋貞助 傳馬町1丁目」]→神戸新田金七様	5月30日	横切紙・1通	い 1402-30
覚(代メ40匁9分につき) 忠右衛門(印)→長左衛門様	2月24日	横切継紙・1通	い 1402-31
覚(代184文そふり15足他メ551文受取につき) 山形屋市蔵→小川只助様	11月2日	横切継紙・1通	い 1402-32

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/諸入用書付袋・束・綴

覚(代5匁2分につき) 柴田屋源七→小川只助様	11月2日	横切紙・1通	い1402-33
覚(250文受取につき) 魚甚	11月3日	横切紙・1通	い1402-34
覚(400文受取につき) 魚甚→上	11月3日	横切紙・1通	い1402-35
覚(4匁上酒2升他メ4匁500文受取につき) 米店浅右衛門(印)→金七様	11月3日	横切紙・1通	い1402-36
覚(65文ふな1枚につき) □□→御庄屋ゑ	11月5日	横切紙・1通	い1402-37
覚(4匁7分5厘極上酒1升9合他メ9匁7分5厘につき) 喜左衛門→金七様	亥12月12日	横切紙・1通	い1402-38
覚(4匁5寸材12本他メ12匁1分4厘勘定済むにつき) 鳥屋長左衛門→神戸御庄屋様	亥8月2日	横切継紙・1通	い1402-39
覚(銀12匁5分大ろう1箱他メ受取につき) かかへ茶屋甚四郎→神戸庄屋様	亥6月20日	横切紙・1通	い1402-40
覚(232文小鍋代ほか差引銀2匁受取につき) 油屋専兵衛→□呂部勘四郎様	亥6月5日	横切紙・1通	い1402-41
覚(250文土口□巻代他メ800文受取につき) 万庄→上	6月25日	横切紙・1通	い1402-42
覚(3貫400文佐屋分8包他メ3貫450文請取につき) 柿屋久兵衛[印「尾府名古屋長者町柿屋」]→神戸様御庄屋御衆中様	6月27日	横切継紙・1通	い1402-43
覚(4貫350文他メ正金40匁請取につき) 柿屋久兵衛[印「尾張名護屋長者町柿屋久兵衛柿屋」]→神戸様御庄屋御衆中様	6月27日	横切継紙・1通	い1402-44
覚(8月5日6人1人150文宛ほか孫文叔御伏替夜水替人足メ28人代4貫200文につき)	丑12月	横切継紙/(い1402-228~240は一綴)・1通	い1402-228
覚(4匁2分5厘半切500枚代につき) 紙屋文七→小川唯助様	9月19日	横切紙・1通	い1402-229
覚(200文大ろうそく14丁他メ30文代請取につき) こまや友助	3月朔日	横切継紙・1通	い1402-230
覚(200文本生かけ20匁9丁代受取につき) こまや藤助(印「傳馬町三丁目駒屋藤助」)	6月4日	切紙・1通	い1402-231
覚(236文半し1束代金につき) こまや藤助	7月11日	切紙・1通	い1402-232
覚(3貫177文橋入用受取につき) 子宝庄屋→神戸新田定助殿	丑12月20日	切紙・1通	い1402-233
覚(1貫528文米積場入用受取につき) 亀ヶ地庄屋→神戸新田定助殿	丑12月26日	切継紙・1通	い1402-234
覚(8月2日406文竹田5升他メ2貫706文受取につき) こたから庄八→神戸佐太郎殿	丑8月29日	縦継紙・1通	い1402-235
覚(金3分10匁4つ乗船賃差引3分2朱此銭550文受取につき) 古渡忠兵衛→神戸新田庄八殿	丑極月25日	切紙・1通	い1402-236
覚(119文ほか金銭書上につき) *後欠		切継紙・1通	い1402-237
覚(ミその半右衛門へ払分金銭書上)	5月19日	横切継紙/(い1512-1~11は一綴)・1通	い1512-1
覚(諸白代など受取書) 子宝平蔵→神戸繁右衛門様	3月14日	横切継紙・1通	い1512-2
覚(鯨油代勘定書) あふらや喜右衛門→小川唯助様・支半	3月10日	小切紙・1通	い1512-3

助殿			
覚(大かめ代など受取書) さ、や久右衛門(印)→忠兵衛殿	丑2月朔日	横切継紙・1通	い 1512-4
覚(蟹江圓助払釘代書上)	4月9日	横切継紙・1通	い 1512-5
覚(正月20日よりの人足賃書上) 甚助	4月10日	小切紙・1通	い 1512-6
覚(鯉1本代受取書) 佐次右衛門→繁右衛門様	3月11日	小切紙・1通	い 1512-7
覚(検地用小帳面より人足賃等の写)	(3月朔日)	横切継紙・1通	い 1512-8
(1双分代金など書上) 亀ヶ地舟→神戸繁右衛門殿	4月11日	小切紙・1通	い 1512-9
覚(検地入用勘定書) *(端裏書)「控」 山形屋庄兵衛→小川繁右衛門殿	丑4月	縦継紙・1通	い 1512-10
覚(検地中飯米・大工飯米書上)	5月7日	縦切紙・1通	い 1512-11
(包紙) *(包紙上書)「寅年買請取入」		包紙/(い 1514-0~21は紙繕一括)・1点	い 1514-0
覚(古酒代など勘定書) さ、や久左衛門(印)→重右衛門代久八様	子10月15日	横切継紙・1通	い 1514-1
覚(千石分受取書) 忠助→重右衛門様	子極月27日	小切紙・1通	い 1514-2
覚(品代受取書) かにへ村五平治→重右衛門様	寅11月19日	縦切紙・1通	い 1514-3
覚(引板・引木通行願書) 永田屋善次郎(印)→白鳥御番所	2月12日	縦切紙/(い 1514-4-1~2はい 1514-3に挟込)・1通	い 1514-4-1
覚(引板・引木送付状) 永田屋善次郎(印)→大宝前新田重右衛門殿	2月12日	縦切紙・1通	い 1514-4-2
送り状(五寸杓釘・三寸杓釘送り状) 久木圓助→かんと重右衛門様	正月晦日	小切紙/(い 1514-3-1~6は一綴)・1通	い 1514-4-3-1
送り状(四寸杓釘など送り状) かにへ圓助→かんと重右衛門様	正月26日	小切紙・1通	い 1514-4-3-2
送り状(四寸杓釘送り状) かにへ圓助→かんと重右衛門様	子正月16日	小切紙・1通	い 1514-4-3-3
覚(四寸杓釘など送り状) かにへ圓助→かんと重右衛門様	正月18日	縦切紙・1通	い 1514-4-3-4
覚(栗材送り状) 永田屋善治郎(印)→大宝前新田重右衛門殿	正月13日	縦紙・1通	い 1514-4-3-5
覚(笠木など送り状) 永田屋善治郎(印)→大宝前新田重右衛門殿	正月17日	縦継紙・1通	い 1514-4-3-6
覚(当村杖橋立合之分割合銭受取書) 鳥ヶ地新田三右衛門→大宝前新田重右衛門殿	寅10月6日	小切紙・1通	い 1514-5
覚(上溜り・酢代など受取書) かにへ村五平治→神戸重右衛門様	寅2月朔日	縦継紙/(い 1514-6-1~3は紙繕一括)・1通	い 1514-6-1
覚(豆腐代など受取書) 五平治→重右衛門様	寅2月9日	縦継紙・1通	い 1514-6-2
(損料落手につき書状) 門右衛門→神戸重右衛門様	2月5日	横切継紙・1通	い 1514-6-3

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/諸入用書付袋・束・綴

(当寅年用水入用通知書) 井継村々→大宝前新田	寅11月	横切紙/(い1514-7-1はい1514-7-2に挟込)・1通	い1514-7-1
(当寅年用水諸入用受取につき書状) 大宝庄屋治右衛門(印)→大宝前新田重右衛門殿	寅12月4日	横切継紙・1通	い1514-7-2
覚(新用水井領米受取書) 烏ヶ地新田三右衛門(印)→大宝前新田重右衛門殿	寅12月7日	小切紙・1通	い1514-8
覚(直紙代など受取書) かみや孫兵衛	7月4日	横切継紙・1通	い1514-9
井領米之事(井領米割付状) 烏ヶ地村庄屋三右衛門(印)→大宝前新田御庄屋中	宝暦8寅極月	縦紙・1通	い1514-10-1
覚(孫宝橋入用書付) 子宝庄屋→大宝前新田庄屋衆中	寅12月	小切紙/(い1514-10-2~3はい1514-10-1に挟込)・1通	い1514-10-2
覚(割木代など受取書) 藤兵衛→重右衛門様	子12月	横切継紙・1通	い1514-10-3
覚(米21石内訳書)		横切紙/(い1514-11-1~5は紙縫一括)・1通	い1514-11-1
覚(薄口代など受取書) 紙屋宗助→神戸只助様	正月5日	小切紙・1通	い1514-11-2
覚(丑年出の子宝井領米書付)		小切紙・1通	い1514-11-3
覚(唯助・十右衛門・武兵衛分の米高書付)		小切紙・1通	い1514-11-4
覚(払金・替地入用勘定書)		横切継紙・1通	い1514-11-5
覚(紡取代受取書) 三郷屋平二郎→かんと重右衛門様	寅3月7日	横切継紙・1通	い1514-12
覚(蔵米代金受取書) 田中屋久兵衛	2月13日	小切紙・1通	い1514-13
覚(半紙代など受取書) かみ屋分七	11月5日	小切紙・1通	い1514-14
おほへ(四寸杓釘・四寸家釘数書付) かにへ圓助→神戸重右衛門様	寅3月	縦切紙・1通	い1514-15
覚(大らし代受取書) (尾州本蟹江町)さ、や久左衛門(印)→重右衛門様	正月16日	小切紙・1通	い1514-16
覚(諸白代受取書) (尾州本蟹江町)さ、や久左衛門(印)→重右衛門殿	正月朔日	小切紙・1通	い1514-17
覚(杓釘・家釘代など受取書) かにへ圓助→かんと重右衛門様	子ノ7月9日	縦継紙・1通	い1514-18
(烏ヶ地権十・竹田利左衛門など畝違・坪違石高書上)		折紙/(綴じ穴あり)・1通	い1514-19
覚(釘代受取書) 烏ヶ地五兵衛→神戸只助様	寅12月	小切紙・1通	い1514-20
覚(半紙代など受取書) 長しまや仲右衛門	9月17日	横切紙・1通	い1514-21
覚(酒代金請取書) よし町庄右衛門(印)	(近世)11月16日	小切紙/(い1996-1~9は紙縫一括)・1通	い1996-1
覚(当寅年柳枯草代銀受取書) 岡村安左衛門(印)・伊藤佐平(印)→大宝前新田庄屋中	(近世)寅12月3日	小切紙・1通	い1996-2
覚(当寅年柳枯草代銀請取書) 岡村安左衛門(印)・伊藤佐平(印)→文左衛門新田庄屋中	(近世)寅12月3日	小切紙・1通	い1996-3

覚(小松見分など代金書付) 大工甚助	(近世)寅5月	小切継紙・1通	い 1996-4
覚(金3分受取書) 大野や忠右衛門(印)→伝左衛門様	(近世)とら11月17日	小切継紙・1通	い 1996-5
覚(諸品代金書付) 甚助	(近世)寅12月	横切紙・1通	い 1996-6
御普請申諸入用(茶代金など書付)	(近世)3月28日	横切継紙・1通	い 1996-7
垣御状替諸入用(名古屋買物代金など書付)	(近世)寅11月26日	折紙・1通	い 1996-8
(悪水杖御伏替諸入用)	(近世)3月2日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1996-9

検見入用

覚(むしろ75枚代銀1匁624文他メ2両2分14匁3分5厘 検見入用書上)	辰10月	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1393-6
覚(検見諸入用1両2分余につき)	10月25日	折紙/(い1413-1~3は一綴)・1通	い 1413-1
覚(判紙等メ27匁1分受取につき) * (端裏書)「村入加 酉 九月廿四日検見用」(名古屋五條町)紙屋文七(印「名古屋 五條町」)→小川唯助様	酉9月24日	堅継紙・1通	い 1413-2
覚(筵90枚代1分635文済につき) * (端裏書)「検見」 □ 屋治七→神戸新田唯助様	酉10月17日	切継紙・1通	い 1413-3
覚(判紙等メ19匁6分受取につき) * (端裏書)「検見用」 (名古屋五條町)紙屋文七(印)→小川唯助様	10月10日	横切継紙/(い1418-1~12は一綴)・1通	い 1418-1

普請入用

覚(6月13日杓古木積入2貫800文請取につき) カメ寅 蔵→神戸新田小川綱蔵様	7月2日	横切紙・1通	い 1399-8
覚(材木品目及び代金書付) * (端裏書)「普請」 山形屋 庄兵衛(印)→小川繁右衛門殿	子4月28日	堅紙/(い1652-3-1~9は紙 縫一括)/(い1652-3-1-1~2 は貼継一括)・1 通	い 1652-3-1-1
覚(材木代金受取書) 山形屋庄兵衛(印)→小川繁右衛門 殿	子5月2日	堅切紙・1通	い 1652-3-1-2
覚(人足給米代金の勘定書付) * (端裏書)「普請」	子12月	横切紙・1通	い 1652-3-2
覚(普請人足の人数及び賃銀書付) * (端裏書)「普請」	子3月13日	横切継紙/(い1652-8-1~6は 紙縫一括)・1通	い 1652-8-1
覚(木材代金受取書) * (端裏書)「普請」 山形屋庄兵衛 (印)→新田小川繁右衛門殿	子2月28日	堅継紙・1通	い 1652-8-2
覚(木材代金受取書) * (端裏書)「普請」 山形屋庄兵衛 (印)→小川繁右衛門殿	子7月8日	堅継紙・1通	い 1652-8-3
覚(木材代金受取書) * (端裏書)「普請」 山形屋庄兵衛 (印)→小川繁右衛門殿	子12月13日	堅切継紙・1通	い 1652-8-4
覚(悪水杖埋用普請持参俵並びに普請賃勘定書) * (3 丁目)「普請」	12月	横長半(ひねり綴)・1冊	い 1652-8-5
悪水杖戸前破損ニ付諸入用并人足帳 * (8丁目)「普請」	延享元子6月27日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1652-8-6

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/普請入用

覚(釘など代金受取書) * (端裏書)「普請」 かにへ円助→小川敏右衛門様	ねノ12月14日	横切継紙・1通	い 1652-9
覚(釘など代金勘定書) * (端裏書)「普請」 かにへ円助→かんの新田小川敏右衛門様	ねノ7月	横切継紙・1通	い 1652-10
覚(竹代金受取書) * (端裏書)「村普請」 福しまや又右衛門(印)→神戸新田庄八様	4月28日	横切紙・1通	い 1652-11
覚(金銭受取書) * (端裏書)「村普請」 ふく嶋屋又右衛門(印)→山形屋庄兵衛様	5月2日	横切紙・1通	い 1652-12
覚(普請人足給金受取書) * (端裏書)「普請」 中嶋甚助	7月6日	横切継紙・1通	い 1652-13
覚(普請人足給金受取書) * (端裏書)「普請」 中嶋甚助→繁右衛門殿	12月16日	横切継紙・1通	い 1652-14
覚(釘代金勘定書) * (端裏書)「普請」 かにへ円助→小川敏右衛門様	ねノ12月	横切継紙・1通	い 1652-15
材木代覚	戌12月	横長半(一ツ綴)/(い、1521-1~4は一綴)・1冊	い 1521-1
覚(用水入用割付状) 大宝新田→大宝前新田	宝暦4戌12月	小切紙・1通	い 1521-2
(大宝前新田普請方入用書付)	戌正月	堅切紙・1通	い 1521-3
覚(披戸川揚手伝御用代受取渡書) 杵御作事方(印)→大宝前新田庄屋	11月9日	堅継紙・1通	い 1521-4
(孫室橋惣替・室川用水堤普請・土蔵普請等の駄賃書上)	天保9戌年4月19日~20日	切継紙・1通	い 1752
覚(年中大工遣諸入用金3両2分余につき)	12月3月~12月	折紙/(い、1410-1~5は一綴)・1通	い 1410-1
覚(竹代金受取につき) ふく嶋屋又右衛門→神戸新田唯助様	酉11月12日	横切紙(桃色宿紙)・1通	い 1410-2
覚(白木・大竹他1メ350文につき) 惣助や→神戸只助様	酉極月	切紙・1通	い 1410-3
覚(五寸杵釘ほか金1両余につき) かにへ円助→かんと小川只助様	酉7月	横切継紙・1通	い 1410-4
覚(六寸釘他メ784文につき) かにへ円助→かんと小川只助様	酉ノ極月	切継紙・1通	い 1410-5
覚(拾弍間丸太等メ金1分余受取につき) 小河屋治助(印)→神戸新田唯助様	戌12月27日	堅継紙・1通	い 1418-9
覚(栗・杉・松メ金1両余につき) * (端裏書)「西年分材木受取」 小河屋治助→神戸新田唯助様	酉極月	堅継紙・1通	い 1418-10
覚(釘・鉄車等メ金3分余受取につき) * (端裏書)「加治屋円助受取」 かにへ鍛冶屋円助→小川只助様	戌7月11日	堅継紙・1通	い 1418-11
覚(ひじ坪・うちかけかねメ82文につき) かにへ円助→かんと只助様	戌極月	切紙/(い、1418-11に巻込)・1通	い 1418-12
「杵御伏替諸入用」		札・1点	い 1449-1
覚(水菟菟・椎茸ほか代550文受取書) * (綴紐)「杵御伏替諸入用」 八百屋新左衛門→かん藤忠助様	5月27日	横切継紙(桃色宿紙)/(い、1449-1~14は一綴)/(紙縫一括)・1通	い 1449-2

覚(京るり小ふく・京すへ小ふく代139文受取書) (名古屋納屋町)崎嶋や勝兵衛(印)→つね八様	酉5月27日	切継紙・1通	い 1449-3
覚(半紙ほか代384文受取書)	酉5月27日	切紙・1通	い 1449-4
覚(蠟燭・上はし・草履ほか代メ11貫939文受取書) 八百や新左衛門(印)→かんとう只助様	6月2日	横切継紙(桃色宿紙)・1通	い 1449-5
覚(諸品代218文受取書) みのや清八	6月2日	小切紙(青色宿紙)・1通	い 1449-6
覚(すみ他代3両1分107文受取書) よし丁又七[印「名古屋葭町江崎」]	酉6月2日	切紙・1通	い 1449-7
覚(へりとり代2分受取書) 伊助→円七様	6月2日	切紙(桃色宿紙)・1通	い 1449-8
覚(鯨油代407文受取書) 丸市や市郎左衛門[印]→円七様	酉6月2日	切紙・1通	い 1449-9
覚(茶他代605文受取書) 茶屋徳三郎(印「佐藤」)→神戸円七様	酉6月2日	切紙・1通	い 1449-10
覚(ふとん・蚊帳代内1分受取書) 蟹江八右衛門(印)→定助様	酉6月9日	横切継紙・1通	い 1449-11
覚(酒・白うり代他85文受取書) 善九郎→只助様	6月10日	横切継紙・1通	い 1449-12
覚(鯛・鰻代他3貫152文受取書) 善九→只助様	酉6月13日	折紙・1通	い 1449-13
杵御伏替二付人足覚(6月3日～13日人足代1両1分14匁9分1厘払の旨)	酉6月13日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1449-14
覚(杵ふせ代請取書) 亀ヶ(地新田)善吉(印)→唯助様	子2月	小切紙/(い1531-1～38は一綴)・1通	い 1531-1
覚(釘など代金メ4両3分3朱2文請取につき) かちや兵左衛門[印]→小川従助様	4月4日	横切紙・1通	い 1989-4
庄兵衛釘代(小杵繕入用として五寸釘150本6匁他メ25匁3分、此金1分10匁3分書上)	亥4月	横切紙・1通	い 1989-5
覚(懸樋小杵繕のための32人大工善八他メ77人代銀192匁5分、此金3両と銀2匁5分、1人2匁5分につき)	亥4月	横切紙・1通	い 1989-6
覚(植え直し橋木引700文木引勘六他メ1貫48文、此金1分10匁2分につき)	亥3月	横切紙・1通	い 1989-7
覚(2貫147文此金3分と12匁3分入用、梃場入用請取につき) 平藏(印)→唯助殿	亥極月21日	横切紙・1通	い 1989-9
覚(5月6日より同18日迄1貫250文木挽勘六、代金2分につき)	亥5月	横切紙/(い1989-11～18は一綴)・1通	い 1989-11
覚(5月3日より19日迄13人大工助三郎他メ28人代銀70匁と他2匁、此金1両と12匁につき)	亥5月	横切紙・1通	い 1989-12
覚(俵101つ、しじみ勘助代630文、なわ代他合わせて1貫278文、此金2分と7分7厘につき)	亥5月	横切紙・1通	い 1989-13
覚(船釘20本代140文請取につき) 戸田道鍛冶屋庄助	亥5月23日	縦継紙・1通	い 1989-14
覚(船釘80本代560文他メ620文請取につき) 大海用権七郎→大寶儀右衛門殿	亥5月24日	縦切紙・1通	い 1989-15
(釘1貫340目代金1分293文など書付) かちや吉左衛門[印]	いノ12月5日	縦紙・1通	い 1989-16

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/普請入用

覚(植入用の釘570目ほか代金メ3分2匁4分5厘請取につき) かぢや吉左衛門[印]→小川唯助殿	5月19日	堅切紙・1通	い 1989-17
覚(樋橋入用材木代金11両3分10匁3分他メ金21両3分12匁8分5厘請取につき) 犬山屋千左衛門(印)→大宝前新田唯助殿	亥7月6日	堅継紙・1通	い 1989-19
覚(普請代金メ2両と13匁6分7厘請取につき) 大工甚助→唯助殿	申6月17日	堅紙・1通	い 1991-9
請取申鉄物代之覚(杵簀4寸5寸釘など金1両1分790文請取につき) 祢宜町かぢや円助(印)→神戸新田只助殿	申ノ12月12日	堅切紙・1通	い 1991-10
覚(材木代金30匁7分請取につき) 山形屋庄兵衛(印)→小川唯助殿	申7月6日	堅切紙・1通	い 1991-11
覚(材木代金2両3分と13匁9分3厘請取につき) 天満屋九兵衛(印)→神戸新田唯助殿・甚助殿口入	申7月11日	切継紙・1通	い 1991-12
覚(材木代金3両3分と3匁4分請取につき) 名古屋飛木や甚四郎(印)→新田唯助殿	申7月6日	切継紙・1通	い 1991-13
覚(材木代金3両3分と3匁4分5厘請取につき) 下や勘四郎→小川唯助殿	申2月9日	切継紙・1通	い 1991-14
覚(人足代金425文請取につき) 善吉→唯助様	2月2日	切継紙・1通	い 1992-8
覚(板代金2貫991文請取につき) 山形屋庄兵衛(印)→只助殿御内三助殿	戌3月8日	横切継紙・1通	い 1992-9
覚(人足24人5り分代金1分と762文持遣わすとの旨) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左衛門新田只助殿	戌極月14日	切紙・1通	い 1992-13
覚(杵伏込釘かすかひ共、代金2分と1匁6分4厘など請取につき) かぢや円吉(印)→神戸新田唯助殿	戌正月晦日	切紙・1通	い 1992-14
請取申釘代金之事(金1両2分と272文請取につき) 祢宜町かぢや円助(印)→神戸新田唯助殿	戌12月6日	堅切紙・1通	い 1992-17
覚(竹75本代金600文請取の旨) 吉助(印)→金右衛門殿	戌3月22日	切紙・1通	い 1992-21
覚(桧高へい板3束代、4匁3分5厘請取の旨) 山形屋庄兵衛(印)→小川唯助様	4月7日	切継紙・1通	い 1992-22
覚(日用払など代金書付) *追加へ米代金等書上の貼り紙あり		小切紙/(い 1993-1~12は紙繕一括)・1通	い 1993-1
覚(木材代金請取書) かにへ川西利兵衛→神戸新田弥市郎殿	亥12月29日	小切紙・1通	い 1993-7
覚(材木代金など請取書) →神戸唯助殿		横切紙・1通	い 1995-2
覚(3月17日より9月迄の内代金請取書) 大工甚助(印)→唯助殿	寅9月10日	小切紙・1通	い 1995-11
覚(釘代金等メ金1分余勘定書付) 蟹江鍛冶屋円助→神戸新田元メ小川定助様	辰極月	横切継紙・1通	い 1998-10
覚(釘代金1両余受取書) かにへ村かぢや円介(印)→神戸新田定助様	辰7月13日	横切継紙・1通	い 1998-11

蔵納入用

納米運賃并諸入用(納米運賃・米代金9両2分2匁3厘他メ金16両11匁2分7厘につき) *帳崩れの一部	亥12月	横折紙・1通	い 1868
--	------	--------	--------

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/蔵納入用

御蔵入用(御蔵入運賃米代金等ノ2貫309文)	11月4日	横切紙・1通	い 1990-6
神事祭礼等入用			
覚(御社1社・稲木1ヶ所・鳥居1ヶ所直し代概算書上につき) 岩岡屋吉兵衛→神戸新田忠右衛門様	9月5日	横切継紙・1通	い 1397-18
(例年の如く御初尾米5斗神納仕り分左衛門様より御伝言忝きにつき書状) 真野太郎大夫→神戸新田小川定助様人々御中	11月26日	縦紙・1通	い 1400-77
(御初尾米5斗神納につき書状) 真野太郎大夫→小川唯助殿	11月23日	縦紙・1通	い 1409-7
(神納下され目出度く受納につき書状) 御師真野太郎大夫→小川唯助様	12月晦日	縦紙・1通	い 1652-3-9
(海西郡万場村光円寺奉社銭受取書) 坂中地村弥三郎→大宝前神戸新田唯助様	酉12月27日	縦紙・1通	い 1987-54
覚(戸田常源寺への奉納銭受取書) 西舘彦八→神戸新田唯助様		縦切紙・1通	い 1987-56
請取金之証(金5円神戸新田村神日吉社拝殿造営寄付金につき) 海西郡神戸新田副戸長竹内辰右衛門(印)・早川忠右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治9年3月30日	赤色証券界紙・1通	い 1400-14
役人関係入用			
御役人様御泊御休諸入用帳	延享5年辰正月吉日	横長帳(一ツ綴)・1冊	い 2008
酉年中御役人衆御泊り休諸入用小帳 *表紙に「村入加」と墨書あり 大宝前新田	宝暦3年12月	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1519
その他の入用			
万御通 蟹江村笹屋久左衛門→神戸小川繁右衛門様	延享2年丑3月吉日	横半半(一ツ綴)・1冊	い 1506
客之通 かにへ村ことや甚六→神戸新田唯助様	延享2年丑3月吉日	横半半(下げ綴)・1冊	い 1507
(分蔵方益前入用の由金2両御取替下されたきにつき覚) 堤久助(印)→神戸分左衛門様	卯7月6日	横切紙・1通	い 1394-25
(蟹江本町橋入用14匁3分2厘大宝前新田他ノ37匁4厘書上覚)	亥とし	縦切紙・1通	い 1396-3
正金直段(9月11日8匁8分他ノ正金39匁9分につき金銭書上) わたや佐助(印)→神戸様新田御入用	申10月	横切継紙・1通	い 1396-23
(羽源口70両ほか金銭書上覚)		横切紙/(虫損あり)・1通	い 1400-2
(わら代不足2両書上覚)		縦紙・1通	い 1400-78
覚(2寸1わ代70文他釘代ノ3貫252文請取につき) * (端書)「後五月十八日」 甚助→唯助殿	子7月	横切継紙・1通	い 1400-86
覚(1貫407文他ノ1貫581文請取につき) 善吉(印)→唯助様	子12月	横切紙・1通	い 1400-88
覚(1貫530文かり馬酒代請取につき) 亀かんし善蔵(印)→唯助様	子12月	横切継紙・1通	い 1400-89

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/その他の入用

覚(109文竹三郎につき) 長左衛門→小川綱蔵様	丑正月7日	横切紙・1通	い1402-163
覚(75匁人足25人他メ165匁7分につき) 魚屋増蔵→小川只助様	9月13日	横切紙・1通	い1402-164
覚(18文弓1丁他メ4243文受取につき) 亀屋貞助[印尾州傳馬町一丁目亀屋貞助]→忠右衛門様	6月27日	横切紙・1通	い1402-165
覚(8月16日400文4ツ乗船1艘代受取につき) 馬場宿船年寄小出林右衛門→神戸新田御庄屋中様	子12月14日	横切紙・1通	い1402-212
(神戸新田分南飛鳥入用銀182匁書上覚)		小切紙・1通	い1402-214
覚(5寸竹5本代200文につき) 孫屋長左衛門→小川綱蔵様	6月18日	横切紙・1通	い1402-220
覚(18匁5分他メ23匁1分7厘差引6匁8分3厘につき) 茶甚→小川綱蔵様	丑5月17日	横切継紙・1通	い1402-221
覚(御蔵入用書上)		横長半(一ツ綴)/(い1411-1~4は一綴)・1冊	い1411-1
覚(礼上下代600文受取につき) はん常材木や源右衛門→かんとう新田只助様	霜月12日	縦切紙・1通	い1411-2
覚(明検式間丸太他メ金4両余につき) 油六→定助殿	戌正月18日	縦継紙・1通	い1411-4
覚(たらい等差送状) 治平→繁右衛門様	2月11日	小切紙・1通	い1510-3
覚(金子受取書) 鍛冶円助(印)→神戸新田只助様	子ノ11月17日	横切紙・1通	い1531-13
覚(釘代金請求書) かしや円助(印)→神戸新田唯助殿	子7月6日	横切継紙/(い1564-1~21は一綴)・1通	い1564-1
覚(釘代金残金請求書) * (端裏書)「普請」 円助	寅7月	横切継紙・1通	い1564-8
覚(釘代金請求書) 甚助→小川唯助様	11月28日	横切継紙・1通	い1564-12
覚(御裏印飛脚賃2人分1貫200文受取) * (包紙上書)「初テ時吉右衛門渡ス 飛脚ちん受取」安とうし町壱丁目左兵衛(花押)→庄屋忠左衛門殿	12月3日	切紙・1通	い1583
覚(釘ほか代メ55両1分余書上) かにへ円助	申12月21日	横切継紙・1通	い1584
(諸白・酢・地酒代1メ600文の内諸白代引残11貫103文の書上) 亀ヶ地平蔵→大宝前新田定助様	丑閏12月22日	横切継紙・1通	い1630
覚(都木米代受取書) 半九郎→御苗辰右衛門様	戌7月8日	小切継紙・1通	い1655-2-20
覚(佐屋宿飯米勘定引当金メ9両2分余預り) 新田庄屋忠右衛門→御地主様御勘定場	12月24日	切紙/(い1789-1~5は紙継一括)・1通	い1789-1
(神戸新田持溜入用銀170匁余・御殿北入用銀44匁余書上)		小切紙・1通	い1789-2
覚(舟人足・佐屋宿飯米ほか代メ金2両余の書上) 新田只助	辰12月大晦日	横切継紙(赤色紙)/(い1805-1~4は紙継一括)・1通	い1805-1
覚(舟人足・なこや宿飯米ほか代メ金10両1分余の書上) 新田只助	巳12月大晦日	横切継紙(赤色紙)・1通	い1805-2
覚(受取金から道具代など差引勘定3両余書付) 半右衛門	申7月13日	切継紙・1通	い1884

仕切状之事(古節3束15代金3分余受取書) 高津兵左衛門(印「名古屋船入町大福屋」)→上 金左衛門殿	戌8月晦日	切継紙/(い1919-1~3は折置一括)・1通	い1919-1
仕切状之事(古節3束70代金3分余受取書) 高津兵左衛門(印「名古屋船入町大福屋」)→金左衛門殿	戌6月晦日	切継紙・1通	い1919-2
仕切状之事(古節4束50等代金1両余受取書) 高津兵左衛門(印「名古屋船入町大福屋」)→金左衛門殿	戌6月晦日	切継紙・1通	い1919-3
覚(うなき代金銭差引書上) 甚六→かんと新田勘三郎様	9月13日	横切紙・1通	い1956-4
覚(鯨油など代金834文受取書) 油屋喜右衛門(印)→神戸定助様	11月5日	横切継紙・1通	い1957
覚(上ノ油代金12匁受取書) 油屋喜右衛門(印)→定助様	5月17日	横切紙・1通	い1958
覚(上ノ鯨油代金1分受取書) 油屋喜右衛門(印)→定助様	酉正月23日	豎継紙・1通	い1959
覚(鯨油など代金772文受取書) 油屋喜右衛門(印)→神戸定助様	酉7月1日	豎継紙・1通	い1960
覚(鯨油代金1分受取書) 油屋喜右衛門(印)→神戸定助殿	卯4月2日	横切紙・1通	い1961
覚(上ノ油代金672文受取書) 油屋喜右衛門(印)→(神戸)定助様	酉ノ11月20日	豎継紙・1通	い1962
覚(上ノ鯨油代金1分余受取書) 油屋喜右衛門(印)→神戸定助様	酉ノ9月24日	豎継紙/(い1963-1~2は巻込一括)・1通	い1963-1
覚(上ノ鯨油代金1分受取書) 油屋喜右衛門(印)→(神戸)定助様	酉ノ10月16日	豎継紙・1通	い1963-2
覚(上鯨油など代金1貫60文受取書) 油屋喜右衛門(印)→夫新助殿	酉2月27日	豎継紙・1通	い1964
覚(材木代金13両余受取書) 山形屋庄兵衛(印)→小川唯助殿	戌3月	横切継紙・1通	い1976
覚(米代金1分書付) 入竹や清右衛門(印)→大宝前新田庄屋衆中	12月26日	切紙・1通	い1981-2
覚(20目代金など受取書) 円右→新八郎様		横切紙・1通	い1987-5
覚(酒1樽代金など受取書) 半右衛門→小川唯助殿	12月25日	横切紙・1通	い1987-6
覚(餅米など受取書) 吉左衛門(印)→又助殿	酉12月11日	切紙・1通	い1987-11
覚(大まき代など差引残金送付状) 木こり才兵衛	酉12月2日	折紙・1通	い1987-12
覚(炭代金受取書) 才木や吉助→大宝前新田唯助殿	酉10月晦日	切紙・1通	い1987-13
覚(銭代金受取書) 孫七→唯助殿	酉9月7日	横切紙・1通	い1987-14
覚(松など代金受取書) かにへ材木や孫七→唯助様	酉8月3日	切紙・1通	い1987-15
覚(大工孫八杵替付等4度分代金受取書) 彦兵衛→唯助様	7月12日	小切継紙・1通	い1987-16
覚(折釘など受取書) 津嶋釘屋吉左衛門	酉6月1日	小切紙・1通	い1987-17
覚(諸品代金受取書) 半右衛門(印)→太之助様	酉6月29日	小切継紙・1通	い1987-18
覚(大麦代金受取書) 堺口屋傳兵衛→大宝前新田儀右衛門様	6月17日	横切継紙・1通	い1987-19
覚(かすがい代金受取書) し、み村かし屋権七より→か	6月4日	折紙・1通	い1987-20

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/その他の入用

んどう村(神戸新田)只助様			
覚(縄代金受取書) かにへ村孫七(印)→神戸新田唯助様	酉5月晦日	切継紙・1通	い 1987-21
覚(三度笠代金など受取書) (印「河内屋作右衛門」)→又三丈半一様	酉2月6日	小切紙・1通	い 1987-23
覚(麦および船賃送付状) かにへ村孫七(印)→唯助殿	2月5日	小切紙・1通	い 1987-24
覚(箸代金受取書並びに茶碗代金請求書)		横切継紙・1通	い 1987-25
覚(上々宮さき代金受取書) 権兵衛(印)→庄兵衛殿	酉12月6日	小切紙・1通	い 1987-26
覚(溜代金など受取書) 半右衛門(花押)→小川唯助殿	酉12月16日	横切継紙・1通	い 1987-27
覚(せいこ・鮒など代金受取書) 大宝前新田川方中(印)→大宝前新田唯助殿	酉12月	横切紙・1通	い 1987-28
小入用(米さし・米つき等代金)	酉12月	小切紙・1通	い 1987-30
覚(大宝前新田米の書上) 久左衛門(印)	霜月20日	札・1点	い 1987-32
覚(4730枚分・口米代金受取書) 助三郎→平助殿	6月12日	縦紙・1通	い 1987-52
覚(大高松代金請求書) にしたり才兵衛(印)→犬山新田小川只助様	酉正月27日	縦紙・1通	い 1987-55
覚(諸品代金受取書) かたや兵左衛門(印)→小川唯助殿	酉8月22日	縦切紙・1通	い 1987-57
覚(諸品代金受取書) 山かたや庄兵衛(印)→小川唯助様	酉11月22日	縦継紙・1通	い 1987-58
覚(籠代金受取書) ひわしま十右衛門→市左衛門殿	酉9月13日	縦切紙・1通	い 1987-59
覚(いもふり等書上) 伝馬町平右衛門	10月16日	縦切紙・1通	い 1987-60
覚(諸品代金書上) *(端裏書)「神戸只助様」舟入又三郎	酉極月	縦紙・1通	い 1987-61
覚(4寸つき錠など金銭書上)		縦切紙・1通	い 1987-62
覚(鯨代金受取書) 津嶋辻忠左衛門	9月2日	縦切紙・1通	い 1987-63
覚(金銭請取書) 材木や吉助→大宝前新田小河唯助様	酉8月7日	縦切紙・1通	い 1987-64
覚(稗など受取書) 半右衛門→唯助殿	7月20日	縦紙・1通	い 1987-65
(銭42貫余受取書) 山形屋庄兵衛(印)→小川唯助様	7月朔日	縦継紙・1通	い 1987-66
覚(小豆・米代金受取書)		縦切紙・1通	い 1987-67
覚(鮭代金受取書) 川方善藏代→神戸新田只助殿	酉7月18日	縦切紙・1通	い 1987-68
送り申芝之事(口銭とも) 駒野村間屋七之助→庄左衛門殿	7月13日	縦紙・1通	い 1987-69
覚(酒代など受取書) 善藏→又介殿	7月朔日	縦継紙・1通	い 1987-70
覚(中鉋丁代金受取書) 岡弥三右衛門→只助殿	酉7月朔日	縦継紙・1通	い 1987-71
覚(金子・銭との差引残金預り証) 金右衛門→唯助様	6月23日	縦切紙・1通	い 1987-72
覚(諸品代金受取書) いさき村由三郎→平内様	6月16日	縦切紙・1通	い 1987-73
覚(太釘など代金受取書) かじ久四郎→儀右衛門殿	酉5月29日	縦紙・1通	い 1987-74
覚(丸瓦代金受取書) 大舟丁忠右衛門(印)→御使円助殿	酉5月23日	縦紙・1通	い 1987-75

覚(釘代金受取書) かじや庄六→孫左衛門様	酉5月21日	豎継紙・1通	い1987-76
覚(ふすま代金など受取書) 大舟丁忠右衛門(印)→浦町 大工孫左衛門様口入	酉5月7日	豎継紙・1通	い1987-77
覚(大ふろ代請求書) ふち屋茂兵衛→神戸新田唯助様使 徳左衛門殿	3月21日	豎紙・1通	い1987-78
覚(銭代金書上) 山形屋庄兵衛(印)→小川唯助殿	酉5月2日	豎切紙/(貼紙 剥離)・1通	い1987-79
覚(大高松代金請求書) にしたり才兵衛(印)→犬山屋神 戸新田徳左衛門ニ而小川唯助様	酉ノ2月29日	豎紙・1通	い1987-80
覚(大高松代金請求書) にしたり才兵衛(印)→小川唯助 様	酉ノ2月27日	豎紙・1通	い1987-81
覚(銭代金受取書) 山形屋庄兵衛(印)→小川唯助殿	酉8月21日	豎継紙・1通	い1987-82
覚(材木代金受取書) 高松庄八(印)→小川唯助殿	酉8月21日	豎継紙・1通	い1987-83
覚(塩など代金受取書) 山かたや庄兵衛→小川唯助殿	9月24日	豎継紙・1通	い1987-84
神戸新田小河唯助様(縄・材木など代金合わせて1両3 分と9匁7分5厘請取につき) 才木屋宅右衛門(印)→神 戸新田小河唯助様	亥12月24日	横長半(一ツ 綴)・1冊	い1989-20
(水割畝引違金メ6斗3升5合金銭書上)	未12月	切紙/(い 1990-1~14は 一綴)・1通	い1990-1
覚(舟賃等メ金2分と銀1分2厘書上)		切紙・1通	い1990-2
覚(材木代金メ19匁2分受取につき) 塩屋弥兵衛(印)→ 福田村又助殿(印)	未正月20日	切紙・1通	い1990-3
(未年入用1貫235文金銭受取につき) 平蔵(印)→唯介 殿	未12月15日	切紙・1通	い1990-4
覚(金子1分錢525文受取につき) □兵衛(印)→唯助様	未ノ極月6日	豎切紙・1通	い1990-9
覚(金1両2分と錢688文受取につき) 衾き町かじや圓助 (印)→神戸新田唯助殿	未12月21日	切紙・1通	い1990-10
覚(メ4両2分と銀13匁6分請取につき) かし勘四郎 (印)→小川唯助殿	未5月11日	豎継紙・1通	い1990-14
覚(まき直紙1筆を代460文にてあつらえ遣わすとの 旨) かにへよろつや内新助→神戸新田唯助様	申極月25日	切継紙・1通	い1991-2
覚(万方勘定50文他メ190文金銭受取につき) こたか ら村忠左衛門→大宝前新田元メ様	極月	切紙・1通	い1991-3
覚(川崎かま4丁、代金250文請取につき) 油や喜右衛 門→神戸只助様	9月7日	切紙・1通	い1992-4
覚(280文請取につき) 油や喜右衛門(印)→神戸新田唯助 様	3月15日	切継紙・1通	い1992-5
覚(金1両3分と622文請取につき) 甚助→唯助殿	戌6月18日	横切紙・1通	い1992-11
覚(上岩国代など10匁4分5厘請取につき) 紙屋文七→ 新田只助様	戌9月6日	切継紙・1通	い1992-19
覚(直紙など代金17匁2分請取につき) かみや分七 (印)→新田唯助様	戌12月20日	切継紙・1通	い1992-20
覚(上油代金請取書) 木□町与次兵衛	10月27日	小切紙・1通	い1993-5

大宝前(神戸)新田/経営費用/諸入用/その他の入用

覚(柳物代金請取書) 大増屋長左衛門	6月9日	小切紙・1通	い 1993-6
覚(筆代金など受取書) きくや善兵衛(印)	亥10月24日	小切紙・1通	い 1993-8
覚(酒代金など書付) 大増屋長左衛門→神戸新田唯助様	亥6月朔日	小切紙・1通	い 1993-9
覚(岩国半紙代金など書付) 紙屋文七→小川只助様	亥10月24日	小切継紙・1通	い 1993-12
覚(縄など代金ほか請取書) 鳥ヶ地村佐次衛門→唯助様	丑極月	小切紙・1通	い 1994-6
覚(183本分代金1両書付) 久兵衛・左七郎→元右衛門様	丑9月12日	小切紙・1通	い 1994-7
覚(買物代金の内へ請取書) 山形屋庄兵衛(印)→小川唯助殿	寅12月14日	小切紙・1通	い 1995-4
覚(13匁5分の内金1分請取書) かやつ屋伊右衛門(印)→小川唯助様	寅極月25日	小切紙・1通	い 1995-7
請取申金子之事(家釘鉄物代金請取書) かにへかち屋 円助(印)→神戸新田唯助殿	寅12月23日	小切紙・1通	い 1995-8
覚(杉原巻帳など代金受取書) かしや文七(印)→小川只助様	丑極月14日	横切継紙・1通	い 1995-13
覚(板代金など書上) 山形屋庄兵衛→小川唯助殿	寅7月	横切継紙・1通	い 1995-15
覚(大竹代金など書付) →只助様	辰7月	横切継紙/(い 1997-1~20は 一綴)・1通	い 1997-1
覚(右差米代金など書付)	辰12月	小切紙・1通	い 1997-2
覚(年中諸事役米代金書付)	辰12月	小切紙・1通	い 1997-3
覚(舟入新蔵など米高書付)	辰12月	横切継紙・1通	い 1997-4
覚(御居米代金書付)	辰12月	小切紙・1通	い 1997-6
「外百ト八拾四文入用受取」		小切紙・1通	い 1997-7
覚(外山葎山代金など書付)	辰12月	縦継紙・1通	い 1997-21

人足帳・数船帳

所々繕人足付込帳	寛延元年辰12月	横長半(一ツ 綴)・1冊	い 2009
----------	----------	-----------------	--------

人足

覚(7月分4人他メ65人につき) 源蔵→神戸孫右衛門様	亥極月	横切紙・1通	い 1396-10
おほへ(正月御朔日より28日28人他メ141人代金4両2 分と銀12匁差引金2分と12匁につき)	7月晦日	横切継紙・1通	い 1397-15
覚(100人3月より7月迄銀159匁此金2両2分9匁請取に つき) 甚助→唯助殿	7月13日	横切紙・1通	い 1400-87
覚(御人足代金4両2分余預り) 神戸分左衛門(印)→小川 定助殿	巳12月	縦切紙・1通	い 1801

経営記録

諸事用留・日記・綴

大宝前新田(宝永4年取立以来の地震・大風高汐など書上) *下書/(端裏書)「宿へ遣ス、十月十三日」	(宝永4～寛保元)	縦継紙・1通	い 1373
大宝前新田之事(宝永4年取立以来の地震・大風など折々の大難ほか書上) *下書		縦継紙・1通	い 1374
大宝新田覚書(浄仙様新田築立経緯、四郎兵衛新田堀割他につき)		縦継紙・1通	い 1384
(大宝前新田が宝永4年町数125町入札にて命じられし以来経緯書上) *下書		縦継紙・1通	い 1387
(大宝前新田開発以来の経緯につき書留)		横切継紙・1通	い 1397-20
覚(宝永4年～寛政10年開発経緯書上)		横切継紙・1通	い 1419
覚(新田開発以来入用御敷金共書上げ年賦差延願につき) * (端裏貼紙)「享保五年子二月願書ニ添差上ヶ候覚書扣」 犬山屋分左衛門	(享保5年)子2月	縦継紙・1通	い 2048
覚(新田開発以来入用御敷金共書上げ年賦差延願につき) * (端裏書)「享保五年子二月願書ニ添ル」/端裏墨消し 犬山屋分左衛門	(享保5年)子2月	縦継紙・1通	い 2049
乍恐奉歎願候御事(御舍弟仁右衛門様不行跡の儀につき嘆願書) 只治(印)、(奥書)親類惣代請合唯助(印)・頭分請合浅右衛門(印)・同断平吉(印)・同断金七(印)・組頭同断辰右衛門(印)・同断忠兵衛(印)・庄屋同断忠右衛門(印)・重右衛門(印)→旦那様	天保9年戌12月	半(二ツ綴)・1冊	い 1865-22
(御検見10月23日等につき書上覚)		横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1397-22
覚(古畑吟味の事等につき)		折紙・1通	い 1397-25
(6月28日御社復古ほか書留)		横切紙・1通	い 1397-26
(霜月23日忠右衛門出并辰右衛門私用懸にて来ほか書留)		横切継紙・1通	い 1397-27
(会所普請の事ほか書留)		横切継紙・1通	い 1397-28
(12月2日庄屋代金7朱ほか宝永4年新田開発の砌地代金7811両上納申上など書留)		横切継紙・1通	い 1397-29
(12月9日忠右衛門巳年調達お手形相渡す他書留)		横切継紙・1通	い 1397-30
(6月15日庄右衛門来り佐屋調達金ほか書留)		横切紙・1通	い 1397-31
(川一条など新田経営の事務簡条書)		横切継紙・1通	い 1655-1-26
(海西郡神戸新田につき年柄の様子次第にて新米は成丈蓄たき旨願書) * (端裏書)「稿」/下書/取引御奉行所支配にて居直成し下されたき旨追伸共		横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1813
(庄屋重右衛門・忠兵衛鍋蓋兩人出る他日記)	18日～28日	切紙・1通	い 1816
御請書之事(地主より申談の件は急度守り村内陸敷暮らし農業出精する旨) *下書 (奥書)右村庄屋・組頭→佐屋御陣屋	亥7月	横切継紙・1通	い 1829
(9月4日平嶋にて御教示の趣ほか新田経営業務日記)		切継紙・1通	い 1857

大宝前(神戸)新田/経営記録/諸事用留・日記・綴

御請書申上候事(村方百姓中惣代役就任につき請書) 重右衛門(印)・平吉(印)・金七(印)・浅右衛門(印)	子5月	豎紙/(虫損あり)・1通	い 1878
乍恐奉願上候御事(重右衛門隠居願) 重右衛門、(奥書) 只助→旦那様	亥7月	豎紙・1通	い 1865-24
(7月より12月まで日記形式書付)		横切継紙・1通	い 2001-16
乍恐再願奉申上候(借金返済のため新田内川漁を 十ヶ年許可の旨) *写 願主金右衛門・新田庄屋請合忠 右衛門・同断重右衛門、(奥書)仁右衛門→旦那様	申8月	半(一ツ綴)/ (虫損甚大)・1 冊	い 1558-3
(ろにへ川田細間など新田関連の事務事項書上)		横切継紙・1通	い 1558-7
(新田内川漁の年限延長願承認の件お礼等につき書 状) (小川)唯助→旦那様	9月17日	横切継紙/(虫 損あり)・1通	い 1558-8
(筏場藤九郎川受負一札など新田関連の事務事項箇 条書)		横切継紙・1通	い 1558-9
(下れ川田割遣スなど新田事務事項箇条書)		横切継紙・1通	い 1559-8
(新田経営事項箇条書)		横切継紙・1通	い 1559-10
四ノ月廿四日辰右衛門来(神戸新田経営状況報告書)		横切継紙・1通	い 1560-18
(7月14日忠右衛門来訪ほか新田事務事項箇条書)		横切継紙・1通	い 1560-20
覚(一ノ割など地引問合ほか新田事務事項箇条書)		小切紙・1通	い 1560-23
(新田事務事項箇条書)	未	横切紙・1通	い 1561-2
(正月27日から5月27日までの新田経営日記)		横切継紙・1通	い 1653-4
申(9月20日~10月20日の神戸新田杖伏替日記)		横切継紙・1通	い 1655-1-21
(弘化3年(検見帳引渡し等3月18日~25日の神戸新田 経営日記)		横切紙・1通	い 1655-1-47
(栄助一件等5月10日~23日の神戸新田経営日記)		横切継紙・1通	い 1655-2-33
(大宝前新田での釣殺生への伴連れ用捨願につき書 付)		横切紙・1通	い 1655-4
(大宝堤下江割の事など新田関連の事務事項箇条書)		横切継紙/(い 1655-5~6は巻 込一括)・1通	い 1655-5
(唯助年賦米など新田関連の事務事項箇条書)		横切継紙・1通	い 1655-6
(金銭の算用など正月12日神戸新田経営日記)		横切継紙/(い 1655-7-1~2は 一綴)・1通	い 1655-7-1
(包紙) * (包紙上書)「吉寅十二月餅米端米渡シ過之分卯正月 七日佐兵衛より受取」		包紙/(虫損あ り)・1点	い 1655-7-2
(新田につき忠兵衛・辰右衛門・唯助ほか業務書上)	卯11月~辰正月	横切継紙/(虫 損あり)・1通	い 1787

村方騒動

(今度は不調法の取り扱い致せども已来急度相心得、 村方取締筋は勿論不都合なる事決して致させ間敷 につき申上書) *断簡		横切紙/(虫損 あり)・1通	い 1396-5
---	--	-------------------	----------

「七月四日夜村方より寄合申述入組候由、六日重右衛門・忠兵衛来ル」(全文)		札・1点	い 1398-6
(綱藏庄屋役見習就任につき小前百姓共差止め願下につき) *下書 頭百姓平吉・浅右衛門・金七・組頭辰右衛門・忠兵衛・庄屋忠右衛門・市右衛門→旦那様	4月	横切継紙・1通	い 1615-6
(頭取3人の内忠八・新右衛門他5名の呼出状)	9月3日	小切紙・1通	い 1799
御請書申上候事(今般村方百姓中惣代役命ぜられし旨) *下書 重右衛門・平吉・後浅右衛門・前金七	子5月	横切継紙・1通	い 1815
乍恐御歎願奉申上候御事(徒党ヶ間敷儀により蟄居になりし百姓の元屋敷への帰参願) 御新田(大宝前新田)農人悦四郎(印)、(奥書)四郎兵衛新田庄屋代久助(印)・御新田取次辰右衛門(印)→御役所衆中様	未9月	半(一ツ綴)・1冊	い 2018
(半左衛門村方徒党がましき願に加わり不埒につき仕置達書)	子5月	横切継紙・1通	い 2068-7

新田-元材木町間連絡

(春勘定の節目録帳為助へ御拝借仕りたきにつき書状) 新田庄屋→御地主様御勘定場	5月23日	堅紙・1通	い 1395-36
(我等組合忠八の儀、糸助殿・金八殿へ願いにつき書状) *後欠 神戸新田唯助→旦那様		横切継紙・1通	い 1401-203
記(金250円神戸新田分ほか上納予定通知につき) 新田忠右衛門→旦那様御勘定場	3月13日	青色罫紙/(9行)/(版心)「大六大區二十一小區」/(虫損あり)・1通	い 1402-177
(ろ・にノ割請地取上ケの儀につき書状) 小川唯助→舛井武兵衛様	正月25日	堅紙・1通	い 1505-3
(ろ・に割両所の預地上ケ地の儀につき書状) 舛井武兵衛→小川唯助様	正月26日	横切継紙・1通	い 1505-6
船積申荷物之事(行燈など差送状) 犬山屋分左衛門(印)→大宝前新田定助殿	丑2月1日	堅継紙・1通	い 1510-4
(新田内川漁の年限延長願の件並びに開札の件御内考願につき書状) * (端裏書)「極内事」 (小川)唯助拝→神戸様	8月8日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1558-5
(神戸新田定引は別紙図面共取調べた旨ほか書状) 唯助拝→神戸様上	正月26日	横切継紙・1通	い 1577
(御利足金貸渡し願い、飛嶋服岡用水一件の伺い他書状) 唯助→神戸大先生様	12月10日	横切継紙・1通	い 1615-17
(追々お願の門一条につき役儀帰宅の上品々入札取計ほか願い書状) (神戸)唯助→神戸様(御旦那様)	3月26日	横切継紙/(封筒共)・1通	い 1624
(家の件は引取る積りのところ普請取込につき片付の上参上する旨書状) かんとう新田同重右衛門→奥田兵治様無事	2月20日	横切継紙・1通	い 1840
(亥年納米分皆済の報告ほか書状) 小川唯助→奥田兵治様	2月19日	横切継紙・1通	い 1852
(風による田方の被害につき書状) 同(奥田)重右衛門→奥田兵治様	7月13日	横切継紙・1通	い 1998-17

大宝前(神戸)新田/経営記録/新田-元材木町間連絡

送申荷物之事(長持など差送状) * (端裏書)「御検地用」 犬山屋分左衛門(印)→大宝前新田定助殿	2月15日	縦継紙・1通	い 1510-6
(9月上旬25両、残り25両は11月上旬に申し請けたき につき書状) (小川唯助)→(神戸様)	(8月8日)	横切継紙/(い 1558-5に巻 込)・1通	い 1558-6
(おさと申す場所の見取り、地直しにつき書状) 新九 郎→文左衛門様	2月20日	小切継紙・1通	い 1560-5
(大宝前新田扱引方の儀の話し合い等につき書状)		横切継紙・1通	い 1560-22
覚(大蠟燭を吉兵衛へお渡しくださるべき旨書付) 新田庄屋中→御地主様御勘定場	2月9日	小切紙・1通	い 1655-1-41
(神戸新田の銘々御拝借米の返済分送付並びに検見 の日限報知につき書状) 庄屋忠右衛門→御地主様御 勘定場	10月6日	横切継紙・1通	い 1655-1-46
覚(蠟燭など諸品書付) 庄屋忠右衛門→御地主様御勘定 場	戌11月	小切紙・1通	い 1655-1-48
(包紙) * (包紙上書)「新田ニ而吉蔵 六月十一日 旦那様」		包紙/(い1655- 1-51-1~3を一 括)・1点	い 1655-1- 51-0
(顕明童女様御報謝頂戴の御礼につき書状) 庄屋当番 忠右衛門→御勘定場後藤衆介様貴下御免	7月19日	横切紙・1通	い 1655-1- 51-1
(奉行衆等へ遣わす椎茸代出金願につき書状)		小切紙・1通	い 1655-1- 51-2
(杵方御普請の状況報知につき書状) 吉蔵→旦那様	6月11日	小切継紙・1通	い 1655-1- 51-3
(杵入方普請の普請場引取など状況報知につき書状) 吉蔵→後藤衆助様貴下	6月11日	横切継紙・1通	い 1655-1-52
(年貢米送付・会所の茶付膳破損等につき書状) 庄屋 忠右衛門当番より→御勘定場後藤衆助様貴下御用向キ入	10月29日	横切継紙・1通	い 1655-1-54
(御安意申さるべく使者申し遣わし御答えにつき書 状、今まで何方より何の沙汰もなきにつき追って 書共) 重右衛門→奥田兵治様	7月11日	横切継紙・1通	い 1655-9
覚(神戸新田、村方拝借の肥金返納につき通知状) 新 田庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	子9月28日	小切紙/(い 1665-12-4~5 は巻込一括)・1 通	い 1655-12-4
(包紙) 小川唯助→神戸惣助様		包紙・1点	い 1784
(御検見にお出なさるべき旨書状)	9月23日	横切紙・1通	い 1784-1
(覬弥助参りあの方の者共相談一件につき六兵衛方 へ書状遣した旨他の書状)	9月23日	切継紙/(い 1784-2はい 1784-1で巻 込)・1通	い 1784-2
(平左衛門金談の件・新田只介礼200疋差上たき由他 につき書状) むねより→茂元君	12月25日	横切継紙/(い 1786-1~2は紙 縫一括)(虫損 甚大)・1通	い 1786-1
覚(金5両のうち3両差上げる旨) 犬山神戸→元丁様	12月26日	小切紙/(虫損 あり)・1通	い 1786-2
(悪水吐き樋変更改造につき書付)		切紙/(い1865- 8-1~4は一 綴)・1通	い 1865-8-1
(旧悪水吐樋等につき書付)	明治34年	切紙・1通	い 1865-8-2

(御邸宅裏手の土堀普請取り掛かりの件につき書状) 綱蔵・由治→神(戸)銀之助様	7月9日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1865-8-3
(封筒) 海西郡神戸新田藤部由治→神戸銀之助殿	(明治35年7月11日)	封筒・1点	い 1865-8-4
(本日悪水樋開通致せども5分の減水につき書状) *い1399-71と関連 神戸新田服部由治→名古屋市木挽町式丁目神戸銀之亮様	(明治)35年8月17日	ハガキ・1通	い 1399-70
(稲作別段障り無き等別紙役場より送達にて回送申上につき書状) 由治→神(神戸)銀之亮様	8月17日	横切継紙・1通	い 1399-71

その他

御請書差上申候覚(西の森獅子屋形不行届の仕置請書) 友九郎父林蔵・藤七父藤四郎(印)他52名、(奥印)庄屋忠右衛門(印)・同惣蔵(印)・組頭忠兵衛(印)・頭分重右衛門(印)・同金七(印)・同浅右衛門(印)・同平吉(印)	天保13年寅4月	縦紙半折/(裏打あり)/(い2068は一綴)・8葉	い 2068-1
御請書差上候御事(西の森神葺獅子屋敷一件につき請書) 庄屋忠右衛門・同綱蔵	天保13年寅5月	縦半半折・2葉	い 2068-9
(西の森神葺獅子屋敷一件仕置勘弁につき御礼請書) 勘三郎(印)、(奥印)庄屋忠右衛門(印)・同綱蔵(印)・組頭忠兵衛(印)	天保13年寅5月	縦半半折・2葉	い 2068-10
御請書差上申候覚(西の森獅子屋形不行届の仕置請書) *い2068-1と同内容/後欠カ 友九郎父林蔵(印)・藤七父藤四郎(印)・惣五郎父甚三郎(印)・善十郎父平助(印)・和平父吉兵衛(印)・庄五郎父(印)・平四郎父平蔵(印)・常五郎父(弥七)・伊兵衛父庄六(印)・圓五郎父亀七(印)・源四郎父金六(印)・理助父理右衛門(印)・弥兵衛父金右衛門(印)・増蔵父辰右衛門(印)・善十郎父重右衛門(印)・楠五郎父金七(印)・平五郎父平吉(印)・善四郎父浅右衛門(印)・勘四郎(印)	天保13年寅5月	縦半半折・4葉	い 2068-11
覚(御前帳写・御証文写ほか書上)		横切継紙・1通	い 1397-7
覚(触帳留10冊ほか帳簿御改め受取につき) 唯助→卯平様	寅7月13日	横切継紙・1通	い 1397-8
(3口辰右衛門他ノ42口半書上覚)		横切紙・1通	い 1397-24
頭書覚(新田配符帳取事ほか業務箇条書き)		横切継紙・1通	い 1566-14
(犬山神戸様よりの御状着につき神戸様は27,8日頃御出の旨ほか書状) 神戸唯助→河村九兵衛様	10月23日	横切継紙・1通	い 1615-14
(今日御代官様泊りの筈もまだお見えにならざるにつき書状) 五兵衛→嘉兵衛様	10月9日昼	堅切紙・1通	い 1723
覚(金7両3分余受取の旨ほか四郎兵衛新田入用金・熱田相對勸化書付返事など)		切継紙・1通	い 1843-5
覚(納米7石余預り証文) 新田綱蔵(印)・同忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	申7月	堅切紙/(裏打あり)・1通	い 1937
(法玉寺の寺号につき書状) 岸田伴六→小川唯助様	27日	横切紙・1通	い 1987-8
覚(米1斗余支給につき書付) 半右衛門→唯助殿	12月6日	横切紙・1通	い 1987-10

小作人

小作人全般

覚(忠右衛門他3名へ当子年より10ヶ年限り毎大晦日1か年金10両手当として遣わすにつき) * (端裏書)「扣」	子9月15日	堅切紙・1通	い 1395-12
覚(神戸新田百姓の内重右衛門ほか人名書上)	子5月	堅切紙/(虫損あり)・1通	い 1396-18
乍恐口上之覚(只助殿へ今般山川共引渡、私共10ヶ年の内借揚仰付られ驚き入るにつき) * 下書 十右衛門・金七・忠右衛門	子9月15日	堅紙/(虫損あり)・1通	い 1400-73
覚(権八・分助他8名へ御借シの稗メ5石受取書) →神戸分左衛門様	戌2月19日	堅継紙/(い1635-1~3は巻込一括)・1通	い 1635-1
覚(権八・分助他11名へ御借シの稗メ4石5斗受取書)	4月20日	堅継紙・1通	い 1635-2
覚(稗32俵3斗5升の内訳、作人中へ御借シ・鼠喰惣足シ書上)	戌4月23日	堅切紙・1通	い 1635-3
(西側より神戸新田人別8名書付)		小切紙・1通	い 1655-12-10
(惣六・栄助・辰右衛門他29名の人名(捺印)書上)		堅継紙・1通	い 2050
共有金御預ケ記(金1166円明治20年1月調元金ほか差引元利メ金1633円80銭につき) 共有金係り綱蔵(印)→旦那様	明治21年子1月	折紙・1通	い 1399-25

宗門改

乍恐奉願上候御事(神戸家で小作人の宗門を改め陣屋へ一札を差し上げてきたことを、組合を立て一村立にするよう指示されたことに対し、現状維持の願) 犬山屋文左衛門→三沢喜右衛門様御陣屋	丑正月	堅継紙・1通	い 1566-2
(作人中宗門改庄屋印形は市左衛門も済ませて遣わすべき旨ほか書状) 小川唯助→奥田兵次様	3月18日	横切継紙・1通	い 1749-6
乍恐奉願上候御事(神戸新田百姓宗門改の仕法従来通りに致したき旨願書) 犬山屋文左衛門(印)	巳正月	堅継紙・1通	い 1966

小作証書

借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米2石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十番戸都築梅吉(印)・右保証人(尾張)国全(海西)郡南山村大字四郎兵衛新田三十八番戸都築甚七(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏蔵」用箋・(一部印刷用紙)/(い2053-1~49は紙綴一括)・1冊	い 2053-1
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米36石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十五番戸早川孫平(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十四番戸早川金左衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏蔵」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-2
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米7石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十一番戸岡戸亀次郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)廿一番	明治24年1月1日	「神戸氏蔵」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-3

戸岡戸伊右衛門(印)→神戸分左衛門殿			
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米34石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十七番戸児玉鶴太郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)ミスター阿大字全(神戸)新田七番戸竹内辰右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-4
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米47石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿七番戸阿部亀三郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田廿六番戸阿部新吉(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-5
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米14石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田二番戸早川清右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田壹番戸早川忠兵衛(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-6
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米2斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三番戸早川幸吉(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田壹番戸早川忠兵衛(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-7
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米17石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田四番戸奥田重三郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田全(四)番戸奥田光藏(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-8
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米8升余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十八番戸前田悦四郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田十九番戸奥山房二郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-9
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米50石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田七番戸竹内辰右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田拾七番戸児玉鶴太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-10
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米2石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田八番戸奥田重右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田十番戸鈴木梅太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-11
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米58石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十三番戸早川忠藏(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田壹番戸早川清太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)/(訂正の貼紙あり)・1冊	い 2053-12
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米27石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十一番戸前田作右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田甲十二番戸前田岩吉(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-13
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米4斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田四十番戸前田作右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田十二番戸前田岩吉(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-14

大宝前(神戸)新田/小作人/小作証書

借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米5石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十二番戸前田勘治郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字神戸新田十一番戸前田作太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-15
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米9石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十番戸鈴木梅太郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字(神戸)新田八番戸奥田重太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-16
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米14石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十四番戸犬飼平助(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田十五番戸児玉惣右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-17
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米14石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十二番戸前田岩吉(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)十一番戸前田作右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-18
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米4斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十二番戸前田岩吉(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)十番戸前田作右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-19
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米23石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十五番戸児玉惣右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字神戸新田十四番戸友田平助(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-20
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米102石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十六番戸小川綱造(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田拾八番戸児玉金七(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-21
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米51石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十八番戸児玉金七(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)拾六番戸小川総造(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-22
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米5石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十九番戸江上利右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)全(十九)番戸江上利兵衛(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-23
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米4斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十九番戸江上利兵衛(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)全(十九)番戸江上利右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-24
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米4斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十九番戸江上要蔵(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)廿番戸児玉馬太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-25

借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米12石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田九番戸児玉馬太郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)番戸江上要藏(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-26
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米九斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿壹番戸岡戸伊右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)三十一番戸岡戸亀次郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-27
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米13石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿壹番戸岡戸伊右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)三十一番戸岡戸亀次郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-28
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米4石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿二番戸小林豊四郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田廿三番戸児玉安五郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-29
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米1石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿三番戸児玉安五郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田廿二番戸小林豊四郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-30
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米21石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿四番戸阿部善四郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)廿七番戸阿部亀三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-31
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米21石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿五番戸阿部市左衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)廿六番戸阿部新吉(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-32
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米20石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿六番戸阿部新吉(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)廿七番戸阿部亀三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-33
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米13石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田廿九番戸都築弥右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十八番戸大橋京三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-34
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米2石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十三番戸藤松李治郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十四番戸早川金右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-35
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米33石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十四番戸早川金右衛門(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十五番戸早川孫平(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-36

大宝前(神戸)新田/小作人/小作証書

借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米5石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十五番戸早川孫平(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十四番戸早川金右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-37
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米1石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十六番戸早川庄太郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十五番戸早川孫平(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-38
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米5斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十七番戸大橋重助(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十八番戸大橋京三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-39
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米13石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十七番戸大橋重助(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十八番戸大橋京三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-40
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米1石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十八番戸大橋京三郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十七番戸大橋重助(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-41
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米10石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十八番戸大橋京三郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田三十七番戸大橋重助(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-42
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米6斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田三十九番戸犬飼多十郎(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田四十一番戸犬飼平七(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-43
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米14石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田四十番戸犬飼平吉(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田四十一番戸犬飼平七(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-44
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米9石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田四十一番戸犬飼平七(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田四十番戸犬飼平吉(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-45
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米1石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田四十一番戸犬飼平七(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田四十番戸犬飼平吉(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-46
借地受作證券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米1石余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田四十一番戸犬飼平七(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸)新田二十番戸江上利右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏藏」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-47

借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内借地米・掛り米8斗余分受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田四十八番戸竹内吉之助(印)・右保証人全(尾張)国全(海西)郡全(宝地)村大字全(神戸新田)七番戸竹内辰右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏蔵」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-48
借地受作証券(海西郡宝地村大字神戸新田内田2畝余受作証書) 右借地受作人尾張国海西郡宝地村大字神戸新田十六番戸中川常助(印抹消)・右保証人同(尾張)国同(海西)郡同(宝地)村大字神戸新田七番戸竹内辰右衛門(印抹消)→神戸分左衛門殿	明治24年1月1日	「神戸氏蔵」用箋・(一部印刷用紙)・1冊	い 2053-49

貸金・救済など

借用申金子之事(金8両) 大宝前新田金子借主忠兵衛(印)・右同断重右衛門(印)・右同断平吉(印)、(奥書)定助(印)→神戸分左衛門様	延享2年丑12月	堅紙・1通	い 1298-6
借用仕金子之事(勝手殊の外困窮のため金157両) 大宝前新田金子借主定助(印)・加判重右衛門[印]→神戸分左衛門様	延享3年寅正月	堅紙・1通	い 1298-7
覚(取替金元利の内51両受取書) 川合嘉兵衛(印)→奥田重右衛門殿	明和8年卯12月大晦日	切継紙・1通	い 1906
拝借申金子之事(要用につき金25両) 大宝前新田金かり主唯助(印)・同所請人平吉(印)・同所請人十右衛門(印)→神(神戸)旦那様・治蔵殿	寛政2年戌11月	堅紙・1通	い 1298-18
借用申金子之事(米切手金1200両借用証文) *写 借用主新田只助・同断同平吉・同断同重右衛門→神戸文左衛門殿	文化3年寅6月	堅紙/(い 1503-1~10は巻込一括)・1通	い 1503-1
覚(困窮百姓へ夫食割当証文) 大宝前新田庄屋重右衛門(印)・同所組頭茂吉(印)・同断藤三郎[印]・四郎兵衛新田庄屋藤吉(印)	(文化7年)申正月	堅切紙・1通	い 1554-3
借用申金子証文之事(要用につき米切手金3両) 御新田庄屋重右衛門(印)→旦那様	文政10年亥之7月4日	堅紙・1通	い 1298-19
奉拝借金子証文之事(近來小児多く去年來年柄悪く難渋につき米切手金2両) 拝借主弥七(印)・親類証人弥助(印)・拝借主平助(印)・親類証人平七(印)→御庄屋衆中様	天保8酉7月	堅紙・1通	い 1308-92
借用申金子之事(米切手金300両借用証文) *写/(端裏書)「寅十二月廿六日吉十郎殿向遣旨」 金借用主犬山屋文左衛門・証人天満屋九兵衛→天満屋吉十郎殿御取次	天保13年寅12月	堅紙・1通	い 1503-2
預り申金子之事(米切手金400両預り証文) 神戸文左衛門(印)→神戸新田唯助殿	天保14年卯正月	堅紙・1通	い 1503-3
預り申金子之事(米切手金40両預り証文) *(端裏書)「唯助口古手形」 神戸文左衛門(印)→神戸新田唯助殿	天保14年卯正月	堅紙・1通	い 1503-4
預り申金子之事(米切手金40両預り証文) *い1503-4の写/(端裏書)「卯正月十四日唯助様相済」 神戸文左衛門印→神戸新田唯助殿	天保14年卯正月	堅紙・1通	い 1503-5
預り申金子之事(米切手金400両預り証文写) *(端裏書)「卯正月十四日唯助様相済」 神戸文左衛門印→神戸新田唯助殿	天保14年卯正月	堅紙・1通	い 1503-6
預り申金子之事(米切手金250両預り証文) *(端裏書)「右元金元四百四拾兩預り候處御預元金之内正月廿七日九拾兩相渡又四月五日百兩相渡シ右手形六月廿七日書替卅日手形相渡」/写 神戸文左衛門印→神戸新田唯助殿	天保15年辰正月	堅紙・1通	い 1501

大宝前(神戸)新田/小作人/貸金・救済など

預り申金子之事(米切手金350兩預り証文) * (端裏書) 「右元金卯正月元四百四拾兩手形式本ニ而預り置候處辰正月預候而元金之内九拾兩正月廿七日綱藏相渡右手形仕替相渡」(墨消)/本文墨消/写 神戸文左衛門印→神戸新田唯助殿	天保15年辰正月	縦紙・1通	い 1502
預り申金子之事(米切手金350兩預り証文) 神戸文左衛門(印)→神戸新田唯助殿	天保15年辰正月	縦紙・1通	い 1503-7
預り申金子之事(米切手金200兩預り証文) * 控/(端裏書)「扣 右元金最初四百四十兩之内先年文屋ニ百九拾兩相渡残り式百五拾兩之内明朝弘化二年巳九月相□□金五拾兩相渡手形仕替巳九月相付濟手形相渡」 神戸文左衛門(印墨消)→神戸新田唯助殿	弘化2年巳9月	縦紙・1通	い 1503-10
覚(御年賦金1兩3分余受取書) 神戸文左衛門(印)→小川定助殿	丑閏月22日	縦継紙・1通	い 1853
(綱藏が金10兩借用につき) 孫次郎→神戸尊兄君	12月12日	切紙・1通	い 2001-2
覚(尽金3兩など金銭書上) 孫次郎	4月2日	切紙・1通	い 2001-5
覚(堤銀引当ヶ金7兩など綱藏へ借用につき) 同孫次郎(印)→神戸芳之助君	12月12日	横切紙・1通	い 2001-7
御願申御借シ被下候麦之事 大宝前新田庄屋定助(印)→神戸分左衛門様	酉3月19日	切紙/(い 2027-1~5は一綴)・1通	い 2027-1
一札之事(当酉暮借用につき証文) 忠兵衛(印)・十右衛門[印]・金左衛門(印)・平吉(印)・辰右衛門(印)・分助[印]・勘平(印)・権八(印)・松右衛門(印)・市左衛門(印)・庄八(印)・円助(印)・儀右衛門(印)・吉兵衛[印]・孫右衛門(印)・庄六(印)・孫平(印)・藤藏(印)→神戸分左衛門様	酉12月28日	縦継紙・1通	い 2027-2
覚(夫食に御貸しくだされ稗受取書) →神戸分左衛門様	酉12月28日	縦継紙・1通	い 2027-3
覚(御貸し下され金子メ16兩受取書)	酉12月	縦継紙・1通	い 2027-4
覚(米15石4斗余借用につき)	酉12月	縦継紙・1通	い 2027-5
記(元金60円利子差引メ30円利70銭2月3月2ヶ月返納につき) 辰右衛門→上	15年3月21日	横切紙・1通	い 1402-168
記(金9円11銭7厘丈丸太151本2間丸太31本代他メ金9円95銭拝借につき) 忠兵衛→御勘定場	8月19日	横切継紙・1通	い 1402-245
(商人別米高など書付)		小切紙・1通	い 1560-25
「十一月廿日孫一・金六・吉兵衛・藤七・文藏右ハ扱米之礼ニ来候」		帯札/(い 1653-2~11を一括)・1点	い 1653-1
(清平ほか人別米高書上)		小切紙・1通	い 1655-1-38
借用米之人数(勘助ほか大宝前新田)		小切紙・1通	い 1655-1-49
覚(神戸新田の一人別米高認方につき報知状)		小切継紙・1通	い 1655-2-32
(神戸新田歳暮送付者書付)		小切紙・1通	い 1655-12-8
(御救米割当書)		折紙・1通	い 1655-12-13

小屋・会所

入用

会所繕諸入用	寛延元年辰9月2日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 2011
覚(1貫448文虫送り他ノ3貫183文受取につき) 金七 [印]尾州海西郡亀ヶ地鍵戸金七]]→御会所分綱蔵様御引受	未7月	横切紙・1通	い 1399-60
覚(酢など代金2貫720文請取済につき) 金十郎→神戸 会所御用新平殿	申12月	横切継紙・1通	い 1991-5
覚(会所御用1斗中酒酢之代金1貫450文請取につき) 亀丁善吉(印)→唯助様	戌12月	切紙・1通	い 1992-15

飯米帳

覚(年中会所出入飯米など代金書上)	辰12月	折紙・1通	い 2010
-------------------	------	-------	--------

郷蔵

七月廿一日夜大風ニ付損所会所郷蔵見分帳	嘉永3年庚戌7月日	横長半/(い 1655-1~12は 紙繕一括)/(い 1655-1-1~54 は帯一括)・1冊	い 1655-1-1
覚(ノ99枚普請用材の枚数勘定書) 羽柴屋源七→神戸 様新田行	戌8月23日	横切継紙・1通	い 1655-1-2
覚(12間1寸5分用1本ほか普請用材書付) 羽柴屋源七 →神戸様御新田行	戌8月23日	横切継紙・1通	い 1655-1-3
覚(2坪14間板敷11枚ほか普請用材書付) 羽柴屋源七 →神戸様	戌8月16日	小切継紙・1通	い 1655-1-4
覚(檜長2間1寸2分1丁ほか普請用材書付) 神戸→羽柴 屋様	8月19日	横切紙/(い 1655-1-6を巻 込)・1通	い 1655-1-5
覚(板敷50枚普請用材送付につき書付)	7月21日	横切継紙・1通	い 1655-1-6
覚(囲用材木の作料・代金勘定書)	7月28日	横切紙・1通	い 1655-1-7
覚(7間半檜長1寸半板代金65匁ほか材木代金勘定書) 羽柴屋源七→御新田入用神戸様	戌8月4日	横切継紙/(い 1655-1-9~10 を巻込)・1通	い 1655-1-8
覚(2坪杉4分ほか材木代金勘定書) 羽柴屋源七→御新 田係入用神戸様	戌8月4日	横切紙・1通	い 1655-1-9
覚(檜2間6分3枚ほか材木代金勘定書) 羽柴屋源七→ 御新田入用神戸様	戌8月4日	小切紙・1通	い 1655-1-10
覚(材木や釘代金、平島新田の者調達金を引当、蔵普 請など報告書) (元材木町神戸家の奉公人カ)		横切継紙/(い 1655-1-12を巻 込)・1通	い 1655-1-11
(西堤修復に用いる釘等の種類や数書付)		横切紙・1通	い 1655-1-12
覚(8月10日勇右衛門船にて送付の材木尺ノ5丈9寸3 分書付)		横切継紙/(い 1655-1-14に巻 込)・1通	い 1655-1-13
覚(材木尺ノ5丈8寸5分書上) 羽源→神戸様	8月14日	横切継紙・1通	い 1655-1-14

大宝前(神戸)新田/小屋・会所/郷蔵

覚(材木尺ノ書上) *後欠		横切継紙・1通	い 1655-1-15
覚(ニしかこひ・ニしうち金額書付)		小切紙/(い 1655-1-37に巻込)・1通	い 1655-1-35
覚(手間代・ひよてつたひ金額書付) 六三郎・善吉→神戸様		横切紙/(い 1655-1-35に巻込)・1通	い 1655-1-36
①覚(7坪半14本代金32匁2分5厘ほか材木数量書付)、 ②覚(13本代金14匁3分ほか材木数量勘定書) ①② 羽柴源七→神戸様	①②7月28日	横切継紙・1通	い 1655-1-37
覚(17本ほか材木代金書付) 羽柴屋源七(印)→神戸様	戌9月2日	小切紙・1通	い 1655-1-44
郷蔵入米(神戸新田分・下ノ郷分)		小切継紙・1通	い 1560-21

土地

田畑状況把握

(いろは地割りごと反別書上)		横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1397-17
(ち割の石高書上)	(天保6~嘉永2年)	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1401-186
(大宝前新田い~そ割付絵図)		30.5×56.0/(い 1442-2~4は い1442-1で巻込)・1鋪	い 1442-1
大宝前新田輪中ノ者共并藤吉仲右田作帳 *朱書あり		横半半(一ツ綴)/(い1554-1~4は綴一括)・1冊	い 1554-1
(大宝前新田隣地の見取場絵図並びに見取場間数書上) *彩色あり	(文化12年)	81.0×61.0・1鋪	い 1554-4
ろにへ川田間地帳	弘化2年巳2月	横長半(一ツ綴)/(い1558-1~12は一綴)・1冊	い 1558-1
ろにへ川田江堀内見分覚		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1558-2
ろにへ川田江堀内見分覚(へ東より1長76間巾3間5分・同3間4分金右衛門ほか間数書上)		横長半(一ツ綴)/(虫損あり)・1冊	い 1558-11
(耕地面積・寸法書付)		横半半(一ツ綴)・1冊	い 1560-3
未ノ年之一之割之内む之わり之地所有之人別(神戸新田分)		横切継紙・1通	い 1560-19
(包紙) * (包紙上書)「佐藤五郎右衛門御状 諸用帳ニ留置」		包紙/(い 1612-1~3は包紙一括)・1点	い 1612-0
(小屋敷地等4丁6反4畝の書上)		切紙・1通	い 1612-1
(大宝前新田の内畑方屋敷共に何程か伺書) 佐藤五郎右衛門→犬山屋文左衛門様	7月11日	横切継紙・1通	い 1612-2
(大宝前新田の内大概屋敷共に畑方4町6、7反程の旨報告) *控 犬山屋分左衛門→佐五郎右衛門様	7月11日	横切継紙・1通	い 1612-3

田畑改名

巳年改名帳	(弘化2年)巳	横長半(一ツ綴)/(い1528-1~3は一綴)・1冊	い 1528-1
(神戸新田柳枯草場絵図写) 右新田(神戸新田)庄屋綱蔵印・同断忠右衛門印→大嶋兵左衛門様・福田為助様・服部作助様・鈴木常三郎様	弘化2年巳9月	32.0×43.5・1鋪	い 1528-2
(四郎兵衛新田替地絵図)	(弘化2年巳)	32.0×43.0・1鋪	い 1528-3
子年改名覚帳(神戸新田内耕地名前を鍋蓋新田重助、新田内忠右衛門に変更) * (貼紙)「子年用書」		横長半/(い1665-12-12~13は巻込一括)・1冊	い 1655-12-12
改名之覚(名前替の田畑につき書上)		横切継紙/(い1421-1~2は一綴)・1通	い 1421-1
嘉永三酉年忠八配府田写(メ米8石5斗8合) 庄屋	酉11月	横切継紙・1通	い 1421-2
(「の之わり 秋葉田 下れ之わり・・」ほか覚書)		綴/(い1476は一綴、墨付は上3枚)・1綴	い 1476
(ち中之割につき西金兵衛・金六他25名石高覚書)		綴/(い1477-1~6は一綴)/(い1477-1は一綴)/(虫損あり)・1綴	い 1477-1
①る之割(午年~酉年石高・町数書上)、②る之割(申年~卯年石高・町数書上)		折紙・1通	い 1477-2
①(忠助・勘兵衛他11名石高・ならし高書上)、②下よ之割(弥八・勇四郎他20名石高・ならし高書上)、③上よ之割(弥左衛門・久八他12名石高書上)		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1477-3
(よの割・中ち之割ほか割極につき平均を出して定める旨ほか書付)		横切継紙・1通	い 1477-4
(る之割・ぬ之割等の石高は辰年極にて3ヶ年目は上る旨ほか書付)		横切継紙・1通	い 1477-5
(たの割勘三郎屋敷減す事他につき庄屋兩人・辰右衛門名代俵と用談の件書付)		横切紙・1通	い 1477-6

芝場・葎生場

乍恐口上之覚(大宝前新田附扣芝場境杭につき絵図面の通り命じられたき旨につき) * 下書		縦継紙/(い1361-1~4は巻込一括)・1通	い 1361-1
乍恐口上之覚(大宝前新田附扣芝場境杭につき) * 下書		縦切紙・1通	い 1361-2
(百四拾町程築廻シ他書留め) * 下書		縦切紙・1通	い 1361-3
(包紙) * 下書 神戸文左衛門		包紙・1点	い 1361-4
(大宝前新田附芝場につき境杭を打たせ下されたき旨願書) * 控	亥11月	縦継紙/(い1364-1~2は巻込一括)・1通	い 1364-1
(西蜆・東蜆・大宝前ほか反数書上)		縦継紙・1通	い 1364-2

大宝前(神戸)新田/土地/芝場・葭生場

奉願上候御事(大宝前新田附芝場境杭につき) *下書	宝暦8年寅4月	縦継紙・1通	い 1375
乍恐口上之覚(大宝前新田附芝場境杭を御立て下されたきにつき) *下書	亥	縦継紙・1通	い 1377
乍恐口上之覚(大宝前新田附扣芝場境杭打立にて見分御役人へ旦那様より御言葉下さるよう) *下書/墨消あり	5月	縦継紙・1通	い 1380
乍恐口上之覚(大宝前新田附芝場境杭を打たせ下されるよう願書) *下書/(端裏書)「巾下御内見ニ入亥十二月七日絵図壹枚相添」	12月	縦継紙・1通	い 1388
乍恐口上之覚(大宝前新田附扣芝場境杭につき) *下書	子6月	縦継紙・1通	い 1391-1
(三ヶ村庄屋中立会にて葭菰取は指控えるべき旨)	子6月19日	横切紙/(い1391-2~3はい1391-1で巻込)・1通	い 1391-2
(7月26日芝井新田善左衛門殿参られ芝場山境を改めし旨)		横切継紙・1通	い 1391-3
藤野芝番人足覚帳 只助	寛政11年末12月	横長半(一ツかぶせ綴)・1冊	い 2028
乍恐以別紙御願申上候御事(大宝前新田葭野上納米免除の旨他につき) *下書 犬山屋文左衛門→野方御奉行所	寅何月	縦継紙/(貼紙あり)・1通	い 1372
乍恐以別紙御願申上候御事(大宝前新田葭野上納米免除の旨ほか) * (端裏書)「扣」 犬山屋文左衛門→野方御奉行所	寅何月	縦継紙/(貼紙あり)・1通	い 1390-1
乍恐奉願上候御事(飛嶋野跡の青葭刈り取り等の上で水行押通し願につき) *写	午6月	縦紙・1通	い 1557-3-2
乍恐御達奉申上候(神戸新田の堤外野跡の地代金の儀御尋につき) *下書 神戸新田庄屋忠右衛門→兎玉定一郎様御陣屋	午11月	小切紙・1通	い 1559-11
(筏場・平嶋・鳥ヶ地など概ほか願につき内密書状) * (包紙上書)「神戸文左衛門様内密用拜上 川村九兵衛」 正秋→茂元御大人極内用拜上	(弘化期以降の近世)10月28日	横切継紙/(札共)・1通	い 1655-8

道

道普請見分帳	弘化4年末正月	横半半(一ツ綴)/(い1560-1~28は一綴)・1冊	い 1560-1
(道普請見分につき四郎兵衛新田など耕地面積書付) *前欠		縦切紙/(い1560-1に挟込)・1通	い 1560-2

水利・防水ほか

水利

井組借用金覚 新田庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場		横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1402-76
子年用水入用(神戸新田金2両2分12匁9分1厘割当差引残金2両1分2匁4分1厘書上覚)		横切継紙・1通	い 1402-213

大宝前新田(用水入用2両通知書) 用水当番	寅12月	切紙・1通	い 1885
覚(井組入用金11両借用願書) 新田庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	卯10月15日	横切継紙・1通	い 1956-6
(水を神戸新田へ8・9分譲引の旨陣屋で治定につき本山旦那様へ伝言願の書状) 神戸新田唯助→神戸様	2月9日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	い 1664
立切見積り書(人造樋工事請負につき) *絵図面あり、彩色あり、金銭請取書共 四郎兵衛(衛新田)伊藤源之助(印「伊藤」)→神戸分左衛門殿	(明治)37年10月12日	青色罫紙/(一ツ綴)(12行)・1冊	い 1865-6

防水

(潤屋新田・四郎兵衛新田の扣築のため出金等の経緯につき覚書)	文化7年申7月	堅切紙・1通	い 1554-2
乍恐奉願上候御事(大宝前新田古堤敷地の内へ海用水留め仰せ付けさせられたきにつき) 海西郡大宝新田庄屋忠左衛門・同郡大宝前新田庄屋定助	未11月	横切継紙・1通	い 1505-7
覚(四つ伏差渡し2尺籠長さ980間など経費の代金目録) 唯助	4月9日	堅切紙・1通	い 1531-6
覚(西東土方・汐垣等の金を名代金七配布の旨書付)		横切紙/(い 1655-2-1~33は紙綴一括)・1通	い 1655-2-1
覚(杵土方・汐垣配布高割通知書)	3月15日	小切紙/(い 1655-2-2~8は巻込一括)・1通	い 1655-2-2

水路

(川運上金28両余にて入札) 茶屋新田徳左衛門(印)		札・1点	い 1560-6
(川運上金5ヶ年限26両にて入札) 亀ヶ地新田金七		札・1点	い 1560-7
入札之覚(川運上金27両にて入札) 西福田新田市蔵(印)		札・1点	い 1560-8
覚(川運上金36両にて入札) 亀ヶ地藤助(印)	6月27日	札・1点	い 1560-9
覚(川運上金25両を1年限で入札) 当所弥七→御地主様		小切継紙・1通	い 1560-10
覚(川運上金31両余で入札) 今村新九郎	6月24日	堅紙・1通	い 1560-11
神戸新田川入札(川運上金27両と1匁5分にて入札) 亀ヶ地新田金左衛門(印)→神戸新田御庄屋様	巳6月23日	堅紙・1通	い 1560-12
入札之事(川運上金正金25両と3匁5分にて入札) 平蔵(印)→御役儀衆中様	弘化元年巳6月	堅紙・1通	い 1560-13
覚(川運上金正金28両1分10疋にて入札) *(端裏書)「神戸新田御庄屋衆中様 筏場藤九郎 川入札」 筏場藤九郎→神戸新田御庄屋衆中様	6月	横切紙・1通	い 1560-14
覚(川運上金27両で1ヶ年限で入札につき書付) 服岡新田小平殿→御庄屋衆中様	6月	横切紙・1通	い 1560-15
覚(川運上金29両2匁銀1匁5分で入札) 狐地彦作	巳6月25日	堅切紙・1通	い 1560-16
入札金高覚		折紙・1通	い 1560-17

大宝前(神戸)新田/水利・防水ほか/水路

覚(水路工事見積書カ)		折紙・1通	い 1399-27
覚(わ北道添長さ171間並びにね上長122間水路間数・面積など書上)		横長半(一ツ綴)/(虫損あり)・1冊	い 1558-12
(中地之割の堀手初めの報告・入用金の借用願い等につき書状) 新田綱蔵→(御勘定場)後藤衆助様	4月10日	横切継紙・1通	い 1681
(亀ヶ地前地先年ハ市江と唱申候場所絵図)		24.5×34.5・1鋪	い 1699
(善太川幅図)		30.4×44.5・1鋪	い 1749-8
覚(大宝外新田堤内池川貸預禁止の旨につき証文) 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方御奉行所	丑6月	縦継紙・1通	い 1910
覚(鳥ヶ地地内南水分伏替入用引当金1兩余受取書) 新田庄屋忠右衛門(印)→御地主様御勘定場	子10月17日	横切紙・1通	い 1956-9
老年切御請合申大宝前新田之内川方之事		縦紙・1通	い 2035-4

垠

覚(枳場又三郎ほか人足272人2分代金4兩2分余の書上)	(延享2年)丑閏12月	横切継紙・1通	い 1790
前々枳御伏替当り人足帳 * (表紙)「村入加」/(背表紙)「村」 重右衛門	宝暦3年酉正月	横長半(一ツ綴)/(い1517-1~8は一綴)・1冊	い 1517-1
覚(酉年用水入用書付) * (端裏書)「村」	酉3月	小切紙・1通	い 1517-2
おほへ(大らし代受取書) * (端裏書)「村」 (尾州本蟹江町) さ、や久左衛門(印)→只助様	8月23日	小切紙・1通	い 1517-3
売渡申渡之事(葭代受取書) * (端裏書)「村」 大宝新田林蔵→神戸新田只助様	12月12日	横切継紙・1通	い 1517-4
覚(ふし代受取書) * (端裏書)「村」 戸田屋庄八	8月8日	小切紙・1通	い 1517-5
(大宝前新田分11匁7分8厘代書付) * (端裏書)「かにへ橋入用 村」		小切紙・1通	い 1517-6
覚(枳守又三郎頼母子金受取書) * (端裏書)「村」 子宝村彦右衛門・鯨ヶ地村伝七郎→神戸新田只助様	8月4日	縦切紙・1通	い 1517-7
覚(其村枳披戸手伝・川上ヶ代受取書) * (端裏書)「村」 枳作事方(印)→大宝前新田庄や	9月11日	縦紙・1通	い 1517-8
大宝前新田悪水枳御伏替諸入用帳 * (表紙)「村」	宝暦3年酉6月13日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1518-1
覚(口米など諸入用書上) * (端裏書)「村」	6月13日	横切紙/(い1518-2はい1518-1に貼付)・1通	い 1518-2
酉之八月大水ニ付中枳二ヶ所水ふせき并所々出ス明俵縄人足水帳面	宝暦3年12月	横長半(一ツ綴)/(い1520-1~3は一綴)・1冊	い 1520-1
覚帳(水入につき払帳)	酉8月18日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1520-2
(大宝前新田水入の節出の人足書上など綴)	(酉12月)	綴・1綴	い 1520-3

杖御伏替ニ付杖場萬通 神戸圓七郎	癸宝曆3年酉6月	横半半(下げ二ツ目綴)・1冊	い 1522
杖橋見分帳	天保11年庚子正月吉日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1523
(水廻り役申渡書) →金右衛門	4月	切紙/(い1912-1~2は畳込一括)・1通	い 1912-1
(杖守役申渡書) *(端裏書)「扣 天保十五年辰四月七日兩人申渡ス」 →金七	(天保15年辰)4月7日	横切紙・1通	い 1912-2
神戸新田悪水落杖伏方配書付 神藤八郎→右庄屋	弘化4未4月	横長半(一ツ綴、ひねり綴)・1冊	い 2012-1
神戸新田悪水落杖外汐堤配書付 神藤八郎→右新田庄屋	弘化4未正月	横長半(一ツ綴、ひねり綴)・1冊	い 2012-2
(にへノ境檜金左衛門前板四枚など書上)		折紙・1通	い 2012-3
(鳥ヶ地前新田・神戸新田の落杖費用他の元利につき書上)	(近世)	折紙・1通	い 1393-2
(巾9尺高5尺幟戸前3間通繕他1ヶ所諸木積船廻すべきにつき) 幟方役所(印)→神戸新田	未6月	横切紙・1通	い 1399-9
覚(樋古木川上御用代受取書) 杖御作事方(印)→大宝前新田庄屋	丑12月2日	縦継紙・1通	い 1531-26
覚(杣御作事受取並びに運賃銭1貫500文承頭へ相渡す旨につき) 舟御着所(印)→右村(大宝前新田)庄屋中	10月27日	縦継紙・1通	い 1531-29
乍恐奉願上候(杖伏替の節御用土切出の旨) *下書 神戸新田庄屋→児玉定一郎様御陣屋	未月	横切継紙・1通	い 1560-4
覚(樋・杖代銀受取書) 杖御作事方(印)→大宝新田庄屋	丑10月26日	小切継紙・1通	い 1564-11
(乗込杖伏替につき神戸新田経営の書付)		横切継紙・1通	い 1655-2-11
覚(神戸新田、調達金利足金送付等につき通知状 新田忠右衛門(印)→御地主様御勘定場)		横切継紙・1通	い 1655-12-7
(平島新田懸杖御見分入用借用願等につき書状) 綱蔵→後藤桑助様貴下用事御通式冊添	5月14日	横切継紙・1通	い 1658
乍恐御達奉申上候(神戸新田悪水落杖守忠兵衛の跡役を金七とする旨) *(端裏書)「辰年書付」/控 神戸新田地主犬山屋文左衛門印	辰7月	切紙/(い1843-3-1~2は紙縫一括)・1通	い 1843-3-1
(神戸悪水落杖守を申付ける旨書付) →海西郡神戸新田庄屋忠右衛門倅忠兵衛	午6月	切紙/(虫損甚大)・1通	い 1843-3-2
乍恐奉願上候(忠兵衛神戸新田悪水落杖守と庄屋役兼役致しかねるので悪水落杖守退役願書) 神戸新田地主元材木町犬山屋文左衛門印→児玉貞一郎様御陣屋	辰8月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1901
(金1兩余書付) →大寶前新田御普請方	申12月	縦切紙・1通	い 1941-2
覚(樋1ヶ所川上代銀7匁余受渡書) 杖御作事方(印)→大寶前新田庄屋	6月24日	縦継紙・1通	い 1941-3
覚(手伝御用代銀79匁余受渡書) 杖御作事方(印)→大寶前新田庄屋	6月4日	縦切紙・1通	い 1941-4
覚(杖伏用100文請取につき) 大坂屋半兵衛	戊正月21日	切紙・1通	い 1992-2

大宝前(神戸)新田/水利・防水ほか/収

覚(杖伏用金銭書上)		切紙・1通	い 1992-6
覚(杖披戸四本手伝同用銀受取書) 杖作事方(印)→大宝前新田庄屋	7月21日	縦継紙・1通	い 1997-16
乍恐奉願御事(大宝前新田用水杖の儀につき) 犬山屋分左衛門[印]→川方御奉行所	寅12月	縦継紙・1通	い 2035-3
証(本県指令にて神戸新田字内新田東ノ方悪水吐杖樋破損にて修繕費用金84円53銭3厘の内残金16円90銭7厘受取につき) 海東郡新蟹江村大字蟹江新田黒川完成代理伊藤正(印「正」)→神戸分左衛門殿	明治28年5月2日	青色罫紙/(12行)/(い1401-141~153は一綴)・1通	い 1401-141
証(愛知県指令にて神戸新田字内新田東ノ方悪水吐杖樋破損にて修繕費用金67円62銭6厘受取、残金は精検済の上受取につき) 海東郡新蟹江村大字蟹江新田請負人黒川完成(印)名古屋支南鍛冶元町証人伊藤正(印「正」)→神戸分左衛門殿	明治28年4月2日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1401-142
証(字内新田杖所西住60間処下端3人石積返し4坪分1坪に付1人掛り金80銭他×金9円64銭請取につき) 早川幸吉(印)・児玉源吉[印]・前田作右衛門(印「前田作右」)→神戸分左衛門殿	明治30年12月23日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-145
請負証(海西郡宝地村大字神戸新田字内新田西の方悪水仕杖樋破損にて修復、職工賃・運送賃請負契約につき) 海西郡宝地村大字宝地新田八番戸請負人櫛田為吉(印)・全郡十四山村大字西舘村九番戸保証人小林栄蔵(印)→杖樋関係村惣代神戸分左衛門殿	明治27年6月6日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-147
証(海西郡宝地村大字神戸新田字内新田東の方悪水杖樋破損修繕にて請負約定書上) 海東郡新蟹江村大字蟹江新田請負人黒川完成(印)・名古屋市南鍛冶屋町保証人伊藤正(印「正」)→神戸分左衛門殿	明治28年2月10日	青色罫紙/(12行)・1冊	い 1401-153
証(神戸新田東の方悪水吐杖樋伏換工事用の金775円の残金175円本日受取につき) 浅井富三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治31年3月8日	黒色罫紙/(8行)・1通	い 1401-154
証(神戸新田東の方杖樋伏換にて調達方契約775円につき約定) 右受負人浅井富三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治31年12月日	青色罫紙/(12行)・1冊	い 1401-155
契約証書(海西郡宝地村大字浮場新田の悪水、同村大字神戸新田用水路床下の伏越樋管よりの排水にて伏越管の傍らに立切樋門新役の為通船差し止めにつき)*雛形 海西郡宝地村大字浮場新田 番戸右契約本人氏名印・同郡同村全大字 番戸同上氏名印→海西郡宝地村大字神戸新田神戸分左衛門殿	明治36年月日	青色罫紙/(12行)・1冊	い 1401-157
証(神戸新田字内新田東の方悪水吐杖樋伏換工事に関する諸色条件書上) 海西郡十四山村大字四郎兵衛新田右受負人児玉源吉[印]・全郡宝地村大字神戸新田全早川幸吉(印)・全村全奥田数松(印)・全村廿七番戸保証人阿部亀三郎(印)・全村廿六番戸全阿部松太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治30年12月25日	青色罫紙/(10行)・1冊	い 1401-159
証(金150円神戸新田杖樋伏換工事受負金の内受取につき) 大工為吉代理浅井由治(印)→神戸分左衛門殿	明治31年2月19日	横切紙・1通	い 1403-68
記(金3円神戸新田杖樋伏換職工賃増金下げ渡し頂戴につき) 鳥ヶ地新田横田文吉(印)→神戸様	明治31年9月15日	横切紙・1通	い 1403-69
記(金15円杖樋益金領収につき) □とう店(印)→神戸分左衛門様	(明治)31年9月2日	横切紙・1通	い 1403-70
証(金300円神戸新田杖樋伏換用材並びに鍍物類悉皆金700円の内受取につき) 浅井由治(印)→神戸分左衛	明治31年2月19日	横切継紙・1通	い 1403-71

門殿			
証(金300円神戸新田杖樋伏換用材並びに鏡物類悉皆金700円の内受取につき) 浅井富三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治31年2月7日	横切継紙・1通	い 1403-72
(神戸新田周辺塚絵図)		28.2×38.7/(い1403-73~76は一綴)・1鋪	い 1403-73
堤			
海西郡大宝前新田(当午秋堤御普請につき早々出来すべき旨) 御国奉行代鈴木新蔵・同代田原藤右衛門・近松孫兵衛、(奥書)間宮甚五左衛門明代加藤与市・鈴木新蔵・田原藤右衛門→右(大宝前)新田庄屋	元文3年午8月	横切継紙/(い1422-1~3は一綴)・1通	い 1422-1
海西郡大宝前新田(当春海辺通堤御普請につき来4月25日迄に出来すべき旨) 御国奉行代河野猪左衛門・同代古川喜四郎・天野沢之右衛門、(奥書)天野沢之右衛門代永田九蔵・矢野藤兵衛・林丈右衛門→右村庄屋	寛保元年酉3月	横切継紙・1通	い 1422-2
海西郡大宝前新田(当戌夏堤通普請につき来月20日迄に出来すべき旨) * (端裏書)「御普請方」 富田八郎兵衛・田中藤助、(奥書)山田源右衛門・四宮甚平→右村庄屋	寛保2年戌5月	横切継紙・1通	い 1422-3
覚(堤銀引当金7両余他を御渡し下さるようお願い) 新田庄屋→御地主様御勘定場	天保10亥年12月朔日	切継紙・1通	い 1798
覚(堤銀引当・柳枯草引当他、16両2分余の旨) 新田庄屋→御地主様御勘定場		小切継紙・1通	い 1789-5
乍恐奉願孫宝中堤切れ所海用留入用金之事(市郷輪中御困孫宝中堤切れ所水留に付見分し人足下されるよう) 大宝前新田庄屋定助(印墨消)・四郎兵衛新田庄屋徳兵衛(印墨消)→御見分御奉行様	酉7月	縦継紙・1通	い 1450
乍恐奉願御事(大宝前新田堤破損所繕土芝場につき) * 下書/(端裏書)「午年芝場願書」 犬山屋分左衛門(印墨消)→野方御奉行所様	午9月10日	縦継紙・1通	い 1369
(大宝前新田堤築立につき入用金割合に金元が得心しない旨) * (端裏書)「扣 享保」	11月29日	縦継紙/(い1390-1に巻込)・1通	い 1390-2
神戸新田西ノ塚外内堰築方配布		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1393-4
乍恐奉願上候事(八嶋新田堤通開発すべて自普請の処、近年八嶋前新田堤通御手丈夫に普請成さるにて最早八嶋新田通の堤不用に相成りにて、右堤起し返し畑に仕り見取年貢米上納仕り度につき) * 下書 八嶋新田喜左衛門→山田貫一郎様御陣屋	丑5月	縦紙/(虫損甚大)・1通	い 1395-21
乍恐奉伺ひ申上候御事(当新田より上押萩村までの御堤通り御普請願申上にて二六形土持留土冥加として取り計らい申したく村々連印にて御願ひ申上につき) * 下書 庄屋總蔵印→山田貫一郎様御陣屋	辰4月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1395-25
覚(烏ヶ地古堤長700間、御為金50両年符7年畑年貢3斗ほか書上) * (端裏書)「ししミ烏かし古堤願之品」	卯正月	横切紙/(い1397-1~37は一綴)・1通	い 1397-1
覚(金15両3分ト1匁3分3厘飛嶋御堤去年9月風破再応御普請割当ほか金銭書上につき)		横切継紙・1通	い 1398-9
(包紙) * (包紙上書)「北側中堤普請事ニ付蜆弥兵衛引合之手紙共」		包紙/(い1604-1~3は包紙一括)・1点	い 1604-0

大宝前(神戸)新田/水利・防水ほか/堤

(中堤大宝前新田附になる証文を御写なさる旨書状) 小林佐左衛門→神戸文左衛門様	4月5日	横切継紙(桃色宿紙)・1通	い1604-1
(四郎兵衛中堤御見分方より御用につき其許様に御相談の旨書状) 東し、ミ村森戸弥兵衛→[]新田小川唯助様	3月27日	横切継紙(桃色宿紙)・1通	い1604-2
(引合の御配符表名主御願につき同心にて御上へ御願下さるよう書状) 森戸弥兵衛→小川唯助様	3月28日	横切継紙(桃色宿紙)・1通	い1604-3
(金3両3分と14匁7分6厘、木曾屋へ堤冥加普請金申年渡し分書付)		小切紙/(い1655-1-31に巻込)・1通	い1655-1-30
覚(古川内堤普請概代金算用状)		横切継紙(桃色宿紙)・1通	い1668-4
(新開堤用の間土代金書上)		小切継紙/(包紙共)・1通	い1680
(木曾川御堤通御冥加御普請関係一括)		一括/(い1711-1~14は紙縫一括)・1点	い1711
覚(銀1匁7分受取書) □□屋→忠右衛門殿	正月4日	切紙・1通	い1711-1
覚(3月18日新田木曾川通り堤御冥加普請人足代1両金銭書上)		横切継紙・1通	い1711-2
覚(米4升代金952文ほか受取書) 山た屋重兵衛→上	戌2月23日	横切紙・1通	い1711-3
覚(木曾川御堤通御冥加御普請の人足乗船など員数書上) 庄屋→御地頭様御勘定場	戌8月26日	横切継紙・1通	い1711-4
覚(郷藏人足33人半分代銀121匁9分4厘他、銀154匁2分8厘金銭書上) 筏場儀右衛門→神戸新田御庄屋中様	戌11月	横切継紙・1通	い1711-5
覚(9月1日2日庄兵衛1人9分の代銀4匁7分5厘他、銀230匁2分金銭書上) *朱筆後筆あり 佐官庄兵衛→忠右衛門様	戌10月	横切継紙・1通	い1711-6
覚(金2朱銭393文内427文差上書) 天満屋与左衛門(印)→忠右衛門様	戌10月26日	横切紙・1通	い1711-7
おほへ(酒1斗代金25匁受取書) 西川九郎右衛門酒店→上	戌10月29日	横切継紙・1通	い1711-8
覚(8月分入用引当内金2両他、金2両2分金銭書上) 庄屋忠右衛門(印)→御地頭様御勘定場	戌8月	横切継紙・1通	い1711-9
覚(10月25日太兵衛1人分銀2匁5分他、銀28匁6分2厘受取書) 佐官庄兵衛→忠右衛門様	戌12月	横切継紙・1通	い1711-10
覚(代金224文書上)		切継紙・1通	い1711-11
覚(64番杖代金1両2分他金銭書上)	戌4月	横切継紙・1通	い1711-12
おほへ(酒8升代金20匁受取書) 西川九郎右衛門酒店→上	戌12月1日	横切継紙・1通	い1711-13
覚(下為小検見並びに御代官様小検見入用引当内金3両1分他、金6両1分金銭書上) 庄屋忠右衛門(印)→御地頭様御勘定場	戌11月11日	切紙・1通	い1711-14
(7両の外55両拝借したき旨願いの書状) 上の町→神戸様	8日	横切継紙・1通	い1730
(佐屋より筏川鍋田川筋御困堤丈夫のため御普請御目論見一条ほか書状) 上の町→元材木町様	19日	横切紙・1通	い1731

戌霜月十日見分(代金坪割書付)		横長半(一ツ綴)/(い1864-4-1~5は紙縫一綴)・1冊	い 1864-4-1
(中除建設の際の仕様書並びに概算額4970両勘定書)		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1864-4-2
(中堤建設の際の仕様書並びに概算額4970両勘定書)		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1864-4-3
古用水返(新用水諸入用320両など書付)		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1864-4-4
納方田畑概(元金3350両10年賦返済計画書付)		横長半(一ツ綴)/(付紙あり)・1冊	い 1864-4-5
乍恐御願下ヶ奉差上候(只助倅綱藏庄屋見習役就任に対する駆込み訴願の願書を下げられるよう願書)*下書/い1876-3と同内容 神戸新田一、(奥書)右(神戸)新田庄屋重右衛門・組頭忠兵衛	亥7月	縦紙・1通	い 1876-4
乍恐奉願上候御事(古堤引概方の儀私へ仰せ付け下さるよう願書) 地主犬山屋文左衛門(印)→石川小兵衛様御陣屋	午8月	半(一ツ綴)/(虫損あり)・1冊	い 1877
覚(飛嶋山代金など請取書) 唯助	卯正月	小切紙・1通	い 1995-10
覚(とひ嶋山よし代など当年より上ヶ申旨書上) 武左衛門→唯助様	(近世)12月	縦紙・1通	い 1995-14
(中堤御普請所は東蜆弥兵衛頼み故一札取り渡した旨ほか書状)	4月23日	横切継紙(桃色宿紙)・1通	い 1608
(外の地主中が立合堤立てるよう善左衛門殿今一応頼みの旨書状) 同重右衛門→奥田兵治様	11月1日	縦継紙・1通	い 1615-30
(子宝堤・四郎左衛門堤の元井道・新井道絵図)* (包紙上書)「井筋絵図」		23.9×31.0・1鋪	い 1618
(堤防工事箇所図面)		24.5×34.5・1鋪	い 1462-2
(大宝前新田此度築立たき堤位置絵図)		30.2×43.8・1鋪	い 1466
(堤防修繕工事図)		19.5×28.1・1鋪	い 1484-5
不用堤敷地種組替願(神戸新田364番地道敷反歩3町6反4セ25歩何の誰堤敷目下不用にて)*下書 →県令宛	明治17年	青色罫紙/(10行)/(虫損あり)・1通	い 1403-93
不用堤敷地種組替素地之俵上申 *下書 →県令宛		青色罫紙/(10行)/(虫損あり)・1通	い 1403-94
不用堤敷開墾嶽下年季願 *下書 →県令宛	明治17年	青色罫紙/(10行)/(虫損あり)・1通	い 1403-95
開墾費用償却御調査		青色罫紙/(10行)/(虫損あり)・1通	い 1403-96
請取証(神戸新田宝川通堤防修繕工事請負金村費として金20両貴殿より請取につき) 大字神戸新田廿式番戸請負人小林豊四郎(印)・同番戸同奥田教松(印)・同式拾五番戸同阿部新吉(印)・同式拾七番戸同阿部亀三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治27年4月4日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1401-148
証(海西郡宝地村大字神戸新田幹流日光川の支宝川通字内新田より西堤防修繕工事契約のため請負にて約定書上) 海西郡十四山村大字四郎兵衛新田兎玉源	明治28年3月10日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1401-149

大宝前(神戸)新田/水利・防水ほか/堤

吉[印]・同郡宝地村大字神戸新田小林豊四郎(印)・同郡宝地村大字神戸新田児玉金七(印)→神戸分左衛門殿			
請取証(神戸新田幹流日光川の支宝川通字内新田より西堤防修繕工事請負金貴殿より金62円40銭請取につき) 海西郡十四山村大字四郎兵衛新田請負人児玉源吉[印]・同郡宝地村大字神戸新田全小林豊四郎(印)・同村保証人児玉金七(印)→神戸分左衛門殿	明治28年4月20日	青色罫紙/(12行)・1通	い 1401-150
請取証(神戸新田幹流日光川の支宝川通字内新田より西堤防修繕工事請負金156円の内残金78円請取につき) 海西郡十四山村大字四郎兵衛新田右工事請負人児玉源吉[印]・同郡宝地村大字神戸新田全小林豊四郎(印)・同村保証人児玉金七(印)→神戸分左衛門殿	明治28年4月27日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-151
証(愛知県庁より大字神戸新田宝川通り堤防内外欠処修繕工事指令にて契約につき条目書上) 海西郡宝地村大字神戸新田三番戸平民右請負人早川幸吉(印)・全郡十四山村大字四郎兵衛新田四拾番戸平民全上児玉源吉[印]・全郡宝地村大字神戸新田式拾六番戸平民右保証人阿部松太郎(印)・全郡全村全新田三拾四番戸平民全上早川八朗右衛門(印)→神戸分左衛門殿	明治30年6月20日	青色罫紙/(12行)・1冊	い 1401-143
証(神戸新田堤防工事請負金村費として金51円58銭受取につき) 早川幸吉(印)・児玉源吉[印]・前田作右衛門(印「前田作エ」)→神戸分左衛門殿	明治30年12月23日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-144
証(海西郡宝地村大字神戸新田宝川通堤防修繕工事にて契約条目書上) 海西郡宝地村大字神戸新田字内新田東の方杖樋破損にて修繕受負の証共 海西郡宝地村大字神戸新田四番戸工事請負人奥田和太郎(印)・全郡全村全大字廿式番戸小林豊四郎(印)・全郡全村全大字廿七番戸阿部亀之助(印)・全郡全村全大字廿六番戸阿部新吉(印)→神戸分左衛門殿	明治27年3月4日	青色罫紙/(12行)・1冊	い 1401-152
人造石堤工事請負証(海西郡宝地村大字鳥ヶ地新田小具足神戸新田要水路除ヶ堤防人造石堤54間2尺請負費金233円6銭3厘にて人家の倒壊する大震災にて滅失の分明治37年より20ヶ年担保につき) 海西郡十四山村大字四郎兵衛新田參拾四番戸伊藤清太郎(印)・同郡同村大字東舘村保証人渡辺政衛[印]→神戸分左衛門殿	明治37年3月	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-162
請取証(明治37年3月請負人造石堤工事金233円6銭2厘の内金200円請取につき) 海西郡十四山村大字四郎兵衛新田三十四番戸伊藤清太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治37年6月17日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-160
請取証(明治33年3月人造石堤工事請負証書の金の内残金33円6銭3厘請取につき) 海西郡十四山村大字四郎兵衛新田三拾四番戸伊藤清太郎(印)→神戸分左衛門殿	明治37年8月23日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-161
記(六之割堤防工事設計につき御酒料金2円拝収書) 早川忠兵衛→天竺様・神戸様	(明治)37年9月20日	切紙・1通	い 1639-5-3
請取証(孫衛橋立切・橋台山下立切水留請負工事金15円請取につき) 海西郡宝地村大字神戸新田早川幸太郎(印)→神戸分左衛門殿御支配人服部由治殿	明治37年12月27日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1401-163
修繕工事設計書(海西郡宝地村大字神戸新田堤防工事につき) * (端書)「三十八年度」		「神戸氏蔵」用箋/(11行)/(い1462-1~2は一綴)・1通	い 1462-1
堤防修繕工事施行願(十四山村神戸新田字北新田東の切孫右衛門橋北堤防外法築工事、此工費金355円28銭2厘工事につき) * 下書 神戸分左衛門→十四山村長浅野常様	明治39年12月13日	「海南郡十四山役場」用箋/(い1403-1~134は一綴)/(12行)・1通	い 1403-1

工事設計書(海西郡十四山村大字神戸新田宝川通り堤防修繕第1号工事既成分)		黒色罫紙/(13行)・1通	い 1484-6-1
工事設計書(海西郡十四山村大字神戸新田寶川通り第2号堤防護岸修繕工事)		黒色罫紙/(13行)・1通	い 1484-6-2
工事設計書(海西郡十四山村大字神戸新田地内宝川通り第3・5・7号分堤防護岸修繕工事)		黒色罫紙/(13行)・1通	い 1484-6-3
工事設計書(海西郡十四山村大字神戸新田前宝川通り第4・6・8・9号分堤防護岸修繕工事)		黒色罫紙/(13行)・1通	い 1484-7

組合村

覚(分左衛門分年貢米代金1両余受取書) 東福田(村) 弥六(印)・鳥ヶ地(村)平蔵→名古屋分左衛門	宝永5年子極月	横切紙/(い 1982-1~10は一綴)・1通	い 1982-1
覚(名古屋分左衛門分野方年貢米102石受取書) 東福田(村) 弥六(印)・鳥ヶ地(村)平蔵→名古屋分左衛門	宝永5年子極月	横切紙・1通	い 1982-3
覚(大宝新田野方年貢米102石余割付状) 東福田(村) 弥六(印)・鳥ヶ地(村)平蔵→名古屋分左衛門	宝永5年子極月	横切紙・1通	い 1982-4
覚(大宝前新田野方年貢米等ノ97石余割付状) (東福田村) 弥六・(鳥ヶ地村)平蔵[印]→分左衛門殿	宝永6年丑極月	横切紙・1通	い 1982-5
覚(鳥ヶ地前枵場野方年貢米8斗余割付状) (東福田村) 佐次兵衛・(鳥ヶ地村)平蔵[印]	宝永6丑12月	横切紙・1通	い 1982-6
覚(大宝前新田野方年貢米1斗余割付状) (東福田村) 弥六・(鳥ヶ地村)平蔵[印]→分左衛門殿	(宝永6)丑ノ極月	横切紙・1通	い 1982-7
請取申野方御年貢米之事(大宝前新田野方年貢米代銀11匁余受取書) (東福田村) 弥六・(鳥ヶ地村)平蔵[印]→分左衛門殿	宝永6丑ノ極月	横切紙・1通	い 1982-8
請取申野方御年貢金之事(大宝新田野方年貢金78兩余受取書) 東福田村 佐次兵衛・鳥ヶ地村平蔵[印]→分左衛門殿	寅之12月	横切紙・1通	い 1981-9
覚(大宝新田野方年貢71石余請求書) 東福田村 佐次兵衛・鳥ヶ地村平蔵→分左衛門殿	寅之12月	横切紙・1通	い 1981-10
覚(大宝前新田野方年貢米97石受取書) (東福田村) 弥六・(鳥ヶ地村)平蔵[印]→分左衛門殿	宝永6年丑極月	横切紙・1通	い 1982-9
覚(大宝前新田野方年貢米67石余書上) 東福田村 佐次兵衛・鳥ヶ地村平蔵[印]→分左衛門殿	宝永7年寅12月	横切紙・1通	い 1982-10
覚(大宝前新田・鍋蓋山・飛嶋山諸事入用金2分余受取書) 鳥ヶ地村平蔵(印)→分左衛門殿へ	正徳元年12月日	横切紙/(い 1983-1~8は一綴)・1通	い 1983-1
請取申野方御年貢金之事(野方年貢米代金86兩余受取書) 東福田村 佐次兵衛・鳥ヶ地村平蔵(印)→分左衛門殿へ	正徳元年12月	横切紙・1通	い 1983-3
覚(大宝前新田・鍋蓋山・飛嶋山野方年貢米67石余割付状) 東福田村 佐次兵衛・鳥ヶ地村平蔵(印)→大宝前新田分左衛門殿	正徳元年11月	横切紙・1通	い 1983-5
覚(大宝前新田野方年貢米67石余割付状並びに請取申野方御年貢金之事年貢受取書共) (東福田村) 佐次兵衛・(鳥ヶ地村)平蔵(印)→分左衛門殿	正徳2年極月	横切紙・1通	い 1984-4
覚(大宝前新田・鍋蓋山・飛嶋山野方年貢米67石余割	正徳3年巳ノ極月	横切紙・1通	い 1985-4

大宝前(神戸)新田/水利・防水ほか/組合村

付状) (東福田村)佐次兵衛・(鳥ヶ地村)平蔵(印)→分左衛門殿			
覚(大宝前新田・鍋蓋山・飛嶋山諸事入用金2分余割付状)	(正徳元年)卯12月	横切紙・1通	い 1983-2
請取申井領米之事(代金2分余受取書) 子宝村平左衛門(印)→大宝前新田只助殿	(正徳元年)卯12月21日	堅切紙・1通	い 1983-6
覚(井領米代金7両余受取書) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→犬山屋分左衛門殿	(正徳元年)卯12月20日	堅切紙・1通	い 1983-7
覚(井領米等6斗余受取書) 子宝村平左衛門→大宝前新田只助殿	(正徳2年)辰ノ11月21日	横切紙継紙/(い1984-1~8は一綴)・1通	い 1984-1
覚(井領米等7石余受取書) 鳥ヶ地新田才兵衛(印)→大宝前新田只助殿	(正徳2年)辰極月16日	横切紙継紙・1通	い 1984-2
丑之年用水井領年貢米之覚(年貢米7石余受取書) 大宝新田庄兵衛→犬山屋分左衛門殿	(正徳2年)辰極月	横切紙継紙・1通	い 1984-5
覚(分左衛門新田分代金7両余書付)		横切紙/(い1985-1~11は一綴)・1通	い 1985-1
覚(井領米7石余受取書) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→大宝前新田只助殿	(正徳3年)巳12月24日	横切紙・1通	い 1985-2
鳥ヶ地井領米覚(井領米7石余勘定書付)	(正徳3年)巳12月21日	横切紙・1通	い 1985-3
請取申野方御年貢米之事(年貢米71石余受取書) (東福田村)佐次兵衛・(鳥ヶ地村)平蔵(印)→分左衛門殿	正徳3年巳ノ極月	横切紙・1通	い 1985-5
覚(新田入用金ノ2貫623文金銭書上) (鳥ヶ地村)平蔵→唯助殿へ	(正徳3年)巳ノ極月19日	切紙・1通	い 1985-6
巳之年用水井道御年貢之覚(禿地取米差引勘定、受取相済につき) 大宝新田庄兵衛(印)→犬山屋文左衛門殿	(正徳3年)巳ノ極月29日	横切紙継紙・1通	い 1985-7
覚(御年貢米等ノ6斗余勘定書上) 藤蔵(印)→唯助様	(正徳3年)巳12月	堅切紙・1通	い 1985-9
請取申井領米之事(井領米5斗余受取書) 子宝村平左衛門(印)→犬山屋新田只助殿	正徳3年巳ノ12月	堅切紙・1通	い 1985-8
辰巳笈場井桁普請入用 大宝新田次兵衛(印)→(大宝)前新田唯助	正徳3年	横長半(一ツ綴)・1冊	い 2014
覚(野方御年貢米として大宝前新田米64石余・鍋蓋山飛嶋山米1斗余皆納書) 佐次兵衛・平蔵(印)→分左衛門殿	正徳4年午ノ12月	切紙/(い1986-1~8は一綴)・1通	い 1986-1
請取申野方御年貢米之事(大宝前新田米ノ68石7斗余の内から居米御蔵入を引き2石7斗余請取書) 佐次兵衛・平蔵(印)→分左衛門殿	正徳4年午ノ12月	切紙継紙・1通	い 1986-2
覚(当午年井領米高10石1斗8合の書付) 鳥ヶ地村才兵衛→大宝前新田只助殿	午11月12日	切紙・1通	い 1986-4
井領米之覚(合7石6斗余受取皆済書) 大宝新田庄屋孫八(印)→犬山屋分左衛門殿	午12月	横切紙継紙・1通	い 1986-5
①覚(当午年井領米7石4斗余受取書)、②覚(井領米1斗4合受取書)、③覚(鳥ヶ地井領米惣合7石6斗余の書付) ①鳥ヶ地村才兵衛(印)→大宝前新田只助殿、②才兵衛→只助殿	①午12月27日、②午極月21日、③午12月	横切紙継紙・1通	い 1986-6
①覚(孫宝彦宝両所井領米として59升8合受取書)、②覚(子宝井領米合6斗1升余の書付) ①子宝村平左衛	①正徳4年11月17日、②午12月	切紙継紙・1通	い 1986-7

門(印)→大宝新田唯助殿			
覚(先鴨代金受取書) 鳥ヶ地分六→神戸新田唯助殿	(享保2)酉2月	小切紙・1通	い 1987-9
覚(入用銭受取書) 鳥ヶ地平蔵(印)→大宝新田唯助殿	(享保2)酉12月7日	小切紙・1通	い 1987-31
覚(井領米受取書) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→大宝前新田只助殿	(享保2)酉12月17日	小切継紙・1通	い 1987-33
井領米之覚(井桁充地年貢など受取書) 大宝前新田孫八郎(印)・同源右衛門(印)→(大宝)前新田唯助殿	(享保2)酉12月28日	横切継紙・1通	い 1987-34
村々了簡米(子宝新田・蟹江・本部田など分勘定書)	(享保2)酉12月	横切紙・1通	い 1987-35
請取申井領米之事(孫彦用水井領米請取書) 子宝新田平左衛門(印)→大宝前新田唯助殿	享保2年酉ノ12月20日	縦継紙・1通	い 1987-53
請取申井領米之事(6斗6合2夕請取につき) 子寶村平左衛門(印)→大寶前新田唯助殿	享保4年亥11月	切紙/(い 1989-1~20は一綴)・1通	い 1989-1
坪違村々了簡米(1斗大宝分左衛門他7ヶ村人名分メ1石5斗9升3合4夕)	亥11月21日	横切継紙・1通	い 1989-2
井領米(金11両3分3匁4分8厘請取、この米6石5斗8升3合の内2石納め、残り4石5斗8升3合) 大宝新田庄屋(印)	亥12月	横切継紙・1通	い 1989-3
覚(銀30匁2分請取につき) 鈴木新藏(印)・小林佐左衛門(印)→舘前新田庄屋中	享保17子12月3日	横切紙・1通	い 1400-61
覚(大宝前新田分当子歳野方御年貢米代請取につき) 東福田新田佐次兵衛(印)	享保17子12月15日	横切紙・1通	い 1400-69
請取申井領米之事(米6石2斗9升8合受取につき) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左衛門新田唯助殿	享保17年子ノ極月17日	堅切紙・1通	い 1406-2
井領(当子年井領米10石1斗8合につき) 鳥かし村才兵衛(印)→分左衛門新田唯介殿	壬子極月	縦継紙・1通	い 1406-3
請取申野方御年貢米之事(酉年分、大宝前新田・鍋蓋新田・飛嶋山等より) 佐庄兵衛・平蔵(印)→唯助殿	(享保2年)酉ノ12月	横切継紙・1通	い 1987-29
覚(大宝前新田当亥野方御年貢米64石4斗6升5合、来る21日・22日両日中に上納すべき旨) 平蔵(印)	享保4亥極月	横切継紙・1通	い 1989-8
覚(当亥野方御年貢米代金銀メ4両3分26匁8分1厘請取につき) 平蔵(印)→唯助殿	享保4亥極月	横切継紙・1通	い 1989-10
覚(大宝前新田年貢高書上並びに錢1貫315文請取共) 佐次兵衛・平蔵(印)→唯介殿	13年申極月	横切継紙・1通	い 1991-6
覚(当戌の年野方御年貢米メ38石3斗8合を上納すべきの旨) 東福田新田佐次兵衛(印)	15年戌12月	切紙・1通	い 1992-7
覚(当戌の年野方御年貢米40石6斗6合5勺請取につき) 東福田新田佐次兵衛(印)	15年戌12月15日	横切紙・1通	い 1992-10
覚(大宝前新田野方年貢米代として請取書) 東福田新田佐治兵衛(印)→唯助殿	享保16年亥12月13日	横切紙・1通	い 1993-3
覚(大宝新田当寅年野方年貢米代請取書) 福田新田佐次兵衛(印)	享保19寅12月	横切継紙・1通	い 1995-5
(包紙) * (包紙上書)「子宝井領之事 式通」		包紙・1点	い 1594-0
覚(大宝前新田用水杖伏替につき新禿地井領米を子宝新田庄屋へ渡すべき旨) * 下書	年号戌月日	切紙・1通	い 1594-1

大宝前(神戸)新田/水利・防水ほか/組合村

覚(大宝前新田用水井道堀足につき禿地井領米を子宝新田庄屋へ渡すべき旨) 御国奉行代林丈右衛門・加藤仲右衛門・比木傳六→大宝前新田地主分左衛門殿	寛保2年戊正月	横切紙・1通	い1594-2
覚(用水杖伏替につき禿地田方井領米を極めた加判証文) * (端裏書)「井領米平左衛門と取為替証文文言」/下書	寛保2年戊正月	縦継紙/(い1594-3-1~2は巻込一括)・1通	い1594-3-1
覚(用水杖伏替につき禿地田方井領米を極めた加判証文) * 下書		縦継紙・1通	い1594-3-2
(大宝前新田杖先禿地井領証文を渡すべき旨通知) 杖方役所→犬山屋文左衛門殿	11月28日	横切継紙・1通	い1594-4
子宝井桁(酉年新井道禿・先年禿合4反2畝16歩の書上) * 子宝新田新井道ほか絵図を綴込	戊10月16日改	横長半(一ツ綴)・1冊	い1594-5
覚(子宝新田庄屋平左衛門・大宝前新田庄屋定助立合い新禿地改の旨) * 下書 子宝新田平左衛門老人・大宝前新田定助・重右衛門・金七	寛保2年戊9月24日	折紙・1通	い1594-6
覚(新規井領米取り決め証文) 子宝新田頭百姓多丸・同村庄屋惣左衛門→大宝前新田定助殿	寛保2年戊正月	縦継紙・1通	い1946
井領米之事(メ6石8斗7升余差越の事) 亀ヶ地新田庄屋三右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	延享元年子極月	縦継紙・1通	い1652-3-4
覚(替地あぜ敷地分の米書上)	子12月	横切継紙・1通	い1652-3-5
(井領米受け取り並びに残り分送付につき書状) 吉田貞八→小川繁右衛門様	12月14日	横切継紙・1通	い1652-3-6
覚(御居米代金書付)	子8月6日	横切紙・1通	い1652-3-7
了簡米覚(鳥ヶ地・亀ヶ地新田小作人へ支給米の覚書)	子12月	横切紙・1通	い1652-3-8
請取申井領米之事 鳥ヶ地新田才兵衛(印)→分左衛門新田唯助殿	癸丑極月19日	小切紙・1通	い1994-4
丑年井領米(当丑年井領米代金指越べき旨書状) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左右衛門新田唯助殿	享保18年丑極月	切継紙・1通	い1994-8
覚(当寅年井領米代金請取書) 鳥ヶ地新田才兵衛→文左衛門新田唯助殿	甲寅極月21日	小切継紙・1通	い1995-12
覚(子宝井領米高書付)	辰12月	小切継紙・1通	い1997-5
井領米之事(井領米10石余割付状) 鳥ヶ地新田庄屋三右衛門(印)→大宝前新田定助殿	寛延元年辰12月	縦紙・1通	い1998-19
覚(大宝前新田当辰年野方年貢米代受取書)	寛延元年辰12月16日	横切紙・1通	い1997-8
覚(子宝村井領米8斗余受取書) 定助	(寛延2年)巳12月	縦切紙・1通	い1999-7
覚(新用水井領米2石余受取書) 鳥ヶ地新田三右衛門→大宝前新田定助殿	(寛延2年)巳12月20日	小切紙・1通	い1999-8
覚(井領米6石余請求書) 鳥ヶ地村庄屋三右衛門(印)→大宝前新田定助殿	寛延2年巳12月	縦切紙・1通	い1999-10
畝引違之覚(蜷・竹田・蟹江等5ヵ村が関係)	(寛延2年)巳12月	横長半(一ツ綴)・1冊	い1999-11
覚(新用水入用金5兩余受取書) 鳥ヶ地新田三右衛門(印)→大宝前新田定助殿	(寛延2年)巳極月22日	縦切紙・1通	い1999-12
井領米之事(当寅年井領米10石1斗8合につき) 鳥ヶ	延享3年寅12月	縦継紙・1通	い1406-4

地村新田庄屋三右衛門(印)→大宝前新田定助殿			
覚(亀ヶ地井領米指引につき石高書上)		切紙・1通	い 1418-3
覚(当酉年井領米の内納米2石5斗につき) 平嶋川口服部彦四郎→大宝前新田御庄屋衆中	宝暦3酉12月18日	横切継紙・1通	い 1418-4
覚(新用水井領米納3斗8升9合受取につき) 鳥ヶ地新田三右衛門→大宝前新田唯助殿	酉12月	切紙・1通	い 1418-5
子宝(井領米8斗7夕につき)	酉12月	切紙・1通	い 1418-6
井領米之事(当酉年井領米高10石1斗8合につき) 鳥ヶ地新田三右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	宝暦3年酉極月	切継紙・1通	い 1418-7
覚(当戌年井領米10石1斗8合につき) 鳥ヶ地新田庄屋三右衛門(印)→大宝前新田唯助殿	戌12月	堅紙・1通	い 1418-8
井領米之事(当亥年井領米7石4升9合につき) 鳥ヶ地新田庄屋直蔵(印)→大宝前新田庄屋只助殿	享和3亥年12月	堅紙/(い1406-1~4は巻込一括)・1通	い 1406-1
一札(神戸外新田先年譲渡するも千村兵右衛門様御家来に召し抱えられたため拙者新田諸事世話役引き請けにつき約定書) 新田預り主神戸弥左衛門(印)・証人神戸昌吾(印)→加藤作右衛門殿	弘化2年巳10月	堅紙・1通	い 1872
井領米之事(神戸新田より鳥ヶ地新田へ送付依頼状) 亀ヶ地新田庄屋松吉三右衛門(印)→神戸新田庄屋忠右衛門殿	弘化3年午12月	堅紙・1通	い 1560-27
忠治裏伏越伏扶替入用帳 鳥ヶ地新田庄屋所(印)→神戸新田御庄屋衆中	嘉永2年酉2月	横長半(一ツ綴)・1冊	い 2013
覚(新田井領米7斗9升6合請求書) 鳥ヶ地新田庄屋所→神戸新田御庄屋衆中	辰正月5日	切紙(灰色宿紙)/(い1873-1~7は一綴)・1通	い 1873-1
覚(当卯井領米6斗受取書) 平嶋新田庄屋(印)→神戸新田御庄屋衆中	安政2年卯12月	切紙(黄色宿紙)・1通	い 1873-2
覚(当卯年井領米6石7斗4升2合受取書) 宮崎十郎治(印)→神戸新田御庄屋衆中	卯12月28日	切紙・1通	い 1873-3
覚(当亥井領米1石7斗7勺受取書) 子宝新田庄屋源蔵(印)→大宝前新田御庄屋衆中	亥12月	切継紙・1通	い 1873-4
覚(当卯年井領米9斗1升5合受取書) 六条新田橋四郎(印)→神戸新田御庄屋衆中	卯12月	堅切紙・1通	い 1873-5
覚(当村井領米7石4升9合受取書) 鳥ヶ地新田庄屋松吉直蔵(印)→大宝前新田庄屋小川只助殿	亥12月25日	堅切紙/(汚損あり)・1通	い 1873-6
覚(金2両ト77文葭山・芝場御用の路用として鳥ヶ地村平蔵払他4ヶ村諸入用書上) 庄兵衛	子12月26日	横切継紙・1通	い 1396-11
覚(入札の事並びに運上金につき) 東蜆孫兵衛(印)→神戸川御村方	子4月8日	堅紙/(裏打ちあり)/(虫損あり)・1通	い 1396-15
覚(亥12月5匁2分増田酒2升遣ス分ほか当子年立合用水入用金差し越し下さるべきにつき) 鳥ヶ地新田庄屋松吉三右衛門[印]→神戸新田御庄屋衆中	子12月	横切継紙・1通	い 1402-225
覚(新用水入用金2両余受取につき) 鯨ヶ地伝七郎・鳥ヶ地三右衛門・前新田藤左衛門→大宝前新田唯助殿	酉12月20日	堅切紙・1通	い 1411-3

大宝前(神戸)新田/水利・防水ほか/組合村

覚(諸白4升代受取書) 鳥ヶ地茂右衛門→神戸四郎右衛門様	3月13日	小切紙/(い1508-1~5は一綴)・1通	い1508-1
覚(木代書付) 鳥ヶ地も右衛門	3月14日	小切紙・1通	い1508-2
覚(割木代書付) 鳥ヶ地茂右衛門→神戸四郎右衛門様	3月13日	小切紙・1通	い1508-3
覚(諸白4升代書付) 鳥ヶ地茂右衛門→神戸四郎右衛門様	3月13日	小切紙・1通	い1508-4
覚(金1分勘定書) 鳥ヶ地も右衛門	3月14日	小切紙・1通	い1508-5
覚(井領米請取書) 子宝新田庄屋	寅12月5日	縦継紙・1通	い1531-2
入用金之覚(鳥ヶ地入用立合、井組入用割合、佐屋宿飯米引当など)		横切紙・1通	い1559-9
(神戸新田分金銭書付)		札・1点	い1561-4
覚(鳥ヶ地・前ヶ須・神戸ほか新田別金銭書上)		横折紙・1通	い1561-5
(井領米証文下書を一覧して送るよう書状) 田原藤右衛門→神戸分左衛門様	11月12日	横切継紙・1通	い1595
覚(井組入用金引当金4両借用書) 新田忠兵衛→御地主様御勘定場	3月	切継紙/(い1597-2-6-4~8は紙繕一括)・1通	い1597-2-6-4
覚(大宝新田新禿地井領米を子宝新田庄屋へ渡すべき旨) *下書	年号月日	切紙・1通	い1598
大宝前新田芝場(なへふた山・飛嶋山明細書) *い1505-5とほぼ同内容 (山方庄や東福田孫六・鳥ヶ地平蔵)	(亥11月2日)	横切継紙・1通	い1505-4
大宝前新田芝場(なへふた山・飛嶋山明細書) *い1505-4とほぼ同内容 (山方庄屋東福田孫六・鳥ヶ地平蔵)→(甚右衛門・次右衛門・甚助)	(亥11月2日)	折紙・1通	い1505-5
新田渡金之覚(平嶋への替金・米検送り金ほか渡金金額書上)		横切継紙/(い1653-7~10を巻込)・1通	い1653-6
六月廿八日新田渡金(平島用水ほか渡金金額書上)	6月28日	横切紙・1通	い1653-7
覚(平嶋用水入用借用証文)	亥正月29日	小切継紙・1通	い1653-10
覚(平嶋用水井組割当・鳥ヶ地立合用水入用割合等5口分勘定書)		小切紙・1通	い1655-2-25
(新田平嶋井組当番入用金他ノ14両3分の書上)	正月~6月	切紙/(い1769-1-2-1はい1769-1-2-2~4を巻込)・1通	い1769-1-2-1
覚(鳥ヶ地立合用水入用引当・用水井組割入用引当金他ノ11両1分の旨) 新田忠兵衛	寅12月	小切紙・1通	い1789-4
覚(丑年子宝新田井領米7斗9舂8合の旨)	丑12月	切継紙・1通	い1823
(袋) *(袋上書)「鳥ヶ地より参り候小手形式通入」		袋/(い1879-1~2は袋一括)・1点	い1879-0
立合入用覚(普請の際の立合など諸入用神戸分1両5匁2分6厘請求書) 鳥ヶ地新田庄屋松吉三右衛門→大宝前新田庄屋唯助殿	未6月4日	折紙・1通	い1879-1
立合政七下水門鳥ヶ地取替覚(伏換水筒など諸入用神戸分1両6匁2分10厘請求書) 鳥ヶ地新田庄屋松吉	未6月10日	折紙・1通	い1879-2

三右衛門→大室前新田唯助殿			
(新規井領米取り決めにつき願書並びに子宝新田井領米証文) * (端裏書)「寛保元西十二月廿二日久保政太殿へ口上書添 持夫 置久」/写 犬山屋分左衛門	12月	横切継紙・1通	い 1973
覚(年貢米4石余など押萩・竹田村・東蜷の者へ受渡指示書) 弥六・平蔵	子之極月11日	横切紙・1通	い 1981-12
覚(鍋蓋新田年貢金6両余受取書) 押萩村清兵衛(印)→分左衛門殿	12月15日	横切紙・1通	い 1981-17
覚(四分米代金1両余受取書) 東蜷村次郎兵衛(印)→唯助殿	丑12月18日	堅切紙・1通	い 1981-29
覚(年貢米代金等1両余受取書) 東蜷村次郎兵衛(印)→分左衛門様御内源助様	子12月15日	堅紙・1通	い 1981-30
覚(井領高米7石5斗8升1合当村清三郎方より請取につき) 鳥ヶ地村庄や才兵衛(印)→大室前新田只助殿	亥12月20日	堅継紙・1通	い 1989-18
請取申井領米之事(5石8斗3升2合の井領米請取につき) 鳥ヶ地村庄屋才兵衛(印)→分左衛門新田唯助殿	丁未12月	切紙・1通	い 1990-13
覚(5石5斗2升9合井領米高書上) 鳥ヶ地村才兵衛→分左衛門新田只助殿	申12月15日	切継紙・1通	い 1991-4
覚(当中年井領米5石5斗2升9合請取につき) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左衛門新田只助殿	戊申極月21日	切紙・1通	い 1991-8
覚(当村其村立合用水筋敷出御伏替諸入用、3両と2貫116文払う旨) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左衛門新田只助殿	戌6月晦日	堅紙・1通	い 1992-18
請取申井領米之事(当戌年井領米分、納米6石4斗1升9合請取の旨) 鳥ヶ地村才兵衛(印)→分左衛門新田唯助殿	戌12月	切継紙・1通	い 1992-23
井領(当亥年井領米代金差越べく旨書状) * 追加加へ米代金等書上の貼り紙有 鳥ヶ地村才兵衛→分左衛門新田唯助殿	辛亥極月	小切継紙・1通	い 1993-11
覚(鳥ヶ地前・神戸等10ヵ村分の合計金142両の書上)		切紙・1通	い 2001-6
覚(割符銀192匁3分6厘、定例の通り差越し下さるべき旨) 鳥ヶ地新田庄屋所→神戸新田御庄屋御衆中	卯12月	横切継紙・1通	い 2001-11
口上之覚(御手前新田伏せ越塚を下へ付申につき) 西蜷村彦八郎・唐白村直右衛門→犬山屋分左衛門殿	寅12月	堅紙・1通	い 2035-2
覚(鳥ヶ池用水杖書上) * 写 鳥ヶ池新田才兵衛・大室前新田次右衛門		折紙・1通	い 2035-5
新用水入目割(金1両余につき金銭書付) 鳥ヶ地三右衛門→神戸定助様	申極月	切紙/(い1941-1~4は一綴)・1通	い 1941-1
覚(当村井領米7斗9升6合受取書) 鳥ヶ地新田庄屋直藏(印)→大室前新田御庄屋中	亥12月	堅切紙・1通	い 1873-7
乍恐御請書奉差上候御事(佐屋川御普請請書) 海東・海西中山より五ヶ村輪中庄屋連中→小山清次郎様御陣屋	子8月	堅半半折・2葉	い 2068-2
乍恐奉願上候御事(佐屋川御普請御届けの通り致すべきとの願書)	子8月	堅半半折・2葉	い 2068-3
(神戸悪水組合議員選挙につき書状) 海西郡宝地村佐野新蔵拜→名古屋市木挽町式丁目神戸分左衛門様	(明治)25年6月3日	ハガキ・1通	い 1399-56

大宝前(神戸)新田/水利・防水ほか/組合村

記(金39円57銭3厘38年度用水井組費領収につき) 右 用水当番大谷弥十郎(印)→神戸文左衛門殿	明治39年1月17日	横切紙・1通	い 1399-37
(朱書)「孫発第40号」(孫宝排水御借地契約書につき 照会并契約書案文) 孫宝悪水普通水利組合管理海西郡 長朝交[印「愛知縣海西郡長之印」]→神戸分左衛門殿	明治39年4月7日	「普通水利組合」用箋/(13 行)・1冊	い 1399-90
覚(他村より懸ヶ通しの用水井道禿地井領米他9件に つき)	3月	横切継紙・1通	い 1362
土地借用証書(海西郡宝地村大字神戸新田の原野を 排水機械設置のため別紙図面の通り借用) 海西郡 孫宝普通水利組合会管理海西郡長→神戸分左衛門殿		「神戸氏蔵」用 箋/(11行)・1綴	い 1482-2
(借用地の図面)		24.9×33.1・1鋪	い 1482-3

その他

(大宝前新田御上橋・水門ほか絵図)	天保5年午6月	40.9×74.2(彩色) ・1鋪	い 1280
(3石9斗4升7合ほか神戸新田普請場取米畝数計算書)		横切継紙・1通	い 1655-1-19
(稲荷新田地先の筏川添での葎刈り取り、「才土」切り 取りにつき心得書)	丑正月4日	縦紙・1葉	い 2068-8

公儀との関係

検地帳

御検地之節御入用紙(直紙・半紙・半切枚数など書上)		縦切紙/(い 1510-1~6は一 綴)・1通	い 1510-1
(水帳之事など書上)		横切継紙・1通	い 1510-2
(大宝前新田へ罷越の人名報知につき用状)	2月11日	横切紙/(い 1511-1~6は一 綴)・1通	い 1511-1
(大宝前新田・鍋蓋新田検地の地方目付の儀につき書 状) * (端裏書)「メ」	2月9日	横切継紙・1通	い 1511-2
(神戸新田検地改の節、砂子村栗木筑後へ宜しき地附 勘弁下されたきにつき書状) * (端裏書)「神戸分左衛 門様 長谷川甚左衛門」 長谷川甚左衛門→神戸分左衛門様	2月17日	横切継紙・1通	い 1511-3
(絵図面一覧につき書状)		横切継紙・1通	い 1511-4
(宮田村杖伏替のため日限など知らせ難きにつき書 状) 大塚常右衛門→神分左衛門様	6月12日	縦紙・1通	い 1511-5
(大宝前新田・鍋蓋新田検地役人書上)		縦紙・1通	い 1511-6

庄屋役

乍恐口上之覚(海西郡大宝前新田庄屋病死にて跡庄 屋申付迄組頭重右衛門へ諸事相勤める様達書) * (端裏書)「廿二日達シ済」 右(大宝前新田)新田地主犬山屋 文(左衛門)(欠損)→尾崎友次郎様	子7月	縦継紙/(下部 欠損)・1通	い 1395-11
乍恐奉願上候(海西郡神戸新田唯助庄屋役相勤める も老年病身にて御役御免願ひ、同人忝市蔵唯助と 改名役儀相続願上につき) 犬山屋文左衛門(印)→岡	亥9月	縦紙/(虫損あ り)・1通	い 1395-20

大宝前(神戸)新田/公儀との関係/庄屋役

勝右衛門様御陣屋			
一札(東蜆村磐太郎家督分け讓一家中納得につき) 磐太郎伯父東蜆村紋四郎・同人父伯母聳西福田村源六・同断 西福田村八兵衛・同断子宝村彦右衛門・東蜆村伝重郎・竹田 村庄右衛門・蟹江村新助、(奥書)東蜆村庄屋弥兵衛→大宝前 新田定助殿		豎継紙/(い 1417-1~9はク リップ一綴)/ (い1417-1は い1417-2に貼 付)・1通	い 1417-1
乍恐口上之覚(東蜆村磐太郎家督分けにつき紋四郎 に家作りとらせの件) *下書		横切継紙(い 1417-2~8は紙 縫一括)・1通	い 1417-2
(磐太郎継祖母せき他親類書上)		横切継紙・1通	い 1417-3
(磐太郎家督成長の節勘定帳面扱い他につき) *下書		横切継紙・1通	い 1417-4
口上(私聳東蜆村次郎兵衛跡式は一子磐太郎成長後 に家督分けしたき旨) 新田定助→与市様	8月13日	横切継紙・1通	い 1417-5
口上(私聳東蜆村次郎兵衛跡式は一子磐太郎成長後 に家督分けしたき旨)		横切継紙・1通	い 1417-6
乍恐口上(東蜆村磐太郎家督につき成長後次郎兵衛 名跡相続させたき旨)	戌9月	横切継紙・1通	い 1417-7
乍恐口上之覚(東蜆村磐太郎家督分けにつき紋四郎 に家作りとらせの件)		横切継紙・1通	い 1417-8
乍恐口上之覚(東蜆村磐太郎家督分けにつき紋四郎 に家作りとらせの件) *下書		横切継紙・1通	い 1417-9
(新田庄屋役申付の御用精々勤めるべき旨書付) * (端裏書)「神戸新田地主犬山屋文左衛門江」 →神戸新田綱 蔵	5月	切紙・1通	い 1743
(包紙) * (包紙上書)「子五月二日重右衛門退役綱蔵庄屋被仰 付候節佐屋御陣屋ニおゐて被下候御書付式通 小山清次郎 様・御取扱福井倉助様」	子5月2日	包紙・1点	い 1744-0
(新田庄屋役申付の御用精々勤めるべき旨書付) * (端裏書)「神戸新田地主犬山屋文左衛門江」 →神戸新田地 主犬山屋文左衛門江	5月	切紙・1通	い 1744-1
(願の通り庄屋退役命じる旨書付) * (端裏書)「神戸新 田地主犬山屋文左衛門江」 →神戸新田庄屋重右衛門	5月	切紙・1通	い 1744-2
頭書之覚(庄屋忠右衛門当3月病死につき忰組頭忠兵 衛跡役願ほか)		切紙・1通	い 1747
乍恐奉願上候(海西郡大宝前新田庄屋唯助老年病身 につき忰市蔵に跡役命ぜられたき旨) *下書 犬山 屋文左衛門→岡勝右衛門様御陣屋	閏3月	切紙・1通	い 1763
(新田庄屋役命じるので御用を精々勤めるべき旨書 付) * (端裏書)「張紙として神戸新田地主犬山屋文左衛門 江」控 →神戸新田忠兵衛	12月	切紙/(い 1783-1~4は紙 縫一括)/(虫損 甚大)・1通	い 1783-1
(今般庄屋役を命じ組頭役・忰守役解く旨書付) →忠 兵衛	12月	小切紙・1通	い 1783-2
(村方取締筋等閑にて組頭休役のところ今般差許に つき書付) *下書 →辰右衛門	12月	切紙・1通	い 1783-3
(村方取締筋等閑にて組頭休役のところ今般差許に つき書付) →辰右衛門	12月	切紙/(虫損あ り)・1通	い 1783-4

(辰右衛門帰役申付・佐屋へ印判持行並びに礼の事ほか書付)	21日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	い 1812
乍恐奉願上候(扣神戸新田庄屋忠右衛門病死につき跡役倅忠兵衛に命ぜられたき旨) *下書 犬山屋文左衛門→三村平六様御陣屋	卯12月	切継紙/(虫損あり)・1通	い 1825
(神戸新田庄屋役命じる旨書付) * (包紙上書)「卯十二月十九日忠右衛門庄屋役被仰付候御書付御代官三村平六様御取扱永田祐九郎様」/(端裏貼紙)「神戸新田地主犬山屋文左衛門江」 →神戸新田忠兵衛	12月	切紙・1通	い 1834
頭書覚(庄屋忠右衛門当3月病死につき跡役願の件ほか)		切継紙/(虫損甚大)・1通	い 1836
乍恐奉願上候御事(御屋敷様へ父子共御出入の願いお聞き済み下さる様願書) *い1874と同内容/控 犬山屋文左衛門→笹岡文五右衛門様	戌2月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1875
乍恐奉内願候御事(名主忠右衛門村方勘定の場に不参にて退役一件につき願書) *い1876-2と関連カ/帳崩/後欠		縦紙/(い1876-1~4は畳込一括)・1通	い 1876-1
(忠右衛門不始末一件につき書付) *い1876-1と関連カ/帳崩/前後欠		縦紙・1通	い 1876-2
乍恐御願下ヶ奉差上候(只助倅綱蔵庄屋見習役就任に対する駆込み訴願の願書を下げられるよう願書) *下書/い1876-4と同内容 神戸新田-, (奥書)右(神戸)新田庄屋重右衛門・組頭忠兵衛	亥7月	縦紙・1通	い 1876-3
(重右衛門庄屋役任命書) →重右衛門	寅7月	縦紙/(裏打あり)・1通	い 1949
御請書之事(新田庄屋跡役綱蔵不服の件につき) *雛形 →佐屋御陣屋	亥7月	横切継紙・1通	い 2043
御請書之事(只助倅綱蔵庄屋役就任条件につき請書) 神戸新田彦助・幸助他28名、(奥印)右(神戸)新田庄屋重右衛門・同断忠右衛門・組頭忠兵衛・同辰右衛門→佐屋御陣屋	亥7月	縦半半・5葉	い 2068-4
別段御請奉申上候御事(綱蔵庄屋役見習就任拒否につき請書) 惣百姓之内権吉・勘三郎他11名	亥9月	縦半半・3葉	い 2068-5
乍恐御請書奉指上候御事(綱蔵庄屋役就任拒否一件につき請書) 彦助・幸助他28名	亥9月	縦半半・4葉	い 2068-6

村況

覚(海西郡大宝前新田高499石7斗6升9合ほか村明細書上につき)		縦紙/(虫損甚大、開披不能)・1通	い 1400-37
(仮屋御陣屋へ提出の神戸新田絵図) *彩色あり	弘化3年3月	43.2×32.4/(い1557-2-1~3はい1557-1の丁間結付)・1鋪	い 1557-2-1
(文政3年仮屋御陣屋に提出した神戸新田の絵図) *彩色あり		41.3×30.5・1鋪	い 1557-2-3
覚(文化12~13年大宝前新田境杭御建および御見分場所の報告) *下書		横切継紙(青色宿紙)・1通	い 1727

年貢ほか

免定

丑年免定(海西郡大宝前新田) 土岐市右衛門(印)→右(大宝前)新田庄屋	延享2年丑閏12月	縦継紙・1通	い 2065-44
寅年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」土岐市右衛門(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・小百姓中	延享3年寅11月	縦継紙・1通	い 2065-43
「延享四卯年御免状不見」	11月	堅切紙・1通	い 2065-42
辰年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」寄田清左(印)→右(大宝前)新田庄屋・組頭・小百姓中	寛延元年辰11月	縦継紙・1通	い 2065-41
巳年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」寄田清左(印)→右(大宝前)新田庄屋・組頭・小百姓中	寛延2年巳11月	縦継紙・1通	い 2065-40
午年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」森村甚左(印)→右(大宝前)新田庄屋・組頭・小百姓中	寛延3年午11月	縦継紙・1通	い 2065-39
未年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」森甚左衛門(印)→右(大宝前)新田庄屋・組頭・小百姓中	宝暦元年未11月	縦継紙・1通	い 2065-38
申年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」森甚左衛門(印)→右(大宝前)新田庄屋・組頭・小百姓中	宝暦2年申11月	縦継紙・1通	い 2065-37
酉年免定(海西郡大宝前新田) 森甚左衛門(印)→右(大宝前)新田庄屋・組頭・小百姓中	宝暦3年酉11月	縦継紙・1通	い 2065-36
戌年免定(海西郡大宝前新田) 富八郎兵衛(印)→右(大宝前)村庄屋・与頭・小百姓	宝暦4年戌11月	縦継紙・1通	い 2065-35
亥年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」富八郎兵衛(印)→右(大宝前)村庄屋・与頭・惣百姓	宝暦5年亥11月	縦継紙・1通	い 2065-34
子年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」尾友次郎(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・小百姓	宝暦6年子11月	堅紙・1通	い 2065-33
丑年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」尾友次郎(印)→右(大宝前)村庄屋	宝暦7年丑11月	縦継紙・1通	い 2065-32
寅年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」尾友次郎(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・惣百姓	宝暦8年寅11月	縦継紙・1通	い 2065-31
免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」磯藤七郎(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・惣百姓	宝暦9年卯11月	縦継紙・1通	い 2065-30
辰年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」磯藤七郎(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・頭百姓	宝暦10辰11月	縦継紙・1通	い 2065-29
巳年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」尾友次郎(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・惣百姓	宝暦11年巳11月	縦継紙・1通	い 2065-28
午年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」尾友次郎(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・惣百姓	宝暦12年午11月	縦継紙・1通	い 2065-27
未年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」尾友次郎(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・惣百姓	宝暦13年未11月	縦継紙・1通	い 2065-26
申年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」尾友次郎(印)→右(大宝前)村庄屋・組頭・惣百姓	明和元年申11月	縦継紙・1通	い 2065-25
酉年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」尾友次郎(印)→右(大宝前)村庄屋・与頭・惣百姓	明和2年酉11月	縦継紙・1通	い 2065-24
免定(海西郡大宝前新田) 金市之進(印)→右(大宝前)村庄屋・与頭・惣百姓	明和3年戌11月	縦継紙・1通	い 2065-23

大宝前(神戸)新田/年貢ほか/免定

亥年免定(海西郡大宝前新田) 矢藤助(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	明和4年亥11月	縦継紙・1通	い 2065-22
子年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」 矢藤助(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	明和5年子11月	縦継紙・1通	い 2065-21
丑年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」 大橋新之右(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	明和6年丑11月	縦継紙・1通	い 2065-20
寅年免定(海西郡大宝前新田) * 「本文相見不申二付写」と注記あり 大橋新之右(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	明和7年寅11月	縦継紙・1通	い 2065-19
卯年免定(海西郡大宝前新田) 大新之右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	明和8年卯11月	縦継紙・1通	い 2065-18
辰年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・与頭・惣百姓	明和9年辰11月	縦継紙・1通	い 2065-17
巳年免定(海西郡大宝前新田) * 「本文相見へ不申付写」と注記あり 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	安永2年巳11月	縦継紙・1通	い 2065-16
午年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・与頭・惣百姓	安永3年午11月	縦継紙・1通	い 2065-15
未年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・与頭・惣百姓	安永4年未11月	縦継紙・1通	い 2065-14
申年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・与頭・惣百姓	安永5年申11月	縦継紙・1通	い 2065-13
酉年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	安永6年酉11月	縦継紙・1通	い 2065-12
戌年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	安永7年戌11月	縦継紙・1通	い 2065-11
亥年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	安永8年亥11月	縦継紙・1通	い 2065-10
子年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」 田仙右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	安永9年子11月	縦継紙・1通	い 2065-9
丑年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」 久岡右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	天明元年丑11月	縦継紙・1通	い 2065-8
寅年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 横此右衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	天明2年寅11月	縦継紙・1通	い 2065-7
卯年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 蔦丹左衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	天明3卯11月	縦継紙・1通	い 2065-6
免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前新田」 蔦丹左衛門(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	天明4年辰11月	縦継紙・1通	い 2065-5
免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 中彦三郎(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	天明5年巳11月	縦継紙・1通	い 2065-4
免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」/去卯年諸国凶作にて難渋致し当年限りお救い下されたき旨貼紙あり 中彦三郎(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	天明6年午11月	縦継紙・1通	い 2065-3
未年免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 中彦三郎(印)→右(大宝前) 村庄屋・組頭・惣百姓	天明7年未11月	縦継紙・1通	い 2065-2
免定(海西郡大宝前新田) * (端裏書)「大宝前」 中彦三郎(印)→右(大宝前) 新田庄屋・組頭・惣百姓	天明8年申11月	縦継紙/(い 2065-1~44は一綴)・1通	い 2065-1

その他

海西郡大宝前新田御証文写(大宝前新田年貢米上納につき) 上田伴右代丹羽藤蔵判・襄形善右代児嶋幸左衛門判・同代笠浦傳右衛門判野方奉行平手傳助判・水奉行櫻井作之左衛門判・大代官小沢忠右衛門判・同河村嘉左衛門判→犬山屋文左衛門殿	享保8年卯4月	半(一ツ綴)・1冊	い 2070
覚(大宝前新田大難につき反に1斗7升宛定納等の伝達) *前欠/下書 岩田治部・今泉忠兵代古川喜四郎・同断寺沢茂助・同断田原藤右衛門・同断久保弥太郎・安坂才右衛門→犬山屋分左衛門殿	享保19年寅11月	縦継紙・1通	い 1378
海西郡大宝前新田[](虫損)(大宝前新田来卯年作取年数明につき定納米賦課通知) 岩田治部代今泉忠兵衛代左川花四郎判・同断寺沢茂助判・同断俵藤右衛門判・同断口(虫損)保弥太郎判・安坂方吉判→犬山屋文左衛門殿	享保19年寅11月	半(一ツ綴)・1冊	い 2069
口上(大宝前新田堤切れに伴う入用金35000両の件反取1斗7升定納永年賦継続願につき) * (端張り紙)「此書面之趣御憐愍之上石黒三郎左衛門様江御直ニ厚ク御挨拶被遊被下候様ニ乍恐奉願候」	9月15日	横切継紙・1通	い 1717
(大宝前新田堤切れに伴う入用金35000両支払の件反取1斗7升定納永年賦継続願) * (端裏書)「此書面之趣御憐愍之上石黒三郎左衛門様江御直ニ厚ク御挨拶被遊被下候様ニ乍恐奉願候」/い1717の下書	(9月15日)	横切継紙・1通	い 1720
口上(大宝前新田堤切れに伴う入用金支払のため反取1斗7升定納永年賦継続願) *い1717の下書	(9月15日)	横切継紙・1通	い 1724
(大宝前新田堤切れに伴う入用金35000両支払の件反取御減し定納継続願) *い1717の下書		横切継紙・1通	い 1726
覚(大宝前新田年貢代金書付) 大舟丁八郎右衛門様→舟番所	11月19日	小切紙・1通	い 1993-4
覚(町数45町7反8畝27歩、高499石7斗6升9合の年貢割付勘定) * (端裏書)「内分御内見之書付」	月日	縦継紙・1通	い 1494
覚(海西郡大宝前新田は借金難儀につき反に1斗7升宛の御定納米の引合願)	宝暦2年	縦継紙・1通	い 1363
(海西郡大宝前新田利賄難儀につき反取り御定納米命じられたき旨願書) *下書		縦継紙・1通	い 1365
(海西郡大宝前新田難儀につき永御定納米命じられたき旨願書) *下書	酉2月	縦継紙・1通	い 1366
(海西郡大宝前新田利賄難儀につき御定納米命じられたき旨願書) *下書		縦切紙・1通	い 1367
海西郡大宝前新田之事(宝永4年開発以来数度の大難につき御定免の旨) *下書	申4月	縦継紙・1通	い 1386
覚(大宝前新田定納米等メ96石余勘定書)		横切紙・1通	い 1982-2
乍恐奉願御事(海西郡大宝前新田の当年御定免につき) *下書/(端裏書)「近々可出願書 十月四日」	宝暦2年申10月	縦継紙・1通	い 1379
(大宝前新田金子借賄の上新田成就し御年貢差上の次第) *下書/前後欠		縦継紙・1通	い 1381
海西郡大宝前新田之事(宝永4年開発以来数度の大難につき御定免の旨書上)	申4月	縦継紙/(虫損あり)・1通	い 1383

大宝前(神戸)新田/公儀との関係/年貢ほか/その他

(海西郡大宝前新田につき御定免に命じられたき旨) *下書		縦継紙・1通	い1392
乍恐奉追願上候御事(大宝前新田大分の入用金につ き御定免にて用捨の旨) * (端裏書)「申十二月九日指出 候処願書認様あてたる書やうに候間認直されしと追願に相 認可指出候由被仰聞候」/下書	(宝暦2年)申12月	縦継紙・1通	い2051
海西郡大宝前新田之事(大宝前新田開発以来数度の 地震・高潮被害により大借のため御証文の通り反 に1斗7升ずつの御定納米に引き合うよう仰せ附け られたき旨の願書) 右(大宝前)新田地主元材木丁文左 衛門→森村甚左衛門様	宝暦2年	縦継紙/(貼紙 あり)・1通	い2052
御請書奉差上候(金113両、来る午年御年貢米当25日 に上納仕るべきにつき) * 下書 →児玉貞一郎様御陣 屋	巳12月	縦紙/(虫損あ り)・1通	い1395-17
乍恐奉再願上候御事(当新田先達で願の通り定免仰 付られたきにつき) * 下書		縦継紙/(い 1395-18とい 1395-19は1 紙カ)・1通	い1395-18
乍恐奉再願上候御事(海西郡大宝前新田先達で願の 通り定免仰付られたきにつき) * 下書 犬山屋文左衛 門	子9月	縦切紙/(い 1395-18とい 1395-19は1 紙カ)・1通	い1395-19
(不納9反歩余定納米3合書上札) →神戸新田		札/(虫損あ り)・1点	い1396-7
(神戸ならし高3つ8分9厘ほか金銭書上覚) * (包紙上 書)「佐屋方より出ル 新田十ヶ年概見書付」		横切紙/(包紙 とも)・1通	い1396-13
(「延享二丑年御繩入高四百九拾九石七斗六升九合神 戸新田」書上札) * (包紙上書)「天保十四卯年五月廿六 日検見帳十ヶ年分御取揚ケニ付佐屋方より相渡候御目紙也 御取扱服部作助殿 忠兵衛請取来候」		横切紙/(包紙 とも)/(虫損あ り)・1通	い1396-14
(大宝前新田反取の証文につき願書) * 下書		縦切紙・1通	い1396-25
(大宝前新田定免高2つ5分に成し下さるうようにと の願書控入用にて明昼頃迄役所へ持参さるべく申 遣わし書) 森村甚左→犬文左衛門江	10月晦日	縦切紙・1通	い1396-26
(新田主定免高願い取揚に成らずにて願書差し戻さ るべきにつき一札) * 下書		縦切紙・1通	い1396-27
覚(当戌年野方御年貢米代メ金3分余受取につき) 高 橋佐治兵衛(印)→大宝前新田只助殿	宝暦4戌12月21日	横切継紙・1通	い1418-2
(海西郡大宝前新田御定免2ツ5分取に命じられたき に付願書) * (端裏書)「式ツ取之願書追願共是也」/下書	申7月	縦継紙・1通	い1452
乍恐奉願御事(大宝前新田地面悪敷につき田方立毛 一通り御覧なされたき旨) * 下書 犬山屋分左衛門→ 野方御奉行所	ヲ7月	縦紙・1通	い1455
乍恐奉願上御事(海西郡大宝前新田御定免2ツ5分に 命じられたき旨) * 下書		縦継紙・1通	い1465
覚(大宝前新田寅年分物成受取書) 土岐市右代伊藤作 助・村井甚蔵(印)→右村(大宝前新田)庄屋中	子12月23日	横切紙・1通	い1531-12
(新田相続のため定免願) * 下書 右新田地主犬山屋文左 衛門→富田八郎兵衛様	宝暦6年子3月	縦紙・1通	い1548

乍恐奉願上候(神戸新田不作につき検見の際猶免願) *下書		横切紙/(い 1655-2-25~26 は巻込一括)・1 通	い 1655-2-26
乍恐奉願候事(大宝前新田のうち一部を御除地もし くは御見取御定免1つ3分に御極め願い他) *後欠		横切継紙・1通	い 2034
乍恐奉願上候(神戸新田不作につき検見の際猶免願) *下書 神戸新田庄屋忠右衛門・綱蔵→吉田助治郎様御陣 屋	戌10月	横切継紙・1通	い 1655-2-27
(鍋蓋新田・大宝前新田年貢米上納の旨申渡書) 土岐 市右衛門役所→犬山屋分左衛門殿・呉服次郎左衛門殿	閏12月8日	小切継紙・1通	い 1693
(当地引方は大宝は未だ相談できず烏ヶ地・飛嶋新田 は大凡定めた旨書状) (川村)九郎兵衛→(神戸)堅吾様	天保8酉11月15日	横切継紙/(い 1728-1~4は紙 繰一括)・1通	い 1728-1
(当出来方は昨年よりは出来増に見える旨ほか書状) 川村九兵衛→神戸堅吾様	天保8酉3日	横切継紙・1通	い 1728-2
(飛嶋は新開場所にて勘弁筋願出は不埒千万の旨書 状) 南方より	天保8酉11月5日	横切継紙・1通	い 1728-3
(当地村々引方取極の旨報告の書状) 川村九兵衛→神 戸堅吾様	天保8酉11月25日	横切継紙/(い 1728-4-2を巻 込)・1通	い 1728-4-1
(大宝はじめ近村引方が極まったので扣庄屋殿が明 日にもせり込む旨追記)		小切紙・1通	い 1728-4-2
(御定米の事・御礼に罷出る事他12名書御上の書上)	7月24日	切継紙・1通	い 1736
「十三人御呼出し之跡人七月廿四日新田江参候者共 篠田仙蔵・石原儀左衛門」		小切紙・1通	い 1737
(御年貢米につき入津未だ命ぜられていない旨、竹田 米は当時8斗2升位の相場の旨ほか書状) *後欠		横切継紙・1通	い 1739
(夫錢上納を遣した旨、四郎兵衛新田替地の定免願出 の旨ほか書状) 小川唯助→奥田兵治様	2月12日	横切継紙・1通	い 1741
(大風雨にて田方一日水下へ折込み当年の御年貢米 品など迷惑の旨報告の書状) *控/前欠 →山田貫一 郎様御陣屋	卯9月	横切紙・1通	い 1802
①覚(東西田面当春御見分につき上中下の書上に相 違なき旨)、②(東西田面ノ高100石につき19町1反6 畝余の書上) *①控 ①十右衛門印→田宮仙右衛門様	申7月	折紙・1通	い 1826
(延享2年~明和5年までの検地以来免付覚書)		横長美(一ツ 綴)・1冊	い 1864-2
口上之覚(隼人正様より調達を命じられた神戸新田 分米90石の件につき申上書) 犬山屋文左衛門(印切 取)	酉正月	縦紙・1通	い 1934

諸負担

(7両8匁5分当子堤銀請取につき覚) 佐屋陣屋[印「佐屋 之印」]→神戸新田	子12月	横切紙・1通	い 1402-215
覚(金1両3分銀8匁2分餅米代受取につき) 佐屋陣屋 [印「佐屋之印」]→神戸新田	子12月	横切紙・1通	い 1402-216
(銀46匁4分1分9厘子年枯草代請取につき覚) 佐屋陣 屋[印「佐屋之印」]→神戸新田	子12月	横切紙・1通	い 1402-217

大宝前(神戸)新田/公儀との関係/諸負担

覚(金2両3分銀14匁9分当子年伝馬銀の内受取につき) 佐屋陣屋[印「佐屋之印」]→神戸新田	子10月	横切紙・1通	い 1402-219
覚(海西郡大宝前新田の内不納分書上) 大宝前新田庄や重右衛門→野方奉行所	卯12月	縦継紙/(い1570-4はい1570-3に巻込)/ (虫損甚大)・1通	い 1570-3
覚(5ヶ年運上等積金メ27両余迷惑につき申上書) 大山屋分左衛門[印]→川方御奉行所	午8月	縦継紙・1通	い 1925
覚(朝鮮人通行の村役諸入用金3分余受取書) 郡奉行所(印)→大宝前新田庄屋	辰4月	横切紙/(紙縫に「朝鮮人」とあり)/(い1954-1~3は一綴)・1通	い 1954-1
(大宝前新田朝鮮人入用1両余差引勘定書付)		横切紙・1通	い 1954-2
覚(朝鮮人御用雇人馬代金5両請取書) 鯛浦村治左衛門(印)・同勘右衛門(印)→大宝前新田御庄屋中	辰6月19日	横切紙・1通	い 1954-3
覚(山川運上金100両請求書) →只助へ	子9月15日	縦紙・1通	い 1981-26
覚(鳥運上金10両余受取書) 横江源助(印)・鈴木喜兵衛(印)→文左衛門新田庄兵衛殿	正徳元年卯11月	横切紙・1通	い 1983-4
覚(諸事入用2貫余書上並びに御蔵入懸りもの勘定書上共) 鳥ヶ地村平蔵(印)→分左衛門殿	(正徳2年)辰極月16日	横切紙・1通	い 1984-3
覚(大宝前新田鳥御運上代金10両余受取書) とりや源七郎(印)→唯助殿	午11月17日	切紙・1通	い 1986-3
覚(柳枯草上納銀37匁7分受取につき) 園田利左衛門(印)・神戸惣右衛門(印)→覬前新田庄屋中	12未12月3日	切紙・1通	い 1990-5
覚(柳枯草銀37匁7分請取につき) 鈴木新蔵(印)・神戸惣右衛門(印)→覬前新田庄屋中	12月4日	切紙・1通	い 1991-7
覚(当戌年柳枯草銀37匁7分請取につき) 鈴木新蔵(印)・神戸惣右衛門(印)→覬前新田庄屋中	戌12月4日	切紙/(い1992-1~24は一綴)・1通	い 1992-1
覚(当亥年柳枯草代金受取書) 鈴木新蔵(印)・服部惣右衛門(印)→覬前新田庄屋中	享保16亥12月4日	小切紙・1通	い 1993-2
(柳枯草代金請取書) 武兵衛→唯助様	亥12月7日	縦切紙・1通	い 1993-10
覚(柳枯草定納金受取書) 鈴木新蔵(印)・小林佐左衛門(印)→文左衛門新田庄屋中	12月3日	小切紙/(い1994-1~8は紙縫一括)・1通	い 1994-1
覚(柳枯草代金請取書) 鈴木新蔵(印)・小林佐左衛門(印)→文左衛門新田庄や中	丑12月3日	小切紙・1通	い 1994-2
覚(枯草代金請取書) 武兵衛	丑12月6日	小切継紙・1通	い 1994-3
覚(子年外川運上金受取書) 勘兵衛(印)→唯助殿	丑正月晦日	小切紙・1通	い 1994-5
覚(当寅年分柳枯草代金請取書) 山田空右衛門(印)・飛頭伝大夫(印)→文左衛門新田庄屋	12月4日	小切紙・1通	い 1995-3
覚(大宝前新田当辰春夫銀請取書) 土岐市右(印)→右村庄屋	延享5辰2月	小切紙・1通	い 1997-9
覚(当辰年伝馬金請取書) 郡奉行所(印)→大宝前新田庄屋	寛延元辰10月	小切紙・1通	い 1997-10
覚(当辰年伝馬金請取書) 郡奉行所(印)→大宝前新田庄屋	(近世)辰6月	小切紙・1通	い 1997-11

覚(当辰年堤役銀請取書) 郡奉行所(印)→大宝前新田庄屋	寛延元辰12月	小切紙・1通	い 1997-12
覚(当辰年柳枯草代銀受取書) 岡村安左衛門(印)・伊藤佐平(印)→大宝前新田庄屋中	(近世)辰12月4日	小切紙・1通	い 1997-13
覚(当辰年柳枯草代銀受取書) 岡村安左衛門(印)・伊藤佐平(印)→文左衛門新田庄屋中	辰12月4日	小切紙・1通	い 1997-14
覚(卯年納麦代金受取書) 土岐市右(印)→大宝前新田庄屋	延享5辰6月	縦継紙・1通	い 1997-15
覚(柳枯草代銀42匁受取書) 岡村安左衛門(印)・伊藤佐平(印)→海西大宝前新田庄屋中	(寛延2年)巳11月4日	小切紙/(い1999-1~3は一綴)・1通	い 1999-1
覚(柳枯草代銀37匁余受取書) 岡村安左衛門(印)・伊藤佐平(印)→海西文左衛門新田庄屋中	(寛延2年)巳12月4日	小切紙・1通	い 1999-2
覚(堤御役金6兩余受取書) 郡奉行所(印)→大宝前新田庄屋	寛延2年巳12月	小切紙・1通	い 1999-3
覚(伝馬金2兩余受取書) 郡奉行所(印)→大宝前新田庄屋	寛延2巳10月	小切紙・1通	い 1999-4
覚(伝馬金3兩受取書) 郡奉行所→大宝前新田庄屋	(寛延2年)巳6月	小切紙・1通	い 1999-5
覚(夫銀499匁余受取書) 寄田清太(印)→右(大宝前)新田庄屋	寛延2年巳2月13日	小切紙・1通	い 1999-6
海西郡大宝前新田(亥辰年納麦代金受取につき) * (端裏書)「大宝前新田」 寄田清太(印)→右村庄屋	2年巳7月	横切継紙・1通	い 2000-2
乍恐奉願口上之覚(大宝前新田運上銀減額につき) 犬山屋分左衛門[印]→御川御役所様	寅閏8月	縦紙/(い2035-1~6は一綴)・1通	い 2035-1
口上之覚(大宝外新田堤内池川御用につき金子差上は御免下さるべき旨) 犬山屋分左衛門・井筒屋平兵衛→野方御奉行所	丑6月	縦継紙・1通	い 2042
覚(堤御役銀受取書) 寄田清太(印)・清水太郎左(印)・酒井三郎右(印)→大宝前新田庄屋	延享3寅12月	小切紙・1通	い 1531-7
覚(夫銀497匁余代金8兩1分4匁7分7厘受取書) 土岐市右(印)→右村(大宝前新田)庄屋	延享3寅2月	横切紙・1通	い 1531-8
覚(伝馬金受取書) 寄田清太(印)・清水太郎左(印)・酒井三郎右(印)→大宝前新田庄屋	延享3寅6月	横切紙・1通	い 1531-10
覚(丑年分納麦代金銀受取書) 土岐市右(印)→右村(大宝前新田)庄屋中	延享3年寅6月	横切紙・1通	い 1531-28
御役米頂戴割渡し左之覚		横長半(一ツ綴)/(い1559-1~15は一綴)・1冊	い 1559-1
七月十二日(下ノ郷他新田下し米送付)	7月12日	小切紙・1通	い 1653-8
覚(神戸新田分伝馬銀など書付) 庄屋忠右衛門→御地主様御勘定場	戌6月	小切紙・1通	い 1655-2-16

調達金・拝借金・上納金

村方調達割当(10匁彦助ほか金銭書上)	(近世)	折紙/(虫損あり)・1通	い 1395-5
乍恐御請書奉差上候(200口此金50兩神戸新田、備取立方調達につき) *下書 右(神戸)新田忠右衛門→三村	丑10月	縦紙・1通	い 1395-35

大宝前(神戸)新田/公儀との関係/調達金・拝借金・上納金

平六様御陣屋			
(去寅年3000両調達金割合金249両1分1銀14匁5分1厘の割合御出金、弘化5申年米札にて御返下しその節割賦何程請取か等につき書状) 神戸新田唯助→神戸旦那様[](綴紐で読めず)	3月17日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1399-23
(陣屋より支給の調達金御利足額書付)	4月14日	小切紙・1通	い 1559-12
(金7両拝借証文出来につき古証文引替願い他書状) 唯助→神戸旦那様	12月12日	横切継紙/(い1574-2はい1574-1に巻込)・1通	い 1574-1
(金7両印判は問合せ次第調印下さるよう別紙願い)		切紙・1通	い 1574-2
覚(調達金年賦・元金など書上)		横切継紙/(い1655-2-28~29は巻込一括)・1通	い 1655-2-28
覚(御三役銀御引当銀引当年賦金調達金など受取書上)		小切紙・1通	い 1655-2-29
(陣屋調達伝馬方渡引当銀など吟味につき書付)		小切紙・1通	い 1655-2-30
覚(御替地下用割当り・丑年御年貢取上米より村方出金を引き御調達金割当り銀342匁余の旨書上)		切紙・1通	い 1758
覚(鬮引講150口金37両余受取書並びに複写作成経緯書付) *写 佐屋陣屋印→神戸新田	丑12月	切紙/(い1922-1~7は一綴)/(付紙あり)・1通	い 1922-1
(鬮引調達金元利37両余受渡書並びに複写作成経緯書付) 佐屋陣屋印→神戸新田	寅11月	折紙・1通	い 1922-2
(10万両講加入者口数・名前書付)		横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1922-3
御講金調達割付覚(メ17口半分金額・人名書付)		横切継紙・1通	い 1922-4
調達金割賦(メ46口分人名書付)		横切継紙・1通	い 1922-5
(鬮引調達金150両の割賦次第書付)		横切継紙・1通	い 1922-6
覚(神戸新田分上納金高113両余書付)	巳12月	切紙/(い1981-1~33は一綴)・1通	い 1981-1

救済

乍恐奉追願上候御事(海西郡大宝前新田は甚だ難儀にて御救いの御用捨再願につき) *控/(端書)「古御取揚」/(端裏書)「十二月十日出ス、犬山へも酉正月九日二入」	宝暦2年申12月	縦継紙・1通	い 1370
(私救荒御備として米100石廣井御蔵へ献納仕度きにつき願書) *下書 神戸文左衛門→地方御勘定所	申5月	縦紙・1通	い 1395-23
(勘定所御役所へ御呼出し奇特にて天施物の趣につき呼出書) 御勘定所御役所→海西郡神戸新田綱蔵・忠右衛門・金七・浅右衛門・金右衛門・甚三郎・右六人代綱蔵	嘉永3年戌8月2日	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1399-53
申年先遣(救米を佐屋陣屋より受取・送付につき書付) 救米御礼平吉・金七・重三郎・伊兵衛		小切継紙・1通	い 1655-1-42

その他

大宝前新田(堤御普請所見分申付につき間尺改め受 取べき旨書付) 植原金左・今泉忠兵代佐藤茂平次・古川 喜四郎・東覬新田庄蔵方、(奥書)浅井茂左衛門代高橋彦兵衛 ・佐藤茂平次・古川喜四郎、(裏書)知多郡伝吉(印)→大宝前 新田定助殿	享保20年卯8月	横切継紙・1通	い 1822
乍恐奉願候御事(大宝前新田を以来神戸新田と改名 したいとの旨につき願書) *写 右新田(海西郡大宝 前新田)庄屋只助印・同所組頭平吉印・同断重右衛門印→岡 勝右衛門様御陣屋	文化12亥3月	「神戸氏蔵」用 箋/(11行)・1通	い 1865-11
奉指上御請証文之事(神前において獅子舞し過料銭 300文宛取揚の旨ほか2通請証文共) 神戸新田要四 郎・友九郎・藤七・惣五郎・善十郎・和平・庄五郎・平四郎・常五 郎・伊兵衛・亦五郎・源四郎・理助・弥兵衛→佐屋御陣屋	天保13年寅3月16日	半(二ツ綴)・1 冊	い 1420
一銭講口立帳(陣屋より拜命につき唯助等より取立)	弘化2年巳4月24日	横長半(一ツ 綴)/(い1561-1 ~5は一綴)・1 冊	い 1561-1
残り不納年限明ニ付仮屋御陣屋江差出候写(神戸川 彩色絵図) *写	弘化3年午正月	31.9×41.8・1鋪	い 1560-28
(神戸新田葭野2町1反1畝27歩は10年引とし起返方等 閑なく取計べき旨書付) *(包紙上書)「葭野御年数引 書付 辰十一月御陣屋より下ル」 山貫一郎→右村(神戸新 田)庄屋	安政3年辰11月	切継紙・1通	い 1832
(神戸新田米49石去冬調達金差継米・御蔵入65石余ほ か米書上)	(近世)午11月	横切紙・1通	い 1394-19
(佐渡陣屋・御勘定所へ提出の証文書付類差し戻しに つき書付) *下書/前欠	延享3	縦継紙・1通	い 1395-22
乍恐奉願上候御事(孫室堤切断何分宜しく成し下さ るようにつき) *控 慥→御普請方御奉行所	6月2日	堅切紙・1通	い 1395-39
乍恐奉願上候(反数40町分の内葭野1反歩、右は孫室 扶・竹田新田扶2ヶ所損出来防方御用土など御用土 切取の節御見聞の上御年数引仰付らる様願上につ き) *下書 神戸新田庄屋忠右衛門→兎玉定一郎様御陣屋	午8月	堅紙・1通	い 1395-40
(昨日の願書、申し談ずるところ有るにて役所へ出ら るべく差紙) 森村甚右衛門役所→犬山屋文左衛門殿	10月10日	堅切紙・1通	い 1396-4
(文政7申7月金50両御勘定所御裏書調達御手形等4通、 丑2月27日庄屋忠右衛門に渡し預け置くにつき覚)		堅紙/(虫損あ り)・1通	い 1396-21
(尾張藩地方関係役人交代につき書上)	亥3月7日	折紙/(簿冊の 断簡、綴穴あ り)・1通	い 1396-22
(石川様先年仰せ渡しの事ほか庄屋関係業務につき 書留)		堅紙/(虫損あ り)・1通	い 1399-15
覚(銀12匁7分2厘先達て立田入水の節繩俵諸色差上 の分代銀佐屋御陣屋より請取の分綱蔵殿より預に つき)	辰正月20日	横切紙・1通	い 1399-29
(神戸新田御鷹場竹腰志摩守へ引渡の儀につき申上 書) 小川唯助→神分左衛門様	(未)11月16日	横切継紙・1通	い 1505-9
(陣屋より検見回村の様子報知等につき書状) 永田	8月19日	横切継紙・1通	い 1559-15

大宝前(神戸)新田/公儀との関係/その他

新九郎→神戸文左衛門様			
(見分人は浅井茂左衛門手代渡辺宅左衛門・浅野清九郎両人の旨書状) 親客→大賀賢丈	4月5日	横切継紙・1通	い 1607
乍恐奉願候御事(神戸新田付御用筋にて佐屋陣屋呼出の節は仕来の通り直に差出来るよう) *(端裏書)「草案」		横切継紙・1通	い 1632
口演(栄助年貢不納一件並びに栄助の山中への移転願等につき) 庄屋→後藤糸助様	11月4日	縦紙/(い1655-2-23~24は巻込一括)・1通	い 1655-2-23
乍恐御請書奉差上候御事(不納分の年貢米を親類に頼み支払、私日用渡世につき) *下書 神戸新田栄助印・親類服岡新田助蔵印・同断政成新田勘三郎印・神戸作左衛門印・清兵衛印、(奥書)右(神戸)新田庄屋綱蔵印・同忠右衛門印・服岡新田庄屋代弥助印・政成新田庄屋代善吉印→吉田助次郎様御陣屋	戌11月	縦紙・1通	い 1655-2-24
覚(手形9通・書付類25通預りの旨書付) *(端裏書)「御役所江手形御預りニ付被下置候御書付之写」 佐屋陣屋印→大宝前新田庄屋・組頭	辰11月23日	堅切紙/(い1843-4-1~4は紙縫一括)・1通	い 1843-4-1
(大宝前新田内の御替地分絵図) *(端裏書)「大宝前新田内ニ有之候替地扣絵図面之扣書」		34.5×24.5・1鋪	い 1843-4-2
覚(手形9通・書付類25通預りの旨書付) *(端裏書)「御役所江手形御預りニ付被下置候御書付之写」 佐屋陣屋印→大宝前新田庄屋・組頭	辰11月23日	堅切紙・1通	い 1843-4-3
(大宝前新田内の御替地分絵図) *(端裏書)「大宝前新田内ニ有之候替地扣絵図面之扣書」		34.2×24.0・1鋪	い 1843-4-4
(百姓願の一件につき江堀起返り帳面他2品の写を差上げる旨書状) 唯助拜→河村様別紙二通添用立	3月15日当賀	切継紙・1通	い 1856
①(盆前御見廻のため1樽進上する旨書状)、②(盆前御祝儀のため1樽進上する旨書状) *①②下書 →①富田八兵衛様・斎藤林蔵様・小林作左衛門様・古田喜四郎様・土井三郎右衛門様・永田二郎右衛門様、②田中藤助様	①7月10日	切継紙・1通	い 1860
(支配所村々見廻の際の注意点に関する書付) 佐屋御代官→右村々庄屋	丑8月22日	半(二ツ綴)・1冊	い 1865-18
(天保元寅年に飛嶋新田等の地主より堤杖橋普請のため3万両を無利子で借り上げ、この度返済につき、御用捨米など諸事寅年以前の通りになるとの旨達し) *写	申3月	縦紙・1通	い 2002
(代官役職人名書上)		折紙・1通	い 1557-2-2
(西井組・服岡新田等の地主衆の佐屋陣屋へ出張の件につき書状) 吉助→服部様・伊藤様・岡谷様・神戸様	12月4日巳下刻	横切継紙・1通	い 1653-3
(来訪の上面談につき書状) 長尾氏ニ而川村斎次郎→神戸新田御詰衆助様御請	20日	横切紙/(い1655-2-13~14は巻込一括)・1通	い 1655-2-13
(来訪延期願につき書状) 大宝方川村斎次郎→神戸新田御在勤衆助様	10月20日	縦紙・1通	い 1655-2-14
覚(麦作代など受取書) 佐屋陣屋[印]→神戸新田	巳7月	小切紙・1通	い 1685
乍恐御達奉申上候御事(去年の大地震田面一統) *後欠		小切紙・1通	い 1729
(竹腰様御出につき貴様御所持品を御覧になるので	5月20日	横切継紙・1通	い 1766

手隙がないか伺いの書状) 市橋清兵衛→神戸文左衛門様			
地租			
(乙亥地租金497円98銭1厘請取証) 愛知縣師史生村井高忠[印「愛知縣師史生村井高忠」]→海西郡神戸新田竹内辰右衛門	明治9年3月20日	印刷用紙/(虫損あり)・1通	い 1400-6
(乙亥初納地租金500円請取証) 愛知縣[印「愛知縣第三課」]→海西郡神戸新田早川忠右衛門	明治9年1月31日	印刷用紙/(虫損あり)・1通	い 1400-9
(明治9年貢租石代1月上納1分500文分請取証) 第六区会所[印「愛知縣第六區會所印」]→神戸新田	明治10年1月29日	印刷用紙/(虫損あり)・1通	い 1400-10
(金399円19銭3厘明治9年貢租石代4納の分請取証) 第六区会所[印「愛知縣第六區會所印」]→神戸新田	明治10年3月30日	印刷用紙/(貼紙あり)・1通	い 1400-13
改租入費(金錢書上覚)	子	横半半・1冊	い 1403-92
(明治24年度地租延納出願許可の通知) 宝地村役場[印「愛知県海西郡寶地村役場」]→小川綱藏殿	明治27年7月22日	「愛知県海西郡宝地村役場」用箋/(12行)・1通	い 1482-7
太政官第六十二號公布之別紙凶歳租税延納割賦略表 *郵便報知新聞第千三百八拾五號附録	(近代)	印刷物・1通	い 1489

県・郡との関係**土地台帳訂正**

(封筒) * (封筒表書)「神戸新田墓地大葬場所名義誤謬訂正願指令 三十一年十一月十一日附土地台帳所有者名義誤謬訂正願指令」		封筒・1点	い 1401-172
海西郡指令参第七四号(宝地村村会決議大字神戸新田字れノ割282番の第1雑種地1畝19歩、同字382番大葬地名義誤謬訂正につき) 愛知県海西郡長寺内惣磨→海西郡宝地村役場	明治31年9月21日	「愛知県海西郡参事会」用箋/(赤色罫紙12行)・1通	い 1401-173
名古屋税務管理局指令第二九三号(明治31年11月11日附土地台帳所有者名義誤謬訂正願い許可) 名古屋税務管理局長菊池良[印「名古屋税務管理局長之印」]→愛知県海西郡宝地村大字神戸新田神戸分左衛門	明治31年12月13日	「名古屋税務管理局」用箋/(12行)・1通	い 1401-174

地目変更

地種御組換願(海西郡宝地村大字神戸新田字内の堤塘を民有第壹種山林に組換) 海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門(印墨消)→愛知県知事千田貞曉殿	明治25年2月6日	青色罫紙/(10行)・1通	い 1482-19
地種御組換願(海西郡宝地村大字神戸新田字内の堤塘を民有第壹種山林に組換) *下書 海西郡宝地村大字神戸新田廿八番戸神戸分左衛門→殿	明治35年	青色罫紙/(10行)・1通	い 1482-20

褒賞

(金100円愛知県海西郡宝地村、樋管工費寄付奇特につき木杯1組下賜状) 愛知県知事従四位勲三等深野一三[印「愛知縣知事印」]→愛知県海西郡宝地村	明治36年10月28日	罫紙・1通	い 1403-136
--	-------------	-------	------------

その他

賦課令状(第111号金1銭明治38年4月20日限り収入役へ納入につき、領収証共) 海西郡寶地村長佐野新蔵 [印「村長佐野新蔵」]→小川網藏外四名納	明治38年4月10日	印刷用紙・1通	い 1401-92
賦課令状(第2号金65円88銭明治38年4月20日限り収入役へ納入につき、領収証共) 海西郡寶地村長佐野新蔵 [印「村長佐野新蔵」]→神戸分左衛門納	明治38年4月10日	印刷用紙・1通	い 1401-95
賦課令状(第34号金36銭明治38年4月20日限り収入役へ納入につき、領収証共) 海西郡寶地村長佐野新蔵 [印「村長佐野新蔵」]→神戸銀之助納	明治38年4月10日	印刷用紙・1通	い 1401-96
(封筒) * (封筒表書)「廿八年十二月遣候表忠等へ金拾円義援金仮領収付 同月十八日忠治より受取候」		封筒・1点	い 1401-130
領収仮証(義援金10円領収につき) 海西郡役所兵事係 [印「海西郡役所兵事係」]→神戸分左衛門殿	明治28年12月17日	「愛知県海西郡役所」用箋/(13行)・1通	い 1401-131
第一九号聯合建築寄付金(金40円領収につき) 愛知県海西郡長北川予四郎 [印「愛知県海西郡長北川予四郎」]→宝地村大字神戸新田神戸分左衛門氏納	明治28年2月12日	切紙・1通	い 1401-164
(別紙請求証手許まで差し上げにつき書状) 森田→神戸様	2月12日	切紙・1通	い 1401-165
(封筒) * (封筒表書)「愛知県下名古屋市木挽町神戸分左衛門殿 海西郡役所建築費寄附金領収書」/(封筒裏書)「海西郡書記森田光治」		封筒・1点	い 1401-166
(本年6月分民費金1円25銭横井宅治郎分書上につき覚)		青色罫紙を用いた札/(切端)/(虫損あり)・1通	い 1402-176
(本年6月分民費金1円25銭横井宅治郎分書上につき覚)		青色罫紙を用いた札/(切端)/(虫損あり)・1通	い 1402-182

その他

覚(金16両1分凡割書上につき) 金七→御地主様	9月7日	横切紙・1通	い 1398-7
請求証(神戸新田字北新田里道孫右衛門橋架換にて木材など請負金20円につき) 海西郡宝地村大字鳥地新田請負人榑田為吉(印)→神戸分左衛門殿	明治28年4月28日	青色罫紙(10行)・1通	い 1401-146
契約証書(海西郡宝地村大字神戸新田地内池川において漁業行いにつき) 海西郡宝地村大字神戸新田廿三番戸岡戸伊右衛門(印)・全村四番戸奥田数松(印)・全村武番戸早川清右衛門(印)・全村十九番戸犬飼助十郎(印)・同郡十四山村大字四郎兵衛新田横井大助(印)・同郡十四山村亀ヶ地内山彦三郎(印)・同郡宝地村大字神戸新田保証人早川金右衛門(印)・同村全早川惣兵衛(印)→神戸分左衛門殿	明治31年3月24日	青色罫紙/(12行)・1冊	い 1401-156
(海西郡神戸新田神戸分左衛門扣金2円67銭金銭書上覚)		札/(虫損あり)・1点	い 1402-175
(7月3日白木綿6反村方女人中代金2円62銭5厘他メ金3円6銭2厘5毛につき) 金左衛門	5月21日	横切紙・1通	い 1402-198
覚(4月2日白木綿3反村方女人中代金1円他メ金2円18銭7厘5毛書上) 金左衛門		横切紙・1通	い 1402-202

(133石6斗7升7合ほか午年・未年の米の石数書付)		小切紙/(い 1655-1-16~33 は紙縫一括)・1 通	い 1655-1-16
(申年・未年の引高・過米書上)		横切継紙/(い 1655-1-16・18 を巻込)・1通	い 1655-1-17
(織右衛門・円七の未年分の何らかの米高書付)		小切紙・1通	い 1655-1-18
覚(吉田馬次郎銭48文他メ銭172文支度代支払いにつ き書付)	10月2日	小切紙・1通	い 1655-1-43
おほへ(ヒレ俵船積み・水揚げ・納入につき書付)		小切継紙・1通	い 1655-1-45
(坪メ石高など勘定書)		札/(白紙札 付)・1点	い 1655-1-50
覚(神戸様ほか一人別正金書付)		小切紙・1通	い 1655-2-4
(神戸分97匁4分4厘送付につき書付)		札・1点	い 1655-2-5
南方徳米并下用(天保7年~天保15年までの作徳米高 書付) *作成途中		折紙・1通	い 1981-18
南方徳米并下用(天保7年~天保15年までの作徳米高 書付) *作成途中/い1981-18と同内容 辰右衛門	午7月改	折紙・1通	い 1981-19

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

四郎兵衛新田

全体

乍恐御達奉申上候口上之覚(四郎兵衛新田替地分と古台郷のなかの私扣地の本証文提出につき) * (端裏書)「扣」 犬山屋文左衛門	(享和元年以後)西9月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1371
覚(金13円57銭四郎兵衛石代受取につき) 金七	(近代)1月29日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1400-11
記(金36円18銭5厘四郎兵衛新田石代金受取につき) 神戸周太郎→旦那様	3月28日	横切紙・1通	い 1400-15
覚(貴殿扣海西郡四郎兵衛新田御見取所一円を3ヶ年受作するにつき) 竹田新田庄右衛門(印)・四郎兵衛新田請合庄屋徳兵衛(印)、(奥書)大宝前新田証人重右衛門(印)→名古屋材木町犬山屋文左衛門殿	宝暦9年卯4月	縦紙・1通	い 1412-1
乍恐口上之覚(庄右衛門頼みの通り田地を沽券証文として質物にせぬよう) (徳兵衛)	9日	縦継紙/(い1412-1に巻込)/(い1412-2~3は巻込一括)・1通	い 1412-2
(当年の御上納米の内70石は百姓共御救に御免じくださるよう願)		横切継紙・1通	い 1412-3
口上(四郎兵衛新田替地割合につき反別減にて金元を得心させたま旨) *(端裏書)「扣」		縦継紙・1通	い 1474
(四郎兵衛新田ほか新田分村費地租など書上)	明治10年	横半列帳(列帳綴)/(虫損あり)・1冊	い 2054

取得

取得

請取申金子之事(兼山庄右衛門・犬山只助方へ替地内の田畑譲り代他132両2分・銀12匁) *(端裏書)「案文」/い1897と同文 三輪四郎兵衛→神戸分左衛門殿	正徳2年辰5月	縦紙・1通	い 1308-17
請取申金子之事(兼山庄右衛門・犬山只助方へ替地内の田畑譲り代他132両2分・銀12匁) *写/い1308-17と同文 三輪四郎兵衛判→神戸分左衛門殿	正徳2年辰5月	縦紙・1通	い 1897
永代ニ相渡申田畑之事(四郎兵衛新田の内田畑2町余金子90両にて売渡証文) 四郎兵衛新田田畑譲り主四郎兵衛判・同断市右衛門判・同所新田庄屋徳兵衛判・硯村庄屋証人治郎兵衛判→兼山村庄右衛門殿・犬山只助殿	正徳2年辰5月	切継紙・1通	い 1899
永代ニ相渡シ申田畑之事(四郎兵衛新田替地の内田畑5町歩金子75両にて売渡証文) 竹田村田畑譲り主庄右衛門判・四郎兵衛新田庄屋徳兵衛判・東舘村証人治郎兵衛判・上押萩村証人傳左衛門判→兼山村庄右衛門殿・大宝前新田唯助殿	享保21年辰2月	切継紙・1通	い 1898
永代譲渡申田畑之事(海西郡四郎兵衛新田御見取所一円を代金155両にて永代譲渡) *写 竹田村田畑譲り主廣田庄右衛門・四郎兵衛新田証人藤吉・同所庄屋徳兵衛、(奥書)竹田新田廣田庄右衛門・四郎兵衛新田庄や徳兵衛→名古屋神戸文左衛門殿	宝暦8年寅3月	縦紙・1通	い 1479-4

掬米徴収

納米目録等

覚(四郎兵衛新田替地の神戸文左衛門分替地2町4畝 歩の納米と年貢米差引勘定7斗余など書付)	辰5月	折紙・1通	い 1981-14
--	-----	-------	-----------

経営費用

(封筒) *(封筒表書)「四郎兵衛新田廿五年廿六年村費受取書 横井代助ヨリ受取廿八年四月廿日安井より受取」		封筒・1点	い 1399-61
記(金4円35銭4厘、十四山村四郎兵衛新田去る25年26 年度大字費用受取につき) 大字惣代横井代助[印]→ 神戸分左衛門殿	明治28年8月22日	青色罫紙/(12 行)・1通	い 1399-62

堤・橋などの普請

請取申日中金之事(四郎兵衛新田堀割御普請金のう ち金200両) 六吉[印]・勘兵衛(印)→分左衛門殿・平兵衛 殿	宝永5年子閏正月15日	罫紙/(い 1478-1~3は一 綴)・1通	い 1478-1
請取申日中金之事(市江悪水落堀方日中金のうち金 100両) 東条村勘兵衛(印)→犬山屋分左衛門殿・井筒屋平 兵衛殿	子2月22日	堅切紙・1通	い 1478-2
請取相渡申日中金之事(海西郡四郎兵衛新田堤普請 所郷人足につき金145両3分余) 水野文四郎(印)→生 駒伊右衛門殿・益田安兵衛殿	宝永5年子12月	堅切紙・1通	い 1478-3
一札(四郎兵衛新田替地割渡しの際の堤杖入用金取 決証文) 海西郡四郎兵衛新田庄屋徳兵衛・同郡竹田村替 地地主庄右衛門・同郡鮫ヶ地村同断紋左衛門・同郡東蜷村同 断次郎兵衛・同郡四郎兵衛新田百姓藤左衛門→平手傳助殿・ 箕浦伝右衛門殿・岩出平六殿・丹羽藤藏殿	享保8年卯4月22日	罫継紙/(虫損 あり)・1通	い 1902
(我方堤外のり下敷地除南へ三尺通は小作衆が田成 され、我等控犬走りである旨報知の書状) 四郎兵衛 新田にて三輪市右衛門→宝堤新田にて小川唯助様	卯月28日	罫紙・1通	い 1764
覚(四郎兵衛新田掘方普請日論見書) *(端裏書)「十一 月晦日益田殿遣覚ひかへ」 →益田殿	11月晦日	罫継紙・1通	い 1909
人造立切及南橋台工事請負証書 海西郡拾四山村大字 四郎兵衛新田三拾四番戸伊藤源之助(印)・全郡全村全大字三 拾三番戸鈴木鉄藏(印)→神戸分左衛門殿	明治37年12月27日	青色罫紙/(10 行)・1通	い 1482-8

年貢・村入用負担

その他

申年替地御年貢勘定(年貢米等ノ米15石余・銭12貫余 勘定書付)	宝暦3年酉正月	罫継紙・1通	い 1981-33
(包紙) *(包紙上書)「天保三年辰七月四郎兵衛新田御指地 年数引御判物」		包紙・1点	い 1460-0
(四郎兵衛新田葭野を田方に起返につき10年引の旨 申渡) *(端裏貼紙)「当辰より申迄五年四郎兵衛新田定納 米七斗壹合此壹斗八升六合年数引米」 織大助[印]→右村 庄屋	天保3年辰7月	横切紙・1通	い 1460-1

四郎兵衛新田/年貢・村入用負担/その他

覚(四郎兵衛新田下用割当受取書) 新田庄屋→御地主様御勘定場	子12月	小切紙/(い1665-12-1~13は紙縫一括)/(い1665-12-1~3は巻込一括)・1通	い1655-12-1
御三役銀下用之覚(329匁余受取書) 四郎兵衛庄屋藤二郎→旦那様	寅12月25日	小切継紙・1通	い1789-3
覚(四郎兵衛新田井領米等6両余書付) 唯助	卯7月4日	堅紙・1通	い1981-28

公儀との関係

土地

口上之覚(四郎兵衛新田替地につき) * (端裏書)「享保七年寅五月四郎兵衛新田替地之者共替地代へ度々願相立二付野方御役所之諸御代官御寄分差上之口上書」 犬山屋分左衛門→清水弥右衛門殿・平手傳助殿	(享保7年)寅5月	堅継紙・1通	い2037
口上之覚(四郎兵衛新田替地につき) * (端裏書)「扣享保七寅年替地之義二付定納米式斗ツ、之管ニ而仰付被下候様平手傳助殿迄差遣候書付」 犬山屋分左衛門	(享保7年)12月	堅継紙・1通	い2038
不納禿地之事(海西郡四郎兵衛新田6畝5反分海内になるにつき) 濃州郡奉行土岐市右衛門・地方目付田中九右衛門・林又左代水伴左山田杢右衛門、(奥書)水伴左・林又左	寛延3庚午11月	堅紙/(鼠損あり)・1通	い1472
不納替地之事(四郎兵衛新田替地高引につき証文写) * (端書)「是ハ四郎兵衛新田替地高引ニ付御役所より被下置候御証文之写 本紙ハ藤十郎方ニ御届候管」 濃州郡奉行土岐市右衛門・地方目付田中九郎右衛門・林又左水伴左代山田杢右衛門、(裏書)水伴左・林又左	寛延3庚午11月	堅継紙・1通	い2039
不納替地之事(四郎兵衛新田替地高引につき証文) * 写 濃州郡奉行土岐市右衛門・地方目付田中九郎右衛門・林又左水伴左代山田杢右衛門、(裏書)水伴左・林又左	寛延3庚午年11月	堅継紙・1通	い2040
(竹内新田庄右衛門扣田地四郎兵衛新田請け戻し不承知の件につき書状) (富永助左衛門内)安井清右衛門→神戸文左衛門様	7月2日	横切継紙/(包紙共)・1通	い1586
乍恐奉願上候御事(海西郡四郎兵衛新田内御見取所を竹田村庄右衛門取戻・替地願いにつき) * 下書 大宝前新田庄屋重右衛門・犬山屋文左衛門、(奥書)四郎兵衛新田庄屋徳兵衛→郡御奉行所	午9月	横切継紙・1通	い1623
乍恐名前替之覚(四郎兵衛新田常右衛門と名義変更等につき書付)		半(ひねり綴)・1冊	い1950
(大宝前新田・四郎兵衛新田外堤残土下付願書)		小切紙・1通	い2036

争論・願書

乍恐奉願上候御事(当年より15ヶ年定免願書) * 下書 右新田(海西郡四郎兵衛新田)庄屋徳兵衛→磯村藤七郎様	宝暦6年子2月	横切継紙・1通	い1916
覚(出願取消しにつき提出した願書返却の旨証文) 勘三郎(印)・新右衛門(印)・藤四郎(印)他11名、(奥書)庄屋十右衛門(印)・組頭藤三郎(印)・当地(四郎兵衛新田)庄屋藤吉(印)・取扱人武兵衛(印)→御取扱衆中、(奥書)神分左衛門殿	安永5年申2月	堅継紙/(裏打済)・1通	い1546

一札(四郎兵衛新田御見取所にある杵守居屋敷の本高見取掟米の件、兩人屋敷年貢米を受け取る内済案納得につき) 海西郡四郎兵衛新田藤吉・同郡大宝前新田四郎兵衛新田地主惣代重右衛門→海西郡平嶋新田服部市兵衛殿・海西郡大宝新田長尾治右衛門殿・海西郡荷之上村服部弥兵衛殿	安永5申11月	縦紙・1通	い 1547
乍恐重而奉願御事(四郎兵衛新田当立毛仕廻の普請取懸り御免につき) 犬山屋分左衛門[印]・井筒屋平兵衛[印]→野方御奉行所	亥6月	縦継紙・1通	い 1451
(四郎兵衛新田庄屋衆より百姓難渋につき貸渡米か扱米を願う旨書状) 神戸新田唯助→川村九兵衛様貴下内事	3月12日	横切継紙・1通	い 1851
奉願候事(四郎兵衛新田古堤返還願書) 犬山屋分左衛門→野方御奉行所	午3月	縦継紙・1通	い 1907
乍恐御願奉申上候(四郎兵衛新田御替地御扣の内に新家取立願書) 右新田(四郎兵衛新田)金六(印)、(奥印)右新田(四郎兵衛新田)庄屋藤次郎(印)・同断庄屋常右衛門(印)→旦那様	亥9月	切継紙・1通	い 1918
乍恐奉願上候御事(犬山屋文左衛門への質入地引き渡しに関する願書) 海西郡竹田新田庄右衛門、(奥書)同村庄屋平蔵	午8月	縦継紙/(虫損あり)・1通	い 1978
乍恐奉願上候御事(竹田村庄右衛門の借金地方請作に致したい旨願書) 四郎兵衛新田庄屋徳兵衛→郡御奉行所	午9月	縦継紙/(虫損あり)・1通	い 1979

上納

入札覚(当子3月より巳3月迄御新田の内へ川通り運上金子年分金5兩1分他メ86兩3分につき) 四郎兵衛新田常七→御旦那様入札	子3月15日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	い 1399-83
---	--------	----------------	-----------

神戸外新田

納米并勘定帳

覚(神戸外新田納米30石、右米預り金32兩請取につき) 神戸→口入半六殿	亥12月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1395-14
覚(元利メ高金43兩1分余の内3月飯米代半六かし金他を差引き12兩余の書上) *(端裏貼紙)「子年外新田勘定入用書付」	子3月13日	横切紙/(い1821-1~2は紙縫一括)・1通	い 1821-1
外新田米并金勘定覚		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1821-2

その他

覚(置土前収納高10ヶ年分の概高並びに安永4年まで入用金概高の算用状) *(端書)「安永八申年より去巳年迄十ヶ年勘定之覚」	(安永8年)	横切継紙・1通	い 1668-3-5
借用申金子之事(新田置土入用金205兩2分銀8匁2分1厘借用書) 大宝前新田庄屋唯助[印]→神文左衛門様	安永8年亥正月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1871
覚(外新田地町の過去10年の取米と葎運上金の計算並びに今後の見通しにつき意見書)		横切継紙/(い1668-3-1~5は紙縫一括)・1通	い 1668-3-1

四郎兵衛新田/神戸外新田/その他

<p>覚(外新田地町よりの取分算用書)</p> <p>(外新田地町の過去10年の取米と蒭運上金算用書)</p> <p>(申年以降10ヶ年取米と蒭運上金算用書)</p> <p>覚(外新田作徳米より下用メ高・世話料等の引残金10両1分余本家へ遣す勘定ほか書上) * (端裏書)「丑年外新田勘定帳」</p>	<p>丑正月～寅2月</p>	<p>小切継紙・1通</p> <p>横切紙(灰色宿紙)・1通</p> <p>横切継紙(灰色宿紙)・1通</p> <p>横半半(一ツ綴)/(い1837-1～2は紙縫一括)/(い1837-2を巻込)・1冊</p>	<p>い1668-3-2</p> <p>い1668-3-3</p> <p>い1668-3-4</p> <p>い1837-1</p>
--	----------------	--	---

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
飛鳥新田古台分			
開発			
請取申金之事(新堀割古台入用金3両) 大宝前新田庄屋只助(印)→神戸文左衛門様	寛政10年午7月6日	豎紙/(い1273-1~6は一綴)・1通	い1273-1
請取申金子之事(堀割古台入用金5両) 大宝前新田庄屋只助(印)→神戸文左衛門様	寛政10年午8月22日	豎紙・1通	い1273-2
御請取申金子之事(川堀御用古台取立入用金25両) 大宝前新田庄屋唯助(印)→神戸文左衛門様	寛政10年午8月19日	豎紙・1通	い1273-3
請取申金子之事(堀割古台入用金20両) 大宝前新田庄屋唯助(印)→神戸文左衛門様	寛政10年午8月24日	豎紙・1通	い1273-4
請取申金子之事(新堀割古台入用金250両) 大宝前新田庄屋只助(印)→神戸文左衛門様	寛政10年午9月7日	豎紙・1通	い1273-5
請取申金子之事(古台入用として未暮古台運上金の内30両) 小右衛門(印)→旦那様	寛政11年未12月28日	豎切紙・1通	い1273-6
借用申金子之事(新堀割古台入用として金30両) 治藏(印)→旦那様	寛政10年午11月19日	豎紙・1通	い1308-87
(古台一円取立の儀につき願書) *下書/い1486-2と同内容		横切継紙/(い1486-1~7は一綴)・1通	い1486-1
(古台一円取立の儀につき願書) *(裏書)「みそ吸物かしおり勿論」/下書/い1486-1と同内容		横切継紙・1通	い1486-2
(宝永6年堤普請により4年間納金書上)	6月	横切継紙・1通	い1486-3
覚(堤高・堤外間数書上)		横切継紙・1通	い1486-4
(堤築方代金など勘察成し下さるべきにつき書状)	6月24日	横切紙・1通	い1486-5
(堤築方入用など有増の金高積り書上)		横切継紙・1通	い1486-6
(古台・新開辺堤間数・人数書上)		横切継紙(桃色宿紙)・1通	い1486-7
(三百両上納につき古台地主拜命願など書状) *下書		横切継紙/(鼠損甚大)・1通	い1552
(古台仲間の新開の件につき書状) 弥左衛門→治藏様	5月25日	横切継紙・1通	い1663
(古台の内字別堤丈量書付)		折紙/(い1668-1~4は紙縫一括)・1通	い1668-1
仕方(普請金の内1000両拝借の経緯)		横切継紙・1通	い1668-2
(古台50町歩の分メ1600間の堤築立絵図) *(端裏書)「本積之事」		27.9×77.1・1鋪	い1811
内積仕様(堤建設の際の仕様書並びに概算額4980両勘定書)		横長美(一ツ綴)/(い1864-3-1~5は一綴)・1冊	い1864-3-1
内積仕様(堤建設の際の仕様書並びに概算額4980両勘定書)		横長美(一ツ綴)・1冊	い1864-3-2

飛鳥新田古台分/開発

内積仕様(堤建設の際の仕様書並びに概算額3238両余勘定書)		横長美(一ツ綴)・1冊	い 1864-3-3
内積仕様(堤建設の際の仕様書並びに概算額3378両勘定書) *朱書訂正あり		横長美(一ツ綴)/(紙纏に札貼付有「廿五町分切長之内積り」)・1冊	い 1864-3-4
内積仕様(堤建設の際の仕様書並びに概算額5010両勘定書) *朱書あり		横長美(一ツ綴)/(紙纏に札括り付け有「石屋八拾町分内積」)・1冊	い 1864-3-5
(大宝前新開普請入用金3000両地主より調達分返済書付) 大寶前新田庄屋唯助	8月	横切紙・1通	い 1911

経営費用

その他

覚(金80兩飛嶋新田海用凡割合金の内受取につき) 神戸新田金七(印)→旦那様	申12月25日	横切紙・1通	い 1398-8
覚(金26両請取につき) 飛嶋新田取扱方内田木村(印)→神戸文左衛門様	戌11月11日	堅切紙・1通	い 1400-111
口上書を以御願申上候御事(飛嶋新田古台難渋につき拝借金子利足の分勘弁用捨されたき旨) 只助・平吉・重右衛門→後藤源蔵様	卯2月	横切継紙・1通	い 1461
口舌(干鯛代25兩余・飛鳥御堤普請金62兩余の金子差出につき) 孫次郎→御兄上様	11月4日	横切継紙・1通	い 1615-5
覚(古台入用金利足18銭受取書) 永田屋(印)→神戸様	辰正月10日	小切継紙・1通	い 1667

近世全般

(古台郷田畑25町7反7畝20歩ほか田畑年貢取調につき) →御勘定所加役永田太助様・水谷蔵八様	酉3月3日出分	横切紙・1通	い 1401-188
(飛鳥新田古台分のうち11月に用捨米札へ出頭人別書上)		小切紙/(貼紙あり)・1通	い 1655-12-11
卯冬古台葭山入札代之内辰四月四日小沢市左衛門殿より請取(請取金差引勘定書) 勘定場	辰4月5日	横切継紙・1通	い 1672
(古台芦野代残金、源之丞よりの取立て宥免願等につき書状) 小沢市左衛門→犬山屋治蔵様	大晦日	横切継紙・1通	い 1673
覚(出金元金10兩等、金16兩7分1厘7文受取書) 小沢市左衛門代平九郎→神戸文左衛門様御取次	辰4月4日	横切継紙・1通	い 1676
覚(古台金割金10兩受取書) 同(古台)弥左衛門→神戸文左衛門様	11月晦日	堅紙・1通	い 1682
(葭山の入札一件のうち古台の分は相談延期等につき書状) 小沢市左衛門→犬山屋治蔵様	藪月26日	横切継紙・1通	い 1692

地渡一件

一件記録

永代売渡申地所之事(海西郡飛嶋新田のうち古台80町歩一円を金6800両にて永代売渡) *控 地所売渡主犬山屋文左衛門・加判犬山神戸風也→大宝前新田只助殿・平吉殿・重右衛門殿	文化3年寅5月	縦紙・1通	い 1479-5
預り申金子之事(飛嶋新田之内古台分年賦金預り証文) *写 金預り主関戸鉄太郎印・證人西川弥六印→大宝前新田只助殿・同断平吉殿・同断重右衛門殿	文化3寅年5月	縦継紙・1通	い 1500
(古台の件御勘定所へ別紙願書のとおりに仰付られにつき一札) *下書 →御奉行所	寅4月	横切継紙/(い1402-101~108は一綴)・1通	い 1402-101
覚(1両232文清八他メ金6両1分38匁3分3厘差引残金5両2分5匁3分3厘書上につき)		横切継紙・1通	い 1402-102
(御清見相済につき書上覚) →橋田長七郎様・木村亀三郎様・新井宇兵衛様		横切紙・1通	い 1402-103
(証文写急ぎ役所へ差出すべきにつき一札) 神守役所→急キ大宝前新田庄屋	1月29日	横切紙・1通	い 1402-104
覚(金161両差引残金43両2分11匁1分につき) 小沢市左衛門→神戸文左衛門殿	辰3月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1402-105
(古台80町代金6800両差引メ金7476両1分余書上覚)	寅4月	横切継紙・1通	い 1402-106
覚(金560両他メ金1500両古台分80町歩地渡し願につき) *下書	寅4月	横切継紙・1通	い 1402-107
(大宝前新田庄屋只助、今般大宝前新開御普請仰付られ入用金の内3000両地主申し談じ当月中調達仕るべきにつき申し渡し書) →大宝前新田庄屋只助	8月	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1402-108

願書・申渡等

(飛嶋新田古台分上納金・調達金ほか鳥居嘉右衛門様へ提出の書付) *写 元材木町犬山屋文左衛門	(寛政10年~享和2年)	横切継紙・1通	い 1348
(今般大宝前新開御普請につき御用金の内3000両調達すべき旨申渡) *(端裏書)「写置」→大宝前新田庄屋只助	8月	横切継紙/(い1352-1~4は一綴)・1通	い 1352-1
(大宝前新田古台につき先の調達金とは別段に2000両調達すべき旨申渡) *(端裏書)「写置」→犬山屋文左衛門	9月25日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1352-2
(飛嶋新田普請入用金3000両調達のところ古台分は反数など吟味すべき旨申渡) *(端裏書)「写置」→大宝前新田庄屋只助	丑12月	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1352-3
(昨16日に普請が首尾よく済んだ旨他につき書状) →神戸文左衛門様尊下無[](虫損)	12月17日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1352-4
覚(調達金の内へ金600両上納につき) *写 新田只助印→神戸文左衛門様	寅6月22日	縦紙/(い1351-1~3は一綴)・1通	い 1351-1
覚(調達金の内へ金600両上納につき) *写 御勘定所印→犬山屋文左衛門代大宝前新田庄屋只助	文化3年寅6月	縦紙・1通	い 1351-2

飛鳥新田古台分/地渡一件/願書・申渡等

覚(古台分地代金として1230両受取につき) *写 御 勘定所印→犬山屋文左衛門代大宝前新田庄屋只助	文化3年寅7月	縦紙・1通	い 1351-3
乍恐御達奉申上候口上之覚(四郎兵衛新田替地分と 古台郷のなかの私扣地の本証文提出につき) *(端 裏書)「扣」 犬山屋文左衛門	(享和元年以後)酉9月	横紙/(虫損あ り)・1通	い 1371
(午8月～丑年元金1400両余および利金書上)	午8月～丑年	横切継紙・1通	い 1622-1
覚(御普請金他代メ7584両余の内引残6000両を下置 かれ古台80歩引揚るようお願い)	寅4月	横切継紙・1通	い 1622-2
(役所への出頭御状写し) 支配勘定与頭→犬山屋文左衛 門様	12月22日	切紙・1通	い 1622-3
覚(辰年利米20石代不足金・巳年利米の米俵直し入用 メ6両3歩余書上)	申3月	横切継紙・1通	い 1622-4
(町奉行へ2分斗の袴地・同手代へ100疋斗の品等の書 上)		横切継紙・1通	い 1622-5

近代全般

徴税伝令書(第58号金15円8銭明治38年4月25日限り 収入役へ納付につき、領収証書共) 海西郡飛鳥村長 木村佐太郎[印「海西郡飛鳥村長印」]→神戸分左衛門納	明治38年4月10日	印刷用紙・1通	い 1401-93
賦課令状(第56号金5円68銭地価反別割り)明治38年4 月25日限り収入役へ納入につき、領収証共) 海西 郡飛鳥村長木村佐太郎[印「海西郡飛鳥村長印」]→神戸分左 衛門納	明治38年4月10日	印刷用紙・1通	い 1401-94

飛鳥古堤廃却

(犬飼一件につき証文2通認させたので御覧下さるよ う書状)		横切継紙・1通	い 1636
----------------------------------	--	---------	--------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
服岡新田下之郷			
全体			
(御勘定・御支配方の飛嶋輪中地位取調のため土代積の元帳持参願につき書状) 服岡庄屋中→岡谷様・服部様・伊藤様・神戸様	閏5月8日	横切継紙・1通	い 1655-1-39
覚(潤屋外才土切出の葭野305歩代金7両2分2朱の旨) 新田庄屋→御地主様御勘定場	5月	小切継紙/(い 1838-1~3は紙縫一括)/(い 1838-1~3は巻込一括)・1通	い 1838-1
(御下ケ金を割り服岡へ当り下之分当り銀209匁6分余の書上)		札・1点	い 1838-2
覚(辰年分飛嶋堤上置御下金ほか書上) * (端裏書)「下之郷分 飛嶋堤御普請御下金 辰年分」	閏5月23日	切継紙・1通	い 1838-3
掬米徴収			
検見			
乍恐覚(服岡新田下ノ郷の内犬山屋文左衛門控天保2卯年より同11子年迄検見帳紛失につき) * 控 下ノ郷庄屋辰右衛門印→三村平六様御陣屋	丑7月	縦紙・1通	い 1400-23
掬米計算			
二月五日納之分ヒレ俵之覚(辰左衛門3俵他メ23俵、服岡新田分)	2月5日	横切継紙・1通	い 1655-1-25
掬米運搬・販売			
(石代金6円10銭受取覚) 下之郷善十郎(印)	(近代) 丑1月26日	横切紙・1通	い 1400-12
覚(金10円25銭石代受取につき) 下之郷善十郎→神戸様	3月13日	横切紙・1通	い 1402-180
経営費用			
覚(金4両1分2朱1匁6分4厘服岡御下ケ金割合分今般御渡しくだされ受取につき) 下郷庄屋辰右衛門(印)→神戸様	嘉永3年戌8月2日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1398-3
覚(下之郷御償金未年帳面へ入分孫四郎より受取金62両余の使途書上、普請入用に借り、葵園借り)		折紙・1通	い 1397-4
(下之郷入用ほか差引勘定書付)		横切継紙・1通	い 1399-7
覚(22匁5分2厘貸渡金村方より取立の金子差上、御改め受取べきにつき) 当番庄屋→下ノ郷御庄屋衆中	亥7月8日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1400-65
覚(麦金上納引当金・伝馬銀上納引当金勘定書)	5月29日	小切紙・1通	い 1653-9
覚(8月分内金1匁など書付)	酉8月	小切継紙・1通	い 1665

服岡新田下之郷/経営費用

覚(下ノ郷惣入用引当金3両金銭書上) 辰右衛門→御勘定場	辰12月25日	横切紙・1通	い 1956-10
------------------------------	---------	--------	-----------

土地

下之郷寄畑抜土請取改覚	(嘉永2年)	横長半(一ツ綴)・1冊	い 2007
(包紙) * (包紙上書)「札入」		包紙/(い 1610-1~5は包紙一括)・1点	い 1610-0
(包紙) * (包紙上書)「入札 村方東組」		包紙/(い 1610-1-1~2は包紙一括)・1点	い 1610-1-0
入札(「一 壺坪ニ付式匁五分七リ 村方東組」)		札・1点	い 1610-1-1
(入札「壺坪ニ付式匁壺分八リ 村方西ノ組」)		札・1点	い 1610-1-2
「三之切壺坪付式匁七分・」 * (裏書)「林右衛門(印)」		切紙・1通	い 1610-2
入札(壺坪ニ付式匁式分九リ他) 甚三郎→御庄屋中	2月28日	切紙・1通	い 1610-3
下ノ郷普請ニ付役前出人之覚(21日分乗船数日々32艘ずつ) * (端裏書)「人数ノ五十壺人」		横切紙・1通	い 1610-4
「三切大口壺坪付銀式匁三分・」 * (裏書)「三ふく林四郎・庄五郎(印)・新三郎」		切紙・1通	い 1610-5
服岡新田地分爲取替証文写(大宝前新田・大宝新田地境板取扱につき)		横切紙・1通	い 1615-16

公儀との関係

年貢・村入用負担

覚(服岡新田惣郷下用割通知状) 当番庄屋→下之郷御庄屋衆中	(弘化4)未12月	縦紙・1通	い 1560-26
覚(服岡新田下之郷田畑の見取米10石9斗9升1合につき皆済すべき旨) 江半三(印)・奥喜左(印)→右(服岡新田地主犬山屋文左衛門)	文久2年戌11月	縦紙・1通	い 1467
覚(下ノ郷下用金額書付)		小切紙・1通	い 1653-5
覚(下ノ郷年済米など渡し米勘定書)		小切紙・1通	い 1653-11
覚(盆前下用金不足につき庄屋にて立替の旨通知状) 服岡新田当番庄屋→下之郷御地主衆中・御庄屋衆中	戌7月12日	横切紙/(い 1655-2-9~10は巻込一括)・1通	い 1655-2-9
覚(御下ヶ金割当り金より盆前下用不足分の差引分送付の旨通知状) 唯助→下之郷庄屋辰右衛門	戌7月25日	横切紙・1通	い 1655-2-10
覚(惣下用など辰右衛門殿渡し分勘定書)		小切紙/(い 1655-2-15~16は巻込一括)・1通	い 1655-2-15
(惣郷下用割当金内訳書付) 辰右衛門	子12月25日	小切紙・1通	い 1655-12-3

庄屋役

(神戸新田金七、服岡新田下之郷庄屋役申付書) * (包紙上書)「安政三年辰十二月十九日下之郷庄屋金七役儀被仰渡書付」→神戸新田近七	安政3年辰12月19日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1398-4
乍恐奉願上候御事(服岡新田下ノ郷名主退役願書) 神戸新田辰右衛門→山田貫一郎様御陣屋	卯7月	縦紙/(い1947・い1948は畳込一括)・1通	い 1947
乍恐奉願上候御事(服岡新田下ノ郷名主辰右衛門退役につき願書) * 下書カ 地主鍋蓋新田伊平・同断蟹江本町村甚平・同断犬山屋文左衛門→山田貫一郎様御陣屋	卯7月	縦紙・1通	い 1948

願書

①乍恐奉願上候御事(服岡新田、大宝前新田只助など3人へ今般右地所譲渡御聞き済み下されたきにつき)、②乍恐奉願上候御事(犬山屋辰治郎扣分服岡新田今般私どもへ譲渡お聞き済み願上につき) *①②とも下書 ①犬山屋辰治郎、②重右衛門・唯吉・只助	①②卯8月	横切紙/(い1402-170~186は一綴)・1通	い 1402-170
---	-------	---------------------------	------------

取立金・調達金

覚(礼金249両1分ト14匁5分1厘差引残金68両3分ト14匁2分6厘下之郷調達金この節御返金慥かに請取につき) 下之郷扣主神戸新田金七(印)・同断鍋蓋新田伊八(印)・同断蟹江本町村甚平(印)→神戸文左衛門殿	弘化5年申4月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1398-5
覚(札金249両1分ト14匁5分1厘差引残金68両1分ト14匁2分6厘、文政13寅年下ノ郷6町5反へ割当の調達金御勘定所よりこの節不明御返金受取につき) 同断(下ノ郷)神戸新田金七・同断(下ノ郷)鍋蓋新田伊八・下ノ郷扣主蟹江本朝甚平→神戸文左衛門殿	弘化5年申4月	横切紙・1通	い 1399-24
(6町5反歩へ割当5貫582匁8分3厘下ノ郷内訳ノ93両と2匁8分5厘書上覚)	戊極月25日	横切紙・1通	い 1398-10
覚(下ノ郷先年調達金取調は文左衛門帰宅次第差出すべき旨) 犬山屋文左衛門代条助→服岡新田地仲満御衆中様	申4月10日	切継紙/(い1615-1~36は紙縫一括)・1通	い 1615-1
覚(服岡新田鬮引調達金112両余の割賦次第書付) →服岡新田庄屋中	寅11月	横切紙・1通	い 1922-7

小作人

作小屋住居証文之事(屋敷地間済につき) 屋敷主弥左衛門(印)・証人下ノ郷林右衛門(印)→下ノ郷御庄屋重右衛門殿	天保12年丑2月	縦紙/(い1469-1~2は巻込一括)/(虫損甚大)・1通	い 1469-1
作小屋住居送り一札之事(作小屋住居の弥左衛門・女房とし人別送りにつき) 右(西福田)新田庄屋服部宅左衛門(印)→服岡新田下之郷御庄屋重右衛門殿	天保12年丑2月	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1469-2
(服岡新田諸ノ郷・下之郷・笹之郷作人名、下之郷付替願につき書付)		小切紙・1通	い 1655-2-31

近代土地購入

服岡旧地券証請取書(地券正30枚請取につき) *後欠 青木次兵衛(印)	7月2日	赤色罫紙/(8 行)/(虫損あ り)・1通	い1400-16
--	------	-----------------------------	----------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

海部郡の新田

鍋蓋新田

経営記録

乍恐奉願上候御事(海東郡鍋蓋新田相統難につき三ツ取御定免にされたき旨) 鍋蓋新田庄屋武兵衛・右新田地主元材木町文左衛門・右同断茶屋町次郎左衛門→磯村藤七郎様	宝暦6年子8月	縦継紙・1通	い 1443
覚(鍋蓋新田御証文並びに御書付類開発以来諸帳面諸書付など引き渡しにつき) 永田善次郎(印)→神戸文左衛門殿	寛政2年戌9月	縦切紙・1通	い 1292-11
(米39石鍋蓋新田洩汐痛方内訳通知)	子12月	縦継紙・1通	い 1396-24
(鍋蓋新田安田要右衛門病死につき忉重内引越住居し百姓になりたき旨書状)	5月	横切縦紙・1通	い 1640-7-6
乍恐奉願上候御事(鍋蓋新田悪水落方のため田地切欠縮めの件並びに新規堤など普請につき願書) 鍋蓋新田庄屋武兵衛・元材木町文左衛門・菊屋町次郎左衛門	辰3月	縦継紙/(い 1974-1~2は貼付一括)・1通	い 1974-1
(鍋蓋新田普請計画絵図)		30.5×42.5・1鋪	い 1974-2

経営収支

覚(鍋蓋新田去酉年入用金御遣分5両1分余受取につき) 兼山屋喜兵衛(印)→犬山屋分左衛門殿	戌2月4日	縦切紙・1通	い 1294-31
覚(未申年新田入用勘定金10両3分余受取につき) 兼山屋与市(印)→犬山屋分左衛門殿	酉2月5日	縦切紙・1通	い 1294-32
覚(卯年分新田入用差引残金受取書) 兼山屋与市(印「兼山屋」)→犬山屋分左衛門殿	辰2月6日	縦切紙・1通	い 1531-19
覚(辰年分新田入用金勘定差引御遣分受取書) 兼山屋与市(印「兼山屋」)→犬山屋分左衛門殿	巳2月13日	縦切紙・1通	い 1531-20
覚(巳年分新田入用金割合御遣分受取書) 兼山屋与市(印「兼山屋」)→犬山屋分左衛門殿	午正月12日	縦切紙・1通	い 1531-23
覚(戌ノ年分の鍋蓋新田入用受取証文) 兼山屋与市(印「兼山屋」)→神戸分左衛門殿	亥2月2日	縦紙・1通	い 1531-35
覚(材木代金2両余受取書) 山形屋庄兵衛(印)→なへふた新田平井次平殿	戌3月	縦切紙・1通	い 1977

掬米販売

覚(鍋蓋新田米売払いにて金62両受取書) *(裏書)「鍋蓋新田勘定付内金式分有 代式拾五文新田式拾五文金拾」 神戸兵治(印)→伊藤喜助様	戌12月6日	縦切紙・1通	い 1939
--	--------	--------	--------

土地・用水・年貢

(鍋蓋新田御検見の儀相済並びに小検見日取の報知願等につき書状) 新田忠右衛門→御勘定場後藤衆助様御用向キ入	10月17日	横切継紙・1通	い 1655-1-22
(検見の件十右へ相談、鍋蓋新田の検見無事終了等につき書状) 五兵衛→文左衛門様	10月12日	横切継紙・1通	い 1702
請取申金子之事(なへふた山御年貢代金5両余請取書) 押萩村清兵衛(印)→大宝前新田分左衛門殿	12月16日	切紙/(い 1944-1~4は一綴)・1通	い 1944-1
覚(なへふた山御年貢代金5両余請求書) 竹田村五兵衛・押萩村清兵衛→大宝前新田分左衛門殿	丑12月14日	横切紙・1通	い 1944-2
鍋蓋新田御年貢金割府(八つの法メ金186両余につき)	丑閏12月11日	横切継紙・1通	い 1975
覚(年貢米の摺米、蔵入の入費など届書) 海東郡鍋蓋新田庄屋武兵衛(印)→森村勘左衛門様	酉7月	縦継紙・1通	い 1564-18

潤屋新田

為取替証文之事(潤屋新田振留境杭打の件につき証文) 神戸新田庄屋忠右衛門・重右衛門→潤屋新田御庄屋服部周吉殿	天保10年亥11月	縦紙/(裏打あり)・1通	い 1955
(新新田葭地の儀等につき用状)	6月6日	横切継紙/(い 1505-10-1~4は巻込一括)・1通	い 1505-10-1
(鍋蓋堤走等の儀につき用状)	6月7日	横切継紙・1通	い 1505-10-2
御見分(見分諸役人書上)	6月朔日	小切紙/(い 1505-10-3はい 1505-10-4に挟み込み)・1通	い 1505-10-3
(大宝前新田・鍋蓋新田間新新田願之場絵図)		24.0×22.7・1鋪	い 1505-10-4

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
愛知郡の新田			
化物新田			
受取書・書状等			
仮証(化物新田行修繕費金18円受取につき) *(貼紙) 「化物新田修繕費拾八円共受入廿四年十一月二十四日付」 名古屋閩鍛冶町菅井孫右衛門(印)→神戸様	明治24年11月24日	印刷用紙/(木版印刷)/(い1401-350~352は一綴)・1通	い 1401-350
(化物新田修繕費名古屋取り集め金165円一時取替加藤へ渡し本証と引替申すべしにつき書状) □松栞→鷗汀君	11月24日	横切紙・1通	い 1401-351
記(金301円28銭2厘、明治31年化物新田共諸入費差引正徳金差引90円96銭1厘5毛渡しにつき) 加藤勝寿→神戸様・天野様(印)・菅井様	(明治)31年2月20日	横切継紙・1通	い 1402-153
記(金2千円33年1月よりの利子の内1千円は12月18日返却にて金143円40銭他メ金144円28銭9厘受取につき) 天野佐兵衛(印「尾州新川天野佐兵衛」)→神戸分左衛門様	明治34年1月31日	横切継紙・1通	い 1401-74
記(米この者へ御渡し願ひにつき) 天埜(印)→木挽町様御もとへ	(明治)36年12月22日	切紙・1通	い 1401-70
記(本年春麦代金159円受取につき) 天野佐兵衛(印)→神戸様	明治36年9月21日	切紙・1通	い 1401-71
証(化物新田5年分掬米残額包1個請取、請取証加藤様へ借出につき) 天野佐兵衛[印]→神戸様	(明治)36年3月9日	切紙・1通	い 1401-72
覚(繰米代金2円ほか受取につき) 天野佐兵衛(印)→神戸様	(明治)36年12月19日	切継紙・1通	い 1401-73
共有地			
(共有地税44円42銭余菅井様より送付され頂戴した旨挨拶状) 熱田加藤誠介→名古屋市木挽町神戸分左衛門様	(明治)40年7月18日	ハガキ/(い1639-5-8-1と い1639-5-8-2 は一折)・1通	い 1639-5-8-1
(宇治銘茶一函惠贈の礼状) 熱田加藤誠介→名古屋市木挽町神戸分左衛門様	(明治)40年7月6日	ハガキ・1通	い 1639-5-8-2
記(廣葉1斤代2円93銭受取書) 升屋半三郎→神戸分左衛門様	7月4日	切紙/(い1639-5-8-1・2で包 込)・1通	い 1639-5-8-3
記(天野様分として金1円34銭余受取書) 菅井菊之介→神戸様	7月17日	切紙/(い1639-5-8-1・2で包 込)・1通	い 1639-5-8-4
堤防			
(字幢木築留西化物新田絵図)		16.0×68.0・1鋪	い 1399-55

紀左衛門新田(豊田村・呼続村)

諸帳簿・書状・受取書等

(呼続町役場へ送付の六割分筆届、書面悪しきにて訂正の上送付下されたきにつき) 佐々野銀次郎→天竺三郎殿	12月10日	横切紙・1通	い 1401-100
記(紀左衛門新田引当添附割合金58銭受取につき) 藤田伊左衛門→神戸分左衛門様・天野傳兵衛様	2月25日	切紙・1通	い 1401-213
覚(藤田の礼半額金29銭ほか差引ノ1円87銭3厘請取につき) 天野→神戸様	明治25年4月5日	横切継紙・1通	い 1401-214
記(天野佐兵衛殿分金125円請取につき) 藤田孫次郎(印「藤田」)→神戸様	11月13日	切紙・1通	い 1401-215
(紀左衛門新田種々御勘定、全部喜兵衛へお渡し下さるべく拝借につき書状) 天野左兵衛[印]→神戸様	11月12日	横切継紙・1通	い 1401-216
証(紀左衛門新田見舞金として金11円受取書) 名古屋市本町瀧兵右衛門商店(印「名古屋区本町 瀧兵商店」)→神戸様	明治29年9月12日	印刷用紙・1通	い 1639-5-6
記(金69円91銭1厘、紀左衛門新田29年度麦代金佐野より差出の分受取につき) 天竺三郎→神戸様	明治29年12月5日	横切紙・1通	い 1402-152
(封筒) * (封筒表書)「愛知郡呼続町大字豊田佐野銀次郎 名古屋市西込木挽町神戸分左衛門様」	(明治)45年3月17日	封筒/(い1399-103-1~3は一綴)・1点	い 1399-103-1
(六ノ割反別6反3畝16歩絵図)		24.7×33.2・1鋪	い 1399-103-2
(六ノ割堤敷 堤敷3畝25歩絵図)		24.7×33.2・1鋪	い 1399-103-3
分筆届(愛知郡呼続町ノ大字麦田につき) 西春日井郡新川町大字土器野新田三百六十番地天野三郎[印墨消]・海西郡十四山村大字神戸新田五百式番地神戸分左衛門(印切取)→名古屋税務署茶田寛殿	大正元年11月17日	黒色罫紙/(12行)・1通	い 1401-97
分筆届(愛知郡呼続町大字麦田につき) 西春日井郡新川町大字土器野新田三百六十番地天野三郎[印墨消]・海西郡十四山村大字神戸新田五百式番地神戸分左衛門(印切取)→名古屋税務署茶田寛殿	大正元年11月17日	黒色罫紙/(12行)・1通	い 1401-98
(1、31.20ほか面積計算図)		38.5×15.5・1鋪	い 1401-99
(金3円紀左衛門新田地図調製請負内金ほか書上覚)		横切紙・1通	い 1402-243
(埋立のための堀川浚渫の土砂捨方願書下戻の通知) 呼続町役場[印]→天野三郎殿・神戸分左衛門殿	大正3年5月26日	「愛知郡呼続町役場」用箋/(12行)/(い1445-1~3は一綴)・1通	い 1445-1
堀川浚渫捨土ノ儀ニ付願(土砂を県庁の任意により捨土されたき旨) 愛知県西春日井郡新川町大字土器野新田参百六拾番地天野三郎(印)・同県海西郡十四山村大字神戸新田五百式番地神戸分左衛門(印)→愛知県知事深野一三殿	明治45年7月30日	黒色罫紙/(13行)・1通	い 1445-2
愛知郡呼続町大字豊田字六ノ割新田(低地捨場提示の図面)		31.5×53.5・1鋪	い 1445-3

土地取得

おほへ(神戸分左衛門、受取金240円を喜左衛門新田地代へ渡す旨書付)	(明治)13年4月21日	札・1点	い 1697
------------------------------------	--------------	------	--------

堤防

工事見積書(紀左衛門新田字六ノ割堤防の工事29円80銭余) 佐野銀次郎→神戸分左衛門殿・天竺佐兵衛殿	明治35年10月	「神戸氏藏」用箋(一ツ綴)/(10行)・1綴	い 1482-22
見積書(紀左衛門新田堤防修繕工事費19円余など金銭・人足など書上) 佐野銀次郎→神戸分左衛門殿・天野佐兵衛殿	明治38年5月3日	青色罫紙(一ツ綴)/(10行)・1冊	い 1865-9

道德前新田(豊田村)

封筒 * (封筒表書)「徳川家へ売地ニ付来簡」 尾州天竺佐兵衛→木挽町神戸分左衛門様貴下」		封筒/(い1402-274~281は一綴)・1点	い 1402-274
(両堤防入費の件等につき書状) 橋本善述→天竺佐兵衛様	10月4日	横切継紙/(い1402-274~275は一綴)・1通	い 1402-275
(紀左衛門新田・道德前新田地先反別絵図)		24.6×33.6・1鋪	い 1403-97
記(道德新田堤防土木掛より引渡の節の人足代金等メ40円請求書) 徳川邸→天野佐兵衛殿・神戸分左衛門殿	明治18年6月24日	「徳川」用箋(一ツ綴)/(12行)・1冊	い 1865-10

八左衛門新田

開墾事件

(封筒) * (封筒表書)「八左衛門新田屋敷割千四百七拾壹円田三畝廿五歩之内式畝歩畑ニ開墾土持人足賃金三円五拾銭受取証書岡田松三郎ヨリ差入廿六年一月廿九日持参ニテ受取」	明治26年	封筒/(い1401-101~102は一綴)・1点	い 1401-101
証(金3円50銭愛知郡岡崎の内丘八左衛門新田字屋敷割1471番田を以て25歩の内20歩を畑地に变换にて人足賃金前金50銭請負につき) 愛知郡岡崎村岡田松三郎(印)→神戸分左衛門殿	明治25年12月11日	青色罫紙/(10行)/(虫損あり)・1通	い 1401-102
(よんどころ無き事件差し起りご無理申し上げ繰り合わせ方にせまり種々申し上げ恐れ入り、八左衛門新田願ひ替えのみ図面小作証券取調べ並びに界紙等につき書状) *写	1月16日	罫紙・1通	い 1402-151

その他

(南野村八左衛門新田定納米35石余割付状)	享保20年	折紙・1通	い 1981-20
(封筒) * (封筒表書)「天竺君六之割三十六年十一月地料并ニ武兵衛卅四年卅五年所得受取書 十一月十六日 神戸席」		封筒/(い1399は、い1399-1~90とい1399-91~107の二つの綴の結合)/(い1399-1~12は一綴)・1点	い 1399-1
(藤田より再応伊勢曆並びに精算書立来る、八左衛門	1月17日	横切継紙・1通	い 1402-149

愛知郡の新田/八左衛門新田/その他

新田地価の儀につき書状) 天野→神戸様			
(よんどころ無き入用の途出来且つ諸計らいの途も 立たず甚だ困り入り申すにつき願書) *写		堅切紙・1通	い 1402-150
(八左衛門新田周辺坵絵図)		30.6×40.6・1鋪	い 1403-98
(八左衛門新田周辺坵絵図)		30.6×40.6・1鋪	い 1403-99
(借地低地にて耕地にならない件につき書状) →神 戸分左衛門様・天野佐兵衛様	3月5日	切継紙/(い 1865-12-1~3 はクリッパー 括)/(一部判読 不能)・1通	い 1865-12-1
(封筒) →神戸分左衛門殿		封筒・1点	い 1865-12-2
(八左衛門新田堤絵図)		15.0×43.9・1 鋪	い 1865-12-3
(八左衛門新田堤防・悪水樋等につき書付)		青色罫紙/(10 行)・1通	い 1865-13

笠寺村

字上烏山共有地

納税告知書并領収証書(金4円94銭5厘畑地租・金5厘 雑地租計4円95銭納付すべきにつき) 愛知県笠寺村 長立松太左エ門[印「笠寺村長立松太左エ門」]→神戸分左衛 門	大正2年11月20日	印刷用紙・1通	い 1403-104
--	------------	---------	------------

その他

覚(熱田新田前の畑新田堤築方など入札につき触) 岡田佐左衛門→町中丁代衆	(元禄)4月14月	堅継紙・1通	い 2057
(熱田新田前の葭山60町を敷金3800両、9年目に検地 という条件での新田開発につき敷金上納状況に関 する口上書) 元材木町分左衛門(印)→御奉行所様	元禄8年亥2月	堅継紙・1通	い 2056
乍恐奉願畑御新田之御事(熱田新田壱番割の前の畑 御新田50町を敷金2500両、14年目に検地という条 件で開発願) 元材木町宗助・海老屋町市郎右衛門→御奉 行所様	元禄15年午4月	堅継紙・1通	い 1444
覚(熱田新田作廿三番割一円作徳米勘定書)	(文化14)丑10月27日	堅切継紙/(下 札)・1通	い 1564-20

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
大高源兵衛新田			
経営収支			
源兵衛新田平均書付(享保19年～寛保3年の10ヶ年米高)	亥12月迄	横切継紙・1通	い 1725
経営諸記録			
御請状之事(源兵衛新田惣助並びに女房の身上請書) 清須外町惣助・同村請人喜左衛門・本郷村園右衛門→神戸分左衛門殿	享保3年戌2月	堅継紙・1通	い 1891
(一事とは森村のことか新田のことか、森村ならば家来から1人担当を決めてその者の仕様の振りにすればよい旨書状) 源兵衛→分左衛門様	9月5日	横切継紙・1通	い 1718
(源兵衛新田地所地代金積立は何程か等伺いの書状) *下書 神戸草也→川村九兵衛様	6月18日	横切継紙/(い 1776-1～2は巻込一括)・1通	い 1776-1
(源兵衛新田は分家の節御譲りのところ返戻になり代りに1ヶ所譲り替になった旨追記)		小切紙・1通	い 1776-2
(用水井桁は去年通りにては調がたく井筋をも立遣したき旨書状) 山口唯四郎→中嶋半右衛門様	3月15日	横切継紙・1通	い 1777
(先頃物語した一通は認直し今日遣す旨書状) 山口源兵衛→奥田兵治郎様	2月8日	横切継紙/(い 1788-1～2は巻込一括)・1通	い 1788-1
(永田氏は明日御用にて知多筋郷中へ御出につき幾日頃御帰りか伺いの追啓) 源兵衛→兵治郎様	2月8日	切継紙・1通	い 1788-2
(武兵衛殿世話に対する心付の件につき書状) 伊藤喜助→神戸兵次様	12月23日	横切継紙・1通	い 1998-16
掟米徴収			
仲間検見			
(明5日より新田仲間満検見したいのでお出下さるよう報知の書状) 山口源兵衛・同(山口)長右衛門→中嶋半右衛門様	10月4日	切継紙・1通	い 1844
経営費用			
その他			
覚(銀12匁2分4厘武右衛門殿他ノ3分11匁5分1厘新田申暮拝借金当7月返上につき) 源兵衛新田庄や孫次郎→中嶋半右衛門殿	12月3日	横切紙・1通	い 1395-6
覚(金10両御取替他ノ28両2分14匁差引残15両銀3匁7分3厘5につき) 山口源兵衛(印)→神戸分左衛門殿	亥12月	堅紙・1通	い 1395-32
覚(新金13両2分此者へお渡し下されたきにつき) 大高源兵衛(印)→文左衛門様	寅12月朔日	横切紙・1通	い 1400-68
覚(新田勘定金9両と13匁3分2厘持遣わすとの旨) 伝	寅12月29日	堅切紙・1通	い 2001-18

馬町伊右衛門・武兵衛→材木町分左衛門様			
年貢・村入用			
年貢			
御免定(源兵衛新田見取り米89石余年貢割付状) *(裏書)「三石式斗九升八合三七米 出米九十式石四斗一 升八合 御直段壺石壺斗七升 割直段壺石四斗九升かへ」 飯嶋十左衛門→右新田(源兵衛新田)庄や・百姓中	享保19年寅11月	縦紙・1通	い 1936
乍恐奉願上候御事(源兵衛新田困窮につき年貢定納 願書) * (端裏書)「大高新田願書写 寛保元酉年」 愛知郡 源兵衛新田庄屋長右衛門・地主源兵衛→飯島重左衛門様	元文6年酉3月	縦継紙・1通	い 1972
子年免定(愛知郡源兵衛新田・同所野方は定免にて米 合123石余皆済する旨) * 写 本嘉七郎→右新田庄屋・ 組頭百姓	宝暦6年子11月	縦紙・1通	い 1749-5
丑年免定(源兵衛新田・同所野方年貢割付状) 本嘉七 郎→右村(源兵衛新田)庄屋・組頭百姓	宝暦7年丑11月	縦継紙・1通	い 1499
寅年免定(源兵衛新田・同所野方年貢割付状) * (端表 書)「写シ」 本嘉七郎→右村(源兵衛新田)庄屋・組頭百姓	宝暦8年寅11月	縦継紙・1通	い 1496
明和五子年添免定(愛知郡源兵衛新田御免相につき) 水野清左衛門→右村庄屋・組頭・惣百姓	子11月	縦継紙・1通	い 1408
添免定(源兵衛新田定免定納につき高下なく割合べ き旨) 矢藤助→右村(源兵衛新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和6年丑11月	縦紙・1通	い 1442-2
明和七年寅年添免定(愛知郡源兵衛新田) 矢藤助→右 村庄屋・組頭・惣百姓	(明和7)寅11月	縦継紙・1通	い 2032
明和八卯年添免定(愛知郡源兵衛新田御免相につき) 矢藤助→右村庄屋・与頭・惣百姓	卯11月	縦紙・1通	い 1407
覚(源兵衛新田・同新田見取場の定免決定通知書)	午8月	縦切紙・1通	い 1564-19
覚(ノ266石4斗6舂5合の当御年貢皆済につき引合ご 覧くださるよう) 武兵衛(印)→加兵衛様	辰12月15日	横切継紙・1通	い 1749-2
戌年免定(愛知郡源兵衛新田ノ114石余割付状) (免相相談につき書状) 山口源兵衛→奥田兵治郎様	正月26日	縦紙・1通 横切紙・1通	い 1981-24 い 1998-6

諸入用

(封筒) * (封筒表書)「源兵衛新田井領米一条千賀金五郎謝礼 請取」	19年7月4日	封筒/(い 1603-1~3は紙 縫一括)・1点	い 1603-1-0
証(源兵衛新田井領米一条につき書面認料金2円受取 書) (名古屋呉服町)千賀金五郎[印]→源兵衛新田地主御 中	明治19年7月4日	青色罫紙/(10 行)・1通	い 1603-1-1
(過分の領物札状) 千賀金五郎→神戸分左衛門様	7月9日	切紙(桃色宿 紙)・1通	い 1603-1-2
覚(麦金早納上納引当金など大高新田庄屋へ引渡し 金勘定書)		横切継紙・1通	い 1655-1-40

作徳米計算

その他

酉年源兵衛新田(取米ノ27石2斗2升5合) 元ノ源兵衛(印)→文左衛門殿	酉極月	折紙・1通	い 1442-3
酉年源兵衛新田(取米ノ10石9斗9升3合) 元ノ源兵衛(印)→伊右衛門殿	酉極月	折紙・1通	い 1442-4
①(丑年源兵衛新田取米申上書)、②(丑年源兵衛新田取米申上書)、③(伊右衛門分・分左衛門分年具米差引残金書上) ①源兵衛新田庄屋四郎右衛門(印)・口元ノ源兵衛(印)、②源兵衛新田庄屋四郎右衛門(印)・口元ノ源兵衛(印)、③大高村鈴木四郎右衛門(印)・山口源兵衛(印)→①文左衛門殿、②伊右衛門殿、③奥田兵治郎様	①②③丑12月	横長半(一ツ綴)/(い1529-1~14は一綴)・1冊	い 1529-1
(源兵衛新田掛米覚書)		折紙・1通	い 1529-2
(源兵衛新田取米申上書) 元ノ源兵衛(印)→伊右衛門殿	子極月	折紙・1通	い 1529-3
(源兵衛新田取米申上書) 元ノ源兵衛(印)→文左衛門殿	子極月	折紙・1通	い 1529-4
(源兵衛新田取米申上書) 元ノ源兵衛(印)→文左衛門殿	卯12月	折紙・1通	い 1529-5
(源兵衛新田取米申上書) 元ノ源兵衛(印)→伊右衛門殿	卯12月	折紙・1通	い 1529-6
(源兵衛新田取米申上書) 庄屋四郎右衛門(印)・元ノ源兵衛(印)→伊右衛門殿	巳12月	折紙・1通	い 1529-7
(源兵衛新田取米申上書) 庄屋四郎右衛門(印)・元ノ源兵衛(印)→分左衛門殿	巳12月	折紙・1通	い 1529-8
①(源兵衛新田取米申上書)、②(源兵衛新田取米申上書)、③(伊右衛門分・文左衛門分年貢米差引残金書上) ①庄屋四郎右衛門(印)・元ノ源兵衛(印)、②庄屋四郎右衛門(印)・元ノ源兵衛(印)、③大高村四郎右衛門(印)・源兵衛(印)→①伊右衛門殿御扣、②文左衛門殿御扣、③兵治郎様	①②③子極月	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1529-9
覚(平吉心付扣分・伊右衛門分・分左衛門分出米申上書) 大高村山口源兵衛(印)・同長右衛門(印)→神戸分左衛門様御内川合嘉兵衛様	卯極月	折紙・1通	い 1529-10
覚(伊右衛門分・分左衛門年貢米差引残金差上書) 鈴木四郎右衛門(印)・山口源兵衛(印)→川合嘉兵衛様	寅極月	折紙・1通	い 1529-11
覚(伊右衛門分・分左衛門年貢米差引残金差上書) 大高山口源兵衛(印)→神戸分左衛門殿御内河合嘉兵衛殿	子極月	折紙・1通	い 1529-12
覚(伊右衛門分・分左衛門年貢米差引残金差上書) 庄屋四郎右衛門(印)・元ノ源兵衛(印)→分左衛門殿御内嘉兵衛殿	巳12月	折紙・1通	い 1529-13
覚(伊右衛門分・分左衛門年貢米差引残金差上書) 元ノ源兵衛(印)→神戸御内嘉兵衛殿	卯極月	折紙・1通	い 1529-14

土地

(当春境御見分がある旨、金子入用につき15両取替下されたき旨願いの書状) 山口源兵衛→中嶋半右衛門様	正月22日	横切継紙(青色・黄色などの色紙の継紙)・1通	い 1858
(貴殿所有の新田付き山・河の儀につき願い書状) 武	正月22日	横切継紙・1通	い 1998-13

大高源兵衛新田/土地

兵衛→分左衛門様			
----------	--	--	--

普請

覚(源兵衛新田普請入用の内金3両2分借用につき) 右新田地主大高村源兵衛(印)→名古屋元材木町神戸分左衛門殿	享保13申ノ5月10日	縦紙・1通	い 1298-3
預申金子之事(新田用水雨池普請入用の内金3両1分) 大高村地主源兵衛(印)→名古屋元材木町神戸分左衛門殿	享保13申7月5日	縦紙・1通	い 1298-4

地租

地券

(金9円13銭4厘愛知郡鳴尾村地券書換印税受取証) 愛知縣令安場保和[印「愛知縣令安場保和印」]→神戸分左衛門	明治12年6月18日	青色「愛知縣」印刷用紙・1通	い 1400-22
--	------------	----------------	-----------

その他

(丁丑源兵衛新田神戸分左衛門殿田地租金21円30銭9厘他×14円47銭5厘につき覚) 源兵衛新田用係(印「久野」)		横切紙/(虫損あり)・1通	い 1400-17
記(金15円21銭3厘源兵衛新田地租金並びに常備金・民費割付の内へ受取につき) 用係久野久兵衛(印)→神戸分左衛門殿	明治11年1月26日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1400-18
記(金2820円12銭源兵衛新田4反歩地租金につき)		横切紙・1通	い 1400-20
(金3円8銭2厘源兵衛新田21年度地租税第1期畑税ほか地租税書上覚)		横切紙/(い1402-241~250は一綴)・1通	い 1402-241

近代土地購入

(山口一条金子御渡し下され落手、4分の1の証券差し上げ延期願いにつき書状) チタ大高村下村實栗→名古屋区木挽町神戸分左衛門様	(明治)21年9月23日	ハガキ/(い1399-67と68は一綴)/(虫損あり)・1通	い 1399-67
記(地代金155円受取につき) 下村誠(印)→神戸分左衛門殿	明治21年[](虫損)19日	青色罫紙/(11行)/(虫損あり)・1通	い 1399-68

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
知多郡の新田			
名和前新田			
諸事留帳ほか			
(魚追留人足の儀困窮につき、向後水落人足一切出さぬ旨書状) 大高屋敷殺生方→犬山新田庄屋組頭中	天明3卯10月	縦紙・1通	い 2020
「横須賀御役所より之取払書付大高村殺生吟味役より証文迄通」		縦紙/(い 2019-1~3は一綴)・1通	い 2019-1
覚(悪水落柴田新田扨所立簀の儀是迄の通り簀立、雨天満水の節取り払うべき旨) 大高村殺生方近藤小三郎(印)→名和前新田庄屋御衆中	文政2年卯9月	縦紙・1通	い 2019-2
(悪水落柴田新田扨前簀取り払い願の儀につき書状) 斎弥五六→名和前新田名和村庄屋	卯7月	横切継紙・1通	い 2019-3
差上申証文之事(名和前新田堤普請手付金等ノ210兩の件につき請証文) 名和前新田普請万場引請方柴田新田庄七印・右同断ニ付引請方同断次郎助印・押切村源右衛門印・中嶋郡西嶋村証人安左衛門・道徳新田証人幸蔵→砂唐屋又兵衛殿	天保3寅2月12日	縦継紙/(虫損あり)・1通	い 1943
請作仕一札之事(田畑1ヶ年御預りにて合納ノ6石6斗3升3合納米につき) 名和前新田請作人桑三郎・同村親類清五郎・同組頭紋四郎・同断断茂左衛門(印)・同庄屋勘右衛門(印)→神戸分左衛門御内日比野仙蔵・宮嶋甚左衛門	天保11年子4月	縦継紙・1通	い 2060
覚(請負普請場譲り方につき覚書) * (端裏書)「此書付届村方四歩三分モ請負方惣助譲ニ相成候ニ付新田より差戻シ不用ニ相成候 丑九月十日請取」 犬山支配方日比野専蔵(花押)・宮嶋丈助(印)→名和前新田中	天保12年丑8月	切継紙・1通	い 1867
(金子の儀明後日兵次郎遣わす筈等につき一札) * 前欠/写 榎本甚左衛門→神戸弥左衛門様	4月9日	縦紙/(虫損あり)・1通	い 1396-16
(名和前新田米44石8斗3升6合小舟町庄右衛門へ売渡し代金請取にて右米庄右衛門へ御渡し有るべきにつき書状) 坂仁左衛門(印)・服部九右衛門(印)→神戸分左衛門殿	丑11月28日	縦継紙・1通	い 1400-84
名和前新田亥年より酉年迄拾一ヶ年入用金(普請入用書上)	戌4月	縦継紙・1通	い 1424
覚(犬山神戸孫左衛門殿へ送金依頼状) 名和前新田坂勘右衛門→文左衛門御代中嶋半右衛門殿	12月28日	小切継紙・1通	い 1531-21
(服岡新田・名和前新田関連の事務事項書上)		横切紙・1通	い 1558-4
(明日天気も能ければ御越なさるか尋ねの書状) 榎本甚左衛門→神戸弥左衛門様	4月1日	縦紙・1通	い 1615-35
覚(名和前新田米35石余を赤塚町喜兵衛へ売払につき送り状) 坂仁左衛門(印)・服部九右衛門(印)→神戸分左衛門殿	亥12月27日	縦継紙・1通	い 1938
覚(納米代金102両余受取書) 名和前新田役前中(印)→犬山御支配方	巳12月22日	縦紙・1通	い 1981-27
(名和前新田より米代金到着の件につき書状) 松田平吉→川合嘉兵衛様・奥田兵治郎様	6月15日	横切紙・1通	い 1998-8

地主引継文書

一札之事(名和前新田取立につき入用金・米員数など差上請証) 神戸弥左衛門より→榎本甚左衛門殿	年号月日	縦紙・1通	い 2072
(名和前新田風儀宜しからざるにつき御扣15町歩支配を私に任せられたき旨ほか願書) *下書 神戸弥左衛門	2月	横切継紙・1通	い 1847

地概

譲請申添証文之事(名和前新田概普請の請負権利を村方相對の上讓請につき) * (端裏書)「犬山扣」普請々負并請作主熱田旗屋町惣助印・証人押萩村団右衛門印・名和前新田組頭伊左衛門印・同断紋四右衛門印・右村庄屋勘左衛門印→神戸弥左衛門様御内一殿・一殿	天保12年丑9月	横切継紙・1通	い 1655-3
--	----------	---------	----------

讓渡証文

證文之事(知多郡名和前新田内田畑30町6反余質物に書入れ金100兩借用) 金借り主神戸弥左衛門(印墨消)・證人神戸孫右衛門(印墨消)→近藤伊右衛門殿	明和元年申10月	縦紙/(い 1287-1~3は一綴)・1通	い 1287-1
--	----------	-----------------------	----------

掬米徴収

(名和前新田当巳年分定納米を其元蔵へ入れ小舟町庄右衛門へ売渡す旨申入の書状) 服部九右衛門・笹岡定之右衛門→神戸分左衛門様	(元文2年巳)閏11月15日	切継紙・1通	い 1640-7-13
今度名和御新田諸事入用金并米納り方積り之覚 * 雛形 神戸弥左衛門→榎本甚左衛門殿	年号月日	縦継紙/(虫損甚大)・1通	い 1468
覚(納米25石代34兩2分余御渡しにつき) 名和前新田山口屋與左衛門(印「名和新田」)→神戸文左衛門	寅ノ12月15日	横切継紙/(い 1597-2-6-1~8は紙縫一括)・1通	い 1597-2-6-1
覚(納米50石代61兩2分余御渡しにつき) (熱田岡清) 丁子や清三郎(印「熱田岡清□□」)→神戸文左衛門様・口入与左衛門様	11月	切紙・1通	い 1597-2-6-2
覚(先達て御頼の納米25石分船賃を此人に御渡し下さるよう) (名和新田)山口屋與左衛門(印「名和新田」)→名古屋神戸文左衛門様		切継紙・1通	い 1597-2-6-3

武豊町

(武豊共有地など分大いに延引誠に面目なきにつき書状) 知多郡山海村内藤さツ→名古屋市木挽町	(明治)25年9月7日	ハガキ・1通	い 1399-85
武豊共有地元買代金記(売買代金421円余の内281円御両家分支払書) 内藤さい→神戸・天野御両家様	(明治)36年11月	青色罫紙/(一ツ綴)/(10行)・1冊	い 1865-7

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
三州伏見屋新田			
経営費用			
入用金請取			
請取申金子之事(三河新田入用金5両) 若山左助 (印)→神浄仙様	亥年5月19日	堅切紙・1通	い 1261-2
請取申金子之事(三州新田入用金8両) 若山左助 (印)→神浄仙様	(宝永4年)亥6月朔日	堅切紙/(い 1274-1~6は一 綴)・1通	い 1274-1
請取申金子之事(新田諸払金10両) 若山左助(印)→神 戸分四郎様	宝永3年戌4月18日	堅切紙・1通	い 1274-2
請取申金子之事(新田入用金10両) 若山左助(印)→神 戸分四郎様	宝永3年戌6月5日	堅切紙・1通	い 1274-3
請取申金子之事(新田入用金5両) 伏見屋新田中野権兵 衛(印)→伊東庄兵衛殿	(宝永4年)戌7月11日	堅切紙・1通	い 1274-4
請取申金子之事(新田諸払金5両) 伏見屋新田中野権兵 衛(印)→神戸浄仙様	宝永4年亥7月11日	堅切紙・1通	い 1274-5
請取申金子之事(新田諸払金10両) 伏見屋新田中野権 兵衛(印)→神戸浄仙様	宝永4年亥10月6日	堅切紙・1通	い 1274-6
請取申金子之事(三州新田入用金の内江戸遣金7両2 分) 左助(印)→神(神戸)分左衛門様	亥5月27日	堅切紙/(い 1275-1~14は 一綴)・1通	い 1275-1
請取申金子之事(伏見屋新田入用金15両) 伏見屋新田 中野権兵衛(印)→神戸浄仙様	宝永5年子閏正月29日	堅切紙・1通	い 1275-2
請取申金子之事(新田入用金6両) 伏見屋新田中野権兵 衛(印)→神戸浄仙様	宝永5年子2月晦日	堅切紙・1通	い 1275-3
請取申金子之事(新田入用金5両) 伏見屋新田中野権兵 衛(印)→神戸浄仙様	宝永5年子4月15日	堅切紙・1通	い 1275-4
請取申金子之事(新田入用金10両) 伏見屋新田中野権 兵衛(印)→神戸浄仙様	宝永5年子5月朔日	堅切紙・1通	い 1275-5
請取申金子之事(新田入用金10両) 伏見屋新田中野権 兵衛(印)→神戸浄仙様	宝永5年子6月5日	堅切紙・1通	い 1275-6
請取申金子之事(伏見屋新田諸事入用10両) 三州伏見 屋新田中嶋半右衛門[印]→伊東庄兵衛殿	宝永5年子7月2日	堅切紙・1通	い 1275-7
請取申金子之事(伏見屋新田諸事入用3両) 中嶋半右 衛門[印]→伊東庄兵衛殿	宝永5年子11月7日	堅切紙・1通	い 1275-8
請取申金子之事(三州伏見屋新田入用金15両) 三州 伏見新田中嶋半右衛門[印]→伊東庄兵衛殿	宝永5年子ノ8月20日	堅切紙・1通	い 1275-9
請取申金子之事(三州伏見屋新田入用金5両) 中嶋半 右衛門[印]→伊東庄兵衛殿	子ノ12月	堅切紙・1通	い 1275-10
請取申金子之事(伏見屋新田普請方入用金15両) 中 嶋半右衛門[印]→伊東庄兵衛殿	宝永6年丑3月20日	堅切紙・1通	い 1275-11
請取申金子之事(伏見屋新田入用金15両) 三州伏見屋 新田中嶋半右衛門[印]→伊東庄兵衛殿	宝永6年丑5月11日	堅切紙・1通	い 1275-12
請取申金子之事(伏見屋新田普請方入用金15両) 中 嶋半右衛門[印]→伊東庄兵衛殿	宝永6年丑6月11日	堅切紙・1通	い 1275-13

三州伏見屋新田/経営費用/入用金請取

請取申金子之事(三州伏見屋新田入用金10両) 中嶋 半右衛門[印]→伊東庄兵衛殿	宝永6年丑9月10日	豎切紙・1通	い 1275-14
---	------------	--------	-----------

普請

(包紙) * (包紙上書)「上 請合状入 新田久兵衛仮家」		包紙/(虫損あり)・1点	い 1869-0
請合状之事(藤四郎倅久兵衛古堤に小屋掛け致したいとの旨につき) 藤四郎(印)・忠八(印)・林蔵(印)・織右衛門(印)・金七(印)→源蔵殿・唯助殿	文化6年巳7月	豎紙/(虫損あり)・1通	い 1869-1
御渡シ可被成爲替金之事(伏見屋新田普請金の内尾州舟入村日用頭弥左衛門へ渡金爲替仕り名古屋分入用の内へ金15両請取、代り金は弥左衛門より此の手形を以て今月6日切に請取なざるべきにつき) 三州伏見屋新田中嶋半右衛門[印]→尾州なこや元材木町神戸分左衛門様御内伊東庄兵衛殿	宝永6年丑7月2日	豎紙・1通	い 1870

諸書付

(松江町井筒屋利右衛門貸屋大和屋亀吉・同丁岡本屋常七支配貸屋竹谷屋幸三郎・西下宿請所勇場大和屋喜太郎・農人橋請所大和屋五郎印鑑証)	安政2卯年正月改	切紙・1通	い 1611
(書状カ) 久助→分四郎様	13日	横切紙/(綴紐にて裏面読めず)・1通	い 1400-103

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

三河国の新田

吉塩崎永岡新田

(包紙) * (包紙上書)「永岡新田願書付とも」		包紙・1点	い 1592-2-0
永岡新田金請払通 久世所右衛門(印)→今岡村永田兵助様	宝永5年戊子正月18日	横半半(一ツ綴)・1冊	い 1592-2-1
(新田所今月3日大汝にて堤損につき書状) (岡崎より)山崎源右衛門→今岡村永田兵助様(清三郎様)	4月11日	縦紙/(包紙共)・1通	い 1592-2-2
(卯5月20日金2両3分529文永岡新田堤繕破損金入用金4分の1分他ノ金28両1分871文差引につき覚)永田兵助代松右衛門・岡保安大夫→永田清兵衛様	卯12月24日	縦継紙・1通	い 1400-79
(卯5月20日金2両3分529文永岡新田堤繕破損金入用金4分の1分他ノ金27両3分871文差引につき覚)永田兵助代松右衛門・岡保安大夫→永田清兵衛様	卯12月24日	縦継紙・1通	い 1400-80
(土取場未年年貢取米ノ2石5斗余書上)		折紙・1通	い 1592-2-3

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

三重県の新田

和泉新田

(残金と預り証返却願・仲裁の礼等につき書状) 文三郎拜→神戸御旦那様内事	6月17日	横切継紙/ (1678-1~3は紙縫一括)・1通	い 1678-1
(証書への調印につき書状) 文三郎拜→神戸様内事	6月16日	横切継紙・1通	い 1678-2

中和泉新田

永代売渡地所証券(伊勢国第三大区六ノ小区桑名郡中和泉新田の内改正反別13町5反余の地代金3100円受取につき)/ (裏面小切紙貼付)「一〇五 十一円七錢七厘 旧改正反別三町五反七畝五分」 伊勢国第三大区六ノ小区桑名郡見入新田七拾七番屋敷地所売主黒宮嘉左衛門印・同上加路戸新田右証人諸戸七兵衛印・同上見入神殿右口入証人平松清八印・尾張国海西郡寛延新田右口入証人伊藤市三郎、(奥書)中和泉新田用掛三輪栄八印・佐野治朗(印)→尾張国第六区海西郡松名新田拾五番地佐野治朗殿・同上神戸新田式番地神戸分左衛門殿、(奥書)神戸分左衛門殿	明治10年5月1日	縦継紙・1通	い 1257
(明治10年田方地租金第5部金30円93錢7厘ほか差引金10円18錢6厘5毛此の者へ遣わし下されたきに覚) 中いつミ用掛三輪栄八(印)→神戸新田神戸分左衛門様	3月24日	横切継紙・1通	い 1400-19

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
領主御用			
全体			
天保七申年より十壱ヶ年子迄五ヶ年、天保十二年丑より弘化二年巳迄五ヶ年	弘化3年午7月	横長半(一ツ綴)・1冊	い 2016
調達金之事(御用調達金受取、来亥十一月元利返済すべき旨) *写/(裏書)「表書之通相違無之者也 分四郎様」 地方御勘定所→天満屋九兵衛取次	享和2年戌12月	縦切紙・1通	い 1551
口上(町方御役所金300両預り7両宛上納、さらに金14両預りにつき7人に割符覚)	12月18日	横切紙・1通	い 1400-35
(調達金1万両の出不足の片付け方についての割帳送付につき書状) 神戸新田唯助→神戸旦那様別帳添用書	正月23日	横切紙/(紙縫結)・1通	い 1655-10-2
乍恐奉願上候御事(延米本紙元役退役願書) *(端裏書)「延米本紙退役願 扣」 犬山屋文左衛門	辰4月	半/(一ツ綴)/(裏打あり)・1冊	い 1865-14
覚(米203石御蔵入御用代金書付)	辰12月	小切紙・1通	い 1997-19
(調達金の仕法についての書付) *(端書)「壱口壱分調達御趣意書之写」		半(一ツ綴)・1冊	い 2015

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

元材木町

町代

町内譲り定例之事(町内家持中・丁代・組頭・肝煎への 礼銀規定)	8月	横切継紙/(い 1570-2~4は い1570-1に巻 込)・1通	い1570-1
------------------------------------	----	--	---------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

江戸町屋敷経営(神戸彦七・家守来家太七)

小舟町

店賃帳

覚(金15両1分4匁6分8厘卯11月・12月分他ノ金15両1分16匁7分4厘、金銀合金15両2分1匁7分4厘卯年分勘定差引残らず相済につき) 来家太七→堤文助様	辰2月朔日	縦継紙・1通	い1395-16
--	-------	--------	----------

家屋敷譲渡

(包紙) * (包紙上書)「本四日限」「大急用」「從江戸」 渡辺市左衛門→尾州名古屋材木町ニ而神戸文左衛門様御内川合嘉兵衛様	9月20日書	包紙/(い1485-0は包紙が二重)・1点	い1485-0-1
(包紙) 渡辺市左衛門→川合嘉兵衛・参人々御中	7月28日	包紙・1点	い1485-0-2
九月十二日出再返事控(川村殿地代の儀等につき)	(丑)9月12日	横切継紙/(い1485-1~26は包紙・紐一括)・1通	い1485-1
(屋敷代勘定の儀等につき書状) * 下書/前欠		横切継紙・1通	い1485-2
(小船町屋敷売券または名主水帳に直印下しの儀につき書状) * 下書		横切継紙・1通	い1485-3
覚(本5日限にて御下しの品々書上) 市左衛門→嘉兵衛	8月21日	横切紙・1通	い1485-4
(太七尾州表仕切金・町役金の儀、川村殿より承りにつき書状) 糸や市左衛門→川合嘉兵衛様	9月12日	横切継紙・1通	い1485-5
(取引首尾よく相済、川村殿より出金の儀につき書状) 糸や市左衛門→川合嘉兵衛様	10月6日夕	横切継紙・1通	い1485-6
(小船町一件双方同意、1800両三十郎方に預り置きの儀等につき書状) 渡辺市左衛門→川合嘉兵衛様参	10月29日	横切継紙・1通	い1485-7
(小舟町請帳の儀等につき書状) 庄司重兵衛→川合嘉兵衛様	8月22日	横切継紙・1通	い1485-8
追啓申上候(御礼として溜り醤油下し申すべきにつき) * (端裏書)「御内覧」 市左衛門→嘉兵衛殿		小切紙・1通	い1485-9
(小船町屋敷売払、替り屋敷の儀につき書状) * 下書		横切継紙・1通	い1485-10
(小船町屋敷の儀27日取引につき書状) 糸や市左衛門→川合嘉兵衛様	9月20日夕書	横切継紙・1通	い1485-11
(小船町控屋敷川村八兵衛殿へ御譲りにつき書状)	8月29日	横切継紙・1通	い1485-12
下書(太七支配家屋敷を川村八兵衛へ譲ることを神戸三十郎に頼むにつき書状) 文左衛門→太七殿		横切継紙/(貼紙あり)・1通	い1485-13
(小船町地代請帳共差登の儀等につき書状) 糸や市左衛門→川合嘉兵衛様・参人々御中	5月晦日	横切継紙・1通	い1485-14
(玉垣不納金、土番蔵の儀につき書状) 来家太七→川合嘉兵衛様	8月13日	横切継紙・1通	い1485-15
(小船町屋敷値組の儀につき書状) 糸屋市左衛門→川合嘉兵衛・参人々御中	6月6日	横切継紙・1通	い1485-16

江戸町屋敷経営(神戸彦七・家守来家太七)/小舟町/家屋敷譲渡

(店賃請帳早速遣しの儀等につき書状) 糸屋市左衛門 →川合嘉兵衛・参人々御中	7月28日	横切継紙・1通	い1485-17
(小船町屋敷値組の儀につき書状) *い1485-16とは別 内容/下書		横切継紙・1通	い1485-18
(証文の儀につき書状) *下書		小切紙・1通	い1485-19
(小船町屋敷の儀今月6日取引相済等につき書状)	(6日)	横切継紙・1通	い1485-20
(小船町の儀、町並相場高値につき書状) 糸や市左衛 門→川合嘉兵衛	7月6日夕	横切継紙・1通	い1485-21
(小船町屋敷の儀値段合相違等につき書状) 糸や市左 衛門→川合嘉兵衛・参人々御中	8月21日	横切継紙・1通	い1485-22
(川村八兵衛殿への御家屋敷お譲り残念につき書状) 来家太七→神文左衛門	10月6日	横切継紙・1通	い1485-23
(小船町1丁目控屋敷川村八兵衛へお譲りにつき書 状) 小沢太郎兵衛重雄(花押)→神戸文左衛門	10月6日	折紙・1通	い1485-24
(小船町屋敷値組の儀掛合につき書状) 糸屋市左衛門 →川合嘉兵衛・人々御中	6月22日	横切継紙・1通	い1485-25
(御家屋敷お譲りの取極残念につき書状) 来家太七→ 川合嘉兵衛	10月6日	横切継紙・1通	い1485-26
(包紙) *(包紙上書)「寅正月江戸より来状小取替指引書付 覚」		包紙・1点	い1748-0
(貴公所持の屋敷買い受けにつき家主太七を跡役に 申付ける旨書状) (小舟町)川村八兵衛[印「小舟町」]→ 神戸文左衛門様	正月6日	横切紙・1通	い1748-1
(太七方への御持たせ遣す旨、御扣屋舗は内方お目 掛した旨ほか書状) 糸屋市左衛門→川合嘉兵衛様	12月18日	横切継紙・1通	い1748-2
(御地面の件は両家共相応な場所ゆえ年内取掛り相 談する旨ほか書状) 糸や市左衛門→川合嘉兵衛様	正月5日	横切継紙・1通	い1748-3
覚(小豆代1分余の内にて状賃メ金1分余引残り842文 預り) 同(神戸)重兵衛・市左衛門→神戸嘉兵衛殿	寅正月5日	横切継紙・1通	い1748-4
覚(小舟町地代ほか金44両1分余登すので受取引合下 さるよう) 神戸彦七(印)・文助→神戸分左衛門様	2月9日	切継紙/(い 1778-1~3は巻 込一括)・1通	い1778-1
覚(小舟町駄賃他メ金2分3朱余受取書) 神戸彦七 (印)→神戸分左衛門様	酉2月9日	切紙・1通	い1778-2
(小舟町より受取預りの金子を請帳共に持参する旨 ほか書状) 堤文助→神戸分左衛門様		切継紙・1通	い1778-3
(先達での御屋敷の件は鉄砲津方一向直段引かざる 旨、屋敷購入検討ほか書状) *(端裏書)「四月十九日返 事遣ス 并太七方江も催促之状遣ス」 糸や市左衛門→川 合嘉兵衛様参人御中	3月20日	横切継紙/(虫 損あり)・1通	い1793

町入用

覚(12匁9分此代870文朝鮮人懸り外入用割合相違無 きにつき) 月行事孫右衛門(印)・平左衛門(印)→太七殿	申正月	堅紙/(虫損あ り)・1通	い1395-9
覚(12匁5分道中奉行御役替にて張出し御願入用請取 につき) 月行事八郎兵衛(印)→太七殿	未8月24日	堅切紙/(虫損 あり)・1通	い1400-95

覚(金338匁6分天王祭礼当番諸入用請取につき) 一町目月行事次兵衛[印]→太七殿	申6月	堅切紙・1通	い 1400-104
覚(金75両2分天王祭礼外入用割合出金相違無きにつき) 月行事八兵衛(印)・利右衛門(印)→太七殿	申6月	堅切紙・1通	い 1400-105
覚(名主及役料・天王獅子人足代他2貫330匁2分の書上) 月行事八兵衛(印)・利右衛門(印)→太七殿	申6月晦日	堅継紙・1通	い 1453
覚(名主及役料・天王獅子人足代他1貫681匁9分の書上) 月行事長右衛門(印)・同宇兵衛(印)→太七殿	未6月29日	堅継紙・1通	い 1454
覚(晒・麻上下他5両2歩余山王御祭礼御輿御供出役入用書上) 月行事吉兵衛(印)・同与兵衛(印)→太七殿	申6月	堅継紙・1通	い 1481
覚(名主殿役料など町入用金メ1貫40匁余金銭書上) 月行事八郎兵衛(印)→太七殿	申4月晦日	堅継紙/(い1945-1~5は一綴)・1通	い 1945-1
覚(名主殿役料など町入用金メ1貫26匁余金銭書上) 月行事市郎兵衛(印)・茂右衛門(印)→太七殿	未4月29日	堅継紙・1通	い 1945-2
覚(御年頭入目など町入用金メ1貫241匁余金銭書上) 月行事孫右衛門(印)・平左衛門(印)→太七殿	申正月晦日	堅継紙・1通	い 1945-3
覚(弱者養育入用など町入用金メ648匁余金銭書上) 月行事彦三郎(印)・又七(印)→太七殿	申5月29日	堅継紙・1通	い 1945-4
覚(名主殿役料など町入用金メ2貫62匁余金銭書上) 月行事八兵衛(印)・新兵衛(印)→太七殿	未12月	堅継紙・1通	い 1945-5

書状

覚(江戸の飢人御救の為御米渡し置くにつき) 文助→分左衛門様	(享保19年)2月19日	横切継紙・1通	い 1399-82
(小舟町地代受取および米段々高直の旨書状) 堤文助→神戸分左衛門様	10月16日	横切継紙・1通	い 1571
(小舟町地代金18両2分6匁7分8厘お登せの旨ほか書状) 理仙より→神戸文左衛門様皆人々	10月16日	横切継紙/(い1650-1~2は巻込一括)・1通	い 1650-1
覚(小船町地代金18両2分6匁7分8厘他メ金32両3分請取べき旨) 同(神戸)彦七・文助→神戸分左衛門様	未10月16日	切継紙・1通	い 1650-2
(前のごとく久助殿へお頼みにつき書状) *(端裏書)「中古 真」 同(神戸)彦七→神戸分左衛門様	7月22日	横切継紙・1通	い 1714

家守請状など

借用申金子之事(両腰質物に入れ金100両借用) 借り主来家太七(印)・証人同才兵衛(印)→神戸分左衛門様	享保3年戌10月	堅紙・1通	い 1414
売上申脇差之事(金20両受取につき売上証文) 売主来家太七(印)→神戸分左衛門様・堤久助様	享保13年申9月8日	堅切紙/(い1479-1~5は巻込一括)・1通	い 1479-1

その他

請取申為替金子之事(江戸霊岸嶋東湊町一丁目神戸彦七殿より江戸大伝馬町一丁目松坂屋三四郎殿への為替金61両3匁銀1匁6分2厘) 磯貝与兵衛(印)→神戸分左衛門殿	正徳4年午之3月14日	堅切紙・1通	い 1308-19
---	-------------	--------	-----------

江戸町屋敷経営(神戸彦七・家守来家太七)/小舟町/その他

借用申金子之事(金27両) 来家太七(印)→神戸分左衛門様	享保13年申ノ9月8日	堅切紙/(貼紙あり)・1通	い1308-48
覚(尾州大宝前新田去亥年掟米の内、神戸彦七扣地分勘定割賦米高受取書) * (端裏書)「四尺□案文ひかえ」神戸彦七→神戸分左衛門殿	延享元年子5月20日	堅紙/(貼紙あり)・1通	い1395-26
※借用申金子之事(材木商売元手金として金10両) 枇杷嶋金借り主勘六(印)・同所米屋加判長右衛門(印)→みその町半右衛門殿・嘉兵衛殿御取次	寛延元年辰9月	堅紙・1通	い1298-8
覚(金15両1分4匁6分8厘卯11月・12月分他メ金15両1分16匁7分4厘、金銀合金15両2分1匁7分4厘卯年分勘定差引残らず相済につき) 来家太七→堤文助様	辰2月朔日	堅継紙・1通	い1395-16
覚(金14両戌10月小舟町地代預り金他メ金15両1分1匁9分7送付につき) 同(神戸)彦七・文助→神戸分左衛門様	亥正月6日	横切継紙・1通	い1399-76
乍恐口上之覚(元材木町分左衛門の江戸下舟町屋敷につき) * (端裏書)「扣 戌正月十二日」/下書 元材木町丁代武左衛門・右同断源七	戌正月日	堅継紙/(い1473-1~2は糊付)・1通	い1473-1
覚(福しまやより受取の50両並びに払金内訳書上)	12月~正月	折紙・1通	い1473-2
覚(表・絵図・諸入用メ金2両余受取書) 木場屋敷彦七(印)・太助(印)→文左衛門様	丑12月9日	切継紙・1通	い1614-2-8
覚(小船町地代他メ金1両余の内引替金・筆代差引いで金1分余の旨引合) 同彦七・文助→神戸分左衛門様・半右衛門様	申2月12日	横切継紙・1通	い1634
乍恐口上之覚(江戸下船町1丁目の屋敷につき表店・裏店・蔵の数など明細申上書) 元材木町分左衛門	戌正月11日	堅切継紙・1通	い1915
覚(材木・釘代等メ45両余勘定書上) 堤文助→神戸分左衛門様	辰2月2日	堅継紙・1通	い1944-4
(坪数、江戸町人へ貸し置く店数・蔵数等に関する尋書) * 控/(端裏書)「御役所より来ル 扣戌正月十日」 → 元材木町分左衛門	辰正月10日	堅切継紙・1通	い1953

神戸彦七家

金銀請払目録

寅年中請払目録 岡部与一郎(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・分左衛門様	享保8年卯正月	堅継紙/(い2023-1~7は一綴)・1通	い2023-1
卯之年金銀請払目録 岡部用八(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保9年辰2月	堅継紙・1通	い2023-2
辰年中金銀請払目録 岡部用八(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保10年巳2月	堅継紙・1通	い2023-3
巳年中請払目録 岡部用八(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保11年午2月	堅継紙・1通	い2023-4
午年中金銀請払目録 岡部用八郎(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保12年未2月	堅継紙・1通	い2023-5
未年中請払目録 岡部用八郎(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保13年申2月	堅継紙・1通	い2023-6
申之年中金銀請払目録 渡部三郎右衛門(印)・岡部用八郎(印)→理仙様・分左衛門様	享保14年酉2月2日	堅継紙・1通	い2023-7

寅年請払目録大方勘定 岡部与一郎・渡部三郎右衛門	(享保7年)寅7月	豎継紙・1通	い 2024
酉年より丑年迄五ヶ年分勘定目録 岡部与一郎・渡辺三郎右衛門	(享保7年)寅正月	豎継紙・1通	い 2025
覚(亥年分売高の口銭収入等1031両余の収入より深川売場作事入用など差引勘定書)		横切継紙・1通	い 1564-4

家屋敷有金目録

家屋敷有金目録(新金7925両余、彦七様御家督勘定) 岡部与一郎・渡辺三郎右衛門→神戸彦之丞様・同理仙様	享保7年寅7月	豎継紙/(い 2026-1~8は一綴)・1通	い 2026-1
家屋敷有金目録(丑之年極月迄之分都合新金8007両余) 岡部与一郎(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・分左衛門様	享保8年卯正月	豎継紙・1通	い 2026-2
家屋敷有金目録(卯正月改目録之分残金7676両余) 岡部用八(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保9年辰2月	豎継紙・1通	い 2026-3
家屋敷有金目録(卯12月迄目録高正月改有金之分残金7532両余) 岡部用八(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保10年巳2月	豎継紙・1通	い 2026-4
家屋敷有金目録(辰12月迄目録高巳正月改有金之分残金7450両余) 岡部用八(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保11年午2月	豎継紙・1通	い 2026-5
家屋敷有金目録(午極月金目録之高未二月改有金之分残金7311両余) 岡部用八郎(印)・渡部三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保13年申2月	豎継紙・1通	い 2026-6
金目録(巳12月迄之目録高午正月改有金之分残金7396両余) 岡部用八郎(印)・渡辺三郎右衛門(印)→理仙様・神戸分左衛門様	享保12年未2月	豎継紙・1通	い 2026-7
家屋敷有金銀目録(未極月迄諸色差引目録高残金7199両余並びに家屋敷除き有金銀別目録ノ2447両余) 渡部三郎右衛門(印)・岡部用八郎(印)→理仙様・分左衛門様	享保14年酉2月2日	豎継紙・1通	い 2026-8

その他

御渡シ可被成候為替金手形之事(平岩七三右衛門様御用金を木村為右衛門殿へ金10両) 神戸分左衛門(印)、(裏書)木村為右衛門(印)→深川八幡町神戸彦七郎殿	享保6年丑2月28日	豎切紙・1通	い 1300
覚(神戸彦七郎方よりの為替金の内残金334両余預りにつき) →神田茂左衛門殿・冬木弥平次殿	子6月22日	豎継紙/(い 2022-3とい 2022-5の間に挟込)・1通	い 2022-4

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

御園町中嶋屋半右衛門・永田善次郎

仕切状

仕切(和州実綿代残金11両1分7匁9分8厘渡す旨) * (端裏書)「寛延四辛未二月入」 京口屋九八郎(印)→中嶋半右衛門殿	延享元年子3月29日	縦継紙・1通	い 1431
覚(実綿147本預り) 和州今井紙屋七兵衛(印)→尾州名古屋 後藤理右衛門様・同中嶋半右衛門様御落物	卯ノ8月10日	縦紙・1通	い 1425
覚(金88両2分10匁100貫847文渡す旨) 後藤利右衛門 (印)→半右衛門殿	寅8月	縦継紙・1通	い 1426
買仕切状(実綿代金109両1分1匁7分受取) 後藤利右衛門 (印)→神戸分左衛門殿・中嶋半右衛門殿	寅11月	横長半(一ツ綴)/(い、1427-1 ~2は巻込一括)・1冊	い 1427-1
覚(種油代金107両3分3匁7分9厘受取書) 白木屋喜助 (印)→後藤理右衛門殿・中嶋半右衛門殿	丑7月7日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1427-2
くり綿売仕切(文庫10本代金38両6匁6分4厘渡す旨) (入江町増田氏)増田屋藤七(印)→中嶋半右衛門殿分・後藤利右衛門殿	寅6月20日	縦継紙・1通	い 1428
覚(大坂平野屋太兵衛殿・和州今井紙屋七兵衛殿預金 123両受取書) 後藤利右衛門(印)→神戸分左衛門殿・嘉兵衛殿	辰6月8日	縦継紙・1通	い 1429
買仕切状之事(繰綿代金54両2匁4分4厘受取) 後藤利右衛門 (印)→神戸分左衛門殿・半右衛門殿	丑12月	縦継紙・1通	い 1430
①買仕切(地綿20本代23両3分余の内残金1両1分余差引受取)、②右売り(20本代24両3分余の内残金3両1分余相渡につき) 柴利右衛門→中嶋半右衛門殿	辰8月12日	折紙/(①と②は表裏一紙)・1通	い 1615-24
増宝粉仕切(河内上糺粉出55文入り代金848匁3分受取書) 桑名屋善右衛門(印)→中嶋半右衛門殿	卯極月2日	横切紙/(裏打有り)・1通	い 1968-3

借用証文

拝借仕候金子之事(巳霜月売午3月切御蔵米本紙敷金指支につき金5両借用につき) 中嶋半右衛門[印]→神戸忠蔵様	享保10年巳極月30日	堅切紙・1通	い 1308-40
預り申金子之事(金13両借用につき) 金借り主奥田梅溪(印)・加判奥田遊川(印)→大海伊兵衛殿	元文5申極月	堅切紙・1通	い 1308-63
借用仕金子之事(金5両借用) *下書 勤兵衛→半右衛門殿	寛保3年戌7月	縦紙・1通	い 1308-66
借用申金子之事(金20両) 借り主桑原千三右衛門(印)・加判万屋惣助[印]→半右衛門殿	延享5年辰2月	縦紙・1通	い 1294-25
借用申金子之事(金60両借用) 中御園町金借り主善次郎(印)・同町(中御園町)口入清蔵(印)→犬山屋文左衛門殿	寛延2年巳10月	縦紙・1通	い 1308-73
預り申金子之事(金70両) 永田善次郎[印]→神戸孫右衛門殿	明和4(年)亥12月	縦紙/(い、1292-1~13は一綴)・1通	い 1292-1
借用申金子之事(金50両) 永田善次郎[印]→神戸孫右衛門殿	明和5年子9月19日	縦紙・1通	い 1292-2

預り申金子之事(金20両) 永田善次郎[印]→神戸孫右衛門殿	明和5子正月	縦紙・1通	い 1292-3
預り申金子之事(金30両) 永田善次郎[印]→神戸孫右衛門殿	明和5子3月	縦紙・1通	い 1292-4
借用申金子之事(金30両) 永田善次郎[印]→神戸孫右衛門殿	明和5年子7月	縦紙・1通	い 1292-5
借用申金子之事(金50両) 永田善次郎[印]→神戸孫右衛門殿	明和5年子6月	縦紙・1通	い 1292-6
借用申金子之事(金60両) 永田善次郎[印]→神戸孫右衛門殿	明和7年寅2月	縦紙・1通	い 1292-7
借用申金子之事(金70両) 永田善次郎(印)→神戸孫右衛門殿	安永2年巳2月	縦紙・1通	い 1292-8
借用申金子之事(私勝手要用につき金1両2分借用) 若原弥五郎(印)→永田屋善次郎殿	安永4年未閏12月	横切紙・1通	い 1308-81
借用申金子之事(金100両) 永田善次郎(印)→神戸文左衛門様	寛政3歳亥7月	縦紙・1通	い 1292-12

その他

(三州碧海郡泉田村本田の作人別田方・畑方・新畑高と小作人書上と亥年分物成書上) * (端下印)「家永」又右衛門(印)→永田清三郎殿	寛文11歳亥12月25日	縦継紙・1通	い 1539
本田畑高付(三州碧海郡泉田村本田の田畑・新田畑収納高勘定帳) (三河国碧海郡泉田村)庄や九郎左衛門(印)→(三河国碧海郡今岡村)今岡清三郎殿	元禄14年巳3月吉日	横美半(片結び綴り)・1冊	い 1563
(包紙) * (包紙上書)「名古屋ニテ永田清三郎様 大海伊兵衛」		包紙(い1592-1~2は紙縫一括)・1点	い 1592-0
吉胡新田野杵場入用算用帳 久世所右衛門(印)→永田清三郎様・沢田仁右衛門様・山崎源右衛門様	宝永5年子ノ2月晦日	横長半(一ツ綴)・1冊	い 1592-1
売渡申三州碧海郡泉田村本田之事(5筆有高2石余を永代売渡しにつき証文) * 墨消あり/下書 尾州名古屋上御園町売主清三郎・三州泉田村組頭八三郎・同村組頭甚兵衛・同村庄屋七右衛門→三州今岡村理右衛門殿	享保8年11月日	縦継紙・1通	い 1540
覚(三州碧海郡泉田村本田を銀右衛門へ永代売渡すにつき証文) * 墨消あり/下書 三州今岡村買主理右衛門・三州泉田村組頭八三郎・同村組頭甚兵衛・同村庄屋七右衛門→尾州名古屋上御園町清三郎殿	享保8年11月日	縦継紙・1通	い 1541
覚(天井板代金187両受取につき) 矢嶋茂右衛門内分助(印)→中嶋勘四郎殿・堤久助殿	享保9年辰12月3日	縦切紙・1通	い 1308-31
目録之覚(尾州餅米より大豆売買等の仕切金の差引勘定金を送付につき) 鳥居九兵衛→中嶋半右衛門殿	延享3年寅10月16日	縦継紙/(裏打済)・1通	い 1545
(宝暦2年半右衛門殿より、宝暦3年善治郎殿・喜助殿より金銭請取書付)	(宝暦)	横切紙・1通	い 1400-28
※請取申金子之事(当子年分利足として金33両受取につき) 池田八郎右衛門(印)→永田屋善治郎殿	宝暦6年子12月24日	縦紙/(い1532-4-1~3は綴一括)・1通	い 1532-4-1
覚(金50両受納め質物渡すべき旨ほか) 太田屋喜左衛門(印)→永田屋善治郎殿	宝暦7年丑正月21日	縦紙・1通	い 1294-27

御園町中嶋屋半右衛門・永田善次郎/その他

覚(金50両受取につき) 永田善次郎(印)→神戸蘇川様・同文左衛門様	天明7歳丁未4月	縦紙・1通	い1292-9
売渡シ申道具之事(秋月筆福録寿掛物他4品売渡し金100両受取につき) 永田善次郎(印)→神戸蘇川様・同文左衛門様	寛政元歳酉10	縦紙・1通	い1292-10
覚(鍋蓋新田御証文並びに御書付類開発以来諸帳面諸書付等引き渡しにつき) 永田善次郎(印)→神戸文左衛門殿	寛政2年戌9月	縦切紙・1通	い1292-11
覚(金200両受取につき) 永田善次郎(印)→神戸文左衛門様	寛政9歳巳6月	縦切紙・1通	い1292-13
宗門御改人別帳 *表紙に「本書者六拾目大直紙ニ相認可申候事」とあり 三州室飯郡下佐脇新田地主半左衛門(印)→栗生新助殿・水野何右衛門殿・萩野一平次殿・土岐兵右衛門殿・高瀬官兵衛殿	天保3年壬辰3月	半(かぶせ綴)・1冊	い2063
覚(手前蔵に実綿預りにつき証文) 後藤利右衛門(印)→中嶋半右衛門殿	亥10月	縦切紙・1通	い1530-10
(三州碧海郡泉田村一筆ごとの面積・石高・売主書付) *朱書あり		横長半(一ツ綴)・1冊	い1864-14
(3分3匁1分5厘五嶋錫代伊右衛門様へ御取遣ほか代金ノ金12両1分5厘書上覚) 半右衛門	12月30日	縦切紙・1通	い1396-2
(和州下田村上村善右衛門家族親類書上)		縦紙・1通	い1396-36
覚(46石納米請取成し下されたきにつき) 新田惣助→中嶋半右衛門様	11月12日	縦切紙・1通	い1399-89
覚(396匁他ノ2つ割198匁此金3両1分3匁書上) * (包紙上書)「文政元年寅六月七日 石塚様江金子勘定書三ヶ江一通并中嶋屋へ利足取かへ遣分書付アリ」		横切紙/(包紙糊付)・1通	い1400-112
(大宝前新田土取場、新田内へ加えざるよう願書) * (端裏書)「川並殿 ミその」 ミその→川並殿	申6月	横切継紙・1通	い1505-1
送荷物之事(雪隠など差送状) みその町半右衛門(印)→大宝前新田定助殿	丑正月28日	縦継紙・1通	い1510-5
覚(布地代金受取書) 後藤利右衛門(印)→中嶋半右衛門様	卯10月25日	縦継紙・1通	い1531-5
午ノ御物成之覚(神山下畑他の午年の物成高・納方・払方算用書付) 町九郎左衛門(印)→(永田)兵助殿	午12月29日	縦切紙・1通	い1534
覚(米高・納方・払方算用書付) 町九郎左衛門(印)→永田兵助殿	午12月29日	縦切紙・1通	い1535
本田反畝之覚(元孫兵衛新田・三河泉田村など) * 後欠	丑ノ	縦切紙・1通	い1538
覚(土蔵5ヶ所町代へ差出の書付) 犬山屋文左衛門	寅6月12日	切紙・1通	い1883
覚(杉材木等代金20匁余受取書) 山形や庄兵衛(印)→半右衛門殿	寅7月	縦継紙・1通	い1968-9
銭や栄介船送状之事(木材送状) 平の屋太兵衛[印]→なこや御園町中嶋半右衛門殿	寅10日8日	縦切紙・1通	い1971
覚(受取金と道具など代金差引勘定13両余書付) 半右衛門	申極月	横切継紙・1通	い1981-13
(杵戸前破損のため借用木指出につき書状) 中嶋半右衛門→小川唯助様	2月26日	横切継紙・1通	い1995-6

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
新田不明			
(1切3反2畝29歩他ノ2町2反8歩書上覚)		横切紙/(虫損あり)・1通	い 1394-22
(2両西堤弁金割3貫720匁5分6厘内訳書上覚)	(近世)	横切紙・1通	い 1395-4
覚(稗買入代金20両受取につき) 在新田加一郎→上	辰11月25日	横切紙/(破損あり)・1通	い 1397-6
(新田畝歩書上覚)		横切継紙・1通	い 1397-23
屋敷添(畑反別人名取米書留)		折紙・1通	い 1397-32
(畑ノ10石1斗2升5合ほか畑方反別書留)		折紙・1通	い 1397-37
(共有地合反別3町7反4畝21歩など反別地価書上覚)		折紙・1通	い 1399-12
(村坪田主弥吉刈株37立札写) *墨消		横切紙・1通	い 1399-54
免割(高107石2斗1升5合免5つ5分5厘4毛、取米60石6斗2升差引につき)		横切継紙/(い1400-21~112は一綴)・1通	い 1400-21
(堀抜井戸反別割絵図・屋敷割図共)		24.3×32.4・1鋪(わら半紙)	い 1401-91
(平七ほか人名書上)		切紙・1通	い 1401-185
(神戸様分畑2畝3歩ほか、田畑書上)		横折紙・1通	い 1401-202
覚(納米1石5斗代金2兩ト1匁6分2厘引ノ正金1匁6分2厘他ノ正金1匁6分2厘ト礼金8兩ト6匁6厘差上につき) 治助→神戸様	巳4月8日	横切継紙・1通	い 1402-80
記(金20円石代受取につき) 横井久助→旦那様	明治8年3月13日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1402-179
鳥ヶ地前新田之内六拾口割(四郎左衛門新田57町の内訳、鈴木四郎左衛門分ほか内訳書上) 唯助	2月21日	横切継紙・1通	い 1505-8
覚(井堰普請入用関係金勘定書)		縦継紙・1通	い 1564-21
十五年手作米覚(「49俵ト1舁5合也」)		小切紙・1通	い 1600
覚(本米・かり米ほか石高合422石余の書上) *本文墨消	卯10月	折紙・1通	い 1638
(受取米等の算用書付) *前欠		小切紙・1通	い 1655-1-24
(五斗を藤七他14人へ一人ずつ書上)		小切紙・1通	い 1655-1-29
(玄米数・九ヶ月新田の納米より物成米の差引勘定書)		小切紙・1通	い 1655-1-32
(配符帳畝・間地帳畝を差引き4畝26歩間違増の書上)		切紙・1通	い 1745
(断簡) *前欠 吉右衛門→文左衛門殿		小切紙・1通	い 1756
(田畑納地4町1反5畝10歩の内訳および北ヶ輪堤8反1畝15歩の書上)		横切紙・1通	い 1855
辰之年作覚(手作地・小作地石高など書付)		横長半(一ツ綴)・1冊	い 1864-13

新田不明

覚(堤引概方請負の件につき予約定書) *控 神戸弥左衛門→当新田勘右衛門との・紋四郎との・伊右衛門との	天保12丑年8月	切継紙・1通	い 1882
(入用金利足返上分など新田関係入用費の差引勘定書) *前欠		小切継紙・1通	い 1987-3
覚(中堤薄代、御年賦金、外山葎代・川運上等ノ22両3分と6匁7分9厘指上につき)	午正月	横切紙/(い 2000-1~3は一綴)・1通	い 2000-1
覚(卯年検地水帳面82町3反24歩ほか書上)	寅3月	切継紙/(い 2001-1~19は一綴)・1通	い 2001-1
覚(中番銭・水番銭など番人入用ノ10貫476文金銭書上) 左次右衛門	亥12月	横切紙・1通	い 2001-9
子年検見帳		横長帳(一ツ綴)・1冊	い 2005

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
覚(金1両服作印一番ほか金銭書上覚)	(近世)	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1394-20
(米120匁ほか米書上覚) 吉屋清助→神戸様	(近世)2月	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1394-21
(金76両2分18匁5分6厘ほか金銭差引書上覚)	(近世)	横切継紙・1通	い 1394-24
入用金利足覚(2月より霜月まで金15両10ヶ月他メ1貫405匁此金23両1分10匁書上)		折紙・1通	い 1395-7
覚(筵90枚内訳メ16貫818文相済むにつき)	9月6日	横切継紙・1通	い 1396-20
(道越宝ノ代下田514本田2斗3升3合他メ書上)	安政5年午3月3日	横切紙/(い1396-38-1~4は一綴)・1通	い 1396-38-1
(昨日田地代差上の所御父子様とも留守につき書状) なこや金右衛門→一ノ関様貴下	3月3日	堅切紙・1通	い 1396-38-2
(別紙書抜指上にて帳々御引き合わせ下さるべきにつき書状) 平金→一ノ関様		横切継紙・1通	い 1396-38-3
田地永代売渡証文之事(道越宝の代下田514本田2斗3升3合ほか今度貴殿へ売渡すにつき書状) *写 田地売主室善太郎・仲立当村長兵衛→平泉金右衛門殿	安政5年午3月3日	横切紙・1通	い 1396-38-4
覚(申年547石7斗2合他メ587石7斗4升5合、石高西年との差書上)		横切紙・1通	い 1397-5
(書状包紙) 又原孫右衛門→□田浅右衛門様		横切紙・1通	い 1397-11
(金1分おます他金銭書上覚) *墨消		横切紙・1通	い 1397-12
夫銀取立(金43両2分13匁8分5厘ほか都合76両2分10匁書上覚)	寅11月	横切継紙・1通	い 1397-19
覚(小舟町分202石他メ264石5斗差引勘定につき)		横切継紙・1通	い 1397-21
(2分兼吉ほか金銭書上覚)	(近世)	札・1点	い 1399-2
(105文竹7寸ほか書上覚) 西保文右衛門		横切継紙・1通	い 1399-6
(御裏書御座候別紙之通差上候書付2通所持故写指上につき申上書)	巳9月	横切紙・1通	い 1399-36
(所持の本書写と相見えにつき書付)		札・1点	い 1399-43
(地所明け渡し如何なる約束あるかは小生の知るところ無く等につき書状) 千賀宮五郎→神戸文左衛門様	1月3日	横切紙・1通	い 1399-44
(井戸掘り関係絵図) *写	明治34年10月17日	24.3×33.6・1鋪	い 1399-50
委任状之事(旧屋敷地券売払い私病気にて池戸嘉藏代人に定むにつき) 長久手村櫻井記信(印)	明治9年子3月21日	赤色証券界紙・1通	い 1399-73
覚(3両1分19匁他メ5両2朱につき) 柴屋孫兵衛→神戸様	戌極月	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1400-5
(神戸分左衛門様御茶料合44匁2分請取につき覚) 谷村与兵衛(印)→御支配人	寅9月6日(墨消)	堅紙・1通	い 1400-26

業務単位不明

(金銭書上覚) * 墨消		横切紙・1通	い 1400-27
(金3両ほか金銭書上覚)	(宝暦)	横切継紙・1通	い 1400-29
覚(金20両7人に割受取につき)	11月6日	横切継紙・1通	い 1400-31
覚(24石の御書替1通請取につき) 下野村定松庄や喜平治→長尾新右衛門様	未12月4日	縦切紙・1通	い 1400-62
覚(御蔵米2石5斗此金2両2分11匁2分9厘差引320文請受取につき) 四郎兵衛(印)→新田儀兵衛殿	卯12月14日	横切紙・1通	い 1400-63
覚(24石御書替1通請取につき) 羽黒村庄屋甚右衛門→長(長尾)新右(新右衛門)	未12月4日	縦切紙・1通	い 1400-64
覚(本紙45通、此料金11両1分、世話料・本紙書料など差引金5両2分2割2匁3分御渡しにつき) 伊藤	11月9日	横切紙/(虫損あり)・1通	い 1402-66
(225包、150両8月より10月まで3ヶ月分ほか惣メ正金6両2朱差上覚) 米や治助→(○に十二)様	未11月2日	横切継紙/(虫損あり)・1通	い 1402-77
(丈丸太24本内3本橋杭ほか丸太数書上覚)		断簡・1通	い 1402-78
(此状お帰しの上相届くよう取り計らい願書) 久保田彦右衛門→栗笠村佐渡与三郎様	11月2日	横切紙/(い1402-78の包紙カ)・1通	い 1402-79
(34匁3分8三伊他メ120匁7分8別払覚)		横切紙・1通	い 1402-83
(金51円45銭8厘地稅書上覚)		小切紙・1通	い 1402-242
(包紙) * (包紙上書)「岡本町泉屋半久(印)伊勢口岡本町泉半」元材木町神戸文左衛門様」		包紙・1点	い 1558-10
「定引四石式斗宝暦八寅十二月より宝暦七丑入事」(全文)	(宝暦7~8年)	小切紙・1通	い 1559-14
(神戸分、金額・米高書付)		札・1点	い 1560-24
(間違は甚だ差支になるので御働き下さるよう書状) * 前欠	極月7日	切紙・1通	い 1615-2
(包紙) * (包紙上書)「御請ケ」		包紙・1点	い 1641
(預け米をこの馬に渡す旨書状) 伊藤吉兵衛→神戸加兵衛様	7月8日	小切継紙・1通	い 1698
(人名書付) * 下部欠損		札・1点	い 1700
(開封不能書類)		横切継紙/(虫損甚大)/(開披不能)・1通	い 1704
(建家間取り図)		20.8×25.8・1鋪	い 1749-4
(包紙) (* 包紙上書)「市郎兵衛様より参候手紙」(書状未開封)		横切紙・1通	い 1772
(織田周防守殿家来衆柴田清左衛門より当年埋地(池川田地の境)の件申遣につき御越になるよう書状) * (包紙上書)「鈴木新之右衛門様より参候手紙 八月九日」鈴木新之右衛門→分左衛門様	8月9日	横切継紙・1通	い 1773
(4月12日~5月11日の本数書上) * 「式拾五両」の包紙紙背文書使用		折紙・1通	い 1819
(表間口54間・反数9反7畝余の書上)		折紙・1通	い 1820

(封筒) * (封筒表書)「明治十五年六月廿三日星野甚助死去之 節書附類」(書状未開封)		横切継紙・1通	い 1835
覚(山代金7兩余受取書)		切紙・1通	い 1981-5
(船方入用1貫587文受取書) 弥六→分左衛門殿	子極月19日	切紙・1通	い 1981-6
覚(ひらい1羽代金請取書) 烏や清蔵→あつ助殿	(近世)11月15日	小切継紙・1通	い 1995-16

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
混入文書			
小浜町和泉屋三郎右衛門家屋敷田畑酒杭(株カ)覚 小浜五郎兵衛→いつみや久松殿	戌6月21日	横長半・1冊	い 1516
乍恐返答書(西高津町日向屋りん借家岩田屋長右衛門同家伊丹や吉右衛門方より訴訟につき) * (端裏書)「安治川半兵衛殿より案文 是ハ入不申候」/控 片桐石見守殿知行所撰州河辺郡米谷村百姓市郎右衛門		横切継紙・1通	い 1579
乍恐口上書(西高津町日向屋りん借家岩田屋長右衛門同家伊丹や吉右衛門方より訴訟につき) * (端裏書)「大野半兵衛殿返答書案文 是ハ入不申候」/控 米谷村百姓市郎右衛門養親安部豊後守殿知行所撰州河辺分幸本村権右衛門		横切継紙・1通	い 1580
乍恐返答書(吉右衛門より跡敷訴訟につき) * (端裏書)「米谷より出可申哉と存シ候案文」 片桐石見守殿知行所撰州河辺郡米谷村百姓市郎右衛門		横切継紙・1通	い 1581
(相手片桐岩見守様御下撰州米谷村市郎右衛門28日到来につき書付) 惣代	丑12月18日	縦切紙・1通	い 1396-37
覚(東海道金谷宿助郷につき宿方は助郷帳持参、一同早々罷出るべき差紙を曾我豊後守より神田山本町上州屋市五郎方へ渡したことの通知) 駿州屋甚左衛門・徳兵衛→東海道金谷宿役人惣代老人・遠州榛原郡牛尾村・竹下村・嶋村・香生寺村・横岡村・同新田・柏原村・柏原町・同州城東郡下方村・海戸村・駿州志太郡瀬戸谷村・瀧沢村役人惣代老人ツ、右宿村々問屋・年寄・名主・組頭		横切継紙・1通	い 1582
申渡シ(風儀取り締まり申渡書) 久右衛門小路町組頭新右衛門(印)・伊兵衛(印)・清六(印)	文政11戊子年正月16日	縦継紙・1通	い 1896
無忝金子丑酉年御引米萱兼代米勘定帳 倉真村下組百姓中	文政4年巳12月	横長半(一ツ綴)・1冊	い 2006

史料目録 第100集

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録（その5・完）

印刷発行 平成27年3月31日

発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館

編集 調査収集事業部

〒190-0014

東京都立川市緑町10-3

電話番号 050-5533-2900（代）

印刷 三鈴印刷株式会社

©人間文化研究機構 禁無断複写

（本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第78集まで発行）を継続しています。）

（本文用紙は中性紙を使用しています。）

978-4-87592-172-1